
AX6700S・AX6600S・AX6300S ソフトウェアマニュアル

MIB レファレンス

Ver. 11.7 対応

AX63S-S009-C0

Alaxala

対象製品

このマニュアルは AX6700S, AX6600S および AX6300S モデルを対象に記載しています。また, AX6700S, AX6600S および AX6300S のソフトウェア Ver. 11.7 の機能について記載しています。ソフトウェア機能は, 基本ソフトウェア OS-SE およびオプションライセンスによってサポートする機能について記載します。

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には, 外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ, 必要な手続きをお取りください。なお, 不明な場合は, 弊社担当営業にお問い合わせください。

商標一覧

Cisco は, 米国 Cisco Systems, Inc. の米国および他の国々における登録商標です。

Ethernet は, 富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

Internet Explorer は, 米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。

IPX は, Novell, Inc. の商標です。

Microsoft は, 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Octpower は, 日本電気 (株) の登録商標です。

sFlow は, 米国およびその他の国における米国 InMon Corp. の登録商標です。

UNIX は, The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

VitalQIP, VitalQIP Registration Manager は, Lucent technologies の商標です。

VLANAccessClient は, NEC ソフトの商標です。

VLANAccessController, VLANAccessAgent は, NEC の商標です。

Windows は, 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

イーサネットは, 富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

そのほかの記載の会社名, 製品名は, それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

マニュアルはよく読み, 保管してください。

製品を使用する前に, 安全上の説明をよく読み, 十分理解してください。

このマニュアルは, いつでも参照できるよう, 手近な所に保管してください。

ご注意

このマニュアルの内容については, 改良のため, 予告なく変更する場合があります。

発行

2012年 1月 (第13版) AX63S - S009 - C0

著作権

All Rights Reserved, Copyright(C), 2006, 2012, ALAXALA Networks, Corp.

変更履歴

【Ver. 11.7 対応版】

表 変更履歴

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
3.12 axsTrackObjectMIB グループ (トラック情報 MIB)	• 本節を追加しました。
3.13 axsPolicyBase グループ (ポリシーベース情報 MIB)	• 本節を追加しました。

なお、単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

【Ver. 11.5 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
axsStatic グループ (スタティック経路情報 MIB)	• 本節を追加しました。
サポート MIB トラップ	• スタティック経路に関するトラップを追加しました。 • axsStaticGatewayStateChange • axsStaticIpv6GatewayStateChange

【Ver. 11.4 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
axsPconMIB グループ (消費電力情報 MIB)	• 本節を追加しました。
ax6700sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報)	• ax6700sNifBoardOperModeStatus を追加しました。
ax6600sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報)	• ax6600sNifBoardOperModeStatus を追加しました。
サポート MIB トラップ	• 以下のトラップを追加しました。 • ax6700sStandbyNifUpTrap • ax6600sStandbyNifUpTrap • ax6700sStandbyNifDownTrap • ax6600sStandbyNifDownTrap

【Ver. 11.2 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
axsAccessFilterStats グループ	• フロー検出拡張モードに関するオブジェクト識別子の記述を追加しました。
axsQosFlowStats グループ	• フロー検出拡張モードに関するオブジェクト識別子の記述を追加しました。
axsVrfMIB グループ (VRF 情報 MIB)	• axsVrfIpv6 グループを追加しました。 • axsVrfIpv6Forward グループを追加しました。
axsAxpGroupTable グループ	• axsAxpGroupMonitoringState の実装仕様を変更しました。

項目	追加・変更内容
ax6700sPhysLine グループの実装仕様（インタフェース情報）	<ul style="list-style-type: none"> 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用 SFP の記述を追加しました。
ax6600sPhysLine グループの実装仕様（インタフェース情報）	<ul style="list-style-type: none"> 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用 SFP の記述を追加しました。
ax6300sPhysLine グループの実装仕様（インタフェース情報）	<ul style="list-style-type: none"> 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用 SFP の記述を追加しました。

【Ver. 11.1 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
ax6700sChassis グループの実装仕様（筐体情報）	<ul style="list-style-type: none"> ax6700sPowerControl を変更しました。
ax6700sBsuBoard グループの実装仕様（BSU 情報）	<ul style="list-style-type: none"> ax6700sBsuOperModeStatus を変更しました。
ax6600sSwitch グループ（システム装置のモデル情報 MIB）	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。
ax6600sDevice グループ（システム装置の筐体情報 MIB）	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。
ax6600sManagementMIB グループ（装置の状態 / 情報の変更を行う）	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。
サポート MIB トラップ	<ul style="list-style-type: none"> 以下のトラップを追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ax6700sPowerControlModeChangeStartTrap ax6700sPowerControlModeChangeCompleteTrap AX6600S のトラップを追加しました。

【Ver. 11.0 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
axsQoS グループ	<ul style="list-style-type: none"> 階層化シェーバ統計情報の MIB を追加しました。
axsVrfMIB グループ（VRF 情報 MIB）	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。
ax6300sNifBoard グループの実装仕様（NIF 情報）	<ul style="list-style-type: none"> NIF ボード追加に伴い、ax6300sNifBoardType 値一覧を変更しました。
ax6700sNifBoard グループの実装仕様（NIF 情報）	<ul style="list-style-type: none"> NIF ボード追加に伴い、ax6700sNifBoardType 値一覧を変更しました。

項目	追加・変更内容
サポート MIB トラップ	<ul style="list-style-type: none"> • トラップ名称の先頭にモデル名を付けました。 例：axs ~ ax6700s ~ axs ~ ax6300s ~ • 以下は変更前の名称です。 <ul style="list-style-type: none"> • axsAxpStateTransitionTrap • axsGsrpStateTransitionTrap • axsL2ldLinkDown • axsL2ldLinkUp • axsL2ldLoopDetection • axsEfmoamUlldPortInactivateTrap • axsEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap • axsStormDetectTrap • axsStormPortInactivateTrap • axsStormRecoverTrap

【Ver. 10.7 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
axsL2ldMIB グループ (L2 ループ検知情報 MIB)	• 本節を追加しました。
ax6300sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)	• 1000BASE-LHB の記述を追加しました。
ax6700sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)	• 1000BASE-LHB の記述を追加しました。
サポートトラップおよび発行契機	• L2 ループ検知サポートに伴い関連するトラップの記述を追加しました。
サポートトラップ・PDU 内パラメータ	• L2 ループ検知サポートに伴い関連するトラップの記述を追加しました。
サポートトラップ・PDU 内パラメータ	• L2 ループ検知サポートに伴い関連するトラップの記述を追加しました。

【Ver. 10.6 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
qBridgeMIB グループ	<ul style="list-style-type: none"> • 以下を実装しました。 dot1qTpFdbTable dot1qTpFdbEntry dot1qTpFdbAddress dot1qTpFdbPort dot1qTpFdbStatus
ax6300sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)	• 10GBASE-ZR の記述を追加しました。
ax6700sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)	• 10GBASE-ZR の記述を追加しました。

【Ver. 10.5 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
ax6300sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)	<ul style="list-style-type: none"> 1000BASE-BX および 1000BASE-SX2 の記述を追加しました。
ax6700sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)	<ul style="list-style-type: none"> 1000BASE-BX および 1000BASE-SX2 の記述を追加しました。

【Ver. 10.4 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
axsAxrpmib グループ (Ring Protocol 情報)	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。

【Ver. 10.3 対応版】

表 変更履歴

項目	追加・変更内容
MIB 体系図	<ul style="list-style-type: none"> pimMIB(61) を追加しました。 ax6700s(9) を追加しました。 ax6700sMib(9) を追加しました。 sFlowMIB(1) を追加しました。
MIB 一覧	<ul style="list-style-type: none"> pimMIB グループを追加しました。 axsStats グループに axsUrpf グループを追加しました。 ax6700sSwitch グループを追加しました。 ax6700sDevice を追加しました。 ax6700sManagement を追加しました。 sFlow グループを追加しました。
pimMIB グループ (IPv4 PIM MIB)	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。
axsUrpf グループ	<ul style="list-style-type: none"> 本項を追加しました。
ax6700sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。
ax6700sDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB)	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。
ax6700sManagementMIB グループ (装置の状態 / 情報の変更を行う)	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。
sflow グループ (InMon プライベート MIB)	<ul style="list-style-type: none"> 本節を追加しました。
サポート MIB トラップ	<ul style="list-style-type: none"> AX6700S シリーズに関するトラップを追加しました。 以下のトラップを追加しました。 <ul style="list-style-type: none"> axsEfmoamUdldPortInactivateTrap axsEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap axsStormDetectTrap axsStormPortInactivateTrap axsStormRecoverTrap

はじめに

対象製品およびソフトウェアバージョン

このマニュアルは AX6700S, AX6600S および AX6300S モデルを対象に記載しています。また, AX6700S, AX6600S および AX6300S のソフトウェア Ver. 11.7 の機能について記載しています。ソフトウェア機能は, 基本ソフトウェア OS-SE およびオプションライセンスによってサポートする機能について記載します。

操作を行う前にこのマニュアルをよく読み, 書かれている指示や注意を十分に理解してください。また, このマニュアルは必要なときにすぐ参照できるように使いやすい場所に保管してください。

なお, このマニュアルでは特に断らないかぎり AX6700S, AX6600S および AX6300S に共通の機能について記載しますが, 機種固有の機能については以下のマークで示します。

【AX6700S】:

AX6700S についての記述です。

【AX6600S】:

AX6600S についての記述です。

【AX6300S】:

AX6300S についての記述です。

また, このマニュアルでは特に断らないかぎり基本ソフトウェア OS-SE の機能について記載しますが, オプションライセンスでサポートする機能については以下のマークで示します。

【OP-BGP】:

オプションライセンス OP-BGP についての記述です。

【OP-DH6R】:

オプションライセンス OP-DH6R についての記述です。

【OP-MBSE】:

オプションライセンス OP-MBSE についての記述です。

【OP-NPAR】:

オプションライセンス OP-NPAR についての記述です。

【OP-VAA】:

オプションライセンス OP-VAA についての記述です。

このマニュアルの訂正について

このマニュアルに記載の内容は, ソフトウェアと共に提供する「リリースノート」および「マニュアル訂正資料」で訂正する場合があります。

対象読者

本装置を利用したネットワークシステムを構築し, 運用するシステム管理者の方を対象としています。また, 次に示す知識を理解していることを前提としています。

- ネットワークシステム管理の基礎的な知識

このマニュアルの URL

このマニュアルの内容は下記 URL に掲載しております。

<http://www.alaxala.com>

マニュアルの読書手順

本装置の導入，セットアップ，日常運用までの作業フローに従って，それぞれの場合に参照するマニュアルを次に示します。

●装置の開梱から，初期導入時の基本的な設定を知りたい

AX6700S クイックスタートガイド (AX67S-Q001)	AX6600S クイックスタートガイド (AX66S-Q001)	AX6300S クイックスタートガイド (AX63S-Q001)
--	--	--

●ハードウェアの設備条件，取扱方法を調べる

AX6700S ハードウェア取扱説明書 (AX67S-H001)	AX6600S ハードウェア取扱説明書 (AX66S-H001)	AX6300S ハードウェア取扱説明書 (AX63S-H001)
--	--	--

●ソフトウェアの機能，コンフィグレーションの設定，運用コマンドを知りたい

▽まず，ガイドで使用する機能や収容条件についてご確認ください。

- | | | |
|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・収容条件 ・ログインなどの基本操作 ・VLAN，スパンニングツリー | <ul style="list-style-type: none"> ・フィルタ，QoS ・レイヤ2認証 ・高信頼化機能 | <ul style="list-style-type: none"> ・IPv4，IPv6パケット中継 ・IPv4，IPv6ルーティング
プロトコル |
|--|---|--|

コンフィグレーションガイド Vol. 1 (AX63S-S001)	コンフィグレーションガイド Vol. 2 (AX63S-S002)	コンフィグレーションガイド Vol. 3 (AX63S-S003)
---	---	---

▽必要に応じて，レファレンスをご確認ください。

- ・コマンドの入カシンタクス，パラメータ詳細について

コンフィグレーション コマンドレファレンス Vol. 1 (AX63S-S004)	コンフィグレーション コマンドレファレンス Vol. 2 (AX63S-S010)	コンフィグレーション コマンドレファレンス Vol. 3 (AX63S-S005)
--	--	--

運用コマンドレファレンス Vol. 1 (AX63S-S006)	運用コマンドレファレンス Vol. 2 (AX63S-S011)	運用コマンドレファレンス Vol. 3 (AX63S-S007)
--	--	--

- ・メッセージとログについて

メッセージ・ログレファレンス (AX63S-S008)

- ・MIBについて

MIBレファレンス (AX63S-S009)

●トラブル発生時の対処方法について知りたい

トラブルシューティングガイド (AX36S-T001)

このマニュアルでの表記

AC	Alternating Current
ACK	ACKnowledge
ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Line
ALG	Application Level Gateway
ANSI	American National Standards Institute
ARP	Address Resolution Protocol
AS	Autonomous System
AUX	Auxiliary
BCU	Basic Control Unit
BGP	Border Gateway Protocol

BGP4	Border Gateway Protocol - version 4
BGP4+	Multiprotocol Extensions for Border Gateway Protocol - version 4
bit/s	bits per second *bpsと表記する場合もあります。
BPDU	Bridge Protocol Data Unit
BRI	Basic Rate Interface
BSU	Basic Switching Unit
CC	Continuity Check
CDP	Cisco Discovery Protocol
CFM	Connectivity Fault Management
CIDR	Classless Inter-Domain Routing
CIR	Committed Information Rate
CIST	Common and Internal Spanning Tree
CLNP	ConnectionLess Network Protocol
CLNS	ConnectionLess Network System
CONS	Connection Oriented Network System
CRC	Cyclic Redundancy Check
CSMA/CD	Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection
CSNP	Complete Sequence Numbers PDU
CST	Common Spanning Tree
CSU	Control and Switching Unit
DA	Destination Address
DC	Direct Current
DCE	Data Circuit terminating Equipment
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
DIS	Draft International Standard/Designated Intermediate System
DNS	Domain Name System
DR	Designated Router
DSAP	Destination Service Access Point
DSCP	Differentiated Services Code Point
DTE	Data Terminal Equipment
DVMRP	Distance Vector Multicast Routing Protocol
E-Mail	Electronic Mail
EAP	Extensible Authentication Protocol
EAPOL	EAP Over LAN
EFM	Ethernet in the First Mile
ES	End System
FAN	Fan Unit
FCS	Frame Check Sequence
FDB	Filtering DataBase
FTTH	Fiber To The Home
GBIC	GigaBit Interface Converter
GSRP	Gigabit Switch Redundancy Protocol
HMAC	Keyed-Hashing for Message Authentication
IANA	Internet Assigned Numbers Authority
ICMP	Internet Control Message Protocol
ICMPv6	Internet Control Message Protocol version 6
ID	Identifier
IEC	International Electrotechnical Commission
IEEE	Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.
IETF	the Internet Engineering Task Force
IGMP	Internet Group Management Protocol
IP	Internet Protocol
IPCP	IP Control Protocol
IPv4	Internet Protocol version 4
IPv6	Internet Protocol version 6
IPV6CP	IP Version 6 Control Protocol
IPX	Internetwork Packet Exchange
ISO	International Organization for Standardization
ISP	Internet Service Provider
IST	Internal Spanning Tree
L2LD	Layer 2 Loop Detection
LAN	Local Area Network
LCP	Link Control Protocol
LED	Light Emitting Diode
LLC	Logical Link Control
LLDP	Link Layer Discovery Protocol
LLPQ	Low Latency Priority Queueing
LLQ+3WFQ	Low Latency Queueing + 3 Weighted Fair Queueing
LLRLQ	Low Latency Rate Limited Queueing
LSP	Label Switched Path
LSP	Link State PDU
LSR	Label Switched Router
MA	Maintenance Association
MAC	Media Access Control

はじめに

MC	Memory Card
MD5	Message Digest 5
MDI	Medium Dependent Interface
MDI-X	Medium Dependent Interface crossover
MEP	Maintenance association End Point
MIB	Management Information Base
MIP	Maintenance domain Intermediate Point
MRU	Maximum Receive Unit
MSTI	Multiple Spanning Tree Instance
MSTP	Multiple Spanning Tree Protocol
MSU	Management and Switching Unit
MTU	Maximum Transfer Unit
NAK	Not AcKnowledge
NAS	Network Access Server
NAT	Network Address Translation
NCP	Network Control Protocol
NDP	Neighbor Discovery Protocol
NET	Network Entity Title
NIF	Network Interface
NLA ID	Next-Level Aggregation Identifier
NPDU	Network Protocol Data Unit
NSAP	Network Service Access Point
NSSA	Not So Stubby Area
NTP	Network Time Protocol
OADP	Octpower Auto Discovery Protocol
OAM	Operations,Administration,and Maintenance
OSPF	Open Shortest Path First
OUI	Organizationally Unique Identifier
packet/s	packets per second *ppsと表記する場合があります。
PAD	PADding
PAE	Port Access Entity
PC	Personal Computer
PCI	Protocol Control Information
PDU	Protocol Data Unit
PICS	Protocol Implementation Conformance Statement
PID	Protocol Identifier
PIM	Protocol Independent Multicast
PIM-DM	Protocol Independent Multicast-Dense Mode
PIM-SM	Protocol Independent Multicast-Sparse Mode
PIM-SSM	Protocol Independent Multicast-Source Specific Multicast
PRI	Primary Rate Interface
PS	Power Supply
PSNP	Partial Sequence Numbers PDU
PSP	Packet Switching Processor
QoS	Quality of Service
RA	Router Advertisement
RADIUS	Remote Authentication Dial In User Service
RDI	Remote Defect Indication
REJ	REJect
RFC	Request For Comments
RGQ	Rate Guaranteed Queueing
RIP	Routing Information Protocol
RIPng	Routing Information Protocol next generation
RMON	Remote Network Monitoring MIB
RPF	Reverse Path Forwarding
RQ	ReQuest
RSTP	Rapid Spanning Tree Protocol
SA	Source Address
SD	Secure Digital
SDH	Synchronous Digital Hierarchy
SDU	Service Data Unit
SEL	NSAP SElector
SFD	Start Frame Delimiter
SFP	Small Form factor Pluggable
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol
SNAP	Sub-Network Access Protocol
SNMP	Simple Network Management Protocol
SNP	Sequence Numbers PDU
SNPA	Subnetwork Point of Attachment
SOP	System Operational Panel
SPF	Shortest Path First
SSAP	Source Service Access Point
STP	Spanning Tree Protocol
TA	Terminal Adapter

TACACS+	Terminal Access Controller Access Control System Plus
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
TLA ID	Top-Level Aggregation Identifier
TLV	Type, Length, and Value
TOS	Type Of Service
TPID	Tag Protocol Identifier
TTL	Time To Live
UDLD	Uni-Directional Link Detection
UDP	User Datagram Protocol
UPC	Usage Parameter Control
UPC-RED	Usage Parameter Control - Random Early Detection
uRPF	unicast Reverse Path Forwarding
VAA	VLAN Access Agent
VLAN	Virtual LAN
VPN	Virtual Private Network
VRF	Virtual Routing and Forwarding/Virtual Routing and Forwarding Instance
VRRP	Virtual Router Redundancy Protocol
WAN	Wide Area Network
WDM	Wavelength Division Multiplexing
WFQ	Weighted Fair Queueing
WGQ	Weighted Guaranteed Queueing
WRED	Weighted Random Early Detection
WS	Work Station
WWW	World-Wide Web
XFP	10 gigabit small Form factor Pluggable

kB(バイト)などの単位表記について

1kB(キロバイト), 1MB(メガバイト), 1GB(ギガバイト), 1TB(テラバイト)はそれぞれ 1024 バイト, 1024^2 バイト, 1024^3 バイト, 1024^4 バイトです。

目次

1	サポート MIB の概要	1
1.1	MIB 体系図	2
1.2	MIB 一覧	4
1.3	プライベート MIB 定義ファイルの入手方法	12
1.4	MIB の記述形式	13
2	標準 MIB(RFC 準拠および IETF ドラフト MIB)	17
2.1	system グループ (MIB-II)	19
2.2	interfaces グループ (MIB-II)	20
2.2.1	interfaces グループ (イーサネットの場合)	20
2.2.2	interfaces グループ (その他の場合)	24
2.3	at グループ (MIB-II)	28
2.4	ip グループ (MIB-II および IP Forward Table MIB)	29
2.4.1	ip	29
2.4.2	ipAddrTable	30
2.4.3	ipRouteTable	31
2.4.4	ipNetToMediaTable	33
2.4.5	ipForward	33
2.5	icmp グループ (MIB-II)	36
2.6	tcp グループ (MIB-II および TCP MIB for IPv6)	38
2.6.1	tcp	38
2.6.2	ipv6TcpConnTable	39
2.7	udp グループ (MIB-II および UDP MIB for IPv6)	41
2.7.1	udp	41
2.7.2	ipv6UdpTable	41
2.8	dot3 グループ (Ethernet Like MIB)	43
2.9	snmp グループ (MIB-II)	45
2.10	ospf グループ (OSPFv2 MIB)	47
2.10.1	ospfGeneralGroup	47
2.10.2	ospfAreaTable	48
2.10.3	ospfStubAreaTable	49
2.10.4	ospfLsdbTable	50
2.10.5	ospfAreaRangeTable	51
2.10.6	ospfHostTable	52
2.10.7	ospfIfTable	52
2.10.8	ospfIfMetricTable	54
2.10.9	ospfVirtIfTable	55
2.10.10	ospfNbrTable	56

2.10.11	ospfVirtNbrTable	57
2.10.12	ospfExtLsdbTable	58
2.10.13	ospfAreaAggregateTable	59
2.10.14	ospfTrap	60
2.11	bgp グループ (BGP4 MIB) 【OP-BGP】	62
2.11.1	bgp	62
2.11.2	bgpPeerTable	62
2.11.3	bgp4PathAttrTable	64
2.12	rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)	66
2.12.1	Ethernet Statistics グループ	66
2.12.2	History Control グループ	68
2.12.3	Ethernet History グループ	69
2.12.4	Alarm グループ	71
2.12.5	Event グループ	73
2.13	dot1dBridge グループ	75
2.13.1	dot1dBase グループ	75
2.13.2	dot1dStp グループ	76
2.13.3	dot1dTp グループ	78
2.13.4	pBridgeMIB グループ	79
2.13.5	qBridgeMIB グループ	81
2.14	ifMIB グループ (Interfaces Group MIB)	89
2.14.1	ifMIB(イーサネットの場合)	89
2.15	ipv6MIB グループ (IPv6 MIB)	93
2.15.1	ipv6MIB	93
2.15.2	ipv6IfTable	93
2.15.3	ipv6IfStatsTable	94
2.15.4	ipv6AddrPrefixTable	96
2.15.5	ipv6AddrTable	97
2.15.6	ipv6RouteTable	98
2.15.7	ipv6NetToMediaTable	100
2.16	ipv6IcmpMIB グループ (ICMPv6 MIB)	102
2.17	vrrpMIB グループ	105
2.17.1	vrrpOperations グループ	105
2.17.2	vrrpStatistics グループ	109
2.18	pimMIB グループ (IPv4 PIM MIB)	112
2.18.1	pimJoinPruneInterval	112
2.18.2	pimInterfaceTable	112
2.18.3	pimNeighborTable	113
2.19	ospfv3MIB グループ (OSPFv3 MIB)	115
2.19.1	ospfv3GeneralGroup	115
2.19.2	ospfv3AreaTable	116
2.19.3	ospfv3AsLsdbTable	117

2.19.4	ospfv3AreaLsdbTable	118
2.19.5	ospfv3LinkLsdbTable	119
2.19.6	ospfv3IfTable	120
2.19.7	ospfv3VirtIfTable	122
2.19.8	ospfv3NbrTable	123
2.19.9	ospfv3VirtNbrTable	125
2.19.10	ospfv3AreaAggregateTable	126
2.20	IEEE8023-LAG-MIB グループ	128
2.20.1	dot3adAgg グループ	128
2.20.2	dot3adAggPort グループ	129
2.20.3	dot3adTablesLastChanged グループ	133
2.21	IEEE802.1X MIB グループ	134
2.22	snmpModules グループ	143
2.22.1	snmpFrameworkMIB グループ (SNMP FRAMEWORK MIB)	143
2.22.2	snmpMPDMIB グループ (SNMP MPD MIB)	143
2.22.3	snmpTargetMIB グループ (SNMP TARGET MIB)	144
2.22.4	snmpNotificationMIB グループ (SNMP NOTIFICATION MIB)	147
2.22.5	snmpProxyMIB グループ (SNMP PROXY MIB)	149
2.22.6	snmpUsmMIB グループ (SNMP USER BASED SM MIB)	150
2.22.7	snmpVacmMIB グループ (SNMP VIEW BASED ACM MIB)	152
2.22.8	snmpCommunityMIB グループ (SNMP COMMUNITY MIB)	156
2.23	ieee8021CfmMib グループ	158
2.23.1	dot1agCfmStackTable	158
2.23.2	dot1agCfmDefaultMd	159
2.23.3	dot1agCfmVlanTable	160
2.23.4	dot1agCfmConfigErrorListTable	161
2.23.5	dot1agCfmMd	162
2.23.6	dot1agCfmMaNetTable	163
2.23.7	dot1agCfmMaCompTable	164
2.23.8	dot1agCfmMaMepListTable	165
2.23.9	dot1agCfmMepTable	166
2.23.10	dot1agCfmLtrTable	170
2.23.11	dot1agCfmMepDbTable	172

3

プライベート MIB	175	
3.1	axsStats グループ (統計情報 MIB)	177
3.1.1	axsIfStats グループ	177
3.1.2	axsQoS グループ	178
3.1.3	axsDHCP グループ	183
3.1.4	axsUrpf グループ	184
3.2	axsGsrpMIB グループ (GSRP グループ情報)	185
3.2.1	axsGsrpGroupTable グループ	185

3.2.2	axsGsrpVlanGroupTable グループ	185
3.2.3	axsGsrpNeighborGroupTable グループ	186
3.2.4	axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループ	187
3.3	axsFdb グループ (MAC アドレステーブルグループ MIB)	189
3.4	axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB)	190
3.4.1	axsVlanBridge グループ (dot1dBase 情報)	190
3.4.2	axsVlanTagTranslation グループ (Tag 変換情報 MIB)	199
3.5	axsOadp グループ (OADP 情報 MIB)	201
3.5.1	axsOadpGlobalInfo グループ	201
3.5.2	axsOadpPortInfo グループ	202
3.5.3	axsOadpNeighborInfo グループ	202
3.6	axsFlow グループ (FLOW 情報 MIB)	206
3.6.1	axsAccessFilterStats グループ	206
3.6.2	axsQosFlowStats グループ	210
3.7	axsL2ldMIB グループ (L2 ループ検知情報 MIB)	218
3.7.1	axsL2ldGlobalInfo グループ	218
3.7.2	axsL2ldPortTable グループ	218
3.8	axsVrflMIB グループ (VRF 情報 MIB) 【OP-NPAR】	220
3.8.1	axsVrflp グループ	220
3.8.2	axsVrflpForward グループ	221
3.8.3	axsVrflpv6 グループ	223
3.8.4	axsVrflpv6Forward グループ	225
3.9	axsOspfMIB グループ (マルチバックボーン OSPF 情報 MIB)	228
3.9.1	axsOspfGeneralTable	228
3.9.2	axsOspfAreaTable	229
3.9.3	axsOspfStubAreaTable	230
3.9.4	axsOspfLsdbTable	231
3.9.5	axsOspfAreaRangeTable	232
3.9.6	axsOspfIfTable	232
3.9.7	axsOspfIfMetricTable	234
3.9.8	axsOspfVirtIfTable	235
3.9.9	axsOspfNbrTable	236
3.9.10	axsOspfVirtNbrTable	237
3.9.11	axsOspfExtLsdbTable	238
3.9.12	axsOspfAreaAggregateTable	239
3.9.13	axsOspfTrap	240
3.10	axsOspfV3MIB グループ (マルチバックボーン OSPFv3 情報 MIB)	242
3.10.1	axsOspfV3GeneralTable	242
3.10.2	axsOspfV3AreaTable	243
3.10.3	axsOspfV3AsLsdbTable	244
3.10.4	axsOspfV3AreaLsdbTable	245
3.10.5	axsOspfV3LinkLsdbTable	246

3.10.6	axsOspfV3IfTable	247
3.10.7	axsOspfV3VirtIfTable	249
3.10.8	axsOspfV3NbrTable	250
3.10.9	axsOspfV3VirtNbrTable	251
3.10.10	axsOspfV3AreaAggregateTable	252
3.11	axsStatic グループ (スタティック経路情報 MIB)	254
3.11.1	axsStaticTable グループ	254
3.11.2	axsStaticIpv6Table グループ	254
3.12	axsTrackObjectMIB グループ (トラック情報 MIB)	256
3.12.1	axsTrackObjectGeneralGroup	256
3.12.2	axsTrackObjectTable	256
3.13	axsPolicyBase グループ (ポリシーベース情報 MIB)	258
3.13.1	axsPolicyBaseRouting グループ	258
3.13.2	axsPolicyBaseSwitching グループ	258
3.14	axsBootManagement グループ (システム起動情報 MIB)	259
3.15	axsLogin グループ (ログイン情報 MIB)	260
3.16	axsLldp グループ (LLDP 情報 MIB)	263
3.16.1	axsLldpConfiguration グループ	263
3.16.2	axsLldpStats グループ	264
3.16.3	axsLldpLocalSystemData グループ	265
3.16.4	axsLldpRemoteSystemData グループ	268
3.16.5	axsLldpRemoteOriginInfoData グループ	271
3.17	axsAxpMIB グループ (Ring Protocol 情報)	274
3.17.1	axsAxpGroupTable グループ	274
3.17.2	axsAxpVlanGroupTable グループ	275
3.18	axsPconMIB グループ (消費電力情報 MIB)	277
3.18.1	axsPconModuleData グループ	277
3.18.2	axsPconPowerCon グループ	278
3.18.3	axsPconTraffic グループ	279
3.19	ax6700sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB)	282
3.20	ax6700sDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB)	285
3.20.1	ax6700sChassis グループの実装仕様 (筐体情報)	285
3.20.2	ax6700sChassis グループの実装仕様 (電源機構情報)	286
3.20.3	ax6700sChassis グループの実装仕様 (ファン情報)	287
3.20.4	ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報)	287
3.20.5	ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (温度情報)	290
3.20.6	ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報)	291
3.20.7	ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報)	291
3.20.8	ax6700sBsuBoard グループの実装仕様 (BSU 情報)	292
3.20.9	ax6700sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報)	293
3.20.10	ax6700sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)	295
3.20.11	ax6700sInterface グループの実装仕様 (インタフェースインデックス情報)	296

3.21	ax6700sManagementMIB グループ (装置の状態 / 情報の変更を行う)	298
3.21.1	ax6700sFdbClearMIB グループ (MAC アドレステーブル Clear 用 MIB)	298
3.22	ax6600sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB)	299
3.23	ax6600sDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB)	302
3.23.1	ax6600sChassis グループの実装仕様 (筐体情報)	302
3.23.2	ax6600sChassis グループの実装仕様 (電源機構情報)	303
3.23.3	ax6600sChassis グループの実装仕様 (ファン情報)	303
3.23.4	ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (CSU 情報)	304
3.23.5	ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (温度情報)	307
3.23.6	ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (MC 情報)	308
3.23.7	ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報)	308
3.23.8	ax6600sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報)	309
3.23.9	ax6600sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)	311
3.23.10	ax6600sInterface グループの実装仕様 (インタフェースインデックス情報)	312
3.24	ax6600sManagementMIB グループ (装置の状態 / 情報の変更を行う)	314
3.24.1	ax6600sFdbClearMIB グループ (MAC アドレステーブル Clear 用 MIB)	314
3.25	ax6300sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB)	315
3.26	ax6300sDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB)	318
3.26.1	ax6300sChassis グループの実装仕様 (筐体情報)	318
3.26.2	ax6300sChassis グループの実装仕様 (電源機構情報)	319
3.26.3	ax6300sChassis グループの実装仕様 (ファン情報)	319
3.26.4	ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (MSU 情報)	320
3.26.5	ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (温度情報)	322
3.26.6	ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (MC 情報)	323
3.26.7	ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報)	324
3.26.8	ax6300sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報)	325
3.26.9	ax6300sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)	326
3.26.10	ax6300sInterface グループの実装仕様 (インタフェースインデックス情報)	328
3.27	ax6300sManagementMIB グループ (装置の状態 / 情報の変更を行う)	329
3.27.1	ax6300sFdbClearMIB グループ (MAC アドレステーブル Clear 用 MIB)	329
3.28	icmp グループ (HP プライベート MIB)	330
3.29	sFlow グループ (InMon プライベート MIB)	331
4	サポート MIB トラップ	333
4.1	サポートトラップおよびインフォームの種類と発行契機	334
4.2	サポートトラップおよびインフォーム -PDU 内パラメータ 【AX6700S】	344
4.3	サポートトラップおよびインフォーム -PDU 内パラメータ 【AX6600S】	358
4.4	サポートトラップおよびインフォーム -PDU 内パラメータ 【AX6300S】	372

付録	385
付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値	386
付録 A.1 プライベート MIB	386
付録 A.2 HP プライベート MIB	425
付録 A.3 InMon プライベート MIB	425
索引	427

1

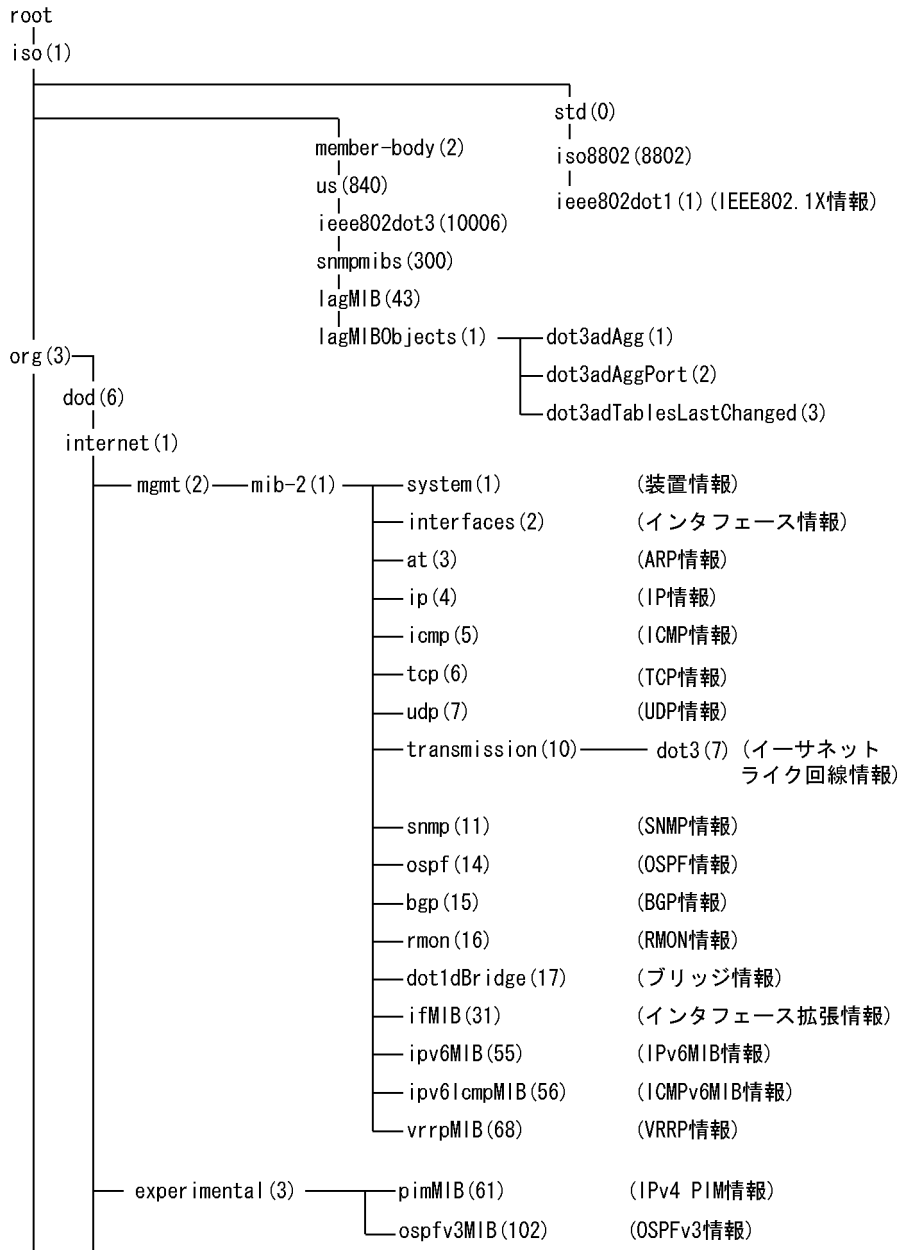
サポート MIB の概要

-
- 1.1 MIB 体系図
 - 1.2 MIB 一覧
 - 1.3 プライベート MIB 定義ファイルの入手方法
 - 1.4 MIB の記述形式
-

1.1 MIB 体系図

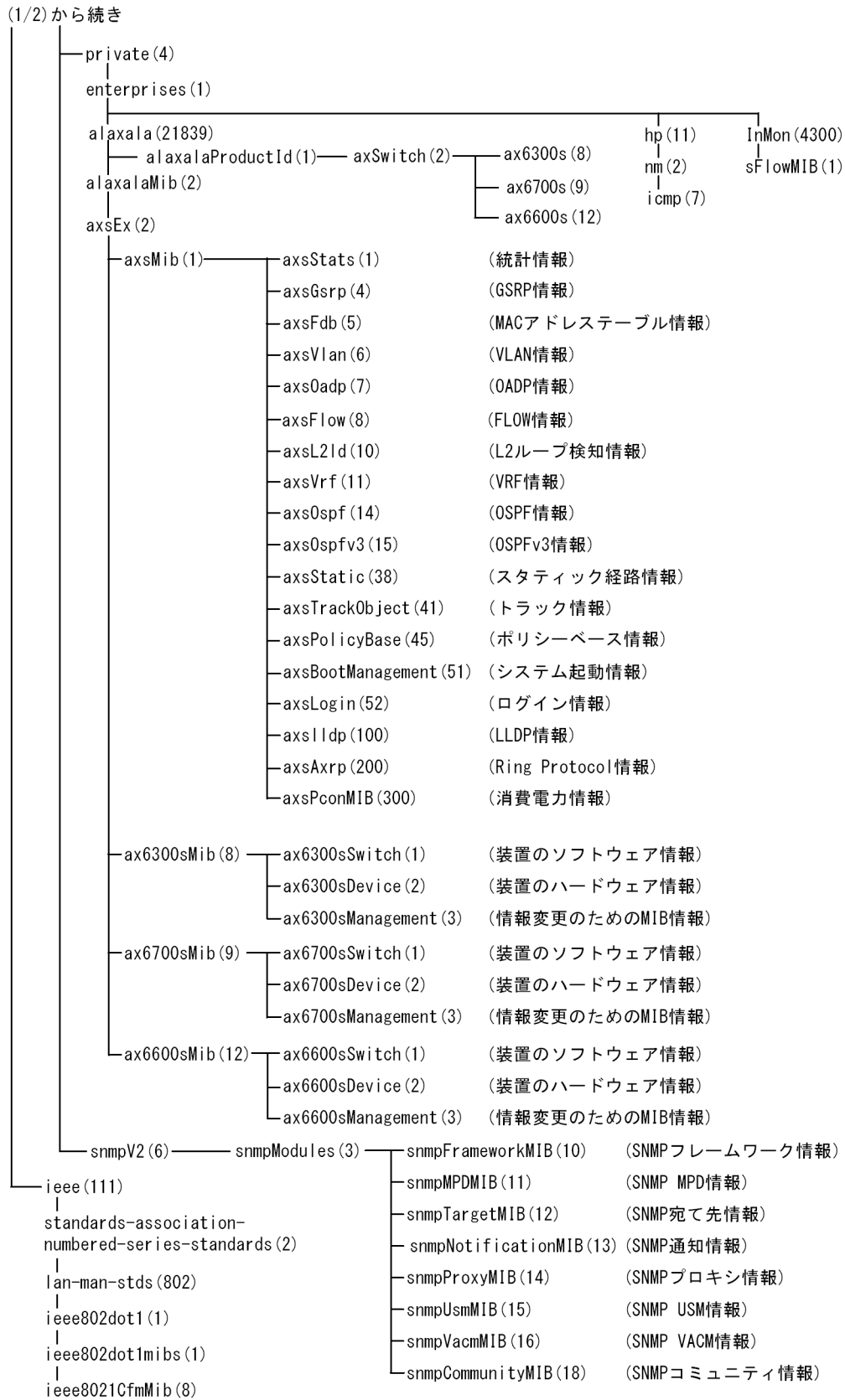
本装置でサポートする MIB 体系図を (1/2) と (2/2) に示します。

図 1-1 MIB 体系図 (1/2)



(2/2)に続く

図 1-2 MIB 体系図 (2/2)



1.2 MIB 一覧

サポート MIB を次の表に示します。

表 1-1 MIB グループ一覧

MIB グループ		機能	サポ ート	
標準 MIB	system グループ	装置に関する情報の MIB です。		
	interfaces グループ	インタフェースに関する情報の MIB です。		
	at グループ	ARP テーブルに関する情報の MIB です。		
	ip グループ	ip	IP 情報の MIB です。	
		ipAddrTable	IP アドレスに関するアドレッシングテーブル情報の MIB です。	
		ipRouteTable	IP ルーティングテーブルに関する情報の MIB です。	
		ipNetToMediaTable	IP アドレス変換テーブルに関する情報の MIB です。	
		ipForward	IP フォワーディングテーブルに関する情報の MIB です。	
	icmp グループ	ICMP 情報の MIB です。		
	tcp グループ	tcp	TCP 情報の MIB です。	
		ipv6TcpConnTable	IPv6 に関する TCP 情報の MIB です。	
	udp グループ	udp	UDP 情報の MIB です。	
		ipv6UdpTable	IPv6 に関する UDP 情報の MIB です。	
	dot3 グループ	イーサネットライクインタフェースに関する情報の MIB です。		
	snmp グループ	SNMP 情報の MIB です。		
	ospf グループ	ospfGeneralGroup	OSPF 情報の MIB です。	
		ospfAreaTable	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
		ospfStubAreaTable	エリアボーダルータによってスタブエリア内に広告される情報のテーブルの MIB です。	
		ospfLsdbTable	OSPF プロセスのリンク状態データベース (LSDB) に関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
ospfAreaRangeTable		ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するテーブルの MIB です。		
ospfHostTable		ルータがホストルートとして広告するホストとメトリックの MIB 情報です。	×	
ospfIfTable		ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。		
ospfIfMetricTable		各インタフェースのサービスタイプメトリック情報を格納するテーブルの MIB です。		

MIB グループ		機能	サポ ート
	ospfVirtIfTable	ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	
	ospfNbrTable	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブルの MIB です。	
	ospfVirtNbrTable	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブルの MIB です。	
	ospfExtLsdbTable	OSPF 処理のリンク状態データベース (LSDB) テーブルに関する MIB です。	
	ospfAreaAggregateTable	IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレステーブルに関する MIB です。	
	ospfTrap	トラップまたはインフォームに関する MIB です。	
bgp グループ 【OP-BGP】	bgp	BGP 情報の MIB です。	
	bgpPeerTable	bgp ピアテーブルに関する MIB です。	
	bgpPathAttrTable	BGP4 から受信したパス情報に関する MIB です。	
rmon グループ	Ethernet Statistics Group	イーサネットインタフェースの統計情報に関するテーブルの MIB です。	
	History Control Group	イーサネットの統計情報の来歴制御テーブルに関する MIB です。	
	Ethernet History Group	イーサネットの統計情報の来歴テーブルに関する MIB です。	
	Alarm Group	アラームテーブルに関する情報の MIB です。	
	Host Group	Host グループに関する情報の MIB です。	×
	Host Top"N"	HostTopN グループに関する情報の MIB です。	×
	Matrix	Matrix グループに関する情報の MIB です。	×
	Filter	Filter グループに関する情報の MIB です。	×
	Packet Capture	PacketCapture グループに関する情報の MIB です。	×
Event Group	RMON エージェントによって生成されるイベントのテーブルに関する MIB です。		
dot1dBridge グループ	dot1dBase グループ	ブリッジの情報です。	
	dot1dStp グループ	スパニングツリー・プロトコルの情報です。	
	dot1dTp グループ	ブリッジのフォワーディング情報です。	
	dot1dStatic グループ	フィルタリング情報です。	×
	pBridgeMIB グループ	優先制御とマルチキャスト・フィルタリングの情報です。	
	qBridgeMIB グループ	仮想ブリッジ情報です。	
ifMIB グループ	インタフェース拡張情報の MIB です。		
ipv6MIB グループ	ipv6MIB ipv6 general グループ	IPv6 インタフェースに関する MIB です。	

1. サポート MIB の概要

MIB グループ		機能	サポ ート
	ipv6IfTable	ネットワークレイヤインタフェース (V6) のテーブルに関する MIB です。	
	ipv6IfStatsTable	IPv6 インタフェーストラフィックの統計情報テーブルに関する MIB です。	
	ipv6AddrPrefixTable	IPv6 インタフェースのアドレス prefix のテーブルに関する MIB です。	
	ipv6AddrTable	インタフェースアドレステーブルに関する MIB です。	
	ipv6RouteTable	IPv6 ルーティングテーブルに関する MIB です。	
	ipv6NetToMediaTable	IPv6 アドレス変換テーブルに関する MIB です。	
ipv6IcmpMIB グループ		IPv6 ICMP MIB です。	
vrrpMIB グループ	vrrpOperations グループ	VRRP ルータの構成と制御情報に関する MIB です。	
	vrrpStatistics グループ	VRRP パケットに関する統計情報の MIB です。	
	vrrpNotifications グループ	VRRP ルータから送出される VRRP トラップに関する MIB 情報です。	×
pimMIB グループ	pimJoinPruneInterval	PIM-SM Join/Prune メッセージ送信周期に関する MIB です。	
	pimInterfaceTable	PIM インタフェーステーブル情報に関する MIB です。	
	pimNeighborTable	PIM 近隣テーブル情報に関する MIB です。	
	pimIpMRouteTable	PIM ルーティングテーブル情報に関する MIB です。	×
	pimRPTable	PIM version1 用の RP 情報テーブルに関する MIB です。	×
	pimRPSetTable	RP 候補情報テーブルに関する MIB です。	×
	pimIpMRouteNextHopTable	PIM ルーティング Next Hop テーブル情報に関する MIB です。	×
	pimCandidateRPTable	RP 候補のときに広告するグループ情報に関する MIB です。	×
ospfv3MIB グループ	ospfv3GeneralGroup	OSPFv3 情報の MIB です。	
	ospfv3AreaTable	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
	ospfv3AsLsdbTable	OSPFv3 の AS Scope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
	ospfv3AreaLsdbTable	OSPFv3 の AreaScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	

MIB グループ		機能	サポ ート	
	ospfv3LinkLsdbTable	OSPFv3 の LinkScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。		
	ospfv3IfTable	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブルに関する MIB です。		
	ospfv3VirtIfTable	ルータが接続する仮想リンクのインタフェース情報を格納するテーブルに関する MIB です。		
	ospfv3NbrTable	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブルに関する MIB です。		
	ospfv3VirtNbrTable	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブルの MIB です。		
	ospfv3AreaAggregateTable	Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6Prefix のテーブルに関する MIB です。		
IEEE8023-LAG-MIB グループ	dot3adAgg グループ	Aggregator に関する情報です。		
	dot3adAggPort グループ	すべての AggregationPort についての Link Aggregation Control 情報です。		
IEEE802.1X MIB グループ		IEEE802.1X に関する MIB です。		
snmpModules グループ	snmpFrameworkMIB グループ	SNMP フレームワークに関する MIB です		
	snmpMPDMIB グループ	SNMP メッセージとディスパッチャに関する MIB です。		
	snmpTargetMIB グループ	SNMP 宛て先情報に関する MIB です		
	snmpNotificationMIB グループ	SNMP 通知情報に関する MIB です		
	snmpProxyMIB グループ	SNMP プロキシに関する MIB です	×	
	snmpUsmMIB グループ	SNMP ユーザベースセキュリティモデルに関する MIB です		
	snmpVacmMIB グループ	SNMP ビューベースアクセス制御モデルに関する MIB です		
	snmpCommunityMIB グループ	SNMPv1 , v2C , v3 の共存に関する MIB です	×	
ieee8021CfmMib グループ		ieee8021Cfm に関する MIB です。		
プライベート MIB	axsStats グループ	axsIfStats グループ	メガ単位インタフェース統計の MIB です。	
		axsQoS グループ	QoS 統計情報に関する MIB です。	
		axsDHCP グループ	DHCP サーバに関する統計情報の MIB です。	
		axsUrpf グループ	uRPF に関する統計情報の MIB です。	
	axsGsrpMIB グループ	axsGsrpGroupTable グループ	GSRP グループ情報を格納するテーブルに関する MIB です。	
		axsGsrpVlanGroupTable グループ	GSRP VLAN グループ情報を格納するテーブルに関する MIB です。	

1. サポート MIB の概要

MIB グループ		機能	サポ ート
	axsGsrpNeighborGroupTable グループ	対向装置の GSRP グループ情報を格納するテーブルに関する MIB です。	
	axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループ	対向装置の GSRP VLAN グループ情報を格納するテーブルに関する MIB です。	
axsFdb グループ	axsFdbCounterTable	MAC アドレステーブル学習数に関する情報テーブルに関する MIB です。	
axsVlan グループ	axsVlanBridge グループ	VLAN ごとの Bridge-MIB に関する MIB です。	
	axsVlanTagTranslation グループ	Tag 変換に関する情報テーブルの MIB です。	
axsOadp グループ	axsOadpGlobalInfo グループ	OADP 機能の active 状態に関する MIB です。	
	axsOadpPortInfo グループ	OADP ポート情報に関する MIB です。	
	axsOadpNeighborInfo グループ	OADP 隣接ノードに関する MIB です。	
axsFlow グループ	axsAccessFilterStats グループ	アクセスリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報に関する MIB です。	
	axsQosFlowStats グループ	QoS フローリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報に関する MIB です。	
axsL2ld グループ	axsL2ldGlobalInfo グループ	L2 ループ検知の情報に関する MIB です。	
	axsL2ldPortTable グループ	L2 ループ検知のポート情報を格納するテーブルに関する MIB です。	
axsVrf グループ 【OP-NPAR】	axsVrfIp グループ	IPv4 に関する VRF の情報の MIB です。	
	axsVrfIpForward グループ	VRF の IPv4 経路情報を格納するテーブルに関する MIB です。	
	axsVrfIpv6 グループ	IPv6 に関する VRF の情報の MIB です。	
	axsVrfIpv6Forward グループ	VRF の IPv6 経路情報を格納するテーブルに関する MIB です。	
axsOspfMIB グループ	axsOspfGeneralTable	OSPF 情報を格納するテーブルに関する MIB です。	
	axsOspfDomainAreaTable	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfStubAreaTable	エリアボーダルータによってスタブエリア内に広告される情報のテーブルに関する MIB です。	
	axsOspfLsdbTable	OSPF プロセスのリンク状態データベース (LSDB) に関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfAreaRangeTable	ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfIfTable	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	

MIB グループ		機能	サポ ート
	axsOspfIfMetricTable	各インタフェースのサービスタイプメトリック情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfVirtIfTable	ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfNbrTable	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfVirtNbrTable	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfExtLsdbTable	OSPF 処理のリンク状態データベース (LSDB) のテーブルの MIB です。	
	axsOspfAreaAggregateTable	IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのテーブルの MIB です。	
	axsOspfTrap	トラップまたはインフォームに関する MIB です。	
axsOspfv3 グループ	axsOspfv3GeneralTable	OSPFv3 情報の MIB です。	
	axsOspfv3AreaTable	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfv3AsLsdbTable	OSPFv3 の AS Scope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfv3AreaLsdbTable	OSPFv3 の AreaScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfv3LinkLsdbTable	OSPFv3 の LinkScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfv3IfTable	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリストの MIB です。	
	axsOspfv3VirtIfTable	ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfv3NbrTable	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfv3VirtNbrTable	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsOspfv3AreaAggregateTable	Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のテーブルに関する MIB です。	
axsStatic グループ	axsStaticTable グループ	スタティック情報を格納するテーブルに関する MIB です。	
	axsStaticIpv6Table グループ	IPv6 スタティック情報を格納するテーブルに関する MIB です。	
axsTrackObjectMIB グループ	axsTrackObjectGeneralGroup	トラックオブジェクト情報の中での、最終変更時刻に関する MIB です。	
	axsTrackObjectTable	トラックオブジェクト情報を格納するテーブルに関する MIB です。	

1. サポート MIB の概要

MIB グループ		機能	サポ ート
axsPolicyBase グループ	axsPolicyBaseRouting グループ	ポリシーベースルーティングの経路情報の状態変化に関するトラップで使用される MIB です。	
	axsPolicyBaseSwitching グループ	ポリシーベーススイッチングの送信先インタフェース情報の状態変化に関するトラップで使用される MIB です。	
axsBootManagement グループ		システム起動に関する MIB です。	
axsLogin グループ		ログインに関する MIB です。	
axslldp グループ	axslldpConfiguration グループ	LLDP のコンフィギュレーションの MIB です。	
	axslldpStats グループ	LLDP の統計情報の MIB です。	
	axslldpLocalSystemData グループ	LLDP の本装置に関する情報の MIB です。	
	axslldpRemoteSystemData グループ	LLDP の本装置と接続している隣接装置に関する情報の MIB です。	
	axslldpRemoteOriginInfoData グループ	LLDP の弊社独自 TLV 情報の MIB です。	
axsAxpMIB グループ	axsAxpGroupTable グループ	Ring Protocol グループ情報に関する MIB です。	
	axsAxpVlanGroupTable グループ	Ring Protocol VLAN グループ情報に関する MIB です。	
axsPconMIB グループ	axsPconModuleData グループ	装置、またはボードごとの稼働状態、電力動作モードに関する情報を格納するテーブルの MIB です。	
	axsPconPowerCon グループ	装置全体、筐体またはボードの消費電力情報テーブルの MIB です。	
	axsPconTraffic グループ	装置全体またはボードのトラフィック情報テーブルの MIB です。	
ax6700sSwitch グループ		装置のモデル情報の MIB です。	
ax6700sDevice	ax6700sChassis グループ	装置の筐体情報の MIB です。	
	ax6700sBcuBoard グループ	装置の BCU 情報の MIB です。	
	ax6700sBsuBoard グループ	装置の BSU 情報の MIB です。	
	ax6700sNifBoard グループ	装置の NIF 情報の MIB です。	
	ax6700sPhysLine グループ	装置のインタフェース情報の MIB です。	
	ax6700sInterface グループ	装置のインタフェースインデックスの MIB です。	
ax6700sManagement	ax6700sFdbClearMIB グループ	MAC アドレステーブル情報をクリアするための MIB です。	
ax6600sSwitch グループ		装置のモデル情報の MIB です。	
ax6600sDevice	ax6600sChassis グループ	装置の筐体情報の MIB です。	
	ax6600sCsuBoard グループ	装置の CSU 情報の MIB です。	

MIB グループ		機能	サポ ート
	ax6600sNifBoard グループ	装置の NIF 情報の MIB です。	
	ax6600sPhysLine グループ	装置のインタフェース情報の MIB です。	
	ax6600sInterface グループ	装置のインタフェースインデックスの MIB です。	
ax6600sManagement	ax6600sFdbClearMIB(グループ)	MAC アドレステーブル情報をクリアするための MIB です。	
ax6300sSwitch グループ		装置のモデル情報の MIB です。	
ax6300sDevice	ax6300sChassis グループ	装置の筐体情報の MIB です。	
	ax6300sMsuBoard グループ	装置の MSU 情報の MIB です。	
	ax6300sNifBoard グループ	装置の NIF 情報の MIB です。	
	ax6300sPhysLine グループ	装置のインタフェース情報の MIB です。	
	ax6300sInterface グループ	装置のインタフェースインデックスの MIB です。	
ax6300sManagement	ax6300sFdbClearMIB グループ	MAC アドレステーブル情報をクリアするための MIB です。	
icmp グループ (HP プライベート MIB)		HP 社のプライベート MIB です。	
sFlow グループ (InMon プライベート MIB)		InMon 社のプライベート MIB です。	

(凡例) : 本装置でサポートしています。 × : 本装置ではサポートしていません。

1.3 プライベート MIB 定義ファイルの入手方法

プライベート MIB 定義ファイル (ASN.1) は、ソフトウェアと共に提供いたします。

1.4 MIB の記述形式

このマニュアルで記述しているサポート MIB の記述形式について説明します。各 MIB はグループごとに識別子および実装仕様を記述しています。

識別子

オブジェクト識別子の公認された記述形式です。

(例) プライベート MIB `axsStats` グループの識別子の記述形式とオブジェクト ID 値を次に示します。

```
識別子          axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1
```

プライベート MIB のオブジェクト ID 値については、「付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値」を参照してください。

実装仕様

各 MIB の実装仕様を表で説明しています。`axsStats` グループの実装仕様を例に、表の項目について説明します。`axsStats` グループの実装仕様の例を次の表に示します。

表 1-2 `axsStats` グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	<code>axsIfStatsTable</code> { <code>axsIfStatsTable 1</code> }	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースの拡張統計情報テーブル。	
2	<code>axsIfStatsEntry</code> { <code>axsIfStatsTable 1</code> }	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースの拡張統計情報テーブルのエントリ。 INDEX { <code>axsIfStatsIndex</code> }	
3	<code>axsIfStatsIndex</code> { <code>axsIfStatsEntry 1</code> }	NOT-ACCESSIBLE	NA	本装置のインタフェースインデックス。 <code>ifIndex</code> と同じ。	
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

オブジェクト識別子

MIB のオブジェクト識別子の名称を示しています。

SYNTAX

プライベート MIB で使用している SYNTAX の意味を次の表に示します。なお、SYNTAX はプライベート MIB の実装仕様だけで説明しています。

表 1-3 プライベート MIB で使用している SYNTAX の意味

項番	SYNTAX	SYNTAX の説明
1	Counter	0..4294967295($2^{32}-1$) まで増加し、また 0 に戻る整数値。
2	Counter32	0..4294967295($2^{32}-1$) まで増加し、また 0 に戻る整数値。
3	Counter64	0..18446744073709551615($2^{64}-1$) まで増加し、また 0 に戻る整数値。
4	DisplayString	0 個以上 255 文字以下の文字列 (各バイトは、NVT ASCII 値)。
5	Gauge	値は増減できる、0 またはそれ以上の整数 (0..4294967295)。

1. サポート MIB の概要

項番	SYNTAX	SYNTAX の説明
6	INTEGER	-2147483648..2147483647($-2^{31}..2^{31}-1$) の範囲の整数情報を表す。
7	Integer32	-2147483648..2147483647($-2^{31}..2^{31}-1$) の範囲の整数情報を表す。
8	OCTET STRING	0 個以上の文字列 (8 ビット単位)。各バイトは、0..255。
9	IpAddress	4 バイトの OCTET STRING (32 ビットの IP アドレスを格納)。
10	Ipv6Address	16 バイトの OCTET STRING (128 ビットの IPv6 アドレスを格納)。
11	OBJECT IDENTIFIER	サブ識別子の順序固定リストを格納。
12	MacAddress	IEEE802.1a で定義された正規の順序で表される 802MAC アドレス。 OCTET STRING タイプ。
13	RowStatus	概念上の行エントリの生成や削除を制御するための SYNTAX タイプ。
14	TimeStamp	あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒単位で計るタイムスタンプ。
15	TimeTicks	正の整数で、あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒単位で表す。
16	BITS	名前付きビット列で対応するビットに 1 を割り当て、0 個以上の文字列 (8 ビット単位) で表す。名前付きビットの 0 が最上位ビットに対応し、各名前付きビットの論理和が GetResponse で返却される。 例) 名前付きビットの 0 と 6 が有効である場合、GetResponse で返却される値は 0x82 となる。
17	NOT-ACCESSIBLE	アクセス不可。
18	PortList	ポートのビットマップとなっており、有効なポートに対応するビットに 1 を割り当てる。本装置では、ポートの ifIndex 番号に対応したビットに 1 を割り当てる。
19	VlanIndex	VLAN のインデックス番号 (1..4095) を表す。
20	AddressFamilyNumbers	IANA が割り当てたアドレス番号。
21	PhysAddress	物理アドレス。
22	VlanIdOrZero	VLAN のインデックス番号 (1..4095) または該当する VLAN がいないとき 0 で表す。
23	SnmpAdminString	管理情報を含む文字列。DisplayString タイプ。
24	InetAddressType	インターネットアドレスのタイプ。
25	InetAddress	インターネットアドレス。OCTET STRING タイプ。
26	OwnerString	0 ~ 127 文字の文字列。管理上割り当てられたリソースの所有者の名前を表す。DisplayString タイプ。
27	BridgeId	スパンニングツリーで使用されるブリッジ識別子。OCTET STRING タイプ。
28	Timeout	100 分の 1 秒単位の STP タイマ。
29	TruthValue	真偽値。
30	InterfaceIndex	システムが管理している ifIndex 番号。1..2147483647($2^{31}-1$) の範囲の整数値。
31	Unsigned32	0..4294967295($2^{32}-1$) の範囲の整数情報。
32	TimeFilter	正の整数で、あるイベントからの時間を 100 分の 1 秒単位で表すインデックス番号。

アクセス

- R/O : 規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Only であることを示します。
- R/W : 規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Write であることを示します。
- R/NW : 規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Write ですが、本装置では Read_Only と

なっていることを示します。

- R/C：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Create であることを示します。
- R/NC：規格ドキュメント上の MIB アクセスが Read_Create ですが、本装置では Read_Only となっていることを示します。
- AN：規格ドキュメント上の MIB アクセスが accessible-for-notify であることを示します。Object の取得および設定ができませんが、トラップまたはインフォームの variable として読み取ることができます。
- NA：規格ドキュメント上の MIB アクセスが not-accessible であることを示します。

実装仕様

[規格]：規格ドキュメントの規格概要を記述しています。

[実装]：本装置での実装仕様を記述しています。

実装有無

- ○：本装置でサポート（応答）する MIB を示しています。ただし、アクセス欄が「NA」の場合、MIB の応答はしません。また使用する機能によって応答するものが変わりますので注意してください。
- △：本装置でサポート（応答）する MIB ですが、統計カウンタで本装置がカウントできないため、固定値を応答する MIB を示しています。
- ×：本装置でサポート（応答）しない MIB を示しています。

2

標準 MIB(RFC 準拠および IETF ドラフト MIB)

この章では本装置で使用する標準 MIB の実装仕様について説明します。

2.1	system グループ (MIB-II)
2.2	interfaces グループ (MIB-II)
2.3	at グループ (MIB-II)
2.4	ip グループ (MIB-II および IP Forward Table MIB)
2.5	icmp グループ (MIB-II)
2.6	tcp グループ (MIB-II および TCP MIB for IPv6)
2.7	udp グループ (MIB-II および UDP MIB for IPv6)
2.8	dot3 グループ (Ethernet Like MIB)
2.9	snmp グループ (MIB-II)
2.10	ospf グループ (OSPFv2 MIB)
2.11	bgp グループ (BGP4 MIB) 【OP-BGP】
2.12	rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)
2.13	dot1dBridge グループ
2.14	ifMIB グループ (Interfaces Group MIB)
2.15	ipv6MIB グループ (IPv6 MIB)
2.16	ipv6IcmpMIB グループ (ICMPv6 MIB)
2.17	vrrpMIB グループ
2.18	pimMIB グループ (IPv4 PIM MIB)
2.19	ospfv3MIB グループ (OSPFv3 MIB)
2.20	IEEE8023-LAG-MIB グループ
2.21	IEEE802.1X MIB グループ

2.22 snmpModules グループ

2.23 ieee8021CfmMib グループ

2.1 system グループ (MIB-II)

system グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3418 (2002 年 12 月)

(1) 識別子

```
system OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.1
```

(2) 実装仕様

system グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-1 system グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sysDescr {system 1}	R/O	[規格] ハードウェア, OS, ネットワーク OS の名称またはバージョン No。 [実装] 会社名 装置型名 装置モデル ソフトウェア名称 ソフトウェア型名 ソフトウェアバージョン ソフトウェア略称を含む文字列。 (例) AX6300S の場合 "Alaxala AX6300S AX-xxxx-xx [AX63xxS-xx] Switching Software Ver. 10.4 [OS-xx]" AX-xxxx-xx : 装置型名 AX63xxS-xx : 装置モデル Switching Software : ソフトウェア名称 Ver. 10.4 : ソフトウェアバージョン OS-xx : ソフトウェア略称	
2	sysObjectID {system 2}	R/O	[規格] ネットワーク管理サブシステムのベンダの認証 ID。 [実装] 固定値。 AX6700S の場合 : 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9 AX6600S の場合 : 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12 AX6300S の場合 : 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8	
3	sysUpTime {system 3}	R/O	[規格] システムが起動してからの累積時間 (10 ミリ秒カウンタ)。 [実装] 装置起動時からの累積時間。	
4	sysContact {system 4}	R/W	[規格] 管理ノードに関する連絡先。 [実装] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内)。デフォルトはなし (NULL)。	
5	sysName {system 5}	R/W	[規格] 管理ノードの名称, 管理ノードのドメイン名。 [実装] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内)。デフォルトはなし (NULL)。	
6	sysLocation {system 6}	R/W	[規格] 管理ノードの設置場所。 [実装] ユーザがコンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (60 文字以内)。デフォルトはなし (NULL)。	
7	sysServices {system 7}	R/O	[規格] サービスを示す値。 [実装] 78 固定。	

2.2 interfaces グループ (MIB-II)

interfaces グループ (MIB-II) の関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

2.2.1 interfaces グループ (イーサネットの場合)

次に示す interfaces グループについて説明します。

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- 1000BASE-X
- 10GBASE-R

(1) 識別子

```
interfaces OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.2
```

(2) 実装仕様

イーサネットの場合の interfaces グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-2 interfaces グループの実装仕様 (イーサネットの場合)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifNumber {interfaces 1}	R/O	[規格] このシステムで、提供するネットワークインタフェースの数。 [実装] 規格に同じ。インタフェースに関するコンフィギュレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変わります。	
2	ifTable {interfaces 2}	NA	[規格] インタフェースエンティティのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
3	ifEntry {ifTable 1}	NA	[規格] サブネットワークレイヤに属するインタフェース情報のリスト。 INDEX { ifIndex } [実装] 規格に同じ。	
4	ifIndex {ifEntry 1}	R/O	[規格] このインタフェースを識別するための番号。1 ~ ifNumber までの値。 [実装] このインタフェースを識別するための番号。インタフェースに関するコンフィギュレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変わります。 ifIndex の割り当て方法は次のとおりです。 • ポート：100+((NIF 番号-1)*50)+ポート番号-1 (NIF 番号、ポート番号は 1 から) • リンクアグリゲーション：1000+チャンネルグループ番号 • VLAN：デフォルト VLAN の場合は 3、その他は 1200+VLAN ID	
5	ifDescr {ifEntry 2}	R/O	[規格] インタフェースに関する情報。 [実装] インタフェース種別ごとの固定文字列。	
6	ifType {ifEntry 3}	R/O	[規格] インタフェースのタイプ。 [実装] インタフェースによる。 • ポートの ifIndex の場合：Ethernet-csmacd (6) • VLAN の ifIndex の場合：l2vlan (135) • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：ieee8023adLag (161)	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ifMtu {ifEntry 4}	R/O	<p>[規格] このインタフェースで送受信できるデータグラムの最大サイズ (オクテット)。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合: 規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合: VLAN に所属するイーサネットインタフェースの MTU 値, システム MTU 情報, および IP MTU 情報 (設定時だけ) のうち最小のもの。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合: VLAN 情報と同じ。 	
8	ifSpeed {ifEntry 5}	R/O	<p>[規格] このインタフェースの現在の回線速度 (bit/s)。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合: コンフィグレーションコマンド bandwidth が設定されていない場合は, 該当インタフェースの回線速度を表示し, 設定されている場合はその設定値を表示する。 • VLAN の ifIndex の場合: 0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合: チャンネルグループに属するポートの ifSpeed の合計値。 	
9	ifPhysAddress {ifEntry 6}	R/O	<p>[規格] このインタフェースのネットワークレイヤ直下の物理アドレス。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合: MAC アドレスをキャノニカル表現した値を応答。 • VLAN の ifIndex の場合: VLAN に割り当てられた MAC アドレスをキャノニカル表現した値を応答。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合: チャンネルグループの MAC アドレスをキャノニカル表現した値を応答。 	
10	ifAdminStatus {ifEntry 7}	R/W	<p>[規格] このインタフェースの望ましい状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> • up (1) • down (2) • testing (3) <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合: コンフィグレーションで shutdown 指定時, down (2) になります。ただし, NIF が shutdown 時は setRequest オペレーションによる値の変更はできません。 • VLAN の ifIndex の場合: コンフィグレーションで VLAN suspend 指定時, down (2) になります。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合: コンフィグレーションでチャンネルグループを shutdown 指定時, down (2) になります。 	
11	ifOperStatus {ifEntry 8}	R/O	<p>[規格] このインタフェースの現在の状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> • up (1) • down (2) • testing (3) <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合: 規格に同じ。 • VLAN の場合: 規格に同じ。 • リンクアグリゲーションの場合: 規格に同じ。 	
12	ifLastChange {ifEntry 9}	R/O	<p>[規格] このインタフェースの ifOperStatus が最後に変化した時の sysUpTime (単位: 1/100 秒)。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合: 規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合: 規格に同じ。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合: 規格に同じ。 	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
13	ifInOctets {ifEntry 10}	R/O	<p>[規格] このインタフェースで受信した、bad パケットを含むオクテットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：bad パケットを含む、MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の受信オクテット数。 • VLAN の ifIndex の場合：bad パケットを含む、MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の受信オクテット数。ただし、8192 オクテット以上のフレームは 8192 を引いた値で計算する。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：bad パケットを含む、MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の受信オクテット数。 	
14	ifInUcastPkts {ifEntry 11}	R/O	<p>[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 	
15	ifInNUcastPkts {ifEntry 12}	R/O	<p>[規格] 上位プロトコルへ通知した非ユニキャスト・パケット（ブロードキャスト、マルチキャストパケット）の数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。¹ • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。¹ 	
16	ifInDiscards {ifEntry 13}	R/O	<p>[規格] パケット自身にはエラーはないが、上位プロトコルに渡すことのできなかつたパケットの数（バッファなしなどで破棄された受信パケットの数）</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：受信 FIFO Overflow のため廃棄したイベント数。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：受信 FIFO Overflow のため廃棄したイベント数。 	
17	ifInErrors {ifEntry 14}	R/O	<p>[規格] パケット中のエラーが含まれていることによって破棄されたパケットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：FCS エラー、ショートパケット、最大パケット長オーバー、衝突されたパケット、パケットフォーマット不正、端数ビットなどのエラーによって破棄されたパケットの数。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：FCS エラー、ショートパケット、最大パケット長オーバー、衝突されたパケット、パケットフォーマット不正、端数ビットなどのエラーによって破棄されたパケットの数。 	
18	ifInUnknownProtos {ifEntry 15}	R/O	<p>[規格] サポートされていないプロトコルのパケットを受信し、破棄したパケットの数。</p> <p>[実装] 0 固定。</p>	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
19	ifOutOctets {ifEntry 16}	R/O	<p>[規格] このインタフェースで送信した、bad パケットを含むオクテットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：bad パケットを含む、MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の送信オクテット数。 • VLAN の ifIndex の場合：bad パケットを含む、MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の送信オクテット数。ただし、8192 オクテット以上のフレームは 8192 を引いた値で計算する。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：bad パケットを含む、MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の送信オクテット数。 	
20	ifOutUcastPkts {ifEntry 17}	R/O	<p>[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。² • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。² 	
21	ifOutNUcastPkts {ifEntry 18}	R/O	<p>[規格] 上位レイヤが送信した非ユニキャスト・パケットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：上位レイヤが送信した正常な非ユニキャスト・パケットの数 (MAC DA の I/G ビット='1' パケットの数。ただし、MAC パケットは除く。また、SMT は含む)。¹ • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：上位レイヤが送信した正常な非ユニキャスト・パケット数 (MAC DA の I/G ビット='1' パケットの数。ただし、MAC パケットは除く。また、SMT は含む)。¹ 	
22	ifOutDiscards {ifEntry 19}	R/O	<p>[規格] パケット自身にエラーはなく、送信処理で破棄されたパケットの数 (送信バッファ不足など)。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：送信 FIFO Overflow (アンダーラン) のため廃棄したイベントの数。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：送信 FIFO Overflow (アンダーラン) のため廃棄したイベント数。 	
23	ifOutErrors {ifEntry 20}	R/O	<p>[規格] エラーが原因で送信できなかったパケットの数。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 	
24	ifOutQLen {ifEntry 21}	R/O	<p>[規格] 送信パケットキューのサイズ。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：チャンネルグループに属するポートの送信パケットキューサイズを合計したもの。 	
25	ifSpecific {ifEntry 22}	R/O	<p>[規格] インタフェースのメディアの特性を定義する MIB へのレファレンス。ifType に依存する MIB のオブジェクト ID。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：1.3.6.1.2.1.10.7 を応答する。ただし、非正常時は、0.0 を応答する。 • VLAN の ifIndex の場合：0.0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：0.0 固定。 	

注 1 ポーズパケットについて

ポーズパケットを送受信したときもカウントアップします。ただし、以下の NIF ではカウントアップされません。

- NK1GS-8M
- NH1G-16S
- NH1G-48T
- NH1GS-6M

注 2 以下の NIF では、エラーが原因で送信できなかったパケットを含みます。

- NK1GS-8M
- NH1G-16S
- NH1G-48T
- NH1GS-6M

2.2.2 interfaces グループ (その他の場合)

ローカルループバック、マネージメントポートの場合の interfaces グループについて説明します。

(1) 識別子

```
interfaces OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.2
```

(2) 実装仕様

ローカルループバック、マネージメントポートの場合の interfaces グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-3 interfaces グループの実装仕様 (その他の場合)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifNumber {interfaces 1}	R/O	[規格] このシステムで、提供するネットワークインタフェースの数。 [実装] 規格に同じ。インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変わります。	
2	ifTable {interfaces 2}	NA	[規格] インタフェースエンティティのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
3	ifEntry {ifTable 1}	NA	[規格] サブネットワークレイヤに属すインタフェース情報のリスト。 INDEX {ifIndex} [実装] 規格に同じ。	
4	ifIndex {ifEntry 1}	R/O	[規格] このインタフェースを識別するための番号。1 ~ ifNumber までの値。 [実装] このインタフェースを識別するための番号。インタフェースに関するコンフィグレーションを変更すると、このオブジェクトの値も変わります。 ifIndex の割り当て方法は次のとおりです。 <ul style="list-style-type: none"> • ローカルループバック グローバルネットワーク : 1 VRF : 5500+VRF ID • マネージメントポート : 2 	
5	ifDescr {ifEntry 2}	R/O	[規格] インタフェースに関する情報。 [実装] インタフェース種別ごとの固定文字列。	
6	ifType {ifEntry 3}	R/O	[規格] インタフェースのタイプ。 [実装] 規格に同じ。 マネージメントポート : CSMA-CD (6) ローカルループバック : softwareLoopback (24)	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ifMtu {ifEntry 4}	R/O	[規格] 送受信パケットの最大長。 [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート：規格に同じ。 ローカルループバック：33188 固定。	
8	ifSpeed {ifEntry 5}	R/O	[規格] このインタフェースの現在の回線速度の見積もり (bit/s)。 [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート：規格に同じ。 ローカルループバック：0 固定。	
9	ifPhysAddress {ifEntry 6}	R/O	[規格] このインタフェースのネットワークレイヤ直下の物理アドレス。 [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート：MAC アドレスをキャノニカルにした値。 ローカルループバック：値なし。	
10	ifAdminStatus {ifEntry 7}	R/W	[規格] このインタフェースの望ましい状態。 • up (1) • down (2) • testing (3) [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート：デフォルトは up (1), コンフィグレーションで shutdown 指定時は down (2) になります。 ローカルループバック：up (1) 固定。	
11	ifOperStatus {ifEntry 8}	R/O	[規格] このインタフェースの現在の状態。 • up (1) • down (2) • testing (3) [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート：up (1), down (2) だけ ローカルループバック：up (1) 固定。	
12	ifLastChange {ifEntry 9}	R/O	[規格] このインタフェースの ifOperStatus が最後に変化した時の sysUpTime (単位：1/100 秒)。 [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート：規格に同じ。 ローカルループバック：規格に同じ。	
13	ifInOctets {ifEntry 10}	R/O	[規格] このインタフェースで受信したオクテットの数。 [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート：MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の総受信オクテット数。 ローカルループバック：IP パケットの総受信オクテット数。	
14	ifInUcastPkts {ifEntry 11}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート：上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。 ローカルループバック：IP パケットで上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。	
15	ifInNUcastPkts {ifEntry 12}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知した非ユニキャスト・パケット (ブロードキャスト, マルチキャストパケット) の数。 [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート：上位プロトコルへ通知したブロードキャストまたはマルチキャストパケットの数。 ローカルループバック：IP パケットで上位プロトコルへ通知したブロードキャストまたはマルチキャストパケットの数。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
16	ifInDiscards {ifEntry 13}	R/O	[規格] パケット自身にはエラーはないが、上位プロトコルに渡すことのできなかったパケットの数(バッファなしなどで破棄された受信パケットの数)。 [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート: 破棄したパケットの数をカウント。 ローカルループバック: 破棄したパケットの数をカウント。	
17	ifInErrors {ifEntry 14}	R/O	[規格] パケット中のエラーが含まれていることによって破棄されたパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート: FCS エラー, ショートパケット, 最大パケット長オーバー, 衝突されたパケット, パケットフォーマット不正, 端数ビットなどのエラーによって捨てられたパケットの数をカウント。 ローカルループバック: 0 固定。	
18	ifInUnknownProtos {ifEntry 15}	R/O	[規格] サポートされていないプロトコルのパケットを受信し, 破棄されたパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート: 破棄した, IP 以外のパケットの数。 ローカルループバック: 破棄した, IP 以外のパケットの数。	
19	ifOutOctets {ifEntry 16}	R/O	[規格] このインタフェースで送信したオクテットの数。 [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート: MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の総送信オクテット数。 ローカルループバック: IP パケットの総送信オクテット数。	
20	ifOutUcastPkts {ifEntry 17}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート: MAC DA の I/G ビット=0' のパケットの数。 ローカルループバック: IP パケットで上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。	
21	ifOutNUcastPkts {ifEntry 18}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信した非ユニキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート: MAC DA の I/G ビット=1' のパケットの数。 ローカルループバック: IP パケットで上位レイヤが送信した非ユニキャスト・パケットの数。	
22	ifOutDiscards {ifEntry 19}	R/O	[規格] パケット自身にエラーはなく, 送信処理で破棄されたパケットの数(送信バッファ不足など)。 [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート: 破棄したパケットの数をカウント。 ローカルループバック: 破棄したパケットの数をカウント。	
23	ifOutErrors {ifEntry 20}	R/O	[規格] エラーが原因で送信できなかったパケットの数。 [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート: アンダーラン, バイトカウントのミスマッチ, 過剰衝突, 過剰遅延, あるいは送信タイムアウトしたパケットの数。 ローカルループバック: 0 固定。	
24	ifOutQLen {ifEntry 21}	R/O	[規格] 送信パケットキューのサイズ。 [実装] インタフェースによる。 マネージメントポート: 送信待ちキューに積まれているパケットの数。 ローカルループバック: 送信待ちキューに積まれているパケットの数。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
25	ifSpecific {ifEntry 22}	R/O	<p>[規格] インタフェースのメディアの特性を定義する MIB へのレファレンス。ifType に依存する MIB のオブジェクト ID。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <p>マネージメントポート : 0.0 固定。</p> <p>ローカルループバック : 0.0 固定。</p>	

2.3 at グループ (MIB-II)

at グループ (MIB-II) の関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

```
at OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.3
```

(2) 実装仕様

at グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-4 at グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	atTable {at 1}	NA	[規格] アドレス変換テーブルは "フィジカル" アドレス相当値に対する NetworkAddress のテーブル。いくつかのインタフェースはアドレス相当値を決定するために変換テーブルを使用しません。このようなタイプの場合は、アドレス変換テーブルは空であり、エントリの数はゼロとなります。 [実装] 規格に同じ。ネットワークアドレスから物理アドレスへの対応関係を示します。	
2	atEntry {atTable 1}	NA	[規格] 各エントリは "フィジカル" アドレス相当値に対する一つの NetworkAddress に関係するリストです。 INDEX { atIfIndex, atNetAddress } [実装] 規格に同じ。	
3	atIfIndex {atEntry 1}	R/NW	[規格] 対応するインタフェースの ifIndex の値。 [実装] atPhysAddress を持つインタフェースの ifIndex。ただし、Read_Only です。	
4	atPhysAddress {atEntry 2}	R/O	[規格] 物理アドレス。 [実装] 媒体に依存した ARP テーブルに依存する MAC アドレス。	
5	atNetAddress {atEntry 3}	R/O	[規格] 媒体に依存した atPhysAddress に対応する IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	

2.4 ip グループ (MIB-II および IP Forward Table MIB)

2.4.1 ip

ip グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

(1) 識別子

```
ip OBJECT IDENTIFIER ::= { mib-2 4 }
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4
```

(2) 実装仕様

ip グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-5 ip グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipForwarding {ip 1}	R/NW	[規格] IP 中継機能の可否 (ゲートウェイとして動作するか) • gateway (1) • host (2) [実装] gateway (1) 固定。ただし, Read_Only です。	
2	ipDefaultTTL {ip 2}	R/NW	[規格] IP ヘッダ中の TTL に設定するデフォルト値。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
3	ipInReceives {ip 3}	R/O	[規格] すべてのインタフェースから受信した IP データグラムの総数。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipInHdrErrors {ip 4}	R/O	[規格] IP ヘッダのエラーのために破棄された受信データグラムの数。 [実装] IP ヘッダチェックサムエラー, バージョンエラー, TTL オーバ・ヘッダ長異常, 形式エラーなどの IP パケットをカウントします。	
5	ipInAddrErrors {ip 5}	R/O	[規格] IP ヘッダ中の宛先アドレスが有効ではないために破棄されたパケット数。 [実装] 宛先アドレスのクラスが A, B, C, D ではないときカウントします。また無効なブロードキャストアドレス (255.255.255.255 または 0.0.0.0) のときもカウントします。	
6	ipForwDatagrams {ip 6}	R/O	[規格] 中継を必要だと判断したパケット数。 [実装] 規格に同じ。	
7	ipInUnknownProtos {ip 7}	R/O	[規格] 受信した自分宛て IP パケットで認識できないプロトコルがサポートしていないプロトコルであるため, 破棄した IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	
8	ipInDiscards {ip 8}	R/O	[規格] エラー以外の理由で破棄された送信 IP データグラムの総数。 [実装] 規格に同じ。	
9	ipInDelivers {ip 9}	R/O	[規格] 上位レイヤに通知した IP データグラムの数。 [実装] 自装置宛てへの受信 IP パケット数。	
10	ipOutRequests {ip 10}	R/O	[規格] 上位レイヤが IP パケット送信要求を行った IP データグラムの総数。 [実装] 自装置から送信した IP パケット数。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	ipOutDiscards {ip 11}	R/O	[規格] エラー以外の理由で破棄された IP データグラムの数。 [実装] IP パケット送信時送信バッファ不足または輻輳制御によって廃棄したパケット数。	
12	ipOutNoRoutes {ip 12}	R/O	[規格] 送信経路が指定されないために破棄した IP データグラムの数。 [実装] パケット中継時、宛先ネットワークがルーティングテーブルにないときカウントします。	
13	ipReasmTimeout {ip 13}	R/O	[規格] リアセンブリ待ちしているフラグメントパケットのホールド最大秒数。 [実装] 規格に同じ。	
14	ipReasmReqds {ip 14}	R/O	[規格] リアセンブリする必要のある受信 IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	
15	ipReasmOKs {ip 15}	R/O	[規格] リアセンブリが成功した受信 IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	
16	ipReasmFails {ip 16}	R/O	[規格] リアセンブリが失敗した受信 IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	
17	ipFragOKs {ip 17}	R/O	[規格] フラグメントが成功した IP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	
18	ipFragFails {ip 18}	R/O	[規格] フラグメントを失敗した IP データグラムの数。 [実装] フラグメントする必要があるにもかかわらず、IP ヘッダの DF ビットがオンであたためにフラグメントができなかった場合カウントします。フラグメント用バッファ獲得失敗の場合カウントします。	
19	ipFragCreates {ip 19}	R/O	[規格] フラグメンテーションの結果として生成された IP データグラムのフラグメントの数。 [実装] 規格に同じ。	

注 アクセスリストロギングの使用時には、アクセスリストロギングの対象となった IP データグラムはカウントされません。

2.4.2 ipAddrTable

ipAddrTable グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

```
ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}
ipAddrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 20}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4.20
```

(2) 実装仕様

ipAddrTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-6 ipAddrTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipAddrTable {ip 20}	NA	[規格] このエンティティの IP アドレスに関連するアドレッシング情報のテーブル (IP アドレス別のアドレス情報テーブル)。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipAddrEntry {ipAddrTable 1}	NA	[規格] このエンティティの IP アドレスの一つのためのアドレッシング情報のリスト。 [実装] 規格に同じ。	
3	ipAdEntAddr {ipAddrEntry 1}	R/O	[規格] IP アドレス。 [実装] ポートの IP アドレス。	
4	ipAdEntIfIndex {ipAddrEntry 2}	R/O	[規格] このエントリが適用するインタフェースのインデックス値。 ifIndex と同じ値。 [実装] 規格に同じ。	
5	ipAdEntNetMask {ipAddrEntry 3}	R/O	[規格] このエントリの IP アドレスに関するサブネットマスク。 [実装] 規格に同じ。	
6	ipAdEntBcastAddr {ipAddrEntry 4}	R/O	[規格] IP ブロードキャスト送信時のアドレスの最下位ビットの値。 [実装] 規格に同じ。	
7	ipAdEntReasmMaxSize {ipAddrEntry 5}	R/O	[規格] インタフェースで受信した IP フラグメント分割された入力 IP データグラムからリアセンブルできる最大 IP パケットのサイズ。 [実装] 規格に同じ。	

2.4.3 ipRouteTable

ipRouteTable グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

```
ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}
ipRouteTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 21}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4.21
```

(2) 実装仕様

ipRouteTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-7 ipRouteTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipRouteTable {ip 21}	NA	[規格] このエンティティの IP ルーティングテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipRouteEntry {ipRouteTable 1}	NA	[規格] 特定のディスティネーションへの経路情報。 [実装] 規格に同じ。	
3	ipRouteDest {ipRouteEntry 1}	R/NW	[規格] この経路のディスティネーション IP アドレス。 [実装] ルーティングテーブル中の宛先ネットワークアドレス。ただし、Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ipRouteIfIndex {ipRouteEntry 2}	R/NW	[規格] この経路のファーストホップの存在するインタフェースのインデックス値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 ルーティングテーブル内にフォワーディングしないルートが存在します。このルートの ipAdEntIfIndex は 0 とします。	
5	ipRouteMetric1 {ipRouteEntry 3}	R/NW	[規格] この経路のプライマリ・ルーティング・メトリック。 [実装] ルーティングテーブルのホップ数。ただし、Read_Only です。	
6	ipRouteMetric2 {ipRouteEntry 4}	R/NW	[規格] この経路の代替ルーティングメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
7	ipRouteMetric3 {ipRouteEntry 5}	R/NW	[規格] この経路の代替ルーティングメトリック。 [実装] 未使用のため -1 固定。ただし、Read_Only です。	
8	ipRouteMetric4 {ipRouteEntry 6}	R/NW	[規格] この経路の代替ルーティングメトリック。 [実装] 未使用のため -1 固定。ただし、Read_Only です。	
9	ipRouteNextHop {ipRouteEntry 7}	R/NW	[規格] この経路のネクストホップの IP アドレス (ブロードキャスト・メディアで接続されたルートの場合、そのインタフェース上のエージェントアドレス・アドレスになる)。 [実装] ルーティングテーブル中のファーストホップ IP アドレス。ただし、Read_Only です。装置ではルーティングテーブル内にフォワーディングしないルートが存在します。このルートの ipRouteNextHop は 0.0.0.0 とします。	
10	ipRouteType {ipRouteEntry 8}	R/O	[規格] 経路のタイプ。 • other (1) • invalid (2) • direct (3) • indirect (4) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only。	
11	ipRouteProto {ipRouteEntry 9}	R/O	[規格] 経路を学習したルーティング構造。 • other (1) • local (2) • netmgmt (3) • icmp (4) • egp (5) • ggp (6) • hello (7) • rip (8) • is-is (9) • es-is (10) • ciscoIgrp (11) • bbnSpfIgp (12) • ospf (13) • bgp (14) [実装] 規格に同じ。	
12	ipRouteAge {ipRouteEntry 10}	R/NW	[規格] この経路が更新されてからの経過時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
13	ipRouteMask {ipRouteEntry 11}	R/NW	[規格] ipRouteDest に関するサブネットマスク値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
14	ipRouteMetric5 {ipRouteEntry 12}	R/NW	[規格] 代替ルーティングメトリック。 [実装] -1 固定。ただし、Read_Only です。	
15	ipRouteInfo {ipRouteEntry 13}	R/O	[規格] このルートで信頼できる特定のルーティングプロトコルを定義する MIB へのレファレンス。 [実装] 0.0 固定。	

2.4.4 ipNetToMediaTable

ipNetToMediaTable グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

```
ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}

ipNetToMediaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 22}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4.22
```

(2) 実装仕様

ipNetToMediaTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-8 ipNetToMediaTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipNetToMediaTable {ip 22}	NA	[規格] IP アドレスから物理アドレスへのマッピングに使用される IP アドレス変換テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipNetToMediaEntry {ipNetToMediaTable 1}	NA	[規格] 物理アドレスに対応した一つの IP アドレスのリスト。 INDEX { ipNetToMediaIfIndex, ipNetToMediaNetAddress } [実装] 規格に同じ。	
3	ipNetToMediaIfIndex {ipNetToMediaEntry 1}	R/NW	[規格] 有効となるインタフェース ID 番号。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
4	ipNetToMediaPhysAddress {ipNetToMediaEntry 2}	R/NW	[規格] メディアに依存した物理アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
5	ipNetToMediaNetAddress {ipNetToMediaEntry 3}	R/NW	[規格] メディアに依存した物理アドレスに対応する IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	ipNetToMediaType {ipNetToMediaEntry 4}	R/NW	[規格] マッピングのタイプ。 • other (1) • invalid (2) • dynamic (3) • static (4) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 ほかの VRF からインポートされたエントリは other になります。 【OP-NPAR】	
7	ipRoutingDiscards {ip 23}	R/O	[規格] 有効であっても廃棄が選択されたルーティングエントリの数。 例えばルーティングテーブルバッファ不足によって廃棄されたエントリの数。 [実装] 0 固定。	

2.4.5 ipForward

ipForward グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1354 (1992 年 7 月)

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

```
ip OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 4}
ipForward OBJECT IDENTIFIER ::= {ip 24}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.4.24
```

(2) 実装仕様

ipForward グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-9 ipForward グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipForwardNumber {ipForward 1}	R/O	[規格] フォワーディングテーブルエントリの数。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipForwardTable {ipForward 2}	NA	[規格] 各経路に関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
3	ipForwardEntry {ipForwardTable 1}	NA	[規格] 各経路の情報のリスト。 INDEX { ipForwardDest, ipForwardProto, ipForwardPolicy, ipForwardNextHop } [実装] 規格に同じ。	
4	ipForwardDest {ipForwardEntry 1}	R/O	[規格] この経路の宛先アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
5	ipForwardMask {ipForwardEntry 2}	R/NW	[規格] 宛先と論理積をとるためのマスク。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	ipForwardPolicy {ipForwardEntry 3}	R/O	[規格] 複数のパスルートから一つを選択する条件 (通常は TOS)。 [実装] 固定値 0。	
7	ipForwardNextHop {ipForwardEntry 4}	R/O	[規格] ルート上の次システムのアドレス。 [実装] 規格に同じ。	
8	ipForwardIfIndex {ipForwardEntry 5}	R/NW	[規格] この経路のネクストホップと接続されるローカルインタフェースの識別子。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
9	ipForwardType {ipForwardEntry 6}	R/NW	[規格] 経路のタイプ。 • その他 (1) • 無効 (2) • ローカル (3) • リモート (4) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	ipForwardProto {ipForwardEntry 7}	R/O	[規格] この経路を学習したプロトコル。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • local (2) • netmgmt (3) • icmp (4) • egp (5) • ggp (6) • hello (7) • rip (8) • is-is (9) • es-is (10) • ciscoIgrp (11) • bbnSpfIgp (12) • ospf (13) • bgp (14) • idpr (15) [実装] 規格に同じ。	
11	ipForwardAge {ipForwardEntry 8}	R/NW	[規格] この経路が学習, または更新されてからの経過時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	
12	ipForwardInfo {ipForwardEntry 9}	R/NW	[規格] 経路のプロトコル別付加情報。 [実装] 0.0 固定。ただし, Read_Only です。	
13	ipForwardNextHopAS {ipForwardEntry 10}	R/NW	[規格] 次ホップの自律システム番号。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
14	ipForwardMetric1 {ipForwardEntry 11}	R/NW	[規格] この経路に対するメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
15	ipForwardMetric2 {ipForwardEntry 12}	R/NW	[規格] この経路に対する代替ルートへのメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
16	ipForwardMetric3 {ipForwardEntry 13}	R/NW	[規格] この経路に対する代替ルートへのメトリック。 [実装] -1 固定。ただし, Read_Only です。	
17	ipForwardMetric4 {ipForwardEntry 14}	R/NW	[規格] この経路についての代替ルートへのメトリック。 [実装] -1 固定。ただし, Read_Only です。	
18	ipForwardMetric5 {ipForwardEntry 15}	R/NW	[規格] この経路についての代替ルートへのメトリック。 [実装] -1 固定。ただし, Read_Only です。	

2.5 icmp グループ (MIB-II)

icmp グループ (MIB-II) の関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

(1) 識別子

```
icmp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.5
```

(2) 実装仕様

icmp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-10 icmp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	icmpInMsgs {icmp 1}	R/O	[規格] このエンティティが受信した ICMP メッセージ総数。 [実装] 規格に同じ。	
2	icmpInErrors {icmp 2}	R/O	[規格] 受信した ICMP メッセージエラーの数 (チェックサムエラー, フレーム長エラーなど)。 [実装] 規格に同じ。	
3	icmpInDestUnreachs {icmp 3}	R/O	[規格] 受信した ICMP Destination Unreachable メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
4	icmpInTimeExcds {icmp 4}	R/O	[規格] 受信した ICMP Time Exceed メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
5	icmpInParmProbs {icmp 5}	R/O	[規格] 受信した ICMP Parameter Problem メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
6	icmpInSrcQuenchs {icmp 6}	R/O	[規格] 受信した ICMP Source Quench メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
7	icmpInRedirects {icmp 7}	R/O	[規格] 受信した ICMP Network Redirect メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
8	icmpInEchos {icmp 8}	R/O	[規格] 受信した ICMP Echo 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
9	icmpInEchoReps {icmp 9}	R/O	[規格] 受信した ICMP Echo 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
10	icmpInTimestamps {icmp 10}	R/O	[規格] 受信した ICMP TimeStamp 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
11	icmpInTimestampReps {icmp 11}	R/O	[規格] 受信した ICMP TimeStamp 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
12	icmpInAddrMasks {icmp 12}	R/O	[規格] ICMP Address Mask 要求メッセージ受信数。 [実装] 規格に同じ。	
13	icmpInAddrMaskReps {icmp 13}	R/O	[規格] ICMP Address Mask 応答メッセージ受信数。 [実装] 規格に同じ。	
14	icmpOutMsgs {icmp 14}	R/O	[規格] 送信を試みた ICMP メッセージの総数 (エラーの場合も含む)。 [実装] 規格に同じ。	
15	icmpOutErrors {icmp 15}	R/O	[規格] エラーによって送信されなかった ICMP メッセージ数。 [実装] バッファなしの場合だけカウント。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
16	icmpOutDestUnreachs {icmp 16}	R/O	[規格] 送信した ICMP Destination Unreachable メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
17	icmpOutTimeExcds {icmp 17}	R/O	[規格] 送信した ICMP Time Exceeded メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
18	icmpOutParmProbs {icmp 18}	R/O	[規格] 送信した ICMP Parameter Problem メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
19	icmpOutSrcQuenchs {icmp 19}	R/O	[規格] 送信した ICMP Source Quench メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
20	icmpOutRedirects {icmp 20}	R/O	[規格] 送信した ICMP Redirect メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
21	icmpOutEchos {icmp 21}	R/O	[規格] 送信した ICMP Echo 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
22	icmpOutEchoReps {icmp 22}	R/O	[規格] 送信した ICMP Echo 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
23	icmpOutTimestamps {icmp 23}	R/O	[規格] 送信した ICMP Timestamp 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
24	icmpOutTimestampReps {icmp 24}	R/O	[規格] 送信した ICMP Timestamp 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
25	icmpOutAddrMasks {icmp 25}	R/O	[規格] 送信した ICMP Address Mask 要求メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
26	icmpOutAddrMaskReps {icmp 26}	R/O	[規格] 送信した ICMP Address Mask 応答メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	

2.6 tcp グループ (MIB-II および TCP MIB for IPv6)

2.6.1 tcp

tcp グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

tcpConnTable はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

tcp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.6

(2) 実装仕様

tcp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-11 tcp グループ

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	tcpRtoAlgorithm {tcp 1}	R/O	[規格] 再送に使用するタイムアウト時間を決定するアルゴリズム。 • other (1) • constant (2) • rsre (3) • vanj (4) [実装] vanj (4) 固定。	
2	tcpRtoMin {tcp 2}	R/O	[規格] 再送タイムアウトの最小値 (単位: ミリ秒)。 [実装] 1000 固定。	
3	tcpRtoMax {tcp 3}	R/O	[規格] 再送タイムアウトの最大値 (単位: ミリ秒)。 [実装] 64000 固定。	
4	tcpMaxConn {tcp 4}	R/O	[規格] サポートできる TCP コネクションの総数。最大コネクション数が動的である場合、-1 を応答する。 [実装] -1 固定。	
5	tcpActiveOpens {tcp 5}	R/O	[規格] TCP コネクションが CLOSE 状態から SYN-SENT 状態に推移した回数。 [実装] 規格に同じ。	
6	tcpPassiveOpens {tcp 6}	R/O	[規格] TCP コネクションが LISTEN 状態から SYN-RCVD 状態に推移した回数。 [実装] 規格に同じ。	
7	tcpAttemptFails {tcp 7}	R/O	[規格] TCP コネクションが SYN-SENT, SYN-RCVD 状態から CLOSE 状態に推移した回数に SYN-RCVD 状態から LISTEN 状態に推移した回数を加えたもの。 [実装] 規格に同じ。	
8	tcpEstabResets {tcp 8}	R/O	[規格] TCP コネクションが ESTABLISHED, CLOSE-WAIT 状態から CLOSE 状態に推移した回数。 [実装] 規格に同じ。	
9	tcpCurrEstab {tcp 9}	R/O	[規格] ESTABLISHED, CLOSE-WAIT の状態の TCP コネクションの総数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	tcpInSegs {tcp 10}	R/O	[規格] エラーセグメントを含む受信セグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	
11	tcpOutSegs {tcp 11}	R/O	[規格] 送信セグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	
12	tcpRetransSegs {tcp 12}	R/O	[規格] 再送セグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	
13	tcpConnTable {tcp 13}	NA	[規格] TCP コネクション固有の情報をテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
14	tcpConnEntry {tcpConnTable 1}	NA	[規格] 特定の TCP コネクションに関するエントリ情報。 INDEX { tcpConnLocalAddress, tcpConnLocalPort, tcpConnRemAddress, tcpConnRemPort } [実装] 規格に同じ。	
15	tcpConnState {tcpConnEntry 1}	R/NW	[規格] TCP コネクションの状態。 • closed (1) • listen (2) • synSent (3) • synReceived (4) • established (5) • finWait1 (6) • finWait2 (7) • closeWait (8) • lastAck (9) • closing (10) • timeWait (11) • deleteTCB (12) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
16	tcpConnLocalAddress {tcpConnEntry 2}	R/O	[規格] この TCP コネクションのローカル IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
17	tcpConnLocalPort {tcpConnEntry 3}	R/O	[規格] この TCP コネクションのローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	
18	tcpConnRemAddress {tcpConnEntry 4}	R/O	[規格] この TCP コネクションのリモート IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
19	tcpConnRemPort {tcpConnEntry 5}	R/O	[規格] この TCP コネクションのリモートポート番号。 [実装] 規格に同じ。	
20	tcpInErrs {tcp 14}	R/O	[規格] 受信したエラーセグメントの総数。 [実装] 規格に同じ。	
21	tcpOutRsts {tcp 15}	R/O	[規格] RST フラグを持つセグメントの送信数。 [実装] 規格に同じ。	

2.6.2 ipv6TcpConnTable

ipv6TcpConnTable グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2452 (1998 年 12 月)

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

```
tcp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 6}
```

```
ipv6TcpConnTable OBJECT IDENTIFIER ::= {tcp 16}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.6.16
```

(2) 実装仕様

ipv6TcpConnTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-12 ipv6TcpConnTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6TcpConnTable {tcp 16}	NA	[規格] TCP コネクションテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipv6TcpConnEntry {ipv6TcpConnTable 1}	NA	[規格] テーブルのエントリ。 INDEX { ipv6TcpConnLocalAddress, ipv6TcpConnLocalPort, ipv6TcpConnRemAddress, ipv6TcpConnRemPort, ipv6TcpConnIfIndex } [実装] 規格に同じ。	
3	ipv6TcpConnLocalAddress {ipv6TcpConnEntry 1}	NA	[規格] TCP コネクションのローカル IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipv6TcpConnLocalPort {ipv6TcpConnEntry 2}	NA	[規格] TCP コネクションのローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	
5	ipv6TcpConnRemAddress {ipv6TcpConnEntry 3}	NA	[規格] TCP コネクションのリモート IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
6	ipv6TcpConnRemPort {ipv6TcpConnEntry 4}	NA	[規格] TCP コネクションのリモートポート番号。 [実装] 規格に同じ。	
7	ipv6TcpConnIfIndex {ipv6TcpConnEntry 5}	NA	[規格] TCP コネクションのローカルインタフェース番号。 [実装] 規格に同じ。	
8	ipv6TcpConnState {ipv6TcpConnEntry 6}	R/NW	[規格] TCP コネクションのステート。 <ul style="list-style-type: none"> • closed (1) • listen (2) • synSent (3) • synReceived (4) • established (5) • finWait1 (6) • finWait2 (7) • closeWait (8) • lastAck (9) • closing (10) • timeWait (11) • deleteTCB (12) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

2.7 udp グループ (MIB-II および UDP MIB for IPv6)

2.7.1 udp

udp グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1213 (1991 年 3 月)

udpTable はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

udp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.7

(2) 実装仕様

udp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-13 udp グループ

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	udpInDatagrams {udp 1}	R/O	[規格] 上位レイヤに通知した UDP データグラムの数。 [実装] 規格に同じ。	
2	udpNoPorts {udp 2}	R/O	[規格] 宛先ポートに上位アプリケーションが存在しない受信 UDP データグラム総数。 [実装] 規格に同じ。	
3	udpInErrors {udp 3}	R/O	[規格] udpNoPorts 以外の理由でアプリケーションに通知できなかった UDP データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
4	udpOutDatagrams {udp 4}	R/O	[規格] 上位アプリケーションが送信した UDP データグラムの総数。 [実装] 規格に同じ。	
5	udpTable {udp 5}	NA	[規格] UDP リスナーの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
6	udpEntry {udpTable 1}	NA	[規格] 特定の UDP リスナーに関するエントリ数。 INDEX {udpLocalAddress, udpLocalPort} [実装] 規格に同じ。	
7	udpLocalAddress {udpEntry 1}	R/O	[規格] この UDP リスナーのローカル IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
8	udpLocalPort {udpEntry 2}	R/O	[規格] この UDP リスナーのローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	

2.7.2 ipv6UdpTable

ipv6UdpTable グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2454 (1998 年 12 月)

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

```
udp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 7}
```

```
ipv6UdpTable OBJECT IDENTIFIER ::= {udp 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.7.6
```

(2) 実装仕様

ipv6UdpTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-14 ipv6UdpTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6UdpTable {udp 6}	NA	[規格] UDP リスナーの情報を含むテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipv6UdpEntry {ipv6UdpTable 1}	NA	[規格] 特定の UDP リスナーについての情報。 INDEX { ipv6UdpLocalAddress, ipv6UdpLocalPort, ipv6UdpIfIndex } [実装] 規格に同じ。	
3	ipv6UdpLocalAddress {ipv6UdpEntry 1}	NA	[規格] UDP リスナーに対するローカル IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipv6UdpLocalPort {ipv6UdpEntry 2}	NA	[規格] UDP リスナーに対するローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	
5	ipv6UdpIfIndex {ipv6UdpEntry 3}	R/O	[規格] UDP リスナーに対するローカルインタフェース番号。 [実装] 規格に同じ。	

2.8 dot3 グループ (Ethernet Like MIB)

dot3 グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1643 (1994 年 7 月)

(1) 識別子

```
dot3 OBJECT IDENTIFIER ::= {transmission 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.10.7
```

(2) 実装仕様

dot3 グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-15 dot3 グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3StatsTable {dot3 2}	NA	[規格] 特定のシステムに接続されたイーサネットライクなインタフェースの統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	dot3StatsEntry {dot3StatsTable 1}	NA	[規格] イーサネットライクなメディアへの特定のインタフェースの統計情報リスト。 INDEX { dot3StatsIndex } [実装] 規格に同じ。	
3	dot3StatsIndex {dot3StatsEntry 1}	R/O	[規格] イーサネットライクなメディアへのインタフェースのインデックス値。 [実装] 規格に同じ。	
4	dot3StatsAlignmentErrors {dot3StatsEntry 2}	R/O	[規格] 正しいフレーム長ではなく、かつ FCS チェックで検出された受信フレーム数。 ¹ [実装] 規格に同じ。	
5	dot3StatsFCSErrors {dot3StatsEntry 3}	R/O	[規格] 正しいフレーム長で、かつ FCS チェックで検出された受信フレーム数。 ¹ [実装] 規格に同じ。	
6	dot3StatsSingleCollisionFrames {dot3StatsEntry 4}	R/O	[規格] 1 回のコリジョンだけで送信が成功したフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
7	dot3StatsMultipleCollisionFrames {dot3StatsEntry 5}	R/O	[規格] 特定のインタフェースで 2 回以上のコリジョンで送信が成功したフレーム数。 ¹ [実装] 規格に同じ。	
8	dot3StatsSQETestErrors {dot3StatsEntry 6}	R/O	[規格] SQE TEST ERROR メッセージが発生した回数。 [実装] 0 固定。	
9	dot3StatsDeferredTransmissions {dot3StatsEntry 7}	R/O	[規格] 伝送路ビジーによって最初の送信が遅れたフレーム数。 ¹ [実装] 規格に同じ。	
10	dot3StatsLateCollisions {dot3StatsEntry 8}	R/O	[規格] 512 ビット時間経過後で、コリジョンを検出した回数。 [実装] 規格に同じ。	
11	dot3StatsExcessiveCollisions {dot3StatsEntry 9}	R/O	[規格] 過度の衝突 (16 回) による転送失敗数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
12	dot3StatsInternalMacTransmitErrors {dot3StatsEntry 10}	R/O	[規格] MAC サブレイヤ内での送信障害によって送信が失敗した回数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
13	dot3StatsCarrierSenseErrors {dot3StatsEntry 11}	R/O	[規格] 送信時にキャリアがなかった回数。 [実装] 規格に同じ。	
14	dot3StatsFrameTooLong {dot3StatsEntry 13}	R/O	[規格] 最大許容フレーム長を超えた受信フレーム数。 ¹ [実装] 規格に同じ。	
15	dot3StatsInternalMacReceiveErrors {dot3StatsEntry 16}	R/O	[規格] MAC サブレイヤ内での受信エラーによって受信が失敗したフレーム数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
16	dot3StatsEtherChipSet {dot3StatsEntry 17}	R/O	[規格] インタフェースで使われているチップセットを示すオブジェクト識別子。 [実装] 0.0 固定	

注 1 フレーム長について

フレーム長とはMAC ヘッダから FCS までを示します。フレームフォーマットについては、「コンフィギュレーションガイド Vol.1 15.1.3 MAC および LLC 副層制御」を参照してください。

注 2 以下の NIF ではカウントアップされません。

- ・NK1GS-8M
- ・NH1GS-6M

2.9 snmp グループ (MIB-II)

snmp グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1158 (1990 年 5 月)
- RFC1213 (1991 年 3 月)
- RFC3418 (2002 年 12 月)

本装置では、SNMP エージェント、および SNMP マネージャ相当の機能を持つ snmp の運用コマンド群をサポートしています。本 MIB グループ内の統計情報は、SNMP エージェントだけを統計情報の対象としていて、snmp の運用コマンド群の統計情報は含みません。

本 MIB グループ内の統計情報には、snmp の運用コマンド群で MIB を取得した場合でも、ネットワーク上の SNMP マネージャから MIB を取得したときと同様にメッセージ数や PDU 数がカウントされます。

(1) 識別子

```
snmp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.11
```

(2) 実装仕様

snmp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-16 snmp グループ

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpInPkts {snmp 1}	R/O	[規格] SNMP 受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	
2	snmpOutPkts {snmp 2}	R/O	[規格] SNMP 送信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	
3	snmpInBadVersions {snmp 3}	R/O	[規格] 未サポートバージョン受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	
4	snmpInBadCommunity Names {snmp 4}	R/O	[規格] 未使用コミュニティの SNMP 受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	
5	snmpInBadCommunity Uses {snmp 5}	R/O	[規格] そのコミュニティでは許されていないオペレーションを示す受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	
6	snmpInASNParseErrs {snmp 6}	R/O	[規格] ASN.1 エラーの受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	
7	snmpInBadTypes {snmp 7}	R/O	[規格] 受信した未知の PDU タイプの総数。 [実装] 規格に同じ。	
8	snmpInTooBigs {snmp 8}	R/O	[規格] エラーステータスが tooBig の受信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
9	snmpInNoSuchNames {snmp 9}	R/O	[規格] エラーステータスが noSuchName の受信 PDU の総数。 [実装] 0 固定。	
10	snmpInBadValues {snmp 10}	R/O	[規格] エラーステータスが badValue の受信 PDU の総数。 [実装] 0 固定。	
11	snmpInReadOnlyls {snmp 11}	R/O	[規格] エラーステータスが readOnly の受信 PDU の総数。 [実装] 0 固定。	

2.9 snmp グループ (MIB-II)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
12	snmpInGenErrs {snmp 12}	R/O	[規格] エラーステータスが genErr の受信 PDU の総数。 [実装] 0 固定。	
13	snmpInTotalReqVars {snmp 13}	R/O	[規格] MIB の収集が成功した MIB オブジェクトの総数。 [実装] 規格に同じ。	
14	snmpInTotalSetVars {snmp 14}	R/O	[規格] MIB の設定が成功した MIB オブジェクトの総数。 [実装] 規格に同じ。	
15	snmpInGetRequests {snmp 15}	R/O	[規格] 受信した GetRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
16	snmpInGetNexts {snmp 16}	R/O	[規格] 受信した GetNextRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
17	snmpInSetRequests {snmp 17}	R/O	[規格] 受信した SetRequestPDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
18	snmpInGetResponses {snmp 18}	R/O	[規格] 受信した GetResponsePDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
19	snmpInTraps {snmp 19}	R/O	[規格] 受信したトラップ PDU の総数。 [実装] 0 固定。	
20	snmpOutTooBig {snmp 20}	R/O	[規格] エラーステータスが tooBig の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
21	snmpOutNoSuchNames {snmp 21}	R/O	[規格] エラーステータスが noSuchName の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
22	snmpOutBadValues {snmp 22}	R/O	[規格] エラーステータスが badValue の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
23	snmpOutReadOnly {snmp 23}	R/O	[規格] エラーステータスが readOnly の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
24	snmpOutGenErrs {snmp 24}	R/O	[規格] エラーステータスが genErr の送信 PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
25	snmpOutGetRequests {snmp 25}	R/O	[規格] 送信した GetRequestPDU の総数。 [実装] 0 固定。	
26	snmpOutGetNexts {snmp 26}	R/O	[規格] 送信した GetNextRequestPDU の総数。 [実装] 0 固定。	
27	snmpOutSetRequests {snmp 27}	R/O	[規格] 送信した SetRequestPDU の総数。 [実装] 0 固定。	
28	snmpOutGetResponses {snmp 28}	R/O	[規格] 送信した GetResponsePDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
29	snmpOutTraps {snmp 29}	R/O	[規格] 送信したトラップ PDU の総数。 [実装] 規格に同じ。	
30	snmpEnableAuthenTraps {snmp 30}	R/NW	[規格] authentication-failure Trap を発行できるかどうかを示す。 • enable (1) • disable (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
31	snmpSilentDrops {snmp 31}	R/NW	[規格] 返信しようとしたメッセージサイズが最大のメッセージサイズを超えていたため廃棄した、SNMP 受信メッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	

2.10 ospf グループ (OSPFv2 MIB)

ospf グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1850 (1995 年 11 月)

OSPF ドメインを分割しているとき、本 MIB はドメイン番号が最小のドメインの情報だけが対象となります。

また、本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

2.10.1 ospfGeneralGroup

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfGeneralGroup OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.1
```

(2) 実装仕様

ospfGeneralGroup グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-17 ospfGeneralGroup グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfRouterId {ospfGeneralGroup 1}	R/NW	[規格] 自律システム内のルータ識別子。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
2	ospfAdminStat {ospfGeneralGroup 2}	R/NW	[規格] ルータの OSPF 管理状態。 • enabled (1) • disabled (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
3	ospfVersionNumber {ospfGeneralGroup 3}	R/O	[規格] OSPF プロトコルのバージョン番号。 [実装] 規格に同じ (version2 固定)。	
4	ospfAreaBdrRtrStatus {ospfGeneralGroup 4}	R/O	[規格] そのルータがエリアボーダールータかどうかを示します。 • true (1) • false (2) [実装] 規格に同じ。	
5	ospfASBdrRtrStatus {ospfGeneralGroup 5}	R/NW	[規格] そのルータが AS バウンダリルータかどうかを示します。 • true (1) • false (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	ospfExternLsaCount {ospfGeneralGroup 6}	R/O	[規格] リンク状態データベース (LSDB) 中の外部リンク状態広告 (LSA) の数。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfExternLsaChecksum {ospfGeneralGroup 7}	R/O	[規格] LSDB 中の外部 LSA の LS チェックサム合計。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	ospfTOSupport {ospfGeneralGroup 8}	R/NW	[規格] そのルータが TOS ベースルーティングをサポートするかどうかのフラグ。 • true (1) • false (2) [実装] false (2) 固定。ただし、Read_Only です。	
9	ospfOriginateNewLsas {ospfGeneralGroup 9}	R/O	[規格] 生成された新しい LSA の数。 [実装] 規格に同じ。	
10	ospfRxNewLsas {ospfGeneralGroup 10}	R/O	[規格] 新しい情報を持った LSA を受信した回数。 [実装] 規格に同じ。	
11	ospfExtLsdbLimit {ospfGeneralGroup 11}	R/NW	[規格] LSDB 内に格納できる AS 外部 LSA の最大エントリ数。-1 の場合、制限なし。 [実装] -1 固定。ただし、Read_Only です。	
12	ospfMulticastExtensions {ospfGeneralGroup 12}	R/NW	[規格] マルチキャスト拡張版 OSPF のマルチキャストフォワーディングアルゴリズムをビットマップ値で示します。0 は、マルチキャストフォワーディング非サポート。 [実装] マルチキャストフォワーディング非サポート (0) 固定。ただし、Read_Only です。	
13	ospfExitOverflowInterval {ospfGeneralGroup 13}	R/O	[規格] エントリがオーバーフローステータスになるまでの時間 (単位: 秒)。 [実装] 未実装。	×
14	ospfDemandExtensions {ospfGeneralGroup 14}	R/O	[規格] このルータでの Demand ルーティングのサポート。 • true (1) • false (2) [実装] 未実装。	×

2.10.2 ospfAreaTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
ospfAreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.2
```

(2) 実装仕様

ospfAreaTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-18 ospfAreaTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfAreaTable {ospf 2}	NA	[規格] ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfAreaEntry {ospfAreaTable 1}	NA	[規格] 各エリアの情報リスト。 INDEX { ospfAreaId } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfAreaId {ospfAreaEntry 1}	R/O	[規格] エリアを識別する番号。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ospfAuthType {ospfAreaEntry 2}	R/NW	[規格] そのエリアで採用する認証のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> なし (0) シンプルパスワード (1) md5 (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
5	ospfImportAsExtern {ospfAreaEntry 3}	R/NW	[規格] そのルータが AS 外部リンク状態広告 (LSA) の取り込みを行うかどうかのフラグ。 <ul style="list-style-type: none"> importExternal (1) importNoExternal (2) importNssa (3) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	ospfSpfRuns {ospfAreaEntry 4}	R/O	[規格] このエリアのリンク状態データベース (LSDB) を使用してエリア内ルータが計算された回数。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfAreaBdrRtrCount {ospfAreaEntry 5}	R/O	[規格] このエリア内で到達できるエリアボーダルータの合計数。 [実装] 規格に同じ。	
8	ospfAsBdrRtrCount {ospfAreaEntry 6}	R/O	[規格] このエリア内で到達できる AS バウンダリルータの合計数。 [実装] 規格に同じ。	
9	ospfAreaLsaCount {ospfAreaEntry 7}	R/O	[規格] AS 外部 LSA を除く、このエリアの LSDB 中の LSA の数。 [実装] 規格に同じ。	
10	ospfAreaLsaCksumSum {ospfAreaEntry 8}	R/O	[規格] このエリアの LSDB に含まれる LSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	
11	ospfAreaSummary {ospfAreaEntry 9}	R/NW	[規格] エリアへのサマリー LSA のインポート制御に関する変数値。 <ul style="list-style-type: none"> noAreaSummary (1) sendAreaSummary (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
12	ospfAreaStatus {ospfAreaEntry 10}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	

2.10.3 ospfStubAreaTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
ospfStubAreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.3
```

(2) 実装仕様

ospfStubAreaTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-19 ospfStubAreaTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfStubAreaTable {ospf 3}	NA	[規格] エリアボーダルータによってスタブエリア内に広告される情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
2	ospfStubAreaEntry {ospfStubAreaTable 1}	NA	[規格] 各スタブエリアの情報リスト。 INDEX { ospfStubAreaId, ospfStubTOS } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfStubAreaId {ospfStubAreaEntry 1}	R/O	[規格] スタブエリアの ID。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfStubTOS {ospfStubAreaEntry 2}	R/O	[規格] そのスタブエリアでのサービスのタイプ。 [実装] 規格に同じ(ただし, 0 固定)。	
5	ospfStubMetric {ospfStubAreaEntry 3}	R/NW	[規格] そのスタブエリアでのサービスタイプに対応したメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
6	ospfStubStatus {ospfStubAreaEntry 4}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ただし, Read_Only です。	
7	ospfStubMetricType {ospfStubAreaEntry 5}	R/NW	[規格] デフォルトルートとして広告したメトリックのタイプを示します。 • ospfMetric (1) • comparableCost (2) • nonComparable (3) [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	

2.10.4 ospfLsdbTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
```

```
ospfLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.4
```

(2) 実装仕様

ospfLsdbTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-20 ospfLsdbTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfLsdbTable {ospf 4}	NA	[規格] OSPF プロセスのリンク状態データベース (LSDB) に関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfLsdbEntry {ospfLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX { ospfLsdbAreaId, ospfLsdbType, ospfLsdbLsid, ospfLsdbRouterId } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfLsdbAreaId {ospfLsdbEntry 1}	R/O	[規格] この LSA の受信元エリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ospfLsdbType {ospfLsdbEntry 2}	R/O	[規格] LSA のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • ルータ (1) • ネットワーク (2) • サマリー (3) • AS サマリー (4) • AS 外部リンク (5) • マルチキャスト (6) • nssa 外部リンク (7) [実装] 規格に同じ。	
5	ospfLsdbLsid {ospfLsdbEntry 3}	R/O	[規格] 個々のルーティングドメインを識別する ID。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfLsdbRouterId {ospfLsdbEntry 4}	R/O	[規格] LSA を生成したルータの ID。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfLsdbSequence {ospfLsdbEntry 5}	R/O	[規格] LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	
8	ospfLsdbAge {ospfLsdbEntry 6}	R/O	[規格] この LSA が生成されてからの経過時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	
9	ospfLsdbChecksum {ospfLsdbEntry 7}	R/O	[規格] この LSA のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	
10	ospfLsdbAdvertisement {ospfLsdbEntry 8}	R/O	[規格] ヘッダを含む LSA の全体。 [実装] 規格に同じ。	

2.10.5 ospfAreaRangeTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
ospfAreaRangeTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.5
```

(2) 実装仕様

ospfAreaRangeTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-21 ospfAreaRangeTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfAreaRangeTable {ospf 5}	NA	[規格] ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfAreaRangeEntry {ospfAreaRangeTable 1}	NA	[規格] ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するリスト。 INDEX {ospfAreaRangeAreaId, ospfAreaRangeNet} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfAreaRangeAreaId {ospfAreaRangeEntry 1}	R/O	[規格] 属するエリアの ID。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfAreaRangeNet {ospfAreaRangeEntry 2}	R/O	[規格] この範囲内のネット / サブネットの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	ospfAreaRangeMask {ospfAreaRangeEntry 3}	R/NW	[規格] ospfAreaRangeNet にかけるサブネットマスク。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
6	ospfAreaRangeStatus {ospfAreaRangeEntry 4}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ただし, Read_Only です。	
7	ospfAreaRangeEffect {ospfAreaRangeEntry 5}	R/NW	[規格] 広告するエリアの範囲を示します。 • エリア外に広告されるサブネット (1) • エリア外に広告しないサブネット (2) [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	

2.10.6 ospfHostTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
ospfHostTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.6
```

(2) 実装仕様

ospfHostTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-22 ospfHostTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfHostTable {ospf 6}	NA	[規格] ルータがホストルートとして広告するホストとメトリックのテーブル。 [実装] 未実装。	×
2	ospfHostEntry {ospfHostTable 1}	NA	[規格] ルータがホストルートとして広告するホストとメトリックの情報リスト。 INDEX { ospfHostIpAddress, ospfHostTOS } [実装] 未実装。	×
3	ospfHostIpAddress {ospfHostEntry 1}	R/O	[規格] そのホストの IP アドレス。 [実装] 未実装。	×
4	ospfHostTOS {ospfHostEntry 2}	R/O	[規格] このルートのサービスのタイプ。 [実装] 未実装。	×
5	ospfHostMetric {ospfHostEntry 3}	R/NW	[規格] サービスタイプに対応したメトリック。 [実装] 未実装。	×
6	ospfHostStatus {ospfHostEntry 4}	R/NW	[規格] エントリのステータスを示します。 [実装] 未実装。	×
7	ospfHostAreaID {ospfHostEntry 5}	R/O	[規格] 属しているホストのエリア。デフォルトは, OSPF インタフェースを含むエリアか, 0.0.0.0。 [実装] 未実装。	×

2.10.7 ospflfTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
```

```
ospfIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= { ospf 7 }
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.7
```

(2) 実装仕様

ospfIfTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-23 ospfIfTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfIfTable {ospf 7}	NA	[規格] ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfIfEntry {ospfIfTable 1}	NA	[規格] ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリスト。 INDEX { ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfIfIpAddress {ospfIfEntry 1}	R/O	[規格] この OSPF インタフェースの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfAddressLessIf {ospfIfEntry 2}	R/O	[規格] このインタフェースがアドレスレスインタフェースであるときに有効な、インタフェースの識別子。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfIfAreaId {ospfIfEntry 3}	R/NW	[規格] このインタフェースが接続しているエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	ospfIfType {ospfIfEntry 4}	R/NW	[規格] インタフェースタイプ。 • ブロードキャスト (1) • ノンブロードキャスト (2) • Point-Point (3) • Point-Multipoint (5) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
7	ospfIfAdminStat {ospfIfEntry 5}	R/NW	[規格] インタフェースの管理状態。 • enabled (1) • disabled (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
8	ospfIfRtrPriority {ospfIfEntry 6}	R/NW	[規格] このインタフェースのプライオリティ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
9	ospfIfTransitDelay {ospfIfEntry 7}	R/NW	[規格] このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
10	ospfIfRetransInterval {ospfIfEntry 8}	R/NW	[規格] リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
11	ospfIfHelloInterval {ospfIfEntry 9}	R/NW	[規格] Hello パケットの送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
12	ospfIfRtrDeadInterval {ospfIfEntry 10}	R/NW	[規格] Hello パケットの最大許容受信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
13	ospfIfPollInterval {ospfIfEntry 11}	R/NW	[規格] 非ブロードキャスト多重アクセスネットワーク上の、不活動隣接局への Hello パケット送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
14	ospfIfState {ospfIfEntry 12}	R/O	[規格] インタフェースの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • loopback (2) • waiting (3) • PtoP (4) • DR (5) • BDR (6) • other (7) [実装] 規格に同じ。	
15	ospfIfDesignatedRouter {ospfIfEntry 13}	R/O	[規格] デジグネーテッドルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
16	ospfIfBackupDesignatedRouter {ospfIfEntry 14}	R/O	[規格] バックアップデジグネーテッドルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
17	ospfIfEvents {ospfIfEntry 15}	R/O	[規格] このインタフェースで状態が変化したか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	
18	ospfIfAuthKey {ospfIfEntry 16}	R/NW	[規格] このインタフェースでの認証キー。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
19	ospfIfStatus {ospfIfEntry 17}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	
20	ospfIfMulticastForwarding {ospfIfEntry 18}	R/NW	[規格] このインタフェースでマルチキャストする方法。 <ul style="list-style-type: none"> • blocked (1) • multicast (2) • unicast (3) [実装] blocked (1) 固定。ただし、Read_Only です。	
21	ospfIfDemand {ospfIfEntry 19}	R/O	[規格] このインタフェースで Demand OSPF 手順を行うかどうかを示します。 [実装] 未実装。	×
22	ospfIfAuthType {ospfIfEntry 20}	R/O	[規格] インタフェースの認証方式を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • なし (0) • シンプルパスワード (1) • MD5 (2) • IANA が規定したもの (3 ~ 255) [実装] 未実装。	×

2.10.8 ospfIfMetricTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfIfMetricTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.8
```

(2) 実装仕様

ospfIfMetricTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-24 ospfIfMetricTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfIfMetricTable {ospf 8}	NA	[規格] 各インタフェースのサービスタイプメトリック情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfIfMetricEntry {ospfIfMetricTable 1}	NA	[規格] 各インタフェースのサービスタイプメトリックの情報リスト。 INDEX { ospfIfMetricIpAddress, ospfIfMetricAddressLessIf, ospfIfMetricTOS } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfIfMetricIpAddress {ospfMetricEntry 1}	R/O	[規格] この OSPF インタフェースの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfIfMetricAddressLessIf {ospfMetricEntry 2}	R/O	[規格] このインタフェースがアドレスレスインタフェースであるときに有効なインタフェースの識別子。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfIfMetricTOS {ospfMetricEntry 3}	R/O	[規格] このインタフェースのサービスのタイプ。 [実装] 0 固定。	
6	ospfIfMetricValue {ospfMetricEntry 4}	R/NW	[規格] このインタフェースのこのサービスタイプのメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
7	ospfIfMetricStatus {ospfMetricEntry 5}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	

2.10.9 ospfVirtIfTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
ospfVirtIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 9}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.9
```

(2) 実装仕様

ospfVirtIfTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-25 ospfVirtIfTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfVirtIfTable {ospf 9}	NA	[規格] ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfVirtIfEntry {ospfVirtIfTable 1}	NA	[規格] 各仮想インタフェースの情報リスト。 INDEX { ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfVirtIfAreaId {ospfVirtIfEntry 1}	R/O	[規格] その仮想リンクが通過するエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfVirtIfNeighbor {ospfVirtIfEntry 2}	R/O	[規格] 仮想の隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	ospfVirtIfTransitDelay {ospfVirtIfEntry 3}	R/NW	[規格] このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
6	ospfVirtIfRetransInterval {ospfVirtIfEntry 4}	R/NW	[規格] リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
7	ospfVirtIfHelloInterval {ospfVirtIfEntry 5}	R/NW	[規格] Hello パケットの送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
8	ospfVirtIfRtrDeadInterval {ospfVirtIfEntry 6}	R/NW	[規格] Hello パケットの最大許容受信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
9	ospfVirtIfState {ospfVirtIfEntry 7}	R/O	[規格] インタフェースの状態。 • down (1) • PtoP (4) [実装] 規格に同じ。	
10	ospfVirtIfEvents {ospfVirtIfEntry 8}	R/O	[規格] このインタフェースで状態が変化したか, エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	
11	ospfVirtIfAuthKey {ospfVirtIfEntry 9}	R/NW	[規格] このインタフェースでの認証キー。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
12	ospfVirtIfStatus {ospfVirtIfEntry 10}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ただし, Read_Only です。	
13	ospfVirtIfAuthType {ospfVirtIfEntry 11}	R/W	[規格] バーチャルインタフェースの認証方式を示します。 [実装] 未実装。	×

2.10.10 ospfNbrTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
ospfNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 10}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.10
```

(2) 実装仕様

ospfNbrTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-26 ospfNbrTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfNbrTable {ospf 10}	NA	[規格] 仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfNbrEntry {ospfNbrTable 1}	NA	[規格] 各隣接局の情報リスト。 INDEX { ospfNbrIpAddr, ospfNbrAddressLessIndex } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfNbrIpAddr {ospfNbrEntry 1}	R/O	[規格] 隣接ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ospfNbrAddressLessIndex {ospfNbrEntry 2}	R/O	[規格] 隣接ルータのインタフェースがアドレスインタフェースであるときに有効な、インタフェースの識別子。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfNbrRtrId {ospfNbrEntry 3}	R/O	[規格] 隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfNbrOptions {ospfNbrEntry 4}	R/O	[規格] 隣接ルータのオプション実行能力。 • Bit 0 : サービスタイプベースルーティング • Bit 1 : 外部エリアの処理 • Bit 2 : IP マルチキャストルーティング • Bit 3 : NSSA と関係したエリア [実装] 規格に同じ。	
7	ospfNbrPriority {ospfNbrEntry 5}	R/NW	[規格] 隣接ルータのプライオリティ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
8	ospfNbrState {ospfNbrEntry 6}	R/O	[規格] この隣接ルータとの関係を表す状態。 • down (1) • attempt (2) • init (3) • twoWay (4) • exchangeStart (5) • exchange (6) • loading (7) • full (8) [実装] 規格に同じ。	
9	ospfNbrEvents {ospfNbrEntry 7}	R/O	[規格] 隣接ルータとの関係で、状態が変化したか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	
10	ospfNbrLsRetransQLen {ospfNbrEntry 8}	R/O	[規格] 再送キューの現在の長さ。 [実装] 規格に同じ。	
11	ospfNbmaNbrStatus {ospfNbrEntry 9}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ospfIfType が nbma 時だけアクセスできます。ただし、Read_Only です。	
12	ospfNbmaNbrPermanence {ospfNbrEntry 10}	R/NW	[規格] 隣接ルータとルーティングする方法。 • dynamic (1) • permanent (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
13	ospfNbrHelloSuppressed {ospfNbrEntry 11}	R/O	[規格] Hello が隣接に抑止されているかを示します。 [実装] 未実装。	×

2.10.11 ospfVirtNbrTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
ospfVirtNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.11
```

(2) 実装仕様

ospfVirtNbrTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-27 ospfVirtNbrTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfVirtNbrTable {ospf 11}	NA	[規格] 仮想隣接ルータの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfVirtNbrEntry {ospfVirtNbrTable 1}	NA	[規格] 各仮想隣接ルータの情報リスト。 INDEX { ospfVirtNbrArea, ospfVirtNbrRtrId } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfVirtNbrArea {ospfVirtNbrEntry 1}	R/O	[規格] 通過するエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfVirtNbrRtrId {ospfVirtNbrEntry 2}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfVirtNbrIpAddr {ospfVirtNbrEntry 3}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfVirtNbrOptions {ospfVirtNbrEntry 4}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータのオプション実行能力。 • Bit 1 : サービスタイプベースルーティング • Bit 2 : IP マルチキャストルーティング [実装] 規格に同じ。	
7	ospfVirtNbrState {ospfVirtNbrEntry 5}	R/O	[規格] この仮想隣接ルータとの関係を表す状態。 • down (1) • attempt (2) • init (3) • twoWay (4) • exchangeStart (5) • exchange (6) • loading (7) • full (8) [実装] 規格に同じ。	
8	ospfVirtNbrEvents {ospfVirtNbrEntry 6}	R/O	[規格] この仮想リンクの状態が変化した場合、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	
9	ospfVirtNbrLsRetransQ Len {ospfVirtNbrEntry 7}	R/O	[規格] 再送キューの現在の長さ。 [実装] 規格に同じ。	
10	ospfVirtNbrHelloSuppr essed {ospfVirtNbrEntry 8}	R/O	[規格] Hello が隣接に抑止されているかを示します。 [実装] 未実装。	×

2.10.12 ospfExtLsdbTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
ospfExtLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 12}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.12
```

(2) 実装仕様

ospfExtLsdbTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-28 ospfExtLsdbTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfExtLsdbTable {ospf 12}	NA	[規格] OSPF 処理のリンク状態データベース (LSDB) のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfExtLsdbEntry {ospfExtLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX { ospfExtLsdbType, ospfExtLsdbLsid, ospfExtLsdbRouterId } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfExtLsdbType {ospfExtLsdbEntry 1}	R/O	[規格] LSA のタイプ。 • asExternalLink (5) [実装] 規格に同じ。	
4	ospfExtLsdbLsid {ospfExtLsdbEntry 2}	R/O	[規格] リンクステータス ID。リンクステータス ID はルータ ID または IP アドレスのどちらかを含むフィールドです。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfExtLsdbRouterId {ospfExtLsdbEntry 3}	R/O	[規格] 自律システム内の生成元ルータを一意に識別するための 32 ビット番号。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfExtLsdbSequence {ospfExtLsdbEntry 4}	R/O	[規格] LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfExtLsdbAge {ospfExtLsdbEntry 5}	R/O	[規格] LSA が生成されてからの経過時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	
8	ospfExtLsdbChecksum {ospfExtLsdbEntry 6}	R/O	[規格] Age フィールドを含めない、広告内容のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	
9	ospfExtLsdbAdvertisem ent {ospfExtLsdbEntry 7}	R/O	[規格] ヘッダを含む完全な全体 LSA。 [実装] 規格に同じ。	

2.10.13 ospfAreaAggregateTable

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}
ospfAreaAggregateTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 14}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.14
```

(2) 実装仕様

ospfAreaAggregateTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-29 ospfAreaAggregateTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfAreaAggregateTable {ospf 14}	NA	[規格] IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
2	ospfAreaAggregateEntry {ospfAreaAggregateTable 1}	NA	[規格] IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのリスト。 INDEX { ospfAreaAggregateAreaID, ospfAreaAggregateLsdbType, ospfAreaAggregateNet, ospfAreaAggregateMask } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfAreaAggregateAreaID {ospfAreaAggregateEntry 1}	R/O	[規格] アドレス集約したエリア。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfAreaAggregateLsdbType {ospfAreaAggregateEntry 2}	R/O	[規格] アドレス集約のタイプ。このエントリは、このアドレス集約に適用されるリンク状態データベース (LSDB) のタイプを示します。 • summaryLink (3) • nssaExternalLink (7) [実装] 規格に同じ。	
5	ospfAreaAggregateNet {ospfAreaAggregateEntry 3}	R/O	[規格] ネットワークまたはサブネットの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfAreaAggregateMask {ospfAreaAggregateEntry 4}	R/O	[規格] ネットワークまたはサブネットに関するサブネットマスク。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfAreaAggregateStatus {ospfAreaAggregateEntry 5}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	
8	ospfAreaAggregateEffect {ospfAreaAggregateEntry 6}	R/NW	[規格] 範囲に包括されるサブネットが集約アドレスを広告する契機となるか、エリア外に広告されないサブネットとなるかを示します。 • advertiseMatching (1) • doNotAdvertiseMatching (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

2.10.14 ospfTrap

(1) 識別子

```
ospf OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 14}

ospfTrap OBJECT IDENTIFIER ::= {ospf 16}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.16

ospfTrapControl OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfTrap 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.14.16.1
```

(2) 実装仕様

ospfTrap グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-30 ospfTrap グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfTrapControl {ospfTrap 1}	NA	[規格] トラップおよびインフォームに関する取得情報。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfSetTrap {ospfTrapControl 1}	R/NW	[規格] トラップおよびインフォーム可能なイベントを示すビットマップ。各ビットが ospfTraps のオブジェクトを示す。 2 ¹ ビット (0x00000002): ospfVirtIfStateChange ~ 2 ¹⁶ ビット (0x00010000): ospfIfStateChange [実装] 規格に同じ。ただし、0x100fe 固定で、Read_Only です。	
3	ospfConfigErrorType {ospfTrapControl 2}	R/O	[規格] 最後に発生したトラップおよびインフォームのエラーイベント。 <ul style="list-style-type: none"> • badVersion (1) • areaMismatch (2) • unknownNbmaNbr (3) • unknownVirtualNbr (4) • authTypeMismatch (5) • authFailure (6) • netMaskMismatch (7) • helloIntervalMismatch (8) • deadIntervalMismatch (9) • optionMismatch (10) [実装] トラップおよびインフォームの発行に関わらず最後に発生したエラーイベント。ただし、エラーイベントが発生していない場合は 0。	
4	ospfPacketType {ospfTrapControl 3}	R/O	[規格] 最後のトラップおよびインフォームで使用された、エラーパケット種別。 <ul style="list-style-type: none"> • hello (1) • dbDescript (2) • lsReq (3) • lsUpdate (4) • lsAck (5) [実装] トラップおよびインフォームの発行に関わらず最後のエラーパケット種別。ただし、エラーイベントが発生していない場合は 0。	
5	ospfPacketSrc {ospfTrapControl 4}	R/O	[規格] 最後のトラップおよびインフォームで使用された、エラーパケットの送信元アドレス。 [実装] トラップおよびインフォームの発行に関わらず、最後のエラーパケットの送信元アドレス。ただし、エラーイベントが発生していない場合は 0.0.0.0。	
6	ospfTraps {ospfTrap 2}	NA	[規格] トラップ広告。 [実装] 規格に同じ。	

2.11 bgp グループ (BGP4 MIB) 【OP-BGP】

bgp グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1657 (1994 年 7 月)

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

2.11.1 bgp

(1) 識別子

bgp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 15}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.15

(2) 実装仕様

bgp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-31 bgp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	bgpVersion {bgp 1}	R/O	[規格] サポートしているバージョンをビットマップ形式で表現します。オクテット内の最上位ビットをビット0として、サポートするバージョン番号-1のビットをセットします。 [実装] 規格に同じ。	
2	bgpLocalAs {bgp 2}	R/O	[規格] ローカルの自律システム番号。 [実装] 規格に同じ。	

2.11.2 bgpPeerTable

(1) 識別子

bgp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 15}
bgpPeerTable OBJECT IDENTIFIER ::= {bgp 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.15.3

(2) 実装仕様

bgpPeerTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-32 bgpPeerTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	bgpPeerTable {bgp 3}	NA	[規格] bgp ピアテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	bgpPeerEntry {bgpPeerTable 1}	NA	[規格] bgp ピアのコネクションに関する情報のテーブル。 INDEX { bgpPeerRemoteAddr } [実装] 規格に同じ。	
3	bgpPeerIdentifier {bgpPeerEntry 1}	R/O	[規格] このエントリの bgp ピアの BGP 識別子。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	bgpPeerState {bgpPeerEntry 2}	R/O	[規格] BGP ピアとの接続の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • idle (1) • connect (2) • active (3) • opensent (4) • openconfirm (5) • established (6) [実装] 規格に同じ。	
5	bgpPeerAdminStatus {bgpPeerEntry 3}	R/NW	[規格] BGP ピアの接続の望まれる状態。BGPstart イベントの生成によって start へ、BGPstop イベントの生成によって stop へ移行します。 <ul style="list-style-type: none"> • stop (1) • start (2) [実装] start (2) 固定。ただし、Read_Only です。	
6	bgpPeerNegotiatedVersion {bgpPeerEntry 4}	R/O	[規格] ピア間でネゴシエートした BGP のバージョン。 [実装] 規格に同じ。	
7	bgpPeerLocalAddr {bgpPeerEntry 5}	R/O	[規格] このエントリの BGP 接続のローカル IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
8	bgpPeerLocalPort {bgpPeerEntry 6}	R/O	[規格] ピア間での TCP 接続のローカルポート番号。 [実装] 規格に同じ。	
9	bgpPeerRemoteAddr {bgpPeerEntry 7}	R/O	[規格] このエントリの BGP 接続のリモートの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
10	bgpPeerRemotePort {bgpPeerEntry 8}	R/O	[規格] ピア間での TCP 接続のリモートのポート番号。 [実装] 規格に同じ。	
11	bgpPeerRemoteAs {bgpPeerEntry 9}	R/O	[規格] リモートの自律システム番号。 [実装] 規格に同じ。	
12	bgpPeerInUpdates {bgpPeerEntry 10}	R/O	[規格] この接続で受信した BGP UPDATE メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
13	bgpPeerOutUpdates {bgpPeerEntry 11}	R/O	[規格] この接続で送信した BGP UPDATE メッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
14	bgpPeerInTotalMessages {bgpPeerEntry 12}	R/O	[規格] この接続でリモートピアから受信したメッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
15	bgpPeerOutTotalMessages {bgpPeerEntry 13}	R/O	[規格] この接続でリモートピアへ送信したメッセージの数。 [実装] 規格に同じ。	
16	bgpPeerLastError {bgpPeerEntry 14}	R/O	[規格] この接続上のピアによって理解された最後のエラーコードとサブコード。 [実装] 規格に同じ。	
17	bgpPeerFsmEstablishedTransitions {bgpPeerEntry 15}	R/O	[規格] FSM が Established 状態になった回数。 [実装] 規格に同じ。	
18	bgpPeerFsmEstablishedTime {bgpPeerEntry 16}	R/O	[規格] Established 状態になってから、または最後に Established 状態であったからの時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	
19	bgpPeerConnectRetryInterval {bgpPeerEntry 17}	R/NW	[規格] ConnectRetry タイマ値。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
20	bgpPeerHoldTime {bgpPeerEntry 18}	R/O	[規格] ピアと確立された HOLD タイマ値。 [実装] 規格に同じ。	
21	bgpPeerKeepAlive {bgpPeerEntry 19}	R/O	[規格] ピアと確立された KeepAlive タイマ値。 [実装] 規格に同じ。	
22	bgpPeerHoldTimeConfigured {bgpPeerEntry 20}	R/NW	[規格] この BGP スピーカのこのピアに対して構成設定された Hold タイマ値。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
23	bgpPeerKeepAliveConfigured {bgpPeerEntry 21}	R/NW	[規格] この BGP スピーカのこのピアに対し構成設定された keepAlive タイマ値。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
24	bgpPeerMinASOriginationInterval {bgpPeerEntry 22}	R/NW	[規格] MinASOriginationInterval タイマ値 (単位: 秒)。 [実装] UPDATE メッセージの広告間隔。 External ピアだけアクセス可。ただし, Read_Only です。	
25	bgpPeerMinRouteAdvertisementInterval {bgpPeerEntry 23}	R/NW	[規格] MinRouteAdvertisementInterval タイマ値 (単位: 秒)。 [実装] UPDATE メッセージの広告間隔。 Internal ピアだけアクセスできます。ただし, Read_Only です。	
26	bgpPeerInUpdateElapsedTime {bgpPeerEntry 24}	R/O	[規格] 最後の update メッセージを受信してからの経過時間。 [実装] 規格に同じ。	
27	bgpIdentifier {bgp 4}	R/O	[規格] ローカルシステムの BGP 識別子。 [実装] 規格に同じ。	

2.11.3 bgp4PathAttrTable

(1) 識別子

```

bgp OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 15}

bgp4PathAttrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {bgp 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.15.6

```

(2) 実装仕様

bgp4PathAttrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-33 bgp4PathAttrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	bgp4PathAttrTable {bgp 6}	NA	[規格] 全 BGP4 から受信した宛先ネットワークまでのパス情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	bgp4PathAttrEntry {bgp4PathAttrTable 1}	NA	[規格] 宛先ネットワークまでのパス情報のリスト。 INDEX { bgp4PathAttrIpAddrPrefix, bgp4PathAttrIpAddrPrefixLen, bgp4PathAttrPeer } [実装] 規格に同じ。	
3	bgp4PathAttrPeer {bgp4PathAttrEntry 1}	R/O	[規格] パス情報が学習されたピアの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
4	bgp4PathAttrIpAddrPrefixLen {bgp4PathAttrEntry 2}	R/O	[規格] Network Layer Reachability Information field の IP アドレスのビット長。 [実装] 規格に同じ。	
5	bgp4PathAttrIpAddrPrefix {bgp4PathAttrEntry 3}	R/O	[規格] Network Layer Reachability Information field の IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
6	bgp4PathAttrOrigin {bgp4PathAttrEntry 4}	R/O	[規格] パス情報の生成元。 • igp (1) • egp (2) • incomplete (3) [実装] 規格に同じ。	
7	bgp4PathAttrASPathSegment {bgp4PathAttrEntry 5}	R/O	[規格] AS パスセグメントの列。 [実装] 規格に同じ。	
8	bgp4PathAttrNextHop {bgp4PathAttrEntry 6}	R/O	[規格] ルート上の次ボダルータのアドレス。 [実装] 規格に同じ。	
9	bgp4PathAttrMultiExitDisc {bgp4PathAttrEntry 7}	R/O	[規格] Multi Exit 属性。-1 はこの属性がないことを意味します。 [実装] 規格に同じ。	
10	bgp4PathAttrLocalPref {bgp4PathAttrEntry 8}	R/O	[規格] 生成元 BGP4 スピーカの優先度。-1 はこの属性がないことを意味します。 [実装] 規格に同じ。	
11	bgp4PathAttrAtomicAggregate {bgp4PathAttrEntry 9}	R/O	[規格] AtomicAggregate 属性。 • lessSpecificRouteNotSelected (1) • lessSpecificRouteSelected (2) [実装] 規格に同じ。	
12	bgp4PathAttrAggregatorAS {bgp4PathAttrEntry 10}	R/O	[規格] 経路集約した最後の BGP4 スピーカの AS 番号。 [実装] 規格に同じ。	
13	bgp4PathAttrAggregatorAddr {bgp4PathAttrEntry 11}	R/O	[規格] 経路集約した最後の BGP4 スピーカの IP アドレス。0.0.0.0 はこの属性がないことを意味します。 [実装] 規格に同じ。	
14	bgp4PathAttrCalcLocalPref {bgp4PathAttrEntry 12}	R/O	[規格] 広告された経路に対し受信 BGP4 スピーカによって計算された優先度。-1 はこの属性がないことを意味します。 [実装] 規格に同じ。	
15	bgp4PathAttrBest {bgp4PathAttrEntry 13}	R/O	[規格] この経路が BGP4 のベストルートとして選択されたかどうかを示します。 • false (1) • true (2) [実装] 規格に同じ。	
16	bgp4PathAttrUnknown {bgp4PathAttrEntry 14}	R/O	[規格] この BGP4 スピーカが理解できない一つまたはそれ以上のパス属性。 [実装] 規格に同じ。	

2.12 rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)

rmon グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1757 (1995 年 2 月)

2.12.1 Ethernet Statistics グループ

(1) 識別子

```
rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}
```

```
statistics OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.1
```

```
etherStatsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {statistics 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.1.1
```

(2) 実装仕様

Ethernet Statistics グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-34 Ethernet Statistics グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	etherStatsTable {statistics 1}	NA	[規格] イーサネットインタフェースの統計情報に関するテーブルを示します。 [実装] 規格に同じ。	
2	etherStatsEntry {etherStatsTable 1}	NA	[規格] 特定イーサネットインタフェースの統計情報を記憶するエントリを示します。 INDEX {etherStatsIndex} [実装] 規格に同じ。	
3	etherStatsIndex {etherStatsEntry 1}	R/O	[規格] 特定の etherStats エントリを示す Index 値。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	
4	etherStatsDataSource {etherStatsEntry 2}	R/NW	[規格] この情報のインタフェースのオブジェクト ID を示します。このオブジェクト・インスタンスは MIB-II の interfaces グループの ifIndex。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
5	etherStatsDropEvents {etherStatsEntry 3}	R/O	[規格] リソース不足によって、パケットを取りこぼすというイベントが発生した回数。実際の取りこぼし数を示すのではなく、取りこぼしを検出した回数です。 [実装] 規格に同じ。	
6	etherStatsOctets {etherStatsEntry 4}	R/O	[規格] bad パケットを含むネットワークで受信したオクテット (バイト) 数。 オクテット数の算出には、フレーム長の MAC ヘッダから FCS までの範囲を使用しています。 [実装] bad パケットを含むネットワークで送受信したオクテット (バイト) 数。 オクテット数の算出には、フレーム長の MAC ヘッダから FCS までの範囲を使用しています。	
7	etherStatsPkts {etherStatsEntry 5}	R/O	[規格] bad パケット, broadcast パケット, multicast パケットを含む総パケットの受信数。 [実装] bad パケット, broadcast パケット, multicast パケットを含む総パケットの送受信数。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	etherStatsBroadcastPkts {etherStatsEntry 6}	R/O	[規格] bad パケット, multicast パケットは含まない broadcast パケットの受信数。 [実装] bad パケット, multicast パケットは含まない broadcast パケットの送受信数。	
9	etherStatsMulticastPkts {etherStatsEntry 7}	R/O	[規格] bad パケット, broadcast パケットは含まない multicast パケットの受信数。 [実装] bad パケット, broadcast パケットは含まない multicast パケットの送受信数。	
10	etherStatsCRCAlignErrors {etherStatsEntry 8}	R/O	[規格] FCS エラーパケット受信数。 [実装] 規格に同じ。	
11	etherStatsUndersizePkts {etherStatsEntry 9}	R/O	[規格] ショートサイズパケット (フレーム長 64 オクテット未満) 受信数。 [実装] 規格に同じ。	
12	etherStatsOversizePkts {etherStatsEntry 10}	R/O	[規格] オーバサイズパケット (フレーム長 1518 オクテットを超えた) 受信数。 [実装] オーバサイズパケット (最大フレーム長を超えた) 受信数。	
13	etherStatsFragments {etherStatsEntry 11}	R/O	[規格] ショートサイズパケット (フレーム長 64 オクテット未満) 受信数で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装] 規格に同じ。	
14	etherStatsJabbers {etherStatsEntry 12}	R/O	[規格] オーバサイズパケット (フレーム長 1518 オクテットを超えた) 受信で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装] オーバサイズパケット (最大フレーム長を超えた) 受信で FCS エラー, Alignment エラーのもの。	
15	etherStatsCollisions {etherStatsEntry 13}	R/O	[規格] コリジョン数。 [実装] 規格に同じ。	
16	etherStatsPkts64Octets {etherStatsEntry 14}	R/O	[規格] bad パケットを含む, フレーム長 64 オクテットの packets 受信数。 [実装] bad パケットを含む, フレーム長 64 オクテットの packets 送受信数。	
17	etherStatsPkts65to127Octets {etherStatsEntry 15}	R/O	[規格] bad パケットを含む, フレーム長 65 ~ 127 オクテットの packets 受信数。 [実装] bad パケットを含む, フレーム長 65 ~ 127 オクテットの packets 送受信数。	
18	etherStatsPkts128to255Octets {etherStatsEntry 16}	R/O	[規格] bad パケットを含む, フレーム長 128 ~ 255 オクテットの packets 受信数。 [実装] bad パケットを含む, フレーム長 128 ~ 255 オクテットの packets 送受信数。	
19	etherStatsPkts256to511Octets {etherStatsEntry 17}	R/O	[規格] bad パケットを含む, フレーム長 256 ~ 511 オクテットの packets 受信数。 [実装] bad パケットを含む, フレーム長 256 ~ 511 オクテットの packets 送受信数。	
20	etherStatsPkts512to1023Octets {etherStatsEntry 18}	R/O	[規格] bad パケットを含む, フレーム長 512 ~ 1023 オクテットの packets 受信数。 [実装] bad パケットを含む, フレーム長 512 ~ 1023 オクテットの packets 送受信数。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
21	etherStatsPkts1024to1518Octets {etherStatsEntry 19}	R/O	[規格] bad パケットを含む、フレーム長 1024 ~ 1518 オクテットの パケット受信数。 [実装] bad パケット (オーバーサイズパケット (最大フレーム長を超えた パケット) は除く) を含む、フレーム長 1024 オクテット以上のパ ケット送受信数。 以下の NIF の場合、フレーム長 1024 ~ 1518 オクテットのパケット 送受信数となります。 • NK1GS-8M • NH1G-16S • NH1G-48T • NH1GS-6M	
22	etherStatsOwner {etherStatsEntry 20}	R/NW	[規格] エントリを構成する実態およびリソースを割り当てたオー ナー。 [実装] "system" と文字列を応答します。ただし、Read_Only です。	
23	etherStatsStatus {etherStatsEntry 21}	R/NW	[規格] エントリの状態を示す。 • valid (1) • createRequest (2) • underCreation (3) • invalid (4) [実装] valid (1) 固定。ただし、Read_Only です。	

注 フレーム長とは MAC ヘッダから FCS までを示します。フレームフォーマットについては、「コンフィギュレーションガイド Vol.1 15.1.3 MAC および LLC 副層制御」を参照してください。

注 ポーズパケットについて

「2.2.1 interfaces グループ (イーサネットの場合)」の注意事項を参照してください。

2.12.2 History Control グループ

(1) 識別子

rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

history OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2

historyControlTable OBJECT IDENTIFIER ::= {history 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2.1

(2) 実装仕様

History Control グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-35 History Control グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	historyControlTable {history 1}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴制御テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	historyControlEntry {historyControlTable 1}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴制御テーブルのリスト。 INDEX { historyControlIndex } [実装] 規格に同じ。ただし、最大 32 エントリまで。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	historyControlIndex {historyControlEntry 1}	R/O	[規格] 特定の historyControl エントリを示す Index 値。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	
4	historyControlDataSource {historyControlEntry 2} 1	R/W	[規格] この情報のインタフェースのオブジェクト ID を示します。このオブジェクト・インスタンスは MIB-II の interfaces グループの ifIndex。 [実装] 規格に同じ。	
5	historyControlBucketsRequested {historyControlEntry 3} 1	R/W	[規格] etherHistoryTable に記憶するデータ数の要求数 (デフォルト値 50)。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	
6	historyControlBucketsGranted {historyControlEntry 4}	R/O	[規格] etherHistoryTable に記憶するデータの認可数。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] historyControlBucketsRequested と同じ値。ただし、historyControlBucketsRequested が 50 以上なら 50 固定となります。	
7	historyControlInterval {historyControlEntry 5} 1	R/W	[規格] etherHistoryTable に記憶するデータのサンプリング間隔 (単位: 秒)。値の範囲は、1 ~ 3600 (デフォルト値 1800)。 [実装] 規格に同じ。	
8	historyControlOwner {historyControlEntry 6} 1	R/W	[規格] エントリを構成する実態およびリソースを割り当てるオーナー。 [実装] 24 文字以内の文字列を読み書きできます。	
9	historyControlStatus {historyControlEntry 7}	R/W	[規格] エントリの状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • valid (1) • createRequest (2) • underCreation (3) • invalid (4) [実装] このエントリに追加するときは、まず、createRequest (2) を Set します。エントリ内の MIB に Set を行い、最後に valid (1) を Set します。 削除するときは、invalid (4) を Set します。createRequest (2) を Set した後で、Get すると、underCreation (3) を応答し、valid (1) を Set した後で Get すると、valid (1) を応答します。 ² すでにエントリがある場合は、いったん invalid (4) を Set してエントリを削除してから追加してください。 <ul style="list-style-type: none"> • valid (1): historyControlDataSource で取得できる interface の統計情報が取得でき、historyControlInterval の間にサンプリングできます。 • invalid (4): 該当 interface のコンフィグレーションの IP 情報がなかった、該当 NIF が inactive 状態だったなどのため、interface の統計情報が取得できません。また、historyInterval の間にサンプリングできません。 	

注 1 コンフィグレーションコマンド rmon collection history でも設定できます。

注 2 コンフィグレーションで設定した履歴グループを、SNMP マネージャから Set で無効にし、再び有効にする場合は、コンフィグレーションで設定した history 設定を削除してから再設定してください。

2.12.3 Ethernet History グループ

(1) 識別子

rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

history OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 2}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2

etherHistoryTable OBJECT IDENTIFIER ::= {history 2}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.2.2

(2) 実装仕様

Ethernet History グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-36 Ethernet History グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	etherHistoryTable {history 2}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	etherHistoryEntry {etherHistoryTable 1}	NA	[規格] イーサネットの統計情報の来歴テーブルのリスト。 INDEX { etherHistoryIndex, etherHistorySampleIndex } [実装] 規格に同じ。	
3	etherHistoryIndex {etherHistoryEntry 1}	R/O	[規格] historyControlIndex のインデックス値と同じ値。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	
4	etherHistorySampleIndex {etherHistoryEntry 2}	R/O	[規格] 同じ etherHistoryIndex の値の中でユニークな値で 1 から順次 値を設定します。値の範囲は 1 ~ 2147483647。 [実装] 規格に同じ。	
5	etherHistoryIntervalStart {etherHistoryEntry 3}	R/O	[規格] 統計情報の取得開始時間 (単位: 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	
6	etherHistoryDropEvents {etherHistoryEntry 4}	R/O	[規格] サンプリング時にパケットの取りこぼしを検出した回数。 [実装] 規格に同じ。	
7	etherHistoryOctets {etherHistoryEntry 5}	R/O	[規格] 特定時間内での受信したオクテット (バイト) 数。bad packets を含みます。 オクテット数の算出には、フレーム長の MAC ヘッダから FCS までの 範囲を使用しています。 [実装] 特定時間内での送受信したオクテット (バイト) 数。bad packets を含みます。 オクテット数の算出には、フレーム長の MAC ヘッダから FCS までの 範囲を使用しています。	
8	etherHistoryPkts {etherHistoryEntry 6}	R/O	[規格] 特定時間内での総パケット受信。bad packets, broadcast packets, multicast packets を含みます。 [実装] 特定時間内での総パケット送受信。bad packets, broadcast packets, multicast packets を含みます。	
9	etherHistoryBroadcastPkts {etherHistoryEntry 7}	R/O	[規格] 特定時間内での broadcast パケットの受信数。bad, multicast パケットは含まない。 [実装] 特定時間内での broadcast パケットの送受信数。bad, multicast パケットは含まない。	
10	etherHistoryMulticastPkts {etherHistoryEntry 8}	R/O	[規格] 特定時間内での multicast パケットの受信数。bad, broadcast パケットは含まない。 [実装] 特定時間内での multicast パケットの送受信数。bad, broadcast パケットは含まない。 ¹	
11	etherHistoryCRCAlignErrors {etherHistoryEntry 9}	R/O	[規格] 特定時間内での FCS エラーパケット受信数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
12	etherHistoryUndersizePkts {etherHistoryEntry 10}	R/O	[規格] 特定時間内でのショートサイズパケット (フレーム長 64 オクテット未満) 受信数。 [実装] 規格に同じ。	
13	etherHistoryOversizePkts {etherHistoryEntry 11}	R/O	[規格] 特定時間内でのオーバサイズパケット (フレーム長 1518 オクテットを超えた) 受信数。 [実装] 特定時間内でのオーバサイズパケット (最大フレーム長を超えた) 受信数。	
14	etherHistoryFragments {etherHistoryEntry 12}	R/O	[規格] 特定時間内でのショートサイズパケット (フレーム長 64 オクテット未満) 受信数で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装] 規格に同じ。	
15	etherHistoryJabbers {etherHistoryEntry 13}	R/O	[規格] 特定時間内でのオーバサイズパケット (フレーム長 1518 オクテットを超えた) 受信で FCS エラー, Alignment エラーのもの。 [実装] 特定時間内でのオーバサイズパケット (最大フレーム長を超えた) 受信で FCS エラー, Alignment エラーのもの。	
16	etherHistoryCollisions {etherHistoryEntry 14}	R/O	[規格] 特定時間内でのコリジョン数。 [実装] 規格に同じ。	
17	etherHistoryUtilization {etherHistoryEntry 15}	R/O	[規格] 物理レイヤの利用率の見積もり。値の範囲は, 0 ~ 10000。 [実装] 利用率を示します。 半二重回線の場合の利用率は, {パケット数 × (9.6+6.4) + (オクテット数 × 0.8)} ÷ {時間間隔 × 回線速度} × 1000 で計算します。 全二重回線の場合の利用率は, {パケット数 × (9.6+6.4) + (オクテット数 × 0.8)} ÷ {時間間隔 × 回線速度} × 2} × 1000 で計算します。	

注 フレーム長とは MAC ヘッダから FCS までを示します。フレームフォーマットについては、「コンフィギュレーションガイド Vol.1 15.1.3 MAC および LLC 副層制御」を参照してください。

注 1 ポーズパケットについて

「2.2.1 interfaces グループ (イーサネットの場合)」の注意事項を参照してください。

2.12.4 Alarm グループ

(1) 識別子

rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

alarm OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.3

alarmTable OBJECT IDENTIFIER ::= {alarm 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.3.1

(2) 実装仕様

Alarm グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-37 Alarm グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	alarmTable {alarm 1}	NA	[規格] アラームテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	alarmEntry {alarmTable 1}	NA	[規格] アラームテーブルのリスト。 INDEX {alarmIndex} [実装] 規格に同じ。ただし, 最大 128 エントリまで。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	alarmIndex {alarmEntry 1}	R/O	[規格] alarmTable 中の行エントリを一意に識別する識別子。値の範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	
4	alarmInterval {alarmEntry 2} ¹	R/W	[規格] 閾値と比較する間隔 (単位: 秒)。 設定できる範囲は 1 ~ (2 ³² -1) [実装] 規格に同じ。 ²	
5	alarmVariable {alarmEntry 3} ¹	R/W	[規格] サンプリングする MIB のオブジェクト識別子。 [実装] 規格に同じ。	
6	alarmSampleType {alarmEntry 4} ¹	R/W	[規格] 値を閾値と比較する方法を指定します。 • absoluteValue (1) • deltaValue (2) [実装] 規格に同じ。	
7	alarmValue {alarmEntry 5}	R/O	[規格] 前回のサンプリング時の統計値。 [実装] 規格に同じ。	
8	alarmStartupAlarm {alarmEntry 6} ¹	R/W	[規格] 最初にアラームを生成するタイミング。 • risingAlarm (1) • fallingAlarm (2) • risingOrfallingAlarm (3) [実装] 規格に同じ。	
9	alarmRisingThreshold {alarmEntry 7} ¹	R/W	[規格] サンプリングした統計に対する上方閾値。 [実装] 規格に同じ。 ²	
10	alarmFallingThreshold {alarmEntry 8} ¹	R/W	[規格] サンプリングした統計に対する下方閾値。 [実装] 規格に同じ。 ²	
11	alarmRisingEventIndex {alarmEntry 9} ¹	R/W	[規格] 上方閾値を超えた場合に使用するイベントグループのインデックス番号。設定できる範囲は 0 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	
12	alarmFallingEventIndex {alarmEntry 10} ¹	R/W	[規格] 下方閾値を超えた場合に使用するイベントグループのインデックス番号。設定できる範囲は 0 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	
13	alarmOwner {alarmEntry 11} ¹	R/W	[規格] エントリを構成する実態およびリソースを割り当てたオーナー。 [実装] 24 文字以内の文字列を読み書きできます。	
14	alarmStatus {alarmEntry 12}	R/W	[規格] エントリの状態を示します。 [実装] このエントリに追加するときは、まず、createRequest (2) を Set します。エントリ内の MIB に Set を行い、最後に valid (1) を Set します。 削除するときは、invalid (4) を Set します。createRequest (2) を Set した後で、Get すると、underCreation (3) を応答し、valid (1) を Set した後で Get すると、valid (1) を応答します。 ³ すでにエントリがある場合は、いったん invalid (4) を Set してエントリを削除してから追加してください。 • valid (1): alarmVariable に設定されたオブジェクトの情報を alarmInterval の間にサンプリングできます。 • invalid (4): alarmVariable に設定されたオブジェクトが存在しません。または、alarmInterval の間にサンプリングできませんでした。	

注 1 コンフィグレーションコマンド rmon alarm でも設定できます。

注 2 コンフィグレーションで "2147483648" を設定した場合は "-2147483648" が表示され、以降、1 ずつカウント

アップされます。"4294967295" を設定した場合は "-1" が表示されます。

注 3 コンフィグレーションで設定したアラームグループを、SNMP マネージャから Set で無効にし、再び有効にする場合は、コンフィグレーションで設定した alarm 設定を削除してから再設定してください。

2.12.5 Event グループ

(1) 識別子

rmon OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 16}

event OBJECT IDENTIFIER ::= {rmon 9}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.9

eventTable OBJECT IDENTIFIER ::= {event 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.16.9.1

(2) 実装仕様

Event グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-38 Event グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	eventTable {event 1}	NA	[規格] RMON エージェントによって生成されるイベントのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	eventEntry {eventTable 1}	NA	[規格] RMON エージェントによって生成されるイベントのリスト。 INDEX {eventIndex} [実装] 規格に同じ。ただし、最大 16 エントリまで。	
3	eventIndex {eventEntry 1}	R/O	[規格] eventEntry リストのインデックス値。これは、logEntry リストの logEventIndex と同等の値です。設定できる範囲は 1 ~ 65535。 [実装] 規格に同じ。	
4	eventDescription {eventEntry 2} ¹	R/W	[規格] このリストの説明。最大 127 文字の文字列。 [実装] 79 文字以内の文字列。	
5	eventType {eventEntry 3} ¹	R/W	[規格] イベント通知方法を示します。 • none (1) • log (2) • snmp-trap (3) • log-and-trap (4) [実装] 規格に同じ。	
6	eventCommunity {eventEntry 4} ¹	R/W	[規格] eventType に Trap を指定したときに発行される Trap のコミュニティ名。最大 127 文字の文字列。 [実装] 60 文字以内の文字列。	
7	eventLastTimeSent {eventEntry 5}	R/O	[規格] イベントが最後に生成されたときの sysUpTime 値 (単位: 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	
8	eventOwner {eventEntry 6} ¹	R/W	[規格] このエンティティを構成する実態およびリソースを割り当てるオーナー。最大 127 文字。 [実装] 24 文字以内の文字列を読み書きできます。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
9	eventStatus {eventEntry 7}	R/W	<p>[規格] このエントリの状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • valid (1) • createRequest (2) • underCreation (3) • invalid (4) <p>[実装] このエントリに追加するときは、まず、createRequest (2) を Set します。エントリ内の MIB に Set を行い、最後に valid (1) を Set します。</p> <p>削除するときは、invalid (4) を Set します。createRequest (2) を Set した後で、Get すると、underCreation (3) を応答し、valid (1) を Set した後で Get すると、valid (1) を応答します。²</p> <p>すでにエントリがある場合は、いったん invalid (4) を Set してエントリを削除してから追加してください。</p>	
10	logTable {event 2}	NA	<p>[規格] log されたイベントのテーブル。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	
11	logEntry {logTable 1}	NA	<p>[規格] log されたイベントのリスト。</p> <p>INDEX { logEventIndex, logIndex }</p> <p>[実装] 規格に同じ。ただし、最大 128 エントリまで。</p>	
12	logEventIndex {logEntry 1}	R/O	<p>[規格] このログを生成することになったイベントを示すインデックス。この値は、eventIndex と同じ値を持つイベントを示します。値の範囲は 1 ~ 65535。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	
13	logIndex {logEntry 2}	R/O	<p>[規格] 同じイベントに対するログのインデックス。値の範囲は 1 ~ 2147483647。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	
14	logTime {logEntry 3}	R/O	<p>[規格] このログリストが生成されたときの sysUpTime 値。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	
15	logDescription {logEntry 4}	R/O	<p>[規格] このログリストの元になったイベントに関するコメント。最大 255 文字の文字列。</p> <p>[実装] 最大 72 文字の文字列で応答。</p>	

注 1 コンフィグレーションコマンド rmon event でも設定できます。

注 2 コンフィグレーションで設定したイベントグループを、SNMP マネージャから Set で無効にし、再び有効にする場合は、コンフィグレーションで設定した event 設定を削除してから再設定してください。

2.13 dot1dBridge グループ

dot1dBridge グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC1493 (1993 年 6 月)
- RFC2674 (1999 年 8 月)

2.13.1 dot1dBase グループ

(1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}

dot1dBase OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.1
```

(2) 実装仕様

dot1dBase グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-39 dot1dBase グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1dBaseBridgeAddresses {dot1dBase 1}	R/O	[規格] ブリッジの MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
2	dot1dBaseNumPorts {dot1dBase 2}	R/O	[規格] ブリッジのポート数。 [実装] 規格に同じ。	
3	dot1dBaseType {dot1dBase 3}	R/O	[規格] ブリッジが実行できるブリッジングのタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • unknown (1) • transparent-only (2) • sourceroute-only (3) • srt (4) [実装] transparent-only (2) 固定。	
4	dot1dBasePortTable {dot1dBase 4}	NA	[規格] ブリッジの各ポート情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
5	dot1dBasePortEntry {dot1dBasePortTable 1}	NA	[規格] ブリッジの各ポート情報のリスト。 INDEX { dot1dBasePort } [実装] 規格に同じ。	
6	dot1dBasePort {dot1dBasePortEntry 1}	R/O	[規格] ポートのポート番号 (1 ~ 65535)。 [実装] 規格に同じ。	
7	dot1dBasePortIfIndex {dot1dBasePortEntry 2}	R/O	[規格] このポートに対応するインタフェースが MIB-II に定義されたオブジェクトのインスタンスの値。 [実装] 規格に同じ。	
8	dot1dBasePortCircuit {dot1dBasePortEntry 3}	R/O	[規格] dot1dBasePortIfIndex で設定された同一のインスタンスの値を持つポートの識別子。 [実装] {0.0} 固定。	
9	dot1dBasePortDelayExceededDiscards {dot1dBasePortEntry 4}	R/O	[規格] 通過遅延による廃棄フレームの総数。 [実装] 0 固定。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	dot1dBasePortMtuExceededDiscards {dot1dBasePortEntry 5}	R/O	[規格] データオーバーフローによる廃棄フレームの総数。 [実装] 規格に同じ。	

2.13.2 dot1dStp グループ

(1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}

dot1dStp OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.2
```

(2) 実装仕様

dot1dStp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-40 dot1dStp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1dStpProtocolSpecification {dot1dStp 1}	R/O	[規格] ブリッジが実行しているスパンニング・ツリーのバージョン。 • unknown (1) • decLb100 (2) • ieee8021d (3) [実装] 3 固定。	
2	dot1dStpPriority {dot1dStp 2}	R/NW	[規格] ブリッジプライオリティの値 (0 ~ 65535)。 [実装] 規格に同じ。	
3	dot1dStpTimeSinceTopologyChange {dot1dStp 3}	R/O	[規格] トポロジ変化が起きてからの経過時間 (単位: 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	
4	dot1dStpTopChanges {dot1dStp 4}	R/O	[規格] トポロジ変化回数。 [実装] 規格に同じ。	
5	dot1dStpDesignatedRoot {dot1dStp 5}	R/O	[規格] ブリッジで保持しているルートブリッジ識別子の値。 [実装] 規格に同じ。	
6	dot1dStpRootCost {dot1dStp 6}	R/O	[規格] ブリッジで保持しているルートパスコストの値。 [実装] 規格に同じ。	
7	dot1dStpRootPort {dot1dStp 7}	R/O	[規格] ブリッジで保持しているルートポートの値。 [実装] 規格に同じ。ただし、ルートポートが存在しない場合は 0 を表示。仮想リンクの場合は仮想リンクに使用する VLAN の ifIndex 値を表示。	
8	dot1dStpMaxAge {dot1dStp 8}	R/O	[規格] ブリッジで保持している最大年齢時間 (単位: 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	
9	dot1dStpHelloTime {dot1dStp 9}	R/O	[規格] ブリッジで保持している Hello 時間 (単位: 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	
10	dot1dStpHoldTime {dot1dStp 10}	R/O	[規格] ブリッジで保持している Hold 時間 (単位: 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	
11	dot1dStpForwardDelay {dot1dStp 11}	R/O	[規格] ブリッジで保持している転送遅延時間 (単位: 1/100 秒)。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
12	dot1dStpBridgeMaxAge {dot1dStp 12}	R/NW	[規格] ブリッジに設定されている最大年齢時間 (600 ~ 4000, 単位: 1/100 秒) [実装] 規格に同じ。	
13	dot1dStpBridgeHelloTime {dot1dStp 13}	R/NW	[規格] ブリッジに設定されている Hello 時間 (100 ~ 1000, 単位: 1/100 秒) [実装] 規格に同じ。	
14	dot1dStpBridgeForwardDelay {dot1dStp 14}	R/NW	[規格] ブリッジに設定されている転送遅延時間 (400 ~ 3000, 単位: 1/100 秒) [実装] 規格に同じ。	
15	dot1dStpPortTable {dot1dStp 15}	NA	[規格] スパニング・ツリー・プロトコルのためのポート情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
16	dot1dStpPortEntry {dot1dStpPortTable 1}	NA	[規格] スパニング・ツリー・プロトコル状態に関するポートごとの情報のリスト。 INDEX {ifIndex} [実装] 規格に同じ。	
17	dot1dStpPort {dot1dStpPortEntry 1}	R/O	[規格] スパニング・ツリー対象ポートのポート番号 (1 ~ 65535)。 [実装] 規格に同じ。	
18	dot1dStpPortPriority {dot1dStpPortEntry 2}	R/NW	[規格] ポート優先度 (0 ~ 255)。 [実装] 規格に同じ。	
19	dot1dStpPortState {dot1dStpPortEntry 3}	R/O	[規格] ポートの現在の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • disabled (1) • blocking (2) • listening (3) • learning (4) • forwarding (5) • broken (6) [実装] 規格に同じ。	
20	dot1dStpPortEnable {dot1dStpPortEntry 4}	R/NW	[規格] ポートの有効 / 無効な状態。 <ul style="list-style-type: none"> • enabled (1) • disabled (2) [実装] 規格に同じ。	
21	dot1dStpPortPathCost {dot1dStpPortEntry 5}	R/NW	[規格] ポートのパスコスト値 (1 ~ 65535)。 [実装] 0 ~ 200000000。ポートのリンクがダウンしている場合は 0 を表示。	
22	dot1dStpPortDesignatedRoot {dot1dStpPortEntry 6}	R/O	[規格] 構成 BPDU 中のルートブリッジ識別子。 [実装] 規格に同じ。	
23	dot1dStpPortDesignatedCost {dot1dStpPortEntry 7}	R/O	[規格] 指定ポートのパスコスト値。 [実装] 規格に同じ。	
24	dot1dStpPortDesignatedBridge {dot1dStpPortEntry 8}	R/O	[規格] 指定ブリッジのブリッジ識別子。 [実装] 規格に同じ。	
25	dot1dStpPortDesignatedPort {dot1dStpPortEntry 9}	R/O	[規格] 指定ブリッジのポート識別子。 <ul style="list-style-type: none"> • SIZE (2) [実装] 規格に同じ。	
26	dot1dStpPortForwardTransitions {dot1dStpPortEntry 10}	R/O	[規格] ポートが学習状態から転送状態に遷移した回数。 [実装] 規格に同じ。	

2.13.3 dot1dTp グループ

(1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}

dot1dTp OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.4
```

(2) 実装仕様

dot1dTp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-41 dot1dTp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1dTpLearnedEntryDiscards {dot1dTp 1}	R/O	[規格] フォワーディングデータベースに保存する領域がないために廃棄されたフォワーディング情報の数。 [実装] 0 固定。	
2	dot1dTpAgingTime {dot1dTp 2}	R/NW	[規格] ダイナミックに学習したフォワーディング情報をエージング・アウトさせるためのタイムアウト期間 (10 ~ 1000000, 単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、コンフィグレーションでエージングなしの場合は 0。	
3	dot1dTpFdbTable {dot1dTp 3}	NA	[規格] フィルタリング情報を持つユニキャスト・エントリの情報テーブル。 [実装] 未実装。	×
4	dot1dTpFdbEntry {dot1dTpFdbTable 1}	NA	[規格] フィルタリング情報を持つユニキャスト MAC アドレス情報。 INDEX { dot1dTpFdbAddress } [実装] 未実装。	×
5	dot1dTpFdbAddress {dot1dTpFdbEntry 1}	R/O	[規格] フィルタリング情報を持つユニキャスト MAC アドレス。 [実装] 未実装。	×
6	dot1dTpFdbPort {dot1dTpFdbEntry 2}	R/O	[規格] dot1dTpFdbAddress の対応するインスタンス値と同じ送信元アドレス値を持つフレームを送信したポートのポート番号。 [実装] 未実装。	×
7	dot1dTpFdbStatus {dot1dTpFdbEntry 3}	R/O	[規格] MAC アドレステーブルの状態。 • other (1) • invalid (2) • learned (3) • self (4) • mgmt (5) [実装] 未実装。	×
8	dot1dTpPortTable {dot1dTp 4}	NA	[規格] 全ポートの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
9	dot1dTpPortEntry {dot1dTpPortTable 1}	NA	[規格] 各ポートの情報リスト。 INDEX { dot1dTpPort } [実装] 規格に同じ。	
10	dot1dTpPort {dot1dTpPortEntry 1}	R/O	[規格] このエントリが含む管理情報がどのポートに対するかを示すポート番号 (1 ~ 65535)。 [実装] 規格に同じ。	
11	dot1dTpPortMaxInfo {dot1dTpPortEntry 2}	R/O	[規格] このポートの送受信情報フィールドの最大サイズ。 [実装] 規格に同じ。	
12	dot1dTpPortInFrames {dot1dTpPortEntry 3}	R/O	[規格] このポートの受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
13	dot1dTpPortOutFrames {dot1dTpPortEntry 4}	R/O	[規格] このポートの送信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
14	dot1dTpPortInDiscards {dot1dTpPortEntry 5}	R/O	[規格] 有効な受信フレームの廃棄数。 [実装] 規格に同じ。	
15	dot1dTpHCPortTable {dot1dTp 5}	NA	[規格] 高収容能力ポートの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
16	dot1dTpHCPortEntry {dot1dTpHCPortTable 1}	NA	[規格] 高収容能力ポートの情報リスト。 INDEX { dot1dTpPort } [実装] 規格に同じ。	
17	dot1dTpHCPortInFrames {dot1dTpHCPortEntry 1}	R/O	[規格] 高収容能力ポートの受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
18	dot1dTpHCPortOutFrames {dot1dTpHCPortEntry 2}	R/O	[規格] 高収容能力ポートの送信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
19	dot1dTpHCPortInDiscards {dot1dTpHCPortEntry 3}	R/O	[規格] 高収容能力ポートで受信され廃棄されたフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
20	dot1dTpPortOverflowTable {dot1dTp 6}	NA	[規格] 高収容能力ポートのオーバーフロー情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
21	dot1dTpPortOverflowEntry {dot1dTpPortOverflowTable 1}	NA	[規格] 高収容能力ポートのオーバーフロー情報リスト。 INDEX { dot1dTpPort } [実装] 規格に同じ。	
22	dot1dTpPortInOverflowFrames {dot1dTpPortOverflowEntry 1}	R/O	[規格] dot1dTpPortInFrames のカウンタがオーバーフローした回数。 [実装] 規格に同じ。	
23	dot1dTpPortOutOverflowFrames {dot1dTpPortOverflowEntry 2}	R/O	[規格] dot1dTpPortOutFrames のカウンタがオーバーフローした回数。 [実装] 規格に同じ。	
24	dot1dTpPortInOverflowDiscards {dot1dTpPortOverflowEntry 3}	R/O	[規格] dot1dTpPortInDiscards のカウンタがオーバーフローした回数。 [実装] 規格に同じ。	

2.13.4 pBridgeMIB グループ

(1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}
```

```
pBridgeMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 6}
```

```
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.6
```

```
pBridgeMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIB 1}
dot1dExtBase OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 1}
dot1dPriority OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 2}
dot1dGarp OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 3}
dot1dGmrp OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIBObjects 4}
```

```

pBridgeConformance OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeMIB 2}
pBridgeGroups       OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeConformance 1}
pBridgeCompliances  OBJECT IDENTIFIER ::= {pBridgeConformance 2}

```

(2) 実装仕様

pBridgeMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-42 pBridgeMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1dDeviceCapabilities {dot1dExtBase 1}	R/O	<p>[規格] 装置が実装する IEEE 802.1D と 802.1Q のオプション。</p> <ul style="list-style-type: none"> dot1dExtendedFilteringServices (0) dot1dTrafficClasses (1) dot1qStaticEntryIndividualPort (2) dot1qIVLCapable (3) dot1qSVLCapable (4) dot1qHybridCapable (5) dot1qConfigurablePvidTagging (6) dot1dLocalVlanCapable (7) <p>[実装] dot1dTrafficClasses (1), dot1qIVLCapable (3), dot1qConfigurablePvidTagging (6) マネージャによって文字として表示されます。</p>	
2	dot1dTrafficClassesEnabled {dot1dExtBase 2}	R/NW	<p>[規格] ブリッジのトラフィッククラスサポート状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> true (1) false (2) <p>[実装] true (1)</p>	
3	dot1dGmrpStatus {dot1dExtBase 3}	R/NW	<p>[規格] GMRP の状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> enabled (1) disabled (2) <p>[実装] disabled (2)</p>	
4	dot1dPortCapabilitiesTable {dot1dExtBase 4}	NA	<p>[規格] ポートの能力情報テーブル。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	
5	dot1dPortCapabilitiesEntry {dot1dPortCapabilitiesTable 1}	NA	<p>[規格] ポートの能力情報リスト。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	
6	dot1dPortCapabilitiesEntry1 {dot1dPortCapabilitiesEntry 1}	R/O	<p>[規格] ポートの IEEE 802.1D と 802.1Q の状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> dot1qDot1qTagging (0) dot1qConfigurableAcceptableFrameTypes (1) dot1qIngressFiltering (2) <p>[実装] dot1qIngressFiltering (2) マネージャによって文字として表示されます。</p>	
7	dot1dPortPriorityTable {dot1dPriority 1}	NA	<p>[規格] ポートの優先度情報テーブル。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	
8	dot1dPortPriorityEntry {dot1dPortPriorityTable 1}	NA	<p>[規格] ポートの優先度情報リスト。</p> <p>[実装] 規格に同じ。</p>	
9	dot1dPortDefaultUserPriority {dot1dPortPriorityEntry 1}	R/NW	<p>[規格] ポートのデフォルトイングレスユーザ優先度 (0 ~ 7)。</p> <p>[実装] 0。</p>	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	dot1dPortNumTrafficClasses {dot1dPortPriorityEntry 2}	R/NW	[規格] ポートのイングレストラフィッククラス番号 (1 ~ 8)。 [実装] 1。	
11	dot1dTrafficClassTable {dot1dPriority 3}	NA	[規格] トラフィッククラスの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
12	dot1dTrafficClassEntry {dot1dTrafficClassTable 1}	NA	[規格] トラフィッククラスの情報リスト。 INDEX { dot1dBasePort, dot1dTrafficClassPriority } [実装] 規格に同じ。	
13	dot1dTrafficClassPriority {dot1dTrafficClassEntry 1}	NA	[規格] トラフィッククラスの優先度 (0 ~ 7)。 [実装] 規格に同じ。	
14	dot1dTrafficClass {dot1dTrafficClassEntry 2}	R/NW	[規格] トラフィッククラス (0 ~ 7)。 [実装] 規格に同じ。	

2.13.5 qBridgeMIB グループ

(1) 識別子

```
dot1dBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 17}
qBridgeMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.17.7

qBridgeMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIB 1}
dot1qBase OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 1}
dot1qTp OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 2}
dot1qStatic OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 3}
dot1qVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIBObjects 4}
qBridgeConformance OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeMIB 2}
qBridgeGroups OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeConformance 1}
qBridgeCompliances OBJECT IDENTIFIER ::= {qBridgeConformance 2}
dot1dPortPair OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1dBridge 10}
```

(2) 実装仕様

qBridgeMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-43 qBridgeMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1qVlanVersionNumber {dot1qBase 1}	R/O	[規格] IEEE 802.1Q のバージョン番号。 • version1 (1) [実装] 1。	
2	dot1qMaxVlanId {dot1qBase 2}	R/O	[規格] IEEE 802.1Q VLAN ID の最大数。 [実装] 4095。	
3	dot1qMaxSupportedVlans {dot1qBase 3}	R/O	[規格] IEEE 802.1Q VLAN の最大数。 [実装] 4095。	
4	dot1qNumVlans {dot1qBase 4}	R/O	[規格] IEEE 802.1Q VLAN の現在数。 [実装] 規格に同じ。	

2.13 dot1dBridge グループ

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	dot1qGvrpStatus {dot1qBase 5}	R/NW	[規格] GVRP の管理状態。 [実装] disabled (2)	
6	dot1qFdbTable {dot1qTp 1}	NA	[規格] MAC アドレステーブルのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
7	dot1qFdbEntry {dot1qFdbTable 1}	NA	[規格] MAC アドレステーブルのリスト。 INDEX { dot1qFdbId } [実装] 規格に同じ。	
8	dot1qFdbId {dot1qFdbEntry 1}	NA	[規格] MAC アドレステーブルの識別子。 [実装] 規格に同じ。	
9	dot1qFdbDynamicCount {dot1qFdbEntry 2}	R/O	[規格] MAC アドレステーブルにある動的エントリ数。 [実装] 0 固定。	
10	dot1qTpFdbTable {dot1qTp 2}	NA	[規格] トランスペアレントな MAC アドレステーブルの情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。 1, 2	
11	dot1qTpFdbEntry {dot1qTpFdbTable 1}	NA	[規格] トランスペアレントな MAC アドレステーブルの情報リスト。 INDEX { dot1qFdbId, dot1qTpFdbAddress } [実装] 規格に同じ。 1, 2	
12	dot1qTpFdbAddress {dot1qTpFdbEntry 1}	NA	[規格] トランスペアレントな MAC アドレステーブルにあるユニキャスト MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。 1, 2	
13	dot1qTpFdbPort {dot1qTpFdbEntry 2}	R/O	[規格] トランスペアレントな MAC アドレステーブルにあるポート番号 (0 ~ 65535)。 [実装] 規格に同じ。 1, 2	
14	dot1qTpFdbStatus {dot1qTpFdbEntry 3}	R/O	[規格] MAC アドレステーブルの状態。 • other (1) • invalid (2) • learned (3) • self (4) • mgmt (5) [実装] ダイナミックエントリは learned (3) を返す。ダイナミックエントリ以外は mgmt (5) を返す。 1, 2	
15	dot1qTpGroupTable {dot1qTp 3}	NA	[規格] トランスペアレントなグループの情報テーブル。 [実装] 未実装。	×
16	dot1qTpGroupEntry {dot1qTpGroupTable 1}	NA	[規格] トランスペアレントなグループの情報リスト。 INDEX { dot1qVlanIndex, dot1qTpGroupAddress } [実装] 未実装。	×
17	dot1qTpGroupAddress {dot1qTpGroupEntry 1}	NA	[規格] トランスペアレントなグループにある宛先 MAC アドレス。 [実装] 未実装。	×
18	dot1qTpGroupEgressPorts {dot1qTpGroupEntry 2}	R/O	[規格] トランスペアレントなグループにあるイングレスポートの全セット。 [実装] 未実装。	×
19	dot1qTpGroupLearnt {dot1qTpGroupEntry 3}	R/O	[規格] トランスペアレントなグループにある学習されたポートのサブセット。 [実装] 未実装。	×
20	dot1qForwardAllTable {dot1qTp 4}	NA	[規格] すべてのマルチキャストを転送する VLAN のフォワーディング情報テーブル。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
21	dot1qForwardAllEntry {dot1qForwardAllTable 1}	NA	[規格] すべてのマルチキャストを転送する VLAN のフォワーディング情報リスト。 INDEX { dot1qVlanIndex } [実装] 未実装。	×
22	dot1qForwardAllPorts {dot1qForwardAllEntry 1}	R/O	[規格] すべてのマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のポートの全セット。 [実装] 未実装。	×
23	dot1qForwardAllStaticPorts {dot1qForwardAllEntry 2}	R/NW	[規格] すべてのマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN の静的なポートのセット。 [実装] 未実装。	×
24	dot1qForwardAllForbiddenPorts {dot1qForwardAllEntry 3}	R/NW	[規格] すべてのマルチキャストグループアドレスを転送しない VLAN のポートのセット。 [実装] 未実装。	×
25	dot1qForwardUnregisteredTable {dot1qTp 5}	NA	[規格] 未登録なマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のフォワーディング情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
26	dot1qForwardUnregisteredEntry {dot1qForwardUnregisteredTable 1}	NA	[規格] 未登録なマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のフォワーディング情報リスト。 INDEX { dot1qVlanIndex } [実装] 規格に同じ。	
27	dot1qForwardUnregisteredPorts {dot1qForwardUnregisteredEntry 1}	R/O	[規格] 未登録のマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN のポートの全セット。 [実装] 規格に同じ。	
28	dot1qForwardUnregisteredStaticPorts {dot1qForwardUnregisteredEntry 2}	R/NW	[規格] 未登録のマルチキャストグループアドレスを転送する VLAN の静的なポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	
29	dot1qForwardUnregisteredForbiddenPorts {dot1qForwardUnregisteredEntry 3}	R/NW	[規格] 未登録のマルチキャストグループを転送しない VLAN の静的なポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	
30	dot1qStaticUnicastTable {dot1qStatic 1}	NA	[規格] 静的なユニキャスト MAC アドレスのフィルタリング情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
31	dot1qStaticUnicastEntry {dot1qStaticUnicastTable 1}	NA	[規格] 静的なユニキャスト MAC アドレスのフィルタリング情報リスト。 INDEX { dot1qFdbId , dot1qStaticUnicastAddress , dot1qStaticUnicastReceivePort } [実装] 規格に同じ。	
32	dot1qStaticUnicastAddress {dot1qStaticUnicastEntry 1}	NA	[規格] 静的なユニキャストアドレスの宛先 MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
33	dot1qStaticUnicastReceivePort {dot1qStaticUnicastEntry 2}	NA	[規格] 静的なユニキャストアドレスを受信するポート番号 (0 ~ 65535) [実装] 0。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
34	dot1qStaticUnicastAllowedToGoTo {dot1qStaticUnicastEntry 3}	R/NW	[規格] 静的なユニキャストアドレスをフラッドするポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	
35	dot1qStaticUnicastStatus {dot1qStaticUnicastEntry 4}	R/NW	[規格] 静的なユニキャストアドレスのエントリ状態。 • other (1) • invalid (2) • permanent (3) • deleteOnReset (4) • deleteOnTimeout (5) [実装] permanent (3) 固定。	
36	dot1qStaticMulticastTable {dot1qStatic 2}	NA	[規格] 静的なマルチキャストとブロードキャストの MAC アドレスを転送する VLAN のフィルタリング情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
37	dot1qStaticMulticastEntry {dot1qStaticMulticastTable 1}	NA	[規格] 静的なマルチキャストとブロードキャストの MAC アドレスを転送する VLAN のフィルタリング情報リスト。 INDEX { dot1qVlanIndex , dot1qStaticMulticastAddress , dot1qStaticMulticastReceivePort } [実装] 規格に同じ。	
38	dot1qStaticMulticastAddress {dot1qStaticMulticastEntry 1}	NA	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの宛先 MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
39	dot1qStaticMulticastReceivePort {dot1qStaticMulticastEntry 2}	NA	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの MAC アドレスを受信するポート番号 (0 ~ 65535)。 [実装] 規格に同じ。	
40	dot1qStaticMulticastStaticEgressPorts {dot1qStaticMulticastEntry 3}	R/NW	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの MAC アドレスを転送するポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	
41	dot1qStaticMulticastForbiddenEgressPorts {dot1qStaticMulticastEntry 4}	R/NW	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストの MAC アドレスを転送しないポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	
42	dot1qStaticMulticastStatus {dot1qStaticMulticastEntry 5}	R/NW	[規格] 静的なマルチキャストまたはブロードキャストのエントリ状態。 • other (1) • invalid (2) • permanent (3) • deleteOnReset (4) • deleteOnTimeout (5) [実装] permanent (3) 固定。	
43	dot1qVlanNumDeletes {dot1qVlan 1}	R/O	[規格] VLAN エントリの削除回数。 [実装] 規格に同じ。	
44	dot1qVlanCurrentTable {dot1qVlan 2}	NA	[規格] VLAN の現在の構成情報テーブル。 [実装] 未実装。	×
45	dot1qVlanCurrentEntry {dot1qVlanCurrentTable 1}	NA	[規格] VLAN の現在の構成情報リスト。 INDEX { dot1qVlanTimeMark, dot1qVlanIndex } [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
46	dot1qVlanTimeMark {dot1qVlanCurrentEntry 1}	NA	[規格] エントリのタイムフィルタ。 [実装] 未実装。	×
47	dot1qVlanIndex {dot1qVlanCurrentEntry 2}	NA	[規格] VLAN ID。 [実装] 未実装。	×
48	dot1qVlanFdbId {dot1qVlanCurrentEntry 3}	R/O	[規格] VLAN が使用する MAC アドレステーブル ID。 [実装] 未実装。	×
49	dot1qVlanCurrentEgressPorts {dot1qVlanCurrentEntry 4}	R/O	[規格] Tagged フレームまたは Untagged フレームのトラフィックを送信する VLAN のポートのセット。 [実装] 未実装。	×
50	dot1qVlanCurrentUntaggedPorts {dot1qVlanCurrentEntry 5}	R/O	[規格] Untagged フレームのトラフィックを送信する VLAN のポートのセット。 [実装] 未実装。	×
51	dot1qVlanStatus {dot1qVlanCurrentEntry 6}	R/O	[規格] VLAN 状態。 • other (1) • permanent (2) • dynamicGvrp (3) [実装] 未実装。	×
52	dot1qVlanCreationTime {dot1qVlanCurrentEntry 7}	R/O	[規格] VLAN 作成時の sysUpTime 値。 [実装] 未実装。	×
53	dot1qVlanStaticTable {dot1qVlan 3}	NA	[規格] VLAN の静的構成情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
54	dot1qVlanStaticEntry {dot1qVlanStaticTable 1}	NA	[規格] VLAN の静的構成情報リスト。 INDEX {dot1qVlanIndex} [実装] 規格に同じ。	
55	dot1qVlanStaticName {dot1qVlanStaticEntry 1}	R/NW	[規格] VLAN の静的な識別名。 [実装] 規格に同じ。	
56	dot1qVlanStaticEgressPorts {dot1qVlanStaticEntry 2}	R/NW	[規格] VLAN の静的なエグレスリストにあるポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	
57	dot1qVlanForbiddenEgressPorts {dot1qVlanStaticEntry 3}	R/NW	[規格] VLAN のエグレスリストに入ることを禁止されているポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	
58	dot1qVlanStaticUntaggedPorts {dot1qVlanStaticEntry 4}	R/NW	[規格] VLAN のエグレスパケットを送信する Untagged ポートのセット。 [実装] 規格に同じ。	
59	dot1qVlanStaticRowStatus {dot1qVlanStaticEntry 5}	R/NW	[規格] エントリの状態。 [実装] 規格に同じ。	
60	dot1qNextFreeLocalVlanIndex {dot1qVlan 4}	R/O	[規格] 次に利用できる VLAN インデックス (0 または 4096 ~ 2147483647)。 [実装] 0 または 4096	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
61	dot1qPortVlanTable {dot1qVlan 5}	NA	[規格] ポートの VLAN 構成情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
62	dot1qPortVlanEntry {dot1qPortVlanTable 1}	NA	[規格] ポートの VLAN 構成情報リスト。 [実装] 規格に同じ。	
63	dot1qPvid {dot1qPortVlanEntry 1}	R/NW	[規格] Untagged フレームまたは Priority-Tagged フレームに割り付ける PVID VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。	
64	dot1qPortAcceptableFrameTypes {dot1qPortVlanEntry 2}	R/NW	[規格] ポートの受信できるフレームタイプを決定します。 • admitAll (1) • admitOnlyVlanTagged (2) [実装] admitAll (1)	
65	dot1qPortIngressFiltering {dot1qPortVlanEntry 3}	R/NW	[規格] ポートに進入するフレームをフィルタリングします。 [実装] 規格に同じ。	
66	Dot1qPortGvrpStatus {dot1qPortVlanEntry 4}	R/NW	[規格] ポートの GVRP 状態。 [実装] disabled (2)	
67	Dot1qPortGvrpFailedRegistrations {dot1qPortVlanEntry 5}	R/O	[規格] ポートの GVRP 失敗登録総数。 [実装] 未実装。	×
68	dot1qPortGvrpLastPduOrigin {dot1qPortVlanEntry 6}	R/O	[規格] ポートで受信した最後の GVRP のソース MAC アドレス。 [実装] 未実装。	×
69	dot1qPortVlanStatisticsTable {dot1qVlan 6}	NA	[規格] ポートの VLAN 統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
70	dot1qPortVlanStatisticsEntry {dot1qPortVlanStatisticsTable 1}	NA	[規格] ポートの VLAN 統計情報リスト。 INDEX { dot1dBasePort, dot1qVlanIndex } [実装] 規格に同じ。	
71	dot1qTpVlanPortInFrames {dot1qPortVlanStatisticsEntry 1}	R/O	[規格] VLAN のポートで受信した有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	
72	dot1qTpVlanPortOutFrames {dot1qPortVlanStatisticsEntry 2}	R/O	[規格] VLAN のポートで送信した有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	
73	dot1qTpVlanPortInDiscards {dot1qPortVlanStatisticsEntry 3}	R/O	[規格] VLAN のポートで受信され廃棄された有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	
74	dot1qTpVlanPortInOverflowFrames {dot1qPortVlanStatisticsEntry 4}	R/O	[規格] dot1qTpVlanPortInFrames カウンタのオーバーフロー回数。 [実装] 0 固定。	
75	dot1qTpVlanPortOutOverflowFrames {dot1qPortVlanStatisticsEntry 5}	R/O	[規格] dot1qTpVlanPortOutFrames カウンタのオーバーフロー回数。 [実装] 0 固定。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
76	dot1qTpVlanPortInOverflowDiscards {dot1qPortVlanStatisticsEntry 6}	R/O	[規格] dot1qTpVlanPortInDiscards カウンタのオーバーフロー回数。 [実装] 0 固定。	
77	dot1qPortVlanHCStatisticsTable {dot1qVlan 7}	NA	[規格] ポートの VLAN 高キャパシティ統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
78	dot1qPortVlanHCStatisticsEntry {dot1qPortVlanHCStatisticsTable 1}	NA	[規格] ポートの VLAN 高キャパシティ統計情報リスト。 INDEX { dot1dBasePort, dot1qVlanIndex } [実装] 規格に同じ。	
79	dot1qTpVlanPortHCInFrames {dot1qPortVlanHCStatisticsEntry 1}	R/O	[規格] VLAN のポートで受信した有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	
80	dot1qTpVlanPortHCOutFrames {dot1qPortVlanHCStatisticsEntry 2}	R/O	[規格] VLAN のポートで送信した有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	
81	dot1qTpVlanPortHCInDiscards {dot1qPortVlanHCStatisticsEntry 3}	R/O	[規格] VLAN のポートで受信され廃棄された有効フレーム数。 [実装] 0 固定。	
82	dot1qLearningConstraintsTable {dot1qVlan 8}	NA	[規格] 学習制約テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
83	dot1qLearningConstraintsEntry {dot1qLearningConstraintsTable 1}	NA	[規格] 学習制約リスト。 INDEX { dot1qConstraintVlan, dot1qConstraintSet } [実装] 規格に同じ。	
84	dot1qConstraintVlan {dot1qLearningConstraintsEntry 1}	NA	[規格] エントリによって制約される VLAN。 [実装] 規格に同じ。	
85	dot1qConstraintSet {dot1qLearningConstraintsEntry 2}	NA	[規格] 制約セット識別子 (0 ~ 65535)。 [実装] 規格に同じ。	
86	dot1qConstraintType {dot1qLearningConstraintsEntry 3}	R/NW	[規格] 制約タイプ。 • independent (1) • shared (2) [実装] independent (1) 固定。	
87	dot1qConstraintStatus {dot1qLearningConstraintsEntry 4}	R/NW	[規格] 制約状態。 [実装] 規格に同じ。	
88	dot1qConstraintSetDefault {dot1qVlan 9}	R/NW	[規格] 制約セットのデフォルト値 (0 ~ 65535)。 [実装] 0。	
89	dot1qConstraintTypeDefault {dot1qVlan 10}	R/NW	[規格] 制約セットのタイプ。 • independent (1) • shared (2) [実装] independent (1) 固定。	

注 1 clear mac-address-table コマンドを実行直後に取得した場合、mac-address-table 情報のクリアが反映されていないことがあります。

2.13 dot1dBridge グループ

注 2 BSU 未実装時は MIB を取得できません。【AX6700S】

2.14 ifMIB グループ (Interfaces Group MIB)

ifMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2233 (1997 年 11 月)

2.14.1 ifMIB(イーサネットの場合)

次に示す ifMIB グループについて説明します。

- 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T
- 1000BASE-X
- 10GBASE-R

(1) 識別子

```
ifMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 31}

ifMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ifMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.31.1
```

(2) 実装仕様

イーサネットの場合の ifMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-44 ifMIB グループの実装仕様 (イーサネットの場合)

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ifXTable {ifMIBObjects 1}	NA	[規格] インタフェースエンティティの追加オブジェクトのテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ifXEntry {ifXTable 1}	NA	[規格] インタフェース情報の追加リスト。 AUGMENTS {ifXEntry} [実装] 規格に同じ。	
3	ifName {ifXEntry 1}	R/O	[規格] インタフェースの名称。 [実装] コンフィギュレーションで設定されたインタフェース名称。	
4	ifInMulticastPkts {ifXEntry 2}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 • ポートの ifIndex の場合: 規格に同じ。 ¹ • VLAN の ifIndex の場合: 0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合: 規格に同じ。 ¹	
5	ifInBroadcastPkts {ifXEntry 3}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 • ポートの ifIndex の場合: 規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合: 0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合: 規格に同じ。	
6	ifOutMulticastPkts {ifXEntry 4}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 • ポートの ifIndex の場合: 規格に同じ。 ¹ • VLAN の ifIndex の場合: 0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合: 規格に同じ。 ¹	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ifOutBroadcastPkts {ifXEntry 5}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 	
8	ifHCInOctets {ifXEntry 6}	R/O	[規格] このインタフェースで受信した、bad パケットを含むオクテットの数。ifInOctets の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：bad パケットを含む、MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の総受信オクテット数。 • VLAN の ifIndex の場合：bad パケットを含む、MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の受信オクテット数。ただし、8192 オクテット以上のフレームは 8192 を引いた値で計算する。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：bad パケットを含む、MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の受信オクテット数。 	
9	ifHCInUcastPkts {ifXEntry 7}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したユニキャスト・パケットの数。 ifInUcastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 	
10	ifHCInMulticastPkts {ifXEntry 8}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したマルチキャスト・パケットの数。 ifInMulticastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。¹ • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。¹ 	
11	ifHCInBroadcastPkts {ifXEntry 9}	R/O	[規格] 上位プロトコルへ通知したブロードキャスト・パケットの数。 ifInBroadcastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 	
12	ifHCOctets {ifXEntry 10}	R/O	[規格] このインタフェースで送信した、bad パケットを含むオクテットの数。ifOutOctets の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：bad パケットを含む、MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の総送信オクテット数。 • VLAN の ifIndex の場合：bad パケットを含む、MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の送信オクテット数。ただし、8192 オクテット以上のフレームは 8192 を引いた値で計算する。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：bad パケットを含む、MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までのフレーム長の送信オクテット数。 	
13	ifHCOUcastPkts {ifXEntry 11}	R/O	[規格] 上位レイヤが送信したユニキャスト・パケットの数。 ifOutUcastPkts の 64 ビット版。 [実装] インタフェースによる。 <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。² • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。² 	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
14	ifHCOutMulticastPkts {ifXEntry 12}	R/O	<p>[規格] 上位レイヤが送信したマルチキャスト・パケットの数。 ifOutMulticastPkts の 64 ビット版。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。 ¹ • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 ¹ 	
15	ifHCOutBroadcastPkts {ifXEntry 13}	R/O	<p>[規格] 上位レイヤが送信したブロードキャスト・パケットの数。 ifOutBroadcastPkts の 64 ビット版。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 	
16	ifLinkUpDownTrapEnable {ifXEntry 14}	R/O	<p>[規格] このインタフェースが、LinkUp/LinkDown によってトラップまたはインフォームを通知するかを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> • enable (1) • disable (2) <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：規格に同じ。 • VLAN の ifIndex の場合：規格に同じ。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：規格に同じ。 	
17	ifHighSpeed {ifXEntry 15}	R/O	<p>[規格] このインタフェースの現在の回線速度 (Mbit/s) Mbit/s 未満は四捨五入。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：コンフィグレーションコマンド bandwidth が設定されていない場合は、該当インタフェースの回線速度を表示し、設定されている場合はその設定値を表示する。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：チャンネルグループに属するポートの ifHighSpeed の合計値。 	
18	ifPromiscuousMode {ifXEntry 16}	R/O	<p>[規格] 受信モードを示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> • true (1) • false (2) <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：ブルータ設定時は true (1)、ブルータ設定以外なら false (2) • VLAN の ifIndex の場合：false (2) • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：false (2) 	
19	ifConnectorPresent {ifXEntry 17}	R/O	<p>[規格] 物理回線との接続状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> • true (1) • false (2) <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：true (1) • VLAN の ifIndex の場合：false (2) • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：false (2) 	
20	ifAlias {ifXEntry 18}	R/O	<p>[規格] ネットワークマネージャによって定義される Alias 名。</p> <p>[実装] コンフィグレーションで各インタフェースに設定されている補足説明。</p>	
21	ifCounterDiscontinuityTime {ifXEntry 19}	R/O	<p>[規格] カウンタ情報が非連続な状態になった時の sysUpTime。</p> <p>[実装] インタフェースによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ポートの ifIndex の場合：0 固定。 • VLAN の ifIndex の場合：0 固定。 • リンクアグリゲーションの ifIndex の場合：0 固定。 	

注 1 ポーズパケットについて

「2.2.1 interfaces グループ (イーサネットの場合)」の注意事項を参照してください。

注 2 以下の NIF では、エラーが原因で送信できなかったパケットを含みます。

- ・NK1GS-8M
- ・NH1G-16S
- ・NH1G-48T
- ・NH1GS-6M

2.15 ipv6MIB グループ (IPv6 MIB)

ipv6MIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2465 (1998 年 12 月)

2.15.1 ipv6MIB

(1) 識別子

```
ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}
```

```
ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1
```

```
ipv6Forwarding OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.1
```

(2) 実装仕様

ipv6MIB の実装仕様を次の表に示します。

表 2-45 ipv6MIB の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6Forwarding {ipv6MIBObjects 1}	R/NW	[規格] IPv6 中継機能の可否。 • forwarding (1) • notForwarding (2) [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
2	ipv6DefaultHopLimit {ipv6MIBObjects 2}	R/NW	[規格] IPv6 ヘッダ中の Hop Limit フィールドに設定される default 値。 DEFVAL {64} [実装] 64 固定。ただし, Read_Only です。	
3	ipv6Interfaces {ipv6MIBObjects 3}	R/O	[規格] IPv6 インタフェースの総数。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipv6IfTableLastChange {ipv6MIBObjects 4}	R/O	[規格] ipv6IfTable が最後に更新された sysUpTime の値。 [実装] 規格に同じ。	

2.15.2 ipv6IfTable

(1) 識別子

```
ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}
```

```
ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1
```

```
ipv6IfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.5
```

(2) 実装仕様

ipv6IfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-46 ipv6IfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6IfTable {ipv6MIBObjects 5}	NA	[規格] ネットワークレイヤインタフェース (V6) の Table。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipv6IfEntry {ipv6IfTable 1}	NA	[規格] ネットワークレイヤインタフェース (V6) の Entry。 INDEX { ipv6IfIndex } [実装] 規格に同じ。	
3	ipv6IfIndex {ipv6IfEntry 1}	NA	[規格] IPv6 インタフェースのインデックス番号。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipv6IfDescr {ipv6IfEntry 2}	R/NW	[規格] IPv6 インタフェースの情報 (文字)。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
5	ipv6IfLowerLayer {ipv6IfEntry 3}	R/O	[規格] ネットワークインタフェースレイヤの直下のレイヤを示すオブジェクト ID。 [実装] 規格に同じ。	
6	ipv6IfEffectiveMtu {ipv6IfEntry 4}	R/O	[規格] 該当インタフェースで送受信できる MTU 長 (octet 長)。 [実装] 規格に同じ。	
7	ipv6IfReasmMaxSize {ipv6IfEntry 5}	R/O	[規格] 該当インタフェースで受信したデータグラムをリアセンブルできる最大 IPv6 データグラム長。 [実装] 65535 固定。	
8	ipv6IfIdentifier {ipv6IfEntry 6}	R/NW	[規格] 該当インタフェースのアドレστοークン。該当インタフェースの UP によって取得できます。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
9	ipv6IfIdentifierLength {ipv6IfEntry 7}	R/NW	[規格] 該当インタフェースのアドレστοークンのビット長。 [実装] 64 固定。ただし, Read_Only です。	
10	ipv6IfPhysicalAddress {ipv6IfEntry 8}	R/O	[規格] 該当インタフェースの物理アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
11	ipv6IfAdminStatus {ipv6IfEntry 9}	R/NW	[規格] 該当インタフェースの active 状態。 • up (1) • down (2) [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
12	ipv6IfOperStatus {ipv6IfEntry 10}	R/O	[規格] 該当インタフェースの動作状態。 • up (1) • down (2) • noIfIdentifier (3) • unknown (4) • notPresent (5) [実装] up (1), down (2), testing (3) を応答。	
13	ipv6IfLastChange {ipv6IfEntry 11}	R/O	[規格] 該当インタフェースの動作状態が最後に変化したときの sysUpTime の値。 [実装] 規格に同じ。	

2.15.3 ipv6IfStatsTable

(1) 識別子

```

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

```

ipv6IfStatsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 6}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.6

(2) 実装仕様

ipv6IfStatsTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-47 ipv6IfStatsTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6IfStatsTable {ipv6MIBObjects 6}	NA	[規格] IPv6 インタフェーストラフィックの統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipv6IfStatsEntry {ipv6IfStatsTable 1}	NA	[規格] IPv6 インタフェーストラフィックの統計情報エントリ。 INDEX { ipv6IfIndex } [実装] 規格に同じ。	
3	ipv6IfStatsInReceives {ipv6IfStatsEntry 1}	R/O	[規格] 受信したデータグラムの総数。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipv6IfStatsInHdrErrors {ipv6IfStatsEntry 2}	R/O	[規格] V6 ヘッダのエラーによって廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
5	ipv6IfStatsInTooBigErrors {ipv6IfStatsEntry 3}	R/O	[規格] MTU 長オーバーのため中継できなかった受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
6	ipv6IfStatsInNoRoutes {ipv6IfStatsEntry 4}	R/O	[規格] 該当ルートなしのため廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
7	ipv6IfStatsInAddrErrors {ipv6IfStatsEntry 5}	R/O	[規格] V6 アドレスが有効ではないため廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
8	ipv6IfStatsInUnknownProtos {ipv6IfStatsEntry 6}	R/O	[規格] 未サポートプロトコルのため廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
9	ipv6IfStatsInTruncatedPkts {ipv6IfStatsEntry 7}	R/O	[規格] 不完全なデータのため廃棄された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
10	ipv6IfStatsInDiscards {ipv6IfStatsEntry 8}	R/O	[規格] データ自身には問題がないが廃棄 (リソース不足など) された受信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
11	ipv6IfStatsInDelivers {ipv6IfStatsEntry 9}	R/O	[規格] IPv6 上位レイヤに通知したデータグラム数 (ICMP 含む)。 [実装] 規格に同じ。	
12	ipv6IfStatsOutForwDatagrams {ipv6IfStatsEntry 10}	R/O	[規格] 中継されて送信したデータグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
13	ipv6IfStatsOutRequests {ipv6IfStatsEntry 11}	R/O	[規格] 自 V6 プロトコルから送信しようとしたデータグラム数 (ICMP 含む)。 [実装] 規格に同じ。	
14	ipv6IfStatsOutDiscards {ipv6IfStatsEntry 12}	R/O	[規格] データ自身には問題がないが廃棄 (リソース不足など) された送信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
15	ipv6IfStatsOutFragOKs {ipv6IfStatsEntry 13}	R/O	[規格] 出力インタフェースでフラグメント 1 に成功したデータグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
16	ipv6IfStatsOutFragFails {ipv6IfStatsEntry 14}	R/O	[規格] フラグメントに失敗した送信データグラム数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
17	ipv6IfStatsOutFragCreates {ipv6IfStatsEntry 15}	R/O	[規格] フラグメントした結果生成された送信データグラムフラグメント数。 [実装] 規格に同じ。	
18	ipv6IfStatsReasmReqds {ipv6IfStatsEntry 16}	R/O	[規格] そのインタフェースでリアセンブルを必要としたデータグラムフラグメント数。 [実装] 規格に同じ。	
19	ipv6IfStatsReasmOKs {ipv6IfStatsEntry 17}	R/O	[規格] リアセンブルに成功したデータグラム数。 [実装] 規格に同じ。	
20	ipv6IfStatsReasmFails {ipv6IfStatsEntry 18}	R/O	[規格] リアセンブルに失敗した回数。 [実装] 規格に同じ。	
21	ipv6IfStatsInMcastPkts {ipv6IfStatsEntry 19}	R/O	[規格] 受信したマルチキャストパケット数。 [実装] 規格に同じ。	
22	ipv6IfStatsOutMcastPkts {ipv6IfStatsEntry 20}	R/O	[規格] 送信したマルチキャストパケット数。 [実装] 規格に同じ。	

注 アクセスリストロギングの使用時には、アクセスリストロギングの対象となった IP データグラムはカウントされません。

2.15.4 ipv6AddrPrefixTable

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

```
ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}
```

```
ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1
```

```
ipv6AddrPrefixTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.7
```

(2) 実装仕様

ipv6AddrPrefixTable の実装仕様を次の表に示します。

なお、本 MIB で扱うプレフィックス情報は、RA (ルータ広告) で配布するプレフィックス情報が対象となります。

表 2-48 ipv6AddrPrefixTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6AddrPrefixTable {ipv6MIBObjects 7}	NA	[規格] IPv6 インタフェースのアドレス prefix のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipv6AddrPrefixEntry {ipv6AddrPrefixTable 1}	NA	[規格] アドレス prefix のエントリ。 INDEX { ipv6IfIndex, ipv6AddrPrefix, ipv6AddrPrefixLength } [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	ipv6AddrPrefix {ipv6AddrPrefixEntry 1}	NA	[規格] このインタフェースの prefix。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipv6AddrPrefixLength {ipv6AddrPrefixEntry 2}	NA	[規格] prefix の長さ (単位: ビット)。 [実装] 規格に同じ。	
5	ipv6AddrPrefixOnLink Flag {ipv6AddrPrefixEntry 3}	R/O	[規格] Autonomous アドレスフラグ。 • true (1) • false (2) [実装] 規格に同じ。	
6	ipv6AddrPrefixAutonomousFlag {ipv6AddrPrefixEntry 4}	R/O	[規格] Autonomous アドレスフラグ。 • true (1) • false (2) [実装] 規格に同じ。	
7	ipv6AddrPrefixAdvPreferredLifetime {ipv6AddrPrefixEntry 5}	R/O	[規格] プリファードライフタイム (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	
8	ipv6AddrPrefixAdvValidLifetime {ipv6AddrPrefixEntry 6}	R/O	[規格] ヴァリッドライフタイム (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	

2.15.5 ipv6AddrTable

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

```

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6AddrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.8

```

(2) 実装仕様

ipv6AddrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-49 ipv6AddrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6AddrTable {ipv6MIBObjects 8}	NA	[規格] インタフェースアドレステーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipv6AddrEntry {ipv6AddrTable 1}	NA	[規格] インタフェースアドレスエントリ。 INDEX { ipv6IfIndex, ipv6AddrAddress } [実装] 規格に同じ。	
3	ipv6AddrAddress {ipv6AddrEntry 1}	NA	[規格] IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipv6AddrPfxLength {ipv6AddrEntry 2}	R/O	[規格] prefix レンクス。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	ipv6AddrType {ipv6AddrEntry 3}	R/O	[規格] アドレスタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • stateless (1) • stateful (2) • unknown (3) [実装] 規格に同じ。	
6	ipv6AddrAnycastFlag {ipv6AddrEntry 4}	R/O	[規格] Anycast アドレスかどうかのフラグ。 <ul style="list-style-type: none"> • true (1) • false (2) [実装] 規格に同じ。	
7	ipv6AddrStatus {ipv6AddrEntry 5}	R/O	[規格] アドレスステータス。 <ul style="list-style-type: none"> • preferred (1) • deprecated (2) • invalid (3) • inaccessible (4) • unknown (5) [実装] 規格に同じ。	
8	ipv6RouteNumber {ipv6MIBObjects 9}	R/O	[規格] 有効な V6 ルーティングエントリの総数。 [実装] 規格に同じ。	
9	ipv6DiscardedRoutes {ipv6MIBObjects 10}	R/O	[規格] 有効であっても廃棄された V6 ルーティングエントリの総数。 [実装] 規格に同じ。	

2.15.6 ipv6RouteTable

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

```

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6RouteTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.11

```

(2) 実装仕様

ipv6RouteTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-50 ipv6RouteTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6RouteTable {ipv6MIBObjects 11}	NA	[規格] IPv6 ルーティングテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipv6RouteEntry {ipv6RouteTable 1}	NA	[規格] IPv6 ルーティングエントリ。 INDEX { ipv6RouteDest, ipv6RoutePfxLength, ipv6RouteIndex } [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装 有無
3	ipv6RouteDest {ipv6RouteEntry 1}	NA	[規格] V6Dest アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipv6RoutePfxLength {ipv6RouteEntry 2}	NA	[規格] prefix レングス (ビット長)。 [実装] 規格に同じ。	
5	ipv6RouteIndex {ipv6RouteEntry 3}	NA	[規格] ルートのインデックス。 [実装] 1 固定。	
6	ipv6RouteIfIndex {ipv6RouteEntry 4}	R/O	[規格] IPv6 インタフェースインデックス。 [実装] 規格に同じ。	
7	ipv6RouteNextHop {ipv6RouteEntry 5}	R/O	[規格] ネクストホップ。ネクストホップがない場合 "::0"。 [実装] 規格に同じ。	
8	ipv6RouteType {ipv6RouteEntry 6}	R/O	[規格] ルートのタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • discard (2) • local (3) • remote (4) [実装] 規格に同じ。	
9	ipv6RouteProtocol {ipv6RouteEntry 7}	R/O	[規格] このルートを学習したルーティングメカニズム。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • local (2) • netmgmt (3) • ndisc (4) • rip (5) • ospf (6) • bgp (7) • idrp (8) • igrp (9) [実装] <ul style="list-style-type: none"> • 次に示す以外のすべての経路 : other (1) • ダイレクト経路 : local (2) • スタティック経路 : netmgmt (3) • RIPng 経路 : rip (5) • OSPFv3 経路 : ospf (6) • BGP4+ 経路 : bgp (7) 	
10	ipv6RoutePolicy {ipv6RouteEntry 8}	R/O	[規格] ルートポリシー。 [実装] 0 固定。	
11	ipv6RouteAge {ipv6RouteEntry 9}	R/O	[規格] 最後に update してからの経過時間 (単位 : 秒)。 [実装] 規格に同じ。	
12	ipv6RouteNextHopRDI {ipv6RouteEntry 10}	R/O	[規格] ネクストホップの RDI。 [実装] 0 固定。	
13	ipv6RouteMetric {ipv6RouteEntry 11}	R/O	[規格] ルーティングメトリック。 [実装] 規格に同じ。	
14	ipv6RouteWeight {ipv6RouteEntry 12}	R/O	[規格] ルートの優先度 (低い値が優先度が高い)。 [実装] 0 固定。	
15	ipv6RouteInfo {ipv6RouteEntry 13}	R/O	[規格] このルートを学習したルーティングプロトコル MIB へのリファレンス。 [実装] {0.0} 固定。	
16	ipv6RouteValid {ipv6RouteEntry 14}	R/NW	[規格] 有効かどうかのフラグ。 DEFVAL {true} [実装] true 固定。ただし, Read_Only です。	

2.15.7 ipv6NetToMediaTable

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

```

ipv6MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 55}

ipv6MIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1

ipv6NetToMediaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6MIBObjects 12}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.55.1.12

```

(2) 実装仕様

ipv6NetToMediaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-51 ipv6NetToMediaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6NetToMediaTable {ipv6MIBObjects 12}	NA	[規格] IPv6 アドレス変換テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipv6NetToMediaEntry {ipv6NetToMediaTable 1}	NA	[規格] フィジカルアドレスに対応した一つの IPv6 アドレスを含むエントリ。 INDEX { ipv6IfIndex, ipv6NetToMediaNetAddress } [実装] 規格に同じ。	
3	ipv6NetToMediaNetAddress {ipv6NetToMediaEntry 1}	NA	[規格] メディアに依存した物理アドレスに対応する IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipv6NetToMediaPhysAddress {ipv6NetToMediaEntry 2}	R/O	[規格] メディアに依存した物理アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
5	ipv6NetToMediaType {ipv6NetToMediaEntry 3}	R/O	[規格] マッピングのタイプ。 • other (1) • dynamic (2) • static (3) • local (4) [実装] 規格に同じ。 ほかの VRF からインポートされたエントリは other になります。 【OP-NPAR】	
6	ipv6IfNetToMediaState {ipv6NetToMediaEntry 4}	R/O	[規格] NDP テーブルの各エントリの到達可能性状態。 • reachable (1) • stale (2) • delay (3) • probe (4) • invalid (5) • unknown (6) [実装] 規格に同じ。 ほかの VRF からインポートされたエントリは unknown になります。 【OP-NPAR】	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ipv6IfNetToMediaLastUpdated {ipv6NetToMediaEntry 5}	R/O	[規格] NDP テーブルの各エントリが最後に更新された時の sysUpTime。 [実装] 0 固定。	
8	ipv6NetToMediaValid {ipv6NetToMediaEntry 6}	R/NW	[規格] エントリが有効かどうかを示すフラグ。 DEFVAL {true} [実装] true 固定。ただし, Read_Only です。	

2.16 ipv6IcmpMIB グループ (ICMPv6 MIB)

ipv6IcmpMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2466 (1998 年 12 月)

(1) 識別子

```
ipv6IcmpMIB MODULE-IDENTITY ::= {mib-2 56}
```

```
ipv6IcmpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ipv6IcmpMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.56.1
```

(2) 実装仕様

ipv6IcmpMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-52 ipv6IcmpMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ipv6IfIcmpTable {ipv6IcmpMIBObjects 1}	NA	[規格] IPv6 ICMP 統計情報。 [実装] 規格に同じ。	
2	ipv6IfIcmpEntry {ipv6IfIcmpTable 1}	NA	[規格] ICMPv6 統計情報エントリ。 INDEX { ipv6IfEntry } [実装] 規格に同じ。	
3	ipv6IfIcmpInMsgs {ipv6IfIcmpEntry 1}	R/O	[規格] このインタフェースで受信した ICMP メッセージの総数 (エラーを含む)。 [実装] 規格に同じ。	
4	ipv6IfIcmpInErrors {ipv6IfIcmpEntry 2}	R/O	[規格] 受信した ICMP メッセージでエラーを検出したメッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。	
5	ipv6IfIcmpInDestUnreachs {ipv6IfIcmpEntry 3}	R/O	[規格] DestUnreachs の受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
6	ipv6IfIcmpInAdminProhibs {ipv6IfIcmpEntry 4}	R/O	[規格] DestUnreachs 内の AdminProhibit メッセージを受信した総数。 [実装] 規格に同じ。	
7	ipv6IfIcmpInTimeExcds {ipv6IfIcmpEntry 5}	R/O	[規格] TimeExceed 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
8	ipv6IfIcmpInParmProblems {ipv6IfIcmpEntry 6}	R/O	[規格] ParmProblem 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
9	ipv6IfIcmpInPktTooBigs {ipv6IfIcmpEntry 7}	R/O	[規格] PktTooBig 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
10	ipv6IfIcmpInEchos {ipv6IfIcmpEntry 8}	R/O	[規格] Echo 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
11	ipv6IfIcmpInEchoReplies {ipv6IfIcmpEntry 9}	R/O	[規格] EchoReply 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
12	ipv6IfIcmpInRouterSolicits {ipv6IfIcmpEntry 10}	R/O	[規格] RouterSolicit 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
13	ipv6IcmpInRouterAdvertisements {ipv6IcmpEntry 11}	R/O	[規格] RouterAdvertisement 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
14	ipv6IcmpInNeighborSolicits {ipv6IcmpEntry 12}	R/O	[規格] NeighborSolicit 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
15	ipv6IcmpInNeighborAdvertisements {ipv6IcmpEntry 13}	R/O	[規格] Neighbor Advertisement 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
16	ipv6IcmpInRedirects {ipv6IcmpEntry 14}	R/O	[規格] Redirect 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
17	ipv6IcmpInGroupMemberQueries {ipv6IcmpEntry 15}	R/O	[規格] GroupMemberQuery 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
18	ipv6IcmpInGroupMemberResponses {ipv6IcmpEntry 16}	R/O	[規格] GroupMemberResponse 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
19	ipv6IcmpInGroupMemberReductions {ipv6IcmpEntry 17}	R/O	[規格] GroupMemberReduction 受信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
20	ipv6IcmpOutMsgs {ipv6IcmpEntry 18}	R/O	[規格] このインタフェースで送信した ICMP メッセージの総数 (エラーを含む)。 [実装] 規格に同じ。	
21	ipv6IcmpOutErrors {ipv6IcmpEntry 19}	R/O	[規格] 送信した ICMP メッセージでエラーを検出したメッセージの総数。 [実装] 規格に同じ。さらに MTU 長が 1280 以下のインタフェースで、IPv4 over IPv6 トンネルを設定した場合、エラーとなったパケット数。	
22	ipv6IcmpOutDestUnreaches {ipv6IcmpEntry 20}	R/O	[規格] DestUnreaches の送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
23	ipv6IcmpOutAdminProhibits {ipv6IcmpEntry 21}	R/O	[規格] DestUnreaches 内の AdminProhibit メッセージを送信した総数。 [実装] 規格に同じ。	
24	ipv6IcmpOutTimeExceeds {ipv6IcmpEntry 22}	R/O	[規格] TimeExceed 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
25	ipv6IcmpOutParmProblems {ipv6IcmpEntry 23}	R/O	[規格] ParmProblem 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
26	ipv6IcmpOutPktTooBig {ipv6IcmpEntry 24}	R/O	[規格] PktTooBig 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
27	ipv6IcmpOutEchos {ipv6IcmpEntry 25}	R/O	[規格] Echo 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
28	ipv6IcmpOutEchoReplies {ipv6IcmpEntry 26}	R/O	[規格] EchoReply 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
29	ipv6IcmpOutRouterSolicits {ipv6IcmpEntry 27}	R/O	[規格] RouterSolicit 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
30	ipv6IfIcmpOutRouterAdvertisements {ipv6IfIcmpEntry 28}	R/O	[規格] RouterAdvertisement 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
31	ipv6IfIcmpOutNeighborSolicits {ipv6IfIcmpEntry 29}	R/O	[規格] NeighborSolicit 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
32	ipv6IfIcmpOutNeighborAdvertisements {ipv6IfIcmpEntry 30}	R/O	[規格] Neighbor Advertisement 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
33	ipv6IfIcmpOutRedirects {ipv6IfIcmpEntry 31}	R/O	[規格] Redirect 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
34	ipv6IfIcmpOutGroupMemberQueries {ipv6IfIcmpEntry 32}	R/O	[規格] GroupMemberQuery 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
35	ipv6IfIcmpOutGroupMemberResponses {ipv6IfIcmpEntry 33}	R/O	[規格] GroupMemberResponse 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	
36	ipv6IfIcmpOutGroupMemberReductions {ipv6IfIcmpEntry 34}	R/O	[規格] GroupMemberReduction 送信メッセージ数。 [実装] 規格に同じ。	

2.17 vrrpMIB グループ

vrrpMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2787 (2000 年 3 月)
- draft-ietf-vrrp-unified-mib-04 (2005 年 9 月)

2.17.1 vrrpOperations グループ

(1) 識別子

```
vrrpMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 68}
```

```
vrrpOperations OBJECT IDENTIFIER ::= {vrrpMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.68.1
```

(2) 実装仕様

vrrpOperations グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-53 vrrpOperations グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	vrrpNodeVersion {vrrpOperations 1}	R/O	[規格] 本装置でサポートしている VRRP のバージョン。 [実装] 規格に同じ。	
2	vrrpNotificationCntl {vrrpOperations 2}	R/NW	[規格] vrrp 用 SNMP 拡張 trap の発行有無。 • enabled (1) • disabled (2) [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
3	vrrpOperTable {vrrpOperations 3}	NA	[規格] VRRP ルータのための, オペレーションテーブル。 [実装] 規格に同じ。 ¹	
4	vrrpOperEntry {vrrpOperTable 1}	NA	[規格] vrrpOper テーブルのエントリ。 INDEX { ifIndex, vrrpOperVrId } [実装] 規格に同じ。	
5	vrrpOperVrId {vrrpOperEntry 1}	NA	[規格] 仮想ルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	
6	vrrpOperVirtualMacAdr {vrrpOperEntry 2}	R/O	[規格] 仮想ルータの仮想 MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。 ²	
7	vrrpOperState {vrrpOperEntry 3}	R/O	[規格] 現在の VRRP 動作状態。 • initialize (1) • backup (2) • master (3) [実装] 規格に同じ。 ²	
8	vrrpOperAdminState {vrrpOperEntry 4}	R/NW	[規格] VRRP 機能の enable/disable 状態。 • up (1) • down (2) [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。 ²	
9	vrrpOperPriority {vrrpOperEntry 5}	R/NW	[規格] 仮想ルータの優先度。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。 ²	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	vrrpOperIpAddrCount {vrrpOperEntry 6}	R/O	[規格] 仮想ルータの IP アドレス数。 [実装] 1 固定。 ²	
11	vrrpOperMasterIpAddr {vrrpOperEntry 7}	R/O	[規格] Master ルータの実 IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。 ²	
12	vrrpOperPrimaryIpAddress {vrrpOperEntry 8}	R/NW	[規格] 仮想ルータが使用する実 IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 ²	
13	vrrpOperAuthType {vrrpOperEntry 9}	R/NW	[規格] 仮想ルータ間で交換される vrrp プロトコルの認証タイプ。 <ul style="list-style-type: none"> noAuthentication (1): VRRP protocol exchanges are not authenticated. simpleTextPassword (2): Exchanges are authenticated by a clear text password. ipAuthenticationHeader (3): Exchanges are authenticated using the IP authentication header. [実装] 認証なし、またはテキストだけ。ただし、Read_Only です。 ²	
14	vrrpOperAuthKey {vrrpOperEntry 10}	R/NW	[規格] vrrpOperAuthType の値によって設定される認証用のキー。 [実装] 認証用のキーは返しません。 ²	
15	vrrpOperAdvertisementInterval {vrrpOperEntry 11}	R/NW	[規格] VRRP パケットの送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 ² ADVERTISEMENT パケット送信間隔がミリ秒単位で設定されている場合、秒単位へ切り上げます。	
16	vrrpOperPreemptMode {vrrpOperEntry 12}	R/NW	[規格] 優先度の高い仮想ルータが、優先度の低い仮想ルータの代行を行うかの制御をします。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 ²	
17	vrrpOperVirtualRouterUpTime {vrrpOperEntry 13}	R/O	[規格] 仮想ルータの動作開始時間。 [実装] 規格に同じ。 ²	
18	vrrpOperProtocol {vrrpOperEntry 14}	R/NW	[規格] 仮想ルータの動作プロトコル。 <ul style="list-style-type: none"> ip (1) bridge (2) decnet (3) other (4) [実装] ip (1) 固定。ただし、Read_Only です。 ²	
19	vrrpOperRowStatus {vrrpOperEntry 15}	R/NW	[規格] vrrpOperTable のアクセス状態。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 ²	
20	vrrpAssoIpAddrTable {vrrpOperations 4}	NA	[規格] 仮想ルータの IP アドレスのテーブル。 [実装] 規格に同じ。 ¹	
21	vrrpAssoIpAddrEntry {vrrpAssoIpAddrTable 1}	NA	[規格] vrrpAssoIpAddr テーブルのエントリ。 INDEX { ifIndex, vrrpOperVrId, vrrpAssoIpAddr } [実装] 規格に同じ。	
22	vrrpAssoIpAddr {vrrpAssoIpAddrEntry 1}	NA	[規格] 仮想ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
23	vrrpAssoIpAddrRowStatus {vrrpAssoIpAddrEntry 2}	R/NW	[規格] vrrpAssoIpAddrTable のアクセス状態。 • active (1) • createAndGo (4) [実装] active (1) に固定。ただし、Read_Only です。 ²	
24	vrrpTrapPacketSrc {vrrpOperations 5}	AN	[規格] IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
25	vrrpTrapAuthErrorType {vrrpOperations 6}	AN	[規格] 認証タイプの不一致要因 • invalidAuthType (1) • authTypeMismatch (2) • authFailure (3) [実装] 規格に同じ。	
26	vrrpOperationsTable {vrrpOperations 7}	NA	[規格] VRRP ルータのためのオペレーションテーブル。 [実装] 規格に同じ。 ¹	
27	vrrpOperationsEntry {vrrpOperationsTable 1}	NA	[規格] vrrpOper テーブルのエントリ。 INDEX { vrrpOperationsInetAddrType, vrrpOperationsVrId, ifIndex } [実装] 規格に同じ。	
28	vrrpOperationsInetAddrType {vrrpOperationsEntry 1}	NA	[規格] 現在のタイプ。 • ipv4 (1) • ipv6 (2) [実装] 規格に同じ。	
29	vrrpOperationsVrId {vrrpOperationsEntry 2}	NA	[規格] 仮想ルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	
30	vrrpOperationsVirtualMacAddr {vrrpOperationsEntry 3}	R/O	[規格] 仮想ルータの仮想 MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。 ²	
31	vrrpOperationsState {vrrpOperationsEntry 4}	R/O	[規格] 現在の VRRP 動作状態。 • initialize (1) • backup (2) • master (3) [実装] 規格に同じ。 ²	
32	vrrpOperationsPriority {vrrpOperationsEntry 5}	R/NW	[規格] 仮想ルータの優先度。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 ²	
33	vrrpOperationsVersion {vrrpOperationsEntry 6}	R/NW	[規格] 実行している VRRP のバージョン。 • vrrpv2 (1) • vrrpv3 (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 ²	
34	vrrpOperationsAddrCount {vrrpOperationsEntry 7}	R/O	[規格] 仮想ルータの IP アドレス数。 [実装] 1 固定。 ²	
35	vrrpOperationsMasterIpAddr {vrrpOperationsEntry 9}	R/O	[規格] Master ルータの実 IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。 ²	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
36	vrrpOperationsPrimaryIpAddr {vrrpOperationsEntry 10}	R/NW	[規格] 仮想ルータが使用する実 IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。 ²	
37	vrrpOperationsAdvInterval {vrrpOperationsEntry 11}	R/NW	[規格] VRRP パケットの送信間隔 (1 ~ 4096, 単位: 1/100 秒)。 [実装] 25 ~ 25500。ただし, Read_Only です。 ²	
38	vrrpOperationsPreemptMode {vrrpOperationsEntry 12}	R/NW	[規格] 優先度の高い仮想ルータが, 優先度の低い仮想ルータの代行を行うかの制御をする。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。 ²	
39	vrrpOperationsAcceptMode {vrrpOperationsEntry 13}	R/NW	[規格] アドレスオーナーではない場合でも仮想 IP 宛のパケットを受信するかの制御をする。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。 ²	
40	vrrpOperationsUpTime {vrrpOperationsEntry 14}	R/O	[規格] 仮想ルータの動作開始時間。 [実装] 規格に同じ。 ²	
41	vrrpOperationsRowStatus {vrrpOperationsEntry 15}	R/NW	[規格] vrrpOperTable のアクセス状態。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。 ²	
42	vrrpAssociatedIpAddrTable {vrrpOperations 8}	NA	[規格] 仮想ルータの IP アドレスのテーブル。 [実装] 規格に同じ。 ¹	
43	vrrpAssociatedIpAddrEntry {vrrpAssociatedIpAddrTable 1}	NA	[規格] vrrpAssoIpAddr テーブルのエントリ。 INDEX { vrrpAssociatedInetAddrType, vrrpOperationsVrId, ifIndex, vrrpAssociatedIpAddr } [実装] 規格に同じ。	
44	vrrpAssociatedInetAddrType {vrrpAssociatedIpAddrEntry 2}	NA	[規格] vrrpAssociatedIpAddr のアドレスタイプ。 • ipv4 (1) • ipv6 (2) [実装] 規格に同じ。	
45	vrrpAssociatedIpAddr {vrrpAssociatedIpAddrEntry 3}	NA	[規格] 仮想ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
46	vrrpAssociatedIpAddrRowStatus {vrrpAssociatedIpAddrEntry 4}	R/NW	[規格] vrrpAssoIpAddrTable のアクセス状態。 • active (1) • createAndGo (4) • createAndWait (5) [実装] active (1) に固定。ただし, Read_Only です。 ²	
47	vrrpTrapNewMasterReason {vrrpOperations 9}	AN	[規格] マスタに遷移した契機。 • priority (0) • preempted (1) • masterNpResponse (2) [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
48	vrrpTrapProtoErrReason {vrrpOperations 10}	AN	[規格] アドバタイズパケット破棄した理由。 <ul style="list-style-type: none"> • hopLimitError (0) • versionError (1) • checksumError (2) • vridError (3) [実装] 規格に同じ。	

注 1 MIB を取得するときに、CPU 使用率が 100% になる、MIB 取得でタイムアウトが起こる、VRRP の状態が同時にマスタになるまたは VRRP の状態が頻繁に切り替わることがあります。連続して MIB を取得する場合、間隔を空けて、次の MIB を取得してください。

注 2 フォロー仮想ルータの MIB 情報は取得できません。

2.17.2 vrrpStatistics グループ

(1) 識別子

```
vrrpMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {mib-2 68}
```

```
vrrpStatistics OBJECT IDENTIFIER ::= {vrrpMIB 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.2.1.68.2
```

(2) 実装仕様

vrrpStatistics グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-54 vrrpStatistics グループの実装仕様を次の表に示します。

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	vrrpRouterChecksumErrors {vrrpStatistics 1}	R/O	[規格] チェックサム不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
2	vrrpRouterVersionErrors {vrrpStatistics 2}	R/O	[規格] バージョン不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
3	vrrpRouterVrIdErrors {vrrpStatistics 3}	R/O	[規格] 仮想ルータの VRID 不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。	
4	vrrpRouterStatsTable {vrrpStatistics 4}	NA	[規格] 仮想ルータの統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。 ¹	
5	vrrpRouterStatsEntry {vrrpRouterStatsTable 1}	NA	[規格] vrrpRouterStats テーブルのエントリ。 INDEX {ifIndex, vrrpOperVrId} [実装] 規格に同じ。	
6	vrrpStatsBecomeMaster {vrrpRouterStatsEntry 1}	R/O	[規格] Master へ遷移した回数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
7	vrrpStatsAdvertiseRcvd {vrrpRouterStatsEntry 2}	R/O	[規格] VRRP ADVERTISEMENT パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
8	vrrpStatsAdvertiseIntervalErrors {vrrpRouterStatsEntry 3}	R/O	[規格] ADVERTISEMENT インターバル不正で受信した、VRRP ADVERTISEMENT パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
9	vrrpStatsAuthFailures {vrrpRouterStatsEntry 4}	R/O	[規格] VRRP 認証エラーパケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
10	vrrpStatsIpTtlErrors {vrrpRouterStatsEntry 5}	R/O	[規格] VRRP 不正 TTL パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
11	vrrpStatsPriorityZeroPktsRcvd {vrrpRouterStatsEntry 6}	R/O	[規格] 優先度 0 である VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
12	vrrpStatsPriorityZeroPktsSent {vrrpRouterStatsEntry 7}	R/O	[規格] 優先度 0 の VRRP パケットの総送信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
13	vrrpStatsInvalidTypePktsRcvd {vrrpRouterStatsEntry 8}	R/O	[規格] Type フィールド不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
14	vrrpStatsAddressListErrors {vrrpRouterStatsEntry 9}	R/O	[規格] 仮想ルータの IP アドレス不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
15	vrrpStatsInvalidAuthType {vrrpRouterStatsEntry 10}	R/O	[規格] 認証タイプ不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
16	vrrpStatsAuthTypeMismatch {vrrpRouterStatsEntry 11}	R/O	[規格] 認証タイプ不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
17	vrrpStatsPacketLengthErrors {vrrpRouterStatsEntry 12}	R/O	[規格] length 値不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
18	vrrpRouterStatisticsTable {vrrpStatistics 5}	NA	[規格] 仮想ルータの統計情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。 ¹	
19	vrrpRouterStatisticsEntry {vrrpRouterStatisticsTable 1}	NA	[規格] vrrpRouterStatistics テーブルのエントリ。 INDEX { vrrpOperationsInetAddrType, vrrpOperationsVrId, ifIndex } [実装] 規格に同じ。	
20	vrrpStatisticsBecomeMaster {vrrpRouterStatisticsEntry 1}	R/O	[規格] Master へ遷移した回数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
21	vrrpStatisticsAdvertiseRcvd {vrrpRouterStatisticsEntry 2}	R/O	[規格] VRRP ADVERTISEMENT パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
22	vrrpStatisticsAdvIntervalErrors {vrrpRouterStatisticsEntry 3}	R/O	[規格] ADVERTISEMENT インターバル不正で受信した, VRRP ADVERTISEMENT パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
23	vrrpStatisticsIpTtlErrors {vrrpRouterStatisticsEntry 4}	R/O	[規格] VRRP 不正 TTL パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
24	vrrpStatisticsPriZeroPktsRcvd {vrrpRouterStatisticsEntry 5}	R/O	[規格] 優先度 0 である VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
25	vrrpStatisticsPriZeroPktsSent {vrrpRouterStatisticsEntry 6}	R/O	[規格] 優先度 0 の VRRP パケットの総送信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
26	vrrpStatisticsInvldTypePktsRcvd {vrrpRouterStatisticsEntry 7}	R/O	[規格] Type フィールド不正 VRRP パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
27	vrrpStatisticsAddressListErrors {vrrpRouterStatisticsEntry 8}	R/O	[規格] 仮想ルータの IP アドレス不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
28	vrrpStatisticsPacketLengthErrors {vrrpRouterStatisticsEntry 11}	R/O	[規格] length 値不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	
29	vrrpStatisticsDiscontinuityTime {vrrpRouterStatisticsEntry 12}	R/O	[規格] 最新の動作開始時間。 [実装] 規格に同じ。 ²	
30	vrrpStatisticsRefreshRate {vrrpRouterStatisticsEntry 13}	R/O	[規格] 最小のポーリング間隔 (単位: ミリ秒)。 [実装] 規格に同じ。 ²	
31	vrrpStatisticsInvalidAuthType {vrrpRouterStatisticsEntry 14}	R/O	[規格] パケット認証タイプ不正パケットの総受信数。 [実装] 規格に同じ。 ²	

注 1 MIB を取得するときに、CPU 使用率が 100% になる、MIB 取得でタイムアウトが起こる、VRRP の状態が同時にマスタになるまたは VRRP の状態が頻繁に切り替わることがあります。連続して MIB を取得する場合、間隔を空けて、次の MIB を取得してください。

注 2 フォロー仮想ルータの MIB 情報は取得できません。

2.18 pimMIB グループ (IPv4 PIM MIB)

pimMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC2934 (2000年10月)

本 MIB はマルチキャスト経路制御プロトコルとして PIM-SM を使用している場合だけ有効です。

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

2.18.1 pimJoinPruneInterval

(1) 識別子

```
pimMIB          OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects  OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}

pim             OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1

pimJoinPruneInterval OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.1
```

(2) 実装仕様

pimJoinPruneInterval の実装仕様を次の表に示します。

表 2-55 pimJoinPruneInterval の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimJoinPruneInterval {pim 1}	R/NW	[規格] PIM-SM Join/Prune メッセージの送信周期のデフォルト値 (単位: 秒) [実装] 60 固定。	

2.18.2 pimInterfaceTable

(1) 識別子

```
pimMIB          OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects  OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}

pim             OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1

pimInterfaceTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.2
```

(2) 実装仕様

pimInterfaceTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-56 pimInterfaceTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimInterfaceTable {pim 2}	NA	[規格] PIM インタフェース表。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
2	pimInterfaceEntry {pimInterfaceTable 1}	NA	[規格] PIM インタフェース表のエントリ。 INDEX {pimInterfaceIfIndex} [実装] 規格に同じ。	
3	pimInterfaceIfIndex {pimInterfaceEntry 1}	NA	[規格] PIM インタフェースの ifIndex 値。 [実装] 規格に同じ。	
4	pimInterfaceAddress {pimInterfaceEntry 2}	R/O	[規格] PIM インタフェースの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
5	pimInterfaceNetMask {pimInterfaceEntry 3}	R/O	[規格] PIM インタフェースの IP アドレスのネットワークマスク。 [実装] 規格に同じ。	
6	pimInterfaceMode {pimInterfaceEntry 4}	R/NW	[規格] PIM インタフェースのモード。 • dense (1) • sparse (2) • sparseDense (3) DEFVAL {dense} [実装] sparse (2) 固定。	
7	pimInterfaceDR {pimInterfaceEntry 5}	R/O	[規格] PIM インタフェースの Designated Router アドレス。ポイント-ポイント接続のインタフェースの場合は "0.0.0.0" を返す。 [実装] 規格に同じ。	
8	pimInterfaceHelloInterval {pimInterfaceEntry 6}	R/NW	[規格] PIM インタフェースの Hello メッセージの送信周期 (単位: 秒)。 DEFVAL {30} [実装] 規格に同じ。	
9	pimInterfaceStatus {pimInterfaceEntry 7}	R/NW	[規格] RowStatus。 [実装] active (1) 固定。	
10	pimInterfaceJoinPruneInterval {pimInterfaceEntry 8}	R/NW	[規格] PIM インタフェースの Join/Prune メッセージの送信周期 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	
11	pimInterfaceCBSRPreference {pimInterfaceEntry 9}	R/NW	[規格] BSR 候補としてのこのインタフェースのプリファレンス値。 BSR 候補でない場合は -1。 DEFVAL {0} [実装] -1 固定。	

2.18.3 pimNeighborTable

(1) 識別子

```

pimMIB          OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 61}
pimMIBObjects  OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIB 1}

pim             OBJECT IDENTIFIER ::= {pimMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1

pimNeighborTable OBJECT IDENTIFIER ::= {pim 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.61.1.1.3

```

(2) 実装仕様

pimNeighborTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-57 pimNeighborTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	pimNeighborTable {pim 3}	NA	[規格] PIM 隣接ルータ表。 [実装] 規格に同じ。	
2	pimNeighborEntry {pimNeighborTable 1}	NA	[規格] PIM 隣接ルータ表エントリ。 INDEX {pimNeighborAddress} [実装] 規格に同じ。	
3	pimNeighborAddress {pimNeighborEntry 1}	NA	[規格] PIM 隣接ルータの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
4	pimNeighborIfIndex {pimNeighborEntry 2}	R/O	[規格] PIM 隣接ルータに至るインタフェースの ifIndex 値。 [実装] 規格に同じ。	
5	pimNeighborUpTime {pimNeighborEntry 3}	R/O	[規格] PIM 隣接ルータを学習してからの経過時間 (単位: 10 ミリ秒)。 [実装] 規格に同じ。	
6	pimNeighborExpiryTime {pimNeighborEntry 4}	R/O	[規格] PIM 隣接ルータの生存残時間 (単位: 10 ミリ秒)。 [実装] 規格に同じ。	
7	pimNeighborMode {pimNeighborEntry 5}	R/O	[規格] PIM 隣接ルータの PIM モード。 • dense (1) • sparse (2) [実装] sparse (2) 固定。	

2.19 ospfv3MIB グループ (OSPFv3 MIB)

ospfv3MIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- draft-ietf-ospf-ospfv3-mib-03 (2000 年 11 月)

OSPFv3 ドメインを分割しているとき、本 MIB はドメイン番号が最小のドメインの情報だけが対象となります。

また、本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

2.19.1 ospfv3GeneralGroup

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3GeneralGroup OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.1
```

(2) 実装仕様

ospfv3GeneralGroup の実装仕様を次の表に示します。

表 2-58 ospfv3GeneralGroup の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3RouterId {ospfv3GeneralGroup 1}	R/NW	[規格] 自律システム内のルータ識別子。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
2	ospfv3AdminStat {ospfv3GeneralGroup 2}	R/NW	[規格] ルータの OSPFv3 管理状態。 • enabled (1) • disabled (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
3	ospfv3VersionNumber {ospfv3GeneralGroup 3}	R/O	[規格] OSPFv3 プロトコルのバージョン番号。 [実装] 規格に同じ (version3 固定)。	
4	ospfv3AreaBdrRtrStatus {ospfv3GeneralGroup 4}	R/O	[規格] そのルータがエリアボーダルータかどうかを示します。 • true (1) • false (2) [実装] 規格に同じ。	
5	ospfv3ASBdrRtrStatus {ospfv3GeneralGroup 5}	R/NW	[規格] そのルータが AS バウンダリルータかどうかを示します。 • true (1) • false (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	ospfv3AsScopeLsaCount {ospfv3GeneralGroup 6}	R/O	[規格] リンク状態データベース (LSDB) 中の外部リンク状態広告 (LSA) の数。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfv3AsScopeLsaChecksumSum {ospfv3GeneralGroup 7}	R/O	[規格] LSDB 中の AsScopeLSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	ospfv3OriginateNewLsas {ospfv3GeneralGroup 8}	R/O	[規格] 生成された新しい LSA の数。 [実装] 規格に同じ。	
9	ospfv3RxNewLsas {ospfv3GeneralGroup 9}	R/O	[規格] 新しい情報を持った LSA を受信した回数。 [実装] 規格に同じ。	
10	ospfv3ExtAreaLsdbLimit {ospfv3GeneralGroup 10}	R/NW	[規格] LSDB 内に格納できる AS 外部 LSA の最大エントリ数。-1 の場合、制限なし。 [実装] -1 固定。ただし、Read_Only です。	
11	ospfv3MulticastExtensions {ospfv3GeneralGroup 11}	R/NW	[規格] マルチキャスト拡張版 OSPFv3 のマルチキャストフォワーディングアルゴリズムをビットマップ値で示す。0 は、マルチキャストフォワーディング非サポート。 [実装] マルチキャストフォワーディング非サポート (0) 固定。ただし、Read_Only です。	
12	ospfv3ExitOverflowInterval {ospfv3GeneralGroup 12}	R/NW	[規格] ルータがオーバーフローステータスになるまでの時間 (単位: 秒)。 [実装] 未実装。	×
13	ospfv3DemandExtensions {ospfv3GeneralGroup 13}	R/NW	[規格] このルータでの Demand ルーティングのサポート。 • true (1) • false (2) [実装] false (2) 固定。ただし、Read_Only です。	
14	ospfv3TrafficEngineeringSupport {ospfv3GeneralGroup 14}	R/NW	[規格] このルータでのトラフィックエンジニアリング拡張のサポート。 • true (1) • false (2) [実装] false (2) 固定。ただし、Read_Only です。	

注 拡張機能未サポートのため、未実装です。

2.19.2 ospfv3AreaTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}
```

```
ospfv3AreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.2
```

(2) 実装仕様

ospfv3AreaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-59 ospfv3AreaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3AreaTable {ospfv3 2}	NA	[規格] ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfv3AreaEntry {ospfv3AreaTable 1}	NA	[規格] 各エリアの情報リスト。 INDEX { ospfv3AreaId } [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	ospfv3AreaId {ospfv3AreaEntry 1}	R/O	[規格] エリアを識別する番号。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfv3ImportAsExtern {ospfv3AreaEntry 2}	R/NW	[規格] そのルータが AS 外部リンク状態広告 (LSA) の取り込みを行うかどうかのフラグ。 • importExternal (1) • importNoExternal (2) • importNssa (3) [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
5	ospfv3SpfRuns {ospfv3AreaEntry 3}	R/O	[規格] このエリアのリンク状態データベース (LSDB) を使用してエリア内ルータが計算された回数。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfv3AreaBdrRtrCount {ospfv3AreaEntry 4}	R/O	[規格] このエリア内で到達できるエリアポータルルータの合計数。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfv3AsBdrRtrCount {ospfv3AreaEntry 5}	R/O	[規格] このエリア内で到達できる AS バウンダリルータの合計数。 [実装] 規格に同じ。	
8	ospfv3AreaScopeLsaCount {ospfv3AreaEntry 6}	R/O	[規格] このエリアの LSDB 中の AreaScope LSA の数。 [実装] 規格に同じ。	
9	ospfv3AreaScopeLsaChecksumSum {ospfv3AreaEntry 7}	R/O	[規格] このエリアの LSDB 中の AreaScopeLSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	
10	ospfv3AreaSummary {ospfv3AreaEntry 8}	R/NW	[規格] エリアへのサマリー LSA のインポート制御に関する変数値。 • noAreaSummary (1) • sendAreaSummary (2) [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
11	ospfv3AreaStatus {ospfv3AreaEntry 9}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ただし, Read_Only です。	
12	ospfv3StubMetric {ospfv3AreaEntry 10}	R/NW	[規格] Stub または NSSA エリアに広告するデフォルトルートメトリック値。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
13	ospfv3AreaNssaTranslatorRole {ospfv3AreaEntry 11}	R/NW	[規格] NSSA ポータルルータの NSSA トランスレータとしての役割。 [実装] 未実装。	×
14	ospfv3AreaNssaTranslatorState {ospfv3AreaEntry 12}	R/O	[規格] NSSA トランスレータの状態。 [実装] 未実装。	×
15	ospfv3AreaNssaTranslatorStabilityInterval {ospfv3AreaEntry 13}	R/NW	[規格] NSSA トランスレータの Stability Interval。 [実装] 未実装。	×
16	ospfv3AreaNssaTranslatorEvents {ospfv3AreaEntry 14}	R/O	[規格] NSSA トランスレータのイベント数。 [実装] 未実装。	×

注 NSSA 未サポートのため, 未実装です。

2.19.3 ospfv3AsLsdbTable

(1) 識別子

ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}

2.19 ospfv3MIB グループ (OSPFv3 MIB)

```
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}
ospfv3AsLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.3
```

(2) 実装仕様

ospfv3AsLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-60 ospfv3AsLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3AsLsdbTable {ospfv3 3}	NA	[規格] OSPFv3 の AS Scope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfv3AsLsdbEntry {ospfv3AsLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX { ospfv3AsLsdbType, ospfv3AsLsdbRouterId, ospfv3AsLsdbLsid } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfv3AsLsdbType {ospfv3AsLsdbEntry 1}	R/O	[規格] LSA のタイプ。 • asExternal (0x4005) [実装] 規格に同じ。	
4	ospfv3AsLsdbRouterId {ospfv3AsLsdbEntry 2}	R/O	[規格] LSA を生成したルータの ID。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfv3AsLsdbLsid {ospfv3AsLsdbEntry 3}	R/O	[規格] 個々の LSA を識別する ID。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfv3AsLsdbSequence {ospfv3AsLsdbEntry 4}	R/O	[規格] LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfv3AsLsdbAge {ospfv3AsLsdbEntry 5}	R/O	[規格] この LSA が生成されてからの経過時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	
8	ospfv3AsLsdbChecksum {ospfv3AsLsdbEntry 6}	R/O	[規格] この LSA のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	
9	ospfv3AsLsdbAdvertisement {ospfv3AsLsdbEntry 7}	R/O	[規格] ヘッダを含む LSA の全体。 [実装] 規格に同じ。	

2.19.4 ospfv3AreaLsdbTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}
ospfv3AreaLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.4
```

(2) 実装仕様

ospfv3AreaLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-61 ospfv3AreaLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3AreaLsdbTable {ospfv3 4}	NA	[規格] OSPFv3 の AreaScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfv3AreaLsdbEntry {ospfv3AreaLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX { ospfv3AreaLsdbAreaId, ospfv3AreaLsdbType, ospfv3AreaLsdbRouterId, ospfv3AreaLsdbLsid } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfv3AreaLsdbAreaId {ospfv3AreaLsdbEntry 1}	R/O	[規格] この LSA の受信元エリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfv3AreaLsdbType {ospfv3AreaLsdbEntry 2}	R/O	[規格] LSA のタイプ。 • ルータ (8193=0x2001) • ネットワーク (8194=0x2002) • interAreaPrefix (8195=0x2003) • interAreaRouter (8196=0x2004) • マルチキャスト (8198=0x2006) • nssa 外部リンク (8199=0x2007) • intraAreaPrefix (8201=0x2009) [実装] 規格に同じ。	
5	ospfv3AreaLsdbRouterId {ospfv3AreaLsdbEntry 3}	R/O	[規格] LSA を生成したルータの ID。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfv3AreaLsdbLsid {ospfv3AreaLsdbEntry 4}	R/O	[規格] 個々の LSA を識別する ID。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfv3AreaLsdbSequence {ospfv3AreaLsdbEntry 5}	R/O	[規格] LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	
8	ospfv3AreaLsdbAge {ospfv3AreaLsdbEntry 6}	R/O	[規格] この LSA が生成されてからの経過時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	
9	ospfv3AreaLsdbChecksum {ospfv3AreaLsdbEntry 7}	R/O	[規格] この LSA のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	
10	ospfv3AreaLsdbAdvertisement {ospfv3AreaLsdbEntry 8}	R/O	[規格] ヘッダを含む LSA の全体。 [実装] 規格に同じ。	

2.19.5 ospfv3LinkLsdbTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3    OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}
```

```
ospfv3LinkLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.5
```

(2) 実装仕様

ospfv3LinkLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-62 ospfv3LinkLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3LinkLsdbTable {ospfv3 5}	NA	[規格] OSPFv3 の LinkScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfv3LinkLsdbEntry {ospfv3LinkLsdbTable 1}	NA	[規格] リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX { ospfv3LinkLsdbIfIndex, ospfv3LinkLsdbType, ospfv3LinkLsdbRouterId, ospfv3LinkLsdbLsid } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfv3LinkLsdbIfIndex {ospfv3LinkLsdbEntry 1}	R/O	[規格] LSA を受信したリンクの識別子。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfv3LinkLsdbType {ospfv3LinkLsdbEntry 2}	R/O	[規格] LSA のタイプ。 • Link (0x0008) [実装] 規格に同じ。	
5	ospfv3LinkLsdbRouterId {ospfv3LinkLsdbEntry 3}	R/O	[規格] LSA を生成したルータの ID。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfv3LinkLsdbLsid {ospfv3LinkLsdbEntry 4}	R/O	[規格] 個々の LSA を識別する ID。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfv3LinkLsdbSequence {ospfv3LinkLsdbEntry 5}	R/O	[規格] LSA のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	
8	ospfv3LinkLsdbAge {ospfv3LinkLsdbEntry 6}	R/O	[規格] この LSA が生成されてからの経過時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	
9	ospfv3LinkLsdbChecksum {ospfv3LinkLsdbEntry 7}	R/O	[規格] この LSA のチェックサム。 [実装] 規格に同じ。	
10	ospfv3LinkLsdbAdvertisement {ospfv3LinkLsdbEntry 8}	R/O	[規格] ヘッダを含む LSA の全体。 [実装] 規格に同じ。	

2.19.6 ospfv3IfTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}
```


ospfv3IfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 7}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.7

(2) 実装仕様

ospfv3IfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-63 ospfv3IfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3IfTable {ospfv3 7}	NA	[規格] ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfv3IfEntry {ospfv3IfTable 1}	NA	[規格] ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリスト。 INDEX {ospfv3IfIndex} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfv3IfIndex {ospfv3IfEntry 1}	R/O	[規格] この OSPFv3 インタフェースのインタフェース Index。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfv3IfAreaId {ospfv3IfEntry 2}	R/NW	[規格] このインタフェースが接続しているエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
5	ospfv3IfType {ospfv3IfEntry 3}	R/NW	[規格] インタフェースタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • ブロードキャスト (1) • ノンブロードキャスト (2) • Point-Point (3) • Point-Multipoint (5) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	ospfv3IfAdminStat {ospfv3IfEntry 4}	R/NW	[規格] インタフェースの管理状態。 <ul style="list-style-type: none"> • enabled (1) • disabled (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
7	ospfv3IfRtrPriority {ospfv3IfEntry 5}	R/NW	[規格] このインタフェースのプライオリティ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
8	ospfv3IfTransitDelay {ospfv3IfEntry 6}	R/NW	[規格] このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
9	ospfv3IfRetransInterval {ospfv3IfEntry 7}	R/NW	[規格] リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
10	ospfv3IfHelloInterval {ospfv3IfEntry 8}	R/NW	[規格] Hello パケットの送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
11	ospfv3IfRtrDeadInterval {ospfv3IfEntry 9}	R/NW	[規格] Hello パケットの最大許容受信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
12	ospfv3IfPollInterval {ospfv3IfEntry 10}	R/NW	[規格] 非ブロードキャスト多重アクセスネットワーク上の、不活動隣接局への Hello パケット送信間隔 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
13	ospfv3IfState {ospfv3IfEntry 11}	R/O	[規格] インタフェースの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • loopback (2) • waiting (3) • PtoP (4) • DR (5) • BDR (6) • other (7) [実装] 規格に同じ。	
14	ospfv3IfDesignatedRouter {ospfv3IfEntry 12}	R/O	[規格] デジグネーテッドルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	
15	ospfv3IfBackupDesignatedRouter {ospfv3IfEntry 14}	R/O	[規格] バックアップデジグネーテッドルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	
16	ospfv3IfEvents {ospfv3IfEntry 15}	R/O	[規格] このインタフェースで状態が変わったか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	
17	ospfv3IfStatus {ospfv3IfEntry 17}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	
18	ospfv3IfMulticastForwarding {ospfv3IfEntry 18}	R/NW	[規格] このインタフェースでマルチキャストする方法。 <ul style="list-style-type: none"> • blocked (1) • multicast (2) • unicast (3) [実装] blocked (1) 固定。ただし、Read_Only です。	
19	ospfv3IfDemand {ospfv3IfEntry 19}	R/NW	[規格] このインタフェースで Demand OSPFv3 手順を行うかどうかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • true (1) • false (2) [実装] false (2) 固定。ただし、Read_Only です。	
20	ospfv3IfMetricValue {ospfv3IfEntry 20}	R/NW	[規格] このインタフェースのメトリック。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
21	ospfv3IfLinkScopeLsaCount {ospfv3IfEntry 21}	R/O	[規格] リンク状態データベース (LSDB) 中の LinkScope リンク状態広告 (LSA) の数。 [実装] 規格に同じ。	
22	ospfv3IfLinkLsaChecksumSum {ospfv3IfEntry 22}	R/O	[規格] LSDB 中の LinkScope LSA の LS チェックサム合計。 [実装] 規格に同じ。	
23	ospfv3IfInstId {ospfv3IfEntry 23}	R/NW	[規格] この OSPFv3 インタフェースの InstanceID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

2.19.7 ospfv3VirtIfTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3VirtIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.8
```

(2) 実装仕様

ospfv3VirtIfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-64 ospfv3VirtIfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3VirtIfTable {ospfv3 8}	NA	[規格] ルータが接続する仮想リンクのインタフェース情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfv3VirtIfEntry {ospfv3VirtIfTable 1}	NA	[規格] 各仮想リンクのインタフェース情報リスト。 INDEX {ospfv3VirtIfAreaId, ospfv3VirtIfNeighbor} [実装] 規格に同じ。	
3	ospfv3VirtIfAreaId {ospfv3VirtIfEntry 1}	R/O	[規格] その仮想リンクが通過するエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfv3VirtIfNeighbor {ospfv3VirtIfEntry 2}	R/O	[規格] 仮想の隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfv3VirtIfIndex {ospfv3VirtIfEntry 3}	R/NW	[規格] このインタフェースのインタフェース Index。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	ospfv3VirtIfTransitDelay {ospfv3VirtIfEntry 4}	R/NW	[規格] このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間 (単位: 秒) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
7	ospfv3VirtIfRetransInterval {ospfv3VirtIfEntry 5}	R/NW	[規格] リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔 (単位: 秒) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
8	ospfv3VirtIfHelloInterval {ospfv3VirtIfEntry 6}	R/NW	[規格] Hello パケットの送信間隔 (単位: 秒) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
9	ospfv3VirtIfRtrDeadInterval {ospfv3VirtIfEntry 7}	R/NW	[規格] Hello パケットの最大許容受信間隔 (単位: 秒) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
10	ospfv3VirtIfState {ospfv3VirtIfEntry 8}	R/O	[規格] インタフェースの状態。 • down (1) • PtoP (4) [実装] 規格に同じ。	
11	ospfv3VirtIfEvents {ospfv3VirtIfEntry 9}	R/O	[規格] このインタフェースで状態が変わったか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	
12	ospfv3VirtIfStatus {ospfv3VirtIfEntry 10}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	
13	ospfv3VirtIfLinkScopeLsaCount {ospfv3VirtIfEntry 11}	R/O	[規格] リンク状態データベース (LSDB) 中の LinkScope リンク状態広告 (LSA) の数。 [実装] 規格に同じ。	
14	ospfv3VirtIfLinkLsaChecksumSum {ospfv3VirtIfEntry 12}	R/O	[規格] LSDB 中の LinkScope LSA の LS チェックサムの合計。 [実装] 規格に同じ。	

2.19.8 ospfv3NbrTable

(1) 識別子

ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}

```
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}
ospfv3NbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 9}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.9
```

(2) 実装仕様

ospfv3NbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-65 ospfv3NbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3NbrTable {ospfv3 9}	NA	[規格] 仮定ではない隣接局の情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfv3NbrEntry {ospfv3NbrTable 1}	NA	[規格] 各隣接局の情報リスト。 INDEX { ospfv3NbrIfIndex, ospfv3NbrIpv6Addr } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfv3NbrIfIndex {ospfv3NbrEntry 1}	R/O	[規格] 隣接ルータが接続しているリンクの Local LinkID。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfv3NbrIpv6Addr {ospfv3NbrEntry 2}	R/O	[規格] 隣接ルータの IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfv3NbrRtrId {ospfv3NbrEntry 3}	R/O	[規格] 隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfv3NbrOptions {ospfv3NbrEntry 4}	R/O	[規格] 隣接ルータのオプションフィールド。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfv3NbrPriority {ospfv3NbrEntry 5}	R/NW	[規格] 隣接ルータのプライオリティ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
8	ospfv3NbrState {ospfv3NbrEntry 6}	R/O	[規格] この隣接ルータとの関係を表す状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • attempt (2) • init (3) • twoWay (4) • exchangeStart (5) • exchange (6) • loading (7) • full (8) [実装] 規格に同じ。	
9	ospfv3NbrEvents {ospfv3NbrEntry 7}	R/O	[規格] 隣接ルータとの関係で、状態が変わったか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	
10	ospfv3NbrLsRetransQLen {ospfv3NbrEntry 8}	R/O	[規格] 再送キューの現在の長さ。 [実装] 規格に同じ。	
11	ospfv3NbmaNbrStatus {ospfv3NbrEntry 9}	R/NW	[規格] このエントリの有効 / 無効を示します。 [実装] 未実装。	×
12	ospfv3NbmaNbrPermanence {ospfv3NbrEntry 10}	R/O	[規格] 隣接ルータを認識した方法。 <ul style="list-style-type: none"> • dynamic (1) • permanent (2) [実装] 未実装。	×
13	ospfv3NbrHelloSuppressed {ospfv3NbrEntry 11}	R/O	[規格] Hello が隣接に抑止されているかを示します。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
14	ospfv3NbrIfId {ospfv3NbrEntry 12}	R/O	[規格] 隣接がこのリンクに Hello パケットで広告している Interface ID。 [実装] 規格に同じ。	

注 NBMA 未サポートのため、未実装です。

2.19.9 ospfv3VirtNbrTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3VirtNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 10}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.10
```

(2) 実装仕様

ospfv3VirtNbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-66 ospfv3VirtNbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3VirtNbrTable {ospfv3 10}	NA	[規格] 仮想隣接ルータの情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfv3VirtNbrEntry {ospfv3VirtNbrTable 1}	NA	[規格] 各仮想隣接ルータの情報リスト。 INDEX { ospfv3VirtNbrArea, ospfv3VirtNbrRtrId } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfv3VirtNbrArea {ospfv3VirtNbrEntry 1}	R/O	[規格] 通過するエリアのエリア ID。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfv3VirtNbrRtrId {ospfv3VirtNbrEntry 2}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータのルータ ID。 [実装] 規格に同じ。	
5	ospfv3VirtNbrIfIndex {ospfv3VirtNbrEntry 3}	R/O	[規格] 隣接ルータが接続しているリンクの Local LinkID。 [実装] 規格に同じ。	
6	ospfv3VirtNbrIpv6Addr {ospfv3VirtNbrEntry 4}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータの IPv6 アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
7	ospfv3VirtNbrOptions {ospfv3VirtNbrEntry 5}	R/O	[規格] 仮想隣接ルータのオプションフィールド。 [実装] 規格に同じ。	
8	ospfv3VirtNbrState {ospfv3VirtNbrEntry 6}	R/O	[規格] この仮想隣接ルータとの関係を表す状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • attempt (2) • init (3) • twoWay (4) • exchangeStart (5) • exchange (6) • loading (7) • full (8) [実装] 規格に同じ。	
9	ospfv3VirtNbrEvents {ospfv3VirtNbrEntry 7}	R/O	[規格] この仮想リンクの状態が変わったか、エラーが発生した回数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
10	ospfv3VirtNbrLsRetransQLen {ospfv3VirtNbrEntry 8}	R/O	[規格] 再送キューの現在の長さ。 [実装] 規格に同じ。	
11	ospfv3VirtNbrHelloSuppressed {ospfv3VirtNbrEntry 9}	R/O	[規格] Hello が隣接に抑止されているかを示します。 [実装] 規格に同じ。	
12	ospfv3VirtNbrIfId {ospfv3VirtNbrEntry 10}	R/O	[規格] 隣接がこのリンクに Hello パケットで広告している InterfaceID。 [実装] 規格に同じ。	

2.19.10 ospfv3AreaAggregateTable

(1) 識別子

```
ospfv3MIB OBJECT IDENTIFIER ::= {experimental 102}
ospfv3 OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3MIB 1}

ospfv3AreaAggregateTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ospfv3 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.3.102.1.11
```

(2) 実装仕様

ospfv3AreaAggregateTable の実装仕様を次の表に示します。

表 2-67 ospfv3AreaAggregateTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ospfv3AreaAggregateTable {ospfv3 11}	NA	[規格] Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	ospfv3AreaAggregateEntry {ospfv3AreaAggregateTable 1}	NA	[規格] Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のリスト。 INDEX { ospfv3AreaAggregateAreaID, ospfv3AreaAggregateAreaLsdbType, ospfv3AreaAggregateIndex } [実装] 規格に同じ。	
3	ospfv3AreaAggregateAreaID {ospfv3AreaAggregateEntry 1}	R/O	[規格] アドレス集約したエリア。 [実装] 規格に同じ。	
4	ospfv3AreaAggregateAreaLsdbType {ospfv3AreaAggregateEntry 2}	R/O	[規格] アドレス集約のタイプ。このエントリは、このアドレス集約に適用されるリンク状態データベース (LSDB) のタイプを示します。 • interAreaPrefixLsa (0x2003) • nssaExternalLsa (0x2007) [実装] 規格に同じ。	
5	ospfv3AreaAggregateIndex {ospfv3AreaAggregateEntry 3}	R/O	[規格] アグリゲートテーブルの識別子。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ospfv3AreaAggregatePrefix {ospfv3AreaAggregateEntry 4}	R/NW	[規格] IPv6 Prefix。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
7	ospfv3AreaAggregatePrefixLen {ospfv3AreaAggregateEntry 5}	R/NW	[規格] IPv6 Prefix 長。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
8	ospfv3AreaAggregateStatus {ospfv3AreaAggregateEntry 6}	R/NW	[規格] このエントリのステータスを示します。 [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	
9	ospfv3AreaAggregateEffect {ospfv3AreaAggregateEntry 7}	R/NW	[規格] 範囲に含まれるサブネットが集約アドレスを広告する契機となるか、エリア外に広告されないサブネットとなるかを示します。 • advertiseMatching (1) • doNotAdvertiseMatching (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

2.20 IEEE8023-LAG-MIB グループ

IEEE8023-LAG-MIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- IEEE8023-LAG-MIB (2000 年 3 月)

2.20.1 dot3adAgg グループ

(1) 識別子

```
member-body OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 2 }
us OBJECT IDENTIFIER ::= { member-body 840 }
ieee802dot3 OBJECT IDENTIFIER ::= { us 10006 }
snmpmibs OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot3 300 }
lagMIB OBJECT IDENTIFIER ::= { snmpmibs 43 }
lagMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIB 1 }
```

```
dot3adAgg OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIBObjects 1 }
オブジェクトID値 1.2.840.10006.300.43.1.1
```

(2) 実装仕様

dot3adAgg グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-68 dot3adAgg グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3adAggTable {dot3adAgg 1}	NA	[規格] このシステムで Aggregator に関するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	dot3adAggEntry {dot3adAggTable 1}	NA	[規格] Aggregator パラメータのリスト。 INDEX { ifIndex } [実装] 規格に同じ。	
3	dot3adAggIndex {dot3adAggEntry 1}	NA	[規格] このインタフェースを識別するための番号。 [実装] 規格に同じ。	
4	dot3adAggMACAddress {dot3adAggEntry 2}	R/O	[規格] Aggregator に割り当てられた MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
5	dot3adAggActorSystem Priority {dot3adAggEntry 3}	R/NW	[規格] Actor のシステム ID に関連したプライオリティ値。 [実装] 規格に同じ。	
6	dot3adAggActorSystem ID {dot3adAggEntry 4}	R/NW	[規格] システムに対してユニークな識別子。 [実装] 規格に同じ。	
7	dot3adAggAggregateOr Individual {dot3adAggEntry 5}	R/O	[規格] Aggregator が Link Aggregation を行っているか、個々のリンクとして取り扱っているかを示す。 [実装] 規格に同じ。	
8	dot3adAggActorAdmin Key {dot3adAggEntry 6}	R/O	[規格] Aggregator に対する現在の管理上の Key の値。 [実装] 規格に同じ。	
9	dot3adAggActorOperKe y {dot3adAggEntry 7}	R/O	[規格] Aggregator に対する現在の操作上の Key の値。 [実装] 規格に同じ。	
10	dot3adAggPartnerSyste mID {dot3adAggEntry 8}	R/O	[規格] Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対するユニークな識別子であり、MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	dot3adAggPartnerSystemPriority {dot3adAggEntry 9}	R/O	[規格] パートナーのシステム ID に関連したプライオリティ値が示されます。 [実装] 規格に同じ。	
12	dot3adAggPartnerOperKey {dot3adAggEntry 10}	R/O	[規格] Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対する操作上のキーの値です。 [実装] 規格に同じ。	
13	dot3adAggCollectorMaxDelay {dot3adAggEntry 11}	R/NW	[規格] FrameCollector によって、受信されたフレームが AggregatorParser から MACClient に届けられるか、フレームが破棄されるまでの最大遅延時間 (単位: 10 マイクロ秒)。 [実装] 規格に同じ。	
14	dot3adAggPortListTable {dot3adAgg 2}	NA	[規格] Aggregator に接続されている AggregationPort のリスト。 [実装] 規格に同じ。	
15	dot3adAggPortListEntry {dot3adAggPortListTable 1}	NA	[規格] Aggregator に関連したポートのリスト。 [実装] 規格と同じ。	
16	dot3adAggPortListPorts {dot3adAggPortListEntry 1}	R/O	[規格] Aggregator に関連したポートの全集合である。 [実装] 規格に同じ。	

2.20.2 dot3adAggPort グループ

(1) 識別子

```

member-body OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 2 }
us OBJECT IDENTIFIER ::= { member-body 840 }
ieee802dot3 OBJECT IDENTIFIER ::= { us 10006 }
snmpmibs OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot3 300 }
lagMIB OBJECT IDENTIFIER ::= { snmpmibs 43 }
lagMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIB 1 }

dot3adAggPort OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIBObjects 2 }
オブジェクトID値 1.2.840.10006.300.43.1.2

```

(2) 実装仕様

dot3adAggPort グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-69 dot3adAggPort グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3adAggPortTable {dot3adAggPort 1}	NA	[規格] すべての AggregationPort についての Link Aggregation Control 設定情報。 [実装] 規格に同じ	
2	dot3adAggPortEntry {dot3adAggPortTable 1}	NA	[規格] 各 AggregationPort に対する Link Aggregation Control 設定パラメータのリスト。 [実装] 規格に同じ。	
3	dot3adAggPortIndex {dot3adAggPortEntry 1}	NA	[規格] このインタフェースを識別するための番号。 [実装] 規格に同じ。	
4	dot3adAggPortActorSystemPriority {dot3adAggPortEntry 2}	R/NW	[規格] Actor のシステム ID に関連したプライオリティ値。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	dot3adAggPortActorSystemID {dot3adAggPortEntry 3}	R/O	[規格] AggregationPort を持つシステムに対するシステム ID の値を決める MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
6	dot3adAggPortActorAdminKey {dot3adAggPortEntry 4}	R/NW	[規格] AggregationPort に対する管理上のキー。 [実装] 規格に同じ。	
7	dot3adAggPortActorOperKey {dot3adAggPortEntry 5}	R/O	[規格] AggregationPort に対する操作上のキーの値。 [実装] 規格に同じ。	
8	dot3adAggPortPartnerAdminSystemPriority {dot3adAggPortEntry 6}	R/NW	[規格] Partner のシステム ID に関連した管理上のプライオリティの値。 [実装] 規格に同じ。	
9	dot3adAggPortPartnerOperSystemPriority {dot3adAggPortEntry 7}	R/O	[規格] Partner のシステム ID に関連した操作上のプライオリティの値。 [実装] 規格に同じ。	
10	dot3adAggPortPartnerAdminSystemID {dot3adAggPortEntry 8}	R/NW	[規格] AggregationPort のプロトコルパートナーのシステム ID の管理上の値。 [実装] 00 00 00 00 00 00 00 00 固定。	
11	dot3adAggPortPartnerOperSystemID {dot3adAggPortEntry 9}	R/O	[規格] プロトコルパートナーに対する管理上のキーの値。 [実装] 規格に同じ。	
12	dot3adAggPortPartnerAdminKey {dot3adAggPortEntry 10}	R/NW	[規格] Aggregator の現在のプロトコルパートナーに対する管理上のキーの値である。 [実装] 0 固定。	
13	dot3adAggPortPartnerOperKey {dot3adAggPortEntry 11}	R/O	[規格] プロトコルパートナーに対する操作上のキーの値。 [実装] 規格に同じ。	
14	dot3adAggPortSelectedAggID {dot3adAggPortEntry 12}	R/O	[規格] AggregationPort の Aggregator の識別子の値。 [実装] 規格に同じ。	
15	dot3adAggPortAttachedAggID {dot3adAggPortEntry 13}	R/O	[規格] AggregationPort が現在取り付けられている Aggregator の識別子の値。 [実装] 規格に同じ。	
16	dot3adAggPortActorPort {dot3adAggPortEntry 14}	R/O	[規格] AggregationPort に割り当てられたポート番号。 [実装] 規格に同じ。	
17	dot3adAggPortActorPortPriority {dot3adAggPortEntry 15}	R/NW	[規格] AggregationPort に割り当てられたプライオリティの値。 [実装] 規格に同じ。	
18	dot3adAggPortPartnerAdminPort {dot3adAggPortEntry 16}	R/NW	[規格] AggregationPort が現在取り付けられている Aggregator の識別子の値。 [実装] 0 固定。	
19	dot3adAggPortPartnerOperPort {dot3adAggPortEntry 17}	R/O	[規格] AggregationPort のプロトコルパートナーによって AggregationPort に割り当てられた操作上のポート番号。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
20	dot3adAggPortPartnerAdminPortPriority {dot3adAggPortEntry 18}	R/NW	[規格] プロトコルパートナーに対する管理上のポートプライオリティの値。 [実装] 0 固定。	
21	dot3adAggPortPartnerOperPortPriority {dot3adAggPortEntry 19}	R/O	[規格] パートナーによって AggregationPort に割り当てられたプライオリティの値。 [実装] 規格に同じ。	
22	dot3adAggPortActorAdminState {dot3adAggPortEntry 20}	R/NW	[規格] Actor によって LACPDU で送信された管理上の Actor_State の値。 [実装] 規格に同じ。マネージャによって文字として表示されます。	
23	dot3adAggPortActorOperState {dot3adAggPortEntry 21}	R/O	[規格] Actor によって LACPDU で送信された操作上の Actor_State の値。 [実装] 規格に同じ。マネージャによって文字として表示されます。	
24	dot3adAggPortPartnerAdminState {dot3adAggPortEntry 22}	R/NW	[規格] プロトコルパートナーに対する管理上の Actor_State の値。 [実装] (01000100)2 固定。マネージャによって文字として表示されません。	
25	dot3adAggPortPartnerOperState {dot3adAggPortEntry 23}	R/O	[規格] プロトコルパートナーによって最も最近 LACPDU で送信された Actor_State の値。 [実装] 規格に同じ。マネージャによって文字として表示されます。	
26	dot3adAggPortAggregateOrIndividual {dot3adAggPortEntry 24}	R/O	[規格] AggregationPort が Aggregate 可能であるか、個々のリンクとしてしか操作できないかを示します。 [実装] 規格に同じ。	
27	dot3adAggPortStatsTable {dot3adAggPort 2}	NA	[規格] すべてのポートに関する Link Aggregation の情報を持つテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
28	dot3adAggPortStatsEntry {dot3adAggPortStatsTable 1}	NA	[規格] 各ポートに対する Link Aggregation 制御プロトコルの統計データのリスト。 [実装] 規格に同じ。	
29	dot3adAggPortStatsLACPDU Rx {dot3adAggPortStatsEntry 1}	R/O	[規格] AggregationPort 上で受信された正当な LACPDU の数。 [実装] 規格に同じ。	
30	dot3adAggPortStatsMarkerPDU Rx {dot3adAggPortStatsEntry 2}	R/O	[規格] AggregationPort 上で受信された正当な MarkerPDU の数。 [実装] 規格に同じ。	
31	dot3adAggPortStatsMarkerResponsePDU Rx {dot3adAggPortStatsEntry 3}	R/O	[規格] AggregationPort 上で受信された正当な MarkerResponsePDU の数。 [実装] 規格に同じ。	
32	dot3adAggPortStatsUnknownRx {dot3adAggPortStatsEntry 4}	R/O	[規格] Slow Protocols のイーサネットタイプの値 (88-09) で運ばれたが、未知の PDU が含まれているフレームが、または、Slow Protocols の group MAC Address (0180.C200.0002) 宛てだが、Slow Protocols のイーサネットタイプで運ばれていないフレームのどちらかを受信したフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
33	dot3adAggPortStatsIllegalRx {dot3adAggPortStatsEntry 5}	R/O	[規格] Slow Protocols のイーサネットタイプの値 (88-09) で運ばれたが、不当な形式の PDU を含んでいるか、または、違法な Protocol Subtype の値を含んだフレームの受信フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
34	dot3adAggPortStatsLACPDUstx {dot3adAggPortStatsEntry 6}	R/O	[規格] AggregationPort 上で送信された LACPDU の数。 [実装] 規格に同じ。	
35	dot3adAggPortStatsMarkerPDUstx {dot3adAggPortStatsEntry 7}	R/O	[規格] AggregationPort 上で送信された MarkerPDU の数。 [実装] 0 固定。	
36	dot3adAggPortStatsMarkerResponsePDUstx {dot3adAggPortStatsEntry 8}	R/O	[規格] AggregationPort 上で送信された MarkerResponsePDU の数。 [実装] 規格に同じ。	
37	dot3adAggPortDebugTable {dot3adAggPort 3}	NA	[規格] すべてのポートに関するリンクアグリゲーションのデバッグ情報を含んだテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
38	dot3adAggPortDebugEntry {dot3adAggPortDebugTable 1}	NA	[規格] ポートに対するデバッグパラメータのリスト。 [実装] 規格に同じ。	
39	dot3adAggPortDebugRxState {dot3adAggPortDebugEntry 1}	R/O	[規格] AggregationPort に対する Receive ステートマシンの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • currentRx (1) • expired (2) • defaulted (3) • initialize (4) • lacpDisabled (5) • portDisabled (6) [実装] 規格に同じ。	
40	dot3adAggPortDebugLastRxTime {dot3adAggPortDebugEntry 2}	R/O	[規格] 最後に AggregationPort が LACPDU を受信したときの aTimeSinceSystemReset の値。 [実装] 規格に同じ。	
41	dot3adAggPortDebugMuxState {dot3adAggPortDebugEntry 3}	R/O	[規格] AggregationPort に対する Mux ステートマシンの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • detached (1) • waiting (2) • attached (3) • collecting (4) • distributing (5) • collectingDistributing (6) [実装] 規格に同じ。	
42	dot3adAggPortDebugMuxReason {dot3adAggPortDebugEntry 4}	R/O	[規格] 最も最近 Mux ステートマシンの状態が変更された理由。 [実装] 規格に同じ。	
43	dot3adAggPortDebugActorChurnState {dot3adAggPortDebugEntry 5}	R/O	[規格] AggregationPort に対する ActorChurnDetection ステートマシンの状態。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
44	dot3adAggPortDebugPartnerChurnState {dot3adAggPortDebugEntry 6}	R/O	[規格] AggregationPort に対する PartnerChurnDetection ステートマシンの状態。 [実装] 規格に同じ。	
45	dot3adAggPortDebugActorChurnCount {dot3adAggPortDebugEntry 7}	R/O	[規格] ActorChurn ステートマシンが ACTOR_CHURN の状態になった回数。 [実装] 規格と同じ。	
46	dot3adAggPortDebugPartnerChurnCount {dot3adAggPortDebugEntry 8}	R/O	[規格] PartnerChurn ステートマシンが PARTNER_CHURN 状態になった回数。 [実装] 規格に同じ。	
47	dot3adAggPortDebugActorSyncTransitionCount {dot3adAggPortDebugEntry 9}	R/O	[規格] Actor の Mux 状態マシンが IN_SYNC 状態になった回数。 [実装] 規格に同じ。	
48	dot3adAggPortDebugPartnerSyncTransitionCount {dot3adAggPortDebugEntry 10}	R/O	[規格] Partner の Mux ステートマシンが IN_SYNC 状態になった回数。 [実装] 規格に同じ。	
49	dot3adAggPortDebugActorChangeCount {dot3adAggPortDebugEntry 11}	R/O	[規格] AggregationPort に対する Actor の LAG ID の認識が変更された回数。 [実装] 規格に同じ。	
50	dot3adAggPortDebugPartnerChangeCount {dot3adAggPortDebugEntry 12}	R/O	[規格] AggregationPort に対する Partner の LAG ID の認識が変更された回数。 [実装] 規格に同じ。	

2.20.3 dot3adTablesLastChanged グループ

(1) 識別子

```

member-body OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 2 }
us OBJECT IDENTIFIER ::= { member-body 840 }
ieee802dot3 OBJECT IDENTIFIER ::= { us 10006 }
snmpmibs OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot3 300 }
lagMIB OBJECT IDENTIFIER ::= { snmpmibs 43 }
lagMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIB 1 }

dot3adTablesLastChanged OBJECT IDENTIFIER ::= { lagMIBObjects 3 }
オブジェクトID値 1.2.840.10006.300.43.1.3

```

(2) 実装仕様

dot3adTablesLastChanged グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-70 dot3adTablesLastChanged グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot3adTablesLastChanged {lagMIBObjects 3}	R/O	[規格] dot3adAggTable, dot3adAggPortListTable, または dot3adAggPortTable に変化が起きた最近の時間。 [実装] 規格に同じ。	

2.21 IEEE802.1X MIB グループ

IEEE802.1X MIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- IEEE8021-PAE-MIB (2001 年 6 月)

(1) 識別子

```

std OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 0 }
iso8802 OBJECT IDENTIFIER ::= { std 8802 }
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= { iso8802 1 }
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1 1 }
ieee8021paemib OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1mibs 1 }
paemibobjects OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee8021paemib 1 }

dot1xPaeSystem OBJECT IDENTIFIER ::= { paemibobjects 1 }
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.1.1

dot1xPaeAuthenticator OBJECT IDENTIFIER ::= { paemibobjects 2 }
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.1.2

dot1xPaeSupplicant OBJECT IDENTIFIER ::= { paemibobjects 3 }
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.1.3

dot1xPaeConformance OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee8021paemib 2 }
dot1xPaeGroups OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1xPaeConformance 1 }
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.2.1

dot1xPaeCompliances OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1xPaeConformance 2 }
オブジェクトID値 1.0.8802.1.1.1.2.2

```

(2) 実装仕様

IEEE802.1X MIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-71 IEEE802.1X MIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1xPaeSystemAuthControl {dot1xPaeSystem 1}	R/NW	[規格] 装置全体における PAE (Port Access Entity) の管理上の enable/disabled 状態 (INTEGER)。 <ul style="list-style-type: none"> • enabled (1) • disabled (2) [実装] 規格に同じ。	
2	dot1xPaePortTable {dot1xPaeSystem 2}	NA	[規格] 各 PAE ポートに対するシステムレベルの情報のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
3	dot1xPaePortEntry {dot1xPaePortTable 1}	NA	[規格] ポートごとの情報のリスト。 INDEX { dot1xPaePortNumber } [実装] 規格に同じ。	
4	dot1xPaePortNumber {dot1xPaePortEntry 1}	NA	[規格] PAE ポート番号。テーブルを識別するインデックスとして使用される。 [実装] 規格に同じ。 以下に示すインタフェースに付加された ifIndex。 <ul style="list-style-type: none"> • Ethernet 物理ポート • VLAN グループ • チャネルグループ ただし、規格外だが、VLAN 単位認証 (動的) では次の値となる。 <ul style="list-style-type: none"> • VLAN グループの ifIndex の最大値 +1 	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	dot1xPaePortProtocolVersion {dot1xPaePortEntry 2}	R/O	[規格] プロトコルバージョン。 [実装] 0x01 固定。	
6	dot1xPaePortCapabilities {dot1xPaePortEntry 3}	R/O	[規格] ポートがサポートしている PAE 機能 (BITS)。 • dot1xPaePortAuthCapable (0) • dot1xPaePortSuppCapable (1) [実装] dot1xPaePortAuthCapable (0) 固定。	
7	dot1xPaePortInitialize {dot1xPaePortEntry 4}	R/NW	[規格] ポートに対する初期化制御。この属性が "TRUE" になるとポートが初期化され、初期化が完了すると属性は "FALSE" に戻る。 [実装] 規格に同じ。	
8	dot1xPaePortReauthenticate {dot1xPaePortEntry 5}	R/NW	[規格] ポートに対する再認証制御。この属性を "TRUE" にするとポートに対する Authenticator PAE ステートマシンが Supplicant を再認証する。この属性を "FALSE" にすると何の効果もない。この属性は読み込まれるときにいつでも "FALSE" に戻る。 [実装] 規格に同じ。	
9	dot1xAuthConfigTable {dot1xPaeAuthenticator 1}	NA	[規格] 各ポートの Authenticator PAE に対する構成オブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 規格に同じ。	
10	dot1xAuthConfigEntry {dot1xAuthConfigTable 1}	NA	[規格] Authenticator PAE に対する構成情報のリスト。 INDEX { dot1xPaePortNumber } [実装] 規格と同様。	
11	dot1xAuthPaeState {dot1xAuthConfigEntry 1}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンの現在値。 • initialize (1) • disconnected (2) • connecting (3) • authenticating (4) • authenticated (5) • aborting (6) • held (7) • forceAuth (8) • forceUnauth (9) [実装] 規格に同じ。	
12	dot1xAuthBackendAuthState {dot1xAuthConfigEntry 2}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンの現在値。 • request (1) • response (2) • success (3) • fail (4) • timeout (5) • idle (6) • initialize (7) [実装] 規格に同じ。	
13	dot1xAuthAdminControlledDirections {dot1xAuthConfigEntry 3}	R/NW	[規格] ポートに対する管理上制御された方向パラメータの現在値。 [実装] both (0) 固定。	
14	dot1xAuthOperControlledDirections {dot1xAuthConfigEntry 4}	R/O	[規格] ポートに対する操作上制御された方向パラメータの現在値。 [実装] both (0) 固定。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
15	dot1xAuthAuthControlledPortStatus {dot1xAuthConfigEntry 5}	R/O	[規格] ポートに対する制御ポートの状態パラメータの現在値。 [実装] 規格に同じ。	
16	dot1xAuthAuthControlledPortControl {dot1xAuthConfigEntry 6}	R/NW	[規格] ポートに対する制御ポートの制御パラメータの現在値。 [実装] 規格に同じ。	
17	dot1xAuthQuietPeriod {dot1xAuthConfigEntry 7}	R/NW	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが用いる現在の定数値 quietPeriod の値 (単位: 秒) DEFVAL {60} [実装] 規格に同じ (0 ~ 65535)	
18	dot1xAuthTxPeriod {dot1xAuthConfigEntry 8}	R/NW	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが用いる現在の定数値 txPeriod の値 (単位: 秒) DEFVAL {30} [実装] 規格に同じ (1 ~ 65535)	
19	dot1xAuthSuppTimeout {dot1xAuthConfigEntry 9}	R/NW	[規格] バックエンド Authentication ステートマシンが用いる現在の定数値 suppTimeout の値 (単位: 秒) DEFVAL {30} [実装] 規格に同じ (1 ~ 65535)	
20	dot1xAuthServerTimeout {dot1xAuthConfigEntry 10}	R/NW	[規格] バックエンド Authentication ステートマシンが用いる現在の定数値 serverTimeout の値 (単位: 秒) DEFVAL {30} [実装] 規格に同じ。	
21	dot1xAuthMaxReq {dot1xAuthConfigEntry 11}	R/NW	[規格] バックエンド Authentication ステートマシンが用いる現在の定数値 maxReq の値。 DEFVAL {2} [実装] 規格に同じ (1 ~ 10)	
22	dot1xAuthReAuthPeriod {dot1xAuthConfigEntry 12}	R/NW	[規格] 再認証タイムステートマシンが用いる現在の定数値 reAuthperiod の値 (単位: 秒) DEFVAL {3600} [実装] 0 または ~ 65535。 デフォルト: 3600 0 の場合: 本装置から自立的に再認証の EAPOL-Request/Identity を送出しない。	
23	dot1xAuthReAuthEnabled {dot1xAuthConfigEntry 13}	R/NW	[規格] 再認証タイムステートマシンが使用する enable/disable 制御。 DEFVAL {false (2)} [実装] 規格に同じ。	
24	dot1xAuthKeyTxEnabled {dot1xAuthConfigEntry 14}	R/NW	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが用いる定数値 keyTransmissionEnabled の現在値。 [実装] false (2) 固定。	
25	dot1xAuthStatsTable {dot1xPaeAuthenticator 2}	NA	[規格] 各ポートに関連付けられた Authenticator PAE の統計データオブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 規格に同じ。	
26	dot1xAuthStatsEntry {dot1xAuthStatsTable 1}	NA	[規格] Authenticator PAE に対する統計情報。 INDEX { dot1xPaePortNumber } [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
27	dot1xAuthEapolFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 1}	R/O	[規格] Authenticator が受信したすべての有効なタイプの EAPOL フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
28	dot1xAuthEapolFramesTx {dot1xAuthStatsEntry 2}	R/O	[規格] Authenticator が送信したすべてのタイプの EAPOL フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
29	dot1xAuthEapolStartFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 3}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAPOL Start フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
30	dot1xAuthEapolLogoffFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 4}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAPOL Logoff フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
31	dot1xAuthEapolRespIdFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 5}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAP Response/Identity フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
32	dot1xAuthEapolRespFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 6}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAP Response/Identity フレーム以外の有効な EAP Response フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
33	dot1xAuthEapolReqIdFramesTx {dot1xAuthStatsEntry 7}	R/O	[規格] Authenticator が送信した EAP Request/Identity フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
34	dot1xAuthEapolReqFramesTx {dot1xAuthStatsEntry 8}	R/O	[規格] Authenticator が送信した EAP Request/Identity フレーム以外の EAP Request フレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
35	dot1xAuthInvalidEapolFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 9}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAPOL フレームの中でフレームタイプが承認されなかったフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
36	dot1xAuthEapLengthErrorFramesRx {dot1xAuthStatsEntry 10}	R/O	[規格] Authenticator が受信した EAPOL フレームの中で Packet Body Length が無効なフレーム数。 [実装] 規格に同じ。	
37	dot1xAuthLastEapolFrameVersion {dot1xAuthStatsEntry 11}	R/O	[規格] Authenticator が最も最近受信した EAPOL フレームのプロトコルバージョン番号。 [実装] 規格に同じ。	
38	dot1xAuthLastEapolFrameSource {dot1xAuthStatsEntry 12}	R/O	[規格] Authenticator が最も最近受信した EAPOL フレームの送信元 MACAddress。 [実装] 規格に同じ。	
39	dot1xAuthDiagTable {dot1xPaeAuthenticator 3}	NA	[規格] 各ポートの Authenticator PAE に対する診断オブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 規格に同じ。	
40	dot1xAuthDiagEntry {dot1xAuthDiagTable 1}	NA	[規格] Authenticator PAE に対する診断情報のリスト。 INDEX { dot1xPaePortNumber } [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
41	dot1xAuthEntersConnecting {dot1xAuthDiagEntry 1}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが他の状態から CONNECTING 状態に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	
42	dot1xAuthEapLogoffsWhileConnecting {dot1xAuthDiagEntry 2}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが CONNECTING の時、EAPOL Logoff メッセージを受信した結果、DISCONNECTED に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	
43	dot1xAuthEntersAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 3}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが CONNECTING の時、EAP Response/Identity メッセージを Supplicant から受信した結果、AUTHENTICATING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	
44	dot1xAuthAuthSuccessWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 4}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時、バックエンド認証ステートマシンが Supplicant の認証成功を示した結果 (authSuccess = TRUE), AUTHENTICATED に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	
45	dot1xAuthAuthTimeoutsWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 5}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時、バックエンド認証ステートマシンが認証タイムアウトを示した結果 (authTimeout = TRUE), ABORTING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	
46	dot1xAuthAuthFailWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 6}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時、バックエンド認証ステートマシンが認証失敗を示した結果 (authFail = TRUE), HELD に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	
47	dot1xAuthAuthReauthsWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 7}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時、再認証要求の結果 (reAuthenticate = TRUE), ABORTING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	
48	dot1xAuthAuthEapStartsWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 8}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時、EAPOL Start メッセージを Supplicant から受信した結果、ABORTING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	
49	dot1xAuthAuthEapLogoffWhileAuthenticating {dot1xAuthDiagEntry 9}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATING の時、EAPOL Logoff メッセージを Supplicant から受信した結果、ABORTING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	
50	dot1xAuthAuthReauthsWhileAuthenticated {dot1xAuthDiagEntry 10}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATED の時、再認証要求の結果 (reAuthenticate = TRUE), CONNECTING に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	
51	dot1xAuthAuthEapStartsWhileAuthenticated {dot1xAuthDiagEntry 11}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATED の時、Supplicant から受信した EAPOL Start メッセージの結果、CONNECTING に移行した回数。 [実装] 規格と同様。	
52	dot1xAuthAuthEapLogoffWhileAuthenticated {dot1xAuthDiagEntry 12}	R/O	[規格] Authenticator PAE ステートマシンが AUTHENTICATED の時、Supplicant から受信した EAPOL Logoff メッセージの結果、DISCONNECTED に移行した回数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
53	dot1xAuthBackendResponses {dot1xAuthDiagEntry 13}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが最初の Access Request パケットを認証サーバに送信した回数 (すなわち, RESPONSE 状態で sendRespToServer を実行する)。 [実装] 規格と同様。	
54	dot1xAuthBackendAccessChallenges {dot1xAuthDiagEntry 14}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが認証サーバから最初の Access Challenge パケットを受信した回数 (すなわち, aReq は "TRUE" となり, RESPONSE 状態を終了する原因となる)。 [実装] 規格に同じ。	
55	dot1xAuthBackendOtherRequestsToSupplicant {dot1xAuthDiagEntry 15}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが Supplicant に EAP Request (Identity, Notification, Failure または Success メッセージ以外) を送信した回数 (すなわち, REQUEST 状態で txReq を実行する)。このことは Authenticator が EAP method を選択することを示唆している。 [実装] 規格に同じ。	
56	dot1xAuthBackendNonNakResponsesFromSupplicant {dot1xAuthDiagEntry 16}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが Supplicant から最初の EAP Request に対する応答や, EAP NAK 以外の何らかの応答を受け取った回数 (すなわち rxResp は "TRUE" となり, バックエンド認証ステートマシンが REQUEST から RESPONSE に移行する。応答は EAP NAK ではない)。このことは Supplicant が Authenticator の選んだ EAP method に応答することができることを示唆している。 [実装] 規格に同じ。	
57	dot1xAuthBackendAuthSuccesses {dot1xAuthDiagEntry 17}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが認証サーバから EAP Success メッセージを受信した回数 (すなわち, aSuccess が "TRUE" となり, バックエンド認証ステートマシンが RESPONSE から SUCCESS に移行する)。このことは Supplicant が認証サーバに認証されたことを示唆する。 [実装] 規格に同じ。	
58	dot1xAuthBackendAuthFails {dot1xAuthDiagEntry 18}	R/O	[規格] バックエンド認証ステートマシンが認証サーバから EAP Failure メッセージを受信した回数 (すなわち, aFail は "TRUE" となり, バックエンド認証ステートマシンが RESPONSE から FAIL に移行する)。このことは Supplicant が認証サーバに認証されなかったことを示唆する。 [実装] 規格に同じ。	
59	dot1xAuthSessionStatsTable {dot1xPaeAuthenticator 4}	NA	[規格] 各ポートの Authenticator PAE に対するセッション統計データオブジェクトテーブル。アクセスを認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 規格に同じ。	
60	dot1xAuthSessionStatsEntry {dot1xAuthSessionStatsTable 1}	NA	[規格] Authenticator PAE に対するセッション統計情報のリスト。現在継続中の各セッションで集計した値, または現在アクティブでない各ポートでの最後の有効なセッションに対する最終的な値を見ることができる。 INDEX { dot1xPaePortNumber } [実装] 規格に同じ。	
61	dot1xAuthSessionOctetsRx {dot1xAuthSessionStatsEntry 1}	R/O	[規格] セッション中にポート上で受信したユーザデータフレームのオクテット数。 [実装] 0 固定。	
62	dot1xAuthSessionOctetsTx {dot1xAuthSessionStatsEntry 2}	R/O	[規格] セッション中にポート上で送信したユーザデータフレームのオクテット数。 [実装] 0 固定。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
63	dot1xAuthSessionFramesRx {dot1xAuthSessionStats Entry 3}	R/O	[規格] セッション中にポート上で受信したユーザデータフレーム数。 [実装] 0 固定。	
64	dot1xAuthSessionFramesTx {dot1xAuthSessionStats Entry 4}	R/O	[規格] セッション中にポート上で送信したユーザデータフレーム数。 [実装] 0 固定。	
65	dot1xAuthSessionId {dot1xAuthSessionStats Entry 5}	R/O	[規格] セッションに対するユニークな識別子。3文字以上の表示可能な ASCII 文字列の形式。 [実装] 規格に同じ。	
66	dot1xAuthSessionAuthenticMethod {dot1xAuthSessionStats Entry 6}	R/O	[規格] セッションを確立するのに用いられる認証方式 (INTEGER)。 • remoteAuthServer (1) • localAuthServer (2) [実装] セッション確立状態の場合だけ意味を持ち、値は remoteAuthServer (1) 固定となる。セッション解除時は意味を持たないで、値は 0 となる。	
67	dot1xAuthSessionTime {dot1xAuthSessionStats Entry 7}	R/O	[規格] セッションの持続期間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。	
68	dot1xAuthSessionTerminateCause {dot1xAuthSessionStats Entry 8}	R/O	[規格] セッション終了の理由。 • supplicantLogoff (1) • portFailure (2) • supplicantRestart (3) • reauthFailed (4) • authControlForceUnauth (5) • portReInit (6) • portAdminDisabled (7) • notTerminatedYet (999) [実装] 規格に同じ。ただし、1度もセッション確立していない場合は、セッション終了要因がない状態のため、値は 0 となる。	
69	dot1xAuthSessionUserName {dot1xAuthSessionStats Entry 9}	R/O	[規格] Supplicant PAE を識別するユーザ名。 [実装] 実装。	
70	dot1xSuppConfigTable {dot1xPaeSupplicant 1}	NA	[規格] 各ポートの Supplicant PAE に対する構成オブジェクトテーブル。リモートシステムよりアクセスした場合、認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 未実装。	×
71	dot1xSuppConfigEntry {dot1xSuppConfigTable 1}	NA	[規格] Supplicant PAE に対する構成情報のリスト。 INDEX { dot1xPaePortNumber } [実装] 未実装。	×
72	dot1xSuppPaeState {dot1xSuppConfigEntry 1}	R/O	[規格] Supplicant PAE ステートマシンの現在の状態。 • disconnected (1) • logoff (2) • connecting (3) • authenticating (4) • authenticated (5) • acquired (6) • held (7) [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
73	dot1xSuppHeldPeriod {dot1xSuppConfigEntry 2}	R/W	[規格] Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 heldPeriod の値 (単位: 秒)。 DEFVAL {60} [実装] 未実装。	×
74	dot1xSuppAuthPeriod {dot1xSuppConfigEntry 3}	R/W	[規格] Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 authPeriod の値 (単位: 秒)。 DEFVAL {30} [実装] 未実装。	×
75	dot1xSuppStartPeriod {dot1xSuppConfigEntry 4}	R/W	[規格] Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 startPeriod の値 (単位: 秒)。 DEFVAL {30} [実装] 未実装。	×
76	dot1xSuppMaxStart {dot1xSuppConfigEntry 5}	R/W	[規格] Supplicant PAE ステートマシンが用いている現在の定数値 maxStart の値。 DEFVAL {3} [実装] 未実装。	×
77	dot1xSuppStatsTable {dot1xPaeSupplicant 2}	NA	[規格] 各ポートの Supplicant PAE に対する統計オブジェクトテーブル。リモートシステムよりアクセスした場合、認証される可能性のある各ポートのリストはこのテーブル内に存在する。 [実装] 未実装。	×
78	dot1xSuppStatsEntry {dot1xSuppStatsTable 1}	NA	[規格] Supplicant PAE に対する統計情報のリスト。 INDEX {dot1xPaePortNumber} [実装] 未実装。	×
79	dot1xSuppEapolFrames Rx {dot1xSuppStatsEntry 1}	R/O	[規格] Supplicant が受信したすべてのタイプの EAPOL フレーム数。 [実装] 未実装。	×
80	dot1xSuppEapolFrames Tx {dot1xSuppStatsEntry 2}	R/O	[規格] Supplicant が送信したすべてのタイプの EAPOL フレーム数。 [実装] 未実装。	×
81	dot1xSuppEapolStartFr amesTx {dot1xSuppStatsEntry 3}	R/O	[規格] Supplicant が送信した EAPOL Start フレーム数。 [実装] 未実装。	×
82	dot1xSuppEapolLogoffF ramesTx {dot1xSuppStatsEntry 4}	R/O	[規格] Supplicant が送信した EAPOL Logoff フレーム数。 [実装] 未実装。	×
83	dot1xSuppEapolRespId FramesTx {dot1xSuppStatsEntry 5}	R/O	[規格] Supplicant が送信した EAP Response/Identity フレーム数。 [実装] 未実装。	×
84	dot1xSuppEapolRespFr amesTx {dot1xSuppStatsEntry 6}	R/O	[規格] Supplicant が送信した有効な EAP Response フレーム数 (Response/Identity フレーム以外)。 [実装] 未実装。	×
85	dot1xSuppEapolReqIdF ramesRx {dot1xSuppStatsEntry 7}	R/O	[規格] Supplicant が受信した EAP Request/Identity フレーム数。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
86	dot1xSuppEapolReqFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 8}	R/O	[規格] Supplicant が受信した EAP Request フレーム数 (Request/Identity フレーム以外)。 [実装] 未実装。	×
87	dot1xSuppInvalidEapolFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 9}	R/O	[規格] Supplicant が受信した EAPOL フレーム内でフレームタイプが認識されなかったフレーム数。 [実装] 未実装。	×
88	dot1xSuppEapolLengthErrorFramesRx {dot1xSuppStatsEntry 10}	R/O	[規格] Supplicant が受信した EAPOL フレーム内で Packet Body Length が無効なフレーム数。 [実装] 未実装。	×
89	dot1xSuppLastEapolFrameVersion {dot1xSuppStatsEntry 11}	R/O	[規格] Supplicant が最も最近受信した EAPOL フレームのプロトコルバージョン番号。 [実装] 未実装。	×
90	dot1xSuppLastEapolFrameSource {dot1xSuppStatsEntry 12}	R/O	[規格] Supplicant が最も最近受信した EAPOL フレームの送信元 MAC アドレス。 [実装] 未実装。	×

2.22 snmpModules グループ

2.22.1 snmpFrameworkMIB グループ (SNMP FRAMEWORK MIB)

snmpFrameworkMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3411 (2002 年 12 月)

(1) 識別子

snmpFrameworkMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 10}

snmpFrameworkMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpFrameworkMIB 2}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.10.2

snmpEngine OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpFrameworkMIBObjects 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.10.2.1

(2) 実装仕様

snmpFrameworkMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-72 snmpFrameworkMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpEngineID {snmpEngine 1}	R/O	[規格] SNMP エンジン管理のための ID。 ただし、オール 0、オール 0xff、空 (0 バイト長) にはならない。 [実装] コンフィグレーションコマンド snmp-server engineID local で設定、またはエージェントによる自動生成。 • コンフィグレーションコマンド snmp-server engineID local で設定した場合 1 ~ 4 オクテット: 企業コードと 0x80000000 とのビット OR。 5 オクテット: 4 固定。 6 ~ 32 オクテット: コンフィグレーションコマンドで設定した文字列 (27 文字以内)。 • エージェントによる自動生成の場合 1 ~ 4 オクテット: 企業コードと 0x80000000 とのビット OR。 5 オクテット: 128 固定。 6 ~ 9 オクテット: 乱数。 10 ~ 13 オクテット: 現在時刻。	
2	snmpEngineBoots {snmpEngine 2}	R/O	[規格] snmpEngineID が最後に設定されてからの (再) 初期化回数。 [実装] 規格に同じ。	
3	snmpEngineTime {snmpEngine 3}	R/O	[規格] snmpEngineBoots がインクリメントされてからの経過時間 (単位: 秒)。 ただし、最大値を超えたら 0 にリセットされ、snmpEngineBoots がインクリメントされる。 [実装] 規格に同じ。	
4	snmpEngineMaxMessageSize {snmpEngine 4}	R/O	[規格] snmp エンジンが送受信できるメッセージの最大サイズ。 [実装] 2048 固定。	

2.22.2 snmpMPDMIB グループ (SNMP MPD MIB)

snmpMPDMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3412 (2002 年 12 月)

(1) 識別子

```
snmpMPDMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 11}

snmpMPDMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpMPDMIB 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.11.2

snmpMPDStats OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpMPDMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.11.2.1
```

(2) 実装仕様

snmpMPDMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-73 snmpMPDMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpUnknownSecurityModels {snmpMPDStats 1}	R/O	[規格] サポート外 securityModel のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	
2	snmpInvalidMsgs {snmpMPDStats 2}	R/O	[規格] メッセージ不正のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	
3	snmpUnknownPDUDhandlers {snmpMPDStats 3}	R/O	[規格] アプリケーションで処理できない PDU を含んでいたため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	

2.22.3 snmpTargetMIB グループ (SNMP TARGET MIB)

snmpTargetMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3413 (2002 年 12 月)

snmpTargetAddrTable および snmpTargetParamsTable はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

```
snmpTargetMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 12}

snmpTargetObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpTargetMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.12.1
```

(2) 実装仕様

snmpTargetMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-74 snmpTargetMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpTargetSpinLock {snmpTargetObjects 1}	R/NW	[規格] 複数のマネージャから SNMP-TARGET-MIB モジュールのテーブルエントリが変更要求を受けた場合のロック操作に使用される。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
2	snmpTargetAddrTable {snmpTargetObjects 2}	NA	[規格] SNMP メッセージ生成時に使われる伝送アドレステーブル。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	snmpTargetAddrEntry {snmpTargetAddrTable 1}	NA	[規格] SNMP メッセージ生成時に使われる伝送アドレスエントリ。 INDEX { IMPLIED snmpTargetAddrName } [実装] 規格に同じ。	
4	snmpTargetAddrName {snmpTargetAddrEntry 1}	NA	[規格] snmpTargetAddrEntry の名前。 [実装] 規格に同じ。 コンフィグレーションコマンド snmp-server host の <manager-address> に対応します。	
5	snmpTargetAddrTDomain {snmpTargetAddrEntry 2}	R/NW	[規格] snmpTargetAddrTAddress オブジェクトのアドレスの伝送タイプ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server host の <manager-address> の種類に対応します。	
6	snmpTargetAddrTAddress {snmpTargetAddrEntry 3}	R/NW	[規格] 伝送アドレス。 本アドレスのフォーマットは、snmpTargetAddrTDomain で示される。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server host の <manager-address> に対応します。	
7	snmpTargetAddrTimeout {snmpTargetAddrEntry 4}	R/NW	[規格] 本エントリで定義される伝送アドレスと通信したときのタイムアウト値 (単位: 10 ミリ秒)。 デフォルト値 =1500。 [実装] 0 固定。	
8	snmpTargetAddrRetryCount {snmpTargetAddrEntry 5}	R/NW	[規格] 送信メッセージのレスポンスが届かなかった時のデフォルトのリトライ回数。 デフォルト値 =3。 [実装] 0 固定。	
9	snmpTargetAddrTagList {snmpTargetAddrEntry 6}	R/NW	[規格] snmpNotifyTag のリスト。 デフォルト値 = ""。 [実装] "TRAP" 固定。	
10	snmpTargetAddrParams {snmpTargetAddrEntry 7}	R/NW	[規格] snmpTargetParamsTable のエントリ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server host の <manager-address> に対応します。	
11	snmpTargetAddrStorageType {snmpTargetAddrEntry 8}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値 =nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	
12	snmpTargetAddrRowStatus {snmpTargetAddrEntry 9}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 新たにエントリを追加した場合、snmpTargetAddrTDomain、snmpTargetAddrTAddress、snmpTargetAddrParams が設定されるまで notReady (3) が設定される。ただし、本オブジェクトが active (1) の場合、snmpTargetAddrTDomain、snmpTargetAddrTAddress を変更してはならない。 [実装] active (1) 固定。本エントリはコンフィグレーションコマンド snmp-server host に対応します。	
13	snmpTargetParamsTable {snmpTargetObjects 3}	NA	[規格] SNMP メッセージ作成時に使われる SNMP 対象の情報テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
14	snmpTargetParamsEntry {snmpTargetParamsTable 1}	NA	[規格] SNMP メッセージ作成時に使われる SNMP 対象の情報エントリ。 INDEX { IMPLIED snmpTargetParamsName } [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
15	snmpTargetParamsName {snmpTargetParamsEntry 1}	NA	[規格] snmpTargetParamsEntry の名前。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server host の <magager-address> に対応します。	
16	snmpTargetParamsMPModel {snmpTargetParamsEntry 2}	R/NW	[規格] SNMP メッセージを生成するときに用いるメッセージ処理モデル。 0 ~ 255 は IANA で管理される。 • 0 : SNMPv1 • 1 : SNMPv2C • 2 : SNMPv2u , SNMPv2* • 3 : SNMPv3 256 以上は企業独自。 [実装] SNMPv3 (3) 固定。	
17	snmpTargetParamsSecurityModel {snmpTargetParamsEntry 3}	R/NW	[規格] SNMP メッセージを生成するときのセキュリティモデル。 1 ~ 255 は IANA で管理される。 • 0 : 特定のモデルなし • 1 : SNMPv1 • 2 : SNMPv2C • 3 : User-Based Security Model (USM) 256 以上は企業独自。 [実装] USM (3) 固定。	
18	snmpTargetParamsSecurityName {snmpTargetParamsEntry 4}	R/NW	[規格] SNMP メッセージが生成されるときに用いられた手法を示す securityName。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server host の <community-string> に対応します。	
19	snmpTargetParamsSecurityLevel {snmpTargetParamsEntry 5}	R/NW	[規格] SNMP メッセージ生成時のセキュリティレベル。 • noAuthNoPriv (1): 認証なし, プライバシーなし • authNoPriv (2): 認証あり, プライバシーなし • authPriv (3): 認証あり, プライバシーあり [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server host の {noauth auth priv} の選択に対応します。	
20	snmpTargetParamsStorageType {snmpTargetParamsEntry 6}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 [実装] readOnly (5) 固定。	
21	snmpTargetParamsRowStatus {snmpTargetParamsEntry 7}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 新たにエントリを追加した場合、snmpTargetParamsMPModel , snmpTargetParamsSecurityModel , snmpTargetParamsSecurityName , snmpTargetParamsSecurityLevel が設定されるまで notReady (3) が設定される。ただし、本オブジェクトが active (1) の場合、snmpTargetParamsMPModel , snmpTargetParamsSecurityModel , snmpTargetParamsSecurityName , snmpTargetParamsSecurityLevel を変更してはならない。 [実装] active (1) 固定。コンフィグレーションコマンド snmp-server host に対応します。	
22	snmpUnavailableContexts {snmpTargetObjects 4}	R/O	[規格] メッセージ中のコンテキストが利用不可のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
23	snmpUnknownContexts {snmpTargetObjects 5}	R/O	[規格] メッセージ中のコンテキストが理解不可のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	

2.22.4 snmpNotificationMIB グループ (SNMP NOTIFICATION MIB)

snmpNotificationMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3413 (2002 年 12 月)

snmpNotifyFilterProfileTable および snmpNotifyFilterTable はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

```
snmpNotificationMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 13}
snmpNotifyObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpNotificationMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.13.1
```

(2) 実装仕様

snmpNotificationMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-75 snmpNotificationMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpNotifyTable {snmpNotifyObjects 1}	NA	[規格] Notification を受信する管理対象および選択された管理対象に対して送られる Notification の型を特定するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	snmpNotifyEntry {snmpNotifyTable 1}	NA	[規格] Notification を受信する管理対象群および選択された管理対象に対して送られる Notification の型を特定するエントリ。 INDEX { IMPLIED snmpNotifyName } [実装] 規格に同じ。	
3	snmpNotifyName {snmpNotifyEntry 1}	NA	[規格] snmpNotifyEntry の名前。 [実装] "TRAP" 固定。	
4	snmpNotifyTag {snmpNotifyEntry 2}	R/NW	[規格] snmpTargetAddrTable のエントリを特定するためのタグ値。 デフォルト値 = ""。 [実装] "TRAP" 固定。	
5	snmpNotifyType {snmpNotifyEntry 3}	R/NW	[規格] Notification の型。 デフォルト値 = trap (1)。 • trap (1) • inform (2) [実装] trap (1) 固定。	
6	snmpNotifyStorageType {snmpNotifyEntry 4}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値 = nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	
7	snmpNotifyRowStatus {snmpNotifyEntry 5}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 [実装] active (1) 固定。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
8	snmpNotifyFilterProfileTable {snmpNotifyObjects 2}	NA	[規格] Notification フィルタ定義を特定の対象パラメータに結びつけるテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
9	snmpNotifyFilterProfileEntry {snmpNotifyFilterProfileTable 1}	NA	[規格] Notification を生成する時に使用するフィルタ定義エントリ。 INDEX { IMPLIED snmpTargetParamsName } [実装] 規格に同じ。	
10	snmpNotifyFilterProfileName {snmpNotifyFilterProfileEntry 1}	R/NW	[規格] フィルタ定義の名前。 snmpTargetParamsTable と関連付けられる。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。コンフィグレーションコマンド snmp-server host の <manager-address> に対応します。	
11	snmpNotifyFilterProfileStorageType {snmpNotifyFilterProfileEntry 2}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値 =nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	
12	snmpNotifyFilterProfileRowStatus {snmpNotifyFilterProfileEntry 3}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 新たにエントリを追加した場合、snmpNotifyFilterProfileName が設定されるまで notReady (3) が設定される。 [実装] active (1) 固定。コンフィグレーションコマンド snmp-server host に対応します。	
13	snmpNotifyFilterTable {snmpNotifyObjects 3}	NA	[規格] 管理対象が Notification を受信するか決めるために使用するフィルタ定義のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
14	snmpNotifyFilterEntry {snmpNotifyFilterTable 1}	NA	[規格] 管理対象が Notification を受信するか決めるために使用するフィルタ定義のエントリ。 INDEX { snmpNotifyFilterProfileName, IMPLIED snmpNotifyFilterSubtree } [実装] 規格に同じ。	
15	snmpNotifyFilterSubtree {snmpNotifyFilterEntry 1}	NA	[規格] snmpNotifyFilterMask の対応するインスタンスに組み合わせられるとき、フィルタ定義に含む、または除外するサブツリーファミリを定義する MIB サブツリー。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server host のトラップ送信モードに対応します。	
16	snmpNotifyFilterMask {snmpNotifyFilterEntry 2}	R/NW	[規格] snmpNotifyFilterSubtree の対応するインスタンスに組み合わせられるとき、フィルタ定義に含む、または除外するサブツリーファミリを定義するビットマスク。 • '1': 正確に合致する。 • '0': ワイルドキャラ。 もしこのオブジェクトの長さが 0 であれば、この拡張規則は、すべて 1 でパディングになり、フィルタサブツリーファミリは snmpNotifyFilterSubtree の対応インスタンスによりユニークに特定されるサブツリーになる。 デフォルト値 ="H". [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server host のトラップ送信モードに対応します。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
17	snmpNotifyFilterType {snmpNotifyFilterEntry 3}	R/NW	[規格] このオブジェクトは本エントリで定義されるフィルタサブツリーファミリがフィルタに含まれるか除外されるかを示す。 デフォルト値 =included。 • included (1) • excluded (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server host のトラップ送信モードに対応します。	
18	snmpNotifyFilterStorageType {snmpNotifyFilterEntry 4}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値 =nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	
19	snmpNotifyFilterRowStatus {snmpNotifyFilterEntry 5}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 [実装] active (1) 固定。コンフィグレーションコマンド snmp-server host のトラップ送信モードに対応します。	

2.22.5 snmpProxyMIB グループ (SNMP PROXY MIB)

snmpProxyMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3413 (2002年12月)

(1) 識別子

```
snmpProxyMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 14}
snmpProxyObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpProxyMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.14.1
```

(2) 実装仕様

snmpProxyMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-76 snmpProxyMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpProxyTable {snmpProxyObjects 2}	NA	[規格] プロキシ・フォワーダアプリケーションが使う変換パラメータのテーブル。 [実装] 未サポート。	×
2	snmpProxyEntry {snmpProxyTable 1}	NA	[規格] プロキシ・フォワーダアプリケーションが使う変換パラメータのエントリ。 INDEX { IMPLIED snmpProxyName } [実装] 未サポート。	×
3	snmpProxyName {snmpProxyEntry 1}	NA	[規格] snmpProxyEntry の名前 (1 ~ 32 文字)。 [実装] 未サポート。	×
4	snmpProxyType {snmpProxyEntry 2}	R/C	[規格] 本エントリで定義される変換パラメータでフォワードされるメッセージの型。 • read (1) • write (2) • trap (3) • inform (4) [実装] 未サポート。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	snmpProxyContextEngineID {snmpProxyEntry 3}	R/C	[規格] 本エントリで定義される変換パラメータでフォワードされるメッセージに含まれる contextEngineID。 [実装] 未サポート。	×
6	snmpProxyContextName {snmpProxyEntry 4}	R/C	[規格] 本エントリで定義される変換パラメータでフォワードされるメッセージに含まれる contextName。 [実装] 未サポート。	×
7	snmpProxyTargetParamsIn {snmpProxyEntry 5}	R/C	[規格] snmpTargetParamsTable のエントリを特定する。 [実装] 未サポート。	×
8	snmpProxySingleTargetOut {snmpProxyEntry 6}	R/C	[規格] snmpTargetAddrTable で定義される管理対象を特定する。 [実装] 未サポート。	×
9	snmpProxyMultipleTargetOut {snmpProxyEntry 7}	R/C	[規格] snmpTargetAddrTable で定義される管理対象を特定する。 [実装] 未サポート。	×
10	snmpProxyStorageType {snmpProxyEntry 8}	R/C	[規格] 本エントリの保存形式。 [実装] 未サポート。	×
11	snmpProxyRowStatus {snmpProxyEntry 9}	R/C	[規格] 本エントリの状態。 [実装] 未サポート。	×

2.22.6 snmpUsmMIB グループ (SNMP USER BASED SM MIB)

snmpUsmMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3414 (2002年12月)

(1) 識別子

```
snmpUsmMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 15}
usmMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpUsmMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.15.1
usmStats OBJECT IDENTIFIER ::= {usmMIBObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.15.1.1
usmUser OBJECT IDENTIFIER ::= {usmMIBObjects 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.15.1.2
```

(2) 実装仕様

snmpUsmMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-77 snmpUsmMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	usmStatsUnsupportedSecLevels {usmStats 1}	R/O	[規格] セキュリティレベル不正のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	
2	usmStatsNotInTimeWindows {usmStats 2}	R/O	[規格] WindowTime が範囲外のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	usmStatsUnknownUserNames {usmStats 3}	R/O	[規格] ユーザ不正のため破棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	
4	usmStatsUnknownEngineIDs {usmStats 4}	R/O	[規格] 認識外の snmpEngineID を参照しているため廃棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	
5	usmStatsWrongDigests {usmStats 5}	R/O	[規格] 期待されるダイジェスト値を含んでいないため廃棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	
6	usmStatsDecryptionErrors {usmStats 6}	R/O	[規格] 復号できなかったため廃棄された受信パケットの総数。 [実装] 規格に同じ。	
7	usmUserSpinLock {usmUser 1}	R/NW	[規格] usmUserTable の秘密を変更する場合のロック操作に使用される。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
8	usmUserTable {usmUser 2}	NA	[規格] SNMP エンジンの LCD (Local Configuration Datastore) に構成されるユーザテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
9	usmUserEntry {usmUserTable 1}	NA	[規格] SNMP エンジンの LCD (Local Configuration Datastore) に構成されるユーザテーブルのエントリ。 INDEX { usmUserEngineID, usmUserName } [実装] 規格に同じ。	
10	usmUserEngineID {usmUserEntry 1}	NA	[規格] SNMP エンジンの管理のための ID。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server engineID local に対応します。	
11	usmUserName {usmUserEntry 2}	NA	[規格] ユーザを示す判読可能な名前。 これは USM が依存するセキュリティ ID。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server user の <user-name> に対応します。	
12	usmUserSecurityName {usmUserEntry 3}	R/O	[規格] セキュリティモデルに依存しない形式のユーザを示す判読可能な名前。 usmUserName と同じ値。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server user の <user-name> に対応します。	
13	usmUserCloneFrom {usmUserEntry 4}	R/NW	[規格] 新しいエントリを追加する際に複製元となる別のエントリへのポインタ。 このオブジェクトが読まれる場合、0.0 のオブジェクト ID が返される。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
14	usmUserAuthProtocol {usmUserEntry 5}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される SNMP エンジンの認証プロトコル。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server user の auth パラメータの {md5 sha} の選択に対応します。	
15	usmUserAuthKeyChange {usmUserEntry 6}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される snmp エンジンの認証キーを生成するオブジェクト。 要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と異なる場合に設定される。 このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返される。 デフォルト値 = "H"。 [実装] "" 固定。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
16	usmUserOwnAuthKeyChange {usmUserEntry 7}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される snmp エンジンの認証キーを生成するオブジェクト。 要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と等しい場合に設定される。 このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返される。 デフォルト値 ="H"。 [実装] "" 固定。	
17	usmUserPrivProtocol {usmUserEntry 8}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される SNMP エンジンのプライベートプロトコルが使用。 デフォルト値 =usmNoPrivProtocol。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィギュレーションコマンド snmp-server user の priv パラメータの des に対応します。	
18	usmUserPrivKeyChange {usmUserEntry 9}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される暗号キーを生成するオブジェクト。 要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と異なる場合に設定される。 このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返される。 デフォルト値 ="H"。 [実装] "" 固定。	
19	usmUserOwnPrivKeyChange {usmUserEntry 10}	R/NW	[規格] usmUserEngineID によって示される暗号キーを生成するオブジェクト。 要求元の usmUserName が本エントリの usmUserName と等しい場合に設定される。 このオブジェクトが読まれる場合、長さ 0 の文字列が返される。 デフォルト値 ="H"。 [実装] "" 固定。	
20	usmUserPublic {usmUserEntry 11}	R/NW	[規格] ユーザの認証キー、暗号キーを変更する処理で生成される値。 後でキーの変更が有効であったか判定するために利用できる。 デフォルト値 ="H"。 [実装] "" 固定。	
21	usmUserStorageType {usmUserEntry 12}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 [実装] readOnly (5) 固定。	
22	usmUserStatus {usmUserEntry 13}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 [実装] active (1) 固定。	

2.22.7 snmpVacmMIB グループ (SNMP VIEW BASED ACM MIB)

snmpVacmMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3415 (2002 年 12 月)

(1) 識別子

```
snmpVacmMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 16}

vacmMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpVacmMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.16.1

vacmMIBViews OBJECT IDENTIFIER ::= {vacmMIBObjects 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.16.1.5
```

(2) 実装仕様

snmpVacmMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-78 snmpVacmMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	vacmContextTable {vacmMIBObjects 1}	NA	[規格] ローカルに利用可能なコンテキストテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	vacmContextEntry {vacmContextTable 1}	NA	[規格] ローカルに利用可能なコンテキストテーブルのエントリ。 INDEX { vacmContextName } [実装] 規格に同じ。	
3	vacmContextName {vacmContextEntry 1}	R/O	[規格] 特定の SNMP エンティティの特定のコンテキストを示す読解可能な名前。 空の contextName は、デフォルトコンテキストを示す。 [実装] デフォルトコンテキスト固定。	
4	vacmSecurityToGroupTable {vacmMIBObjects 2}	NA	[規格] 操作者グループへのアクセス・コントロールポリシーを定義するために使われるテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
5	vacmSecurityToGroupEntry {vacmSecurityToGroupTable 1}	NA	[規格] 操作者グループへのアクセス・コントロールポリシーを定義するために使われるエントリ。 securityModel と securityName をペアにした groupName を示す。 INDEX { vacmSecurityModel, vacmSecurityName } [実装] 規格に同じ。	
6	vacmSecurityModel {vacmSecurityToGroupEntry 1}	NA	[規格] 本エントリで参照される vacmSecurityName のセキュリティモデル。 0 は指定できない。 1 ~ 255 は IANA で管理される。 • 0 : 特定のモデルなし • 1 : SNMPv1 • 2 : SNMPv2C • 3 : User-Based Security Model (USM) 256 以上は企業独自。 [実装] USM (3) 固定。	
7	vacmSecurityName {vacmSecurityToGroupEntry 2}	NA	[規格] 本エントリの securityName。本エントリから groupName に対応付けるために使用される。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server user の <user-name> に対応します。	
8	vacmGroupName {vacmSecurityToGroupEntry 3}	R/NW	[規格] 本エントリが所属するグループ名。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server user の <group-name> に対応します。	
9	vacmSecurityToGroupStorageType {vacmSecurityToGroupEntry 4}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値 =nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	
10	vacmSecurityToGroupStatus {vacmSecurityToGroupEntry 5}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 新たにエントリを追加した場合、vacmGroupName が設定されるまで notReady (3) が設定される。 [実装] active (1) 固定。コンフィグレーションコマンド snmp-server user に対応します。	
11	vacmAccessTable {vacmMIBObjects 4}	NA	[規格] グループのアクセス権のテーブル。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
12	vacmAccessEntry {vacmAccessTable 1}	NA	[規格] グループのアクセス権のエントリ。 INDEX { vacmGroupName, vacmAccessContextPrefix, vacmAccessSecurityModel, vacmAccessSecurityLevel } [実装] 規格に同じ。	
13	vacmAccessContextPrefix {vacmAccessEntry 1}	NA	[規格] 本エントリでアクセス権を取得するために比較する値。 [実装] "" 固定。	
14	vacmAccessSecurityModel {vacmAccessEntry 2}	NA	[規格] 本エントリのアクセス権を取得する為に必要な securityModel。 1 ~ 255 は IANA で管理される。 • 0 : 特定のモデルなし • 1 : SNMPv1 • 2 : SNMPv2C • 3 : User-Based Security Model (USM) 256 以上は企業独自。 [実装] USM (3) 固定。	
15	vacmAccessSecurityLevel {vacmAccessEntry 3}	NA	[規格] 本エントリのアクセス権を取得する為に必要なセキュリティレベル。 • noAuthNoPriv (1): 認証なし, プライバシーなし • authNoPriv (2): 認証あり, プライバシーなし • authPriv (3): 認証あり, プライバシーあり [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server group の {noauth auth priv} の選択に対応します。	
16	vacmAccessContextMatch {vacmAccessEntry 4}	R/NW	[規格] • exact (1): contextName が vacmAccessContextPrefix に正確にマッチするすべての行エントリが選択される。 • prefix (2): contextName の先頭文字が vacmAccessContextPrefix に正確にマッチするすべての行エントリが選択される。 デフォルト値 =exact。 [実装] exact (1) 固定。	
17	vacmAccessReadViewName {vacmAccessEntry 5}	R/NW	[規格] 本エントリが読み込みアクセスを認証する MIB ビューの vacmViewTreeFamilyViewName。 デフォルト値 ="H"。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server group の read パラメータの <view-name> に対応します。	
18	vacmAccessWriteViewName {vacmAccessEntry 6}	R/NW	[規格] 本エントリが書き込みアクセスを認証する MIB ビューの vacmViewTreeFamilyViewName。 デフォルト値 ="H"。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server group の write パラメータの <view-name> に対応します。	
19	vacmAccessNotifyViewName {vacmAccessEntry 7}	R/NW	[規格] 本エントリが notifications アクセスを認証する MIB ビューの vacmViewTreeFamilyViewName。 デフォルト値 ="H"。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server group の notify パラメータの <view-name> に対応します。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
20	vacmAccessStorageType {vacmAccessEntry 8}	R/NW	[規格] 本エントリの保存形式。 デフォルト値 =nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	
21	vacmAccessStatus {vacmAccessEntry 9}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 [実装] active (1) 固定。コンフィグレーションコマンド snmp-server group に対応します。	
22	vacmViewSpinLock {vacmMIBViews 1}	R/NW	[規格] ビュー作成または変更の SET 操作を行うため、共同する SNMP コマンドジェネレータアプリケーションに協調を許すための勧 告ロック。 これは、勧告ロックであるので、使用は強制でない。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
23	vacmViewTreeFamilyTa ble {vacmMIBViews 2}	NA	[規格] MIB ビューのサブツリーファミリの情報のローカル保存テー ブル。 すべてのビューサブツリーは、包含も除外も、このテーブルで定義さ れる。 [実装] 規格に同じ。	
24	vacmViewTreeFamilyE ntry {vacmViewTreeFamilyT able 1}	NA	[規格] MIB ビューのサブツリーファミリの情報のローカル保存エン トリー。 INDEX { vacmViewTreeFamilyViewName, vacmViewTreeFamilySubtree } [実装] 規格に同じ。	
25	vacmViewTreeFamilyVi ewName {vacmViewTreeFamilyE ntry 1}	NA	[規格] 目視で判読可能なビューサブツリーファミリの名前。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server view の <view-name> に対応します。	
26	vacmViewTreeFamilySu btree {vacmViewTreeFamilyE ntry 2}	NA	[規格] ビューサブツリーファミリを定義する MIB サブツリー。 [実装] 規格に同じ。コンフィグレーションコマンド snmp-server view の <oid-tree> に対応します。	
27	vacmViewTreeFamilyM ask {vacmViewTreeFamilyE ntry 3}	R/NW	[規格] vacmViewTreeFamilySubtree のマスク値。 • '1': 正確な一致が発生しなければならない。 • '0': 'wild card' を示す。 このオブジェクトの長さが 0 の場合、すべて '1' のマスクが使用され る。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server view の <oid-tree> のワ イルドカード指定 (*) に対応します。	
28	vacmViewTreeFamilyTy pe {vacmViewTreeFamilyE ntry 4}	R/NW	[規格] MIB ビューの包含または除外を示す。 デフォルト値 =included。 • included (1) • excluded (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。 コンフィグレーションコマンド snmp-server view の {included excluded} の選択に対応します。	
29	vacmViewTreeFamilySt orageType {vacmViewTreeFamilyE ntry 5}	R/NW	[規格] このエントリの保存形式。 デフォルト値 =nonVolatile。 [実装] readOnly (5) 固定。	
30	vacmViewTreeFamilySt atus {vacmViewTreeFamilyE ntry 6}	R/NW	[規格] 本エントリの状態。 [実装] active (1) 固定。コンフィグレーションコマンド snmp-server view に対応します。	

2.22.8 snmpCommunityMIB グループ (SNMP COMMUNITY MIB)

snmpCommunityMIB グループの関連ドキュメントを次に示します。

- RFC3584 (2003 年 8 月)

(1) 識別子

snmpCommunityMIB MODULE-IDENTITY ::= {snmpModules 18}

snmpCommunityMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {snmpCommunityMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.6.3.18.1

(2) 実装仕様

snmpCommunityMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-79 snmpCommunityMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	snmpCommunityTable {snmpCommunityMIBObjects 1}	NA	[規格] SNMP エンジンの LCD に構成されるコミュニティストリングのテーブル。 [実装] 未サポート。	×
2	snmpCommunityEntry {snmpCommunityTable 1}	NA	[規格] SNMP エンジンの LCD に構成されるコミュニティストリングのエントリ。 INDEX { IMPLIED snmpCommunityIndex } [実装] 未サポート。	×
3	snmpCommunityIndex {snmpCommunityEntry 1}	NA	[規格] 本エントリのインデックス (0 ~ 32 文字)。 [実装] 未サポート。	×
4	snmpCommunityName {snmpCommunityEntry 2}	R/C	[規格] 本エントリのコミュニティ名。 このオブジェクトはサイズ制限がない。 [実装] 未サポート。	×
5	snmpCommunitySecurityName {snmpCommunityEntry 3}	R/C	[規格] セキュリティモデルに独立したフォーマットの snmpCommunityName に対応するストリング (0 ~ 32 文字)。 [実装] 未サポート。	×
6	snmpCommunityContextEngineID {snmpCommunityEntry 4}	R/C	[規格] snmpCommunityName の対応するインスタンスで示される、管理情報のコンテキストの格納場所を示す contextEngineID。 [実装] 未サポート。	×
7	snmpCommunityContextName {snmpCommunityEntry 5}	R/C	[規格] snmpCommunityName の対応するインスタンスで示される管理情報のコンテキスト (0 ~ 32 文字)。 [実装] 未サポート。	×
8	snmpCommunityTransportTag {snmpCommunityEntry 6}	R/C	[規格] トランスポートエンドポイントのセットを特定するためのタグ値。 [実装] 未サポート。	×
9	snmpCommunityStorageType {snmpCommunityEntry 7}	R/C	[規格] 本エントリの保存形式。 [実装] 未サポート。	×
10	snmpCommunityStatus {snmpCommunityEntry 8}	R/C	[規格] 本エントリの状態。 [実装] 未サポート。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
11	snmpTargetAddrExtTable {snmpCommunityMIBObjects 2}	NA	[規格] snmpTargetAddrTable に結びついたマスクと mms 値のテーブル。 [実装] 未サポート。	×
12	snmpTargetAddrExtEntry {snmpTargetAddrExtTable 1}	NA	[規格] snmpTargetAddrTable に結びついたマスクと mms 値のエントリ。 AUGMENTS{snmpTargetAddrEntry} [実装] 未サポート。	×
13	snmpTargetAddrTMask {snmpTargetAddrExtEntry 1}	R/C	[規格] snmpTargetAddrTable のエントリと結びついたマスク値 (0 ~ 255 文字)。 • '1': snmpTargetAddrTAddress のビットに合致するトランスポートアドレスのビットを示す。 • '0': snmpTargetAddrTAddress のビットに合致しない伝送アドレスのビットを示す。 [実装] 未サポート。	×
14	snmpTargetAddrMMS {snmpTargetAddrExtEntry 2}	R/C	[規格] snmpTargetAddrTable のエントリと結びついたメッセージの最大サイズの値。 値の範囲は 0 または 484 ~ 2147483647。 [実装] 未サポート。	×
15	snmpTrapAddress {snmpCommunityMIBObjects 3}	AN	[規格] SNMPv1 以外の SNMP バージョンを使用した Proxy Forwarding Applications によって転送されるトラップ PDU の agent-addr フィールドの値。 [実装] 未サポート。	×
16	snmpTrapCommunity {snmpCommunityMIBObjects 4}	AN	[規格] SNMPv1 以外の SNMP バージョンを使用した Proxy Forwarding Applications によって転送される、トラップ PDU を含んだ SNMPv1 メッセージのコミュニティ・ストリング・フィールドの値。 [実装] 未サポート。	×

2.23 ieee8021CfmMib グループ

ieee8021CfmMib グループの関連ドキュメントを次に示します。

- IEEE8021-CFM-MIB (2007 年 12 月)

注意事項

識別子 ieee802dot1 および ieee802dot1mibs について

- 本 MIB のオブジェクト識別子を指定して本装置外から GetNextRequest オペレーションを実行すると、正しい値が取得できないおそれがあります。
- 本 MIB のオブジェクト識別子を指定して snmp getnext コマンド, snmp walk コマンドまたは snmp lookup コマンドを実行すると、正しい値を取得できません。
- snmp getnext コマンド, snmp walk コマンドおよび snmp lookup コマンドで CFM の MIB を取得する場合, ieee8021CfmMib 以下から実行してください。

2.23.1 dot1agCfmStackTable

(1) 識別子

```

org                OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 3 }
ieee               OBJECT IDENTIFIER ::= { org 111 }
standards-association-numbered-series-standards
OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee 2 }
lan-man-stds      OBJECT IDENTIFIER ::=
{ standards-association-numbered-series-standards 802 }
ieee802dot1       OBJECT IDENTIFIER ::= { lan-man-stds 1 }
ieee802dot1mibs   OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1 1 }
ieee8021CfmMib    OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1mibs 8 }
dot1agMIBObjects  OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee8021CfmMib 1 }
dot1agCfmStack    OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agMIBObjects 1 }

dot1agCfmStackTable OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agCfmStack 1 }
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.1.1

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmStackTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-80 dot1agCfmStackTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmStackTable {dot1agCfmStack 1}	NA	[規格] MP に付与されたインタフェース情報。 [実装] 規格に同じ。	
2	dot1agCfmStackEntry {dot1agCfmStackTable 1}	NA	[規格] スタックテーブルのエントリ。 INDEX { dot1agCfmStackifIndex, dot1agCfmStackVlanIdOrNone, dot1agCfmStackMdLevel, dot1agCfmStackDirection } [実装] 規格に同じ。	
3	dot1agCfmStackifIndex {dot1agCfmStackEntry 1}	NA	[規格] MEP にあるポートを表します。 [実装] 規格に同じ。	
4	dot1agCfmStackVlanIdOrNone {dot1agCfmStackEntry 2}	NA	[規格] MP に割り当てられた VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
5	dot1agCfmStackMdLevel {dot1agCfmStackEntry 3}	NA	[規格] MP のドメインレベル。 [実装] 規格に同じ。	
6	dot1agCfmStackDirection {dot1agCfmStackEntry 4}	NA	[規格] MP の Direction。 [実装] 規格に同じ。	
7	dot1agCfmStackMdIndex {dot1agCfmStackEntry 5}	R/O	[規格] dot1agCfmMdTable でのドメインのインデックス。 [実装] 規格に同じ。	
8	dot1agCfmStackMaIndex {dot1agCfmStackEntry 6}	R/O	[規格] dot1agCfmMaNetTable と dot1agCfmMaCompTable での MA のインデックス。 [実装] 規格に同じ。	
9	dot1agCfmStackMepId {dot1agCfmStackEntry 7}	R/O	[規格] MEP ID。 [実装] 規格に同じ。	
10	dot1agCfmStackMacAddr ess {dot1agCfmStackEntry 8}	R/O	[規格] MP の MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	

2.23.2 dot1agCfmDefaultMd

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 3 }
ieee        OBJECT IDENTIFIER ::= { org 111 }
standards-association-numbered-series-standards
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee 2 }
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= { lan-man-stds 1 }
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1 1 }
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1mibs 8 }
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee8021CfmMib 1 }

dot1agCfmDefaultMd OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agMIBObjects 2 }
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.2

dot1agCfmDefaultMdTable OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agCfmDefaultMd 4 }
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.2.4

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmDefaultMd グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-81 dot1agCfmDefaultMd グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmDefaultMdDef Level {dot1agCfmDefaultMd 1}	R/W	[規格] 生成されるドメインレベル。 [実装] 未実装。	×
2	dot1agCfmDefaultMdEnt ry {dot1agCfmDefaultMdDef Level 1}	NA	[規格] デフォルトドメインレベルのエントリ。 [実装] 未実装。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	dot1agCfmDefaultMdDefMhfCreation {dot1agCfmDefaultMd 2}	R/W	[規格] MIP の生成条件を示す。 • defMHFnone (1) • defMHFdefault (2) • defMHFexplicit (3) [実装] 未実装。	×
4	dot1agCfmDefaultMdDefIdPermission {dot1agCfmDefaultMd 3}	R/W	[規格] デフォルトドメインでの Sender ID TLV の値。 • sendIdNone (1) • sendIdChassis (2) • sendIdManage (3) • sendIdChassisManage (4) [実装] 未実装。	×
5	dot1agCfmDefaultMdTable {dot1agCfmDefaultMd 4}	NA	[規格] Default MD Level Table のエントリ。 INDEX {dot1agCfmDefaultMdComponentId, dot1agCfmDefaultMdPrimaryVid} [実装] 未サポート。	×
6	dot1agCfmDefaultMdComponentId {dot1agCfmDefaultMdEntry 1}	NA	[規格] dot1agCfmDefaultMdEntry の情報が適用されるシステムの中のコンポーネント。 [実装] 未サポート。	×
7	dot1agCfmDefaultMdPrimaryVid {dot1agCfmDefaultMdEntry 2}	NA	[規格] プライマリ VLAN ID。 [実装] 未サポート。	×
8	dot1agCfmDefaultMdStatus {dot1agCfmDefaultMdEntry 3}	R/O	[規格] MA テーブルに同じ VLAN ID と同じドメインレベルが存在するかを示す。 [実装] 未サポート。	×
9	dot1agCfmDefaultMdLevel {dot1agCfmDefaultMdEntry 4}	R/W	[規格] MIP や Sender ID TLV を作るときのデフォルトドメインレベル。 [実装] 未サポート。	×
10	dot1agCfmDefaultMdMhfCreation {dot1agCfmDefaultMdEntry 5}	R/W	[規格] このドメインレベルで MIP が生成できるかを示す。 [実装] 未サポート。	×
11	dot1agCfmDefaultMdIdPermission {dot1agCfmDefaultMdEntry 6}	R/W	[規格] Sender ID TLV に含まれる値。 [実装] 未サポート。	×

2.23.3 dot1agCfmVlanTable

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 3 }
ieee        OBJECT IDENTIFIER ::= { org 111 }
standards-association-numbered-series-standards
OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee 2 }
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{ standards-association-numbered-series-standards 802 }
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= { lan-man-stds 1 }
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1 1 }
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1mibs 8 }
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee8021CfmMib 1 }

```



```

dot1agCfmVlan          OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 3}

dot1agCfmVlanTable OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agCfmVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.3.1

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmVlanTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-82 dot1agCfmVlanTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmVlanTable {dot1agCfmVlan 1}	NA	[規格] VLAN のアソシエーションを定義する。 [実装] 規格に同じ。	
2	dot1agCfmVlanEntry {dot1agCfmVlanTable 1}	NA	[規格] VLAN テーブルのエントリ。 INDEX { dot1agCfmVlanComponentId, dot1agCfmVlanVid } [実装] 規格に同じ。	
3	dot1agCfmVlanComponentId {dot1agCfmVlanEntry 1}	NA	[規格] dot1agCfmVlanEntry の情報が適用されるシステムの中のコンポーネント。 [実装] 規格に同じ。	
4	dot1agCfmVlanVid {dot1agCfmVlanEntry 2}	NA	[規格] MA の VLAN グループの中の VLAN。 プライマリ VLAN ではない。 [実装] 規格に同じ。	
5	dot1agCfmVlanPrimaryVid {dot1agCfmVlanEntry 3}	R/NC	[規格] プライマリ VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	dot1agCfmVlanRowStatus {dot1agCfmVlanEntry 4}	R/NC	[規格] テーブルの状態。 • active (1) • notInService (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

2.23.4 dot1agCfmConfigErrorListTable

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= {iso 3}
ieee        OBJECT IDENTIFIER ::= {org 111}
standards-association-numbered-series-standards
OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee 2}
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= {lan-man-stds 1}
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1 1}
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee802dot1mibs 8}
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {ieee8021CfmMib 1}
dot1agCfmConfigErrorList OBJECT IDENTIFIER ::= {dot1agMIBObjects 4}

dot1agCfmConfigErrorListTable OBJECT IDENTIFIER ::=
{dot1agCfmConfigErrorList 1}
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.4.1

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmConfigErrorListTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-83 dot1agCfmConfigErrorListTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmConfigErrorListTable {dot1agCfmConfigErrorList 1}	NA	[規格] CFM コンフィギュレーションのエラーリスト。 [実装] 未実装。	×
2	dot1agCfmConfigErrorListEntry {dot1agCfmConfigErrorListTable 1}	NA	[規格] コンフィギュレーションのエラーリストテーブルのエントリ。 INDEX { dot1agCfmConfigErrorListVid, dot1agCfmConfigErrorListIfIndex } [実装] 未実装。	×
3	dot1agCfmConfigErrorListVid {dot1agCfmConfigErrorListEntry 1}	NA	[規格] エラーのあるインタフェースの VLAN ID。 [実装] 未実装。	×
4	dot1agCfmConfigErrorListIfIndex {dot1agCfmConfigErrorListEntry 2}	NA	[規格] インタフェースの ifIndex。 [実装] 未実装。	×
5	dot1agCfmConfigErrorListErrorType {dot1agCfmConfigErrorListEntry 3}	R/O	[規格] エラー種別。 [実装] 未実装。	×

2.23.5 dot1agCfmMd

(1) 識別子

```

org                OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 3 }
ieee               OBJECT IDENTIFIER ::= { org 111 }
standards-association-numbered-series-standards
OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee 2 }
lan-man-stds      OBJECT IDENTIFIER ::=
{ standards-association-numbered-series-standards 802 }
ieee802dot1       OBJECT IDENTIFIER ::= { lan-man-stds 1 }
ieee802dot1mibs   OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1 1 }
ieee8021CfmMib    OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1mibs 8 }
dot1agMIBObjects  OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee8021CfmMib 1 }

dot1agCfmMd       OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agMIBObjects 5 }
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.5

dot1agCfmMdTable  OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agCfmMd 2 }
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.5.2

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmMd グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-84 dot1agCfmMd グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmMdTableNextIndex {dot1agCfmMd 1}	R/O	[規格] dot1agCfmMdTable を生成するときに使用するインデックス。 [実装] 0 固定。	
2	dot1agCfmMdTable {dot1agCfmMd 2}	NA	[規格] ドメインテーブル。 [実装] 規格と同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
3	dot1agCfmMdEntry {dot1agCfmMdTable 1}	NA	[規格] ドメインテーブルのエントリ。 INDEX {dot1agCfmMdIndex} [実装] 規格に同じ。	
4	dot1agCfmMdIndex {dot1agCfmMdEntry 1}	NA	[規格] ドメインテーブルのインデックス。 [実装] 規格に同じ。	
5	dot1agCfmMdFormat {dot1agCfmMdEntry 2}	R/NC	[規格] ドメイン名称のタイプ。 • none (1) • dnsLikeName (2) • macAddressAndUint (3) • charString (4) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	dot1agCfmMdName {dot1agCfmMdEntry 3}	R/NC	[規格] ドメイン名称。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
7	dot1agCfmMdMdLevel {dot1agCfmMdEntry 4}	R/NC	[規格] ドメインレベル。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
8	dot1agCfmMdMhfCreation {dot1agCfmMdEntry 5}	R/NC	[規格] MIP 生成可否。 • defMHFnone (1) • defMHFdefault (2) • defMHFexplicit (3) [実装] defMHFexplicit (3) 固定。ただし、Read_Only です。	
9	dot1agCfmMdMhfIdPermission {dot1agCfmMdEntry 6}	R/NC	[規格] Sender ID TLV に含まれる値。 • sendIdNone (1) • sendIdChassis (2) • sendIdManage (3) • sendIdChassisManage (4) [実装] sendIdChassis (2) 固定。ただし、Read_Only です。	
10	dot1agCfmMdMaNextIndex {dot1agCfmMdEntry 7}	R/O	[規格] dot1agCfmMaNetTable と dot1agCfmMaCompTable を生成するときに使用するインデックス値。 [実装] 0 固定。	
11	dot1agCfmMdRowStatus {dot1agCfmMdEntry 8}	R/NC	[規格] Table の状態。 • active (1) • notInService (2) [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	

2.23.6 dot1agCfmMaNetTable

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 3 }
ieee        OBJECT IDENTIFIER ::= { org 111 }
standards-association-numbered-series-standards
OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee 2 }
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{ standards-association-numbered-series-standards 802 }
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= { lan-man-stds 1 }
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1 1 }
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1mibs 8 }
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee8021CfmMib 1 }
dot1agCfmMa  OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agMIBObjects 6 }

dot1agCfmMaNetTable OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agCfmMa 1 }
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.6.1

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmMaNetTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-85 dot1agCfmMaNetTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmMaNetTable {dot1agCfmMa 1}	NA	[規格] MA テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	dot1agCfmMaNetEntry {dot1agCfmMaNetTable 1}	NA	[規格] MA テーブルエントリ。 INDEX {dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex} [実装] 規格に同じ。	
3	dot1agCfmMaIndex {dot1agCfmMaNetEntry 1}	NA	[規格] MA テーブルの INDEX。 [実装] 規格に同じ。	
4	dot1agCfmMaNetFormat {dot1agCfmMaNetEntry 2}	R/NC	[規格] MA 名称のタイプ。 • ieeeReserved (0) • primaryVid (1) • charString (2) • unsignedInt16 (3) • rfc2865VpnId (4) [実装] 本装置では (1) ~ (3) を返す。ただし, Read_Only です。	
5	dot1agCfmMaNetName {dot1agCfmMaNetEntry 3}	R/NC	[規格] MA 名称。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
6	dot1agCfmMaNetCcmInterval {dot1agCfmMaNetEntry 4}	R/NC	[規格] CCM 転送時間間隔。 • intervalInvalid (0) • interval300Hz (1) • interval10ms (2) • interval100ms (3) • interval1s (4) • interval10s (5) • interval1min (6) • interval10min (7) [実装] 本装置では (4) ~ (7) を返す。ただし, Read_Only です。	
7	dot1agCfmMaNetRowStatus {dot1agCfmMaNetEntry 5}	R/NC	[規格] テーブルの状態。 • active (1) • notInService (2) [実装] active (1) 固定。ただし, Read_Only です。	

2.23.7 dot1agCfmMaCompTable

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 3 }
ieee         OBJECT IDENTIFIER ::= { org 111 }
standards-association-numbered-series-standards
OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee 2 }
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{ standards-association-numbered-series-standards 802 }
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= { lan-man-stds 1 }
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1 1 }
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1mibs 8 }

```

```

dot1agMIBObjects      OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee8021CfmMib 1 }
dot1agCfmMa           OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agMIBObjects 6 }

dot1agCfmMaCompTable OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agCfmMa 2 }
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.6.2

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmMaCompTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-86 dot1agCfmMaCompTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmMaCompTable {dot1agCfmMa 2}	NA	[規格] MA テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	dot1agCfmMaCompEntry {dot1agCfmMaCompTable 1}	NA	[規格] MA テーブルエントリ。 INDEX { dot1agCfmMaComponentId, dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex } [実装] 規格に同じ。	
3	dot1agCfmMaComponentId {dot1agCfmMaCompEntry 1}	NA	[規格] dot1agCfmMaCompEntry の情報が適用されるシステムの中のコンポーネント。 [実装] 規格に同じ。	
4	dot1agCfmMaCompPrimaryVlanId {dot1agCfmMaCompEntry 2}	R/NC	[規格] プライマリ VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
5	dot1agCfmMaCompMhfCreation {dot1agCfmMaCompEntry 3}	R/NC	[規格] MA での MIP の生成条件。 • defMHFnone (1) • defMHFdefault (2) • defMHFexplicit (3) • defMHFdefer (4) [実装] 本装置では defMHFexplicit (3)。ただし、Read_Only です。	
6	dot1agCfmMaCompIdPerMission {dot1agCfmMaCompEntry 4}	R/NC	[規格] Sender ID TLV。 • sendIdNone (1) • sendIdChassis (2) • sendIdManage (3) • sendIdChassisManage (4) [実装] sendIdChassis (2) 固定。ただし、Read_Only です。	
7	dot1agCfmMaCompNumberOfVids {dot1agCfmMaCompEntry 5}	R/NC	[規格] MA 内の VLAN 数。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
8	dot1agCfmMaCompRowStatus {dot1agCfmMaCompEntry 6}	R/NC	[規格] テーブルの状態。 • active (1) • notInService (2) [実装] active (1) 固定。ただし、Read_Only です。	

2.23.8 dot1agCfmMaMepListTable

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 3 }
ieee        OBJECT IDENTIFIER ::= { org 111 }
standards-association-numbered-series-standards
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= { lan-man-stds 1 }
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1 1 }
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1mibs 8 }
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee8021CfmMib 1 }
dot1agCfmMa   OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agMIBObjects 6 }

dot1agCfmMaMepListTable OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agCfmMa 3 }
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.6.3

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmMaMepListTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-87 dot1agCfmMaMepListTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmMaMepListTable {dot1agCfmMa 3}	NA	[規格] MA に属する MEP ID のリスト。 [実装] 規格に同じ。	
2	dot1agCfmMaMepListEntry {dot1agCfmMaMepListTable 1}	NA	[規格] MEP テーブルエントリ。 INDEX { dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex, dot1agCfmMaMepListIdentifier } [実装] 規格に同じ。	
3	dot1agCfmMaMepListIdentifier {dot1agCfmMaMepListEntry 1}	NA	[規格] MEP ID。 [実装] 規格に同じ。	
4	dot1agCfmMaMepListRowStatus {dot1agCfmMaMepListEntry 2}	R/NC	[規格] テーブルの状態。 • active (1) • notInService (2) [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	

2.23.9 dot1agCfmMepTable

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 3 }
ieee        OBJECT IDENTIFIER ::= { org 111 }
standards-association-numbered-series-standards
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{standards-association-numbered-series-standards 802}
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= { lan-man-stds 1 }
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1 1 }
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1mibs 8 }
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee8021CfmMib 1 }
dot1agCfmMep   OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agMIBObjects 7 }

dot1agCfmMepTable OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agCfmMep 1 }
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.7.1

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmMepTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-88 dot1agCfmMepTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmMepTable {dot1agCfmMep 1}	NA	[規格] MEP テーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	dot1agCfmMepEntry {dot1agCfmMepTable 1}	NA	[規格] MEP テーブルエントリ。 INDEX { dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex, dot1agCfmMepIdentifier } [実装] 規格に同じ。	
3	dot1agCfmMepIdentifier {dot1agCfmMepEntry 1}	NA	[規格] MEP ID。 [実装] 規格に同じ。	
4	dot1agCfmMepIfIndex {dot1agCfmMepEntry 2}	R/NC	[規格] MEP が定義されているインタフェースの Ifindex。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
5	dot1agCfmMepDirection {dot1agCfmMepEntry 3}	R/NC	[規格] MEP の方向。 • down (1) • up (2) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
6	dot1agCfmMepPrimaryVid {dot1agCfmMepEntry 4}	R/NC	[規格] MEP のプライマリ VLAN ID。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
7	dot1agCfmMepActive {dot1agCfmMepEntry 5}	R/NC	[規格] MEP の状態。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
8	dot1agCfmMepFngState {dot1agCfmMepEntry 6}	R/O	[規格] MEP 障害状態。 • fngReset (1) • fngDefect (2) • fngReportDefect (3) • fngDefectReported (4) • fngDefectClearing (5) [実装] 規格に同じ。	
9	dot1agCfmMepCeiEnabled {dot1agCfmMepEntry 7}	R/NC	[規格] true のときに CCM を生成する。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
10	dot1agCfmMepCcmLtmPriority {dot1agCfmMepEntry 8}	R/NC	[規格] CCM とリンクトレースメッセージの優先度。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
11	dot1agCfmMepMacAddresses {dot1agCfmMepEntry 9}	R/O	[規格] MEP の MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
12	dot1agCfmMepLowPrDef {dot1agCfmMepEntry 10}	R/NC	[規格] 障害優先度の最小値。 • allDef (1) • macRemErrXcon (2) • remErrXcon (3) • errXcon (4) • xcon (5) • noXcon (6) [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
13	dot1agCfmMepFngAlarmTime {dot1agCfmMepEntry 11}	R/NC	[規格] 障害警報を発行する前の障害の時刻。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
14	dot1agCfmMepFngResetTime {dot1agCfmMepEntry 12}	R/NC	[規格] 障害警報をリセットする前の障害の時刻。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
15	dot1agCfmMepHighestPrDefect {dot1agCfmMepEntry 13}	R/O	[規格] MEP での最も高い障害優先度。 <ul style="list-style-type: none"> • none (0) • defRDICCM (1) • defMACstatus (2) • defRemoteCCM (3) • defErrorCCM (4) • defXconCCM (5) [実装] 規格に同じ。	
16	dot1agCfmMepDefects {dot1agCfmMepEntry 14}	R/O	[規格] 各エラーをビットで表した値。 <ul style="list-style-type: none"> • bDefRDICCM (0) • bDefMACstatus (1) • bDefRemoteCCM (2) • bDefErrorCCM (3) • bDefXconCCM (4) [実装] 規格に同じ。	
17	dot1agCfmMepErrorCcmLastFailure {dot1agCfmMepEntry 15}	R/O	[規格] DefErrorCCM 障害を契機とした最終受信 CCM。 [実装] 規格に同じ。ただし、CFM PDU 58byte までです。	
18	dot1agCfmMepXconCcmLastFailure {dot1agCfmMepEntry 16}	R/O	[規格] DefXconCCM 障害を契機とした最終受信 CCM。 [実装] 規格に同じ。ただし、CFM PDU 58byte までです。	
19	dot1agCfmMepCcmSequenceErrors {dot1agCfmMepEntry 17}	R/O	[規格] Out Of Sequence となった CCM の総計。 [実装] 規格に同じ。	
20	dot1agCfmMepCciSentCcms {dot1agCfmMepEntry 18}	R/O	[規格] 転送された CC メッセージの総計。 [実装] 規格に同じ。	
21	dot1agCfmMepNextLbmTransId {dot1agCfmMepEntry 19}	R/O	[規格] ループバックメッセージでの次のシーケンス番号。 [実装] 規格に同じ。	
22	dot1agCfmMepLbrIn {dot1agCfmMepEntry 20}	R/O	[規格] ループバックリプライ受信数。 [実装] 規格に同じ。	
23	dot1agCfmMepLbrInOutOfOrder {dot1agCfmMepEntry 21}	R/O	[規格] ループバックリプライの Out Of Order 受信数。 [実装] 規格に同じ。	
24	dot1agCfmMepLbrBadMsdus {dot1agCfmMepEntry 22}	R/O	[規格] 不一致の mac_service_data_unit を受信したループバックリプライの総計。 [実装] 規格に同じ。	
25	dot1agCfmMepLtmNextSeqNumber {dot1agCfmMepEntry 23}	R/O	[規格] リンクトレースメッセージでの次の転送 ID。 [実装] 規格に同じ。	
26	dot1agCfmMepUnexpLbrIn {dot1agCfmMepEntry 24}	R/O	[規格] 想定外のリンクトレースリプライ受信数。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
27	dot1agCfmMepLbrOut {dot1agCfmMepEntry 25}	R/O	[規格] 転送されたループバックリプライ送信数。 [実装] 規格に同じ。	
28	dot1agCfmMepTransmitLbmStatus {dot1agCfmMepEntry 26}	R/NC	[規格] ループバックメッセージを転送するかを示す。 [実装] true 固定。	
29	dot1agCfmMepTransmitLbmDestMacAddress {dot1agCfmMepEntry 27}	R/NC	[規格] ループバックメッセージの宛先 MAC アドレス。 項番 31 が false のとき有効。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
30	dot1agCfmMepTransmitLbmDestMepId {dot1agCfmMepEntry 28}	R/NC	[規格] ループバックメッセージの宛先 MEP ID。 項番 31 が true のとき有効。 [実装] 本システムでは項番 31 は false 固定のため未サポート。	×
31	dot1agCfmMepTransmitLbmDestIsMepId {dot1agCfmMepEntry 29}	R/NC	[規格] <ul style="list-style-type: none"> • true : MEP ID は、ループバック転送として使用される。 • false : MEP の宛先 MAC アドレスは、ループバック転送として使用される。 [実装] false 固定。ただし、Read_Only です。	
32	dot1agCfmMepTransmitLbmMessages {dot1agCfmMepEntry 30}	R/NC	[規格] 送信されるループバックメッセージ数。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
33	dot1agCfmMepTransmitLbmDataTlv {dot1agCfmMepEntry 31}	R/NC	[規格] Data TLV のデータ。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
34	dot1agCfmMepTransmitLbmVlanPriority {dot1agCfmMepEntry 32}	R/NC	[規格] VLAN Tag に使用される優先度。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
35	dot1agCfmMepTransmitLbmVlanDropEnable {dot1agCfmMepEntry 33}	R/NC	[規格] VLAN Tag での Drop Enable bit 値。 [実装] false 固定。ただし、Read_Only です。	
36	dot1agCfmMepTransmitLbmResultOK {dot1agCfmMepEntry 34}	R/O	[規格] オペレーション結果。 [実装] true 固定。	
37	dot1agCfmMepTransmitLbmSeqNumber {dot1agCfmMepEntry 35}	R/O	[規格] 最初に送信したループバックメッセージのループバックトランザクション ID (dot1agCfmMepNextLbmTransId)。 [実装] 直前に送信したループバックメッセージのループバックトランザクション ID。	
38	dot1agCfmMepTransmitLtmStatus {dot1agCfmMepEntry 36}	R/O	[規格] リンクトレースメッセージの転送状態。 [実装] 規格に同じ。	
39	dot1agCfmMepTransmitLtmFlags {dot1agCfmMepEntry 37}	R/NC	[規格] MEP によって転送されたリンクトレースメッセージフラグ。 [実装] 0 固定。ただし、Read_Only です。	
40	dot1agCfmMepTransmitLtmTargetMacAddress {dot1agCfmMepEntry 38}	R/NC	[規格] リンクトレースメッセージの宛先 MAC アドレス。 項番 42 が false のとき有効。 [実装] 規格に同じ。ただし、Read_Only です。	
41	dot1agCfmMepTransmitLtmTargetMepId {dot1agCfmMepEntry 39}	R/NC	[規格] リンクトレースメッセージの宛先 MEP ID。 項番 42 が true のとき有効。 [実装] 本システムでは項番 42 は false 固定のため未サポート。	×

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
42	dot1agCfmMepTransmitLtmTargetIsMepId {dot1agCfmMepEntry 40}	R/NC	[規格] • true : 宛先 MEP ID • false : 宛先 MAC アドレス [実装] false 固定。ただし, Read_Only です。	
43	dot1agCfmMepTransmitLtmTtl {dot1agCfmMepEntry 41}	R/NC	[規格] リンクトレースメッセージでの TTL。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
44	dot1agCfmMepTransmitLtmResult {dot1agCfmMepEntry 42}	R/O	[規格] オペレーション結果。 [実装] true 固定。	
45	dot1agCfmMepTransmitLtmSeqNumber {dot1agCfmMepEntry 43}	R/O	[規格] 送信されたリンクトレースメッセージの ID。 [実装] 規格に同じ。	
46	dot1agCfmMepTransmitLtmEgressIdentifier {dot1agCfmMepEntry 44}	R/NC	[規格] 送信するリンクトレースメッセージのリンクトレースメッセージトランザクション識別子。 [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	
47	dot1agCfmMepRowStatus {dot1agCfmMepEntry 45}	R/NC	[規格] テーブルの状態。 • active (1) • notInService (2) [実装] 規格に同じ。ただし, Read_Only です。	

2.23.10 dot1agCfmLtrTable

(1) 識別子

```

org          OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 3 }
ieee        OBJECT IDENTIFIER ::= { org 111 }
standards-association-numbered-series-standards
OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee 2 }
lan-man-stds OBJECT IDENTIFIER ::=
{ standards-association-numbered-series-standards 802 }
ieee802dot1 OBJECT IDENTIFIER ::= { lan-man-stds 1 }
ieee802dot1mibs OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1 1 }
ieee8021CfmMib OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1mibs 8 }
dot1agMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee8021CfmMib 1 }
dot1agCfmMep  OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agMIBObjects 7 }

dot1agCfmLtrTable OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agCfmMep 2 }
オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.7.2

```

(2) 実装仕様

dot1agCfmLtrTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-89 dot1agCfmLtrTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmLtrTable {dot1agCfmMep 2}	NA	[規格] リンクトレーススライのリスト。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
2	dot1agCfmLtrEntry {dot1agCfmLtrTable 1}	NA	[規格] リンクトレースリプライリストテーブルエントリ。 INDEX { dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex, dot1agCfmMepIdentifier, dot1agCfmLtrSeqNumber, dot1agCfmLtrReceiveOrder } [実装] 規格に同じ。	
3	dot1agCfmLtrSeqNumber {dot1agCfmLtrEntry 1}	NA	[規格] リンクトレースリプライリストの識別子。 [実装] 規格に同じ。	
4	dot1agCfmLtrReceiveOrder {dot1agCfmLtrEntry 2}	NA	[規格] 複数のリンクトレースリプライを区別するための識別子。 [実装] 規格に同じ。	
5	dot1agCfmLtrTtl {dot1agCfmLtrEntry 3}	R/O	[規格] リンクトレースリプライの TTL。 [実装] 規格に同じ。	
6	dot1agCfmLtrForwarded {dot1agCfmLtrEntry 4}	R/O	[規格] MP によって転送されたかを示す。 [実装] 規格に同じ。	
7	dot1agCfmLtrTerminalMep {dot1agCfmLtrEntry 5}	R/O	[規格] 転送されてリンクトレースリプライが MA 内の MEP に届いたかを示す。 [実装] 規格に同じ。	
8	dot1agCfmLtrLastEgressIdentifier {dot1agCfmLtrEntry 6}	R/O	[規格] 最終 Egress ID。 [実装] 規格に同じ。	
9	dot1agCfmLtrNextEgressIdentifier {dot1agCfmLtrEntry 7}	R/O	[規格] 次の Egress ID。 [実装] 規格に同じ。	
10	dot1agCfmLtrRelay {dot1agCfmLtrEntry 8}	R/O	[規格] リレイアクションフィールドの値。 • rlyHit (1) • rlyFdb (2) • rlyMpdb (3) [実装] 規格に同じ。	
11	dot1agCfmLtrChassisIdSubtype {dot1agCfmLtrEntry 9}	R/O	[規格] シャーシフォーマットの値。 • chassisComponent (1) • interfaceAlias (2) • portComponent (3) • macAddress (4) • networkAddress (5) • interfaceName (6) • local (7) [実装] 規格に同じ。	
12	dot1agCfmLtrChassisId {dot1agCfmLtrEntry 10}	R/O	[規格] Sender ID TLV のシャーシ ID。 [実装] 規格に同じ。	
13	dot1agCfmLtrManAddressesDomain {dot1agCfmLtrEntry 11}	R/O	[規格] TDomain。 [実装] 規格に同じ。	
14	dot1agCfmLtrManAddresses {dot1agCfmLtrEntry 12}	R/O	[規格] SNMP Agent のアドレス。 [実装] 規格に同じ。ただし、30byte までです。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
15	dot1agCfmLtrIngress {dot1agCfmLtrEntry 13}	R/O	[規格] リンクトレースリプライの Ingress Action フィールドの戻り値。 [実装] 規格に同じ。	
16	dot1agCfmLtrIngressMac {dot1agCfmLtrEntry 14}	R/O	[規格] Ingress MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
17	dot1agCfmLtrIngressPort IdSubtype {dot1agCfmLtrEntry 15}	R/O	[規格] 物理ポートのフォーマット。 • interfaceAlias (1) • portComponent (2) • macAddress (3) • networkAddress (4) • interfaceName (5) • agentCircuitId (6) • local (7) [実装] 規格に同じ。	
18	dot1agCfmLtrIngressPort Id {dot1agCfmLtrEntry 16}	R/O	[規格] ポート ID。 [実装] 規格に同じ。	
19	dot1agCfmLtrEgress {dot1agCfmLtrEntry 17}	R/O	[規格] リンクトレースリプライの Egress アクションフィールド。 [実装] 規格に同じ。	
20	dot1agCfmLtrEgressMac {dot1agCfmLtrEntry 18}	R/O	[規格] Egress MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
21	dot1agCfmLtrEgressPort IdSubtype {dot1agCfmLtrEntry 19}	R/O	[規格] Egress Port ID のフォーマット。 • interfaceAlias (1) • portComponent (2) • macAddress (3) • networkAddress (4) • interfaceName (5) • agentCircuitId (6) • local (7) [実装] 規格に同じ。	
22	dot1agCfmLtrEgressPort Id {dot1agCfmLtrEntry 20}	R/O	[規格] Egress Port ID。 [実装] 規格に同じ。	
23	dot1agCfmLtrOrganizationSpecificTlv {dot1agCfmLtrEntry 21}	R/O	[規格] Organization-Specific TLV の OUI。 [実装] 規格に同じ。ただし、30byte までです。	

2.23.11 dot1agCfmMepDbTable

(1) 識別子

```

org                OBJECT IDENTIFIER ::= { iso 3 }
ieee               OBJECT IDENTIFIER ::= { org 111 }
standards-association-numbered-series-standards
OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee 2 }
lan-man-stds      OBJECT IDENTIFIER ::=
{ standards-association-numbered-series-standards 802 }
ieee802dot1       OBJECT IDENTIFIER ::= { lan-man-stds 1 }
ieee802dot1mibs   OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1 1 }
ieee8021CfmMib    OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee802dot1mibs 8 }
dot1agMIBObjects  OBJECT IDENTIFIER ::= { ieee8021CfmMib 1 }
dot1agCfmMep      OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agMIBObjects 7 }

dot1agCfmMepDbTable OBJECT IDENTIFIER ::= { dot1agCfmMep 3 }

```

オブジェクトID値 1.3.111.2.802.1.1.8.1.7.3

(2) 実装仕様

dot1agCfmMepDbTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 2-90 dot1agCfmMepDbTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
1	dot1agCfmMepDbTable {dot1agCfmMep 3}	NA	[規格] MEP データベーステーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	dot1agCfmMepDbEntry {dot1agCfmMepDbTable 1}	NA	[規格] MEP データベーステーブルエントリ。 INDEX { dot1agCfmMdIndex, dot1agCfmMaIndex, dot1agCfmMepIdentifier, dot1agCfmMepDbRMepIdentifier } [実装] 規格に同じ。	
3	dot1agCfmMepDbRMepI dentifier {dot1agCfmMepDbEntry 1}	NA	[規格] リモート MEP の MEP ID。 [実装] 規格に同じ。	
4	dot1agCfmMepDbRMepS tate {dot1agCfmMepDbEntry 2}	R/O	[規格] リモート MEP の操作状況。 • rMepIdle (1) • rMepStart (2) • rMepFailed (3) • rMepOk (4) [実装] 規格に同じ。	
5	dot1agCfmMepDbRMepF ailedOkTime {dot1agCfmMepDbEntry 3}	R/O	[規格] リモート MEP が最後に Fail または OK になってからの経過 時間。 [実装] 規格に同じ。	
6	dot1agCfmMepDbMacAd dress {dot1agCfmMepDbEntry 4}	R/O	[規格] リモート MEP の MAC アドレス。 [実装] 規格に同じ。	
7	dot1agCfmMepDbRdi {dot1agCfmMepDbEntry 5}	R/O	[規格] 最後に受信した CCM の RDI ビット。 [実装] 規格に同じ。	
8	dot1agCfmMepDbPortSta tusTlv {dot1agCfmMepDbEntry 6}	R/O	[規格] リモート MEP から受信した最後の CCM の TLV のポート状 態。 • psNoPortStateTLV (0) • psBlocked (1) • psUp (2) [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	アクセス	実装仕様	実装有無
9	dot1agCfmMepDbInterfaceStatusTlv {dot1agCfmMepDbEntry 7}	R/O	[規格] リモート MEP から受信した最後の CCM の TLV のインタフェース状態。 <ul style="list-style-type: none"> • isNoInterfaceStatusTlv (0) • isUp (1) • isDown (2) • isTesting (3) • isUnknown (4) • isDormant (5) • isNotPresent (6) • isLowerLayerDown (7) [実装] 規格に同じ。	
10	dot1agCfmMepDbChassisIdSubtype {dot1agCfmMepDbEntry 8}	R/O	[規格] 最後に受信した CCM のシャーシ ID のフォーマット。 <ul style="list-style-type: none"> • chassisComponent (1) • interfaceAlias (2) • portComponent (3) • macAddress (4) • networkAddress (5) • interfaceName (6) • local (7) [実装] 規格に同じ。	
11	dot1agCfmMepDbChassisId {dot1agCfmMepDbEntry 9}	R/O	[規格] 最後に受信した CCM のシャーシ ID。 [実装] 規格に同じ。	
12	dot1agCfmMepDbManAddressDomain {dot1agCfmMepDbEntry 10}	R/O	[規格] TDomain。 [実装] 規格に同じ。	
13	dot1agCfmMepDbManAddress {dot1agCfmMepDbEntry 11}	R/O	[規格] TAddress。 [実装] 規格に同じ。ただし、30byte までです。	

3

プライベート MIB

この章では本装置で使用するプライベート MIB の実装仕様について説明します。

-
- 3.1 axsStats グループ (統計情報 MIB)

 - 3.2 axsGsrpMIB グループ (GSRP グループ情報)

 - 3.3 axsFdb グループ (MAC アドレステーブルグループ MIB)

 - 3.4 axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB)

 - 3.5 axsOadp グループ (OADP 情報 MIB)

 - 3.6 axsFlow グループ (FLOW 情報 MIB)

 - 3.7 axsL2ldMIB グループ (L2 ループ検知情報 MIB)

 - 3.8 axsVrfMIB グループ (VRF 情報 MIB)【OP-NPAR】

 - 3.9 axsOspfMIB グループ (マルチバックボーン OSPF 情報 MIB)

 - 3.10 axsOspfv3MIB グループ (マルチバックボーン OSPFv3 情報 MIB)

 - 3.11 axsStatic グループ (スタティック経路情報 MIB)

 - 3.12 axsTrackObjectMIB グループ (トラック情報 MIB)

 - 3.13 axsPolicyBase グループ (ポリシーベース情報 MIB)

 - 3.14 axsBootManagement グループ (システム起動情報 MIB)

 - 3.15 axsLogin グループ (ログイン情報 MIB)

 - 3.16 axslldp グループ (LLDP 情報 MIB)

 - 3.17 axsAxpMIB グループ (Ring Protocol 情報)

 - 3.18 axsPconMIB グループ (消費電力情報 MIB)

 - 3.19 ax6700sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB)

 - 3.20 ax6700sDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB)

 - 3.21 ax6700sManagementMIB グループ (装置の状態 / 情報の変更を行う)

 - 3.22 ax6600sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB)

3.23	ax6600sDevice	グループ (システム装置の筐体情報 MIB)
3.24	ax6600sManagementMIB	グループ (装置の状態 / 情報の変更を行う)
3.25	ax6300sSwitch	グループ (システム装置のモデル情報 MIB)
3.26	ax6300sDevice	グループ (システム装置の筐体情報 MIB)
3.27	ax6300sManagementMIB	グループ (装置の状態 / 情報の変更を行う)
3.28	icmp	グループ (HP プライベート MIB)
3.29	sFlow	グループ (InMon プライベート MIB)

3.1 axsStats グループ (統計情報 MIB)

3.1.1 axslfStats グループ

(1) 識別子

```
axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}
axsIfStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4
```

(2) 実装仕様

axsIfStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-1 axslfStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsIfStatsTable {axsIfStats 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースの拡張統計情報テーブル。	
2	axsIfStatsEntry {axsIfStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースの拡張統計情報テーブルのエントリ。 INDEX { axsIfStatsIndex }	
3	axsIfStatsIndex {axsIfStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	本装置のインタフェースインデックス。 ifIndex と同じ。	
4	axsIfStatsName {axsIfStatsEntry 2}	DisplayString	R/O	インタフェースの名称。 ifDescr と同じ。	
5	axsIfStatsInMegaOctets {axsIfStatsEntry 3}	Counter	R/O	bad パケットを含む、受信した総オクテット数 (単位: メガ)。メガ未满是切り捨て。オクテット数の算出には MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの範囲を使用しています。	
6	axsIfStatsInUcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 4}	Counter	R/O	bad パケットを含まない、受信したユニキャストパケット数 (単位: メガ)。メガ未满是切り捨て。	
7	axsIfStatsInMulticastMegaPkts {axsIfStatsEntry 5}	Counter	R/O	bad パケットを含まない、受信したマルチキャストパケット数 (単位: メガ)。メガ未满是切り捨て。 ¹	
8	axsIfStatsInBroadcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 6}	Counter	R/O	bad パケットを含まない、受信したブロードキャストパケット数 (単位: メガ)。メガ未满是切り捨て。	
9	axsIfStatsOutMegaOctets {axsIfStatsEntry 7}	Counter	R/O	bad パケットを含む、送信した総オクテット数 (単位: メガ)。メガ未满是切り捨て。オクテット数の算出には MAC ヘッダの DA フィールドから FCS までの範囲を使用しています。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
10	axsIfStatsOutUcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 8}	Counter	R/O	bad パケットを含まない,ユニキャスト送信したパケット数。(単位:メガ)。メガ未满是切り捨て。 以下の NIF ではエラーが原因で送信できなかったパケットを含みます。 • NK1GS-8M • NH1G-16S • NH1G-48T • NH1GS-6M	
11	axsIfStatsOutMulticastMegaPkts {axsIfStatsEntry 9}	Counter	R/O	bad パケットを含まない,マルチキャスト送信したパケット数(単位:メガ)。メガ未满是切り捨て。 ¹	
12	axsIfStatsOutBroadcastMegaPkts {axsIfStatsEntry 10}	Counter	R/O	bad パケットを含まない,ブロードキャスト送信したパケット数(単位:メガ)。メガ未满是切り捨て。	
13	axsIfStatsHighSpeed {axsIfStatsEntry 11}	Counter	R/O	回線速度(単位:Mbit/s)。Mbit/s 未满是切り捨て。コンフィグレーションコマンド bandwidth が設定されていない場合は該当インタフェースの回線速度を表示し,設定されている場合はその設定値を表示する。	

注 1 ポーズパケットについて

「2.2.1 interfaces グループ(イーサネットの場合)」の注意事項を参照してください。

3.1.2 axsQoS グループ

(1) axsEtherTxQoS グループ

(a) 識別子

```
axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}
axsQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 6}
axsEtherTxQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsQoS 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1
```

(b) 実装仕様

axsEtherTxQoS グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-2 axsEtherTxQoS グループの実装仕様(イーサネットインタフェースの QoS 統計情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsEtherTxQoSStatsTable {axsEtherTxQoS 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	QoS 統計情報のポート送信キューのテーブル情報。	
2	axsEtherTxQoSStatsEntry {axsEtherTxQoSStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	イーサネットインタフェースごとの QoS 統計情報に関するエントリ。 INDEX {axsEtherTxQoSStatsIndex}	
3	axsEtherTxQoSStatsIndex {axsEtherTxQoSStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値(イーサネットインタフェースの ifIndex 値)を示します。 1 ~ ifNumber までの値。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	axsEtherTxQoSStatsMaxQnum {axsEtherTxQoSStatsEntry 2}	INTEGER	R/O	該当インタフェースのポート送信キューのキュー数の最大値を示します。	
5	axsEtherTxQoSStatsLimitQlen {axsEtherTxQoSStatsEntry 3}	INTEGER	R/O	該当インタフェースのポート送信キューの出力優先度キュー長の限界値を示します。	
6	axsEtherTxQoSStatsTotalOutFrames {axsEtherTxQoSStatsEntry 4}	Counter	R/O	該当インタフェースのポート送信キューの総送信フレーム数を示します。	
7	axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesHigh {axsEtherTxQoSStatsEntry 5}	Counter	R/O	該当インタフェースのポート送信キューの総送信バイト数 (上位 4 バイト) を示します。 ¹	
8	axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesLow {axsEtherTxQoSStatsEntry 6}	Counter	R/O	該当インタフェースのポート送信キューの総送信バイト数 (下位 4 バイト) を示します。 ¹	
9	axsEtherTxQoSStatsTotalDiscardFrames {axsEtherTxQoSStatsEntry 7}	Counter	R/O	該当インタフェースのポート送信キューの総廃棄フレーム数を示します。	
10	axsEtherTxQoSStatsQueueTable {axsEtherTxQoS 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	該当インタフェースのポート送信キューの出力優先度キューごとの QoS 統計情報のテーブル情報。	
11	axsEtherTxQoSStatsQueueEntry {axsEtherTxQoSStatsQueueTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	該当インタフェースのポート送信キューの出力優先度キューごとの QoS 統計情報に関するエントリ。 INDEX { axsEtherTxQoSStatsQueueIndex, axsEtherTxQoSStatsQueueQueueIndex }	
12	axsEtherTxQoSStatsQueueIndex {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (イーサネットインタフェースの ifIndex 値) を示します。 1 ~ ifNumber までの値。	
13	axsEtherTxQoSStatsQueueQueueIndex {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値を示します。 1 ~ axsEtherTxQoSStatsMaxQnum までの値。	
14	axsEtherTxQoSStatsQueueQueueLength {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 3}	INTEGER	R/O	情報採取時のポート送信キューの出力優先度キュー長を示します。	
15	axsEtherTxQoSStatsQueueMaxQueueLength {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 4}	INTEGER	R/O	この統計情報を消去または初期化してからの該当インタフェースのポート送信キューの最大の出力優先度キュー長を示します。	
16	axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass1 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 5}	Counter64	R/O	ポート送信キューの該当出力優先度キューのキューイング優先度 1 での廃棄フレーム数を示します。 ²	
17	axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass2 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 6}	Counter64	R/O	ポート送信キューの該当出力優先度キューのキューイング優先度 2 での廃棄フレーム数を示します。 ²	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
18	axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass3 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 7}	Counter64	R/O	ポート送信キューの該当出力優先度キューのキューイング優先度 3 での廃棄フレーム数を示します。 キューイング優先度が 2 クラスで運用している場合は 0 (ゼロ) になります。 ²	
19	axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass4 {axsEtherTxQoSStatsQueueEntry 8}	Counter64	R/O	ポート送信キューの該当出力優先度キューのキューイング優先度 4 での廃棄フレーム数を示します。 キューイング優先度が 2 クラスで運用している場合は 0 (ゼロ) になります。 ²	

注 1 MAC ヘッダから DATA および PAD まで (FCS は含まない) を対象とします。

注 2 以下の NIF 種別の場合は 0 になります。

AX6700S および AX6600S の場合: NK1G-24T, NK1G-24S

AX6300S の場合: NH1G-24T, NH1G-24S

(2) axsShaperUser グループ

(a) 識別子

```
axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}
axsQoS OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 6}
axsShaperUser OBJECT IDENTIFIER ::= {axsQoS 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6
```

(b) 実装仕様

axsShaperUser グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-3 axsShaperUser グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsShaperPortBufTable {axsShaperUser 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	階層化シェーパ情報統計情報のポートバッファ使用量に関するテーブル情報。	
2	axsShaperPortBufEntry {axsShaperPortBufTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	階層化シェーパ情報統計情報のポートバッファ使用量に関するエントリ。 INDEX {axsShaperPortNifIndex, axsShaperPortLineIndex, axsShaperPortQosIndex}	
3	axsShaperPortNifIndex {axsShaperPortBufEntry 1}	INTEGER	NA	階層化シェーパ機能付き NIF の搭載スロット位置情報。 AX6700S の場合: 1 ~ ax6700sNifBoardNumber までの値。 AX6600S の場合: 1 ~ ax6600sNifBoardNumber までの値。 AX6300S の場合: 1 ~ ax6300sNifBoardNumber までの値。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	axsShaperPortLineIndex {axsShaperPortBufEntry 2}	INTEGER	NA	該当物理回線番号の情報。 AX6700S の場合：1 ~ ax6700sNifPhysLineNumber までの値。 AX6600S の場合：1 ~ ax6600sNifPhysLineNumber までの値。 AX6300S の場合：1 ~ ax6300sNifPhysLineNumber までの値。	
5	axsShaperPortQosIndex {axsShaperPortBufEntry 3}	INTEGER	NA	キュー番号。 4 キュー制御時：1 ~ 4 までの値。 8 キュー制御時：1 ~ 8 までの値。	
6	axsShaperPortBuffer {axsShaperPortBufEntry 4}	INTEGER	R/O	情報採取時のポートバッファ使用量 (単位：packet)	
7	axsShaperPortPeakBuffer {axsShaperPortBufEntry 5}	INTEGER	R/O	該当インタフェースの過去最大のポートバッファ使用量 (単位：packet)	
8	axsShaperPortLimitBuffer {axsShaperPortBufEntry 6}	INTEGER	R/O	該当インタフェースのポートバッファの限界値 (単位：packet)	
9	axsShaperUserTable {axsShaperUser 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	階層化シェーパ情報統計情報のユーザに関するテーブル情報。	
10	axsShaperUserEntry {axsShaperUserTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	階層化シェーパ情報統計情報のユーザに関するエントリ。 INDEX { axsShaperUserNifIndex, axsShaperUserLineIndex, axsShaperUserGroupId, axsShaperUserId }	
11	axsShaperUserNifIndex {axsShaperUserEntry 1}	INTEGER	NA	階層化シェーパ機能付き NIF の搭載スロット位置情報。 AX6700S の場合：1 ~ ax6700sNifBoardNumber までの値。 AX6600S の場合：1 ~ ax6600sNifBoardNumber までの値。 AX6300S の場合：1 ~ ax6300sNifBoardNumber までの値。	
12	axsShaperUserLineIndex {axsShaperUserEntry 2}	INTEGER	NA	該当物理回線番号の情報。 AX6700S の場合：1 ~ ax6700sNifPhysLineNumber までの値。 AX6600S の場合：1 ~ ax6600sNifPhysLineNumber までの値。 AX6300S の場合：1 ~ ax6300sNifPhysLineNumber までの値。	
13	axsShaperUserGroupId {axsShaperUserEntry 3}	INTEGER	NA	グループ ID の情報。 1 固定。	
14	axsShaperUserId {axsShaperUserEntry 4}	INTEGER	NA	ユーザ ID (コンフィグレーションでのユーザ ID+1 の値) の情報。 AX6700S および AX6600S の場合：1 ~ 1024 までの値。 AX6300S の場合：1 ~ 512 までの値。 なお、1 はデフォルトユーザを示します。	
15	axsShaperUserStatsTotalOutFrames {axsShaperUserEntry 5}	Counter64	R/O	該当ユーザの総送信フレーム数。 ¹	

3.1 axsStats グループ (統計情報 MIB)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
16	axsShaperUserStatsTotalOutBytes {axsShaperUserEntry 6}	Counter64	R/O	該当ユーザの総送信バイト数。 ¹ ²	
17	axsShaperUserStatsTotalDiscardFrames {axsShaperUserEntry 7}	Counter64	R/O	該当ユーザの総廃棄フレーム数。 ¹	
18	axsShaperUserStatsTotalDiscardBytes {axsShaperUserEntry 8}	Counter64	R/O	該当ユーザの総廃棄バイト数。 ¹ ²	
19	axsShaperUserStatsQueueTable {axsShaperUser 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	該当ユーザの出力優先度キューごとの階層化シェーバ統計情報テーブル情報。	
20	axsShaperUserStatsQueueEntry {axsShaperUserStatsQueueTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	該当ユーザの出力優先度キューごとの階層化シェーバ統計情報に関するエントリ。 INDEX {axsShaperUserStatsQueueNifIndex, axsShaperUserStatsQueueLineIndex, axsShaperUserStatsQueueGroupId, axsShaperUserStatsQueueUserId, axsShaperUserStatsQueueNumber }	
21	axsShaperUserStatsQueueNifIndex {axsShaperUserStatsQueueEntry 1}	INTEGER	NA	階層化シェーバ機能付き NIF の搭載スロット位置情報。 AX6700S の場合：1 ~ ax6700sNifBoardNumber までの値。 AX6600S の場合：1 ~ ax6600sNifBoardNumber までの値。 AX6300S の場合：1 ~ ax6300sNifBoardNumber までの値。	
22	axsShaperUserStatsQueueLineIndex {axsShaperUserStatsQueueEntry 2}	INTEGER	NA	該当物理回線番号の情報。 AX6700S の場合：1 ~ ax6700sNifPhysLineNumber までの値。 AX6600S の場合：1 ~ ax6600sNifPhysLineNumber までの値。 AX6300S の場合：1 ~ ax6300sNifPhysLineNumber までの値。	
23	axsShaperUserStatsQueueGroupId {axsShaperUserStatsQueueEntry 3}	INTEGER	NA	グループ ID の情報。 1 固定。	
24	axsShaperUserStatsQueueUserId {axsShaperUserStatsQueueEntry 4}	INTEGER	NA	ユーザ ID (コンフィグレーションでのユーザ ID+1 の値) の情報。 AX6700S および AX6600S の場合：1024 までの値。 AX6300S の場合：1 ~ 512 までの値。 なお、1 はデフォルトユーザを示します。	
25	axsShaperUserStatsQueueNumber {axsShaperUserStatsQueueEntry 5}	INTEGER	NA	キュー番号。 4 キュー制御時：1 ~ 4 までの値。 8 キュー制御時：1 ~ 8 までの値。	
26	axsShaperUserStatsQueueOutFrames {axsShaperUserStatsQueueEntry 6}	Counter64	R/O	該当ユーザの出力優先度キューの送信フレーム数。 ¹	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
27	axsShaperUserStatsQueueOutBytes {axsShaperUserStatsQueueEntry 7}	Counter64	R/O	該当ユーザの出力優先度キューの送信バイト数。 ^{1 2}	
28	axsShaperUserStatsQueueDiscardFrames {axsShaperUserStatsQueueEntry 8}	Counter64	R/O	該当ユーザの出力優先度キューの廃棄フレーム数。 ¹	
29	axsShaperUserStatsQueueDiscardBytes {axsShaperUserStatsQueueEntry 9}	Counter64	R/O	該当ユーザの出力優先度キューの廃棄バイト数。 ^{1 2}	
30	axsShaperUserStatsQueueQlen {axsShaperUserStatsQueueEntry 10}	Counter64	R/O	該当ユーザの現在のキュー長 (単位: packet)。 ¹	
31	axsShaperUserStatsQueuePeakQlen {axsShaperUserStatsQueueEntry 11}	Counter64	R/O	該当ユーザの過去最大のキュー長 (単位: packet)。 ¹	
32	axsShaperUserStatsQueueLimitQlen {axsShaperUserStatsQueueEntry 12}	Counter64	R/O	該当ユーザのキュー長の限界値 (単位: packet)。 ¹	

- 注 1 パラメータ不足などによって装置に該当ユーザリストが反映されていない場合の MIB 情報は次のとおりです。
 デフォルトユーザの場合 : 0 固定
 デフォルトユーザ以外の場合 : 取得できません
- 注 2 MAC ヘッダから FCS までを対象とします。

3.1.3 axsDHCP グループ

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

```
axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}
axsDHCP OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 10}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.10
```

(2) 実装仕様

axsDHCP グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-4 axsDHCP グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsDHCP {axsStats 10}	NOT-ACCESSIBLE	NA	DHCP サーバに関する統計情報。	
2	axsDHCPAddrValue {axsDHCP 1}	INTEGER	R/O	割り当て可能な IP アドレス数。	
3	axsDHCPFreeAddrValue {axsDHCP 2}	INTEGER	R/O	未割り当て IP アドレス数。	

3.1.4 axsUrpf グループ

(1) 識別子

```
axsStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 1}
axsUrpf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStats 13}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.13
```

(2) 実装仕様

axsUrpf グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-5 axsUrpf グループの実装仕様 (uRPF 統計情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsUrpf {axsStats 13}	NOT-ACCESSIBLE	NA	uRPF に関する統計情報。	
2	axsUrpfIpv4DiscPkts {axsUrpf 1}	Counter64	R/O	装置全体で uRPF により廃棄された IPv4 パケット数。	
3	axsUrpfIpv6DiscPkts {axsUrpf 2}	Counter64	R/O	装置全体で uRPF により廃棄された IPv6 パケット数。	
4	axsUrpfIfStatsTable {axsUrpf 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの uRPF 統計情報。	
5	axsUrpfIfStatsEntry {axsUrpfIfStatsTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの uRPF 統計情報テーブルのエントリ。 INDEX {axsUrpfIfStatsIndex}	
6	axsUrpfIfStatsIndex {axsUrpfIfStatsEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ID。	
7	axsUrpfIfStatsIpv4DiscPkts {axsUrpfIfStatsEntry 2}	Counter64	R/O	VLAN ごとの uRPF により廃棄した IPv4 パケット数。	
8	axsUrpfIfStatsIpv6DiscPkts {axsUrpfIfStatsEntry 3}	Counter64	R/O	VLAN ごとの uRPF により廃棄した IPv6 パケット数。	

3.2 axsGsrpMIB グループ (GSRP グループ情報)

3.2.1 axsGsrpGroupTable グループ

(1) 識別子

```
axsGsrp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 4}
axsGsrpGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsGsrp 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1
```

(2) 実装仕様

axsGsrpGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-6 axsGsrpGroupTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsGsrpGroupTable {axsGsrp 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	GSRP グループ情報を格納するテーブル。	
2	axsGsrpGroupEntry {axsGsrpGroupTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	GSRP グループ情報のリスト。 INDEX {axsGsrpGroupId}	
3	axsGsrpGroupId {axsGsrpGroupEntry 1}	INTEGER	NA	GSRP グループ ID。	
4	axsGsrpGroupRowStatus {axsGsrpGroupEntry 2}	RowStatus	R/O	このエントリの有効 / 無効状態を示します。 Valid (1) 固定。	
5	axsGsrpMacAddress {axsGsrpGroupEntry 3}	MacAddress	R/O	本装置の MAC アドレス。	
6	axsGsrpAdvertiseHoldTime {axsGsrpGroupEntry 4}	INTEGER	R/O	Advertise フレームの保持時間 (単位: ミリ秒)。	
7	axsGsrpAdvertiseInterval {axsGsrpGroupEntry 5}	INTEGER	R/O	Advertise フレームの送信間隔 (単位: ミリ秒)。	
8	axsGsrpSelectionPattern {axsGsrpGroupEntry 6}	INTEGER	R/O	マスタ / バックアップ選択パターン。 • Ports-Priority-MAC (1) • Priority-Ports-MAC (2)	
9	axsGsrpLayer3Redundancy {axsGsrpGroupEntry 7}	INTEGER	R/O	レイヤ 3 冗長切替の状態。 • Off (1) • On (2)	

3.2.2 axsGsrpVlanGroupTable グループ

(1) 識別子

```
axsGsrp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 4}
axsGsrpVlanGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsGsrp 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2
```

(2) 実装仕様

axsGsrpVlanGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-7 axsGsrpVlanGroupTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsGsrpVlanGroupTable {axsGsrp 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	GSRP VLAN グループ情報を格納するテーブル。	
2	axsGsrpVlanGroupEntry {axsGsrpVlanGroupTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	GSRP VLAN グループ情報のリスト。 INDEX {axsGsrpGroupId, axsGsrpVlanGroupId}	
3	axsGsrpVlanGroupId {axsGsrpVlanGroupEntry 1}	INTEGER	NA	GSRP VLAN グループ ID (1 ~ 128)	
4	axsGsrpVlanGroupRowStatus {axsGsrpVlanGroupEntry 2}	RowStatus	R/O	このエントリの有効 / 無効状態を示します。 Valid (1) 固定。	
5	axsGsrpState {axsGsrpVlanGroupEntry 3}	INTEGER	R/O	GSRP グループの状態。 • BackUp (1) • BackUp (Waiting) (2) • Master (3) • BackUp (No Neighbor) (4) • BackUp (Lock) (5)	
6	axsGsrpPriority {axsGsrpVlanGroupEntry 4}	INTEGER	R/O	構成された優先度。	
7	axsGsrpActivePorts {axsGsrpVlanGroupEntry 5}	INTEGER	R/O	アクティブポートの数。	
8	axsGsrpTransitionToMasterCounts {axsGsrpVlanGroupEntry 6}	INTEGER	R/O	バックアップ状態からマスタ状態に移行した回数。	
9	axsGsrpTransitionFromMasterCounts {axsGsrpVlanGroupEntry 7}	INTEGER	R/O	マスタ状態からバックアップ状態に移行した回数。	
10	axsGsrpLastTransitionTime {axsGsrpVlanGroupEntry 8}	TimeStamp	R/O	マスタ状態からバックアップ状態, またはバックアップ状態からマスタ状態に遷移した最終時刻。	
11	axsGsrpVirtualMacAddress {axsGsrpVlanGroupEntry 9}	MacAddress	R/O	GSRP VLAN グループの仮想 MAC アドレス。	

3.2.3 axsGsrpNeighborGroupTable グループ

(1) 識別子

```
axsGsrp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 4}
```

```
axsGsrpNeighborGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsGsrp 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3
```

(2) 実装仕様

axsGsrpNeighborGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-8 axsGsrpNeighborGroupTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsGsrpNeighborGroupTable {axsGsrp 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	対向装置の GSRP グループ情報を格納するテーブル。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	axsGsrpNeighborGroupEntry {axsGsrpNeighborGroupTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	対向装置の GSRP グループ情報のリスト。 INDEX { axsGsrpNeighborGroupId, axsGsrpNeighborMacAddress }	
3	axsGsrpNeighborGroupId {axsGsrpNeighborGroupEntry 1}	INTEGER	NA	対向装置の GSRP グループ ID。	
4	axsGsrpNeighborMacAddress {axsGsrpNeighborGroupEntry 2}	MacAddress	NA	対向装置の MAC アドレス。	
5	axsGsrpNeighborAdvertiseHoldTime {axsGsrpNeighborGroupEntry 3}	INTEGER	R/O	対向装置の Advertise フレームの保持時間 (単位: ミリ秒)。	
6	axsGsrpNeighborAdvertiseInterval {axsGsrpNeighborGroupEntry 4}	INTEGER	R/O	対向装置の Advertise フレームの送信間隔 (単位: ミリ秒)。	
7	axsGsrpNeighborSelectionPattern {axsGsrpNeighborGroupEntry 5}	INTEGER	R/O	対向装置のマスタ/バックアップ選択パターン。 • Port-Priority-MAC (1) • Priority-Port-MAC (2)	

3.2.4 axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループ

(1) 識別子

```
axsGsrp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 4}
```

```
axsGsrpNeighborVlanGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsGsrp 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4
```

(2) 実装仕様

axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-9 axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsGsrpNeighborVlanGroupTable {axsGsrp 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	対向装置の GSRP VLAN グループ情報を格納するテーブル。	
2	axsGsrpNeighborVlanGroupEntry {axsGsrpNeighborGroupTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	対向装置の GSRP VLAN グループ情報のリスト。 INDEX { axsGsrpNeighborGroupId, axsGsrpNeighborVlanGroupId, axsGsrpNeighborMacAddress }	
3	axsGsrpNeighborVlanGroupId {axsGsrpNeighborVlanGroupEntry 1}	INTEGER	NA	対向装置の GSRP VLAN グループ ID (1 ~ 128)。	

3.2 axsGsrpMIB グループ (GSRP グループ情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
4	axsGsrpNeighborState {axsGsrpNeighborVlanGroupEntry 2}	INTEGER	R/O	対向装置の GSRP グループの状態を示します。 <ul style="list-style-type: none"> • BackUp (1) • BackUp (Waiting)(2) • Master (3) • BackUp (No Neighbor)(4) • BackUp (Lock)(5) 	
5	axsGsrpNeighborPriority {axsGsrpNeighborVlanGroupEntry 3}	INTEGER	R/O	対向装置の構成された優先度。	
6	axsGsrpNeighborActivePorts {axsGsrpNeighborVlanGroupEntry 4}	INTEGER	R/O	対向装置のアクティブポートの数。	

3.3 axsFdb グループ (MAC アドレステーブルグループ MIB)

(1) 識別子

```
axsMib OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 1}
axsFdb OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5
```

(2) 実装仕様

axsFdb グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-10 axsFdb グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsFdbCounterTable {axsFdb 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MAC アドレステーブル学習数に関する情報テーブル。	
2	axsFdbCounterEntry {axsFdbCounterTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MAC アドレステーブル学習数に関する情報テーブルのエントリ。 INDEX { axsFdbCounterNifIndex, axsFdbCounterLineIndex }	
3	axsFdbCounterNifIndex {axsFdbCounterEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	NIF 搭載スロットの位置情報を示します。	
4	axsFdbCounterLineIndex {axsFdbCounterEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	LINE 搭載スロットの位置情報を示します。	
5	axsFdbCounterCounts {axsFdbCounterEntry 3}	Counter32	R/O	このポートで学習している MAC アドレステーブルエントリ数。	
6	axsFdbCounterType {axsFdbCounterEntry 4}	INTEGER	R/O	学習制限の設定有無、および設定時に最大 MAC アドレステーブル数を越えた場合の未学習フレームの挙動。 • Unlimited (0) • Limited and Forward (1) • Limited and Discard (2)	
7	axsFdbCounterLimits {axsFdbCounterEntry 5}	Counter32	R/O	このポートで学習可能な最大 MAC アドレステーブルエントリ数。 • 0 : 学習禁止 • 1 ~ 100000 : コンフィグレーションコマンド mac-address-table static で設定した数	

注 axsFdbCounterType が Unlimited (0) の場合は 0 固定になります。

3.4 axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB)

本グループで使用するポート番号は物理ポート番号、チャンネルグループ番号、仮想リンク ID のすべてを一意に識別するための番号とし、それぞれ次の形式で求めたものです。

- 物理ポートのポート番号
物理ポートの NIF 番号、物理ポート番号から下記のようにポート番号を算出します。
ポート番号 : (NIF 番号 - 1) * 物理ポート最大数 (固定値 48) + 物理ポート番号
- チャンネルグループのポート番号
リンクアグリゲーションのチャンネルグループ番号から下記のようにポート番号を算出します。
ポート番号 : 385 (固定値) + チャンネルグループ番号
- 仮想リンクのポート番号
仮想リンクは仮想リンク ID から下記のようにポート番号を算出します。
ポート番号 : 513 (固定値) + 仮想リンク ID
仮想リンクのポート番号は axsVBStpPortTable グループだけに適用します。

3.4.1 axsVlanBridge グループ (dot1dBase 情報)

(1) axsVBBaseTable グループ

(a) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeBase OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1
```

(b) 実装仕様

axsVBBaseTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-11 axsVBBaseTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBBaseTable {axsVlanBridgeBase 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dBase 情報テーブル。	
2	axsVBBaseEntry {axsVBBaseTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBBaseTable の各 VLAN ID の情報エントリ。 INDEX {axsVBBaseIndex}	
3	axsVBBaseIndex {axsVBBaseEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID。	
4	axsVBBaseBridgeAddress {axsVBBaseEntry 2}	MacAddress	R/O	VLAN の MAC アドレス。 • VLAN ごとの MAC 機能使用時 : VLAN ごとの MAC アドレス • 未使用時 : 装置 MAC アドレス	
5	axsVBBaseNumPorts {axsVBBaseEntry 3}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポート数。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	axsVBBaseType {axsVBBaseEntry 4}	INTEGER	R/O	VLAN が実行することができるブリッジングのタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> unknown (1) transparent-only (2) sourceroute-only (3) srt (4) 本装置では transparent-only (2) 固定を返す。	
7	axsVBBaseVlanIfIndex {axsVBBaseEntry 5}	INTEGER	R/O	VLAN のインタフェースの ifIndex の値。	
8	axsVBBaseVlanType {axsVBBaseEntry 6}	INTEGER	R/O	VLAN のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> port-based (1) mac-based (2) protocol-based (3) 	
9	axsVBBaseVlanID {axsVBBaseEntry 7}	VlanIdOrZero	R/O	VLAN に対応する VLAN Tag の VLAN ID の値。	
10	axsVBBaseAssociatedPrimaryVlan {axsVBBaseEntry 8}	VlanIdOrZero	R/O	プライベート VLAN 機能を使用し、かつ、この VLAN が Secondary VLAN として設定されている場合に、この VLAN に対応している Primary VLAN の VLAN ID を返す。 この VLAN がプライベート VLAN 機能を使用していない、または Secondary VLAN ではない、もしくは対応する Primary VLAN が設定されていないときは 0 を返す。 本装置では固定値 (0) を返す。	
11	axsVBBaseIfStatus {axsVBBaseEntry 9}	INTEGER	R/O	VLAN の上位プロトコルに対するインタフェース状態。 <ul style="list-style-type: none"> Up (1) Down (2) 	
12	axsVBBaseLastChange {axsVBBaseEntry 10}	TimeTicks	R/O	VLAN のトポロジが変更したときの sysUpTime 値。	
13	axsVBBasePrivateVlanType {axsVBBaseEntry 11}	INTEGER	R/O	VLAN のプライベート VLAN タイプ。プライベート VLAN 機能を使用していない場合は normal (1) を返す。 <ul style="list-style-type: none"> normal (1) primary (2) isolated (3) community (4) 本装置では固定値 (1) を返す。	

(2) axsVBBasePortTable グループ

(a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeBase OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1

(b) 実装仕様

axsvbBasePortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-12 axsvbBasePortTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsvbBasePortTable {axsvlanBridgeBase 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dBasePortTable 情報テーブル。	
2	axsvbBasePortEntry {axsvbBasePortTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsvbBasePortTable の構成エントリ。 INDEX { axsvbBasePortIndex, axsvbBasePort }	
3	axsvbBasePortIndex {axsvbBasePortEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID。	
4	axsvbBasePort {axsvbBasePortEntry 2}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポートのポート番号 (1 ~ 65535)。 本ポート番号は物理ポートとチャンネルグループを対象とする。	
5	axsvbBasePortIfIndex {axsvbBasePortEntry 3}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポートに対応する ifIndex 値。	
6	axsvbBasePortCircuit {axsvbBasePortEntry 4}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	VLAN に設定されている異なるポートに対して、axsvbBasePortIfIndex が同じ値となる場合にポートを識別する識別子。 本装置では固定値 (0.0) を返す。	
7	axsvbBasePortDelayExceededDiscards {axsvbBasePortEntry 5}	Counter	R/O	VLAN に設定されているポートで発生した通過遅延による廃棄フレームの総数。 本装置では固定値 (0) を返す。	
8	axsvbBasePortMtuExceededDiscards {axsvbBasePortEntry 6}	Counter	R/O	VLAN に設定されているポートで発生したデータオーバーフローによる破棄フレームの総数。 本装置では固定値 (0) を返す。	
9	axsvbBasePortState {axsvbBasePortEntry 7}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポートの STP ポート状態。 <ul style="list-style-type: none"> • disable (1) • blocking (2) • listening (3) • learning (4) • forwarding (5) • broken (6) • fix-forwarding (7) 本装置は disable (1), blocking (2), listening (3), learning (4), forwarding (5), fix-forwarding (7) のどれかを返す。	
10	axsvbBasePortTaggedState {axsvbBasePortEntry 8}	INTEGER	R/O	VLAN に設定されているポートの VLAN Tag 設定の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • 設定なし (1) • 設定あり (2) 	
11	axsvbBasePortTranslatedTagID {axsvbBasePortEntry 9}	VlanIdOrZero	R/O	Tag 変換が設定されている場合、このポートに設定されている VLAN の Translated ID (1 ~ 4095)。 Tag 変換の設定がされていない場合、0 を返す。	

(3) axsVBStpTable グループ

(a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeStp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 2}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2

(b) 実装仕様

axsVBStpTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-13 axsVBStpTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
1	axsVBStpTable {axsVlanBridgeStp 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dStpTable 情報テーブル。 本テーブルは PVST+ の VLAN ごとのスパニング・ツリー情報を対象とする。	
2	axsVBStpEntry {axsVBStpTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	axsVBStpTable の構成エントリ。 INDEX { axsVBStpIndex }	
3	axsVBStpIndex {axsVBStpEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID。	
4	axsVBStpProtocolSpecification {axsVBStpEntry 2}	INTEGER	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーのプロトコル種別。 <ul style="list-style-type: none"> • unknown (1) • decLb100 (2) • ieee8021d (3) • ieee8021w (4) 本装置は ieee8021d (3) または ieee8021w (4) を返す。	
5	axsVBStpPriority {axsVBStpEntry 3}	INTEGER	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーのプライオリティの値 (0 ~ 65535)	
6	axsVBStpTimeSinceTopologyChange {axsVBStpEntry 4}	TimeTicks	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーのトポロジ変化が起きてからの経過時間 (単位: 1/100 秒)	
7	axsVBStpTopChanges {axsVBStpEntry 5}	Counter	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーのトポロジ変化回数。	
8	axsVBStpDesignatedRoot {axsVBStpEntry 6}	BridgeId	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーのルートブリッジ識別子。	
9	axsVBStpRootCost {axsVBStpEntry 7}	INTEGER	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーの持つルートパスコスト値。	
10	axsVBStpRootPort {axsVBStpEntry 8}	INTEGER	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーの持つルートポート値。	
11	axsVBStpMaxAge {axsVBStpEntry 9}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーの持つ最大エイジング時間 (単位: 1/100 秒)	
12	axsVBStpHelloTime {axsVBStpEntry 10}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパニング・ツリーの持つ Hello 時間 (単位: 1/100 秒)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
13	axsVBStpHoldTime {axsVBStpEntry 11}	INTEGER	R/O	VLAN ごとのスパンニング・ツリーの持つ Hold 時間 (単位: 1/100 秒)。	
14	axsVBStpForwardDelay {axsVBStpEntry 12}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパンニング・ツリーの持つ転送遅延時間 (単位: 1/100 秒)。	
15	axsVBStpBridgeMaxAge {axsVBStpEntry 13}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパンニング・ツリーがルートブリッジとして動作する場合に使用する最大エージング時間 (600 ~ 4000, 単位: 1/100 秒)。	
16	axsVBStpBridgeHelloTime {axsVBStpEntry 14}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパンニング・ツリーがルートブリッジとして動作する場合に使用する Hello 時間 (100 ~ 1000, 単位: 1/100 秒)。	
17	axsVBStpBridgeForwardDelay {axsVBStpEntry 15}	Timeout	R/O	VLAN ごとのスパンニング・ツリーがルートブリッジとして動作する場合に使用する転送遅延時間 (400 ~ 3000, 単位: 1/100 秒)。	

(4) axsVBStpPortTable グループ

(a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeStp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2

(b) 実装仕様

axsVBStpPortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-14 axsVBStpPortTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBStpPortTable {axsVlanBridgeStp 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dStpPortTable 情報テーブル。 本テーブルは PVST+ の VLAN ごとのスパンニング・ツリーポート情報を対象とする。	
2	axsVBStpPortEntry {axsVBStpPortTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBStpPortTable の構成エントリ。 INDEX {axsVBStpPortIndex, axsVBStpPort}	
3	axsVBStpPortIndex {axsVBStpPortEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID。	
4	axsVBStpPort {axsVBStpPortEntry 2}	INTEGER	R/O	この構成エントリに対応するポート番号 (1 ~ 65535)。 本ポート番号は物理ポート, チャネルグループおよび仮想リンクを対象とする。	
5	axsVBStpPortPriority {axsVBStpPortEntry 3}	INTEGER	R/O	このポートの VLAN ごとの優先度 (0 ~ 255)。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	axsVBStpPortState {axsVBStpPortEntry 4}	INTEGER	R/O	このポートの VLAN ごとの現在の状態。 <ul style="list-style-type: none"> disabled (1) blocking (2) listening (3) learning (4) forwarding (5) broken (6) 本装置では disabled (1), blocking (2), listening (3), learning (4), forwarding (5) のどれかを返す。	
7	axsVBStpPortEnable {axsVBStpPortEntry 5}	INTEGER	R/O	このポートで VLAN ごとのスパニング・ツリーが有効であるかを示す。 <ul style="list-style-type: none"> enabled (1) disabled (2) 	
8	axsVBStpPortPathCost {axsVBStpPortEntry 6}	INTEGER	R/O	このポートの VLAN ごとのパスコスト値 (1 ~ 200000000)。	
9	axsVBStpPortDesignatedRoot {axsVBStpPortEntry 7}	BridgeId	R/O	このポートが受信した指定ブリッジからの BPDU に格納された VLAN ごとのルートブリッジ識別子の値。	
10	axsVBStpPortDesignatedCost {axsVBStpPortEntry 8}	INTEGER	R/O	このポートに接続されている指定ポートの VLAN ごとのパスコスト値。	
11	axsVBStpPortDesignatedBridge {axsVBStpPortEntry 9}	BridgeId	R/O	このポートが指定ブリッジとみなしている VLAN ごとのブリッジのブリッジ識別子。	
12	axsVBStpPortDesignatedPort {axsVBStpPortEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(2))	R/O	このポートに接続されている VLAN ごとの指定ブリッジのポート識別子。	
13	axsVBStpPortForwardTransitions {axsVBStpPortEntry 11}	Counter	R/O	このポートがラーニング状態からフォワーディング状態に遷移した VLAN ごとの回数。	

(5) axsVBTPTable グループ

(a) 識別子

```
axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6
```

```
axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1
```

```
axsVlanBridgeTp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4
```

(b) 実装仕様

axsVBTPTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-15 axsVBTPTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBTPTable {axsVlanBridgeTp 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dTp 情報テーブル。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	axsVBTpEntry {axsVBTpTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBTpTable の構成エントリ。 INDEX { axsVBTpIndex }	
3	axsVBTpIndex {axsVBTpEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID。	
4	axsVBTpLearnedEntryDiscards {axsVBTpEntry 2}	Counter	R/O	MAC アドレステーブルに空き領域がないために、破棄されたエントリの数。 本装置では固定値 (0) を返す。	
5	axsVBTpAgingTime {axsVBTpEntry 3}	INTEGER	R/O	ダイナミックに学習した MAC アドレス テーブルのエントリをエージング・アウト させるためのタイムアウト期間 (単位： 秒) • エージングモードの場合：10 ~ 1000000 • エージングモードでない場合：0	×

(6) axsVBTpFdbTable グループ

(a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeTp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4

(b) 実装仕様

axsVBTpFdbTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-16 axsVBTpFdbTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBTpFdbTable {axsVlanBridgeTp 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dTpFdbTable 情報テーブル。本テーブルでは、GetNextRequest については応答せず、次の MIB オブジェクトを応答する。	
2	axsVBTpFdbEntry {axsVBTpFdbTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBTpFdbTable の構成エントリ。 INDEX { axsVBTpFdbIndex, axsVBTpFdbAddress }	
3	axsVBTpFdbIndex {axsVBTpEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID。	
4	axsVBTpFdbAddress {axsVBTpEntry 2}	MacAddress	R/O	MAC アドレステーブルエントリのユニキャスト MAC アドレス。	
5	axsVBTpFdbPort {axsVBTpEntry 3}	INTEGER	R/O	axsVBTpFdbAddress の示す MAC アドレスをソースアドレスとして持つフレームを受信したポート番号。 0 の場合、ポート番号を学習していないことを示す。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	axsVBTpFdbStatus {axsVBTpEntry 4}	INTEGER	R/O	MAC アドレステーブルの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • invalid (2) • learned (3) • self (4) • mgmt (5) ダイナミックエントリは learned (3) を返す。 スタティックエントリは mgmt (5) を返す。	

(7) axsVBTpPortTable グループ

(a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeTp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 4}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4

(b) 実装仕様

axsVBTpPortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-17 axsVBTpPortTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBTpPortTable {axsVlanBridgeTp 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dTpPortTable 情報テーブル。	
2	axsVBTpPortEntry {axsVBTpPortTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各ポートの axsVBTpPortTable 情報エントリ。 INDEX {axsVBTpPortIndex, axsVBTpPort}	
3	axsVBTpPortIndex {axsVBTpPortEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID。	
4	axsVBTpPort {axsVBTpPortEntry 2}	INTEGER	R/O	このエントリを含む管理情報がどのポートに対応するかを示すポート番号 (1 ~ 65535)。 本ポート番号は物理ポートとチャネルグループを対象とする。	
5	axsVBTpPortMaxInfo {axsVBTpPortEntry 3}	INTEGER	R/O	このポートの VLAN ごとの最大 INFO フィールドサイズ (MAC ヘッドおよび FCS を含まない)。	
6	axsVBTpPortInFrames {axsVBTpPortEntry 4}	Counter	R/O	このポートの VLAN ごとの受信フレーム数。 本装置では固定値 (0) を返す。	
7	axsVBTpPortOutFrames {axsVBTpPortEntry 5}	Counter	R/O	このポートの VLAN ごとの送信フレーム数。 本装置では固定値 (0) を返す。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
8	axsVBTpPortInDiscards {axsVBTpPortEntry 6}	Counter	R/O	このポートの VLAN ごとの受信フレーム破棄数。 本装置では固定値 (0) を返す。	

(8) axsVBStaticTable グループ

(a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

axsVlanBridgeStatic OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanBridge 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5

(b) 実装仕様

axsVBStaticTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-18 axsVBStaticTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVBStaticTable {axsVlanBridgeStatic 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN ごとの dot1dStaticTable 情報テーブル。 本テーブルでは GetNextRequest については応答せず、次の MIB オブジェクトを応答する。	
2	axsVBStaticEntry {axsVBStaticTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	axsVBStaticTable の構成エントリ。 INDEX { axsVBStaticIndex, axsVBStaticAddress }	
3	axsVBStaticIndex {axsVBStaticEntry 1}	VlanIndex	R/O	VLAN ID。	
4	axsVBStaticAddress {axsVBStaticEntry 2}	MacAddress	R/O	ユニキャスト、グループ、ブロードキャストのどれかの MAC アドレス。	
5	axsVBStaticReceivePort {axsVBStaticEntry 3}	INTEGER	R/O	このエントリを適用する受信ポート番号。 すべての受信ポートを対象とするときは 0。 本装置では固定値 (0) を返す。	
6	axsVBStaticAllowedToGoTo {axsVBStaticEntry 4}	OCTET STRING	R/O	本エントリの持つ MAC アドレスを宛先とするフレームを転送するときの転送先ポートを示すポートのビットマップ。	
7	axsVBStaticStatus {axsVBStaticEntry 5}	INTEGER	R/O	このエントリの状態を示す。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • invalid (2) • permanent (3) • deleteOnReset (4) • deleteOnTimeout (5) 本装置では、スタティックエントリを permanent (3)、IGMP/MLD snooping エントリを deleteOnReset (4) として返す。	

(9) axsVlanBridge (その他) グループ

(a) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanBridge OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1

(b) 実装仕様

axsVlanBridge (その他) グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-19 axsVlanBridge (その他) グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVlanBridgeMaxVlans {axsVlanBridge 101}	VlanIndex	R/O	本装置の VLAN ID の最大値。 本装置では固定値 (4095) を返す。	
2	axsVlanBridgeMaxSpans {axsVlanBridge 102}	VlanIndex	R/O	本装置でスパンニング・ツリーの動作する VLAN の VLAN ID の最大値。 本装置では固定値 (4095) を返す。	

3.4.2 axsVlanTagTranslation グループ (Tag 変換情報 MIB)

(1) 識別子

axsVlan OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 6}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6

axsVlanTagTranslation OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlan 10}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10

axsVlanTagTranslationTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVlanTagTranslation 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1

(2) 実装仕様

axsVlanTagTranslation の実装仕様を次の表に示します。

表 3-20 axsVlanTagTranslation グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVlanTagTranslationTable {axsVlanTagTranslation 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Tag 変換に関する情報テーブル。	
2	axsVlanTagTranslationEntry {axsVlanTagTranslationTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Tag 変換に関する情報テーブルのエントリ。 INDEX {axsVlanTagTranslationVlanId, axsVlanTagTranslationTranslatedId}	
3	axsVlanTagTranslationVlanId {axsVlanTagTranslationEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Tag 変換を設定している VLAN ID (1 ~ 4095)	
4	axsVlanTagTranslationTranslatedId {axsVlanTagTranslationEntry 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Tag 変換で設定している Translated ID (1 ~ 4095)	

3.4 axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
5	axsVlanTagTranslationPorts {axsVlanTagTranslationEntry 3}	PortList	R/O	Tag 変換で、同一の VLAN で同一の Translated ID を設定しているポートリスト。	

3.5 axsOadp グループ (OADP 情報 MIB)

3.5.1 axsOadpGlobalInfo グループ

(1) 識別子

axsOadp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 7}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7

axsOadpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadp 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1

axsOadpGlobalInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadpMIBObjects 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1

(2) 実装仕様

axsOadpGlobalInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-21 axsOadpGlobalInfo グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOadpGlobalActive {axsOadpGlobalInfo 1}	TruthValue	R/O	OADP 機能の active 状態。コンフィグレーションコマンド oadp run を設定したかどうかの状態。 <ul style="list-style-type: none"> run (1) run を設定していない (2) 	
2	axsOadpGlobalCdpActive {axsOadpGlobalInfo 2}	TruthValue	R/O	CDP 受信機能の active 状態。コンフィグレーションコマンド oadp cdp-listener を設定したかどうかの状態。 <ul style="list-style-type: none"> cdp-listener (1) cdp-listener を設定していない (2) 	
3	axsOadpGlobalMessageInterval {axsOadpGlobalInfo 3}	INTEGER (5..254)	R/O	OADP フレーム送信間隔。コンフィグレーションコマンド oadp interval-time で設定した値 (単位: 秒)。	
4	axsOadpGlobalHoldTime {axsOadpGlobalInfo 4}	INTEGER (10..255)	R/O	本装置が送信した OADP フレームに関して、隣接装置が保持する時間。コンフィグレーションコマンド oadp hold-time で設定した値 (単位: 秒)。	
5	axsOadpGlobalCacheLastChange {axsOadpGlobalInfo 5}	TimeTicks	R/O	axsOadpNeighborTable 情報が更新されたときの sysUpTime の値。	
6	axsOadpGlobalName {axsOadpGlobalInfo 6}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	本装置の装置識別子。	
7	axsOadpGlobalNameType {axsOadpGlobalInfo 7}	INTEGER	R/O	axsOadpGlobalName の種類。 <ul style="list-style-type: none"> other (1) sysName (2) serialNumber (3) MACaddress (4) 	

3.5.2 axsOadpPortInfo グループ

(1) 識別子

axsOadp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 7}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7

axsOadpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadp 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1

axsOadpPortInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadpMIBObjects 2}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2

(2) 実装仕様

axsOadpPortInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-22 axsOadpPortInfo グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOadpPortConfigTable {axsOadpPortInfo 1}	SEQUENCE OF OadpPortConfigEntry	NA	OADP ポート情報に関するテーブル。	
2	axsOadpPortConfigEntry {axsOadpPortConfigTable 1}	OadpPortConfigEntry	NA	OADP ポート情報に関するエントリ (ポートごと)。 INDEX {axsOadpPortConfigIfIndex}	
3	axsOadpPortConfigIfIndex {axsOadpPortConfigEntry 1}	InterfaceIndex	R/O	ポート識別インデックス。ifIndex と同じ。 ifIndex が付与されている物理ポート、 チャンネルグループが対象。	
4	axsOadpPortConfigActive {axsOadpPortConfigEntry 2}	TruthValue	R/O	該当ポートに関する active 状態。 <ul style="list-style-type: none"> • enable (1) • disable (2) 	

3.5.3 axsOadpNeighborInfo グループ

(1) 識別子

axsOadp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 7}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7

axsOadpMIBObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadp 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1

axsOadpNeighborInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOadpMIBObjects 3}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3

(2) 実装仕様

axsOadpNeighborInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-23 axsOadpNeighborInfo グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOadpNeighborTable {axsOadpNeighborInfo 1}	SEQUENCE OF OadpNeighborEntry	NA	OADP 隣接ノードに関するテーブル。	
2	axsOadpNeighborEntry {axsOadpNeighborTable 1}	OadpNeighborEntry	NA	OADP 隣接ノードに関するエントリ (隣接情報ごと)、 INDEX { axsOadpIfIndex, axsOadpTagID, axsOadpNeighborIndex, axsOadpNeighborTagID }	
3	axsOadpIfIndex {axsOadpNeighborEntry 1}	InterfaceIndex	R/O	受信インタフェースの ifIndex。	
4	axsOadpTagID {axsOadpNeighborEntry 2}	INTEGER (0..4095)	R/O	MAC フレームに付加されていた IEEE802.1Q VLAN Tag の VLAN ID。	
5	axsOadpNeighborIndex {axsOadpNeighborEntry 3}	INTEGER	R/O	隣接ノードを一意に識別する番号 (1 ~ $2^{31}-1$)	
6	axsOadpNeighborTagID {axsOadpNeighborEntry 4}	INTEGER (0..4095)	R/O	隣接ノードから送信された OADP PDU 内の TagID TLV に設定された値。CDP の場合は常に 0。	
7	axsOadpNeighborVendorType {axsOadpNeighborEntry 5}	INTEGER	R/O	隣接ノードを発見するために使ったプロトコルタイプ。 • other (1) • OADP (2) • CDP (3)	
8	axsOadpNeighborSNMPAgentAddressType {axsOadpNeighborEntry 6}	INTEGER	R/O	SNMP で情報を取得するためのエージェントアドレスの種類。 • ipv4 (1) • ipv6 (20) • other-notSupported (65535)	
9	axsOadpNeighborSNMPAgentAddress {axsOadpNeighborEntry 7}	DisplayString	R/O	SNMP で情報を取得するためのエージェントアドレスを DisplayString 化した情報。アドレス情報がない場合 (axsOadpNeighborSNMPAgentAddressType が other-notSupported) は NULL 文字。	
10	axsOadpNeighborDescr {axsOadpNeighborEntry 8}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの sysDescr 相当の文字列。	
11	axsOadpNeighborDeviceID {axsOadpNeighborEntry 9}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの装置識別子。OADP では axsOadpGlobalName で定義される文字列が格納される。	
12	axsOadpNeighborSlotPort {axsOadpNeighborEntry 10}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの送信インタフェースを一意に識別する文字列 (NIF 番号 /Port 番号)	
13	axsOadpNeighborIfIndex {axsOadpNeighborEntry 11}	InterfaceIndex	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの ifIndex。CDP の場合は常に 0。	

3.5 axsOadp グループ (OADP 情報 MIB)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
14	axsOadpNeighborIfSpeed {axsOadpNeighborEntry 12}	Gauge	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの ifSpeed。CDP の場合は常に 0。	
15	axsOadpNeighborDeviceType {axsOadpNeighborEntry 13}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの装置名称。	
16	axsOadpNeighborService {axsOadpNeighborEntry 14}	OCTET STRING (SIZE(0..4))	R/O	隣接ノードが提供できる機能 (論理和の値) <ul style="list-style-type: none"> • Router (0x01) • Transparent Bridge (0x02) • Source-route Bridge (0x04) • Switch (0x08) • Host (0x10) • IGMP report を forward しない (0x20) • Repeater (0x40) 	
17	axsOadpNeighborVTPMgmtDomain {axsOadpNeighborEntry 15}	DisplayString (SIZE(0..32))	R/O	隣接ノードの送信インタフェースに関連する VTP Management Domain。	
18	axsOadpNeighborNativeVLAN {axsOadpNeighborEntry 16}	INTEGER (0..4095)	R/O	隣接ノードの送信インタフェースに関連する Native VLAN ID。	
19	axsOadpNeighborDuplex {axsOadpNeighborEntry 17}	INTEGER	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの Duplex 情報。 <ul style="list-style-type: none"> • unknown (1) • HALF (2) • FULL (3) 	
20	axsOadpNeighborApplianceID {axsOadpNeighborEntry 18}	Gauge (0..255)	R/O	隣接ノードの Appliance ID。	
21	axsOadpNeighborVlanID {axsOadpNeighborEntry 19}	Gauge (0..4095)	R/O	隣接ノードの VoIP 用の VLAN ID。	
22	axsOadpNeighborPowerConsumption {axsOadpNeighborEntry 20}	Gauge	R/O	隣接ノードの VoIP 消費電力 (単位 : ミリワット)	
23	axsOadpNeighborMTU {axsOadpNeighborEntry 21}	Gauge	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの MTU。	
24	axsOadpNeighborSysName {axsOadpNeighborEntry 22}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの sysName。	
25	axsOadpNeighborSysObjectID {axsOadpNeighborEntry 23}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	隣接ノードの sysObjectID。	
26	axsOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddressType {axsOadpNeighborEntry 24}	INTEGER	R/O	SNMP で情報を取得するためのエージェントセカンダリアドレスの種類。 <ul style="list-style-type: none"> • ipv4 (1) • ipv6 (20) • other-notSupported (65535) 	
27	axsOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddress {axsOadpNeighborEntry 25}	DisplayString	R/O	SNMP で情報を取得するためのエージェントセカンダリアドレスを DisplayString 化した情報。アドレス情報がない場合 (axsOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddressType が other-notSupported) は NULL 文字。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
28	axsOadpNeighborPhysLocation {axsOadpNeighborEntry 26}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	隣接ノードの sysLocation。	
29	axsOadpNeighborCacheLastChange {axsOadpNeighborEntry 27}	TimeTicks	R/O	隣接ノードに関する axsOadpNeighborEntry が更新されたときの sysUpTime。	
30	axsOadpNeighborIfHighSpeed {axsOadpNeighborEntry 28}	Gauge	R/O	隣接ノードの送信インタフェースの ifHighSpeed。CDP の場合は常に 0。	

3.6 axsFlow グループ (FLOW 情報 MIB)

3.6.1 axsAccessFilterStats グループ

(1) 識別子

```

axsFlow                OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 8}

axsAccessFilterStats   OBJECT IDENTIFIER ::= {axsFlow 9}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9

axsAccessFilterStatsL2InTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsAccessFilterStats 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.3

axsAccessFilterStatsL2OutTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsAccessFilterStats 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.4

axsAccessFilterStatsL3InTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsAccessFilterStats 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.5

axsAccessFilterStatsL3OutTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsAccessFilterStats 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.6

axsAccessFilterStatsL2L3InTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsAccessFilterStats 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.7

axsAccessFilterStatsL2L3OutTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsAccessFilterStats 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.8

```

(2) 実装仕様

axsAccessFilterStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-24 axsAccessFilterStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsAccessFilterStatsL2InTable {axsAccessFilterStats 3}	SEQUENCE OF AxsAccessFilterStatsL2InEntry	NA	L2 中継用として設定した Inbound のアクセスリストのフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報。	
2	axsAccessFilterStatsL2InEntry {axsAccessFilterStatsL2InTable 1}	AxsAccessFilterStatsL2InEntry	NA	L2 中継用として設定した Inbound のアクセスリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数に関するエントリ。 INDEX { axsAccessFilterStatsL2InifIndex, axsAccessFilterStatsL2InifIndexType, axsAccessFilterStatsL2InListIndex, axsAccessFilterStatsL2InSequenceNumber }	
3	axsAccessFilterStatsL2InifIndex {axsAccessFilterStatsL2InEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ)。	
4	axsAccessFilterStatsL2InifIndexType {axsAccessFilterStatsL2InEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプ。 • イーサネットインタフェース指定 : 1 • VLAN インタフェース指定 : 2	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
5	axsAccessFilterStatsL2InListIndex {axsAccessFilterStatsL2InEntry 3}	Unsigned32	NA	このテーブルのエントリを識別するアクセスリストのインデックス値。	
6	axsAccessFilterStatsL2InSequenceNumber {axsAccessFilterStatsL2InEntry 4}	Unsigned32	NA	アクセスリスト番号またはアクセスリスト名称に設定したフロー検出条件・動作情報のシーケンス番号。	
7	axsAccessFilterStatsL2InListName {axsAccessFilterStatsL2InEntry 5}	DisplayString	R/O	アクセスリストのインデックスに対応したアクセスリストの識別子。	
8	axsAccessFilterStatsL2InMatchedPackets {axsAccessFilterStatsL2InEntry 6}	Counter64	R/O	アクセスリストのフロー検出条件に一致したパケット数。 axsAccessFilterStatsL2InSequenceNumber が 4294967295 の場合、アクセスリストのすべてのフロー検出条件に一致せず廃棄されたパケット数を示します。	
9	axsAccessFilterStatsL2OutTable {axsAccessFilterStats 4}	SEQUENCE OF AxsAccessFilterStatsL2OutEntry	NA	L2 中継用として設定した Outbound のアクセスリストのフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報。	
10	axsAccessFilterStatsL2OutEntry {axsAccessFilterStatsL2OutTable 1}	AxsAccessFilterStatsL2OutEntry	NA	L2 中継用として設定した Outbound のアクセスリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数に関するエントリ。 INDEX { axsAccessFilterStatsL2OutifIndex, axsAccessFilterStatsL2OutifIndexType, axsAccessFilterStatsL2OutListIndex, axsAccessFilterStatsL2OutSequenceNumber }	
11	axsAccessFilterStatsL2OutifIndex {axsAccessFilterStatsL2OutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ)。	
12	axsAccessFilterStatsL2OutifIndexType {axsAccessFilterStatsL2OutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプ。 ・イーサネットインタフェース指定 : 1 ・VLAN インタフェース指定 : 2	
13	axsAccessFilterStatsL2OutListIndex {axsAccessFilterStatsL2OutEntry 3}	Unsigned32	NA	このテーブルのエントリを識別するアクセスリストのインデックス値。	
14	axsAccessFilterStatsL2OutSequenceNumber {axsAccessFilterStatsL2OutEntry 4}	Unsigned32	NA	アクセスリストの識別子に設定したフロー検出条件・動作情報のシーケンス番号。	
15	axsAccessFilterStatsL2OutListName {axsAccessFilterStatsL2OutEntry 5}	DisplayString	R/O	アクセスリストのインデックスに対応したアクセスリストの識別子。	
16	axsAccessFilterStatsL2OutMatchedPackets {axsAccessFilterStatsL2OutEntry 6}	Counter64	R/O	アクセスリストのフロー検出条件に一致したパケット数。 axsAccessFilterStatsL2OutSequenceNumber が 4294967295 の場合、アクセスリストのすべてのフロー検出条件に一致せず廃棄されたパケット数を示します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
17	axsAccessFilterStatsL3InTable {axsAccessFilterStats 5}	SEQUENCE OF AxsAccessFilterStatsL3InEntry	NA	L3 中継用として設定した Inbound のアクセスリストのフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報。	
18	axsAccessFilterStatsL3InEntry {axsAccessFilterStatsL3InTable 1}	AxsAccessFilterStatsL3InEntry	NA	L3 中継用として設定した Inbound のアクセスリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数に関するエントリ。 INDEX { axsAccessFilterStatsL3InifIndex, axsAccessFilterStatsL3InifIndexType, axsAccessFilterStatsL3InListIndex, axsAccessFilterStatsL3InSequenceNumber }	
19	axsAccessFilterStatsL3InifIndex {axsAccessFilterStatsL3InEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ)。	
20	axsAccessFilterStatsL3InifIndexType {axsAccessFilterStatsL3InEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプ。 • VLAN インタフェース指定 : 2	
21	axsAccessFilterStatsL3InListIndex {axsAccessFilterStatsL3InEntry 3}	Unsigned32	NA	このテーブルのエントリを識別するアクセスリストのインデックス値。	
22	axsAccessFilterStatsL3InSequenceNumber {axsAccessFilterStatsL3InEntry 4}	Unsigned32	NA	アクセスリストの識別子に設定したフロー検出条件・動作情報のシーケンス番号。	
23	axsAccessFilterStatsL3InListName {axsAccessFilterStatsL3InEntry 5}	DisplayString	R/O	アクセスリストのインデックスに対応したアクセスリストの識別子。	
24	axsAccessFilterStatsL3InMatchedPackets {axsAccessFilterStatsL3InEntry 6}	Counter64	R/O	アクセスリストのフロー検出条件に一致したパケット数。 axsAccessFilterStatsL3InSequenceNumber が 4294967295 の場合、アクセスリストのすべてのフロー検出条件に一致せず廃棄されたパケット数を示します。	
25	axsAccessFilterStatsL3OutTable {axsAccessFilterStats 6}	SEQUENCE OF AxsAccessFilterStatsL3OutEntry	NA	L3 中継用として設定した Outbound のアクセスリストのフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報。	
26	axsAccessFilterStatsL3OutEntry {axsAccessFilterStatsL3OutTable 1}	AxsAccessFilterStatsL3OutEntry	NA	L3 中継用として設定した Outbound のアクセスリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数に関するエントリ。 INDEX { axsAccessFilterStatsL3OutifIndex, axsAccessFilterStatsL3OutifIndexType, axsAccessFilterStatsL3OutListIndex, axsAccessFilterStatsL3OutSequenceNumber }	
27	axsAccessFilterStatsL3OutifIndex {axsAccessFilterStatsL3OutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ)。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
28	axsAccessFilterStatsL3OutIfIndexType {axsAccessFilterStatsL3OutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプ。 • VLAN インタフェース指定 : 2	
29	axsAccessFilterStatsL3OutListIndex {axsAccessFilterStatsL3OutEntry 3}	Unsigned32	NA	このテーブルのエントリを識別するアクセスリストのインデックス値。	
30	axsAccessFilterStatsL3OutSequenceNumber {axsAccessFilterStatsL3OutEntry 4}	Unsigned32	NA	アクセスリストの識別子に設定したフロー検出条件・動作情報のシーケンス番号。	
31	axsAccessFilterStatsL3OutListName {axsAccessFilterStatsL3OutEntry 5}	DisplayString	R/O	アクセスリストのインデックスに対応したアクセスリストの識別子。	
32	axsAccessFilterStatsL3OutMatchedPackets {axsAccessFilterStatsL3OutEntry 6}	Counter64	R/O	アクセスリストのフロー検出条件に一致したパケット数。 axsAccessFilterStatsL3OutSequenceNumber が 4294967295 の場合、アクセスリストのすべてのフロー検出条件に一致せず廃棄されたパケット数を示します。	
33	axsAccessFilterStatsL2L3InTable {axsAccessFilterStats 7}	SEQUENCE OF AxsAccessFilterStatsL2L3InEntry	NA	L2 および L3 中継用として設定した Inbound のアクセスリストのフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報。	
34	axsAccessFilterStatsL2L3InEntry {axsAccessFilterStatsL2L3InTable 1}	AxsAccessFilterStatsL2L3InEntry	NA	L2 および L3 中継用として設定した Inbound のアクセスリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数に関するエントリ。 INDEX { axsAccessFilterStatsL2L3InIfIndex, axsAccessFilterStatsL2L3InIfIndexType, axsAccessFilterStatsL2L3InListIndex, axsAccessFilterStatsL2L3InSequenceNumber }	
35	axsAccessFilterStatsL2L3InIfIndex {axsAccessFilterStatsL2L3InEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ)。	
36	axsAccessFilterStatsL2L3InIfIndexType {axsAccessFilterStatsL2L3InEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプ。 • VLAN インタフェース指定 : 2	
37	axsAccessFilterStatsL2L3InListIndex {axsAccessFilterStatsL2L3InEntry 3}	Unsigned32	NA	このテーブルのエントリを識別するアクセスリストのインデックス値。	
38	axsAccessFilterStatsL2L3InSequenceNumber {axsAccessFilterStatsL2L3InEntry 4}	Unsigned32	NA	アクセスリストの識別子に設定したフロー検出条件・動作情報のシーケンス番号。	
39	axsAccessFilterStatsL2L3InListName {axsAccessFilterStatsL2L3InEntry 5}	DisplayString	R/O	アクセスリストのインデックスに対応したアクセスリストの識別子。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
40	axsAccessFilterStatsL2L3InMatchedPackets {axsAccessFilterStatsL2L3InEntry 6}	Counter64	R/O	アクセスリストのフロー検出条件に一致したパケット数。 axsAccessFilterStatsL2L3InSequenceNumber が 4294967295 の場合、アクセスリストのすべてのフロー検出条件に一致せず廃棄されたパケット数を示します。	
41	axsAccessFilterStatsL2L3OutTable {axsAccessFilterStats 8}	SEQUENCE OF AxsAccessFilterStatsL2L3OutEntry	NA	L2 および L3 中継用として設定した Outbound のアクセスリストのフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報。	
42	axsAccessFilterStatsL2L3OutEntry {axsAccessFilterStatsL2L3OutTable 1}	AxsAccessFilterStatsL2L3OutEntry	NA	L2 および L3 中継用として設定した Outbound のアクセスリストで設定したフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数に関するエントリ。 INDEX { axsAccessFilterStatsL2L3OutifIndex, axsAccessFilterStatsL2L3OutifIndexType, axsAccessFilterStatsL2L3OutListIndex, axsAccessFilterStatsL2L3OutSequenceNumber }	
43	axsAccessFilterStatsL2L3OutifIndex {axsAccessFilterStatsL2L3OutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ)。	
44	axsAccessFilterStatsL2L3OutifIndexType {axsAccessFilterStatsL2L3OutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプ。 • VLAN インタフェース指定 : 2	
45	axsAccessFilterStatsL2L3OutListIndex {axsAccessFilterStatsL2L3OutEntry 3}	Unsigned32	NA	このテーブルのエントリを識別するアクセスリストのインデックス値。	
46	axsAccessFilterStatsL2L3OutSequenceNumber {axsAccessFilterStatsL2L3OutEntry 4}	Unsigned32	NA	アクセスリストの識別子に設定したフロー検出条件・動作情報のシーケンス番号。	
47	axsAccessFilterStatsL2L3OutListName {axsAccessFilterStatsL2L3OutEntry 5}	DisplayString	R/O	アクセスリストのインデックスに対応したアクセスリストの識別子。	
48	axsAccessFilterStatsL2L3OutMatchedPackets {axsAccessFilterStatsL2L3OutEntry 6}	Counter64	R/O	アクセスリストのフロー検出条件に一致したパケット数。 axsAccessFilterStatsL2L3OutSequenceNumber が 4294967295 の場合、アクセスリストのすべてのフロー検出条件に一致せず廃棄されたパケット数を示します。	

3.6.2 axsQosFlowStats グループ

(1) 識別子

```
axsFlow OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 8}
```

```
axsQosFlowStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsFlow 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11
```

```
axsQosFlowStatsL2InTabl OBJECT IDENTIFIER ::= {axsQosFlowStats 3}
```

オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.3

axsQosFlowStatsL2OutTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsQosFlowStats 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.4

axsQosFlowStatsL3InTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsQosFlowStats 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.5

axsQosFlowStatsL3OutTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsQosFlowStats 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.6

(2) 実装仕様

axsQosFlowStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-25 axsQosFlowStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsQosFlowStatsL2InTable {axsQosFlowStats 3}	SEQUENCE OF AxsQosFlowStats L2InEntry	NA	L2 中継用として設定した Inbound の QoS フローリストのフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報。	
2	axsQosFlowStatsL2InEntry {axsQosFlowStatsL2InTable 1}	AxsQosFlowStats L2InEntry	NA	L2 中継用として設定した Inbound の QoS フローリストで設定した QoS フロー検出条件・動作情報に一致したパケット数に関するエントリ。 INDEX { axsQosFlowStatsL2InifIndex, axsQosFlowStatsL2InifIndexType, axsQosFlowStatsL2InListIndex, axsQosFlowStatsL2InSequenceNumber }	
3	axsQosFlowStatsL2InifIndex {axsQosFlowStatsL2InEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ)。	
4	axsQosFlowStatsL2InifIndexType {axsQosFlowStatsL2InEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプ。 ・イーサネットインタフェース指定: 1 ・VLAN インタフェース指定: 2	
5	axsQosFlowStatsL2InListIndex {axsQosFlowStatsL2InEntry 3}	Unsigned32	NA	このテーブルのエントリを識別する QoS フローリストのインデックス値。	
6	axsQosFlowStatsL2InSequenceNumber {axsQosFlowStatsL2InEntry 4}	Unsigned32	NA	QoS フローリスト名称に設定したフロー検出条件・動作情報のシーケンス番号。	
7	axsQosFlowStatsL2InListName {axsQosFlowStatsL2InEntry 5}	DisplayString	R/O	QoS フローリストのインデックスに対応した QoS フローリスト名称。	
8	axsQosFlowStatsL2InMatchedPackets {axsQosFlowStatsL2InEntry 6}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致したパケット数。 帯域監視機能を使用している場合は 0 になります。	
9	axsQosFlowStatsL2InMatchedPacketsMinUnder {axsQosFlowStatsL2InEntry 7}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最低帯域監視を遵守したパケット数。 最低帯域監視を使用していない場合は 0 になります。	
10	axsQosFlowStatsL2InMatchedPacketsMinOver {axsQosFlowStatsL2InEntry 8}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最低帯域監視を違反したパケット数。 最低帯域監視を使用していない場合は 0 になります。	

3.6 axsFlow グループ (FLOW 情報 MIB)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
11	axsQosFlowStatsL2InMatchedPacketsMaxUnder {axsQosFlowStatsL2InEntry 9}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最大帯域制御を遵守したパケット数。最大帯域制御を使用していない場合は 0 になります。また、最大帯域制御と最低帯域監視を同時に使用している場合も 0 になります。	
12	axsQosFlowStatsL2InMatchedPacketsMaxOver {axsQosFlowStatsL2InEntry 10}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最大帯域制御を違反したパケット数。最大帯域制御を使用していない場合は 0 になります。	
13	axsQosFlowStatsL2OutTable {axsQosFlowStats 4}	SEQUENCE OF AxsQosFlowStats L2OutEntry	NA	L2 中継用として設定した Outbound の QoS フローリストのフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報。	
14	axsQosFlowStatsL2OutEntry {axsQosFlowStatsL2OutTable 1}	AxsQosFlowStats L2OutEntry	NA	L2 中継用として設定した Outbound の QoS フローリストで設定した QoS フロー検出条件・動作情報に一致したパケット数に関するエントリ。 INDEX { axsQosFlowStatsL2OutifIndex, axsQosFlowStatsL2OutifIndexType, axsQosFlowStatsL2OutListIndex, axsQosFlowStatsL2OutSequenceNumber }	
15	axsQosFlowStatsL2OutifIndex {axsQosFlowStatsL2OutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ)。	
16	axsQosFlowStatsL2OutifIndexType {axsQosFlowStatsL2OutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプ。 • イーサネットインタフェース指定 : 1 • VLAN インタフェース指定 : 2	
17	axsQosFlowStatsL2OutListIndex {axsQosFlowStatsL2OutEntry 3}	Unsigned32	NA	このテーブルのエントリを識別する QoS フローリストのインデックス値。	
18	axsQosFlowStatsL2OutSequenceNumber {axsQosFlowStatsL2OutEntry 4}	Unsigned32	NA	QoS フローリスト名称に設定したフロー検出条件・動作情報のシーケンス番号。	
19	axsQosFlowStatsL2OutListName {axsQosFlowStatsL2OutEntry 5}	DisplayString	R/O	QoS フローリストのインデックスに対応した QoS フローリスト名称。	
20	axsQosFlowStatsL2OutMatchedPackets {axsQosFlowStatsL2OutEntry 6}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致したパケット数。帯域監視機能を使用している場合は 0 になります。	
21	axsQosFlowStatsL2OutMatchedPacketsMinUnder {axsQosFlowStatsL2OutEntry 7}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最低帯域監視を遵守したパケット数。最低帯域監視を使用していない場合は 0 になります。	
22	axsQosFlowStatsL2OutMatchedPacketsMinOver {axsQosFlowStatsL2OutEntry 8}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最低帯域監視を違反したパケット数。最低帯域監視を使用していない場合は 0 になります。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
23	axsQosFlowStatsL2OutMatchedPacketsMaxUnder {axsQosFlowStatsL2OutEntry 9}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最大帯域制御を遵守したパケット数。最大帯域制御を使用していない場合は 0 になります。また、最大帯域制御と最低帯域監視を同時に使用している場合も 0 になります。	
24	axsQosFlowStatsL2OutMatchedPacketsMaxOver {axsQosFlowStatsL2OutEntry 10}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最大帯域制御を違反したパケット数。最大帯域制御を使用していない場合は 0 になります。	
25	axsQosFlowStatsL3InTable {axsQosFlowStats 5}	SEQUENCE OF AxsQosFlowStats L3InEntry	NA	L3 中継用として設定した Inbound の QoS フローリストのフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報。	
26	axsQosFlowStatsL3InEntry {axsQosFlowStatsL3InTable 1}	AxsQosFlowStats L3InEntry	NA	L3 中継用として設定した Inbound の QoS フローリストで設定した QoS フロー検出条件・動作情報に一致したパケット数に関するエントリ。 INDEX { axsQosFlowStatsL3InifIndex, axsQosFlowStatsL3InifIndexType, axsQosFlowStatsL3InListIndex, axsQosFlowStatsL3InSequenceNumber }	
27	axsQosFlowStatsL3InifIndex {axsQosFlowStatsL3InEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ)。	
28	axsQosFlowStatsL3InifIndexType {axsQosFlowStatsL3InEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプ。 • VLAN インタフェース指定 : 2	
29	axsQosFlowStatsL3InListIndex {axsQosFlowStatsL3InEntry 3}	Unsigned32	NA	このテーブルのエントリを識別する QoS フローリストのインデックス値。	
30	axsQosFlowStatsL3InSequenceNumber {axsQosFlowStatsL3InEntry 4}	Unsigned32	NA	QoS フローリスト名称に設定したフロー検出条件・動作情報のシーケンス番号。	
31	axsQosFlowStatsL3InListName {axsQosFlowStatsL3InEntry 5}	DisplayString	R/O	QoS フローリストのインデックスに対応した QoS フローリスト名称。	
32	axsQosFlowStatsL3InMatchedPackets {axsQosFlowStatsL3InEntry 6}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致したパケット数。帯域監視機能を使用している場合は 0 になります。	
33	axsQosFlowStatsL3InMatchedPacketsMinUnder {axsQosFlowStatsL3InEntry 7}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最低帯域監視を遵守したパケット数。最低帯域監視を使用していない場合は 0 になります。	
34	axsQosFlowStatsL3InMatchedPacketsMinOver {axsQosFlowStatsL3InEntry 8}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最低帯域監視を違反したパケット数。最低帯域監視を使用していない場合は 0 になります。	
35	axsQosFlowStatsL3InMatchedPacketsMaxUnder {axsQosFlowStatsL3InEntry 9}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最大帯域制御を遵守したパケット数。最大帯域制御を使用していない場合は 0 になります。また、最大帯域制御と最低帯域監視を同時に使用している場合も 0 になります。	

3.6 axsFlow グループ (FLOW 情報 MIB)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
36	axsQosFlowStatsL3InMatchedPacketsMaxOver {axsQosFlowStatsL3InEntry 10}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最大帯域制御を違反したパケット数。最大帯域制御を使用していない場合は 0 になります。	
37	axsQosFlowStatsL3OutTable {axsQosFlowStats 6}	SEQUENCE OF AxsQosFlowStats L3OutEntry	NA	L3 中継用として設定した Outbound の QoS フローリストのフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報。	
38	axsQosFlowStatsL3OutEntry {axsQosFlowStatsL3OutTable 1}	AxsQosFlowStats L3OutEntry	NA	L3 中継用として設定した Outbound の QoS フローリストで設定した QoS フロー検出条件・動作情報に一致したパケット数に関するエントリ。 INDEX { axsQosFlowStatsL3OutifIndex, axsQosFlowStatsL3OutifIndexType, axsQosFlowStatsL3OutListIndex, axsQosFlowStatsL3OutSequenceNumber }	
39	axsQosFlowStatsL3OutifIndex {axsQosFlowStatsL3OutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ)。	
40	axsQosFlowStatsL3OutifIndexType {axsQosFlowStatsL3OutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプ。 • VLAN インタフェース指定 : 2	
41	axsQosFlowStatsL3OutListIndex {axsQosFlowStatsL3OutEntry 3}	Unsigned32	NA	このテーブルのエントリを識別する QoS フローリストのインデックス値。	
42	axsQosFlowStatsL3OutSequenceNumber {axsQosFlowStatsL3OutEntry 4}	Unsigned32	NA	QoS フローリスト名称に設定したフロー検出条件・動作情報のシーケンス番号。	
43	axsQosFlowStatsL3OutListName {axsQosFlowStatsL3OutEntry 5}	DisplayString	R/O	QoS フローリストのインデックスに対応した QoS フローリスト名称。	
44	axsQosFlowStatsL3OutMatchedPackets {axsQosFlowStatsL3OutEntry 6}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致したパケット数。 帯域監視機能を使用している場合は 0 になります。	
45	axsQosFlowStatsL3OutMatchedPacketsMinUnder {axsQosFlowStatsL3OutEntry 7}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最低帯域監視を遵守したパケット数。 最低帯域監視を使用していない場合は 0 になります。	
46	axsQosFlowStatsL3OutMatchedPacketsMinOver {axsQosFlowStatsL3OutEntry 8}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最低帯域監視を違反したパケット数。 最低帯域監視を使用していない場合は 0 になります。	
47	axsQosFlowStatsL3OutMatchedPacketsMaxUnder {axsQosFlowStatsL3OutEntry 9}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最大帯域制御を遵守したパケット数。 最大帯域制御を使用していない場合は 0 になります。また、最大帯域制御と最低帯域監視を同時に使用している場合も 0 になります。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
48	axsQosFlowStatsL3OutMatchedPacketsMaxOver {axsQosFlowStatsL3OutEntry 10}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最大帯域制御を違反したパケット数。最大帯域制御を使用していない場合は 0 になります。	
49	axsQosFlowStatsL2L3InTable {axsQosFlowStats 7}	SEQUENCE OF AxsQosFlowStats L2L3InEntry	NA	L2 および L3 中継用として設定した Inbound の QoS フローリストのフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報。	
50	axsQosFlowStatsL2L3InEntry {axsQosFlowStatsL2L3InTable 1}	AxsQosFlowStats L2L3InEntry	NA	L2 および L3 中継用として設定した Inbound の QoS フローリストで設定した QoS フロー検出条件・動作情報に一致したパケット数に関するエン트리。 INDEX {axsQosFlowStatsL2L3InifIndex, axsQosFlowStatsL2L3InifIndexType, axsQosFlowStatsL2L3InListIndex, axsQosFlowStatsL2L3InSequenceNumber}	
51	axsQosFlowStatsL2L3InifIndex {axsQosFlowStatsL2L3InEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ)。	
52	axsQosFlowStatsL2L3InifIndexType {axsQosFlowStatsL2L3InEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプ。 • VLAN インタフェース指定 : 2	
53	axsQosFlowStatsL2L3InListIndex {axsQosFlowStatsL2L3InEntry 3}	Unsigned32	NA	このテーブルのエントリを識別する QoS フローリストのインデックス値。	
54	axsQosFlowStatsL2L3InSequenceNumber {axsQosFlowStatsL2L3InEntry 4}	Unsigned32	NA	QoS フローリスト名称に設定したフロー検出条件・動作情報のシーケンス番号。	
55	axsQosFlowStatsL2L3InListName {axsQosFlowStatsL2L3InEntry 5}	DisplayString	R/O	QoS フローリストのインデックスに対応した QoS フローリスト名称。	
56	axsQosFlowStatsL2L3InMatchedPackets {axsQosFlowStatsL2L3InEntry 6}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致したパケット数。 帯域監視機能を使用している場合は 0 になります。	
57	axsQosFlowStatsL2L3InMatchedPacketsMinUnder {axsQosFlowStatsL2L3InEntry 7}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最低帯域監視を遵守したパケット数。 最低帯域監視を使用していない場合は 0 になります。	
58	axsQosFlowStatsL2L3InMatchedPacketsMinOver {axsQosFlowStatsL2L3InEntry 8}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最低帯域監視を違反したパケット数。 最低帯域監視を使用していない場合は 0 になります。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
59	axsQosFlowStatsL2L3InMatchedPacketsMaxUnder {axsQosFlowStatsL2L3InEntry 9}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最大帯域制御を遵守したパケット数。最大帯域制御を使用していない場合は 0 になります。また、最大帯域制御と最低帯域監視を同時に使用している場合も 0 になります。	
60	axsQosFlowStatsL2L3InMatchedPacketsMaxOver {axsQosFlowStatsL2L3InEntry 10}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最大帯域制御を違反したパケット数。最大帯域制御を使用していない場合は 0 になります。	
61	axsQosFlowStatsL2L3OutTable {axsQosFlowStats 8}	SEQUENCE OF AxsQosFlowStats L2L3OutEntry	NA	L2 および L3 中継用として設定した Outbound の QoS フローリストのフロー検出条件・動作情報に一致したパケット数のテーブル情報。	
62	axsQosFlowStatsL2L3OutEntry {axsQosFlowStatsL2L3OutTable 1}	AxsQosFlowStats L2L3OutEntry	NA	L2 および L3 中継用として設定した Outbound の QoS フローリストで設定した QoS フロー検出条件・動作情報に一致したパケット数に関するエントリ。 INDEX { axsQosFlowStatsL2L3OutifIndex, axsQosFlowStatsL2L3OutifIndexType, axsQosFlowStatsL2L3OutListIndex, axsQosFlowStatsL2L3OutSequenceNumber }	
63	axsQosFlowStatsL2L3OutifIndex {axsQosFlowStatsL2L3OutEntry 1}	INTEGER	NA	このテーブルのエントリを識別するインデックス値 (ifIndex と同じ)。	
64	axsQosFlowStatsL2L3OutifIndexType {axsQosFlowStatsL2L3OutEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのタイプ。 • VLAN インタフェース指定 : 2	
65	axsQosFlowStatsL2L3OutListIndex {axsQosFlowStatsL2L3OutEntry 3}	Unsigned32	NA	このテーブルのエントリを識別する QoS フローリストのインデックス値。	
66	axsQosFlowStatsL2L3OutSequenceNumber {axsQosFlowStatsL2L3OutEntry 4}	Unsigned32	NA	QoS フローリスト名称に設定したフロー検出条件・動作情報のシーケンス番号。	
67	axsQosFlowStatsL2L3OutListName {axsQosFlowStatsL2L3OutEntry 5}	DisplayString	R/O	QoS フローリストのインデックスに対応した QoS フローリスト名称。	
68	axsQosFlowStatsL2L3OutMatchedPackets {axsQosFlowStatsL2L3OutEntry 6}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致したパケット数。帯域監視機能を使用している場合は 0 になります。	
69	axsQosFlowStatsL2L3OutMatchedPacketsMinUnder {axsQosFlowStatsL2L3OutEntry 7}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最低帯域監視を遵守したパケット数。最低帯域監視を使用していない場合は 0 になります。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
70	axsQosFlowStatsL2L3OutMatchedPacketsMinOver {axsQosFlowStatsL2OutEntry 8}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最低帯域監視を違反したパケット数。最低帯域監視を使用していない場合は 0 になります。	
71	axsQosFlowStatsL2L3OutMatchedPacketsMaxUnder {axsQosFlowStatsL2L3OutEntry 9}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最大帯域制御を遵守したパケット数。最大帯域制御を使用していない場合は 0 になります。また、最大帯域制御と最低帯域監視を同時に使用している場合も 0 になります。	
72	axsQosFlowStatsL2L3OutMatchedPacketsMaxOver {axsQosFlowStatsL2L3OutEntry 10}	Counter64	R/O	QoS フローリストのフロー検出条件に一致し最大帯域制御を違反したパケット数。最大帯域制御を使用していない場合は 0 になります。	

3.7 axsl2ldMIB グループ (L2 ループ検知情報 MIB)

3.7.1 axsl2ldGlobalInfo グループ

(1) 識別子

```
axsl2ld OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 10}

axsl2ldGlobalInfo OBJECT IDENTIFIER ::= {axsl2ld 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1

axsl2ldVersion OBJECT IDENTIFIER ::= {axsl2ldGlobalInfo 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.1
```

(2) 実装仕様

axsl2ldGlobalInfo グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-26 axsl2ldGlobalInfo グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsl2ldVersion {axsl2ldGlobalInfo 1}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知のバージョン。 • Version 1 (1)	
2	axsl2ldLoopDetectionId {axsl2ldGlobalInfo 2}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知 ID。	
3	axsl2ldIntervalTime {axsl2ldGlobalInfo 3}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知フレームの送信間隔 (単位 : 秒)。	
4	axsl2ldOutputRate {axsl2ldGlobalInfo 4}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知フレームの送信レート (単位 : packet/s)。	
5	axsl2ldThreshold {axsl2ldGlobalInfo 5}	INTEGER	R/O	ポートを inactive 状態にするまでの検出回数。	
6	axsl2ldHoldTime {axsl2ldGlobalInfo 6}	INTEGER	R/O	検出回数の保持時間 (単位 : 秒)。	
7	axsl2ldAutoRestoreTime {axsl2ldGlobalInfo 7}	INTEGER	R/O	inactive 状態にしたポートを自動で active 状態にするまでの時間 (単位 : 秒)。	
8	axsl2ldConfigurationVlanPort Counts {axsl2ldGlobalInfo 8}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知フレームを送信するように設定している VLAN ポート数。	
9	axsl2ldCapacityVlanPortCount s {axsl2ldGlobalInfo 9}	INTEGER	R/O	L2 ループ検知フレーム送信レートで送信可能な VLAN ポート数。	

3.7.2 axsl2ldPortTable グループ

(1) 識別子

```
axsl2ld OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 10}

axsl2ldPortTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsl2ld 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2
```

(2) 実装仕様

axsl2ldPortTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-27 axsL2ldPortTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsL2ldPortTable {axsL2ld 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	L2 ループ検知のポート情報を格納するテーブル。	
2	axsL2ldPortEntry {axsL2ldPortTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	L2 ループ検知のポート情報のリスト。 INDEX { axsL2ldPortIndex, axsL2ldPortIfIndex }	
3	axsL2ldPortIndex {axsL2ldPortEntry 1}	INTEGER	R/O	1 固定。	
4	axsL2ldPortIfIndex {axsL2ldPortEntry 2}	INTEGER	R/O	ポートの ifIndex 。	
5	axsL2ldPortStatus {axsL2ldPortEntry 3}	INTEGER	R/O	ポートの状態。 • Up (1): ポートが Up 状態 • Down (2): ポートが Down 状態 • Down (loop) (3): ポートが L2 ループ検知機能により Down 状態	
6	axsL2ldPortType {axsL2ldPortEntry 4}	INTEGER	R/O	ポートの種別。 • trap (1): 検知ポート • send-inact (2): 検知送信閉塞ポート • send (3): 検知送信ポート • uplink (4): アップリンクポート • exception (5): 検知対象外ポート	
7	axsL2ldPortDetectCount {axsL2ldPortEntry 5}	INTEGER	R/O	L2 ループ検出回数。保持時間内で L2 ループ検知フレームを受信している回数。	
8	axsL2ldPortAutoRestoringTime r {axsL2ldPortEntry 6}	INTEGER	R/O	自動復旧するまでの時間 (単位: 秒)。ポートが active 状態の場合は 0 (ゼロ) になります。	
9	axsL2ldPortSourcePortIfindex {axsL2ldPortEntry 7}	INTEGER	R/O	最後に L2 ループ検出フレームを受信したときの送信したポートの ifIndex 。	
10	axsL2ldPortDestinationPortIfindex {axsL2ldPortEntry 8}	INTEGER	R/O	最後に L2 ループ検出フレームを受信したポートの ifIndex 。	
11	axsL2ldPortSourceVlan {axsL2ldPortEntry 9}	INTEGER	R/O	最後に L2 ループ検出フレームを受信したときの送信時の VLAN ID。	
12	axsL2ldPortHCInFrames {axsL2ldPortEntry 10}	Counter64	R/O	L2 ループ検知フレームの受信数。	
13	axsL2ldPortHCOutFrames {axsL2ldPortEntry 11}	Counter64	R/O	L2 ループ検知フレームの送信数。	
14	axsL2ldPortHCInDiscards {axsL2ldPortEntry 12}	Counter64	R/O	L2 ループ検知フレームの受信廃棄数。	
15	axsL2ldPortInactiveCount {axsL2ldPortEntry 13}	INTEGER	R/O	inactive 状態にした回数。	
16	axsL2ldPortLastInactiveTime {axsL2ldPortEntry 14}	TimeStamp	R/O	最後に inactive 状態にした時間。	
17	axsL2ldPortLastInFramesTime {axsL2ldPortEntry 15}	TimeStamp	R/O	最後に L2 ループ検知フレームを受信した時間。	

注 リンクアグリゲーションのポートの場合、リンクアグリゲーションの ifIndex を使用する。

3.8 axsVrfMIB グループ (VRF 情報 MIB)【OP-NPAR】

本 MIB は VRF の情報だけが対象となります。

3.8.1 axsVrfIp グループ

(1) 識別子

```
axsVrf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 11}

axsVrfIp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVrf 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1
```

(2) 実装仕様

axsVrfIp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-28 axsVrfIp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVrfIpAddrTable {axsVrfIp 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このエンティティの IP アドレスに関連するアドレッシング情報のテーブル (IP アドレス別のアドレス情報テーブル)。	
2	axsVrfIpAddrEntry {axsVrfIpAddrTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	このエンティティの IP アドレスの一つのためのアドレッシング情報のリスト。 INDEX {axsVrfIpAddrVrfIndex, axsVrfIpAdEntAddr}	
3	axsVrfIpAddrVrfIndex {axsVrfIpAddrEntry 1}	INTEGER	R/O	該当 VRF の VRF インデックス。 VRF ごとにつけられたユニークな番号。 なお、ユーザが指定した該当 VRF の VRF インデックスは、axsVrfIpAdEntDescr で表示されます。	
4	axsVrfIpAdEntAddr {axsVrfIpAddrEntry 2}	IpAddress	R/O	IP アドレス。	
5	axsVrfIpAdEntIfIndex {axsVrfIpAddrEntry 3}	INTEGER	R/O	インタフェースの ID 番号。 ポートの ifIndex。	
6	axsVrfIpAdEntNetMask {axsVrfIpAddrEntry 4}	IpAddress	R/O	サブネットマスク。 ポートにつけられているサブネットマスク。	
7	axsVrfIpAdEntBcastAddr {axsVrfIpAddrEntry 5}	INTEGER	R/O	IP ブロードキャスト送信時のアドレスの最下位ビットの値。	
8	axsVrfIpAdEntReasmMaxSize {axsVrfIpAddrEntry 6}	INTEGER	R/O	ポートで受信した、IP フラグメントされたデータグラムからリアセンブルできる最も大きい IP パケットのサイズ。	
9	axsVrfIpAdEntDescr {axsVrfIpAddrEntry 7}	DisplayString	R/O	該当 VRF の詳細の説明。コンフィギュレーションでユーザが設定した VRF ID。	
10	axsVrfIpNetToMediaTable {axsVrfIp 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	IP アドレスから物理アドレスへのマッピングに使用される IP アドレス変換テーブル。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
11	axsVrfIpNetToMediaEntry {axsVrfIpNetToMediaTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	物理アドレスに対応した一つの IP アドレスのエントリ。 INDEX { axsVrfIpNetMediaVrfIndex, axsVrfIpNetToMediaIfIndex, axsVrfIpNetToMediaNetAddress }	
12	axsVrfIpNetMediaVrfIndex {axsVrfIpNetToMediaEntry 1}	INTEGER	R/O	該当 VRF の VRF インデックス。 VRF ごとにつけられたユニークな番号。 なお、ユーザが指定した該当 VRF の VRF インデックスは、 axsVrfIpNetToMediaDescr で表示されます。	
13	axsVrfIpNetToMediaIfIndex {axsVrfIpNetToMediaEntry 2}	INTEGER	R/O	有効となるインタフェース ID 番号。 ipNetToMediaPhysAddress を持つインタフェース ID 番号。	
14	axsVrfIpNetToMediaPhysAddresses {axsVrfIpNetToMediaEntry 3}	PhysAddresses	R/O	メディアに依存した物理アドレス。 ipNetToMediaIfIndex に対応し、IP 直下のアドレス。	
15	axsVrfIpNetToMediaNetAddresses {axsVrfIpNetToMediaEntry 4}	IpAddress	R/O	メディアに依存した物理アドレスに対応する IP アドレス。 ipNetToMediaIfIndex に対応する IP アドレス。	
16	axsVrfIpNetToMediaType {axsVrfIpNetToMediaEntry 5}	INTEGER	R/O	マッピングのタイプ。 • other (1) • invalid (2) • dynamic (3) • static (4) コンフィグレーションで設定した静的エントリ (4)、 動的エントリ (3)、 無効エントリ (2)、 その他、Inverse ARP 等のエントリ (1)、 ほかの VRF からインポートされたエントリは other になります。	
17	axsVrfIpNetToMediaDescr {axsVrfIpNetToMediaEntry 6}	DisplayString	R/O	該当 VRF の詳細の説明。コンフィグレーションでユーザが設定した VRF ID。	

3.8.2 axsVrfIpForward グループ

(1) 識別子

```
axsVrf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 11}

axsVrfIpForward OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVrf 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2
```

(2) 実装仕様

axsVrfIpForward グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-29 axsVrfIpForward グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVrfIpFwNoTable {axsVrfIpForward 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各 VRF に関する IPv4 経路数を格納するテーブル。	
2	axsVrfIpFwNoEntry {axsVrfIpFwNoTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各 VRF に関する IPv4 経路数のリスト。 INDEX {axsVrfIpFwNoVRFIndex}	
3	axsVrfIpFwNoVRFIndex {axsVrfIpFwNoEntry 1}	INTEGER	R/O	該当 VRF の VRF ID。	
4	axsVrfIpFwNo {axsVrfIpFwNoEntry 2}	INTEGER	R/O	この VRF の IPv4 経路数。	
5	axsVrfIpFwNoDescr {axsVrfIpFwNoEntry 3}	DisplayString	R/O	該当 VRF の詳細の説明。コンフィギュレーションでユーザが設定した VRF ID。	
6	axsVrfIpFwTable {axsVrfIpForward 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各 VRF に関する IPv4 経路情報を格納するテーブル。	
7	axsVrfIpFwEntry {axsVrfIpFwTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各 VRF に関する経路情報のリスト。 INDEX {axsVrfIpFwVRFIndex, axsVrfIpFwDest, axsVrfIpFwProto, axsVrfIpFwPolicy, axsVrfIpFwNextHop}	
8	axsVrfIpFwVRFIndex {axsVrfIpFwEntry 1}	INTEGER	R/O	この経路の VRF ID。	
9	axsVrfIpFwDest {axsVrfIpFwEntry 2}	IpAddress	R/O	この経路の宛先アドレス。	
10	axsVrfIpFwMask {axsVrfIpFwEntry 3}	IpAddress	R/O	宛先と論理積をとるためのマスク。	
11	axsVrfIpFwPolicy {axsVrfIpFwEntry 4}	INTEGER	R/O	複数のパスルートから一つを選択する条件 (通常は TOS)。 固定値 (0)。	
12	axsVrfIpFwNextHop {axsVrfIpFwEntry 5}	IpAddress	R/O	ルート上の次システムのアドレス。	
13	axsVrfIpFwIfIndex {axsVrfIpFwEntry 6}	INTEGER	R/O	この経路のネクストホップと接続されるローカルインタフェースの識別子。	
14	axsVrfIpFwType {axsVrfIpFwEntry 7}	INTEGER	R/O	この経路のタイプ。 • その他 (1) • 無効 (2) • ローカル (3) • リモート (4)	
15	axsVrfIpFwProto {axsVrfIpFwEntry 8}	INTEGER	R/O	この経路を学習したプロトコル。 • other (1) • local (2) • netmgmt (3) • rip (8) • ospf (13) • bgp (14)	
16	axsVrfIpFwAge {axsVrfIpFwEntry 9}	INTEGER	R/O	この経路が学習または更新されてからの経過時間 (単位: 秒)。	
17	axsVrfIpFwInfo {axsVrfIpFwEntry 10}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	経路のプロトコル別付加情報。 固定値 {0.0}。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
18	axsVrfIpFwNextHopAS {axsVrfIpFwEntry 11}	INTEGER	R/O	次ホップの自律システム番号。	
19	axsVrfIpFwMetric1 {axsVrfIpFwEntry 12}	INTEGER	R/O	この経路に対するメトリック。	
20	axsVrfIpFwMetric2 {axsVrfIpFwEntry 13}	INTEGER	R/O	この経路に対する代替メトリック。	
21	axsVrfIpFwMetric3 {axsVrfIpFwEntry 14}	INTEGER	R/O	この経路に対する代替メトリック。 固定値 (-1)。	
22	axsVrfIpFwMetric4 {axsVrfIpFwEntry 15}	INTEGER	R/O	この経路に対する代替メトリック。 固定値 (-1)。	
23	axsVrfIpFwMetric5 {axsVrfIpFwEntry 16}	INTEGER	R/O	この経路に対する代替メトリック。 固定値 (-1)。	
24	axsVrfIpFwDescr {axsVrfIpFwEntry 17}	DisplayString	R/O	該当 VRF の詳細の説明。コンフィギュレーションでユーザが設定した VRF ID。	

3.8.3 axsVrfIpv6 グループ

(1) 識別子

```
axsVrf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 11}
axsVrfIpv6 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVrf 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3
```

(2) 実装仕様

axsVrfIpv6 グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-30 axsVrfIpv6 グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVrfIpv6AddrTable {axsVrfIpv6 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VRF ごとのインタフェースアドレステーブル。	
2	axsVrfIpv6AddrEntry {axsVrfIpv6AddrTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VRF ごとのインタフェースアドレスエントリ。 INDEX {axsVrfIpv6AddrVrfIndex, axsVrfIpv6AddrIfIndex, axsVrfIpv6AddrAddress}	
3	axsVrfIpv6AddrVrfIndex {axsVrfIpv6AddrEntry 1}	INTEGER	R/O	該当 VRF の VRF インデックス。VRF ごとにつけられたユニークな番号。 なお、ユーザが指定した該当 VRF の VRF インデックスは axsVrfIpv6AddrDescr で表示されます。	
4	axsVrfIpv6AddrIfIndex {axsVrfIpv6AddrEntry 2}	INTEGER	R/O	インタフェースの ID 番号。 ポートの ifIndex。	
5	axsVrfIpv6AddrAddress {axsVrfIpv6AddrEntry 3}	Ipv6Address	R/O	IPv6 アドレス。	
6	axsVrfIpv6AddrPfxLength {axsVrfIpv6AddrEntry 4}	INTEGER	R/O	prefix レングス。	

3.8 axsVrfMIB グループ (VRF 情報 MIB)【OP-NPAR】

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
7	axsVrfIpv6AddrType {axsVrfIpv6AddrEntry 5}	INTEGER	R/O	アドレスタイプ。 • stateless (1) • stateful (2) • unknown (3)	
8	axsVrfIpv6AddrAnycastFlag {axsVrfIpv6AddrEntry 6}	TruthValue	R/O	Anycast アドレスかどうかのフラグ。 • true (1) • false (2)	
9	axsVrfIpv6AddrStatus {axsVrfIpv6AddrEntry 7}	INTEGER	R/O	アドレスステータス。 • preferred (1) • deprecated (2) • invalid (3) • inaccessible (4) • unknown (5)	
10	axsVrfIpv6AddrDescr {axsVrfIpv6AddrEntry 8}	DisplayString	R/O	該当 VRF の詳細の説明。コンフィギュレーションでユーザが設定した VRF ID。	
11	axsVrfIpv6AddrPrefixTable {axsVrfIpv6 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各 VRF に関する IPv6 インタフェースのアドレス prefix のテーブル。	
12	axsVrfIpv6AddrPrefixEntry {axsVrfIpv6AddrPrefixTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	prefix のエントリ。 INDEX { axsVrfIpv6AddrPrefixVrfIndex, axsVrfIpv6AddrPrefixIfIndex, axsVrfIpv6AddrPrefix, axsVrfIpv6AddrPrefixLength }	
13	axsVrfIpv6AddrPrefixVrfIndex {axsVrfIpv6AddrPrefixEntry 1}	INTEGER	NA	VRF ID。	
14	axsVrfIpv6AddrPrefixIfIndex {axsVrfIpv6AddrPrefixEntry 2}	INTEGER	NA	インタフェースのインデックス番号。	
15	axsVrfIpv6AddrPrefix {axsVrfIpv6AddrPrefixEntry 3}	Ipv6AddressPrefix	NA	prefix。	
16	axsVrfIpv6AddrPrefixLength {axsVrfIpv6AddrPrefixEntry 4}	INTEGER	NA	prefix の長さ (単位: ビット)。	
17	axsVrfIpv6AddrPrefixOnLinkFlag {axsVrfIpv6AddrPrefixEntry 5}	TruthValue	R/O	オンリンクフラグ。 • true (1) • false (2)	
18	axsVrfIpv6AddrPrefixAutonomousFlag {axsVrfIpv6AddrPrefixEntry 6}	TruthValue	R/O	自律設定有効フラグ。 • true (1) • false (2)	
19	axsVrfIpv6AddrPrefixAdvPreferredLifetime {axsVrfIpv6AddrPrefixEntry 7}	Unsigned32	R/O	推奨有効期間 (単位: 秒)。	
20	axsVrfIpv6AddrPrefixAdvValidLifetime {axsVrfIpv6AddrPrefixEntry 8}	Unsigned32	R/O	最終有効期間 (単位: 秒)。	
21	axsVrfIpv6NetToMediaTable {axsVrfIpv6 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VRF ごとの IPv6 アドレス変換テーブル。	
22	axsVrfIpv6NetToMediaEntry {axsVrfIpv6NetToMediaTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VRF ごとのフィジカルアドレスに対応した一つの IPv6 アドレスを含むエントリ。 INDEX { axsVrfIpv6NetToMediaVrfIndex, axsVrfIpv6NetToMediaIfIndex, axsVrfIpv6NetToMediaNetAddress }	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
23	axsVrfIpv6NetToMediaVrfIndex {axsVrfIpv6NetToMediaEntry 1}	INTEGER	R/O	該当 VRF の VRF インデックス。VRF ごとにつけられたユニークな番号。 なお、ユーザが指定した該当 VRF の VRF インデックスは axsVrfIpv6NetToMediaDescr で表示されます。	
24	axsVrfIpv6NetToMediaIfIndex {axsVrfIpv6NetToMediaEntry 2}	INTEGER	R/O	有効となるインタフェース ID 番号。 axsVrfIpv6NetToMediaPhysAddress を持つ インタフェース ID 番号。	
25	axsVrfIpv6NetToMediaNetAddress {axsVrfIpv6NetToMediaEntry 3}	Ipv6Address	R/O	メディアに依存した物理アドレスに対応する IPv6 アドレス。 axsVrfIpv6NetToMediaIfIndex に対応する IP アドレス。	
26	axsVrfIpv6NetToMediaPhysAddress {axsVrfIpv6NetToMediaEntry 4}	PhysAddress	R/O	メディアに依存した物理アドレス。 axsVrfIpv6NetToMediaIfIndex に対応し、 IPv6 直下のアドレス。	
27	axsVrfIpv6NetToMediaType {axsVrfIpv6NetToMediaEntry 5}	INTEGER	R/O	マッピングのタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • dynamic (2) • static (3) • local (4) ほかの VRF からインポートされたエントリ は other になります。	
28	axsVrfIpv6IfNetToMediaState {axsVrfIpv6NetToMediaEntry 6}	INTEGER	R/O	NDP テーブルの各エントリの到達可能性状態。 <ul style="list-style-type: none"> • reachable (1) • stale (2) • delay (3) • probe (4) • invalid (5) • unknown (6) ほかの VRF からインポートされたエントリ は unknown になります。	
29	axsVrfIpv6IfNetToMediaLastUpdated {axsVrfIpv6NetToMediaEntry 7}	TimeStamp	R/O	NDP テーブルの各エントリが最後に更新された時の sysUpTime (0 固定)。	
30	axsVrfIpv6NetToMediaValid {axsVrfIpv6NetToMediaEntry 8}	TruthValue	R/O	エントリが有効かどうかを示すフラグ (true 固定)。	
31	axsVrfIpv6NetToMediaDescr {axsVrfIpv6NetToMediaEntry 9}	DisplayString	R/O	該当 VRF の詳細の説明。コンフィギュレーションで ユーザが設定した VRF ID。	

3.8.4 axsVrfIpv6Forward グループ

(1) 識別子

```
axsVrf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 11}
```

```
axsVrfIpv6Forward OBJECT IDENTIFIER ::= {axsVrf 4}
```

```
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4
```

(2) 実装仕様

axsVrfIpv6Forward グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-31 axsVrfIpv6Forward グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsVrfIpv6FwNoTable {axsVrfIpv6Forward 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各 VRF に関する IPv6 経路数を格納するテーブル。	
2	axsVrfIpv6FwNoEntry {axsVrfIpv6FwNoTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各 VRF に関する IPv6 経路数のリスト。 INDEX {axsVrfIpv6FwNoVrfIndex}	
3	axsVrfIpv6FwNoVrfIndex {axsVrfIpv6FwNoEntry 1}	INTEGER	R/O	該当 VRF の VRF ID。	
4	axsVrfIpv6FwNo {axsVrfIpv6FwNoEntry 2}	INTEGER	R/O	この VRF の IPv6 経路数。	
5	axsVrfIpv6FwNoDescr {axsVrfIpv6FwNoEntry 3}	DisplayString	R/O	該当 VRF の詳細の説明。コンフィギュレーションでユーザが設定した VRF ID。	
6	axsVrfIpv6FwTable {axsVrfIpv6Forward 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各 VRF に関する IPv6 経路情報を格納するテーブル。	
7	axsVrfIpv6FwEntry {axsVrfIpv6FwTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各 VRF に関する経路情報のリスト。 INDEX {axsVrfIpv6FwVrfIndex, axsVrfIpv6FwDest, axsVrfIpv6FwProto, axsVrfIpv6FwPolicy, axsVrfIpv6FwNextHop}	
8	axsVrfIpv6FwVrfIndex {axsVrfIpv6FwEntry 1}	INTEGER	R/O	この経路の VRF ID。	
9	axsVrfIpv6FwDest {axsVrfIpv6FwEntry 2}	Ipv6Address	R/O	この経路の宛先アドレス。	
10	axsVrfIpv6FwPfxLength {axsVrfIpv6FwEntry 3}	INTEGER	R/O	この経路のプレフィックス長。	
11	axsVrfIpv6FwPolicy {axsVrfIpv6FwEntry 4}	INTEGER	R/O	複数のパスルートから一つを選択する条件 (通常は TOS)。 固定値 (0)。	
12	axsVrfIpv6FwNextHop {axsVrfIpv6FwEntry 5}	Ipv6Address	R/O	ルート上の次システムのアドレス。	
13	axsVrfIpv6FwIfIndex {axsVrfIpv6FwEntry 6}	INTEGER	R/O	この経路のネクストホップと接続されるローカルインタフェースの識別子。	
14	axsVrfIpv6FwType {axsVrfIpv6FwEntry 7}	INTEGER	R/O	この経路のタイプ。 • その他 (1) • 無効 (2) • ローカル (3) • リモート (4)	
15	axsVrfIpv6FwProto {axsVrfIpv6FwEntry 8}	INTEGER	R/O	この経路を学習したプロトコル。 • other (1) • local (2) • netmgmt (3) • rip (8) • ospf (13) • bgp (14)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
16	axsVrfIpv6FwAge {axsVrfIpv6FwEntry 9}	INTEGER	R/O	この経路が学習または更新されてからの経過時間 (単位: 秒)	
17	axsVrfIpv6FwInfo {axsVrfIpv6FwEntry 10}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	経路の protocol 別付加情報。固定値 {0.0}。	
18	axsVrfIpv6FwNextHopAS {axsVrfIpv6FwEntry 11}	INTEGER	R/O	次ホップの自律システム番号。	
19	axsVrfIpv6FwMetric1 {axsVrfIpv6FwEntry 12}	INTEGER	R/O	この経路に対するメトリック。	
20	axsVrfIpv6FwMetric2 {axsVrfIpv6FwEntry 13}	INTEGER	R/O	この経路に対する代替メトリック。	
21	axsVrfIpv6FwMetric3 {axsVrfIpv6FwEntry 14}	INTEGER	R/O	この経路に対する代替メトリック。固定値 (-1)。	
22	axsVrfIpv6FwMetric4 {axsVrfIpv6FwEntry 15}	INTEGER	R/O	この経路に対する代替メトリック。固定値 (-1)。	
23	axsVrfIpv6FwMetric5 {axsVrfIpv6FwEntry 16}	INTEGER	R/O	この経路に対する代替メトリック。固定値 (-1)。	
24	axsVrfIpv6FwDescr {axsVrfIpv6FwEntry 17}	DisplayString	R/O	該当 VRF の詳細の説明。コンフィギュレーションでユーザが設定した VRF ID。	

3.9 axsOspfMIB グループ (マルチバックボーン OSPF 情報 MIB)

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

3.9.1 axsOspfGeneralTable

(1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfGeneralTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1
```

(2) 実装仕様

axsOspfGeneralTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-32 axsOspfGeneralTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfGeneralTable {axsOspf 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPF 情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfGeneralEntry {axsOspfGeneralTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPF 情報のリスト。 INDEX {axsOspfGeneralDomainNumber}	
3	axsOspfGeneralDomainNumber {axsOspfGeneralEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfRouterId {axsOspfGeneralEntry 2}	IpAddress	R/O	ルータのルータ識別子。	
5	axsOspfAdminStat {axsOspfGeneralEntry 3}	INTEGER	R/O	ルータの OSPF 管理状態。 • enabled (1) • disabled (2)	
6	axsOspfVersionNumber {axsOspfGeneralEntry 4}	INTEGER	R/O	OSPF プロトコルのバージョン番号。2 固定。	
7	axsOspfAreaBdrRtrStatus {axsOspfGeneralEntry 5}	INTEGER	R/O	そのルータがエリアボーダルータかどうかを示します。 • true (1) • false (2)	
8	axsOspfASBdrRtrStatus {axsOspfGeneralEntry 6}	INTEGER	R/O	そのルータが AS バウンダリルータかどうかを示します。 • true (1) • false (2)	
9	axsOspfExternLsaCount {axsOspfGeneralEntry 7}	Gauge	R/O	リンク状態データベース (LSDB) 中の外部リンク状態広告 (LSA) の数。	
10	axsOspfExternLsaCksumSum {axsOspfGeneralEntry 8}	INTEGER	R/O	LSDB 中の外部 LSA の LS チェックサムの合計。	
11	axsOspfTOSSupport {axsOspfGeneralEntry 9}	INTEGER	R/O	そのルータが TOS ベースルーティングをサポートするかどうかのフラグ。false (2) 固定。 • true (1) • false (2)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
12	axsOspfOriginateNewLsas {axsOspfGeneralEntry 10}	Counter	R/O	生成された新しい LSA の数。	
13	axsOspfRxNewLsas {axsOspfGeneralEntry 11}	Counter	R/O	新しい情報を持った LSA を受信した回数。	
14	axsOspfExtLsdbLimit {axsOspfGeneralEntry 12}	INTEGER	R/O	LSDB 内に格納できる AS 外部 LSA の最大エントリ数。-1 の場合、制限なし。-1 固定。	
15	axsOspfMulticastExtensions {axsOspfGeneralEntry 13}	INTEGER	R/O	マルチキャスト拡張版 OSPF のマルチキャストフォワーディングアルゴリズムをビットマップ値で示す。0 は、マルチキャストフォワーディング非サポート。ただし、マルチキャストフォワーディング非サポート (0) 固定。	

3.9.2 axsOspfAreaTable

(1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}
axsOspfAreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2
```

(2) 実装仕様

axsOspfAreaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-33 axsOspfAreaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfAreaTable {axsOspf 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfAreaEntry {axsOspfAreaTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各エリアの情報リスト。 INDEX { axsOspfAreaDomainNumber, axsOspfAreaId }	
3	axsOspfAreaDomainNumber {axsOspfAreaEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfAreaId {axsOspfAreaEntry 2}	IpAddress	R/O	エリアを識別する番号。	
5	axsOspfAuthType {axsOspfAreaEntry 3}	INTEGER	R/O	そのエリアで採用する認証のタイプ。 • なし (0) • シンプルパスワード (1) • md5 (2)	
6	axsOspfImportAsExtern {axsOspfAreaEntry 4}	INTEGER	R/O	そのルータが AS 外部リンク状態広告 (LSA) の取り込みを行うかどうかのフラグ。 • importExternal (1) • importNoExternal (2) • importNssa (3)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	axsOspfSpfRuns {axsOspfAreaEntry 5}	Counter	R/O	このエリアのリンク状態データベース (LSDB) を使用してエリア内ルートが計算された回数。	
8	axsOspfAreaBdrRtrCount {axsOspfAreaEntry 6}	Gauge	R/O	このエリア内で到達できるエリアボーダ ルータの合計数。	
9	axsOspfAsBdrRtrCount {axsOspfAreaEntry 7}	Gauge	R/O	このエリア内で到達できる AS バウンダリ ルータの合計数。	
10	axsOspfAreaLsaCount {axsOspfAreaEntry 8}	Gauge	R/O	AS 外部 LSA を除く、このエリアの LSDB 中の LSA の数。	
11	axsOspfAreaLsaCksumSum {axsOspfAreaEntry 9}	INTEGER	R/O	このエリアの LSDB に含まれる LSA の LS チェックサムの合計。	
12	axsOspfAreaSummary {axsOspfAreaEntry 10}	INTEGER	R/O	スタブエリアへのサマリー LSA のインポ ート制御に関する変数値。 • noAreaSummary (1) • sendAreaSummary (2)	
13	axsOspfAreaStatus {axsOspfAreaEntry 11}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	

3.9.3 axsOspfStubAreaTable

(1) 識別子

axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfStubAreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3

(2) 実装仕様

axsOspfStubAreaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-34 axsOspfStubAreaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfStubAreaTable {axsOspf 3}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	エリアボーダルータによってスタブエリア 内に広告される情報のテーブル。	
2	axsOspfStubAreaEntry {axsOspfStubAreaTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	各スタブエリアの情報リスト。 INDEX {axsOspfStubDomainNumber, axsOspfStubAreaId, axsOspfStubTOS}	
3	axsOspfStubDomainNumber {axsOspfStubAreaEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfStubAreaId {axsOspfStubAreaEntry 2}	IpAddress	R/O	スタブエリアの ID。	
5	axsOspfStubTOS {axsOspfStubAreaEntry 3}	INTEGER	R/O	そのスタブエリアでのサービスのタイプ。 ただし、0 固定。	
6	axsOspfStubMetric {axsOspfStubAreaEntry 4}	INTEGER	R/O	そのスタブエリアでのサービスタイプに対 応したメトリック。	
7	axsOspfStubStatus {axsOspfStubAreaEntry 5}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
8	axsOspfStubMetricType {axsOspfStubAreaEntry 6}	INTEGER	R/O	デフォルトルートとして広告したメトリックのタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> ospfMetric (1) comparableCost (2) nonComparable (3) 	

3.9.4 axsOspfLsdbTable

(1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}
axsOspfLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4
```

(2) 実装仕様

axsOspfLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-35 axsOspfLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfLsdbTable {axsOspf 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPF プロセスのリンク状態データベース (LSDB) に関する情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfLsdbEntry {axsOspfLsdbTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {axsOspfLsdbDomainNumber, axsOspfLsdbAreaId, axsOspfLsdbType, axsOspfLsdbLsid, axsOspfLsdbRouterId}	
3	axsOspfLsdbDomainNumber {axsOspfLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfLsdbAreaId {axsOspfLsdbEntry 2}	IpAddress	R/O	この LSA の受信元エリアのエリア ID。	
5	axsOspfLsdbType {axsOspfLsdbEntry 3}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> ルータ (1) ネットワーク (2) サマリー (3) AS サマリー (4) AS 外部リンク (5) マルチキャスト (6) nssa 外部リンク (7) 	
6	axsOspfLsdbLsid {axsOspfLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	個々のルーティングドメインを識別する ID。	
7	axsOspfLsdbRouterId {axsOspfLsdbEntry 5}	IpAddress	R/O	LSA を生成したルータの ID。	
8	axsOspfLsdbSequence {axsOspfLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	
9	axsOspfLsdbAge {axsOspfLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	この LSA が生成されてからの経過時間 (単位: 秒)。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
10	axsOspfLsdbChecksum {axsOspfLsdbEntry 8}	INTEGER	R/O	この LSA のチェックサム。	
11	axsOspfLsdbAdvertisement {axsOspfLsdbEntry 9}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む LSA の全体。	

3.9.5 axsOspfAreaRangeTable

(1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}
axsOspfAreaRangeTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5
```

(2) 実装仕様

axsOspfAreaRangeTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-36 axsOspfAreaRangeTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfAreaRangeTable {axsOspf 5}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfAreaRangeEntry {axsOspfAreaRangeTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ルータが接続するエリア内に存在するアドレスの範囲の情報を格納するリスト。 INDEX { axsOspfAreaRangeDomainNumber, axsOspfAreaRangeAreaId, axsOspfAreaRangeNet }	
3	axsOspfAreaRangeDomainNumber {axsOspfAreaRangeEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfAreaRangeAreaId {axsOspfAreaRangeEntry 2}	IpAddress	R/O	属するエリアの ID。	
5	axsOspfAreaRangeNet {axsOspfAreaRangeEntry 3}	IpAddress	R/O	この範囲内のネット / サブネットの IP アドレス。	
6	axsOspfAreaRangeMask {axsOspfAreaRangeEntry 4}	IpAddress	R/O	axsOspfAreaRangeNet にかけるべきサブネットマスク。	
7	axsOspfAreaRangeStatus {axsOspfAreaRangeEntry 5}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	
8	axsOspfAreaRangeEffect {axsOspfAreaRangeEntry 6}	INTEGER	R/O	広告するエリアの範囲を示します。 • エリア外に広告されるサブネット (1) • エリア外に広告しないサブネット (2)	

3.9.6 axsOspfIfTable

(1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}
axsOspfIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7
```


(2) 実装仕様

axsOspfIfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-37 axsOspfIfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfIfTable {axsOspf 7}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfIfEntry {axsOspfIfTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリスト。 INDEX { axsOspfIfDomainNumber, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf }	
3	axsOspfIfDomainNumber {axsOspfIfEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfIfIpAddress {axsOspfIfEntry 2}	IpAddress	R/O	この OSPF インタフェースの IP アドレス。	
5	axsOspfAddressLessIf {axsOspfIfEntry 3}	INTEGER	R/O	このインタフェースがアドレスレスインタフェースであるときに有効な、インタフェースの識別子。	
6	axsOspfIfAreaId {axsOspfIfEntry 4}	IpAddress	R/O	このインタフェースが接続しているエリアのエリア ID。	
7	axsOspfIfType {axsOspfIfEntry 5}	INTEGER	R/O	インタフェースタイプ。 • ブロードキャスト (1) • ノンブロードキャスト (2) • Point-Point (3) • Point-Multipoint (5)	
8	axsOspfIfAdminStat {axsOspfIfEntry 6}	INTEGER	R/O	インタフェースの管理状態。 • enabled (1) • disabled (2)	
9	axsOspfIfRtrPriority {axsOspfIfEntry 7}	INTEGER	R/O	このインタフェースのプライオリティ。	
10	axsOspfIfTransitDelay {axsOspfIfEntry 8}	INTEGER	R/O	このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間 (単位: 秒)。	
11	axsOspfIfRetransInterval {axsOspfIfEntry 9}	INTEGER	R/O	リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔 (単位: 秒)。	
12	axsOspfIfHelloInterval {axsOspfIfEntry 10}	INTEGER	R/O	Hello パケットの送信間隔 (単位: 秒)。	
13	axsOspfIfRtrDeadInterval {axsOspfIfEntry 11}	INTEGER	R/O	Hello パケットの最大許容受信間隔 (単位: 秒)。	
14	axsOspfIfPollInterval {axsOspfIfEntry 12}	INTEGER	R/O	非ブロードキャスト多重アクセスネットワーク上の、不活動隣接局への Hello パケット送信間隔 (単位: 秒)。	
15	axsOspfIfState {axsOspfIfEntry 13}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 • down (1) • loopback (2) • waiting (3) • PtoP (4) • DR (5) • BDR (6) • other (7)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
16	axsOspfIfDesignatedRouter {axsOspfIfEntry 14}	IpAddress	R/O	ディジグネーテッドルータの IP アドレス。	
17	axsOspfIfBackupDesignatedRouter {axsOspfIfEntry 15}	IpAddress	R/O	バックアップディジグネーテッドルータの IP アドレス。	
18	axsOspfIfEvents {axsOspfIfEntry 16}	Counter	R/O	このインタフェースで状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	
19	axsOspfIfAuthKey {axsOspfIfEntry 17}	OCTET STRING	R/O	このインタフェースでの認証キー。	
20	axsOspfIfStatus {axsOspfIfEntry 18}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	
21	axsOspfIfMulticastForwarding {axsOspfIfEntry 19}	INTEGER	R/O	このインタフェースでマルチキャストする方法。 blocked (1) 固定。 • blocked (1) • multicast (2) • unicast (3)	

3.9.7 axsOspfIfMetricTable

(1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}
axsOspfIfMetricTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8
```

(2) 実装仕様

axsOspfIfMetricTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-38 axsOspfIfMetricTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfIfMetricTable {axsOspf 8}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各インタフェースのサービスタイプメトリック情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfIfMetricEntry {axsOspfIfMetricTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各インタフェースのサービスタイプメトリックの情報リスト。 INDEX { axsOspfIfMetricDomainNumber, axsOspfIfMetricIpAddress, axsOspfIfMetricAddressLessIf, axsOspfIfMetricTOS }	
3	axsOspfIfMetricDomainNumber {axsOspfIfMetricEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfIfMetricIpAddress {axsOspfIfMetricEntry 2}	IpAddress	R/O	この OSPF インタフェースの IP アドレス。	
5	axsOspfIfMetricAddressLessIf {axsOspfIfMetricEntry 3}	INTEGER	R/O	このインタフェースがアドレスレスインタフェースであるときに有効なインタフェースの識別子。	
6	axsOspfIfMetricTOS {axsOspfIfMetricEntry 4}	INTEGER	R/O	このインタフェースのサービスのタイプ。 0 固定。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	axsOspfIfMetricValue {axsOspfMetricEntry 5}	INTEGER	R/O	このインタフェースのこのサービスタイプのメトリック。	
8	axsOspfIfMetricStatus {axsOspfMetricEntry 6}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	

3.9.8 axsOspfVirtIfTable

(1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}
```

```
axsOspfVirtIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 9}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9
```

(2) 実装仕様

axsOspfVirtIfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-39 axsOspfVirtIfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfVirtIfTable {axsOspf 9}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfVirtIfEntry {axsOspfVirtIfTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各仮想インタフェースの情報リスト。 INDEX { axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor }	
3	axsOspfVirtIfDomainNumber {axsOspfVirtIfEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfVirtIfAreaId {axsOspfVirtIfEntry 2}	IpAddress	R/O	その仮想リンクが通過するエリアのエリア ID。	
5	axsOspfVirtIfNeighbor {axsOspfVirtIfEntry 3}	IpAddress	R/O	仮想の隣接ルータのルータ ID。	
6	axsOspfVirtIfTransitDelay {axsOspfVirtIfEntry 4}	INTEGER	R/O	このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するために必要とされる時間 (単位: 秒)。	
7	axsOspfVirtIfRetransInterval {axsOspfVirtIfEntry 5}	INTEGER	R/O	リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔 (単位: 秒)。	
8	axsOspfVirtIfHelloInterval {axsOspfVirtIfEntry 6}	INTEGER	R/O	Hello パケットの送信間隔 (単位: 秒)。	
9	axsOspfVirtIfRtrDeadInterval {axsOspfVirtIfEntry 7}	INTEGER	R/O	Hello パケットの最大許容受信間隔 (単位: 秒)。	
10	axsOspfVirtIfState {axsOspfVirtIfEntry 8}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 • down (1) • PtoP (4)	
11	axsOspfVirtIfEvents {axsOspfVirtIfEntry 9}	Counter	R/O	このインタフェースで状態が変わったか、エラーが発生した回数。	
12	axsOspfVirtIfAuthKey {axsOspfVirtIfEntry 10}	OCTET STRING	R/O	このインタフェースでの認証キー。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
13	axsOspfVirtIfStatus {axsOspfVirtIfEntry 1}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	

3.9.9 axsOspfNbrTable

(1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}
axsOspfNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 10}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10
```

(2) 実装仕様

axsOspfNbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-40 axsOspfNbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfNbrTable {axsOspf 10}	NOT-ACCESSIBLE	NA	仮想ではない隣接局の情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfNbrEntry {axsOspfNbrTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各隣接局の情報リスト。 INDEX {axsOspfNbrDomainNumber, axsOspfNbrIpAddress, axsOspfNbrAddressLessIndex}	
3	axsOspfNbrDomainNumber {axsOspfNbrEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfNbrIpAddress {axsOspfNbrEntry 2}	IpAddress	R/O	隣接ルータの IP アドレス。	
5	axsOspfNbrAddressLessIndex {axsOspfNbrEntry 3}	INTEGER	R/O	隣接ルータのインタフェースがアドレスインタフェースであるときに有効な、インタフェースの識別子。	
6	axsOspfNbrRtrId {axsOspfNbrEntry 4}	IpAddress	R/O	隣接ルータのルータ ID。	
7	axsOspfNbrOptions {axsOspfNbrEntry 5}	INTEGER	R/O	隣接ルータのオプション実行能力。 • Bit 0 : サービスタイプベースルーティング • Bit 1 : 外部エリアの処理 • Bit 2 : IP マルチキャストルーティング • Bit 3 : NSSA と関係したエリア	
8	axsOspfNbrPriority {axsOspfNbrEntry 6}	INTEGER	R/O	隣接ルータのプライオリティ。	
9	axsOspfNbrState {axsOspfNbrEntry 7}	INTEGER	R/O	この隣接ルータとの関係を表す状態。 • down (1) • attempt (2) • init (3) • twoWay (4) • exchangeStart (5) • exchange (6) • loading (7) • full (8)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
10	axsOspfNbrEvents {axsOspfNbrEntry 8}	Counter	R/O	隣接ルータとの関係で、状態が変わったか、エラーが発生した回数。	
11	axsOspfNbrLsRetransQLen {axsOspfNbrEntry 9}	Gauge	R/O	再送キューの現在の長さ。	
12	axsOspfNbmaNbrStatus {axsOspfNbrEntry 10}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。 axsOspfIfType が nbma 時だけアクセス可。	
13	axsOspfNbmaNbrPermanence {axsOspfNbrEntry 11}	INTEGER	R/O	隣接ルータとルーティングする方法。 • dynamic (1) • permanent (2)	

3.9.10 axsOspfVirtNbrTable

(1) 識別子

axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfVirtNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 11}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11

(2) 実装仕様

axsOspfVirtNbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-41 axsOspfVirtNbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfVirtNbrTable {axsOspf 11}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfVirtNbrEntry {axsOspfVirtNbrTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	各仮想隣接ルータの情報リスト。 INDEX { axsOspfVirtNbrDomainNumber, axsOspfVirtNbrArea, axsOspfVirtNbrRtrId }	
3	axsOspfVirtNbrDomainNumber {axsOspfVirtNbrEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfVirtNbrArea {axsOspfVirtNbrEntry 2}	IpAddress	R/O	通過するエリアのエリア ID。	
5	axsOspfVirtNbrRtrId {axsOspfVirtNbrEntry 3}	IpAddress	R/O	仮想隣接ルータのルータ ID。	
6	axsOspfVirtNbrIpAddr {axsOspfVirtNbrEntry 4}	IpAddress	R/O	仮想隣接ルータの IP アドレス。	
7	axsOspfVirtNbrOptions {axsOspfVirtNbrEntry 5}	INTEGER	R/O	仮想隣接ルータのオプション実行能力。 • Bit 1 : サービスタイプベースルーティング • Bit 2 : IP マルチキャストルーティング	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
8	axsOspfVirtNbrState {axsOspfVirtNbrEntry 6}	INTEGER	R/O	この仮想隣接ルータとの関係を表す状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • attempt (2) • init (3) • twoWay (4) • exchangeStart (5) • exchange (6) • loading (7) • full (8) 	
9	axsOspfVirtNbrEvents {axsOspfVirtNbrEntry 7}	Counter	R/O	この仮想リンクの状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	
10	axsOspfVirtNbrLsRetransQLen {axsOspfVirtNbrEntry 8}	Gauge	R/O	再送キューの現在の長さ。	

3.9.11 axsOspfExtLsdbTable

(1) 識別子

axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}

axsOspfExtLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 12}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12

(2) 実装仕様

axsOspfExtLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-42 axsOspfExtLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfExtLsdbTable {axsOspf 12}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPF 処理のリンク状態データベース (LSDB) のテーブル。	
2	axsOspfExtLsdbEntry {axsOspfExtLsdbTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {axsOspfExtLsdbDomainNumber, axsOspfExtLsdbType, axsOspfExtLsdbLsid, axsOspfExtLsdbRouterId}	
3	axsOspfExtLsdbDomainNumber {axsOspfExtLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfExtLsdbType {axsOspfExtLsdbEntry 2}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 • asExternalLink (5)	
5	axsOspfExtLsdbLsid {axsOspfExtLsdbEntry 3}	IpAddress	R/O	リンクステータス ID。リンクステータス ID はルータ ID または IP アドレスのどちらかを含むフィールドです。	
6	axsOspfExtLsdbRouterId {axsOspfExtLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	自律システム内の生成元ルータを一意に識別するための 32 ビット番号。	
7	axsOspfExtLsdbSequence {axsOspfExtLsdbEntry 5}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	
8	axsOspfExtLsdbAge {axsOspfExtLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	LSA が生成されてからの経過時間 (単位: 秒)。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
9	axsOspfExtLsdbChecksum {axsOspfExtLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	Age フィールドを含めない、広告内容のチェックサム。	
10	axsOspfExtLsdbAdvertisement {axsOspfExtLsdbEntry 8}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む完全な全体 LSA。	

3.9.12 axsOspfAreaAggregateTable

(1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}
```

```
axsOspfAreaAggregateTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 14}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14
```

(2) 実装仕様

axsOspfAreaAggregateTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-43 axsOspfAreaAggregateTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfAreaAggregateTable {axsOspf 14}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのテーブル。	
2	axsOspfAreaAggregateEntry {axsOspfAreaAggregateTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	IP アドレスと IP サブネットマスクを対として指定した IP アドレスのリスト。 INDEX { axsOspfAreaAggregateDomainNumber, axsOspfAreaAggregateAreaID, axsOspfAreaAggregateLsdbType, axsOspfAreaAggregateNet, axsOspfAreaAggregateMask }	
3	axsOspfAreaAggregateDomain Number {axsOspfAreaAggregateEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfAreaAggregateAreaID {axsOspfAreaAggregateEntry 2}	IpAddress	R/O	アドレス集約したエリア。	
5	axsOspfAreaAggregateLsdbType {axsOspfAreaAggregateEntry 3}	INTEGER	R/O	アドレス集約のタイプ。このエントリは、このアドレス集約に適用されるリンク状態データベース (LSDB) のタイプを示します。 • summaryLink (3) • nssaExternalLink (7)	
6	axsOspfAreaAggregateNet {axsOspfAreaAggregateEntry 4}	IpAddress	R/O	ネットワークまたはサブネットの IP アドレス。	
7	axsOspfAreaAggregateMask {axsOspfAreaAggregateEntry 5}	IpAddress	R/O	ネットワークまたはサブネットに関するサブネットマスク。	
8	axsOspfAreaAggregateStatus {axsOspfAreaAggregateEntry 6}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
9	axsOspfAreaAggregateEffect {axsOspfAreaAggregateEntry 7}	INTEGER	R/O	範囲に包括されるサブネットが集約アドレスを広告する契機となるか、エリア外に広告されないサブネットとなるかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • advertiseMatching (1) • doNotAdvertiseMatching (2) 	

3.9.13 axsOspfTrap

(1) 識別子

```
axsOspf OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 14}
axsOspfTrap OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf 16}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16
```

(2) 実装仕様

axsOspfTrap グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-44 axsOspfAreaAggregateTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfTrapControlTable {axsOspfTrap 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	トラップおよびインフォームに関する取得情報。	
2	axsOspfTrapControlEntry {axsOspfTrapControlTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	トラップおよびインフォームに関する取得情報リスト。 INDEX {axsOspfTrapDomainNumber}	
3	axsOspfTrapDomainNumber {axsOspfTrapControlEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPF ドメイン番号。	
4	axsOspfSetTrap {axsOspfTrapControlEntry 2}	OCTET STRING (SIZE(4))	R/O	トラップおよびインフォームが可能なイベントを示すビットマップ。各ビットが axsOspfTraps のオブジェクトを示す (0x100fe 固定)。 2 ¹ ビット (0x00000002): axsOspfVirtIfStateChange ~ 2 ¹⁶ ビット (0x00010000): axsOspfIfStateChange	
5	axsOspfConfigErrorType {axsOspfTrapControlEntry 3}	INTEGER	R/O	最後に発生したエラーイベント。 <ul style="list-style-type: none"> • noError (0) • badVersion (1) • areaMismatch (2) • unknownNbmaNbr (3) • unknownVirtualNbr (4) • authTypeMismatch (5) • authFailure (6) • netMaskMismatch (7) • helloIntervalMismatch (8) • deadIntervalMismatch (9) • optionMismatch (10) 	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	axsOspfPacketType {axsOspfTrapControlEntry 4}	INTEGER	R/O	最後のエラーパケット種別。 <ul style="list-style-type: none"> • noError (0) • hello (1) • dbDescript (2) • lsReq (3) • lsUpdate (4) • lsAck (5) 	
7	axsOspfPacketSrc {axsOspfTrapControlEntry 5}	IpAddress	R/O	最後のエラーパケットの送信元アドレス。 エラーイベントが発生していない場合は 0.0.0.0。	
8	axsOspfTraps {axsOspfTrap 2}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	トラップ広告。	

3.10 axsOspf3MIB グループ (マルチバックボーン OSPFv3 情報 MIB)

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

3.10.1 axsOspf3GeneralTable

(1) 識別子

```
axsOspf3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}
```

```
axsOspf3GeneralTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf3 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1
```

(2) 実装仕様

axsOspf3GeneralTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-45 axsOspf3GeneralTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspf3GeneralTable {axsOspf3 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPFv3 情報を格納するテーブル。	
2	axsOspf3GeneralEntry {axsOspf3GeneralTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	OSPFv3 情報のリスト。 INDEX {axsOspf3GeneralDomainNumber}	
3	axsOspf3GeneralDomainNumber {axsOspf3GeneralEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspf3RouterId {axsOspf3GeneralEntry 2}	IpAddress	R/O	ルータのルータ識別子。	
5	axsOspf3AdminStat {axsOspf3GeneralEntry 3}	INTEGER	R/O	ルータの OSPFv3 管理状態。 • enabled (1) • disabled (2)	
6	axsOspf3VersionNumber {axsOspf3GeneralEntry 4}	INTEGER	R/O	OSPFv3 プロトコルのバージョン番号。3 固定。	
7	axsOspf3AreaBdrRtrStatus {axsOspf3GeneralEntry 5}	INTEGER	R/O	そのルータがエリアボーダールータかどうかを示します。 • true (1) • false (2)	
8	axsOspf3ASBdrRtrStatus {axsOspf3GeneralEntry 6}	INTEGER	R/O	そのルータが AS バウンダリルータかどうかを示します。 • true (1) • false (2)	
9	axsOspf3AsScopeLsaCount {axsOspf3GeneralEntry 7}	Gauge	R/O	リンク状態データベース (LSDB) 中の外部リンク状態広告 (LSA) の数。	
10	axsOspf3AsScopeLsaChecksum {axsOspf3GeneralEntry 8}	INTEGER	R/O	LSDB 中の AsScopeLSA の LS チェックサムの合計。	
11	axsOspf3OriginateNewLsas {axsOspf3GeneralEntry 9}	Counter	R/O	生成された新しい LSA の数。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
12	axsOspfV3RxNewLsas {axsOspfV3GeneralEntry 10}	Counter	R/O	新しい情報を持った LSA を受信した回数。	
13	axsOspfV3ExtAreaLsdbLimit {axsOspfV3GeneralEntry 11}	INTEGER	R/O	LSDB 内に格納できる AS 外部 LSA の最大エントリ数。-1 の場合、制限なし。-1 固定。	
14	axsOspfV3MulticastExtensions {axsOspfV3GeneralEntry 12}	INTEGER	R/O	マルチキャスト拡張版 OSPFv3 のマルチキャストフォワーディングアルゴリズムをビットマップ値で示す。0 は、マルチキャストフォワーディング非サポート。ただし、マルチキャストフォワーディング非サポート (0) 固定。	
15	axsOspfV3DemandExtensions {axsOspfV3GeneralEntry 14}	INTEGER	R/O	このルータでの Demand ルーティングのサポート。 false (2) 固定。	
16	axsOspfV3TrafficEngineeringSupport {axsOspfV3GeneralEntry 15}	INTEGER	R/O	このルータでのトラフィックエンジニアリング拡張のサポート。false (2) 固定。	

3.10.2 axsOspfV3AreaTable

(1) 識別子

```
axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}
```

```
axsOspfV3AreaTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 2}  
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2
```

(2) 実装仕様

axsOspfV3AreaTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-46 axsOspfV3AreaTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3AreaTable {axsOspfV3 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する各エリアに関する情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfV3AreaEntry {axsOspfV3AreaTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各エリアの情報リスト。 INDEX {axsOspfV3AreaDomainNumber, axsOspfV3AreaId}	
3	axsOspfV3AreaDomainNumber {axsOspfV3AreaEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspfV3AreaId {axsOspfV3AreaEntry 2}	IpAddress	R/O	エリアを識別する番号。	
5	axsOspfV3ImportAsExtern {axsOspfV3AreaEntry 3}	INTEGER	R/O	そのルータが AS 外部リンク状態広告 (LSA) の取り込みを行うかどうかのフラグ。 • importExternal (1) • importNoExternal (2) • importNssa (3)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	axsOspfV3SpfRuns {axsOspfV3AreaEntry 4}	Counter	R/O	このエリアのリンク状態データベース (LSDB) を使用してエリア内ルートが計算された回数。	
7	axsOspfV3AreaBdrRtrCount {axsOspfV3AreaEntry 5}	Gauge	R/O	このエリア内で到達できるエリアボーダ ルータの合計数。	
8	axsOspfV3AsBdrRtrCount {axsOspfV3AreaEntry 6}	Gauge	R/O	このエリア内で到達できる AS パウンダリ ルータの合計数。	
9	axsOspfV3AreaScopeLsaCount {axsOspfV3AreaEntry 7}	Gauge	R/O	このエリアの LSDB 中の AreaScope LSA の数。	
10	axsOspfV3AreaScopeLsaCksum Sum {axsOspfV3AreaEntry 8}	INTEGER	R/O	このエリアの LSDB 中の AreaScope LSA の LS チェックサムの合計。	
11	axsOspfV3AreaSummary {axsOspfV3AreaEntry 9}	INTEGER	R/O	スタブエリアへのサマリー LSA のインポ ート制御に関する変数値。 • noAreaSummary (1) • sendAreaSummary (2)	
12	axsOspfV3AreaStatus {axsOspfV3AreaEntry 10}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	
13	axsOspfV3StubMetric {axsOspfV3AreaEntry 11}	INTEGER	R/O	Stub または NSSA エリアに広告するデ フォルトルートメトリック値。	

3.10.3 axsOspfV3AsLsdbTable

(1) 識別子

```
axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}
```

```
axsOspfV3AsLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3
```

(2) 実装仕様

axsOspfV3AsLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-47 axsOspfV3AsLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3AsLsdbTable {axsOspfV3 3}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	OSPFv3 プロセスの AS Scope リンク状態 データベースに関する情報を格納するテー ブル。	
2	axsOspfV3AsLsdbEntry {axsOspfV3AsLsdbTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX { axsOspfV3AsLsdbDomainNumber, axsOspfV3AsLsdbType, axsOspfV3AsLsdbRouterId, axsOspfV3AsLsdbLsid }	
3	axsOspfV3AsLsdbDomainNumb er {axsOspfV3AsLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspfV3AsLsdbType {axsOspfV3AsLsdbEntry 2}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 • asExternal (0x4005)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
5	axsOspfV3AsLsdbRouterId {axsOspfV3AsLsdbEntry 3}	IpAddress	R/O	LSA を生成したルータの ID。	
6	axsOspfV3AsLsdbLsid {axsOspfV3AsLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	個々の LSA を識別する ID。	
7	axsOspfV3AsLsdbSequence {axsOspfV3AsLsdbEntry 5}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	
8	axsOspfV3AsLsdbAge {axsOspfV3AsLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	この LSA が生成されてからの経過時間 (単位: 秒)。	
9	axsOspfV3AsLsdbChecksum {axsOspfV3AsLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	この LSA のチェックサム。	
10	axsOspfV3AsLsdbAdvertisemen t {axsOspfV3AsLsdbEntry 8}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む LSA の全体。	

3.10.4 axsOspfV3AreaLsdbTable

(1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3AreaLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4

(2) 実装仕様

axsOspfV3AreaLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-48 axsOspfV3AreaLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3AreaLsdbTable {axsOspfV3 4}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	OSPFv3 プロセスの AreaScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfV3AreaLsdbEntry {axsOspfV3AreaLsdbTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {axsOspfV3AreaLsdbDomainNumber, axsOspfV3AreaLsdbAreaId, axsOspfV3AreaLsdbType, axsOspfV3AreaLsdbRouterId, axsOspfV3AreaLsdbLsid}	
3	axsOspfV3AreaLsdbDomainNu mber {axsOspfV3AreaLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspfV3AreaLsdbAreaId {axsOspfV3AreaLsdbEntry 2}	IpAddress	R/O	この LSA の受信元エリアのエリア ID。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
5	axsOspfV3AreaLsdbType {axsOspfV3AreaLsdbEntry 3}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> ルータ (8193=0x2001) ネットワーク (8194=0x2002) interAreaPrefix (8195=0x2003) interAreaRouter (8196=0x2004) マルチキャスト (8198=0x2006) nssa 外部リンク (8199=0x2007) intraAreaPrefix (8201=0x2009) 	
6	axsOspfV3AreaLsdbRouterId {axsOspfV3AreaLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	LSA を生成したルータの ID。	
7	axsOspfV3AreaLsdbLsid {axsOspfV3AreaLsdbEntry 5}	IpAddress	R/O	個々の LSA を識別する ID。	
8	axsOspfV3AreaLsdbSequence {axsOspfV3AreaLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	
9	axsOspfV3AreaLsdbAge {axsOspfV3AreaLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	この LSA が生成されてからの経過時間 (単位: 秒)	
10	axsOspfV3AreaLsdbChecksum {axsOspfV3AreaLsdbEntry 8}	INTEGER	R/O	この LSA のチェックサム。	
11	axsOspfV3AreaLsdbAdvertise ment {axsOspfV3AreaLsdbEntry 9}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む LSA の全体。	

3.10.5 axsOspfV3LinkLsdbTable

(1) 識別子

```
axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}
```

```
axsOspfV3LinkLsdbTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 5}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5
```

(2) 実装仕様

axsOspfV3LinkLsdbTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-49 axsOspfV3LinkLsdbTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3LinkLsdbTable {axsOspfV3 5}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	OSPFv3 プロセスの LinkScope リンク状態データベースに関する情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfV3LinkLsdbEntry {axsOspfV3LinkLsdbTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	リンク状態広告 (LSA) のリスト。 INDEX {axsOspfV3LinkLsdbDomainNumber, axsOspfV3LinkLsdbIfIndex, axsOspfV3LinkLsdbType, axsOspfV3LinkLsdbRouterId, axsOspfV3LinkLsdbLsid}	
3	axsOspfV3LinkLsdbDomainNu mber {axsOspfV3LinkLsdbEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	axsOspfV3LinkLsdbIfIndex {axsOspfV3LinkLsdbEntry 2}	INTEGER	R/O	LSA を受信したリンクの識別子。	
5	axsOspfV3LinkLsdbType {axsOspfV3LinkLsdbEntry 3}	INTEGER	R/O	LSA のタイプ。 • Link (0x0008)	
6	axsOspfV3LinkLsdbRouterId {axsOspfV3LinkLsdbEntry 4}	IpAddress	R/O	LSA を生成したルータの ID。	
7	axsOspfV3LinkLsdbLsid {axsOspfV3LinkLsdbEntry 5}	IpAddress	R/O	個々の LSA を識別する ID。	
8	axsOspfV3LinkLsdbSequence {axsOspfV3LinkLsdbEntry 6}	INTEGER	R/O	LSA のシーケンス番号。	
9	axsOspfV3LinkLsdbAge {axsOspfV3LinkLsdbEntry 7}	INTEGER	R/O	この LSA が生成されてからの経過時間 (単位 : 秒)。	
10	axsOspfV3LinkLsdbChecksum {axsOspfV3LinkLsdbEntry 8}	INTEGER	R/O	この LSA のチェックサム。	
11	axsOspfV3LinkLsdbAdvertise- ment {axsOspfV3LinkLsdbEntry 9}	OCTET STRING	R/O	ヘッダを含む LSA の全体。	

3.10.6 axsOspfV3IfTable

(1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3IfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7

(2) 実装仕様

axsOspfV3IfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-50 axsOspfV3IfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3IfTable {axsOspfV3 7}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfV3IfEntry {axsOspfV3IfTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ルータが接続する各インタフェースの情報を格納するリスト。 INDEX { axsOspfV3IfDomainNumber, axsOspfV3IfIndex }	
3	axsOspfV3IfDomainNumber {axsOspfV3IfEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspfV3IfIndex {axsOspfV3IfEntry 2}	INTEGER	R/O	この OSPFv3 インタフェースのインタフェース Index。	
5	axsOspfV3IfAreaId {axsOspfV3IfEntry 3}	IpAddress	R/O	このインタフェースが接続しているエリアのエリア ID。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	axsOspfV3IfType {axsOspfV3IfEntry 4}	INTEGER	R/O	インタフェースタイプ。 • ブロードキャスト (1) • ノンブロードキャスト (2) • Point-Point (3) • Point-Multipoint (5)	
7	axsOspfV3IfAdminStat {axsOspfV3IfEntry 5}	INTEGER	R/O	インタフェースの管理状態。 • enabled (1) • disabled (2)	
8	axsOspfV3IfRtrPriority {axsOspfV3IfEntry 6}	INTEGER	R/O	このインタフェースのプライオリティ。	
9	axsOspfV3IfTransitDelay {axsOspfV3IfEntry 7}	INTEGER	R/O	このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するのに必要とされる時間 (単位: 秒)。	
10	axsOspfV3IfRetransInterval {axsOspfV3IfEntry 8}	INTEGER	R/O	リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔 (単位: 秒)。	
11	axsOspfV3IfHelloInterval {axsOspfV3IfEntry 9}	INTEGER	R/O	Hello パケットの送信間隔 (単位: 秒)。	
12	axsOspfV3IfRtrDeadInterval {axsOspfV3IfEntry 10}	INTEGER	R/O	Hello パケットの最大許容受信間隔 (単位: 秒)。	
13	axsOspfV3IfPollInterval {axsOspfV3IfEntry 11}	INTEGER	R/O	非ブロードキャスト多重アクセスネットワーク上の、不活動隣接局への Hello パケット送信間隔 (単位: 秒)。	
14	axsOspfV3IfState {axsOspfV3IfEntry 12}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 • down (1) • loopback (2) • waiting (3) • PtoP (4) • DR (5) • BDR (6) • other (7)	
15	axsOspfV3IfDesignatedRouter {axsOspfV3IfEntry 13}	IpAddress	R/O	ディジグネーテッドルータのルータ ID。	
16	axsOspfV3IfBackupDesignatedRouter {axsOspfV3IfEntry 15}	IpAddress	R/O	バックアップディジグネーテッドルータのルータ ID。	
17	axsOspfV3IfEvents {axsOspfV3IfEntry 16}	Counter	R/O	このインタフェースで状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	
18	axsOspfV3IfStatus {axsOspfV3IfEntry 18}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	
19	axsOspfV3IfMulticastForwarding {axsOspfV3IfEntry 19}	INTEGER	R/O	このインタフェースでマルチキャストする方法。 • blocked (1) • multicast (2) • unicast (3) blocked (1) 固定。	
20	axsOspfV3IfDemand {axsOspfV3IfEntry 20}	INTEGER	R/O	このインタフェースで Demand OSPFv3 手順を行うかどうかを示します。 • true (1) • false (2) false (2) 固定。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
21	axsOspf3IfMetricValue {axsOspf3IfEntry 21}	INTEGER	R/O	このインタフェースのメトリック。	
22	axsOspf3IfLinkScopeLsaCount {axsOspf3IfEntry 22}	INTEGER	R/O	リンク状態データベース (LSDB) 中の LinkScope リンク状態広告 (LSA) の数。	
23	axsOspf3IfLinkLsaCksumSum {axsOspf3IfEntry 23}	INTEGER	R/O	LSDB 中の LinkScope LSA の LS チェックサム合計。	
24	axsOspf3IfInstId {axsOspf3IfEntry 24}	INTEGER	R/O	この OSPFv3 インタフェースの InstanceID。	

3.10.7 axsOspf3VirtIfTable

(1) 識別子

axsOspf3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspf3VirtIfTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspf3 8}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8

(2) 実装仕様

axsOspf3VirtIfTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-51 axsOspf3VirtIfTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspf3VirtIfTable {axsOspf3 8}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ルータが接続する仮想インタフェースの情報を格納するテーブル。	
2	axsOspf3VirtIfEntry {axsOspf3VirtIfTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各仮想インタフェースの情報リスト。 INDEX {axsOspf3VirtIfDomainNumber, axsOspf3VirtIfAreaId, axsOspf3VirtIfNeighbor}	
3	axsOspf3VirtIfDomainNumber {axsOspf3VirtIfEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspf3VirtIfAreaId {axsOspf3VirtIfEntry 2}	IpAddress	R/O	その仮想リンクが通過するエリアのエリア ID。	
5	axsOspf3VirtIfNeighbor {axsOspf3VirtIfEntry 3}	IpAddress	R/O	仮想の隣接ルータのルータ ID。	
6	axsOspf3VirtIfIndex {axsOspf3VirtIfEntry 4}	INTEGER	R/O	このインタフェースのインタフェース Index。	
7	axsOspf3VirtIfTransitDelay {axsOspf3VirtIfEntry 5}	INTEGER	R/O	このインタフェース上でリンク状態更新パケットを送信するために必要とされる時間 (単位: 秒)。	
8	axsOspf3VirtIfRetransInterval {axsOspf3VirtIfEntry 6}	INTEGER	R/O	リンク状態広告 (LSA) の再送信間隔 (単位: 秒)。	
9	axsOspf3VirtIfHelloInterval {axsOspf3VirtIfEntry 7}	INTEGER	R/O	Hello パケットの送信間隔 (単位: 秒)。	
10	axsOspf3VirtIfRtrDeadInterval {axsOspf3VirtIfEntry 8}	INTEGER	R/O	Hello パケットの最大許容受信間隔 (単位: 秒)。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
11	axsOspfV3VirtIfState {axsOspfV3VirtIfEntry 9}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 • down (1) • PtoP (4)	
12	axsOspfV3VirtIfEvents {axsOspfV3VirtIfEntry 10}	Counter	R/O	このインタフェースで状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	
13	axsOspfV3VirtIfStatus {axsOspfV3VirtIfEntry 11}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	
14	axsOspfV3VirtIfLinkScopeLsaCount {axsOspfV3VirtIfEntry 12}	INTEGER	R/O	リンク状態データベース (LSDB) 中の LinkScope リンク状態広告 (LSA) の数。	
15	axsOspfV3VirtIfLinkLsaChecksum {axsOspfV3VirtIfEntry 13}	INTEGER	R/O	LSDB 中の LinkScope LSA の LS チェックサム合計。	

3.10.8 axsOspfV3NbrTable

(1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3NbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 9}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9

(2) 実装仕様

axsOspfV3NbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-52 axsOspfV3NbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3NbrTable {axsOspfV3 9}	NOT-ACCESSIBLE	NA	仮定ではない隣接局の情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfV3NbrEntry {axsOspfV3NbrTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各隣接局の情報リスト。 INDEX { axsOspfV3NbrDomainNumber, axsOspfV3NbrIfIndex, axsOspfV3NbrIpv6Addr }	
3	axsOspfV3NbrDomainNumber {axsOspfV3NbrEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspfV3NbrIfIndex {axsOspfV3NbrEntry 2}	INTEGER	R/O	隣接ルータが接続しているリンクの Local LinkID。	
5	axsOspfV3NbrIpv6Addr {axsOspfV3NbrEntry 3}	Ipv6Address	R/O	隣接ルータの IPv6 アドレス。	
6	axsOspfV3NbrRtrId {axsOspfV3NbrEntry 4}	IpAddress	R/O	隣接ルータのルータ ID。	
7	axsOspfV3NbrOptions {axsOspfV3NbrEntry 5}	INTEGER	R/O	隣接ルータのオプションフィールド。	
8	axsOspfV3NbrPriority {axsOspfV3NbrEntry 6}	INTEGER	R/O	隣接ルータのプライオリティ。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
9	axsOspfV3NbrState {axsOspfV3NbrEntry 7}	INTEGER	R/O	この隣接ルータとの関係を表す状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • attempt (2) • init (3) • twoWay (4) • exchangeStart (5) • exchange (6) • loading (7) • full (8) 	
10	axsOspfV3NbrEvents {axsOspfV3NbrEntry 8}	Counter	R/O	隣接ルータとの関係で、状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	
11	axsOspfV3NbrLsRetransQLen {axsOspfV3NbrEntry 9}	Gauge	R/O	再送キューの現在の長さ。	
12	axsOspfV3NbrHelloSuppressed {axsOspfV3NbrEntry 12}	INTEGER	R/O	Hello が隣接に抑止されているかを示します。	
13	axsOspfV3NbrIfId {axsOspfV3NbrEntry 13}	INTEGER	R/O	隣接がこのリンクに Hello パケットで広告している Interface ID。	

3.10.9 axsOspfV3VirtNbrTable

(1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3VirtNbrTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 10}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10

(2) 実装仕様

axsOspfV3VirtNbrTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-53 axsOspfV3VirtNbrTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3VirtNbrTable {axsOspfV3 10}	NOT-ACCESSIBLE	NA	仮想隣接ルータの情報を格納するテーブル。	
2	axsOspfV3VirtNbrEntry {axsOspfV3VirtNbrTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	各仮想隣接ルータの情報リスト。 INDEX {axsOspfV3VirtNbrDomainNumber, axsOspfV3VirtNbrArea, axsOspfV3VirtNbrRtrId}	
3	axsOspfV3VirtNbrDomainNumber {axsOspfV3VirtNbrEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	
4	axsOspfV3VirtNbrArea {axsOspfV3VirtNbrEntry 2}	IpAddress	R/O	通過するエリアのエリア ID。	
5	axsOspfV3VirtNbrRtrId {axsOspfV3VirtNbrEntry 3}	IpAddress	R/O	仮想隣接ルータのルータ ID。	
6	axsOspfV3VirtNbrIfIndex {axsOspfV3VirtNbrEntry 4}	INTEGER	R/O	隣接ルータが接続しているリンクの Local LinkID。	
7	axsOspfV3VirtNbrIpv6Addr {axsOspfV3VirtNbrEntry 5}	Ipv6Address	R/O	仮想隣接ルータの IPv6 アドレス。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
8	axsOspfV3VirtNbrOptions {axsOspfV3VirtNbrEntry 6}	INTEGER	R/O	仮想隣接ルータのオプションフィールド。	
9	axsOspfV3VirtNbrState {axsOspfV3VirtNbrEntry 7}	INTEGER	R/O	この仮想隣接ルータとの関係を表す状態。 <ul style="list-style-type: none"> • down (1) • attempt (2) • init (3) • twoWay (4) • exchangeStart (5) • exchange (6) • loading (7) • full (8) 	
10	axsOspfV3VirtNbrEvents {axsOspfV3VirtNbrEntry 8}	Counter	R/O	この仮想リンクの状態が変化した、またはエラーが発生した回数。	
11	axsOspfV3VirtNbrLsRetransQLen {axsOspfV3VirtNbrEntry 9}	Gauge	R/O	再送キューの現在の長さ。	
12	axsOspfV3VirtNbrHelloSuppressed {axsOspfV3VirtNbrEntry 10}	INTEGER	R/O	Hello が隣接に抑止されているかを示します。	
13	axsOspfV3VirtNbrIfId {axsOspfV3VirtNbrEntry 11}	INTEGER	R/O	隣接がこのリンクに Hello パケットで広告している InterfaceID。	

3.10.10 axsOspfV3AreaAggregateTable

(1) 識別子

axsOspfV3 OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 15}

axsOspfV3AreaAggregateTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsOspfV3 11}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11

(2) 実装仕様

axsOspfV3AreaAggregateTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-54 axsOspfV3AreaAggregateTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsOspfV3AreaAggregateTable {axsOspfV3 11}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のテーブル。	
2	axsOspfV3AreaAggregateEntry {axsOspfV3AreaAggregateTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Prefix と Prefix length を対として指定した IPv6 Prefix のリスト。 INDEX { axsOspfV3AreaAggregateDomainNumber, axsOspfV3AreaAggregateAreaID, axsOspfV3AreaAggregateAreaLsdbType, axsOspfV3AreaAggregateIndex }	
3	axsOspfV3AreaAggregateDomainNumber {axsOspfV3AreaAggregateEntry 1}	INTEGER	R/O	OSPFv3 ドメイン番号。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	axsOspfV3AreaAggregateAreaID {axsOspfV3AreaAggregateEntry 2}	IpAddress	R/O	アドレス集約したエリア。	
5	axsOspfV3AreaAggregateAreaLsdbType {axsOspfV3AreaAggregateEntry 3}	INTEGER	R/O	アドレス集約のタイプ。このエントリは、このアドレス集約に適用されるリンク状態データベース (LSDB) のタイプを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • interAreaPrefixLsa (0x2003) • nssaExternalLink (0x2007) 	
6	axsOspfV3AreaAggregateIndex {axsOspfV3AreaAggregateEntry 4}	INTEGER	R/O	アグリゲートテーブルの識別子。	
7	axsOspfV3AreaAggregatePrefix {axsOspfV3AreaAggregateEntry 5}	Ipv6Address	R/O	IPv6 Prefix。	
8	axsOspfV3AreaAggregatePrefixLen {axsOspfV3AreaAggregateEntry 6}	INTEGER	R/O	IPv6 Prefix 長。	
9	axsOspfV3AreaAggregateStatus {axsOspfV3AreaAggregateEntry 7}	INTEGER	R/O	このエントリのステータスを示します。 active (1) 固定。	
10	axsOspfV3AreaAggregateEffect {axsOspfV3AreaAggregateEntry 8}	INTEGER	R/O	範囲に包括されるサブネットが集約アドレスを広告する契機となるか、エリア外に広告されないサブネットとなるかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • advertiseMatching (1) • doNotAdvertiseMatching (2) 	

3.11 axsStatic グループ (スタティック経路情報 MIB)

axsStatic グループは、axsStaticGatewayStateChange トラップの variable として使用するオブジェクトを集めた MIB グループです。どのオブジェクトも、トラップ以外の方法ではデータを取得できません。

本 MIB はグローバルネットワークのゲートウェイ情報だけが対象となります。

3.11.1 axsStaticTable グループ

(1) 識別子

```
axsStatic OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 38}

axsStaticTable Objects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStatic 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.1
```

(2) 実装仕様

axsStaticTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-55 axsStaticTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsStaticTable {axsStatic 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	スタティック情報を格納するテーブル。	
2	axsStaticGatewayEntry {axsStaticTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	スタティック情報のリスト。 INDEX {axsStaticGatewayAddr}	
3	axsStaticGatewayAddr {axsStaticGatewayEntry 1}	IpAddress	AN	ゲートウェイの IP アドレス。	
4	axsStaticGatewayState {axsStaticGatewayEntry 2}	INTEGER	AN	ゲートウェイの状態。 • reachable (1) • unreachable (2)	

3.11.2 axsStaticIpv6Table グループ

(1) 識別子

```
axsStatic OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 38}

axsStaticIpv6Table Objects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsStatic 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3
```

(2) 実装仕様

axsStaticIpv6Table の実装仕様を次の表に示します。

表 3-56 axsStaticIpv6Table の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsStaticIpv6Table {axsStatic 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	IPv6 スタティック情報を格納するテーブル。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	axsStaticIpv6GatewayEntry {axsStaticIpv6Table 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	IPv6 スタティック情報のリスト。 INDEX { axsStaticIpv6Ifindex, axsStaticIpv6GatewayAddr }	
3	axsStaticIpv6Ifindex {axsStaticIpv6GatewayEntry 1}	INTEGER	AN	ゲートウェイのインタフェース index。 • コンフィグレーションに noresolv パラメータ指定あり：インタフェース index 番号 • コンフィグレーションに noresolv パラメータ指定なし：0 固定	
4	axsStaticIpv6GatewayAddr {axsStaticIpv6GatewayEntry 2}	Ipv6Address	AN	ゲートウェイの IPv6 アドレス。	
5	axsStaticIpv6GatewayState {axsStaticIpv6GatewayEntry 3}	INTEGER	AN	ゲートウェイの状態。 • reachable (1) • unreachable (2)	

3.12 axsTrackObjectMIB グループ (トラック情報 MIB)

3.12.1 axsTrackObjectGeneralGroup

(1) 識別子

```
axsTrackObject OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 41}
```

```
axsTrackObjectGeneralGroup OBJECT IDENTIFIER ::= {axsTrackObject 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.1
```

(2) 実装仕様

axsTrackObjectGeneralGroup の実装仕様を次の表に示します。

表 3-57 axsTrackObjectGeneralGroup の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsTrackObjectGeneralLastChange {axsTrackObjectGeneralGroup 1}	TimeTicks	R/O	axsTrackObject 配下の読み込み可能なオブジェクトの中で、最後に値が変わったオブジェクトの変更時刻。sysUpTime の形式。	

3.12.2 axsTrackObjectTable

(1) 識別子

```
axsTrackObject OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 41}
```

```
axsTrackObjectTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsTrackObject 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.3
```

(2) 実装仕様

axsTrackObjectTable の実装仕様を次の表に示します。

表 3-58 axsTrackObjectTable の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsTrackObjectTable {axsTrackObject 3}	SEQUENCE OF AxsTrackObjectEntry	NA	トラックの情報を含むテーブル。	
2	axsTrackObjectEntry {axsTrackObjectTable 1}	AxsTrackObjectEntry	NA	トラックの情報。 INDEX {axsTrackObjectId}	
3	axsTrackObjectId {axsTrackObjectEntry 1}	INTEGER	R/O	トラックの識別子であるトラック番号。	
4	axsTrackObjectState {axsTrackObjectEntry 2}	INTEGER	R/O	トラック状態。 • Up (1) • Down (2)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
5	axsTrackObjectOperation {axsTrackObjectEntry 3}	INTEGER	R/O	トラックの動作状態。 <ul style="list-style-type: none"> • Active (1) • Transit (2) • Disabled (3) • Init (4) • Aging (5) 	
6	axsTrackObjectType {axsTrackObjectEntry 4}	INTEGER	R/O	トラック種別。 <ul style="list-style-type: none"> • IPv4 ICMP (1) 	
7	axsTrackObjectNetIndex {axsTrackObjectEntry 5}	INTEGER	R/O	IPv4 ICMP ポーリング監視のトラック対象の VRF 識別子。 <ul style="list-style-type: none"> • VRF ID • IPv4 ICMP ポーリング監視のコンフィグレーションコマンドで VRF が指定されていない場合 : 0 	

3.13 axsPolicyBase グループ (ポリシーベース情報 MIB)

本グループは、ポリシーベースルーティングの経路情報およびポリシーベーススイッチングの送信先インタフェース情報の状態変化に関するトラップで使用される MIB グループです。

3.13.1 axsPolicyBaseRouting グループ

(1) 識別子

```
axsPolicyBase OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMIB 45}
axsPolicyBaseRouting OBJECT IDENTIFIER ::= {axsPolicyBase 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.1
```

(2) 実装仕様

axsPolicyBaseRouting グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-59 axsPolicyBaseRouting グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsPolicyBaseRoutingChangeListNumber {axsPolicyBaseRouting 1}	Unsigned32	NA	ポリシーベースルーティングで優先度に変更が発生したリスト番号。	
2	axsPolicyBaseRoutingChangeSequenceNumber {axsPolicyBaseRouting 2}	Unsigned32	NA	ポリシーベースルーティングのリスト番号で選択した経路の優先度。 デフォルト動作の場合：0	

3.13.2 axsPolicyBaseSwitching グループ

(1) 識別子

```
axsPolicyBase OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMIB 45}
axsPolicyBaseSwitching OBJECT IDENTIFIER ::= {axsPolicyBase 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.2
```

(2) 実装仕様

axsPolicyBaseSwitching グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-60 axsPolicyBaseSwitching グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsPolicyBaseSwitchingChangeListNumber {axsPolicyBaseSwitching 1}	Unsigned32	NA	ポリシーベーススイッチングで優先度に変更が発生したリスト番号。	
2	axsPolicyBaseSwitchingChangeSequenceNumber {axsPolicyBaseSwitching 2}	Unsigned32	NA	ポリシーベーススイッチングのリスト番号で選択した経路の優先度。 デフォルト動作の場合：0	

3.14 axsBootManagement グループ (システム起動情報 MIB)

(1) 識別子

axsBootManagement OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 51}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.51

(2) 実装仕様

axsBootManagement の実装仕様を次の表に示します。

表 3-61 axsBootManagement の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsBootReason {axsBootManagement 1}	INTEGER	R/O	<p>システムが起動した要因</p> <ul style="list-style-type: none"> • power-on (1): 電源オンによる起動 • reload (2): コマンドによる起動 • system-fault (3): 障害による起動 • system-stall (4): WDT タイムアウトによる起動 • reset (5): ハードウェアリセットによる起動 • fail-over (6): SWAP による起動 • default-restart (7): デフォルトリスタートによる起動 • auto-restart (8): 自動再起動による起動 <p>本装置では power-on (1), reload (2), system-fault (3), reset (5), default-restart (7), または auto-restart (8) を返す。</p>	

3.15 axsLogin グループ (ログイン情報 MIB)

(1) 識別子

axsLogin OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 52}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52

(2) 実装仕様

axsLogin の実装仕様を次の表に示します。

表 3-62 axsLogin の実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsLoginName {axsLogin 1}	DisplayString	NA	ログインユーザ名。	
2	axsLoginTime {axsLogin 2}	DisplayString	NA	ユーザがログインした時刻 (年月日時分秒タイムゾーン) を 26 バイトの文字列で表示します。 "YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXXX" で表示します。 • YYYY : 西暦 • MM : 月 (01 ~ 12) • DD : 日 (01 ~ 31) • hh : 時 (00 ~ 23) • mm : 分 (00 ~ 59) • ss : 秒 (00 ~ 59) • XXXXXXX : タイムゾーン DD と hh の間、および ss と XXXXXXX の間は、1 バイトのスペース文字が入ります。 例 2004/10/09 10:23:10 JST	
3	axsLogoutTime {axsLogin 3}	DisplayString	NA	ユーザがログアウトした時刻 (年月日時分秒タイムゾーン) を 26 バイトの文字列で表示します。 "YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXXX" で表示します。 • YYYY : 西暦 • MM : 月 (01 ~ 12) • DD : 日 (01 ~ 31) • hh : 時 (00 ~ 23) • mm : 分 (00 ~ 59) • ss : 秒 (00 ~ 59) • XXXXXXX : タイムゾーン DD と hh の間、および ss と XXXXXXX の間は、1 バイトのスペース文字が入ります。 例 2004/10/09 10:23:10 JST	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	axsLoginFailureTime {axsLogin 4}	DisplayString	NA	<p>ユーザがログインに失敗した時刻 (年月日時分秒タイムゾーン) を 26 バイトの文字列で表示します。 "YYYY/MM/DD hh:mm:ss XXXXXX" で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • YYYY : 西暦 • MM : 月 (01 ~ 12) • DD : 日 (01 ~ 31) • hh : 時 (00 ~ 23) • mm : 分 (00 ~ 59) • ss : 秒 (00 ~ 59) • XXXXXX : タイムゾーン <p>DD と hh の間、および ss と XXXXXX の間は、1 バイトのスペース文字が入ります。 例 2004/10/09 10:23:10 JST</p>	
5	axsLoginLocation {axsLogin 5}	DisplayString	NA	<p>ログインユーザの接続形式情報を以下形式で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンソールの場合 "console" • AUX の場合 "aux" • その他の場合 "XXXX[VRF:<vrf id>](YYYY)" と表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • XXXX : IP アドレス • [VRF:<vrf id>] : VRF ID (グローバルネットワークからのアクセスの場合は表示しません) 【OP-NPAR】 • YYYY : アプリケーション (telnet , ftp) <p>例 "console" , "192.168.1.1(telnet)" , "192.168.1.1 VRF:2 (telnet)" 【OP-NPAR】, "2001:02C0:0001:0100:0000:0000:0000:0053(telnet)"</p>	
6	axsLoginLine {axsLogin 6}	DisplayString	NA	<p>ログインユーザの端末識別子情報を以下形式で表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンソールの場合 "console" • AUX の場合 "aux" • その他の場合 "XXXX(YYYY)" と表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • XXXX : 端末 • YYYY : アプリケーション (telnet , ftp) <p>例 "console" , "tty1(telnet)"</p>	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	axsLogoutStatus {axsLogin 7}	INTEGER	NA	<p>ログアウト要因。</p> <ul style="list-style-type: none"> • error (1): 下記要因以外のログアウト (例: 内部不正によるシステムアウト等) • success (2): コマンドによるログアウト • timeout (3): auto-logout によるログアウト • disconnect (4): 回線切断によるログアウト • force (5): 他のユーザによる強制ログアウト <p>本装置では固定値 (2) を返す。</p>	

3.16 axslldp グループ (LLDP 情報 MIB)

3.16.1 axslldpConfiguration グループ

(1) 識別子

axslldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}

axslldpConfiguration OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldp 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1

axslldpMessageTxInterval OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldpConfiguration 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.1

(2) 実装仕様

axslldpConfiguration グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-63 axslldpConfiguration グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axslldpMessageTxInterval {axslldpConfiguration 1}	Integer32 (5..32768)	R/NW	[規格] LDPDU 送信間隔。コンフィグレーションコマンド lldp interval-time で設定した値 (単位: 秒)。 デフォルト: 30 (秒) [実装] 規格に同じ。	
2	axslldpMessageTxHoldMultiplier {axslldpConfiguration 2}	Integer32 (2..10)	R/NW	[規格] 本装置が送信した LLDP フレームに関して、隣接装置が保持する時間係数。実際に保持される時間は axslldpMessageTxInterval と本 MIB 値の積。 コンフィグレーションコマンド lldp hold-count で設定した値。 デフォルト: 4 [実装] 規格に同じ。	
3	axslldpReinitDelay {axslldpConfiguration 3}	Integer32 (1..10)	R/W	[規格] ポート状態が disable に遷移してから再初期化されるまでの遅延時間 (単位: 秒)。 デフォルト: 1 (秒) [実装] 未サポート。	×
4	axslldpTxDelay {axslldpConfiguration 4}	Integer32 (1..8192)	R/W	[規格] axslldpLocalSystemData グループのオブジェクトのどれかで値が変更された後に LDPDU が送信されるまでの遅延時間 (単位: 秒)。 推奨値は以下の式で求めることができる。 $axslldpTxDelay = \max(1, (0.25 \times axslldpMessageTxInterval))$ デフォルト: 8 (秒) [実装] 未サポート。	×
5	axslldpPortConfigTable {axslldpConfiguration 6}	SEQUENCE OF axslldpPortConfigEntry	NA	[規格] LDPDU 送信に関するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	axlldpPortConfigEntry {axlldpPortConfigTable 1}	axlldpPortConfigEntry	NA	[規格] LDPDU 送信に関するエントリ (ポートごと)、INDEX {axlldpPortConfigPortNum} [実装] 規格に同じ。	
7	axlldpPortConfigPortNum {axlldpPortConfigEntry 2}	Integer32	NA	[規格] ポート識別インデックス。ifIndexと同じ。 [実装] 規格に同じ。	
8	axlldpPortConfigAdminStatus {axlldpPortConfigEntry 3}	INTEGER	R/NW	[規格] LDPDU の送受信に関する本装置のポート状態。 • txOnly (1) • rxOnly (2) • txAndRx (3) • disabled (4) [実装] txAndRx (3), disabled (4) だけ使用できる。	
9	axlldpPortConfigTLVsTxEnable {axlldpPortConfigEntry 4}	BITS	R/NW	[規格] 該当ポートに関する送信可能 TLV。 • portDesc (4) • sysName (5) • sysDesc (6) • sysCap (7) [実装] 0x0e (portDesc (4), sysName (5), sysDesc (6) の論理和) 固定。	
10	axlldpPortConfigRowStatus {axlldpPortConfigEntry 5}	RowStatus	R/O	[規格] 本エントリの状態。 • active (1): axlldpPortConfigAdminStatus が txAndRx の場合 • notReady (3): axlldpPortConfigAdminStatus が disabled の場合 [実装] 規格に同じ。	
11	axlldpConfigManAddrTable {axlldpConfiguration 7}	SEQUENCE OF axlldpConfigManAddrEntry	NA	[規格] 本装置の管理アドレスを送信するポートに関するテーブル。 [実装] 未サポート。	×
12	axlldpConfigManAddrEntry {axlldpConfigManAddrTable 1}	axlldpConfigManAddrEntry	NA	[規格] 本装置の管理アドレスを送信するポートの集合を表すエントリ。 [実装] 未サポート。	×
13	axlldpConfigManAddrPortsTxEnable {axlldpConfigManAddrEntry 1}	OCTET STRING (SIZE(48))	R/W	[規格] 本装置の管理アドレスを送信するポートの集合をビットマップで表したもの。 [実装] 未サポート。	×

3.16.2 axlldpStats グループ

(1) 識別子

```
axlldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}
```

```
axlldpStats OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2
```



```
axslldpStatsTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldpStats 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1
```

(2) 実装仕様

axslldpStats グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-64 axslldpStats グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axslldpStatsTable {axslldpStats 1}	SEQUENCE OF axslldpStatsEntry	NA	[規格] LLDP 統計情報に関するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	axslldpStatsEntry {axslldpStatsTable 1}	axslldpStatsEntry	NA	[規格] LLDP 統計情報に関するエントリ (ポートごと)、 INDEX {axslldpStatsPortNum} [実装] 規格に同じ。	
3	axslldpStatsPortNum {axslldpStatsEntry 2}	Integer32	NA	[規格] ポート識別インデックス。ifIndex と同じ。 [実装] 規格に同じ。ただしコンフィグレーションコマンド lldp enable を設定しているポートが対象になる。	
4	axslldpStatsOperStatus {axslldpStatsEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] 該当ポートに関する active 状態。 • portUp (1) • portDown (2) [実装] 規格に同じ。	
5	axslldpStatsFramesInErrors {axslldpStatsEntry 4}	Counter32	R/O	[規格] 該当ポートに関する不正 LDPDU 受信数。 [実装] 規格に同じ。	
6	axslldpStatsFramesInTotal {axslldpStatsEntry 5}	Counter32	R/O	[規格] 該当ポートに関する総 LDPDU 受信数。 [実装] 規格に同じ。	
7	axslldpStatsFramesOutTotal {axslldpStatsEntry 6}	Counter32	R/O	[規格] 該当ポートに関する総 LDPDU 送信数。 [実装] 規格に同じ。	
8	axslldpStatsTLVsInErrors {axslldpStatsEntry 7}	Counter32	R/O	[規格] 該当ポートに関する不正 TLV 受信数。 [実装] 規格に同じ。	
9	axslldpStatsTLVsDiscardedTotal {axslldpStatsEntry 8}	Counter32	R/O	[規格] 該当ポートに関する総廃棄 TLV 数。 [実装] 規格に同じ。	
10	axslldpStatsCounterDiscontinuityTime {axslldpStatsEntry 9}	TimeStamp	R/O	[規格] 該当ポートの統計カウンタの連続性が失われた時刻。 [実装] 未サポート。	×

3.16.3 axslldpLocalSystemData グループ

(1) 識別子

```
axslldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}
```

```
axslldpLocalSystemData OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldp 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3
```

```
axslldpLocChassisType ::= {axslldpLocalSystemData 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.1
```

(2) 実装仕様

axslldpLocalSystemData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-65 axslldpLocalSystemData グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axslldpLocChassisType {axslldpLocalSystemData 1}	INTEGER	R/O	[規格] 本装置に関するシャシータイプ。 <ul style="list-style-type: none"> entPhysicalAlias (1) ifAlias (2) portEntPhysicalAlias (3) backplaneEntPhysicalAlias (4) macAddress (5) networkAddress (6) [実装] macAddress (5) 固定。	
2	axslldpLocChassisId {axslldpLocalSystemData 2}	OCTET STRING (SIZE(1..255))	R/O	[規格] 本装置に関するシャシー ID (文字列)。 [実装] 装置の MAC アドレス。	
3	axslldpLocSysName {axslldpLocalSystemData 3}	OCTET STRING (SIZE(0..255))	R/O	[規格] 本装置に関するシステムネーム (文字列)。system グループの sysName と同じ。 [実装] 規格に同じ。	
4	axslldpLocSysDesc {axslldpLocalSystemData 4}	DisplayString (SIZE(0..255))	R/O	[規格] 本装置に関するシステム情報 (文字列)。system グループの sysDesc と同じ。 [実装] 規格に同じ。	
5	axslldpLocSysCapSupported {axslldpLocalSystemData 5}	BITS	R/O	[規格] 該当装置のサポートしている機能一覧をビットマップで表現したもの。 <ul style="list-style-type: none"> repeater (0) bridge (1) accessPoint (2) router (3) telephone (4) wirelessStation (5) stationOnly (6) [実装] 未サポート。	×
6	axslldpLocSysCapEnabled {axslldpLocalSystemData 6}	BITS	R/O	[規格] 該当装置で稼働している機能の一覧をビットマップで表現したもの。 <ul style="list-style-type: none"> repeater (0) bridge (1) accessPoint (2) router (3) telephone (4) wirelessStation (5) stationOnly (6) [実装] 未サポート。	×
7	axslldpLocPortTable {axslldpLocalSystemData 7}	SEQUENCE OF axslldpLocPortEntry	NA	[規格] 本装置のポートに関するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
8	axslldpLocPortEntry {axslldpLocPortTable 1}	axslldpLocPortEntry	NA	[規格] 本装置のポートに関するエントリ (ポートごと)。 INDEX { axslldpLocPortNum } [実装] 規格に同じ。	
9	axslldpLocPortNum {axslldpLocPortEntry 1}	Integer32	NA	[規格] ポート識別インデックス。ifIndex と同じ。 [実装] 規格に同じ。ただしコンフィグレーションコマンド lldp enable を設定しているポートが対象になる。	
10	axslldpLocPortType {axslldpLocPortEntry 2}	INTEGER	R/O	[規格] 本装置の該当ポートに関するポートタイプ。 • ifAlias (1) • portEntPhysicalAlias (2) • backplaneEntPhysicalAlias (3) • macAddress (4) • networkAddress (5) • local (6) [実装] macAddress (4) 固定。	
11	axslldpLocPortId {axslldpLocPortEntry 3}	OCTET STRING (SIZE(1..255))	R/O	[規格] 本装置の該当ポートに関するポート ID (文字列)。 [実装] ポートの MAC アドレス。	
12	axslldpLocPortDesc {axslldpLocPortEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(0..255))	R/O	[規格] 本装置の該当ポートに関するポート情報 (文字列)。ポートの ifDescr と同じ。 [実装] 規格に同じ。	
13	axslldpLocManAddrTable {axslldpLocalSystemData 8}	SEQUENCE OF axslldpLocManAddrEntry	NA	[規格] 該当装置の管理アドレスに関するテーブル。 [実装] 未サポート。	×
14	axslldpLocManAddrEntry {axslldpLocManAddrTable 1}	axslldpLocManAddrEntry	NA	[規格] シャシーごとの管理アドレスに関する情報。 INDEX { axslldpLocManAddrType, axslldpLocManAddr } [実装] 未サポート。	×
15	axslldpLocManAddrType {axslldpLocManAddrEntry 1}	AddressFamilyNumbers	NA	[規格] 管理アドレスのタイプ。 [実装] 未サポート。	×
16	axslldpLocManAddr {axslldpLocManAddrEntry 2}	OCTET STRING (SIZE(1..31))	NA	[規格] 該当装置の管理アドレス [実装] 未サポート。	×
17	axslldpLocManAddrIfSubtype {axslldpLocManAddrEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] インタフェース番号のタイプ • unknown (1) • ifIndex (2) • systemPortNumber (3) [実装] 未サポート。	×
18	axslldpLocManAddrIfId {axslldpLocManAddrEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(4))	R/O	[規格] 管理アドレスに対応するインタフェース番号。 [実装] 未サポート。	×

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
19	axlldpLocManAddrOID {axlldpLocManAddrEntry 5}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	[規格] 管理アドレスに関連するハードウェア, またはプロトコルのオブジェクト ID。 [実装] 未サポート。	×

3.16.4 axlldpRemoteSystemData グループ

(1) 識別子

```
axlldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}
axlldpRemoteSystemData OBJECT IDENTIFIER ::= {axlldp 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4
axlldpRemTable ::= {axlldpRemoteSystemData 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1
```

(2) 実装仕様

axlldpRemoteSystemData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-66 axlldpRemoteSystemData グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axlldpRemTable {axlldpRemoteSystemData 1}	SEQUENCE OF axlldpRemEntry	NA	[規格] 隣接装置に関するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
2	axlldpRemEntry {axlldpRemTable 1}	axlldpRemEntry	NA	[規格] 隣接装置に関するエントリ。 INDEX {axlldpRemTimeMark, axlldpRemLocalPortNum, axlldpRemIndex} [実装] INDEX {axlldpRemLocalPortNum, axlldpRemIndex}	
3	axlldpRemTimeMark {axlldpRemEntry 1}	TimeFilter	NA	[規格] 該当隣接装置の情報を取得してからの時間。 [実装] 未サポート。	×
4	axlldpRemLocalPortNum {axlldpRemEntry 2}	Integer32	NA	[規格] 隣接装置に関する情報を受信した本装置のポートの識別インデックス。 ifIndex と同じ。 [実装] 規格に同じ。ただしコンフィグレーションコマンド lldp enable を設定しているポートが対象になる。	
5	axlldpRemIndex {axlldpRemEntry 3}	Integer32 (1..2147483647)	NA	[規格] 隣接装置に関するインデックス。 [実装] 規格に同じ。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	axslldpRemRemoteChassisType {axslldpRemEntry 4}	INTEGER	R/O	[規格] 隣接装置に関するシャシータイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • entPhysicalAlias (1) • ifAlias (2) • portEntPhysicalAlias (3) • backplaneEntPhysicalAlias (4) • macAddress (5) • networkAddress (6) [実装] 規格に同じ。	
7	axslldpRemRemoteChassis {axslldpRemEntry 5}	OCTET STRING (SIZE(1..255))	R/O	[規格] 隣接装置に関するシャシー ID (文字列)。 [実装] 規格に同じ。	
8	axslldpRemRemotePortType {axslldpRemEntry 6}	INTEGER	R/O	[規格] 隣接装置の該当ポートに関するポートタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • ifAlias (1) • portEntPhysicalAlias (2) • backplaneEntPhysicalAlias (3) • macAddress (4) • networkAddress (5) • local (6) [実装] 規格に同じ。	
9	axslldpRemRemotePort {axslldpRemEntry 7}	OCTET STRING (SIZE(1..255))	R/O	[規格] 隣接装置の該当ポートに関するポート ID (文字列)。 [実装] 規格に同じ。	
10	axslldpRemPortDesc {axslldpRemEntry 8}	OCTET STRING (SIZE(0..255))	R/O	[規格] 隣接装置の該当ポートに関する情報 (文字列)。 [実装] 規格に同じ。	
11	axslldpRemSysName {axslldpRemEntry 9}	OCTET STRING (SIZE(0..255))	R/O	[規格] 隣接装置に関するシステムネーム (文字列)。 [実装] 規格に同じ。	
12	axslldpRemSysDesc {axslldpRemEntry 10}	OCTET STRING (SIZE(0..255))	R/O	[規格] 隣接装置に関するシステム情報 (文字列)。 [実装] 規格に同じ。	
13	axslldpRemSysCapSupported {axslldpRemEntry 11}	BITS	R/O	[規格] 隣接装置のサポートしている機能一覧をビットマップで表現したもの。 <ul style="list-style-type: none"> • repeater (0) • bridge (1) • accessPoint (2) • router (3) • telephone (4) • wirelessStation (5) • stationOnly (6) [実装] 未サポート。	×

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
14	axsllldpRemSysCapEnabled {axsllldpRemEntry 12}	BITS	R/O	[規格] 隣接装置で稼働している機能の一覧をビットマップで表現したもの。 <ul style="list-style-type: none"> • repeater (0) • bridge (1) • accessPoint (2) • router (3) • telephone (4) • wirelessStation (5) • stationOnly (6) [実装] 未サポート。	×
15	axsllldpRemManAddrTable {axsllldpRemoteSystemsData 2}	SEQUENCE OF axsllldpRemManAddrEntry	NA	[規格] 該当装置が学習した隣接装置の管理アドレスに関するテーブル。 [実装] 未サポート。	×
16	axsllldpRemManAddrEntry {axsllldpRemManAddrTable 1}	axsllldpRemManAddrEntry	NA	[規格] 隣接装置の管理アドレスに関するテーブル。 INDEX { axsllldpRemTimeMark, axsllldpRemLocalPortNum, axsllldpRemIndex, axsllldpRemManAddrType, axsllldpRemManAddr } [実装] 未サポート。	×
17	axsllldpRemManAddrType {axsllldpRemManAddrEntry 1}	AddressFamilyNumbers	NA	[規格] 管理アドレスのタイプ。 [実装] 未サポート。	×
18	axsllldpRemManAddr {axsllldpRemManAddrEntry 2}	OCTET STRING (SIZE (1..31))	NA	[規格] 隣接装置の管理アドレス。 [実装] 未サポート。	×
19	axsllldpRemManAddrIfSubtype {axsllldpRemManAddrEntry 3}	INTEGER	R/O	[規格] インタフェース番号のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> • unknown (1) • ifIndex (2) • systemPortNumber (3) [実装] 未サポート。	×
20	axsllldpRemManAddrIfId {axsllldpRemManAddrEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(4))	R/O	[規格] 隣接装置の管理アドレスに対応するインタフェース番号。 [実装] 未サポート。	×
21	axsllldpRemManAddrOID {axsllldpRemManAddrEntry 5}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	[規格] 隣接装置の管理アドレスに関連するハードウェア、またはプロトコルのオブジェクト ID。 [実装] 未サポート。	×
22	axsllldpRemOrgDefInfoTable {axsllldpRemoteSystemsData 3}	SEQUENCE OF axsllldpRemOrgDefInfoEntry	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	×

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
23	axslldpRemOrgDefInfoEntry {axslldpRemOrgDefTable 1}	axslldpRemOrgDefInfoEntry	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関するエントリ。 INDEX { axslldpRemTimeMark, axslldpRemLocalPortNum, axslldpRemIndex, axslldpRemOrgDefOUI, axslldpRemOrgDefSubtype, axslldpRemOrgDefIndex } [実装] 未サポート。	×
24	axslldpRemOrgDefInfoOUI {axslldpRemOrgDefEntry 1}	OCTET STRING (SIZE(3))	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関する OUI。 [実装] 未サポート。	×
25	axslldpRemOrgDefInfoSubtype {axslldpRemOrgDefEntry 2}	Integer32 (1..255)	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関するサブタイプ。 [実装] 未サポート。	×
26	axslldpRemOrgDefInfoIndex {axslldpRemOrgDefEntry 3}	Integer32 (1..2147483647)	NA	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関する ID。 [実装] 未サポート。	×
27	axslldpRemOrgDefInfo {axslldpRemOrgDefEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(0..507))	R/O	[規格] 隣接装置のメーカー独自 TLV に関する情報。 [実装] 未サポート。	×

注 規格では axslldpRemTimeMark がありますが、未サポートのため除いてあります。

3.16.5 axslldpRemoteOriginInfoData グループ

(1) 識別子

```
axslldp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 100}
```

```
axslldpRemoteOriginInfoData OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldp 20}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20
```

```
axslldpRemOriginInfoTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axslldpRemoteOriginInfoData 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1
```

(2) 実装仕様

axslldpRemoteOriginInfoData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-67 axslldpRemoteOriginInfoData グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axslldpRemOriginInfoTable {axslldpRemoteOriginInfoData 1}	SEQUENCE OF axslldpRemOriginInfoTable	NA	隣接装置の弊社独自 TLV に関するテーブル。	
2	axslldpRemOriginInfoEntry {axslldpRemOriginInfoTable 1}	axslldpRemOriginInfoEntry	NA	隣接装置に関するエントリ。 INDEX { axslldpRemOriginInfoPortNum, axslldpRemOriginInfoIndex }	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
3	axslldpRemOriginInfoPortNum {axslldpRemOriginInfoEntry 1}	Integer32	NA	隣接装置に関する情報を受信した本装置のポートの識別インデックス。ifIndex と同じ。	
4	axslldpRemOriginInfoIndex {axslldpRemOriginInfoEntry 2}	INTEGER	NA	隣接装置に関するインデックス。	
5	axslldpRemOriginInfoLowerVlanList {axslldpRemOriginInfoEntry 3}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	VLAN 1 ~ 2047 で隣接装置の該当ポートで有効な VLAN ID をビットマップで表現したもの (先頭のビット (0 バイト目の 2 ⁷ ビット) は Untagged 定義の有無を示し、以下 VLAN 1 ~ 2047 の有効 / 無効を示す)。 <ul style="list-style-type: none"> bit が 0 : その VLAN は無効 bit が 1 : その VLAN は有効 	
6	axslldpRemOriginInfoHigherVlanList {axslldpRemOriginInfoEntry 4}	OCTET STRING (SIZE(256))	R/O	VLAN 2048 ~ 4095 で隣接装置の該当ポートで有効な VLAN ID をビットマップで表現したもの (先頭のビット (0 バイト目の 2 ⁷ ビット) から順に VLAN 2048 ~ 4095 の有効 / 無効を示す)。 <ul style="list-style-type: none"> bit が 0 : その VLAN は無効 bit が 1 : その VLAN は有効 	
7	axslldpRemOriginInfoIPv4Addresses {axslldpRemOriginInfoEntry 5}	OCTET STRING (SIZE(0..15))	R/O	axslldpRemOriginInfoLowerVlanList に Untagged だけ設定されているとき 隣接装置の該当ポートに付与されている IPv4 アドレス (文字列)。 上記以外の場合 隣接装置の該当ポートで有効であり、かつ IPv4 アドレスが付与されている VLAN のうち、最も小さい ID を持つ VLAN に付与された IPv4 アドレス (文字列)。	
8	axslldpRemOriginInfoIPv4PortType {axslldpRemOriginInfoEntry 6}	INTEGER	R/O	隣接装置の該当ポートのポート種別。 <ul style="list-style-type: none"> ブリッジポート (0): IP アドレスの定義されていないポートまたは IP アドレスが付与された VLAN に含まれるポート ルータポート (1): 上記以外のポート 	
9	axslldpRemOriginInfoIPv4VlanId {axslldpRemOriginInfoEntry 7}	INTEGER	R/O	axslldpRemOriginInfoIPv4PortType がブリッジポートのとき IPv4 アドレスが付与されている VLAN ID のうち、最も小さいもの。 axslldpRemOriginInfoIPv4PortType がルータポートのとき 0 固定。	
10	axslldpRemOriginInfoIPv6Addresses {axslldpRemOriginInfoEntry 8}	OCTET STRING (SIZE(0..45))	R/O	axslldpRemOriginInfoLowerVlanList に Untagged だけ設定されているとき 隣接装置の該当ポートに付与されている IPv6 アドレス (文字列)。 上記以外の場合 隣接装置の該当ポートで有効であり、かつ IPv6 アドレスが付与されている VLAN のうち、最も小さい ID を持つ VLAN に付与された IPv6 アドレス (文字列)。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
11	axslldpRemOriginInfoIPv6PortType {axslldpRemOriginInfoEntry 9}	INTEGER	R/O	隣接装置の該当ポートのポート種別。 <ul style="list-style-type: none"> ブリッジポート (0): IP アドレスの定義されていないポートまたは IP アドレスが付与された VLAN に含まれるポート ルータポート (1): 上記以外のポート 	
12	axslldpRemOriginInfoIPv6VlanId {axslldpRemOriginInfoEntry 10}	INTEGER	R/O	axslldpRemOriginInfoIPv6PortType がブリッジポートのとき IPv6 アドレスが付与されている VLAN ID のうち、最も小さいもの。 axslldpRemOriginInfoIPv6PortType がルータポートのとき 0 固定。	

3.17 axsAxpMIB グループ (Ring Protocol 情報)

3.17.1 axsAxpGroupTable グループ

(1) 識別子

```
axsAxp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 200}
axsAxpGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsAxp 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1
```

(2) 実装仕様

axsAxpGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-68 axsAxpGroupTable グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsAxpGroupTable {axsAxp 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Ring Protocol グループ情報を格納するテーブル。	
2	axsAxpGroupEntry {axsAxpGroupTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Ring Protocol グループ情報のリスト。 INDEX {axsAxpGroupRingId}	
3	axsAxpGroupRingId {axsAxpGroupEntry 1}	INTEGER	NA	リング ID (1 ~ 65535)	
4	axsAxpGroupRowStatus {axsAxpGroupEntry 2}	RowStatus	R/O	このエントリの有効 / 無効状態。 Valid (1) 固定。	
5	axsAxpGroupMode {axsAxpGroupEntry 3}	INTEGER	R/O	リング ID ごとの動作モード。 <ul style="list-style-type: none"> no config (1): コンフィグレーションコマンド mode が未設定 master (2): マスタノード transit (3): トランジットノード 	
6	axsAxpGroupRingAttribute {axsAxpGroupEntry 4}	INTEGER	R/O	マルチリング構成時、共有リンク非監視リングでの本装置の属性。 <ul style="list-style-type: none"> no config (1): 属性なし rift-ring (2): 共有リンク非監視リングを構成するノード rift-ring-edge 1 (3): 共有リンク非監視リングの最終端となるノード 1 rift-ring-edge 2 (4): 共有リンク非監視リングの最終端となるノード 2 	
7	axsAxpGroupMonitoringState {axsAxpGroupEntry 5}	INTEGER	R/O	リングの運用および監視状態。 <ul style="list-style-type: none"> init (1): 初期化中 disable (2): 無効化状態 fault monitoring (3): 障害監視状態 recovery monitoring (4): 復旧監視状態 flush monitoring (5): フラッシュ制御フレームの監視状態 not operating (6): 運用不可状態 preempt delay (8): 経路切り戻し抑止状態 recovery re-monitoring (9): 復旧再監視状態 (経路切り戻し抑止解除時) 	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
8	axsAxpGroupRingport1 {axsAxpGroupEntry 6}	INTEGER	R/O	リングポート 1 (ifIndex が小さい方のポート) の ifIndex。	
9	axsAxpGroupRingport1Shared {axsAxpGroupEntry 7}	INTEGER	R/O	リングポート 1 の共有状態。 • no config (1) • shared-edge (2) • shared (3)	
10	axsAxpGroupRingport2 {axsAxpGroupEntry 8}	INTEGER	R/O	リングポート 2 (ifIndex が大きい方のポート) の ifIndex。	
11	axsAxpGroupRingport2Shared {axsAxpGroupEntry 9}	INTEGER	R/O	リングポート 2 の共有状態。 • no config (1) • shared-edge (2) • shared (3)	
12	axsAxpGroupTransitionToFaultCounts {axsAxpGroupEntry 10}	Counter	R/O	障害監視状態から復旧監視状態に移行した回数。	
13	axsAxpGroupTransitionToNormalCounts {axsAxpGroupEntry 11}	Counter	R/O	復旧監視状態から障害監視状態に移行した回数。	
14	axsAxpGroupLastTransitionTime {axsAxpGroupEntry 12}	TimeStamp	R/O	復旧監視状態から障害監視状態、または障害監視状態から復旧監視状態に遷移した最新時間。	

注 リングポートのコンフィグレーションが設定されていない場合、リングポート 1、またはリングポート 2 に関する MIB 情報を取得できません。リングポートのコンフィグレーションを設定し、MIB 情報を取得してください。

3.17.2 axsAxpVlanGroupTable グループ

(1) 識別子

axsAxp OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 200}

axsAxpVlanGroupTable OBJECT IDENTIFIER ::= {axsAxp 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2

(2) 実装仕様

axsAxpVlanGroupTable グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-69 axsAxpVlanGroup グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsAxpVlanGroupTable {axsAxp 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	Ring Protocol VLAN グループの情報を格納するテーブル。	
2	axsAxpVlanGroupEntry {axsAxpVlanGroupTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	VLAN グループのリングポート情報のリスト。 INDEX {axsAxpVlanGroupRingId, axsAxpVlanGroupId}	
3	axsAxpVlanGroupRingId {axsAxpVlanGroupEntry 1}	INTEGER	NA	リング ID (1 ~ 65535)。	

3.17 axsAxpMIB グループ (Ring Protocol 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	axsAxpVlanGroupId {axsAxpVlanGroupEntry 2}	INTEGER	NA	VLAN グループ ID。	
5	axsAxpVlanGroupRingport1 {axsAxpVlanGroupEntry 3}	INTEGER	R/O	リングポート 1 (ifIndex が小さい方のポート) の ifIndex。	
6	axsAxpVlanGroupRingport1Role {axsAxpVlanGroupEntry 4}	INTEGER	R/O	リングポート 1 の役割。 <ul style="list-style-type: none"> • primary (1): マスタノードのプライマリポート • secondary (2): マスタノードのセカンダリポート • other (3) 	
7	axsAxpVlanGroupRingport1OperState {axsAxpVlanGroupEntry 5}	INTEGER	R/O	リングポート 1 の現在の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • forwarding (1) • blocking (2) • other (3) • down (4) 	
8	axsAxpVlanGroupRingport2 {axsAxpVlanGroupEntry 6}	INTEGER	R/O	リングポート 2 (ifIndex が大きい方のポート) の ifIndex。	
9	axsAxpVlanGroupRingport2Role {axsAxpVlanGroupEntry 7}	INTEGER	R/O	リングポート 2 の役割。 <ul style="list-style-type: none"> • primary (1): マスタノードのプライマリポート • secondary (2): マスタノードのセカンダリポート • other (3) 	
10	axsAxpVlanGroupRingport2OperState {axsAxpVlanGroupEntry 8}	INTEGER	R/O	リングポート 2 の現在の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • forwarding (1) • blocking (2) • other (3) • down (4) 	

注 リングポートのコンフィギュレーションが設定されていない場合、リングポート 1、またはリングポート 2 に関する MIB 情報を取得できません。リングポートのコンフィギュレーションを設定し、MIB 情報を取得してください。

3.18 axsPconMIB グループ (消費電力情報 MIB)

3.18.1 axsPconModuleData グループ

(1) 識別子

```
axsPconMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 300}
axsPconObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsPconMIB 1}
axsPconModuleData OBJECT IDENTIFIER ::= {axsPconObjects 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1
```

(2) 実装仕様

axsPconModuleData グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-70 axsPconModuleData グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsPconModuleTable {axsPconModuleData 1}	SEQUENCE OF AxsPconModuleEntry	NA	装置またはボードごとの稼働状態、電力制御モードのテーブル。	
2	axsPconModuleEntry {axsPconModuleTable 1}	AxsPconModuleEntry	NA	装置または特定のボード情報エントリ。 INDEX {axsPconModuleIndex}	
3	axsPconModuleIndex {axsPconModuleEntry 1}	Integer32 (1..2147483647)	NA	各テーブルを参照するインデックス情報。 <ul style="list-style-type: none"> • 装置全体 (1000) • Chassis (1001) • BCU1 (1101) • BCU2 (1102) • CSU1 (1201) • CSU2 (1202) • MSU1 (1301) • MSU2 (1302) • BSU1 (1401) • BSU2 (1402) • BSU3 (1403) • NIF1 (1501) • NIF2 (1502) • NIF3 (1503) • NIF4 (1504) • NIF5 (1505) • NIF6 (1506) • NIF7 (1507) • NIF8 (1508) 	
4	axsPconModuleType {axsPconModuleEntry 2}	INTEGER	R/O	装置全体、筐体またはボードの種別。 <ul style="list-style-type: none"> • 装置全体 (1) • Chassis (2) • BCU (3) • CSU (4) • MSU (5) • BSU (6) • NIF (7) 	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
5	axsPconModuleSlotNo {axsPconModuleEntry 3}	Integer32	R/O	装置全体、筐体またはボードの搭載スロット位置情報。 <ul style="list-style-type: none"> 装置全体または筐体の場合、1 固定で応答します。 ボードがサポート対象外または未実装の場合、取得不可で -1 を応答します。 	
6	axsPconModuleDescr {axsPconModuleEntry 4}	DisplayString	R/O	装置全体またはボードの略称情報 (最大 16 文字)。 <ul style="list-style-type: none"> 装置全体の場合、装置モデル (show system コマンドで表示される装置モデル) 情報取得不可時は、長さ 0 で応答します。 各ボードの場合、各ボードの略称 (show version コマンドで表示されるボード略称) 各ボードが未実装時または情報取得不可時は、長さ 0 で応答します。 	
7	axsPconModuleStatus {axsPconModuleEntry 5}	INTEGER	R/O	装置全体またはボードの稼働状態。 <ul style="list-style-type: none"> 未実装 (0) 運用系稼働中または運用中 (1) 待機系稼働中 (2) 非稼働中 (3) ボードがサポート対象外の場合、取得不可で -1 を応答します。	
8	axsPconModuleMode {axsPconModuleEntry 6}	INTEGER	R/O	装置全体またはボードの電力制御モード。 <ul style="list-style-type: none"> other (0) normal (1) saving mode1 (2) saving mode2 (3) saving (4) changing (5) BSU の電力制御モード設定中は、装置全体の情報を参照しても changing が表示されず。 ボードがサポート対象外の場合、取得不可で -1 を応答します。	

3.18.2 axsPconPowerCon グループ

(1) 識別子

```
axsPconMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 300}
axsPconObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsPconMIB 1}
axsPconPowerCon OBJECT IDENTIFIER ::= {axsPconObjects 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.2
```

(2) 実装仕様

axsPconPowerCon グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-71 axsPconPowerCon グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsPconPowerConTable {axsPconPowerCon 1}	SEQUENCE OF AxsPconPowerConEntry	NA	装置全体、筐体またはボードの消費電力情報テーブル。	
2	axsPconPowerConEntry {axsPconPowerConTable 1}	AxsPconPowerConEntry	NA	装置全体、筐体またはボードの消費電力情報エントリ。 INDEX {axsPconModuleIndex}	
3	axsPconPowerConMaxPower {axsPconPowerConEntry 1}	Gauge	R/O	装置全体、筐体または実装するボードの最大消費電力 (単位: 1/100W)。 ¹ ボードがサポート対象外の場合、0 を応答します。	
4	axsPconPowerConPowerConsumption {axsPconPowerConEntry 2}	Counter64	R/O	装置起動から現在までの装置全体、筐体またはボードの消費電力量 (単位: 1/100Wh)。 消費電力量は消費電力を基に取得するため、目安値となります。 ボードがサポート対象外の場合、0 または該当するスロットで累積した統計情報を応答します。 ²	
5	axsPconPowerConPowerMeter {axsPconPowerConEntry 3}	Gauge	R/O	装置全体、筐体またはボードの消費電力 (単位: 1/100W)。 消費電力は目安値となります。 ボードがサポート対象外または未実装の場合、0 を応答します。	

注 1 「ハードウェア取扱説明書」に記載されている最大消費電力とは異なります。本値は、使用条件を最大にして計算した値となります。

注 2 ボードのスロット位置を変えたり、ボードを抜き差ししたりしても、装置を再起動しないかぎり、該当するスロットで累積した統計情報を表示します。

3.18.3 axsPconTraffic グループ

(1) 識別子

```
axsPconMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {axsMib 300}
axsPconObjects OBJECT IDENTIFIER ::= {axsPconMIB 1}
axsPconTraffic OBJECT IDENTIFIER ::= {axsPconObjects 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3
```

(2) 実装仕様

axsPconTraffic グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-72 axsPconTraffic グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	axsPconTrafficTable {axsPconTraffic 1}	SEQUENCE OF AxsPconTrafficEntry	NA	装置全体またはボードのトラフィック情報テーブル。INDEX が装置全体、BSU、CSU、MSU の場合に取得可能。また、axsPconTrafficInDiscPkts では NIF の場合も取得可能。	
2	axsPconTrafficEntry {axsPconTrafficTable 1}	AxsPconTrafficEntry	NA	装置全体またはボードのトラフィック情報エントリ。 INDEX { axsPconModuleIndex }	
3	axsPconTrafficMaxTransferCapacity {axsPconTrafficEntry 1}	Gauge	R/O	装置全体または実装するボードの最大転送容量 (単位: kbit/s)。 ¹ ボードがサポート対象外または転送エンジンが 1 枚も実装されていない場合、取得不可で 0 を応答します。	
4	axsPconTrafficTotalTransferCapacity {axsPconTrafficEntry 2}	Gauge	R/O	装置全体または通信可能ボードの転送容量 (単位: kbit/s)。 ¹ ボードがサポート対象外または転送エンジンが 1 枚も実装されていない場合、取得不可で 0 を応答します。	
5	axsPconTrafficInOctets {axsPconTrafficEntry 3}	Counter64	R/O	装置全体または通信可能ボードの累積受信オクテット数 (単位: octets)。 ¹ ボードがサポート対象外または未実装の場合、取得不可で 0 または該当するスロットで累積した統計情報を応答します。 ²	
6	axsPconTrafficOutOctets {axsPconTrafficEntry 4}	Counter64	R/O	装置全体または通信可能ボードの累積送信オクテット数 (単位: octets)。 ¹ ボードがサポート対象外または未実装の場合、取得不可で 0 または該当するスロットで累積した統計情報を応答します。 ²	
7	axsPconTrafficInPkts {axsPconTrafficEntry 5}	Counter64	R/O	装置全体または通信可能ボードの累積受信パケット数 (単位: packets)。 ¹ ボードがサポート対象外または未実装の場合、取得不可で 0 または該当するスロットで累積した統計情報を応答します。 ²	
8	axsPconTrafficOutPkts {axsPconTrafficEntry 6}	Counter64	R/O	装置全体または通信可能ボードの累積送信パケット数 (単位: packets)。 ¹ ボードがサポート対象外または未実装の場合、取得不可で 0 または該当するスロットで累積した統計情報を応答します。 ²	
9	axsPconTrafficCapacityOctets {axsPconTrafficEntry 7}	Counter64	R/O	装置全体または通信可能ボードの転送容量に基づく受信可能な累積オクテット数 (単位: octets)。 ¹ ボードがサポート対象外または未実装の場合、取得不可で 0 または該当するスロットで累積した統計情報を応答します。 ²	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
10	axsPconTrafficInPeakOctetsRate {axsPconTrafficEntry 8}	Gauge	R/O	装置全体または通信可能ボードの受信ピーク時の受信レート (単位: kbit/s)。 ¹ ボードがサポート対象外または未実装の場合、取得不可で 0 を応答します。	
11	axsPconTrafficPeakTransferCapacity {axsPconTrafficEntry 9}	Gauge	R/O	装置全体または通信可能ボードの受信ピーク時の転送容量 (単位: kbit/s)。 ¹ ボードがサポート対象外または未実装の場合、取得不可で 0 を応答します。	
12	axsPconTrafficInDiscPkts {axsPconTrafficEntry 10}	Counter64	R/O	装置全体または通信可能ボードの累積受信廃棄パケット数 (単位: packets)。 ¹ ボードがサポート対象外または未実装の場合、取得不可で 0 または該当するスロットで累積した統計情報を応答します。 ²	

注 1 CSU/MSU/BSU では、稼働中の運用系 CSU/MSU/BSU でトラフィック情報を取得します。ただし、CSU では PSP ダブルアクト運転時だけ、待機系 CSU でトラフィック情報も取得します。

注 2 ボードのスロット位置を変えたり、ボードを抜き差ししたりしても、装置を再起動しないかぎり、該当するスロットで累積した統計情報を表示します。

3.19 ax6700sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB)

(1) 識別子

```

ax6700sMib      OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 9}

ax6700sSwitch  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sMib 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1

ax6700sModelType OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sSwitch 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.1

ax6700sSoftware OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sSwitch 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.2

ax6700sSystemMsg OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sSwitch 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.3

ax6700sSnmpAgent OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sSwitch 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.4

ax6700sLicense  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sSwitch 6}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.6

```

(2) 実装仕様

ax6700sSwitch グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-73 ax6700sSwitch グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6700sModelType {ax6700sSwitch 1}	INTEGER	R/O	システム装置のモデル情報。 • AX6708S (701)	
2	ax6700sSoftwareName {ax6700sSoftware 1}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェアの型名 (最大 16 文字)。	
3	ax6700sSoftwareAbbreviation {ax6700sSoftware 2}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェアの略称 (最大 16 文字)。	
4	ax6700sSoftwareVersion {ax6700sSoftware 3}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェアのバージョン (最大 16 文字)。	
5	ax6700sSystemMsgText {ax6700sSystemMsg 1}	DisplayString	R/O	運用ログ上の最新ログ情報, および システムメッセージログの最新エントリ情報 (最大 256 文字)。 ログフォーマットについては、「メッセージ・ログ グレファレンス」を参照してください。	
6	ax6700sSystemMsgType {ax6700sSystemMsg 2}	OCTET STRING	R/O	最新のシステムメッセージログのイベント種別 (1 バイトで示す)。 • イベントが発生した (01) • イベントが回復した (02)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ax6700sSystemMsgTimeStamp {ax6700sSystemMsg 3}	DisplayString	R/O	最新のシステムメッセージログのイベント発生時刻。 "MM/DD hh:mm:ss" (14 バイト) で示します。 <ul style="list-style-type: none"> • MM : 月 (01 ~ 12) • DD : 日 (01 ~ 31) • hh : 時 (00 ~ 23) • mm : 分 (00 ~ 59) • ss : 秒 (00 ~ 59) DD と hh の間には、1 バイトのスペース文字が入ります。	
8	ax6700sSystemMsgLevel {ax6700sSystemMsg 4}	OCTET STRING	R/O	最新のシステムメッセージログ (1 バイトで示す)。 <ul style="list-style-type: none"> • 致命的障害 (9) • 重度障害 (8) • ソフトウェア障害 (7) • NIF 障害 (6) • ネットワーク系障害 (4) • 警告 (3) • 予備 (2) • 予備 (1) 	
9	ax6700sSystemMsgEventPoint {ax6700sSystemMsg 5}	DisplayString	R/O	システムメッセージの障害発生部位のコード (最大 8 バイト)。 イベント発生部位の内容については、「メッセージ・ログレファレンス」を参照してください。	
10	ax6700sSystemMsgEventInterfaceID {ax6700sSystemMsg 6}	DisplayString	R/O	システムメッセージのインタフェース識別子 (最大 40 文字)。 識別子の内容については、「メッセージ・ログレファレンス」を参照してください。	
11	ax6700sSystemMsgEventCode {ax6700sSystemMsg 7}	OCTET STRING	R/O	システムメッセージのメッセージ識別子コード (4 バイトで示す)。 0x00000000 ~ 0xFFFFFFFF コードの内容については、「メッセージ・ログレファレンス」を参照してください。	
12	ax6700sSystemMsgAdditionalCode {ax6700sSystemMsg 8}	OCTET STRING	R/O	システムメッセージの付加情報 (6 バイトで示す)。 0x000000000000 ~ 0xFFFFFFFFFFFF コードの内容は、保守用のため公開していません。	
13	ax6700sSnmpSendReceiveSize {ax6700sSnmpAgent 1}	INTEGER	R/O	エージェントが送受信可能な SNMP パケットのサイズ (単位: バイト)。	
14	ax6700sSnmpReceiveDelay {ax6700sSnmpAgent 2}	INTEGER	R/O	SNMP パケットの推奨受信遅延間隔 (単位: ミリ秒)。	
15	ax6700sSnmpContinuousSend {ax6700sSnmpAgent 3}	INTEGER	R/O	SNMP パケットの推奨連続送信数。	
16	ax6700sSnmpObjectMaxNumber {ax6700sSnmpAgent 4}	INTEGER	R/O	1SNMP パケット当たりの推奨オブジェクト数。	
17	ax6700sLicenseNumber {ax6700sLicense 1}	INTEGER	R/O	設定されたライセンスシリアル番号の数。	
18	ax6700sLicenseTable {ax6700sLicense 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ライセンス情報のテーブル。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
19	ax6700sLicenseEntry {ax6700sLicenseTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ライセンス情報のエントリ。 INDEX { ax6700sLicenseIndex }	
20	ax6700sLicenseIndex {ax6700sLicenseEntry 1}	INTEGER	NA	シリアル番号ごとに付けられたユニークなインデックス番号。 1 ~ ax6700sLicenseNumber までの数。	
21	ax6700sLicenseSerialNumber {ax6700sLicenseEntry 2}	DisplayString	R/O	シリアル番号。	
22	ax6700sLicenseOptionNumber {ax6700sLicenseEntry 3}	INTEGER	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス数。	
23	ax6700sLicenseOptionTable {ax6700sLicense 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のテーブル。	
24	ax6700sLicenseOptionEntry {ax6700sLicenseOptionTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のエントリ。 INDEX { ax6700sLicenseOptionIndex ax6700sLicenseOptionNumberIndex }	
25	ax6700sLicenseOptionIndex {ax6700sLicenseOptionEntry 1}	INTEGER	NA	シリアル番号ごとに付けられたユニークなインデックス番号。 ax6700sLicenseIndex と同じ番号。	
26	ax6700sLicenseOptionNumberIndex {ax6700sLicenseOptionEntry 2}	INTEGER	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のインデックス番号。 1 ~ ax6700sLicenseOptionNumber までの数。	
27	ax6700sLicenseOptionSoftwareName {ax6700sLicenseOptionEntry 3}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のソフトウェア型名。	
28	ax6700sLicenseOptionSoftwareAbbreviation {ax6700sLicenseOptionEntry 4}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のソフトウェア略称。	

3.20 ax6700sDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB)

3.20.1 ax6700sChassis グループの実装仕様 (筐体情報)

(1) 識別子

```
ax6700sDevice    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sMib 2}
ax6700sChassis  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sDevice 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1
```

```
ax6700sChassisMaxNumber OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sChassis 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.1
```

```
ax6700sChassisTable    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sChassis 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.2
```

(2) 実装仕様

ax6700sChassis グループの実装仕様 (筐体情報) を次の表に示します。

表 3-74 ax6700sChassis グループの実装仕様 (筐体情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6700sChassisMaxNumber {ax6700sChassis 1}	INTEGER	R/O	本装置に接続できるクラスタ筐体の最大数。	
2	ax6700sChassisTable {ax6700sChassis 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	筐体情報のテーブル。	
3	ax6700sChassisEntry {ax6700sChassisTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての情報エントリ。 INDEX {ax6700sChassisIndex}	
4	ax6700sChassisIndex {ax6700sChassisEntry 1}	INTEGER	NA	ax6700sChassisEntry を特定するための番号。 1 固定。	
5	ax6700sChassisType {ax6700sChassisEntry 2}	INTEGER	R/O	筐体のタイプ。 • AX6708S (701)	
6	ax6700sChassisStatus {ax6700sChassisEntry 3}	INTEGER	R/O	筐体の現在のステータス。 稼働中 (2) 固定。	
7	ax6700sPowerUnitNumber {ax6700sChassisEntry 21}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる電源機構の数。	
8	ax6700sFanNumber {ax6700sChassisEntry 23}	INTEGER	R/O	この筐体のファンの数。	
9	ax6700sBcuBoardDuplexMode {ax6700sChassisEntry 26}	INTEGER	R/O	BCU の二重化モード。 • BCU 一重化モード (1) • BCU 二重化モード (2)	
10	ax6700sBcuBoardNumber {ax6700sChassisEntry 27}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる BCU の最大数。	
11	ax6700sNifBoardNumber {ax6700sChassisEntry 28}	INTEGER	R/O	この筐体に接続できる NIF ボードの最大数。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
12	ax6700sPowerControl {ax6700sChassisEntry 29}	INTEGER	R/O	この筐体の電力モード。 <ul style="list-style-type: none"> • 通常電力 (1) • 省電力モード 1 (2) • 省電力モード 2 (3) • 電力モード変更中 (10) 	
13	ax6700sBsuBoardDuplexActiveMode {ax6700sChassisEntry 30}	INTEGER	R/O	運用系で稼働している BSU の数。 <ul style="list-style-type: none"> • 0 枚 (0) • 1 枚 (1) • 2 枚 (2) • 3 枚 (3) 	
14	ax6700sBsuBoardDuplexStandbyMode {ax6700sChassisEntry 31}	INTEGER	R/O	待機系で稼働している BSU の数。 <ul style="list-style-type: none"> • 0 枚 (0) • 1 枚 (1) • 2 枚 (2) 	
15	ax6700sBsuBoardNumber {ax6700sChassisEntry 32}	INTEGER	R/O	この筐体に接続できる BSU の数。	

3.20.2 ax6700sChassis グループの実装仕様 (電源機構情報)

(1) 識別子

```
ax6700sChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sDevice 1}
ax6700sPowerUnitTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sChassis 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.3
```

(2) 実装仕様

ax6700sChassis グループの実装仕様 (電源機構情報) を次の表に示します。

表 3-75 ax6700sChassis グループの実装仕様 (電源機構情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6700sPowerUnitTable {ax6700sChassis 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源機構情報のテーブル。	
2	ax6700sPowerUnitEntry {ax6700sPowerUnitTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源機構情報のエントリ。 INDEX { ax6700sChassisIndex, ax6700sPowerUnitIndex }	
3	ax6700sPowerUnitIndex {ax6700sPowerUnitEntry 1}	INTEGER	NA	電源機構の位置を示すインデックス。 1 ~ ax6700sPowerUnitNumber までの値。	
4	ax6700sPowerConnectStatus {ax6700sPowerUnitEntry 2}	INTEGER	R/O	電源機構の実装状態。 <ul style="list-style-type: none"> • 実装 (2) • 未実装 (32) 	
5	ax6700sPowerSupplyStatus {ax6700sPowerUnitEntry 3}	INTEGER	R/O	電源機構の運用状態。 <ul style="list-style-type: none"> • 稼働中 (2) • 障害中 (4) 電源機構未実装時は -1 で応答します。	

3.20.3 ax6700sChassis グループの実装仕様 (ファン情報)

(1) 識別子

```
ax6700sChassis    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sDevice 1}
ax6700sFanTable  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sChassis 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.4
```

(2) 実装仕様

ax6700sChassis グループの実装仕様 (ファン情報) を次の表に示します。

表 3-76 ax6700sChassis グループの実装仕様 (ファン情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6700sFanTable {ax6700sChassis 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ファン情報のテーブル。	
2	ax6700sFanEntry {ax6700sFanTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ファン情報のエントリ。 INDEX { ax6700sChassisIndex, ax6700sFanIndex }	
3	ax6700sFanIndex {ax6700sFanEntry 1}	INTEGER	NA	ファンの位置を示すインデックス。 1 ~ ax6700sFanNumber までの値。	
4	ax6700sFanStatus {ax6700sFanEntry 2}	INTEGER	R/O	ファンの運用状態。 • 稼働中 (2) • 高速回転中 (3) • 障害中 (4)	

3.20.4 ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報)

(1) 識別子

```
ax6700sBcuBoard    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sDevice 2}
ax6700sBcuBoardTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sBcuBoard 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1
```

(2) 実装仕様

ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報) を次の表に示します。

表 3-77 ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6700sBcuBoardTable {ax6700sBcuBoard 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての BCU 搭載情報テーブル。	
2	ax6700sBcuBoardEntry {ax6700sBcuBoardTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての BCU エントリ。 INDEX { ax6700sChassisIndex, ax6700sBcuBoardIndex }	
3	ax6700sBcuBoardIndex {ax6700sBcuBoardEntry 1}	INTEGER	NA	BCU 搭載スロットの位置情報。 1 ~ ax6700sBcuBoardNumber までの値。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ax6700sBcuOperStatus {ax6700sBcuBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	BCU の STATUS LED の状態。 <ul style="list-style-type: none"> 準備中 (1) 稼働中 (2) 障害中 (4) 未実装または情報取得不可状態 (6) 	
5	ax6700sBcuOperModeStatus {ax6700sBcuBoardEntry 3}	BITS	R/O	BCU の運用状態。 <ul style="list-style-type: none"> BCU 未実装時, または運用状態不明時 (0) 準備中 (1) 運用系 BCU として稼働中 (2) 待機系 BCU として稼働中 (3) コンフィグレーション不一致による非同期中 (4) ソフトウェアバージョン不一致による非同期中 (5) ライセンス不一致による非同期中 (6) 障害中 (7) 保守中 (メンテナンス中) (8) 	
6	ax6700sBcuActiveLedStatus {ax6700sBcuBoardEntry 4}	INTEGER	R/O	装置の ACTIVE LED の状態。 <ul style="list-style-type: none"> 緑点灯 (2) 消灯 (6) BCU 未実装時, または LED 状態が不明のときは, -1 で応答します。	
7	ax6700sBcuSystem1LedStatus {ax6700sBcuBoardEntry 5}	INTEGER	R/O	装置の SYSTEM1 LED の状態。 <ul style="list-style-type: none"> 緑点灯 (2) 橙点灯 (3) 赤点灯 (4) 消灯 (6) BCU 未実装時, または LED 状態が不明のときは, -1 で応答します。	
8	ax6700sBcuSystem2LedStatus {ax6700sBcuBoardEntry 6}	INTEGER	R/O	装置の SYSTEM2 LED の状態。 <ul style="list-style-type: none"> 緑点滅 (1) 緑点灯 (2) 消灯 (6) BCU 未実装時, または LED 状態が不明のときは, -1 で応答します。	
9	ax6700sBcuMgmtPortStatus {ax6700sBcuBoardEntry 7}	INTEGER	R/O	マネージメントポートの状態。 <ul style="list-style-type: none"> 稼働中 (2) 障害中 (4) disable 状態 (6) 保守中 (メンテナンス中) (7) 回線テスト中 (9) 未使用 (10) BCU 未実装時, またはマネージメントポートの状態が不明のときは, -1 で応答します。	
10	ax6700sBcuBoardName {ax6700sBcuBoardEntry 8}	DisplayString	R/O	BCU ボードの型名 (最大 16 文字)。 BCU 未実装時, または情報取得不可時は, レングス 0 で応答します。	
11	ax6700sBcuBoardAbbreviation {ax6700sBcuBoardEntry 9}	DisplayString	R/O	BCU ボードの略称 (最大 16 文字)。 BCU 未実装時, または情報取得不可時は, レングス 0 で応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
12	ax6700sBcuCpuName {ax6700sBcuBoardEntry 10}	DisplayString	R/O	BCU が搭載している CPU の名称 (最大 16 文字) 例 "AMD K5" BCU 未実装時, または情報取得不可時は, レングス 0 で応答します。	
13	ax6700sBcuCpuClock {ax6700sBcuBoardEntry 11}	INTEGER	R/O	BCU 搭載 CPU クロック数 (単位: MHz) 例 200 BCU 未実装時, または情報取得不可時は, -1 で応答します。	
14	ax6700sBcuMemoryTotalSize {ax6700sBcuBoardEntry 12}	INTEGER	R/O	搭載メモリサイズ (単位: kB) BCU 未実装時, または情報取得不可時は, -1 で応答します。	
15	ax6700sBcuMemoryUsedSize {ax6700sBcuBoardEntry 13}	INTEGER	R/O	使用メモリサイズ (単位: kB) BCU 未実装時, または情報取得不可時は, -1 で応答します。	
16	ax6700sBcuMemoryFreeSize {ax6700sBcuBoardEntry 14}	INTEGER	R/O	未使用メモリサイズ (単位: kB) BCU 未実装時, または情報取得不可時は, -1 で応答します。	
17	ax6700sBcuRomVersion {ax6700sBcuBoardEntry 15}	DisplayString	R/O	BCU 搭載 ROM のバージョン。 例 "ROM 01-01 Rev0 BIOS Rev.:R1.02.E4" BCU 未実装時, または情報取得不可時は, レングス 0 で応答します。	
18	ax6700sBcuCpuLoad1m {ax6700sBcuBoardEntry 16}	INTEGER	R/O	1 分間の BCU CPU 使用率 (0 ~ 100 で示す) BCU 未実装時, または情報取得不可時は, -1 で応答します。	
19	ax6700sBcuFlashTotalSize {ax6700sBcuBoardEntry 17}	INTEGER	R/O	内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム使用容量と未使用容量の合計 (単位: kB) BCU 未実装時, または情報取得不可時は, -1 で応答します。	
20	ax6700sBcuFlashUsedSize {ax6700sBcuBoardEntry 18}	INTEGER	R/O	内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム使用容量 (単位: kB) BCU 未実装時, または情報取得不可時は, -1 で応答します。	
21	ax6700sBcuFlashFreeSize {ax6700sBcuBoardEntry 19}	INTEGER	R/O	内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム未使用容量 (単位: kB) BCU 未実装時, または情報取得不可時は, -1 で応答します。	
22	ax6700sBcuTemperatureStatus Number {ax6700sBcuBoardEntry 20}	INTEGER	R/O	この BCU の温度監視部分の最大数。 BCU 未実装時, または情報取得不可時は, -1 で応答します。	
23	ax6700sBcuSerialNumber {ax6700sBcuBoardEntry 21}	DisplayString	R/O	BCU ボードのシリアル番号 (最大 30 文字) BCU 未実装時, または情報取得不可時は, レングス 0 で応答します。	
24	ax6700sBcuTotalAccumRunTime {ax6700sBcuBoardEntry 22}	INTEGER	R/O	装置の運用を開始してからの累計稼働時間。 BCU の電源を OFF にしても値はクリアされません。 BCU 未実装時, または情報取得不可時は, -1 で応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
25	ax6700sBcuCriticalAccumRunTime {ax6700sBcuBoardEntry 23}	INTEGER	R/O	摂氏 40 度以上の環境下での稼働時間。 BCU の電源を OFF にしても値はクリアされません。 BCU 未実装時、または情報取得不可時は、-1 で応答します。	

3.20.5 ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (温度情報)

(1) 識別子

```
ax6700sBcuBoard          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sDevice 2}
ax6700sTemperatureStatusTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sBcuBoard 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.2
```

(2) 実装仕様

ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (温度情報) を次の表に示します。

表 3-78 ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (温度情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6700sTemperatureStatusTable {ax6700sBcuBoard 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	温度状態のテーブル。	
2	ax6700sTemperatureStatusEntry {ax6700sTemperatureStatusTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	温度状態のエントリ。 INDEX { ax6700sChassisIndex, ax6700sBcuBoardIndex, ax6700sTemperatureStatusIndex }	
3	ax6700sTemperatureStatusIndex {ax6700sTemperatureStatusEntry 1}	INTEGER	NA	温度監視部分ごとにつけられたユニークなインデックス番号。	
4	ax6700sTemperatureStatusDescriptor {ax6700sTemperatureStatusEntry 2}	DisplayString	R/O	この温度監視部分の説明。 • "Main board Temperature" : ボードの温度	
5	ax6700sTemperatureStatusValue {ax6700sTemperatureStatusEntry 3}	Integer32	R/O	この温度監視部分の現在の温度。	
6	ax6700sTemperatureThreshold {ax6700sTemperatureStatusEntry 4}	Integer32	R/O	装置が停止状態になる、この温度監視部分の温度。	
7	ax6700sTemperatureState {ax6700sTemperatureStatusEntry 5}	INTEGER	R/O	この温度監視部分の現在の温度状態。 • 正常 (1) • 注意 (2) • 警告 (3) • 異常 (4)	

3.20.6 ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報)

(1) 識別子

```
ax6700sBcuBoard          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sDevice 2}
ax6700sSdCardTable      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sBcuBoard 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.3
```

(2) 実装仕様

ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報) を次の表に示します。

表 3-79 ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6700sSdCardTable {ax6700sBcuBoard 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MC 情報のテーブル。	
2	ax6700sSdCardEntry {ax6700sSdCardTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MC 情報のエントリ。 INDEX { ax6700sChassisIndex, ax6700sBcuBoardIndex, ax6700sSdCardIndex }	
3	ax6700sSdCardIndex {ax6700sSdCardEntry 1}	INTEGER	NA	MC 挿入スロットの位置情報。 1 固定。	
4	ax6700sSdCardConnection {ax6700sSdCardEntry 2}	INTEGER	R/O	MC の接続状態。 • 接続 (2) • 未接続 (32)	
5	ax6700sSdCardTotalSize {ax6700sSdCardEntry 3}	INTEGER	R/O	MC の総容量 (単位: kB)。 MC 未接続の場合, -1 で応答します。	
6	ax6700sSdCardUsedSize {ax6700sSdCardEntry 4}	INTEGER	R/O	MC の使用容量 (単位: kB)。 MC 未接続の場合, -1 で応答します。	
7	ax6700sSdCardFreeSize {ax6700sSdCardEntry 5}	INTEGER	R/O	MC の残容量 (単位: kB)。 MC 未接続の場合, -1 で応答します。	

3.20.7 ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報)

(1) 識別子

```
ax6700sBcuBoard          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sDevice 2}
ax6700sSopTable          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sBcuBoard 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.4
```

(2) 実装仕様

ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報) を次の表に示します。

表 3-80 ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6700sSopTable {ax6700sBcuBoard 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SOP 情報のテーブル。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
2	ax6700sSopEntry {ax6700sSopTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SOP 情報のエントリ。 INDEX { ax6700sChassisIndex, ax6700sBcuBoardIndex }	
3	ax6700sSopAlarmLevel {ax6700sSopEntry 1}	DisplayString	R/O	SOP に表示されている障害のエラーレベル。 <ul style="list-style-type: none"> 致命的障害 (E9) 重度障害 (E8) ソフトウェア障害 (E7) NIF 障害 (E6) 待機系 BCU, 待機系 BSU 障害 (E5) 	
4	ax6700sSopAlarmEventPoint {ax6700sSopEntry 2}	DisplayString	R/O	SOP に表示されている障害発生部位。	
5	ax6700sSopAlarmEventCode {ax6700sSopEntry 3}	DisplayString	R/O	SOP に表示されている障害のメッセージ識別子。 識別子の内容については、「メッセージ・ログレファレンス」を参照してください。	
6	ax6700sSopAlarmEventInterfaceID {ax6700sSopEntry 4}	DisplayString	R/O	SOP に表示されている障害発生部位のインタフェース識別子。 識別子の内容については、「メッセージ・ログレファレンス」を参照してください。	
7	ax6700sSopAlarmMsgText {ax6700sSopEntry 5}	DisplayString	R/O	SOP に表示されている障害のメッセージテキスト。	

3.20.8 ax6700sBsuBoard グループの実装仕様 (BSU 情報)

(1) 識別子

```
ax6700sBsuBoard          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sDevice 3}
ax6700sBsuBoardTable    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sBsuBoard 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.3.1
```

(2) 実装仕様

ax6700sBsuBoard グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-81 ax6700sBsuBoard グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6700sBsuBoardTable {ax6700sBsuBoard 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	スロットに搭載した BSU ボード情報のテーブル。	
2	ax6700sBsuBoardEntry {ax6700sBsuBoardTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体の BSU 情報のエントリ。 INDEX { ax6700sChassisIndex, ax6700sBsuBoardIndex }	
3	ax6700sBsuBoardIndex {ax6700sBsuBoardEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	BSU 搭載スロットの位置情報。 1 ~ ax6700sBsuBoardNumber までの値。	
4	ax6700sBsuBoardType {ax6700sBsuBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	実装している BSU ボードのタイプ。 値については、「表 3-82 ax6700sBsuBoardType 値一覧」を参照してください。 BSU が未実装または情報取得不可時は、-1 で応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
5	ax6700sBsuOperStatus {ax6700sBsuBoardEntry 3}	INTEGER	R/O	BSU の STATUS LED の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • 保守中 (5) • コンフィギュレーションで運用停止中 (6) • 未実装 (32) 	
6	ax6700sBsuOperModeStatus {ax6700sBsuBoardEntry 4}	INTEGER	R/O	BSU の動作状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • 運用系 BSU として稼働中 (2) • 待機系 (ホットスタンバイ) BSU として稼働中 (3) • 待機系 (コールドスタンバイ) BSU として稼働中 (4) • 初期化中 (5) • 障害中 (6) • 保守中 (メンテナンス中) (7) • コンフィギュレーションで運用停止中 (8) • 待機系 (コールドスタンバイ 2) BSU として稼働中 (9) BSU 未実装時は、-1 で応答します。	
7	ax6700sBsuBoardName {ax6700sBsuBoardEntry 5}	DisplayString	R/O	BSU ボード型名 (最大 16 文字)。 BSU が未実装または情報取得不可時は、レングス 0 で応答します。	
8	ax6700sBsuBoardAbbreviation {ax6700sBsuBoardEntry 6}	DisplayString	R/O	BSU ボード略称 (最大 16 文字)。 BSU が未実装または情報取得不可時は、レングス 0 で応答します。	
9	ax6700sBsuSerialNumber {ax6700sBsuBoardEntry 7}	DisplayString	R/O	BSU ボードのシリアル番号 (最大 30 文字)。 BSU が未実装または情報取得不可時は、レングス 0 で応答します。	

表 3-82 ax6700sBsuBoardType 値一覧

BSU 名称	ax6700sBsuBoardName 値	ax6700sBsuBoardType 値	
		16 進	10 進
BSU-LA	AX-F6700-3LA	0x0002	2
BSU-LB	AX-F6700-3LB	0x0003	3

3.20.9 ax6700sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報)

(1) 識別子

```
ax6700sNifBoard          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sDevice 4}
ax6700sNifBoardTable    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sNifBoard 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.4.1
```

(2) 実装仕様

ax6700sNifBoard グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-83 ax6700sNifBoard グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6700sNifBoardTable {ax6700sNifBoard 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	スロットに搭載した NIF ボード情報のテーブル。	
2	ax6700sNifBoardEntry {ax6700sNifBoardTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体の NIF 情報エントリ。 INDEX { ax6700sChassisIndex, ax6700sNifBoardSlotIndex }	
3	ax6700sNifBoardSlotIndex {ax6700sNifBoardEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	NIF 搭載スロットの位置情報。 1 ~ ax6700sNifBoardNumber までの値。	
4	ax6700sNifBoardType {ax6700sNifBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	実装している NIF ボードのタイプ。 値については「表 3-84 ax6700sNifBoardType 値一覧」を参照してください NIF が未実装または情報取得不可時は、-1 で応答します。	
5	ax6700sNifBoardOperStatus {ax6700sNifBoardEntry 3}	INTEGER	R/O	NIF の STATUS LED の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • 保守中 (5) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 未実装 (32) 	
6	ax6700sNifBoardName {ax6700sNifBoardEntry 4}	DisplayString	R/O	NIF ボード型名 (最大 16 文字)。 NIF が未実装または情報取得不可時は、レングス 0 で応答します。	
7	ax6700sNifBoardAbbreviation {ax6700sNifBoardEntry 5}	DisplayString	R/O	NIF ボード略称 (最大 16 文字)。 NIF が未実装または情報取得不可時は、レングス 0 で応答します。	
8	ax6700sNifPhysLineNumber {ax6700sNifBoardEntry 7}	INTEGER	R/O	NIF のポート数 (最大 24)。 ax6700sNifBoardType の値が -1, または other (1) のときは、-1 で応答します。	
9	ax6700sNifSerialNumber {ax6700sNifBoardEntry 8}	DisplayString	R/O	NIF ボードシリアル番号 (最大 30 文字)。 NIF が未実装または情報取得不可時は、レングス 0 で応答します。	
10	ax6700sNifBoardOperModeStatus {ax6700sNifBoardEntry 9}	INTEGER	R/O	NIF の動作状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • 運用中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • 保守中 (メンテナンス)(5) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 待機系 (コールドスタンバイ) NIF として稼働中 (7) NIF 未実装時は、-1 で応答します。	

表 3-84 ax6700sNifBoardType 値一覧

NIF 名称	ax6700sNifBoardName 値	ax6700sNifBoardType 値	
		16 進	10 進
24-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	AX-F6700-713T	0x0007	7
24-port 1000BASE-X(SFP)	AX-F6700-713S	0x0008	8
4-port 10BASE-T/100BASE-TX/ 1000BASE-T-SHAPER or 1000BASE-X(SFP)-SHAPER + 4-port 1000BASE-X(SFP)-SHAPER	AX-F6700-715M	0x000f	15
4-port 10GBASE-R(XFP)	AX-F6700-722F	0x0009	9
8-port 10GBASE-R(XFP)	AX-F6700-723F	0x000a	10

3.20.10 ax6700sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)

(1) 識別子

```
ax6700sPhysLine          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sDevice 5}
ax6700sPhysLineTable    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sPhysLine 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.5.1
```

(2) 実装仕様

ax6700sPhysLine グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-85 ax6700sPhysLine グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6700sPhysLineTable {ax6700sPhysLine 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースのテーブル。	
2	ax6700sPhysLineEntry {ax6700sPhysLineTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースについての情報エントリ。 INDEX { ax6700sChassisIndex, ax6700sNifBoardSlotIndex, ax6700sPhysLineIndex }	
3	ax6700sPhysLineIndex {ax6700sPhysLineEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ポート番号の情報。 1 ~ ax6700sNifLineNumber までの値。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ax6700sPhysLineConnectorType {ax6700sPhysLineEntry 2}	INTEGER	R/O	<p>交換可能なトランシーバ上のインタフェース種別。</p> <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • type1000BASE-LX (301) • type1000BASE-SX (302) • type1000BASE-LH (303) • type1000BASE-BX10-D (304) • type1000BASE-BX10-U (305) • type1000BASE-BX40-D (306) • type1000BASE-BX40-U (307) • type1000BASE-SX2 (308) • type1000BASE-UTP (309) • type1000BASE-LHB (310) • type10GBASE-SR (401) • type10GBASE-LR (402) • type10GBASE-ER (403) • type10GBASE-ZR (404) <p>以下の場合には other (1) を応答します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • インタフェースの状態が other, 初期化中, 障害中 • 交換可能なトランシーバの種別と実装状態が実装以外 	
5	ax6700sPhysLineOperStatus {ax6700sPhysLineEntry 3}	INTEGER	R/O	<p>インタフェースの状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • コンフィギュレーションで運用停止中 (6) • 保守中 (メンテナンス中) (7) • 運用中 (回線障害発生中) (8) • 回線テスト中 (9) 	
6	ax6700sPhysLineIfIndexNumber {ax6700sPhysLineEntry 4}	INTEGER	R/O	<p>インタフェースに含まれる ifIndex 数。</p>	
7	ax6700sPhysLineTransceiverStatus {ax6700sPhysLineEntry 5}	INTEGER	R/O	<p>交換可能なトランシーバの種別と実装状態。インタフェースの状態が初期化中, 障害中の場合は other となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • other または交換可能なトランシーバではない (1) • SFP 実装 (20) • SFP 未実装 (21) • 未サポートの SFP 実装 (22) • SFP 障害 (24) • XFP 実装 (30) • XFP 未実装 (31) • 未サポートの XFP 実装 (32) • XFP 障害 (34) 	

注 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用 SFP

3.20.11 ax6700sInterface グループの実装仕様 (インタフェースインデックス情報)

(1) 識別子


```

ax6700sInterface          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sDevice 6}

ax6700sLineIfTable       OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sInterface 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.6.1

```

(2) 実装仕様

ax6700sInterface グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-86 ax6700sInterface グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6700sLineIfTable {ax6700sInterface 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェース・ifIndex 対応のテーブル情報。	
2	ax6700sLineIfEntry {ax6700sLineIfTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースに割り当てられている ifIndex に関するエントリ。 INDEX { ax6700sChassisIndex, ax6700sNifBoardSlotIndex, ax6700sPhysLineIndex, ax6700sLineIfIndex }	
3	ax6700sLineIfIndex {ax6700sLineIfEntry 1}	INTEGER	NA	本テーブルのエントリを識別するインデックス値。 1 ~ ax6700sPhysLineIfIndexNumber までの値。	
4	ax6700sIfIndex {ax6700sLineIfEntry 2}	INTEGER	R/O	このインタフェースに割り当てられた ifIndex の値。 このインタフェースに ifIndex が未割り当ての場合は、0 を応答します。	

3.21 ax6700sManagementMIB グループ (装置の状態 / 情報の変更を行う)

3.21.1 ax6700sFdbClearMIB グループ (MAC アドレステーブル Clear 用 MIB)

(1) 識別子

```
ax6700sManagementMIB      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sMIB 3}
ax6700sOperationCommand  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sManagementMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.3.1
```

```
ax6700sFdbClearMIB       OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6700sOperationCommand 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.3.1.1
```

(2) 実装仕様

ax6700sFdbClearMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-87 ax6700sFdbClearMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6700sFdbClearMIB {ax6700sOperationCommand 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MAC アドレステーブル情報をクリアするための MIB グループ。	
2	ax6700sFdbClearSet {ax6700sFdbClearMIB 1}	INTEGER	R/W	MAC アドレステーブルの clear 情報。 <ul style="list-style-type: none"> 初期値 (0) clear 処理中 (1) clear 失敗 (2) clear 成功 (3) set 処理を行う場合、1 を設定します。	
3	ax6700sFdbClearReqTime {ax6700sFdbClearMIB 2}	TimeTicks	R/O	MAC アドレステーブル情報のクリア要求を受け付けた最新の時間 (sysUpTime)	
4	ax6700sFdbClearSuccessTime {ax6700sFdbClearMIB 3}	TimeTicks	R/O	MAC アドレステーブル情報がクリアされた最新の時間 (sysUpTime)	

注 値が 1 以外や未設定の場合でも set 処理は行われます。

3.22 ax6600sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB)

(1) 識別子

```

ax6600sMib          OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 12}

ax6600sSwitch      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sMib 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1

ax6600sSoftware    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sSwitch 2}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.2

ax6600sSystemMsg   OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sSwitch 3}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.3

ax6600sSnmpAgent   OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sSwitch 4}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.4

ax6600sLicense     OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sSwitch 6}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.6

```

(2) 実装仕様

ax6600sSwitch グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-88 ax6600sSwitch グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6600sModelType {ax6600sSwitch 1}	INTEGER	R/O	システム装置のモデル情報 (数値)。 • AX6604S (1100) • AX6608S (1101)	
2	ax6600sSoftwareName {ax6600sSoftware 1}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェア型名を文字列で示します (最大 16 文字)。	
3	ax6600sSoftwareAbbreviation {ax6600sSoftware 2}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェアの略称を文字列で示します (最大 16 文字)。	
4	ax6600sSoftwareVersion {ax6600sSoftware 3}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェアのバージョンを文字列で示します (最大 16 文字)。	
5	ax6600sSystemMsgText {ax6600sSystemMsg 1}	DisplayString	R/O	運用ログ上の最新ログ情報 (文字列)。 システムメッセージログの最新エントリ情報 (最大 256 文字)。 ログフォーマットについては、「メッセージ・ログレファレンス」を参照してください。	
6	ax6600sSystemMsgType {ax6600sSystemMsg 2}	OCTET STRING	R/O	最新システムメッセージログのイベント種別を 1 バイトで示します。 • イベントが発生した (01) • イベントが回復した (02)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ax6600sSystemMsgTimeStamp {ax6600sSystemMsg 3}	DisplayString	R/O	最新システムメッセージログのイベント発生時刻 (月日時分秒) を 14 バイトの文字列で示します。 "MM/DD hh:mm:ss" で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • MM : 月 (01 ~ 12) • DD : 日 (01 ~ 31) • hh : 時 (00 ~ 23) • mm : 分 (00 ~ 59) • ss : 秒 (00 ~ 59) DD と hh の間は、1 バイトのスペース文字が入ります。	
8	ax6600sSystemMsgLevel {ax6600sSystemMsg 4}	OCTET STRING	R/O	最新システムメッセージログのレベルを 1 バイトで示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 致命的障害 (9) • 重度障害 (8) • ソフトウェア障害 (7) • NIF 障害 (6) • ネットワーク系障害 (4) • 警告 (3) • 予備 (2) • 予備 (1) 	
9	ax6600sSystemMsgEventPoint {ax6600sSystemMsg 5}	DisplayString	R/O	システムメッセージの障害発生部位のコードを 8 バイト以内の文字列で示します。 イベント発生部位の内容については、「メッセージ・ログレファレンス」を参照してください。	
10	ax6600sSystemMsgEventInterfaceID {ax6600sSystemMsg 6}	DisplayString	R/O	システムメッセージのインタフェース識別子を文字列で示します (最大 40 文字)。 識別子の内容については、「メッセージ・ログレファレンス」を参照してください。	
11	ax6600sSystemMsgEventCode {ax6600sSystemMsg 7}	OCTET STRING	R/O	システムメッセージのメッセージ識別子コードを 4 バイトで示します (0x00000000 ~ 0xFFFFFFFF)。 コードの内容については、「メッセージ・ログレファレンス」を参照してください。	
12	ax6600sSystemMsgAdditionalCode {ax6600sSystemMsg 8}	OCTET STRING	R/O	システムメッセージの付加情報を 6 バイトで示します (0x000000000000 ~ 0xFFFFFFFFFFFFFF)。 コードの内容は、保守用のため公開していません。	
13	ax6600sSnmpSendReceiveSize {ax6600sSnmpAgent 1}	INTEGER	R/O	エージェントが送受信できる SNMP パケットサイズ (単位: バイト)。	
14	ax6600sSnmpReceiveDelay {ax6600sSnmpAgent 2}	INTEGER	R/O	SNMP パケットの推奨受信遅延間隔 (単位: ミリ秒)。	
15	ax6600sSnmpContinuousSend {ax6600sSnmpAgent 3}	INTEGER	R/O	SNMP パケットの推奨連続送信数。	
16	ax6600sSnmpObjectMaxNumber {ax6600sSnmpAgent 4}	INTEGER	R/O	1SNMP パケット当たりの推奨オブジェクト数。	
17	ax6600sLicenseNumber {ax6600sLicense 1}	INTEGER	R/O	設定されたライセンスシリアル番号の数。	
18	ax6600sLicenseTable {ax6600sLicense 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ライセンス情報のテーブル。	
19	ax6600sLicenseEntry {ax6600sLicenseTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ライセンス情報のエントリ。 INDEX { ax6600sLicenseIndex }	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
20	ax6600sLicenseIndex {ax6600sLicenseEntry 1}	INTEGER	NA	シリアル番号ごとに付けられたユニークなインデックス番号。 1 ~ ax6600sLicenseNumber までの数。	
21	ax6600sLicenseSerialNumber {ax6600sLicenseEntry 2}	DisplayString	R/O	シリアル番号。	
22	ax6600sLicenseOptionNumber {ax6600sLicenseEntry 3}	INTEGER	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス数。	
23	ax6600sLicenseOptionTable {ax6600sLicense 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のテーブル。	
24	ax6600sLicenseOptionEntry {ax6600sLicenseOptionTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のエントリ。 INDEX { ax6600sLicenseOptionIndex, ax6600sLicenseOptionNumberIndex }	
25	ax6600sLicenseOptionIndex {ax6600sLicenseOptionEntry 1}	INTEGER	NA	シリアル番号ごとに付けられたユニークなインデックス番号。 ax6600sLicenseIndex と同じ番号。	
26	ax6600sLicenseOptionNumberIndex {ax6600sLicenseOptionEntry 2}	INTEGER	NA	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のインデックス番号。 1 ~ ax6600sLicenseOptionNumber までの数。	
27	ax6600sLicenseOptionSoftwareName {ax6600sLicenseOptionEntry 3}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のソフトウェア型名。	
28	ax6600sLicenseOptionSoftwareAbbreviation {ax6600sLicenseOptionEntry 4}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライセンス情報のソフトウェア略称。	

3.23 ax6600sDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB)

3.23.1 ax6600sChassis グループの実装仕様 (筐体情報)

(1) 識別子

```

ax6600sDevice          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sMib 2}
ax6600sChassis        OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sDevice 1}

ax6600sChassisMaxNumber OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sChassis 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.1

ax6600sChassisTable   OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sChassis 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.2

```

(2) 実装仕様

ax6600sChassis グループの実装仕様 (筐体情報) を次の表に示します。

表 3-89 ax6600sChassis グループの実装仕様 (筐体情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6600sChassisMaxNumber {ax6600sChassis 1}	INTEGER	R/O	本装置に接続できるクラスタ筐体の最大数。	
2	ax6600sChassisTable {ax6600sChassis 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	筐体情報のテーブル。	
3	ax6600sChassisEntry {ax6600sChassisTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての情報エントリ。 INDEX {ax6600sChassisIndex}	
4	ax6600sChassisIndex {ax6600sChassisEntry 1}	INTEGER	NA	ax6600sChassisEntry を特定するための番号。 1 固定。	
5	ax6600sChassisType {ax6600sChassisEntry 2}	INTEGER	R/O	筐体のタイプ。 • AX6604S (1100) • AX6608S (1101)	
6	ax6600sChassisStatus {ax6600sChassisEntry 3}	INTEGER	R/O	筐体の現在のステータス。 稼働中 (2) 固定。	
7	ax6600sPowerUnitNumber {ax6600sChassisEntry 21}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる電源機構の数。	
8	ax6600sFanNumber {ax6600sChassisEntry 23}	INTEGER	R/O	この筐体のファンの数。	
9	ax6600sCsuBoardDuplexMode {ax6600sChassisEntry 26}	INTEGER	R/O	CSU の二重化モード。 • CSU 一重化モード (1) • CSU 二重化モード (2)	
10	ax6600sCsuBoardNumber {ax6600sChassisEntry 27}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる最大 CSU 数。	
11	ax6600sNifBoardNumber {ax6600sChassisEntry 28}	INTEGER	R/O	この筐体に接続できる最大 NIF ボード数。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
12	ax6600sPowerControl {ax6600sChassisEntry 29}	INTEGER	R/O	この筐体の電力モード。 <ul style="list-style-type: none"> • 通常電力 (1) • 省電力モード 1 (2) • 省電力モード 2 (3) • 電力モード変更中 (10) 	
13	ax6600sPspDuplexActiveMode {ax6600sChassisEntry 30}	INTEGER	R/O	運用系で稼働している PSP の数。 <ul style="list-style-type: none"> • 0 枚 (0) • 1 枚 (1) • 2 枚 (2) 	
14	ax6600sPspDuplexStandbyMode {ax6600sChassisEntry 31}	INTEGER	R/O	待機系で稼働している PSP の数。 <ul style="list-style-type: none"> • 0 枚 (0) • 1 枚 (1) 	

3.23.2 ax6600sChassis グループの実装仕様 (電源機構情報)

(1) 識別子

```
ax6600sChassis OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sDevice 1}
ax6600sPowerUnitTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sChassis 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.3
```

(2) 実装仕様

ax6600sChassis グループの実装仕様 (電源機構情報) を次の表に示します。

表 3-90 ax6600sChassis グループの実装仕様 (電源機構情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6600sPowerUnitTable {ax6600sChassis 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源機構情報のテーブル。	
2	ax6600sPowerUnitEntry {ax6600sPowerUnitTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源機構情報エントリ。 INDEX {ax6600sChassisIndex, ax6600sPowerUnitIndex}	
3	ax6600sPowerUnitIndex {ax6600sPowerUnitEntry 1}	INTEGER	NA	電源機構の位置を示すインデックス。 1 ~ ax6600sPowerUnitNumber までの値。	
4	ax6600sPowerConnectStatus {ax6600sPowerUnitEntry 2}	INTEGER	R/O	電源機構の実装状態。 <ul style="list-style-type: none"> • 実装 (2) • 未実装 (32) 	
5	ax6600sPowerSupplyStatus {ax6600sPowerUnitEntry 3}	INTEGER	R/O	電源機構の運用状態。 <ul style="list-style-type: none"> • 稼働中 (2) • 障害中 (4) 電源機構未実装時は、-1 で応答します。	

3.23.3 ax6600sChassis グループの実装仕様 (ファン情報)

(1) 識別子

```
ax6600sChassis    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sDevice 1}
ax6600sFanTable  OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sChassis 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.4
```

(2) 実装仕様

ax6600sChassis グループの実装仕様 (ファン情報) を次の表に示します。

表 3-91 ax6600sChassis グループの実装仕様 (ファン情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6600sFanTable {ax6600sChassis 4}	NOT-AC CESSIB LE	NA	ファン情報のテーブル。	
2	ax6600sFanEntry {ax6600sFanTable 1}	NOT-AC CESSIB LE	NA	ファン情報エントリ。 INDEX { ax6600sChassisIndex, ax6600sFanIndex }	
3	ax6600sFanIndex {ax6600sFanEntry 1}	INTEGE R	NA	ファンの位置を示すインデックス。 1 ~ ax6600sFanNumber までの値。	
4	ax6600sFanStatus {ax6600sFanEntry 2}	INTEGE R	R/O	ファンの運用状態。 • 稼働中 (2) • 高速回転中 (3) • 障害中 (4)	

3.23.4 ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (CSU 情報)

(1) 識別子

```
ax6600sCsuBoard    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sDevice 2}
ax6600sCsuBoardTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sCsuBoard 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1
```

(2) 実装仕様

ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (CSU 情報) を次の表に示します。

表 3-92 ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (CSU 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6600sCsuBoardTable {ax6600sCsuBoard 1}	NOT-AC CESSIB LE	NA	特定の筐体についての CSU 搭載情報テーブル。	
2	ax6600sCsuBoardEntry {ax6600sCsuBoardTable 1}	NOT-AC CESSIB LE	NA	特定の筐体についての CSU エントリ。 INDEX { ax6600sChassisIndex, ax6600sCsuBoardIndex }	
3	ax6600sCsuBoardIndex {ax6600sCsuBoardEntry 1}	INTEGE R	NA	CSU 搭載スロットの位置情報。 1 ~ ax6600sCsuBoardNumber までの値。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ax6600sCsuOperStatus {ax6600sCsuBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	CSU の STATUS LED の状態。 <ul style="list-style-type: none"> 準備中 (1) 稼働中 (2) inactive 状態 (3) 障害中 (4) 未実装または電源 OFF 状態 (6) 	
5	ax6600sCsuOperModeStatus {ax6600sCsuBoardEntry 3}	BITS	R/O	CSU の運用状態。 <ul style="list-style-type: none"> CSU 未実装時, または運用状態不明時 (0) 準備中 (1) 運用系 CSU として稼働中 (2) 待機系 CSU として稼働中 (3) コンフィグレーション不一致による非同期中 (4) ソフトウェアバージョン不一致による非同期中 (5) ライセンス不一致による非同期中 (6) 障害中 (7) 保守中 (メンテナンス中) (8) 	
6	ax6600sCsuActiveLedStatus {ax6600sCsuBoardEntry 4}	INTEGER	R/O	装置の ACTIVE LED の状態。 <ul style="list-style-type: none"> 緑点灯 (2) 消灯 (6) <p>CSU 未実装時, または LED 状態が不明のときは, -1 で応答します。</p>	
7	ax6600sCsuSystem1LedStatus {ax6600sCsuBoardEntry 5}	INTEGER	R/O	装置の SYSTEM1 LED の状態。 <ul style="list-style-type: none"> 緑点灯 (2) 橙点灯 (3) 赤点灯 (4) 消灯 (6) <p>CSU 未実装時, または LED 状態が不明のときは, -1 で応答します。</p>	
8	ax6600sCsuSystem2LedStatus {ax6600sCsuBoardEntry 6}	INTEGER	R/O	装置の SYSTEM2 LED の状態。 <ul style="list-style-type: none"> 緑点滅 (1) 緑点灯 (2) 消灯 (6) <p>CSU 未実装時, または LED 状態が不明のときは, -1 で応答します。</p>	
9	ax6600sCsuMgmtPortStatus {ax6600sCsuBoardEntry 7}	INTEGER	R/O	マネージメントポートの状態。 <ul style="list-style-type: none"> other (1) 稼働中 (2) 障害中 (4) disable 状態 (6) 保守中 (メンテナンス中) (7) 回線テスト中 (9) 未使用 (10) <p>CSU 未実装時, またはマネージメントポートの状態が不明のときは, -1 で応答します。</p>	
10	ax6600sCsuBoardName {ax6600sCsuBoardEntry 8}	DisplayString	R/O	CSU ボードの型名 (最大 16 文字)。 CSU 未実装時, または情報取得不可時は, レンゲス 0 で応答します。	
11	ax6600sCsuBoardAbbreviation {ax6600sCsuBoardEntry 9}	DisplayString	R/O	CSU ボードの略称 (最大 16 文字)。 CSU 未実装時, または情報取得不可時は, レンゲス 0 で応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
12	ax6600sCsuCpuName {ax6600sCsuBoardEntry 10}	DisplayString	R/O	CSU 搭載 CPU 名称 (最大 16 文字)。 例 "AMD K5" CSU 未実装時、または情報取得不可時は、長さ 0 で応答します。	
13	ax6600sCsuCpuClock {ax6600sCsuBoardEntry 11}	INTEGER	R/O	CSU 搭載 CPU クロック (単位: MHz)。 例 200 CSU 未実装時、または情報取得不可時は、-1 で応答します。	
14	ax6600sCsuMemoryTotalSize {ax6600sCsuBoardEntry 12}	INTEGER	R/O	搭載メモリサイズ (単位: kB)。 CSU 未実装時、または情報取得不可時は、-1 で応答します。	
15	ax6600sCsuMemoryUsedSize {ax6600sCsuBoardEntry 13}	INTEGER	R/O	使用メモリサイズ (単位: kB)。 CSU 未実装時、または情報取得不可時は、-1 で応答します。	
16	ax6600sCsuMemoryFreeSize {ax6600sCsuBoardEntry 14}	INTEGER	R/O	未使用メモリサイズ (単位: kB)。 CSU 未実装時、または情報取得不可時は、-1 で応答します。	
17	ax6600sCsuRomVersion {ax6600sCsuBoardEntry 15}	DisplayString	R/O	CSU 搭載 ROM のバージョン。 例 "ROM 01-01 Rev0 BIOS Rev:R1.02.E4" CSU 未実装時、または情報取得不可時は、長さ 0 で応答します。	
18	ax6600sCsuCpuLoad1m {ax6600sCsuBoardEntry 16}	INTEGER	R/O	1 分間の CSU CPU 使用率 (0 ~ 100)。 CSU 未実装時、または情報取得不可時は、-1 で応答します。	
19	ax6600sCsuFlashTotalSize {ax6600sCsuBoardEntry 17}	INTEGER	R/O	内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム使用容量 (単位: kB) と未使用容量の合計。 CSU 未実装時、または情報取得不可時は、-1 で応答します。	
20	ax6600sCsuFlashUsedSize {ax6600sCsuBoardEntry 18}	INTEGER	R/O	内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム使用容量 (単位: kB)。 CSU 未実装時、または情報取得不可時は、-1 で応答します。	
21	ax6600sCsuFlashFreeSize {ax6600sCsuBoardEntry 19}	INTEGER	R/O	内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム未使用容量 (単位: kB)。 CSU 未実装時、または情報取得不可時は、-1 で応答します。	
22	ax6600sCsuTemperatureStatus Number {ax6600sCsuBoardEntry 20}	INTEGER	R/O	この CSU での最大の温度監視部分の数。 CSU 未実装時、または情報取得不可時は、-1 で応答します。	
23	ax6600sCsuSerialNumber {ax6600sCsuBoardEntry 21}	DisplayString	R/O	CSU ボードのシリアル番号 (最大 30 文字)。 CSU 未実装時、または情報取得不可時は、長さ 0 で応答します。	
24	ax6600sCsuTotalAccumRunTime {ax6600sCsuBoardEntry 22}	INTEGER	R/O	装置の運用を開始してからの累計稼働時間。CSU の電源を OFF にしても値はクリアされません。 CSU 未実装時、または情報取得不可時は、-1 で応答します。	
25	ax6600sCsuCriticalAccumRunTime {ax6600sCsuBoardEntry 23}	INTEGER	R/O	摂氏 40 度以上の環境下での稼働時間。CSU の電源を OFF にしても値はクリアされません。 CSU 未実装時、または情報取得不可時は、-1 で応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
26	ax6600sPspOperModeStatus {ax6600sCsuBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	PSP の運用状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • 運用系として稼働中 (2) • 待機系 (ホットスタンバイ)として稼働中 (3) • 待機系 (コールドスタンバイ)として稼働中 (4) • 障害中 (5) • 初期化中 (6) CSU 未実装時, または情報取得不可時は, -1 で応答します。	

3.23.5 ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (温度情報)

(1) 識別子

```
ax6600sCsuBoard          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sDevice 2}
ax6600sTemperatureStatusTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sCsuBoard 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.2
```

(2) 実装仕様

ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (温度情報) を次の表に示します。

表 3-93 ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (温度情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
1	ax6600sTemperatureStatusTable {ax6600sCsuBoard 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	温度状態のテーブル。	
2	ax6600sTemperatureStatusEntry {ax6600sTemperatureStatusTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	温度状態のエントリ。 INDEX { ax6600sChassisIndex, ax6600sCsuBoardIndex, ax6600sTemperatureStatusIndex }	
3	ax6600sTemperatureStatusIndex {ax6600sTemperatureStatusEntry 1}	INTEGER	NA	温度監視部分ごとにつけられたユニークなインデックス番号。	
4	ax6600sTemperatureStatusDescriptor {ax6600sTemperatureStatusEntry 2}	DisplayString	R/O	この温度監視部分の説明。 • "Main board Temperature" : ボードの温度	
5	ax6600sTemperatureStatusValue {ax6600sTemperatureStatusEntry 3}	Integer32	R/O	この温度監視部分の現在の温度。	
6	ax6600sTemperatureThreshold {ax6600sTemperatureStatusEntry 4}	Integer32	R/O	装置が停止状態になる, この温度監視部分の温度。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ax6600sTemperatureState {ax6600sTemperatureStatusEntry 5}	INTEGER	R/O	この温度監視部分の現在の温度状態。 <ul style="list-style-type: none"> • 正常 (1) • 注意 (2) • 警告 (3) • 異常 (4) 	

3.23.6 ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (MC 情報)

(1) 識別子

```
ax6600sCsuBoard          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sDevice 2}
ax6600sSdCardTable      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sCsuBoard 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.3
```

(2) 実装仕様

ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (MC 情報) を次の表に示します。

表 3-94 ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (MC 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6600sSdCardTable {ax6600sCsuBoard 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MC 情報のテーブル。	
2	ax6600sSdCardEntry {ax6600sSdCardTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MC 情報エントリ。 INDEX { ax6600sChassisIndex, ax6600sCsuBoardIndex, ax6600sSdCardIndex }	
3	ax6600sSdCardIndex {ax6600sSdCardEntry 1}	INTEGER	NA	MC 挿入スロットの位置情報。 1 固定。	
4	ax6600sSdCardConnection {ax6600sSdCardEntry 2}	INTEGER	R/O	MC 接続状態。 <ul style="list-style-type: none"> • 接続 (2) • 未接続 (32) 	
5	ax6600sSdCardTotalSize {ax6600sSdCardEntry 3}	INTEGER	R/O	MC の総容量 (単位: kB)。 MC 未接続の場合, -1 で応答します。	
6	ax6600sSdCardUsedSize {ax6600sSdCardEntry 4}	INTEGER	R/O	MC の使用容量 (単位: kB)。 MC 未接続の場合, -1 で応答します。	
7	ax6600sSdCardFreeSize {ax6600sSdCardEntry 5}	INTEGER	R/O	MC の残容量 (単位: kB)。 MC 未接続の場合, -1 で応答します。	

3.23.7 ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報)

(1) 識別子

```
ax6600sCsuBoard          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sDevice 2}
ax6600sSopTable          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sCsuBoard 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.4
```

(2) 実装仕様

ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報) を次の表に示します。

表 3-95 ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6600sSopTable {ax6600sCsuBoard 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SOP 情報のテーブル。	
2	ax6600sSopEntry {ax6600sSopTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SOP 情報のエントリ。 INDEX { ax6600sChassisIndex, ax6600sCsuBoardIndex }	
3	ax6600sSopAlarmLevel {ax6600sSopEntry 1}	DisplayString	R/O	SOP に表示されている障害のエラーレベル。 <ul style="list-style-type: none"> 致命的障害 (E9) 重度障害 (E8) ソフトウェア障害 (E7) NIF 障害 (E6) 待機系 CSU 障害 (E5) 障害が発生していない場合は、レングス 0 で応答します。	
4	ax6600sSopAlarmEventPoint {ax6600sSopEntry 2}	DisplayString	R/O	SOP に表示されている障害発生部位。 障害が発生していない場合は、レングス 0 で応答します。	
5	ax6600sSopAlarmEventCode {ax6600sSopEntry 3}	DisplayString	R/O	SOP に表示されている障害のメッセージ識別子。 識別子の内容については、「メッセージ・ログレファレンス」を参照してください。 障害が発生していない場合は、レングス 0 で応答します。	
6	ax6600sSopAlarmEventInterfaceID {ax6600sSopEntry 4}	DisplayString	R/O	SOP に表示されている障害発生部位のインタフェース識別子。 識別子の内容については、「メッセージ・ログレファレンス」を参照してください。 障害が発生していない場合は、レングス 0 で応答します。	
7	ax6600sSopAlarmMsgText {ax6600sSopEntry 5}	DisplayString	R/O	SOP に表示されている障害のメッセージテキスト。 障害が発生していない場合は、レングス 0 で応答します。	

3.23.8 ax6600sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報)

(1) 識別子

```
ax6600sNifBoard          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sDevice 4}
ax6600sNifBoardTable    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sNifBoard 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.4.1
```

(2) 実装仕様

ax6600sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報) を次の表に示します。

表 3-96 ax6600sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6600sNifBoardTable {ax6600sNifBoard 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	スロットに搭載した NIF ボード情報のテーブル。	
2	ax6600sNifBoardEntry {ax6600sNifBoardTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体の NIF 情報エントリ。 INDEX { ax6600sChassisIndex, ax6600sNifBoardSlotIndex }	
3	ax6600sNifBoardSlotIndex {ax6600sNifBoardEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	NIF 搭載スロットの位置情報。 1 ~ ax6600sNifBoardNumber までの値。	
4	ax6600sNifBoardType {ax6600sNifBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	実装している NIF ボードのタイプ。 値については、「表 3-97 ax6600sNifBoardType 値一覧」を参照してください。 NIF が未実装または情報取得不可時は、-1 で応答します。	
5	ax6600sNifBoardOperStatus {ax6600sNifBoardEntry 3}	INTEGER	R/O	NIF の STATUS LED の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • 保守中 (5) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 未実装 (32) 	
6	ax6600sNifBoardName {ax6600sNifBoardEntry 4}	DisplayString	R/O	NIF ボード型名 (最大 16 文字)。 NIF が未実装または情報取得不可時は、レングス 0 で応答します。	
7	ax6600sNifBoardAbbreviation {ax6600sNifBoardEntry 5}	DisplayString	R/O	NIF ボード略称 (最大 16 文字)。 NIF が未実装または情報取得不可時は、レングス 0 で応答します。	
8	ax6600sNifPhysLineNumber {ax6600sNifBoardEntry 7}	INTEGER	R/O	NIF のポート数 (最大 24)。 ax6600sNifBoardType の値が -1, または other (1) のときは、-1 で応答します。	
9	ax6600sNifSerialNumber {ax6600sNifBoardEntry 8}	DisplayString	R/O	NIF ボードのシリアル番号 (最大 30 文字)。 NIF が未実装または情報取得不可時は、レングス 0 で応答します。	
10	ax6600sNifBoardOperModeStatus {ax6600sNifBoardEntry 9}	INTEGER	R/O	NIF の動作状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • 運用中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • 保守中 (メンテナンス)(5) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 待機系 (コールドスタンバイ) NIF として稼働中 (7) NIF 未実装時は、-1 で応答します。	

表 3-97 ax6600sNifBoardType 値一覧

NIF 名称	ax6600sNifBoardName 値	ax6600sNifBoardType 値	
		16 進	10 進
24-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	AX-F6700-713T	0x0007	7
24-port 1000BASE-X(SFP)	AX-F6700-713S	0x0008	8
4-port 10BASE-T/100BASE-TX/ 1000BASE-T-SHAPER or 1000BASE-X(SFP)-SHAPER + 4-port 1000BASE-X(SFP)-SHAPER	AX-F6700-715M	0x000f	15
4-port 10GBASE-R(XFP)	AX-F6700-722F	0x0009	9
8-port 10GBASE-R(XFP)	AX-F6700-723F	0x000a	10

3.23.9 ax6600sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)

(1) 識別子

```
ax6600sPhysLine      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sDevice 5}
ax6600sPhysLineTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sPhysLine 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.5.1
```

(2) 実装仕様

ax6600sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報) を次の表に示します。

表 3-98 ax6600sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6600sPhysLineTable {ax6600sPhysLine 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースのテーブル。	
2	ax6600sPhysLineEntry {ax6600sPhysLineTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースについての情報エントリ。 INDEX { ax6600sChassisIndex, ax6600sNifBoardSlotIndex, ax6600sPhysLineIndex }	
3	ax6600sPhysLineIndex {ax6600sPhysLineEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ポート番号の情報を示します。 1 ~ ax6600sNifLineNumber までの値 (Line 番号 +1 の値)。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ax6600sPhysLineConnectorType {ax6600sPhysLineEntry 2}	INTEGER	R/O	<p>交換可能なトランシーバ上のインタフェース種別。</p> <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • type1000BASE-LX (301) • type1000BASE-SX (302) • type1000BASE-LH (303) • type1000BASE-BX10-D (304) • type1000BASE-BX10-U (305) • type1000BASE-BX40-D (306) • type1000BASE-BX40-U (307) • type1000BASE-SX2 (308) • type1000BASE-UTP (309) • type1000BASE-LHB (310) • type10GBASE-SR (401) • type10GBASE-LR (402) • type10GBASE-ER (403) • type10GBASE-ZR (404) <p>以下の場合には other (1) を応答します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • インタフェースの状態が other, 初期化中, 障害中 • 交換可能なトランシーバの種別と実装状態が実装以外 	
5	ax6600sPhysLineOperStatus {ax6600sPhysLineEntry 3}	INTEGER	R/O	<p>インタフェースの状態。</p> <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 保守中 (メンテナンス中) (7) • 運用中 (回線障害発生中) (8) • 回線テスト中 (9) 	
6	ax6600sPhysLineIfIndexNumber {ax6600sPhysLineEntry 4}	INTEGER	R/O	<p>インタフェースに含まれる ifIndex 数。</p>	
7	ax6600sPhysLineTransceiverStatus {ax6600sPhysLineEntry 5}	INTEGER	R/O	<p>交換可能なトランシーバの種別と実装状態。インタフェースの状態が other, 初期化中, 障害中の場合は other (1) を応答します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • other または交換可能なトランシーバではない (1) • SFP 実装 (20) • SFP 未実装 (21) • 未サポートの SFP 実装 (22) • SFP 障害 (24) • XFP 実装 (30) • XFP 未実装 (31) • 未サポートの XFP 実装 (32) • XFP 障害 (34) 	

注 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用 SFP

3.23.10 ax6600sInterface グループの実装仕様 (インタフェースインデックス情報)

(1) 識別子


```

ax6600sInterface          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sDevice 6}
ax6600sLineIfTable       OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sInterface 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.6.1

```

(2) 実装仕様

ax6600sInterface グループの実装仕様 (インタフェースインデックス情報) を次の表に示します。

表 3-99 ax6600sInterface グループの実装仕様 (インタフェースインデックス情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6600sLineIfTable {ax6600sInterface 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェース-ifIndex 対応のテーブル情報。	
2	ax6600sLineIfEntry {ax6600sLineIfTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースに割り当てられている ifIndex に関するエントリ。 INDEX { ax6600sChassisIndex, ax6600sNifBoardSlotIndex, ax6600sPhysLineIndex, ax6600sLineIfIndex }	
3	ax6600sLineIfIndex {ax6600sLineIfEntry 1}	INTEGER	NA	本テーブルのエントリを識別するインデックス値。 1 ~ ax6600sPhysLineIfIndexNumber までの値。	
4	ax6600sIfIndex {ax6600sLineIfEntry 2}	INTEGER	R/O	このインタフェースに割り当てられた ifIndex の値。 このインタフェースに、ifIndex が割り当てられていない場合は、0 を応答します。	

3.24 ax6600sManagementMIB グループ (装置の状態 / 情報の変更を行う)

3.24.1 ax6600sFdbClearMIB グループ (MAC アドレステーブル Clear 用 MIB)

(1) 識別子

```

ax6600sMib                OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 12}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12

ax6600sManagementMIB     OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sMIB 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.3

ax6600sOperationCommand OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6600sManagementMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.3.1

```

(2) 実装仕様

ax6600sFdbClearMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-100 ax6600sFdbClearMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6600sFdbClearMIB {ax6600sOperationCommand 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MAC アドレステーブル情報をクリアするための MIB グループ。	
2	ax6600sFdbClearSet {ax6600sFdbClearMIB 1}	INTEGER	R/W	MAC アドレステーブルの clear 情報。 <ul style="list-style-type: none"> • 初期値 (0) • clear 処理中 (1) • clear 失敗 (2) • clear 成功 (3) set 処理を行う場合、1 を設定します。	
3	ax6600sFdbClearReqTime {ax6600sFdbClearMIB 2}	TimeTicks	R/O	MAC アドレステーブル情報のクリア要求を受け付けた最新の時間 (sysUpTime)。	
4	ax6600sFdbClearSuccessTime {ax6600sFdbClearMIB 3}	TimeTicks	R/O	MAC アドレステーブル情報がクリアされた最新の時間 (sysUpTime)。	

注 値が 1 以外や未設定の場合でも set 処理は行われます。

3.25 ax6300sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB)

(1) 識別子

```

ax6300sMib          OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 8}

ax6300sSwitch      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sMib 1}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1

ax6300sSoftware    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sSwitch 2}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.2

ax6300sSystemMsg   OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sSwitch 3}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.3

ax6300sSnmpAgent   OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sSwitch 4}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.4

ax6300sLicense     OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sSwitch 6}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.6

```

(2) 実装仕様

ax6300sSwitch グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-101 ax6300sSwitch グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6300sModelType {ax6300sSwitch 1}	INTEGER	R/O	システム装置のモデル情報 (数値)。 • AX6304S (600) • AX6308S (601)	
2	ax6300sSoftwareName {ax6300sSoftware 1}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェア型名を文字列で示します (最大 16 文字)。	
3	ax6300sSoftwareAbbreviation {ax6300sSoftware 2}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェアの略称を文字列で示します (最大 16 文字)。	
4	ax6300sSoftwareVersion {ax6300sSoftware 3}	DisplayString	R/O	運用中のソフトウェアのバージョンを文字列で示します (最大 16 文字)。	
5	ax6300sSystemMsgText {ax6300sSystemMsg 1}	DisplayString	R/O	運用ログ上の最新ログ情報 (文字列)。 システムメッセージログの最新エントリ情報 (最大 256 文字)。 ログフォーマットについては、「メッセージ・ログレファレンス」を参照してください。	
6	ax6300sSystemMsgType {ax6300sSystemMsg 2}	OCTET STRING	R/O	最新システムメッセージログのイベント種別を 1 バイトで示します。 • イベントが発生した (01) • イベントが回復した (02)	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ax6300sSystemMsgTimeStamp {ax6300sSystemMsg 3}	DisplayString	R/O	最新システムメッセージログのイベント発生時刻 (月日時分秒) を 14 バイトの文字列で示します。 "MM/DD hh:mm:ss" で表示します。 <ul style="list-style-type: none"> • MM : 月 (01 ~ 12) • DD : 日 (01 ~ 31) • hh : 時 (00 ~ 23) • mm : 分 (00 ~ 59) • ss : 秒 (00 ~ 59) DD と hh の間は、1 バイトのスペース文字が入ります。	
8	ax6300sSystemMsgLevel {ax6300sSystemMsg 4}	OCTET STRING	R/O	最新システムメッセージログのレベルを 1 バイトで示します。 <ul style="list-style-type: none"> • 致命的障害 (9) • 重度障害 (8) • ソフトウェア障害 (7) • NIF 障害 (6) • ネットワーク系障害 (4) • 警告 (3) • 予備 (2) • 予備 (1) 	
9	ax6300sSystemMsgEventPoint {ax6300sSystemMsg 5}	DisplayString	R/O	システムメッセージの障害発生部位のコードを 8 バイト以内の文字列で示します。 イベント発生部位の内容については、「メッセージ・ログレファレンス」を参照してください。	
10	ax6300sSystemMsgEventInterfaceID {ax6300sSystemMsg 6}	DisplayString	R/O	システムメッセージのインタフェース識別子を文字列で示します (最大 40 文字)。 識別子の内容については、「メッセージ・ログレファレンス」を参照してください。	
11	ax6300sSystemMsgEventCode {ax6300sSystemMsg 7}	OCTET STRING	R/O	システムメッセージのメッセージ識別子コードを 4 バイトで示します (0x00000000 ~ 0xFFFFFFFF)。 コードの内容については、「メッセージ・ログレファレンス」を参照してください。	
12	ax6300sSystemMsgAdditionalCode {ax6300sSystemMsg 8}	OCTET STRING	R/O	システムメッセージの付加情報を 6 バイトで示します (0x000000000000 ~ 0xFFFFFFFFFFFFFF)。 コードの内容は、保守用のため公開していません。	
13	ax6300sSnmpSendReceiveSize {ax6300sSnmpAgent 1}	INTEGER	R/O	エージェントが送受信できる SNMP パケットサイズ (単位: バイト)。	
14	ax6300sSnmpReceiveDelay {ax6300sSnmpAgent 2}	INTEGER	R/O	SNMP パケット推奨受信遅延間隔 (単位: ミリ秒)。	
15	ax6300sSnmpContinuousSend {ax6300sSnmpAgent 3}	INTEGER	R/O	推奨 SNMP パケット連続送信数。	
16	ax6300sSnmpObjectMaxNumber {ax6300sSnmpAgent 4}	INTEGER	R/O	推奨 1SNMP パケット当たりのオブジェクト数。	
17	ax6300sLicenseNumber {ax6300sLicense 1}	INTEGER	R/O	設定されたライセンスシリアル番号の数。	
18	ax6300sLicenseTable {ax6300sLicense 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ライセンス情報のテーブル。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
19	ax6300sLicenseEntry {ax6300sLicenseTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ライセンス情報のエントリ。 INDEX { ax6300sLicenseIndex }	
20	ax6300sLicenseIndex {ax6300sLicenseEntry 1}	INTEGER	NA	シリアル番号ごとにつけられたユニークな インデックス番号。 1 ~ ax6300sLicenseNumber までの数。	
21	ax6300sLicenseSerialNumber {ax6300sLicenseEntry 2}	DisplayString	R/O	シリアル番号。	
22	ax6300sLicenseOptionNumber {ax6300sLicenseEntry 3}	INTEGER	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライ センス数。	
23	ax6300sLicenseOptionTable {ax6300sLicense 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、オプションライ センス情報のテーブル。	
24	ax6300sLicenseOptionEntry {ax6300sLicenseOptionTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	シリアル番号に関連した、オプションライ センス情報のエントリ。 INDEX { ax6300sLicenseOptionIndex, ax6300sLicenseOptionNumberIndex }	
25	ax6300sLicenseOptionIndex {ax6300sLicenseOptionEntry 1}	INTEGER	NA	シリアル番号ごとにつけられたユニークな インデックス番号。 ax6300sLicenseIndex と同じ番号。	
26	ax6300sLicenseOptionNumberIndex {ax6300sLicenseOptionEntry 2}	INTEGER	NA	シリアル番号に関連した、オプションライ センス情報のインデックス番号。 1 ~ ax6300sLicenseOptionNumber までの 数。	
27	ax6300sLicenseOptionSoftware Name {ax6300sLicenseOptionEntry 3}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライ センス情報のソフトウェア型名。	
28	ax6300sLicenseOptionSoftware Abbreviation {ax6300sLicenseOptionEntry 4}	DisplayString	R/O	シリアル番号に関連した、オプションライ センス情報のソフトウェア略称。	

3.26 ax6300sDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB)

3.26.1 ax6300sChassis グループの実装仕様 (筐体情報)

(1) 識別子

```

ax6300sDevice      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sMib 2}
ax6300sChassis    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sDevice 1}

ax6300sChassisMaxNumber OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sChassis 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.1

ax6300sChassisTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sChassis 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.2

```

(2) 実装仕様

ax6300sChassis グループの実装仕様 (筐体情報) を次の表に示します。

表 3-102 ax6300sChassis グループの実装仕様 (筐体情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6300sChassisMaxNumber {ax6300sChassis 1}	INTEGER	R/O	本装置に接続できるクラスタ筐体の最大数。	
2	ax6300sChassisTable {ax6300sChassis 2}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	筐体情報のテーブル。	
3	ax6300sChassisEntry {ax6300sChassisTable 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	特定の筐体についての情報エントリ。 INDEX { ax6300sChassisIndex }	
4	ax6300sChassisIndex {ax6300sChassisEntry 1}	NOT-ACCE SSIBLE	NA	ax6300sChassisEntry を特定するための番号。 1 固定。	
5	ax6300sChassisType {ax6300sChassisEntry 2}	INTEGER	R/O	筐体のタイプ。 • AX6304S (600) • AX6308S (601)	
6	ax6300sChassisStatus {ax6300sChassisEntry 3}	INTEGER	R/O	筐体の現在のステータス。 稼働中 (2) 固定。	
7	ax6300sPowerUnitNumber {ax6300sChassisEntry 21}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる電源機構の数。	
8	ax6300sFanNumber {ax6300sChassisEntry 23}	INTEGER	R/O	この筐体のファンの数。	
9	ax6300sMsuBoardDuplexMode {ax6300sChassisEntry 26}	INTEGER	R/O	MSU の二重化モード。 • MSU 一重化モード (1) • MSU 二重化モード (2)	
10	ax6300sMsuBoardNumber {ax6300sChassisEntry 27}	INTEGER	R/O	この筐体に搭載できる最大 MSU 数。	
11	ax6300sNifBoardNumber {ax6300sChassisEntry 28}	INTEGER	R/O	この筐体に接続できる最大 NIF ボード数。	
12	ax6300sPowerControl {ax6300sChassisEntry 29}	INTEGER	R/O	この筐体の電力モード。 • 通常電力 (1) • 省電力 (2)	

3.26.2 ax6300sChassis グループの実装仕様 (電源機構情報)

(1) 識別子

```
ax6300sChassis      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sDevice 1}
ax6300sPowerUnitTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sChassis 3}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.3
```

(2) 実装仕様

ax6300sChassis グループの実装仕様 (電源機構情報) を次の表に示します。

表 3-103 ax6300sChassis グループの実装仕様 (電源機構情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6300sPowerUnitTable {ax6300sChassis 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源機構情報のテーブル。	
2	ax6300sPowerUnitEntry {ax6300sPowerUnitTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源機構情報エントリ。 INDEX { ax6300sChassisIndex, ax6300sPowerUnitIndex }	
3	ax6300sPowerUnitIndex {ax6300sPowerUnitEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	電源機構の位置を示すインデックス。 1 ~ ax6300sPowerUnitNumber までの値。	
4	ax6300sPowerConnectStatus {ax6300sPowerUnitEntry 2}	INTEGER	R/O	電源機構の実装状態。 • 実装 (2) • 未実装 (32)	
5	ax6300sPowerSupplyStatus {ax6300sPowerUnitEntry 3}	INTEGER	R/O	電源機構の active 状態。 • 稼働中 (2) • 障害中 (4) 電源機構未実装時は、-1 で応答します。	

3.26.3 ax6300sChassis グループの実装仕様 (ファン情報)

(1) 識別子

```
ax6300sChassis      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sDevice 1}
ax6300sFanTable     OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sChassis 4}
オブジェクトID値  1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.4
```

(2) 実装仕様

ax6300sChassis グループの実装仕様 (ファン情報) を次の表に示します。

表 3-104 ax6300sChassis グループの実装仕様 (ファン情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6300sFanTable {ax6300sChassis 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ファン情報のテーブル。	
2	ax6300sFanEntry {ax6300sFanTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ファン情報エントリ。 INDEX { ax6300sChassisIndex, ax6300sFanIndex }	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
3	ax6300sFanIndex {ax6300sFanEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ファンの位置を示すインデックス。 1 ~ ax6300sFanNumber までの値。	
4	ax6300sFanStatus {ax6300sFanEntry 2}	INTEGER	R/O	ファンの active 状態。 <ul style="list-style-type: none"> • 稼働中 (2) • 高速回転中 (3) • 障害中 (4) 	

3.26.4 ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (MSU 情報)

(1) 識別子

```
ax6300sMsuBoard          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sDevice 2}
ax6300sMsuBoardTable    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sMsuBoard 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1
```

(2) 実装仕様

ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (MSU 情報) を次の表に示します。

表 3-105 ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (MSU 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6300sMsuBoardTable {ax6300sMsuBoard 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての MSU 搭載情報テーブル。	
2	ax6300sMsuBoardEntry {ax6300sMsuBoardTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体についての MSU エントリ。 INDEX { ax6300sChassisIndex, ax6300sMsuBoardIndex }	
3	ax6300sMsuBoardIndex {ax6300sMsuBoardEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MSU 搭載スロットの位置情報。 1 ~ ax6300sMsuBoardNumber までの値。	
4	ax6300sMsuOperStatus {ax6300sMsuBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	MSU の STATUS LED の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • 準備中 (1) • 稼働中 (2) • 障害中 (4) • 未実装または情報取得不可状態 (6) 	
5	ax6300sMsuOperModeStatus {ax6300sMsuBoardEntry 3}	BITS	R/O	MSU の運用状態。 <ul style="list-style-type: none"> • MSU 未実装時, または運用状態不明時 (0) • 準備中 (1) • 運用系 MSU として稼働中 (2) • 待機系 MSU として稼働中 (3) • コンフィグレーション不一致による非同期中 (4) • ソフトウェアバージョン不一致による非同期中 (5) • ライセンス不一致による非同期中 (6) • 障害中 (7) • 保守中 (メンテナンス中) (8) 	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
6	ax6300sMsuActiveLedStatus {ax6300sMsuBoardEntry 4}	INTEGER	R/O	装置の ACTIVE LED の状態。 <ul style="list-style-type: none"> 緑点灯 (2) 消灯 (6) MSU 未実装時、または LED 状態が不明のときは -1 で応答します。	
7	ax6300sMsuSystem1LedStatus {ax6300sMsuBoardEntry 5}	INTEGER	R/O	装置の SYSTEM1 LED の状態。 <ul style="list-style-type: none"> 緑点灯 (2) 橙点灯 (3) 赤点灯 (4) 消灯 (6) MSU 未実装時、または LED 状態が不明のときは -1 で応答します。	
8	ax6300sMsuSystem2LedStatus {ax6300sMsuBoardEntry 6}	INTEGER	R/O	装置の SYSTEM2 LED の状態。 <ul style="list-style-type: none"> 緑点滅 (1) 緑点灯 (2) 消灯 (6) MSU 未実装時、または LED 状態が不明のときは -1 で応答します。	
9	ax6300sMsuMgmtPortStatus {ax6300sMsuBoardEntry 7}	INTEGER	R/O	マネージメントポートの状態。 <ul style="list-style-type: none"> 稼働中 (2) 障害中 (4) disable 状態 (6) 保守中 (メンテナンス中) (7) 回線テスト中 (9) 未使用 (10) MSU 未実装時、またはマネージメントポートの状態が不明のときは -1 で応答します。	
10	ax6300sMsuBoardName {ax6300sMsuBoardEntry 8}	DisplayString	R/O	MSU ボードの型名 (最大 16 文字)。 MSU 未実装時、または情報取得不可時は、 レングス 0 で応答します。	
11	ax6300sMsuBoardAbbreviation {ax6300sMsuBoardEntry 9}	DisplayString	R/O	MSU ボードの略称 (最大 16 文字)。 MSU 未実装時、または情報取得不可時は、 レングス 0 で応答します。	
12	ax6300sMsuCpuName {ax6300sMsuBoardEntry 10}	DisplayString	R/O	MSU 搭載 CPU 名称 (最大 16 文字)。 例 "AMD K5" MSU 未実装時、または情報取得不可時は、 レングス 0 で応答します。	
13	ax6300sMsuCpuClock {ax6300sMsuBoardEntry 11}	INTEGER	R/O	MSU 搭載 CPU クロック (単位: MHz)。 例 200 MSU 未実装時、または情報取得不可時は、 -1 で応答します。	
14	ax6300sMsuMemoryTotalSize {ax6300sMsuBoardEntry 12}	INTEGER	R/O	搭載メモリサイズ (単位: kB)。 MSU 未実装時、または情報取得不可時は、 -1 で応答します。	
15	ax6300sMsuMemoryUsedSize {ax6300sMsuBoardEntry 13}	INTEGER	R/O	使用メモリサイズ (単位: kB)。 MSU 未実装時、または情報取得不可時は、 -1 で応答します。	
16	ax6300sMsuMemoryFreeSize {ax6300sMsuBoardEntry 14}	INTEGER	R/O	未使用メモリサイズ (単位: kB)。 MSU 未実装時、または情報取得不可時は、 -1 で応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
17	ax6300sMsuRomVersion {ax6300sMsuBoardEntry 15}	DisplayString	R/O	MSU 搭載 ROM のバージョン。 例 "ROM 01-01 Rev0 BIOS Rev.:R1.02.E4" MSU 未実装時、または情報取得不可時は、 長さ 0 で応答します。	
18	ax6300sMsuCpuLoad1m {ax6300sMsuBoardEntry 16}	INTEGER	R/O	1 分間の MSU CPU 使用率 (0 ~ 100)。 MSU 未実装時、または情報取得不可時は、 -1 で応答します。	
19	ax6300sMsuFlashTotalSize {ax6300sMsuBoardEntry 17}	INTEGER	R/O	内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム 使用容量 (単位: kB) と未使用容量の合計。 MSU 未実装時、または情報取得不可時は、 -1 で応答します。	
20	ax6300sMsuFlashUsedSize {ax6300sMsuBoardEntry 18}	INTEGER	R/O	内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム 使用容量 (単位: kB)。 MSU 未実装時、または情報取得不可時は、 -1 で応答します。	
21	ax6300sMsuFlashFreeSize {ax6300sMsuBoardEntry 19}	INTEGER	R/O	内蔵フラッシュメモリ上のファイルシステム 未使用容量 (単位: kB)。 MSU 未実装時、または情報取得不可時は、 -1 で応答します。	
22	ax6300sMsuTemperatureStatus Number {ax6300sMsuBoardEntry 20}	INTEGER	R/O	この MSU での最大の温度監視部分の数。 MSU 未実装時、または情報取得不可時は、 -1 で応答します。	
23	ax6300sMsuSerialNumber {ax6300sMsuBoardEntry 21}	DisplayString	R/O	MSU ボードのシリアル番号 (最大 30 文字)。 MSU 未実装時、または情報取得不可時は、 長さ 0 で応答します。	
24	ax6300sMsuTotalAccumRunTime {ax6300sMsuBoardEntry 22}	INTEGER	R/O	装置の運用を開始してからの累計稼働時間。 MSU の電源を OFF にしても値はクリアされ ません。 MSU 未実装時、または情報取得不可時は、 -1 で応答します。	
25	ax6300sMsuCriticalAccumRun Time {ax6300sMsuBoardEntry 23}	INTEGER	R/O	摂氏 40 度以上の環境下での稼働時間。 MSU の電源を OFF にしても値はクリアされ ません。 MSU 未実装時、または情報取得不可時は、 -1 で応答します。	
26	ax6300sPspOperModeStatus {ax6300sMsuBoardEntry 24}	INTEGER	R/O	PSP の運用状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • 運用系として稼働中 (2) • 待機系として稼働中 (3) • 障害中 (4) • 初期化中 (5) MSU が初期化中、inactive 状態、未実装時 は、-1 で応答します。	

3.26.5 ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (温度情報)

(1) 識別子

ax6300sMsuBoard

OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sDevice 2}

```
ax6300sTemperatureStatusTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sMsuBoard 2}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.2
```

(2) 実装仕様

ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (温度情報) を次の表に示します。

表 3-106 ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (温度情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6300sTemperatureStatusTable {ax6300sMsuBoard 2}	NOT-ACCESSIBLE	NA	温度状態のテーブル。	
2	ax6300sTemperatureStatusEntry {ax6300sTemperatureStatusTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	温度状態のエントリ。 INDEX { ax6300sChassisIndex, ax6300sMsuBoardIndex, ax6300sTemperatureStatusIndex }	
3	ax6300sTemperatureStatusIndex {ax6300sTemperatureStatusEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	温度監視部分ごとにつけられたユニークなインデックス番号。	
4	ax6300sTemperatureStatusDescription {ax6300sTemperatureStatusEntry 2}	DisplayString	R/O	この温度監視部分の説明。 • "Main board Temperature" : ボードの温度	
5	ax6300sTemperatureStatusValue {ax6300sTemperatureStatusEntry 3}	Integer32	R/O	この温度監視部分の現在の温度。	
6	ax6300sTemperatureThreshold {ax6300sTemperatureStatusEntry 4}	Integer32	R/O	装置が停止状態になる, この温度監視部分の温度。	
7	ax6300sTemperatureState {ax6300sTemperatureStatusEntry 5}	INTEGER	R/O	この温度監視部分の現在の温度状態。 • 正常 (1) • 注意 (2) • 警告 (3) • 異常 (4)	

3.26.6 ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (MC 情報)

(1) 識別子

```
ax6300sMsuBoard OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sDevice 2}
ax6300sSdCardTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sMsuBoard 3}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.3
```

(2) 実装仕様

ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (MC 情報) を次の表に示します。

表 3-107 ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (MC 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6300sSdCardTable {ax6300sMsuBoard 3}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MC 情報のテーブル。	
2	ax6300sSdCardEntry {ax6300sSdCardTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MC 情報エントリ。 INDEX { ax6300sChassisIndex, ax6300sMsuBoardIndex, ax6300sSdCardIndex }	
3	ax6300sSdCardIndex {ax6300sSdCardEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MC 挿入スロットの位置情報。 1 固定。	
4	ax6300sSdCardConnection {ax6300sSdCardEntry 2}	INTEGER	R/O	MC 接続状態。 • 接続 (2) • 未接続 (32)	
5	ax6300sSdCardTotalSize {ax6300sSdCardEntry 3}	INTEGER	R/O	MC の総容量 (単位: kB)。 MC 未接続の場合, -1 で応答します。	
6	ax6300sSdCardUsedSize {ax6300sSdCardEntry 4}	INTEGER	R/O	MC の使用容量 (単位: kB)。 MC 未接続の場合, -1 で応答します。	
7	ax6300sSdCardFreeSize {ax6300sSdCardEntry 5}	INTEGER	R/O	MC の残容量 (単位: kB)。 MC 未接続の場合, -1 で応答します。	

3.26.7 ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報)

(1) 識別子

```
ax6300sMsuBoard      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sDevice 2}
ax6300sSopTable     OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sMsuBoard 4}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.4
```

(2) 実装仕様

ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報) を次の表に示します。

表 3-108 ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6300sSopTable {ax6300sMsuBoard 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SOP 情報のテーブル。	
2	ax6300sSopEntry {ax6300sSopTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	SOP 情報のエントリ。 INDEX { ax6300sChassisIndex, ax6300sMsuBoardIndex }	
3	ax6300sSopAlarmLevel {ax6300sSopEntry 1}	DisplayString	R/O	SOP に表示されている障害のエラーレベル。 • 致命的障害 (E9) • 重度障害 (E8) • ソフトウェア障害 (E7) • NIF 障害 (E6) • 待機系 MSU 障害 (E5) 障害が発生していない場合は, レングス 0 で応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
4	ax6300sSopAlarmEventPoint {ax6300sSopEntry 2}	DisplayString	R/O	SOP に表示されている障害発生部位。 障害が発生していない場合は、レングス 0 で応答します。	
5	ax6300sSopAlarmEventCode {ax6300sSopEntry 3}	DisplayString	R/O	SOP に表示されている障害のメッセージ識別子。 識別子の内容については、「メッセージ・ログ レファレンス」を参照してください。 障害が発生していない場合は、レングス 0 で応答します。	
6	ax6300sSopAlarmEventInterfaceID {ax6300sSopEntry 4}	DisplayString	R/O	SOP に表示されている障害発生部位のインタ フェース識別子。 識別子の内容については、「メッセージ・ログ レファレンス」を参照してください。 障害が発生していない場合は、レングス 0 で応答します。	
7	ax6300sSopAlarmMsgText {ax6300sSopEntry 5}	DisplayString	R/O	SOP に表示されている障害のメッセージテ キスト。 障害が発生していない場合は、レングス 0 で応答します。	

3.26.8 ax6300sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報)

(1) 識別子

```
ax6300sNifBoard          OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sDevice 4}
ax6300sNifBoardTable    OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sNifBoard 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.4.1
```

(2) 実装仕様

ax6300sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報) を次の表に示します。

表 3-109 ax6300sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6300sNifBoardTable {ax6300sNifBoard 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	スロットに搭載した NIF ボード情報のテー ブル。	
2	ax6300sNifBoardEntry {ax6300sNifBoardTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	特定の筐体の NIF 情報エントリ。 INDEX { ax6300sChassisIndex, ax6300sNifBoardSlotIndex }	
3	ax6300sNifBoardSlotIndex {ax6300sNifBoardEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	NIF 搭載スロットの位置情報。 1 ~ ax6300sNifBoardNumber までの値。	
4	ax6300sNifBoardType {ax6300sNifBoardEntry 2}	INTEGER	R/O	実装している NIF ボードのタイプ。 値については、「表 3-110 ax6300sNifBoardType 値一覧」を参照して ください。 NIF が未実装、または情報取得不可時は、 -1 で応答します。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
5	ax6300sNifBoardOperStatus {ax6300sNifBoardEntry 3}	INTEGER	R/O	NIF の STATUS LED の状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • 保守中 (5) • コンフィギュレーションで運用停止中 (6) • 未実装 (32) 	
6	ax6300sNifBoardName {ax6300sNifBoardEntry 4}	DisplayString	R/O	NIF ボード型名 (最大 16 文字)。 NIF が未実装, または情報取得不可時は, レングス 0 で応答します。	
7	ax6300sNifBoardAbbreviation {ax6300sNifBoardEntry 5}	DisplayString	R/O	NIF ボード略称 (最大 16 文字)。 NIF が未実装, または情報取得不可時は, レングス 0 で応答します。	
8	ax6300sNifPhysLineNumber {ax6300sNifBoardEntry 7}	INTEGER	R/O	NIF のポート数 (最大 48)。 ax6300sNifBoardType の値が -1, または other (1) の場合, -1 で応答します。	
9	ax6300sNifSerialNumber {ax6300sNifBoardEntry 8}	DisplayString	R/O	NIF ボードのシリアル番号 (最大 30 文字)。 NIF が未実装, または情報取得不可時は, レングス 0 で応答します。	

表 3-110 ax6300sNifBoardType 値一覧

NIF 名称	ax6300sNifBoardName 値	ax6300sNifBoardType 値	
		16 進	10 進
16-port 1000BASE-X(SFP)	AX-F6300-712S	0x0001	1
24-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	AX-F6300-713T	0x0003	3
24-port 1000BASE-X(SFP)	AX-F6300-713S	0x0004	4
48-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T	AX-F6300-711T	0x0000	0
4-port 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T-SHAPER + 2-port 1000BASE-X(SFP)-SHAPER	AX-F6300-714M	0x000d	13
1-port 10GBASE-R(XFP)	AX-F6300-721F	0x0002	2
4-port 10GBASE-R(XFP)	AX-F6300-722F	0x0005	5
8-port 10GBASE-R(XFP)	AX-F6300-723F	0x0006	6

3.26.9 ax6300sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)

(1) 識別子

```
ax6300sPhysLine      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sDevice 5}
ax6300sPhysLineTable OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sPhysLine 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.5.1
```

(2) 実装仕様

ax6300sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報) を次の表に示します。

表 3-111 ax6300sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6300sPhysLineTable {ax6300sPhysLine 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェース情報のテーブル。	
2	ax6300sPhysLineEntry {ax6300sPhysLineTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースについての情報エントリ。 INDEX { ax6300sChassisIndex, ax6300sNifBoardSlotIndex, ax6300sPhysLineIndex }	
3	ax6300sPhysLineIndex {ax6300sPhysLineEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	ポート番号の情報。 1 ~ ax6300sNifLineNumber までの値。	
4	ax6300sPhysLineConnectorType {ax6300sPhysLineEntry 2}	INTEGER	R/O	交換可能なトランシーバ上のインタフェース種別。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • type1000BASE-LX (301) • type1000BASE-SX (302) • type1000BASE-LH (303) • type1000BASE-BX10-D (304) • type1000BASE-BX10-U (305) • type1000BASE-BX40-D (306) • type1000BASE-BX40-U (307) • type1000BASE-SX2 (308) • type1000BASE-UTP (309) • type1000BASE-LHB (310) • type10GBASE-SR (401) • type10GBASE-LR (402) • type10GBASE-ER (403) • type10GBASE-ZR (404) 以下の場合には other (1) を応答します。 <ul style="list-style-type: none"> • インタフェースの状態が other, 初期化中, 障害中 • 交換可能なトランシーバの種別と実装状態が実装以外 	
5	ax6300sPhysLineOperStatus {ax6300sPhysLineEntry 3}	INTEGER	R/O	インタフェースの状態。 <ul style="list-style-type: none"> • other (1) • 稼働中 (2) • 初期化中 (3) • 障害中 (4) • コンフィグレーションで運用停止中 (6) • 保守中 (メンテナンス中) (7) • 運用中 (回線障害発生中) (8) • 回線テスト中 (9) 	
6	ax6300sPhysLineIfIndexNumber {ax6300sPhysLineEntry 4}	INTEGER	R/O	インタフェースに含まれる ifIndex 数。	

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
7	ax6300sPhysLineTransceiverStatus {ax6300sPhysLineEntry 5}	INTEGER	R/O	交換可能なトランシーバの種類と実装状態。インタフェースの状態が初期化中、障害中の場合は other となります。 <ul style="list-style-type: none"> • other または交換可能なトランシーバではない (1) • SFP 実装 (20) • SFP 未実装 (21) • 未サポートの SFP 実装 (22) • SFP 障害 (24) • XFP 実装 (30) • XFP 未実装 (31) • 未サポートの XFP 実装 (32) • XFP 障害 (34) 	

注 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T 用 SFP

3.26.10 ax6300sInterface グループの実装仕様 (インタフェースインデックス情報)

(1) 識別子

```
ax6300sInterface      OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sDevice 6}
ax6300sLineIfTable   OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sInterface 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.6.1
```

(2) 実装仕様

ax6300sInterface グループの実装仕様 (インタフェースインデックス情報) を次の表に示します。

表 3-112 ax6300sInterface グループの実装仕様 (インタフェースインデックス情報)

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6300sLineIfTable {ax6300sInterface 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェース -ifIndex 対応のテーブル情報。	
2	ax6300sLineIfEntry {ax6300sLineIfTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	インタフェースに割り当てられている ifIndex に関するエントリ。 INDEX { ax6300sChassisIndex, ax6300sNifBoardSlotIndex, ax6300sPhysLineIndex, ax6300sLineIfIndex }	
3	ax6300sLineIfIndex {ax6300sLineIfEntry 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	本テーブルのエントリを識別するインデックス値。 1 ~ ax6300sPhysLineIfIndexNumber までの値。	
4	ax6300sIfIndex {ax6300sLineIfEntry 2}	INTEGER	R/O	このインタフェースに割り当てられた ifIndex の値。 このインタフェースに ifIndex が割り当てられていない場合は、0 を応答します。	

3.27 ax6300sManagementMIB グループ (装置の状態 / 情報の変更を行う)

3.27.1 ax6300sFdbClearMIB グループ (MAC アドレステーブル Clear 用 MIB)

(1) 識別子

ax6300sMib OBJECT IDENTIFIER ::= {axsEx 8}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8

ax6300sManagementMIB OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sMib 3}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.3

ax6300sOperationCommand OBJECT IDENTIFIER ::= {ax6300sManagementMIB 1}
 オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.3.1

(2) 実装仕様

ax6300sFdbClearMIB グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-113 ax6300sManagementMIB グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	ax6300sFdbClearMIB {ax6300sOperationCommand 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	MAC アドレステーブル情報をクリアするための MIB グループ。	
2	ax6300sFdbClearSet {ax6300sFdbClearMIB 1}	INTEGER	R/W	MAC アドレステーブル clear 情報。 <ul style="list-style-type: none"> • 初期値 (0) • clear 処理中 (1) • clear 失敗 (2) • clear 成功 (3) set 処理を行う場合、1 を設定します。	
3	ax6300sFdbClearReqTime {ax6300sFdbClearMIB 2}	TimeTicks	R/O	MAC アドレステーブル情報のクリア要求を受け付けた最新の時間 (sysUpTime)	
4	ax6300sFdbClearSuccessTime {ax6300sFdbClearMIB 3}	TimeTicks	R/O	MAC アドレステーブル情報のクリアが行われた最新の時間 (sysUpTime)	

注 値が 1 以外や未設定の場合でも set 処理は行われます。

3.28 icmp グループ (HP プライベート MIB)

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

```
hp OBJECT IDENTIFIER ::= {enterprises 11}
nm OBJECT IDENTIFIER ::= {hp 2}
```

```
icmp OBJECT IDENTIFIER ::= {nm 7}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.11.2.7
```

(2) 実装仕様

icmp グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-114 icmp グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	icmpEchoReq {icmp 1}	INTEGER	R/O	ICMP Echo Reply を受信するのに要した時間 (単位: ミリ秒) INDEX { PacketSize, TimeOut, IPAddress } PacketSize : 32 ~ 2048 TimeOut : 1 ~ 60 (Second) IP Address : 対象 IP アドレス ICMP Echo Reply を正しく受信しなかった場合, 次に示す値を応答します。 <ul style="list-style-type: none"> • -1 : 内部エラー • -2 : タイムアウト • -3 : ICMP Echo Reply の値不正 • -4 : 送信パケットサイズエラー • -5 : 設定タイムアウト値不正 	

3.29 sFlow グループ (InMon プライベート MIB)

本 MIB はグローバルネットワークの情報だけが対象となります。

(1) 識別子

```
InMon          OBJECT IDENTIFIER ::= {enterprises 4300}
sFlowMIB       OBJECT IDENTIFIER ::= {InMon 1}

sFlowAgent     OBJECT IDENTIFIER ::= {sFlowMIB 1}
オブジェクトID値 1.3.6.1.4.1.4300.1.1
```

(2) 実装仕様

sFlow グループの実装仕様を次の表に示します。

表 3-115 sFlow グループの実装仕様

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装有無
1	sFlowVersion {sFlowAgent 1}	SnmpAdminString	R/O	[規格] sFlow のバージョン文字列。 "<MIB Version>;<Organization>;<Software Revision>" の形式で表記する。 [実装] 規格に同じ。ただし, "1.2;" 固定値とする。	
2	sFlowAgentAddressType {sFlowAgent 2}	InetAddressType	R/O	[規格] 統計情報を収集するエージェントの IP アドレスタイプ。 • ipv4 (1) • ipv6 (2) [実装] 規格に同じ。	1 2
3	sFlowAgentAddress {sFlowAgent 3}	InetAddress	R/O	[規格] 統計情報を収集するエージェントの IP アドレス (IPv4, IPv6)。 [実装] 規格に同じ。	1 2
4	sFlowTable {sFlowAgent 4}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] sFlow パケットに関する情報を格納するテーブル。 [実装] 規格に同じ。	
5	sFlowEntry {sFlowTable 1}	NOT-ACCESSIBLE	NA	[規格] sFlow パケットの情報リスト。 INDEX {sFlowDataSource} [実装] 規格に同じ。	
6	sFlowDataSource {sFlowEntry 1}	OBJECT IDENTIFIER	R/O	[規格] sFlow パケットの情報源。 • 上位 1 バイト: 情報源のタイプ 0 = ifIndex 1 = smonVlanDataSource • 下位 3 バイト: Index 値 [実装] 規格に同じ。	
7	sFlowOwner {sFlowEntry 2}	OwnerString	R/NW	[規格] sFlow サンプラを利用しているオーナー。 [実装] 規格に同じ。ただし, " " 固定とする。	
8	sFlowTimeout {sFlowEntry 3}	Integer32	R/NW	[規格] sFlow サンプラが解放されてから停止するまでの時間 (単位: 秒)。 [実装] 規格に同じ。ただし, "0" 固定とする。	
9	sFlowPacketSamplingRate {sFlowEntry 4}	Integer32	R/NW	[規格] sFlow パケットのサンプリング間隔。 [実装] 規格に同じ。	1

項番	オブジェクト識別子	SYNTAX	アクセス	実装仕様	実装 有無
10	sFlowCounterSamplingInterval {sFlowEntry 5}	Integer32	R/NW	[規格] カウンタサンプルのコレクタへの送信間隔。 [実装] 規格に同じ。	1
11	sFlowMaximumHeaderSize {sFlowEntry 6}	Integer32	R/NW	[規格] サンプルパケットの先頭からコピーされる最大バイト数。 [実装] 規格に同じ。	1
12	sFlowMaximumDatagramSize {sFlowEntry 7}	Integer32	R/NW	[規格] sFlow パケットで送ることができる最大データバイト数。 [実装] 規格に同じ。	1
13	sFlowCollectorAddressType {sFlowEntry 8}	InetAddressType	R/NW	[規格] コレクタの IP アドレスタイプ。 • ipv4 (1) • ipv6 (2) [実装] 規格に同じ。	1
14	sFlowCollectorAddress {sFlowEntry 9}	InetAddress	R/NW	[規格] コレクタの IP アドレス。 [実装] 規格に同じ。	1 3
15	sFlowCollectorPort {sFlowEntry 10}	Integer32	R/NW	[規格] sFlow パケットの宛先ポート。 [実装] 規格に同じ。	1
16	sFlowDatagramVersion {sFlowEntry 11}	Integer32	R/NW	[規格] sFlow パケットのバージョン。 Version=2, 4 をサポートする。 [実装] 規格に同じ。	1

注 1 sFlow 統計のコンフィギュレーションコマンドで設定した値になります。

注 2 IPv4 アドレスと IPv6 アドレスが設定されている場合は、IPv4 アドレスを通知します。

注 3 複数のコレクタを設定する場合は、一番小さい IP アドレスを持つコレクタの情報が入ります。

4

サポート MIB トラップ

この章ではサポート MIB のトラップについて説明しています。

-
- 4.1 サポートトラップおよびインフォームの種類と発行契機

 - 4.2 サポートトラップおよびインフォーム -PDU 内パラメータ【AX6700S】

 - 4.3 サポートトラップおよびインフォーム -PDU 内パラメータ【AX6600S】

 - 4.4 サポートトラップおよびインフォーム -PDU 内パラメータ【AX6300S】
-

4.1 サポートトラップおよびインフォームの種類と発行契機

サポートトラップおよびインフォームの種類と発行契機を次の表に示します。

coldStart 以外のトラップおよびインフォームは、装置の起動時から coldStart の発行契機までの間は送信しません。また、装置の起動時から coldStart の発行契機前に各トラップまたはインフォームの発行契機が発生しても、あとから coldStart と同時に各トラップまたはインフォームの送信はしません。インフォームの場合、装置の起動を契機とする coldStart の発行後、その応答を受信するまでの間に各インフォームの発行契機が発生すると、各インフォームを保持します。保持した各インフォームは、coldStart の応答を受信、送信失敗、または廃棄した契機に発行します。

表 4-1 サポートトラップおよびインフォームの種類と発行契機

項番	種類	意味	発行契機	実装有無
1	coldStart	再初期化システム内のオブジェクトが変更される可能性がある	次に示す 1 ~ 5 の契機で発行します。 1. 装置を起動したとき。 2. コンフィグレーション変更によって VLAN の IP アドレスを追加、削除、変更したとき。 3. copy コマンドによってランニングコンフィグレーションを変更したとき。 4. set clock コマンドで時間を変更したとき。 5. 系切替したとき。 2, 3, 4 は、コンフィグレーションコマンド snmp-server traps で unlimited_coldstart_trap パラメータを設定した場合にだけ発行します。	
2	warmStart	再初期化システム内のオブジェクトが変更されない	SNMP またはアクセスリストのコンフィグレーションを変更したとき。	
3	linkDown	回線障害検出	インタフェースの動作状態が ACTIVE (通信可能状態) から DISABLE (通信不可状態) に変化したとき。	
4	linkUp	回線障害回復	インタフェースの動作状態が DISABLE (通信不可状態) から ACTIVE (通信可能状態) に変化したとき。	
5	authentication Failure	確認エラー	不正なコミュニティから SNMP パケットを受信したとき (認証エラー発生時)。	
6	egpNeighborLoss	EGP プロトコルでネイバルータとのリンクが切れた	-	×
7	bgpEstablished 【OP-BGP】	BGP リンク確立	グローバルネットワークの BGP で FSM (Finite State Machine) が、Establish 状態になったとき。	
8	bgpBackwardTransition 【OP-BGP】	BGP リンク切断	グローバルネットワークの BGP で FSM が closed 状態になったとき。	
9	risingAlarm	上方閾値を超えた	RMON のアラームの上方閾値を超えたとき。	
10	fallingAlarm	下方閾値を下回った	RMON のアラームの下方閾値を下回ったとき。	
11	vrrpTrapNew Master	仮想ルータのマスタ通知	仮想ルータがマスタ状態に遷移したとき。 ¹	

項番	種類	意味	発行契機	実装 有無
12	vrrpTrapAuth Failure	ADVERTISEMENT パケット認証エラー	<ul style="list-style-type: none"> 受信した ADVERTISEMENT パケットの認証タイプが異なるとき。 受信した ADVERTISEMENT パケットの認証に失敗したとき。^{1, 2} 	
13	vrrpTrapProto Error	VRRP プロトコルエ ラー	受信したパケットで次に示すエラーを検出したとき。 ^{1, 2} <ul style="list-style-type: none"> ホップリミットエラー バージョンエラー チェックサムエラー³ 	
14	ospfVirtNbrSta teChange	仮想リンクの隣接状 態の遷移	グローバルネットワークの仮想リンクで、次に示す 1 ~ 4 の隣接状態の遷移契機で発行します。ただし、仮想リンクの Down 状態への遷移に伴う隣接 Down では発行しません。 <ol style="list-style-type: none"> Full になったとき（隣接関係確立） ExStart 以上の状態から Down に逆行したとき（Hello パケット未受信による隣接関係打ち切り） Full から ExStart へ逆行したとき（シーケンス不一致などによる隣接関係打ち切り） Full から Init へ逆行したとき（隣接ルータから受信した Hello パケット内で、本装置を認識しなくなったことによる隣接関係打ち切り） なお、OSPF ドメインを分割しているとき、ドメイン番号が最小のドメイン以外は、プライベートトラップを発行します。	
15	ospfNbrStateC hange	OSPF の隣接状態の 遷移	グローバルネットワークの仮想リンク以外のインタフェースで、次に示す 1 ~ 5 の隣接状態の遷移契機で発行します。ただし、OSPF インタフェースの Down 状態への遷移に伴う隣接 Down では発行しません。 <ol style="list-style-type: none"> Full になったとき（隣接関係確立） ExStart 以上の状態から Down に逆行したとき（Hello パケット未受信による隣接関係打ち切り） Full から ExStart へ逆行したとき（シーケンス不一致などによる隣接関係打ち切り） Full から 2Way へ逆行したとき（指定ルータ変更による隣接関係打ち切り） Full から Init へ逆行したとき（隣接ルータから受信した Hello パケット内で、本装置を認識しなくなったことによる隣接関係打ち切り） なお、OSPF ドメインを分割しているとき、ドメイン番号が最小のドメイン以外は、プライベートトラップを発行します。	
16	ospfVirtIfState Change	仮想リンクのインタ フェース状態の遷移	グローバルネットワークの仮想リンクで、次に示す 1 ~ 2 のインタフェース状態の遷移契機で発行します。 <ol style="list-style-type: none"> 仮想リンクが Up したとき（仮想リンク上で OSPF 動作を開始） 仮想リンクが Down したとき（通過エリアの障害や仮想リンクのコンフィグレーション削除などにより、仮想リンク上で OSPF 動作を停止） なお、OSPF ドメインを分割しているとき、ドメイン番号が最小のドメイン以外は、プライベートトラップを発行します。	

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	意味	発行契機	実装 有無
17	ospfIfStateChange	OSPF インタフェース状態の遷移	<p>グローバルネットワークの OSPF ドメインで、次に示す 1 ~ 3 のインタフェース状態の遷移契機で発行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ポイント - ポイント型の OSPF インタフェースが Up したとき。 2. ブロードキャスト型インタフェースで、DR, Backup, DROther 状態になったとき (指定ルータの決定や Wait タイマーのタイムアウトなど)。 3. OSPF インタフェース (仮想リンク除く) が Down したとき (物理的なダウンや OSPF インタフェースのコンフィグレーション削除など)。 <p>なお、OSPF ドメインを分割しているとき、ドメイン番号が最小のドメイン以外は、プライベートトラップを発行します。</p>	
18	ospfVirtIfConfigError	仮想リンクで受信したパケットのコンフィグレーションエラー	<p>グローバルネットワークの仮想リンクで、次に示す 1 ~ 3 のエラーパケットの受信契機で発行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. OSPF ヘッダのバージョン番号がバージョン 2 でない。 2. 送信元がコンフィグレーションで指定した仮想ネーバでない。 3. Hello パケットの場合、各パラメータ (HelloInterval, RouterDeadInterval) が一致していない。 <p>なお、OSPF ドメインを分割しているとき、ドメイン番号が最小のドメイン以外は、プライベートトラップを発行します。</p>	
19	ospfIfConfigError	OSPF インタフェースで受信したパケットのコンフィグレーションエラー	<p>グローバルネットワークの OSPF ドメインで、次に示す 1 ~ 3 のエラーパケットの受信契機で発行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. OSPF ヘッダのバージョン番号がバージョン 2 でない。 2. OSPF ヘッダのエリア ID が OSPF パケットを受信したインタフェースに定義されているエリア ID と一致しない。 3. Hello パケットの場合、各パラメータ (HelloInterval, RouterDeadInterval, ネットマスク) が一致していない。 <p>なお、OSPF ドメインを分割しているとき、ドメイン番号が最小のドメイン以外は、プライベートトラップを発行します。</p>	
20	ospfVirtIfAuthFailure	仮想リンクで受信したパケットの認証エラー	<p>グローバルネットワークの仮想リンクで、受信した OSPF パケットの認証方式の不一致、または認証失敗の検出契機で発行します。</p> <p>なお、OSPF ドメインを分割しているとき、ドメイン番号が最小のドメイン以外は、プライベートトラップを発行します。</p>	
21	ospfIfAuthFailure	OSPF インタフェースで受信したパケットの認証エラー	<p>グローバルネットワークの仮想リンク以外のインタフェースで、受信した OSPF パケットの認証方式の不一致、または認証失敗の検出契機で発行します。</p> <p>なお、OSPF ドメインを分割しているとき、ドメイン番号が最小のドメイン以外は、プライベートトラップを発行します。</p>	
22	dot1agCfmFaultAlarm	他 MEP との障害検出	Continuity Check (CC) によって障害を検出したとき。	
23	ax6700sSystemMsgTrap 【AX6700S】 ax6600sSystemMsgTrap 【AX6600S】 ax6300sSystemMsgTrap 【AX6300S】	システムメッセージ出力	システムメッセージを出力したとき。	

項番	種類	意味	発行契機	実装 有無
24	ax6700sStandbySystemUpTrap 【AX6700S】 ax6600sStandbySystemUpTrap 【AX6600S】 ax6300sStandbySystemUpTrap 【AX6300S】	AX6700S の場合：待機系 BCU の正常な起動 AX6600S の場合：待機系 CSU の正常な起動 AX6300S の場合：待機系 MSU の正常な起動	AX6700S の場合：BCU 二重化装置で、待機系 BCU が稼働中以外から稼働中になったとき。 AX6600S の場合：CSU 二重化装置で、待機系 CSU が稼働中以外から稼働中になったとき。 AX6300S の場合：MSU 二重化装置で、待機系 MSU が稼働中以外から稼働中になったとき。	
25	ax6700sStandbySystemDownTrap 【AX6700S】 ax6600sStandbySystemDownTrap 【AX6600S】 ax6300sStandbySystemDownTrap 【AX6300S】	AX6700S の場合：待機系 BCU の異常または停止 AX6600S の場合：待機系 CSU の異常または停止 AX6300S の場合：待機系 MSU の異常または停止	AX6700S の場合：BCU 二重化装置で、待機系 BCU が稼働中から稼働中以外になったとき。 AX6600S の場合：CSU 二重化装置で、待機系 CSU が稼働中から稼働中以外になったとき。 AX6300S の場合：MSU 二重化装置で、待機系 MSU が稼働中から稼働中以外になったとき。	
26	ax6700sTemperatureTrap 【AX6700S】 ax6600sTemperatureTrap 【AX6600S】 ax6300sTemperatureTrap 【AX6300S】	温度状態の遷移	AX6700S の場合：BCU の監視している温度が、正常、注意、警告、異常の各状態に遷移したとき。 AX6600S の場合：CSU の監視している温度が、正常、注意、警告、異常の各状態に遷移したとき。 AX6300S の場合：MSU の監視している温度が、正常、注意、警告、異常の各状態に遷移したとき。	
27	ax6700sAxrpStateTransitionTrap 【AX6700S】 ax6600sAxrpStateTransitionTrap 【AX6600S】 ax6300sAxrpStateTransitionTrap 【AX6300S】	Ring Protocol のリング状態の遷移	Ring Protocol のリング状態（障害監視、復旧監視）が各状態間で遷移したとき。	
28	ax6700sGsrpStateTransitionTrap 【AX6700S】 ax6600sGsrpStateTransitionTrap 【AX6600S】 ax6300sGsrpStateTransitionTrap 【AX6300S】	GSRP の VLAN グループ状態の遷移通知	GSRP の VLAN グループの状態（マスタ、バックアップ、バックアップ（マスタ待ち）、バックアップ（隣接不明）、バックアップ（固定））が、各状態間で遷移したとき。ただし、バックアップ - バックアップ（マスタ待ち）間の遷移を除く。	

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	意味	発行契機	実装 有無
29	ax6700sL2ldLinkDown 【AX6700S】 ax6600sL2ldLinkDown 【AX6600S】 ax6300sL2ldLinkDown 【AX6300S】	L2 ループ検知により回線が通信不可状態へ遷移	L2 ループ検知によりインタフェースの動作状態が ACTIVE (通信可能状態) から DISABLE (通信不可状態) に変化したとき。	
30	ax6700sL2ldLinkUp 【AX6700S】 ax6600sL2ldLinkUp 【AX6600S】 ax6300sL2ldLinkUp 【AX6300S】	L2 ループ検知の自動復旧機能により回線が通信可能状態へ遷移	L2 ループ検知の自動復旧機能によりインタフェースの動作状態が DISABLE (通信不可状態) から ACTIVE (通信可能状態) に変化したとき。	
31	ax6700sL2ldLoopDetection 【AX6700S】 ax6600sL2ldLoopDetection 【AX6600S】 ax6300sL2ldLoopDetection 【AX6300S】	L2 ループを検知	L2 ループを検知したとき。 L2 ループの状態が継続している場合、60 秒ごとに通知します。	
32	axsOspfVirtNbrStateChange	仮想リンクの隣接状態の遷移	グローバルネットワークの仮想リンクで、次に示す 1 ~ 5 の隣接状態の遷移契機で発行します。ただし、仮想リンクの Down 状態への遷移に伴う隣接 Down では発行しません。 1. Full になったとき (隣接確立) 2. ExStart 以上の状態から Down に逆行したとき。 3. Full から ExStart へ逆行したとき (隣接の再確立開始) 4. Full から 2way へ逆行したとき。 5. Full から Init へ逆行したとき (隣接ルータから受信した Hello パケット内で、本装置を認識しなくなったとき)	
33	axsOspfNbrStateChange	OSPF の隣接状態の遷移	グローバルネットワークの仮想リンク以外のインタフェースで、ospfVirtNbrStateChange と同様の隣接状態の遷移契機で発行します。ただし、OSPF インタフェースの Down 状態への遷移に伴う隣接 Down では発行しません。	
34	axsOspfVirtIfStateChange	仮想リンクのインタフェース状態の遷移	グローバルネットワークの仮想リンクで、次に示す 1, 2 のインタフェース状態の遷移契機で発行します。 1. 仮想リンクが Up したとき (仮想リンク上で OSPF 動作を開始) 2. 仮想リンクが Down したとき (通過エリアの障害や仮想リンクのコンフィグレーション削除などにより、仮想リンク上で OSPF 動作を停止)	
35	axsOspfIfStateChange	OSPF インタフェース状態の遷移	グローバルネットワークの OSPF ドメインで、次に示す 1 ~ 3 のインタフェース状態の遷移契機で発行します。 1. ポイント - ポイント型の OSPF インタフェースが Up したとき。 2. ブロードキャスト型インタフェースで、DR, Backup, DROther 状態になったとき。 3. OSPF インタフェース (仮想リンク除く) が Down したとき (物理的なダウンや、OSPF インタフェースのコンフィグレーション削除など)	

項番	種類	意味	発行契機	実装 有無
36	axsOspfVirtIfConfigError	仮想リンクで受信したパケットのコンフィグレーションエラー	グローバルネットワークの仮想リンクで、次に示す 1 ~ 3 のエラーパケットの受信契機で発行します。 1. OSPF ヘッダのバージョン番号がバージョン 2 でない。 2. 送信元がコンフィグレーションで指定した仮想ネーバでない。 3. Hello パケットの場合、各パラメータ (HelloInterval, RouterDeadInterval) が一致していない。	
37	axsOspfIfConfigError	OSPF インタフェースで受信したパケットのコンフィグレーションエラー	グローバルネットワークの OSPF ドメインで、次に示す 1 ~ 3 のエラーパケットの受信契機で発行します。 1. OSPF ヘッダのバージョン番号がバージョン 2 でない。 2. OSPF ヘッダのエリア ID が OSPF パケットを受信したインタフェースに定義されているエリア ID と一致しない。 3. Hello パケットの場合、各パラメータ (HelloInterval, RouterDeadInterval, ネットマスク) が一致していない。	
38	axsOspfVirtIfAuthFailure	仮想リンクで受信したパケットの認証エラー	グローバルネットワークの仮想リンクで、受信した OSPF パケットの認証方式の不一致、または認証失敗の検出契機で発行します。	
39	axsOspfIfAuthFailure	OSPF インタフェースで受信したパケットの認証エラー	グローバルネットワークの仮想リンク以外のインタフェースで、受信した OSPF パケットの認証方式の不一致、または認証失敗の検出契機で発行します。	
40	axsStaticGatewayStateChange	スタティック経路の動的監視機能を使用しているゲートウェイの状態変更	IPv4 スタティック経路の動的監視機能を使用しているゲートウェイの状態が到達不可から到達可能へ遷移したとき、または到達可能から到達不可へ遷移したときに発行します。 グローバルネットワークのゲートウェイの状態変更で発行されます。	
41	axsStaticIpv6GatewayStateChange	スタティック経路の動的監視機能を使用しているゲートウェイの状態変更	IPv6 スタティック経路の動的監視機能を使用しているゲートウェイの状態が到達不可から到達可能へ遷移したとき、または到達可能から到達不可へ遷移したときに発行します。 グローバルネットワークのゲートウェイの状態変更で発行されます。	
42	axsPolicyBaseRoutingRouteChange	ポリシーベースルーティングの選択経路の変更	ポリシーベースルーティングの選択経路が変更されたときに発行します。	
43	axsPolicyBaseSwitchingRouteChange	ポリシーベーススイッチングの選択経路の変更	ポリシーベーススイッチングの選択経路が変更されたときに発行します。	
44	axsTrackObjectStateUp	トラック状態が Up に遷移	ポリシーベースルーティングのトラッキング機能のトラック状態が Down から Up に変わったときに発行します。	
45	axsTrackObjectStateDown	トラック状態が Down に遷移	ポリシーベースルーティングのトラッキング機能のトラックの状態が Up から Down に変わったときに発行します。	
46	ax6700sAirFanStopTrap 【AX6700S】 ax6600sAirFanStopTrap 【AX6600S】 ax6300sAirFanStopTrap 【AX6300S】	ファンの故障	ファンの故障を検出した場合。	

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	意味	発行契機	実装 有無
47	ax6700sPower SupplyFailure Trap 【AX6700S】 ax6600sPower SupplyFailure Trap 【AX6600S】 ax6300sPower SupplyFailure Trap 【AX6300S】	電源の故障	<ul style="list-style-type: none"> • 実装された電源のうちひとつでも異常が発生した場合。 • 装置から電源を抜いた場合。 	
48	ax6700sLoginS uccessTrap 【AX6700S】 ax6600sLoginS uccessTrap 【AX6600S】 ax6300sLoginS uccessTrap 【AX6300S】	装置利用者がログインに成功	console , aux , telnet , ftp によるログインに成功した場合。	
49	ax6700sLoginF ailureTrap 【AX6700S】 ax6600sLoginF ailureTrap 【AX6600S】 ax6300sLoginF ailureTrap 【AX6300S】	装置利用者がログインに失敗	<ul style="list-style-type: none"> • console , aux , telnet , ftp によるログインで、認証に失敗したごとに送信する。 • リモートアクセス制限による切断や、login: または Password: プロンプト表示状態でのタイムアウトや強制切断時には送信しない (login: プロンプト出力状態での Enter キーだけ入力も送信しない)。 	
50	ax6700sLogout Trap 【AX6700S】 ax6600sLogout Trap 【AX6600S】 ax6300sLogout Trap 【AX6300S】	装置利用者のログアウト	console , aux , telnet , ftp によるログアウトが成功した場合。	
51	ax6700sMemor yUsageTrap 【AX6700S】 ax6600sMemor yUsageTrap 【AX6600S】 ax6300sMemor yUsageTrap 【AX6300S】	使用可能なメモリが少なくなった	使用可能なメモリが下限値を下回った場合。	
52	axsOadpNeigh borCachelastC hangeTrap	OADP 隣接ノードに関する情報の更新	OADP 隣接ノードに関する情報が更新された場合。	

項番	種類	意味	発行契機	実装 有無
53	ax6700sFrameErrorReceiveTrap 【AX6700S】 ax6600sFrameErrorReceiveTrap 【AX6600S】 ax6300sFrameErrorReceiveTrap 【AX6300S】	フレーム受信エラーが発生	フレーム受信エラーが発生した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド frame-error-notice で行うことができます。	
54	ax6700sFrameErrorSendTrap 【AX6700S】 ax6600sFrameErrorSendTrap 【AX6600S】 ax6300sFrameErrorSendTrap 【AX6300S】	フレーム送信エラーが発生	フレーム送信エラーが発生した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド frame-error-notice で行うことができます。	
55	ax6700sEfmoamUldPortInactivateTrap 【AX6700S】 ax6600sEfmoamUldPortInactivateTrap 【AX6600S】 ax6300sEfmoamUldPortInactivateTrap 【AX6300S】	片方向リンク障害検出によるポート inactivate	片方向リンク障害を検出し、ポートを inactivate した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド efmoam active で行うことができます。	
56	ax6700sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap 【AX6700S】 ax6600sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap 【AX6600S】 ax6300sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap 【AX6300S】	ループ検出によるポート inactivate	ループ状態を検出し、ポートを inactivate した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド efmoam active で行うことができます。	
57	ax6700sStormDetectTrap 【AX6700S】 ax6600sStormDetectTrap 【AX6600S】 ax6300sStormDetectTrap 【AX6300S】	ストーム検出	ストームの発生を検出した場合（ポートは inactivate しません）。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	意味	発行契機	実装 有無
58	ax6700sStormPortInactivateTrap 【AX6700S】 ax6600sStormPortInactivateTrap 【AX6600S】 ax6300sStormPortInactivateTrap 【AX6300S】	ストーム検出によるポート inactivate	ストームの発生を検出し、ポートを inactivate した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	
59	ax6700sStormRecoverTrap 【AX6700S】 ax6600sStormRecoverTrap 【AX6600S】 ax6300sStormRecoverTrap 【AX6300S】	ストーム終結	ストームの終結を検出した場合。本エラー検出に関する設定は、コンフィグレーションコマンド storm-control で行うことができます。	
60	ax6700sStandbyBsuUpTrap 【AX6700S】	待機系 BSU の正常な起動	BSU の冗長構成で、該当 BSU が待機系として稼働中になったとき。	
61	ax6700sStandbyBsuDownTrap 【AX6700S】	待機系 BSU の異常または停止	BSU の冗長構成で、該当 BSU が待機系として稼働中から稼働中以外になったとき。	
62	ax6700sPowerControlModeChangeStartTrap 【AX6700S】 ax6600sPowerControlModeChangeStartTrap 【AX6600S】	電力制御モード変更開始	電力制御モードの変更を開始したとき。	
63	ax6700sPowerControlModeChangeCompleteTrap 【AX6700S】 ax6600sPowerControlModeChangeCompleteTrap 【AX6600S】	電力制御モード変更完了	電力制御モードの変更が完了したとき。	
64	ax6700sStandbyNifUpTrap 【AX6700S】 ax6600sStandbyNifUpTrap 【AX6600S】	冗長 NIF の待機開始	NIF の冗長構成で、該当 NIF が待機系として稼働中になったとき。	
65	ax6700sStandbyNifDownTrap 【AX6700S】 ax6600sStandbyNifDownTrap 【AX6600S】	冗長 NIF の待機解除	NIF の冗長構成で、該当 NIF が待機系として稼働中から待機系として稼働中以外になったとき。	

(凡例)

- : 本装置でサポート (応答) するトラップまたはインフォームを示しています。
- x : 本装置でサポート (応答) しないトラップまたはインフォームを示しています。
- : 該当しません。

注 1

フォロー仮想ルータは、トラップまたはインフォームを発行しません。

注 2

同一エラーが連続している場合、60 秒毎に通知します。ただし、仮想ルータ情報に変更があった場合は 60 秒未満で発行することがあります。

注 3

装置単位で発行します。

4.2 サポートトラップおよびインフォーム-PDU 内パラメータ【AX6700S】

Trap-PDU , InformRequest-PDU (SNMPv2C/SNMPv3) 内パラメータについて , SNMPv1 の場合を「表 4-2 Trap-PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv1 の場合)」に , SNMPv2C/SNMPv3 の場合を「表 4-3 Trap-PDU , InformRequest-PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv2C/SNMPv3 の場合)」に示します。

表 4-2 Trap-PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv1 の場合)

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
1	coldStart	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	0	0	sysUpTime の値	なし
2	warmStart	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	1	0	sysUpTime の値	なし
3	linkDown	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	2	0	sysUpTime の値	ifIndex ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、以下の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType
4	linkUp	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	3	0	sysUpTime の値	ifIndex ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、以下の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType
5	authentication Failure	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	4	0	sysUpTime の値	なし
6	bgpEstablished 【OP-BGP】	bgpTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.5.7	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	bgpPeerLastError, bgpPeerState

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
7	bgpBackwardTransition 【OP-BGP】	bgpTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.5.7	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	bgpPeerLastError, bgpPeerState
8	risingAlarm	rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.6	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmRisingThreshold
9	fallingAlarm	rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.6	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold
10	vrrpTrapNewMaster	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6.8	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	vrrpOperationsMasterIpAddress, vrrpTrapNewMasterReason
11	vrrpTrapAuthFailure	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6.8	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	vrrpTrapPacketSrc, vrrpTrapAuthErrorType
12	vrrpTrapProtoError	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6.8	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	vrrpTrapProtoErrorReason
13	ospfVirtIfStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfVirtIfState
14	ospfNbrStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfNbrIpAddress, ospfNbrAddressLessIndex, ospfNbrRtrId, ospfNbrState
15	ospfVirtNbrStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtNbrArea, ospfVirtNbrRtrId, ospfVirtNbrState

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
16	ospfIfConfigError	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス	6	4	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType , ospfPacketType
17	ospfVirtIfConfigError	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス	6	5	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType , ospfPacketType
18	ospfIfAuthFailure	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス	6	6	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType , ospfPacketType
19	ospfVirtIfAuthFailure	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス	6	7	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType , ospfPacketType
20	ospfIfStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス	6	16	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfIfState
21	dot1agCfmFaultAlarm	ieee8021CfmMib のオブジェクト ID 1.3.111.2.80 2.1.1.8	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	dot1agCfmMdIndex dot1agCfmMaIndex dot1agCfmMepIdentifier
22	ax6700sSystemMsgTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	ax6700sSystemMsgType ax6700sSystemMsgTimeStamp ax6700sSystemMsgLevel ax6700sSystemMsgEventPoint ax6700sSystemMsgEventInterfaceID ax6700sSystemMsgEventCode ax6700sSystemMsgAdditionalCode ax6700sSystemMsgText
23	ax6700sStandbySystemUpTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	ax6700sChassisIndex ax6700sBcuBoardIndex

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
24	ax6700sStandbySystemDownTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	ax6700sChassisIndex ax6700sBcuBoardIndex
25	ax6700sTemperatureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	4	sysUpTime の値	ax6700sChassisIndex ax6700sBcuBoardIndex ax6700sTemperatureStatusIndex ax6700sTemperatureStatusDescr ax6700sTemperatureStatusValue ax6700sTemperatureState
26	ax6700sAxrpsStateTransitionTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	36	sysUpTime の値	axsAxrpsGroupRingId axsAxrpsGroupMode axsAxrpsGroupRingAttribute axsAxrpsGroupMonitoringState
27	ax6700sGsrpsStateTransitionTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	6	sysUpTime の値	axsGsrpsGroupId axsGsrpsVlanGroupId axsGsrpsState
28	ax6700sL2ldLinkDown	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	51	sysUpTime の値	axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSourcePortIfIndex axsL2ldPortDestinationPortIfIndex axsL2ldPortSourceVlan
29	ax6700sL2ldLinkUp	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	52	sysUpTime の値	axsL2ldPortIfIndex
30	ax6700sL2ldLoopDetection	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	53	sysUpTime の値	axsL2ldPortIndex axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSourcePortIfIndex axsL2ldPortSourceVlan
31	axsOspfVirtIfStateChange	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfVirtIfState

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
32	axsOspfNbrStateChange	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	axsOspfNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfNbrIpAddress, axsOspfNbrAddressLessIndex, axsOspfNbrRtrId, axsOspfNbrState
33	axsOspfVirtNbrStateChange	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	axsOspfVirtNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtNbrArea , axsOspfVirtNbrRtrId, axsOspfVirtNbrState
34	axsOspfIfConfigError	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	4	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
35	axsOspfVirtIfConfigError	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	5	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId , axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
36	axsOspfIfAuthFailure	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	6	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
37	axsOspfVirtIfAuthFailure	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	7	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId , axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
38	axsOspfIfStateChange	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	16	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfIfState
39	axsStaticGatewayStateChange	axsStaticTrap のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.3.8.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsStaticGatewayAddr axsStaticGatewayState
40	axsStaticIpv6GatewayStateChange	axsStaticTrap のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.3.8.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	axsStaticIpv6Ifindex axsStaticIpv6GatewayAddr axsStaticIpv6GatewayState
41	axsPolicyBaseRoutingRouteChange	axsPolicyBaseRouting のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.4.5.1	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsPolicyBaseRoutingChangeListNumber axsPolicyBaseRoutingChangeSequenceNumber
42	axsPolicyBaseSwitchingRouteChange	axsPolicyBaseSwitching のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.4.5.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsPolicyBaseSwitchingChangeListNumber axsPolicyBaseSwitchingChangeSequenceNumber
43	axsTrackObjectStateUp	axsTrackObjectTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.4.1.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsTrackObjectId axsTrackObjectState axsTrackObjectOperation axsTrackObjectType axsTrackObjectNetIndex
44	axsTrackObjectStateDown	axsTrackObjectTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.4.1.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	axsTrackObjectId axsTrackObjectState axsTrackObjectOperation axsTrackObjectType axsTrackObjectNetIndex
45	ax6700sAirFanStopTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	8	sysUpTime の値	なし
46	ax6700sPowerSupplyFailureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	9	sysUpTime の値	なし

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
47	ax6700sLoginSuccessTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	10	sysUpTime の値	axsLoginName, axsLoginTime, axsLoginLocation, axsLoginLine
48	ax6700sLoginFailureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	11	sysUpTime の値	axsLoginName, axsLoginFailureTime, axsLoginLocation, axsLoginLine
49	ax6700sLogoutTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	12	sysUpTime の値	axsLoginName, axsLoginTime, axsLogoutTime, axsLoginLocation, axsLoginLine, axsLogoutStatus
50	ax6700sMemoryUsageTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	13	sysUpTime の値	なし
51	axsOadpNeighborCacheLastChangeTrap	axsOadpMIBNotifications のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.7.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsOadpNeighborCacheLastChange
52	ax6700sFrameErrorReceiveTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	18	sysUpTime の値	ifIndex
53	ax6700sFrameErrorSendTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	19	sysUpTime の値	ifIndex
54	ax6700sEfmoamUldPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	29	sysUpTime の値	ifIndex
55	ax6700sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	30	sysUpTime の値	ifIndex
56	ax6700sStormDetectTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	31	sysUpTime の値	ifIndex
57	ax6700sStormPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	32	sysUpTime の値	ifIndex
58	ax6700sStormRecoverTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	33	sysUpTime の値	ifIndex

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
59	ax6700sStandbyBs uUpTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	34	sysUpTime の値	ax6700sChassisIndex ax6700sBsuBoardIndex
60	ax6700sStandbyBs uDownTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	35	sysUpTime の値	ax6700sChassisIndex ax6700sBsuBoardIndex
61	ax6700sPowerControlModeChangeStartTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	85	sysUpTime の値	ax6700sChassisIndex
62	ax6700sPowerControlModeChangeCompleteTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	86	sysUpTime の値	ax6700sChassisIndex
63	ax6700sStandbyNifUpTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	90	sysUpTime の値	ax6700sChassisIndex ax6700sNifBoardSlotIndex
64	ax6700sStandbyNifDownTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.9	特定の IP アドレス	6	91	sysUpTime の値	ax6700sChassisIndex ax6700sNifBoardSlotIndex

注 次に示す優先順位で agent-addr が設定されます。

1. コンフィグレーションコマンド snmp-server traps agent-address で設定された IPv4 アドレス。
2. ループバックインタフェースに設定された IPv4 アドレス。
3. IPv4 アドレスが設定されているインタフェースで、最若番の ifIndex 番号を持つインタフェースの IPv4 アドレス。ただし、対象となるインタフェースはマネージメントポートおよび VLAN です。
4. 1 ~ 3 のどれも設定されていない場合、「0.0.0.0」が設定されます。

表 4-3 Trap-PDU , InformRequest-PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv2C/SNMPv3 の場合)

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
1	coldStart	sysUpTime の値	coldStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.1)	なし
2	warmStart	sysUpTime の値	warmStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.2)	なし

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
3	linkDown	sysUpTime の値	linkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.3)	ifIndex ifAdminStatus ifOperStatus ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、以下の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType
4	linkUp	sysUpTime の値	linkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.4)	ifIndex ifAdminStatus ifOperStatus ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、以下の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType
5	authentication Failure	sysUpTime の値	authentication Failure のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.5)	なし
6	bgpEstablished 【OP-BGP】	sysUpTime の値	bgpEstablished のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.15.7.1)	bgpPeerLastError, bgpPeerState
7	bgpBackwardTransition 【OP-BGP】	sysUpTime の値	bgpBackwardTransition のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.15.7.2)	bgpPeerLastError, bgpPeerState
8	risingAlarm	sysUpTime の値	risingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.1)	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmRisingThreshold
9	fallingAlarm	sysUpTime の値	fallingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.2)	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold
10	vrrpTrapNewMaster	sysUpTime の値	vrrpTrapNewMaster のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.1)	vrrpOperationsMasterIpAddr vrrpTrapNewMasterReason
11	vrrpTrapAuthFailure	sysUpTime の値	vrrpTrapAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.2)	vrrpTrapPacketSrc vrrpTrapAuthErrorType
12	vrrpTrapProtoError	sysUpTime の値	vrrpTrapProtoError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.3)	vrrpTrapProtoErrReason
13	ospfVirtIfStateChange	sysUpTime の値	ospfVirtIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.1)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfVirtIfState

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
14	ospfNbrStateChange	sysUpTime の値	ospfNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.2)	ospfRouterId, ospfNbrIpAddress, ospfNbrAddressLessIndex, ospfNbrRtrId, ospfNbrState
15	ospfVirtNbrStateChange	sysUpTime の値	ospfVirtNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.3)	ospfRouterId, ospfVirtNbrArea, ospfVirtNbrRtrId, ospfVirtNbrState
16	ospfIfConfigError	sysUpTime の値	ospfIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.4)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
17	ospfVirtIfConfigError	sysUpTime の値	ospfVirtIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.5)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
18	ospfIfAuthFailure	sysUpTime の値	ospfIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.6)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
19	ospfVirtIfAuthFailure	sysUpTime の値	ospfVirtIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.7)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
20	ospfIfStateChange	sysUpTime の値	ospfIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.16)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfIfState
21	dot1agCfmFaultAlarm	sysUpTime の値	dot1agCfmFaultAlarm のオブジェクト ID (1.3.111.2.802.1.1.8.0.1)	dot1agCfmMdIndex dot1agCfmMaIndex dot1agCfmMepIdentifier
22	ax6700sSystemMsgTrap	sysUpTime の値	ax6700sSystemMsgTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.1)	ax6700sSystemMsgType ax6700sSystemMsgTimeStamp ax6700sSystemMsgLevel ax6700sSystemMsgEventPoint ax6700sSystemMsgEventInterfaceID ax6700sSystemMsgEventCode ax6700sSystemMsgAdditionalCode ax6700sSystemMsgText
23	ax6700sStandbySystemUpTrap	sysUpTime の値	ax6700sStandbySystemUpTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.2)	ax6700sChassisIndex ax6700sBcuBoardIndex
24	ax6700sStandbySystemDownTrap	sysUpTime の値	ax6700sStandbySystemDownTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.3)	ax6700sChassisIndex ax6700sBcuBoardIndex

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
25	ax6700sTemperatureTrap	sysUpTime の値	ax6700sTemperatureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.4)	ax6700sChassisIndex ax6700sBcuBoardIndex ax6700sTemperatureStatusIndex ax6700sTemperatureStatusDescr ax6700sTemperatureStatusValue ax6700sTemperatureState
26	ax6700sAxpStateTransitionTrap	sysUpTime の値	ax6700sAxpStateTransitionTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.36)	axsAxpGroupRingId axsAxpGroupMode axsAxpGroupRingAttribute axsAxpGroupMonitoringState
27	ax6700sGsrpStateTransitionTrap	sysUpTime の値	ax6700sGsrpStateTransitionTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.6)	axsGsrpGroupId axsGsrpVlanGroupId axsGsrpState
28	ax6700sL2dLinkDown	sysUpTime の値	ax6700sL2dLinkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.51)	axsL2dPortIfIndex axsL2dPortSourcePortIfindex axsL2dPortDestinationPortIfindex axsL2dPortSourceVlan
29	ax6700sL2dLinkUp	sysUpTime の値	ax6700sL2dLinkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.52)	axsL2dPortIfIndex
30	ax6700sL2dLoopDetection	sysUpTime の値	ax6700sL2dLoopDetection のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.53)	axsL2dPortIndex axsL2dPortIfIndex axsL2dPortSourcePortIfindex axsL2dPortSourceVlan
31	axsOspfVirtIfStateChange	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.1)	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfVirtIfState
32	axsOspfNbrStateChange	sysUpTime の値	axsOspfNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.2)	axsOspfNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfNbrIpAddress, axsOspfNbrAddressLessIndex, axsOspfNbrRtrId, axsOspfNbrState
33	axsOspfVirtNbrStateChange	sysUpTime の値	axsOspfVirtNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.3)	axsOspfVirtNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtNbrArea, axsOspfVirtNbrRtrId, axsOspfVirtNbrState
34	axsOspfIfConfigError	sysUpTime の値	axsOspfIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.4)	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
35	axsOspfVirtIfConfigError	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.5)	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
36	axsOspfIfAuthFailure	sysUpTime の値	axsOspfIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.6)	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
37	axsOspfVirtIfAuthFailure	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.7)	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
38	axsOspfIfStateChange	sysUpTime の値	axsOspfIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.16)	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfIfState
39	axsStaticGatewayStateChange	sysUpTime の値	axsStaticGatewayStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.2.0.1)	axsStaticGatewayAddr axsStaticGatewayState
40	axsStaticIpv6GatewayStateChange	sysUpTime の値	axsStaticIpv6GatewayStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.2.0.2)	axsStaticIpv6Ifindex axsStaticIpv6GatewayAddr axsStaticIpv6GatewayState
41	axsPolicyBaseRoutingRouteChange	sysUpTime の値	axsPolicyBaseRoutingRouteChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.1.0.1)	axsPolicyBaseRoutingChangeListNumber axsPolicyBaseRoutingChangeSequenceNumber
42	axsPolicyBaseSwitchingRouteChange	sysUpTime の値	axsPolicyBaseSwitchingRouteChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.2.0.1)	axsPolicyBaseSwitchingChangeListNumber axsPolicyBaseSwitchingChangeSequenceNumber
43	axsTrackObjectStateUp	sysUpTime の値	axsTrackObjectStateUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.2.0.1)	axsTrackObjectId axsTrackObjectState axsTrackObjectOperation axsTrackObjectType axsTrackObjectNetIndex
44	axsTrackObjectStateDown	sysUpTime の値	axsTrackObjectStateDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.2.0.2)	axsTrackObjectId axsTrackObjectState axsTrackObjectOperation axsTrackObjectType axsTrackObjectNetIndex

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
45	ax6700sAirFanStopTrap	sysUpTime の値	ax6700sAirFanStopTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.8)	なし
46	ax6700sPowerSupplyFailureTrap	sysUpTime の値	ax6700sPowerSupplyFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.9)	なし
47	ax6700sLoginSuccessTrap	sysUpTime の値	ax6700sLoginSuccessTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.10)	axsLoginName, axsLoginTime, axsLoginLocation, axsLoginLine
48	ax6700sLoginFailureTrap	sysUpTime の値	ax6700sLoginFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.11)	axsLoginName, axsLoginFailureTime, axsLoginLocation, axsLoginLine
49	ax6700sLogoutTrap	sysUpTime の値	ax6700sLogoutTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.12)	axsLoginName, axsLoginTime, axsLogoutTime, axsLoginLocation, axsLoginLine, axsLogoutStatus
50	ax6700sMemoryUsageTrap	sysUpTime の値	ax6700sMemoryUsageTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.13)	なし
51	axsOadpNeighborCacheLastChangeTrap	sysUpTime の値	axsOadpNeighborCacheLastChangeTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.2.0.1)	axsOadpNeighborCacheLastChange
52	ax6700sFrameErrorReceiveTrap	sysUpTime の値	ax6700sFrameErrorReceiveTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.18)	ifIndex
53	ax6700sFrameErrorSendTrap	sysUpTime の値	ax6700sFrameErrorSendTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.19)	ifIndex
54	ax6700sEfmoamUlldPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax6700sEfmoamUlldPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.29)	ifIndex
55	ax6700sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax6700sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.30)	ifIndex
56	ax6700sStormDetectTrap	sysUpTime の値	ax6700sStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.31)	ifIndex

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
57	ax6700sStormPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax6700sStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.32)	ifIndex
58	ax6700sStormRecoverTrap	sysUpTime の値	ax6700sStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.33)	ifIndex
59	ax6700sStandbyBsuUpTrap	sysUpTime の値	ax6700sStandbyBsuUpTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.34)	ax6700sChassisIndex ax6700sBsuBoardIndex
60	ax6700sStandbyBsuDownTrap	sysUpTime の値	ax6700sStandbyBsuDownTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.35)	ax6700sChassisIndex ax6700sBsuBoardIndex
61	ax6700sPowerControlModeChangeStartTrap	sysUpTime の値	ax6700sPowerControlModeChangeStartTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.85)	ax6700sChassisIndex
62	ax6700sPowerControlModeChangeCompleteTrap	sysUpTime の値	ax6700sPowerControlModeChangeCompleteTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.86)	ax6700sChassisIndex
63	ax6700sStandbyNifUpTrap	sysUpTime の値	ax6700sStandbyNifUpTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.90)	ax6700sChassisIndex ax6700sNifBoardSlotIndex
64	ax6700sStandbyNifDownTrap	sysUpTime の値	ax6700sStandbyNifDownTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.9.0.91)	ax6700sChassisIndex ax6700sNifBoardSlotIndex

4.3 サポートトラップおよびインフォーム-PDU 内パラメータ【AX6600S】

Trap-PDU , InformRequest-PDU (SNMPv2C/SNMPv3) 内パラメータについて , SNMPv1 の場合を「表 4-4 Trap-PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv1 の場合)」に , SNMPv2C/SNMPv3 の場合を「表 4-5 Trap-PDU , InformRequest-PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv2C/SNMPv3 の場合)」に示します。

表 4-4 Trap-PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv1 の場合)

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
1	coldStart	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.12	特定の IP アドレス	0	0	sysUpTime の値	なし
2	warmStart	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.12	特定の IP アドレス	1	0	sysUpTime の値	なし
3	linkDown	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.12	特定の IP アドレス	2	0	sysUpTime の値	ifIndex ただし , コンフィグ レーションコマンド の snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場 合は , 以下の MIB に なります。 ifIndex, ifDescr, ifType
4	linkUp	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.12	特定の IP アドレス	3	0	sysUpTime の値	ifIndex ただし , コンフィグ レーションコマンド の snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場 合は , 以下の MIB に なります。 ifIndex, ifDescr, ifType
5	authentication Failure	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.12	特定の IP アドレス	4	0	sysUpTime の値	なし
6	bgpEstablished 【OP-BGP】	bgpTraps の オブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.15 .7	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	bgpPeerLastError, bgpPeerState

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
7	bgpBackwardTransition 【OP-BGP】	bgpTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.15.7	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	bgpPeerLastError, bgpPeerState
8	risingAlarm	rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.16	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmRisingThreshold
9	fallingAlarm	rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.16	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold
10	vrrpTrapNewMaster	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.68	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	vrrpOperationsMasterIpAddress, vrrpTrapNewMasterReason
11	vrrpTrapAuthFailure	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.68	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	vrrpTrapPacketSrc, vrrpTrapAuthErrorType
12	vrrpTrapProtoError	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.68	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	vrrpTrapProtoErrReason
13	ospfVirtIfStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.14.16.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfVirtIfState
14	ospfNbrStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.14.16.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfNbrIpAddress, ospfNbrAddressLessIndex, ospfNbrRtrId, ospfNbrState
15	ospfVirtNbrStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.14.16.2	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtNbrArea, ospfVirtNbrRtrId, ospfVirtNbrState
16	ospfIfConfigError	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.14.16.2	特定の IP アドレス	6	4	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
17	ospfVirtIfConfigError	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.14.16.2	特定の IP アドレス	6	5	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
18	ospfIfAuthFailure	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.14.16.2	特定の IP アドレス	6	6	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
19	ospfVirtIfAuthFailure	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.14.16.2	特定の IP アドレス	6	7	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
20	ospfIfStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.14.16.2	特定の IP アドレス	6	16	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfIfState
21	dot1agCfmFaultAlarm	ieee8021CfmMib のオブジェクト ID 1.3.111.2.802.1.1.8	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	dot1agCfmMdIndex dot1agCfmMaIndex dot1agCfmMepIdentifier
22	ax6600sSystemMsgTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	ax6600sSystemMsgType ax6600sSystemMsgTimeStamp ax6600sSystemMsgLevel ax6600sSystemMsgEventPoint ax6600sSystemMsgEventInterfaceID ax6600sSystemMsgEventCode ax6600sSystemMsgAdditionalCode ax6600sSystemMsgText
23	ax6600sStandbySystemUpTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	ax6600sChassisIndex ax6600sCsuBoardIndex
24	ax6600sStandbySystemDownTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	ax6600sChassisIndex ax6600sCsuBoardIndex

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
25	ax6600sTemperatureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	4	sysUpTime の値	ax6600sChassisIndex ax6600sCsuBoardIndex ax6600sTemperatureStatusIndex ax6600sTemperatureStatusDescr ax6600sTemperatureStatusValue ax6600sTemperatureState
26	ax6600sAxrpStateTransitionTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	36	sysUpTime の値	axsAxrpGroupRingId axsAxrpGroupMode axsAxrpGroupRingAttribute axsAxrpGroupMonitoringState
27	ax6600sGsrpStateTransitionTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	6	sysUpTime の値	axsGsrpGroupId axsGsrpVlanGroupId axsGsrpState
28	ax6600sL2ldLinkDown	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	51	sysUpTime の値	axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSourcePortIfindex axsL2ldPortDestinationPortIfindex axsL2ldPortSourceVlan
29	ax6600sL2ldLinkUp	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	52	sysUpTime の値	axsL2ldPortIfIndex
30	ax6600sL2ldLoopDetection	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	53	sysUpTime の値	axsL2ldPortIndex axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSourcePortIfindex axsL2ldPortSourceVlan
31	axsOspfVirtIfStateChange	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfVirtIfState
32	axsOspfNbrStateChange	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	axsOspfNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfNbrIpAddress, axsOspfNbrAddressLessIndex, axsOspfNbrRtrId, axsOspfNbrState

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
33	axsOspfVirtNbrStateChange	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.21.839.2.2.1.14.16.2	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	axsOspfVirtNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtNbrArea, axsOspfVirtNbrRtrId, axsOspfVirtNbrState
34	axsOspfIfConfigError	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.21.839.2.2.1.14.16.2	特定の IP アドレス	6	4	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
35	axsOspfVirtIfConfigError	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.21.839.2.2.1.14.16.2	特定の IP アドレス	6	5	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
36	axsOspfIfAuthFailure	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.21.839.2.2.1.14.16.2	特定の IP アドレス	6	6	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
37	axsOspfVirtIfAuthFailure	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.21.839.2.2.1.14.16.2	特定の IP アドレス	6	7	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
38	axsOspfIfStateChange	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.21.839.2.2.1.14.16.2	特定の IP アドレス	6	16	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfIfState

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
39	axsStaticGatewayStateChange	axsStaticTrap のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsStaticGatewayAddr axsStaticGatewayState
40	axsStaticIpv6GatewayStateChange	axsStaticTrap のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	axsStaticIpv6Ifindex axsStaticIpv6GatewayAddr axsStaticIpv6GatewayState
41	axsPolicyBaseRoutingRouteChange	axsPolicyBaseRouting のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.1	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsPolicyBaseRoutingChangeListNumber axsPolicyBaseRoutingChangeSequenceNumber
42	axsPolicyBaseSwitchingRouteChange	axsPolicyBaseSwitching のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsPolicyBaseSwitchingChangeListNumber axsPolicyBaseSwitchingChangeSequenceNumber
43	axsTrackObjectStateUp	axsTrackObjectTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsTrackObjectId axsTrackObjectState axsTrackObjectOperation axsTrackObjectType axsTrackObjectNetIndex
44	axsTrackObjectStateDown	axsTrackObjectTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	axsTrackObjectId axsTrackObjectState axsTrackObjectOperation axsTrackObjectType axsTrackObjectNetIndex
45	ax6600sAirFanStopTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	8	sysUpTime の値	なし
46	ax6600sPowerSupplyFailureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	9	sysUpTime の値	なし
47	ax6600sLoginSuccessTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	10	sysUpTime の値	axsLoginName, axsLoginTime, axsLoginLocation, axsLoginLine

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
48	ax6600sLoginFailureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	11	sysUpTime の値	axsLoginName, axsLoginFailureTime , axsLoginLocation, axsLoginLine
49	ax6600sLogoutTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	12	sysUpTime の値	axsLoginName, axsLoginTime, axsLogoutTime, axsLoginLocation, axsLoginLine, axsLogoutStatus
50	ax6600sMemoryUsageTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	13	sysUpTime の値	なし
51	axsOadpNeighborCacheLastChangeTrap	axsOadpMIB Notifications のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.21 839.2.2.1.7.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsOadpNeighborCacheLastChange
52	ax6600sFrameErrorReceiveTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	18	sysUpTime の値	ifIndex
53	ax6600sFrameErrorSendTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	19	sysUpTime の値	ifIndex
54	ax6600sEfmoamUlldPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	29	sysUpTime の値	ifIndex
55	ax6600sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	30	sysUpTime の値	ifIndex
56	ax6600sStormDetectTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	31	sysUpTime の値	ifIndex
57	ax6600sStormPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	32	sysUpTime の値	ifIndex
58	ax6600sStormRecoverTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	33	sysUpTime の値	ifIndex
59	ax6600sPowerControlModeChangeStartTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21 839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	85	sysUpTime の値	ax6600sChassisIndex

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
60	ax6600sPowerControlModeChangeCompleteTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	86	sysUpTime の値	ax6600sChassisIndex
61	ax6600sStandbyNifUpTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	90	sysUpTime の値	ax6600sChassisIndex ax6600sNifBoardSlotIndex
62	ax6600sStandbyNifDownTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12	特定の IP アドレス	6	91	sysUpTime の値	ax6600sChassisIndex ax6600sNifBoardSlotIndex

注 次に示す優先順位で agent-addr が設定されます。

1. コンフィグレーションコマンド snmp-server traps agent-address で設定された IPv4 アドレス。
2. ループバックインタフェースに設定された IPv4 アドレス。
3. IPv4 アドレスが設定されているインタフェースで、最若番の ifIndex 番号を持つインタフェースの IPv4 アドレス。ただし、対象となるインタフェースはマネージメントポートおよび VLAN です。
4. 1 ~ 3 のどれも設定されていない場合、「0.0.0.0」が設定されます。

表 4-5 Trap-PDU , InformRequest-PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv2C/SNMPv3 の場合)

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
1	coldStart	sysUpTime の値	coldStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.1)	なし
2	warmStart	sysUpTime の値	warmStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.2)	なし
3	linkDown	sysUpTime の値	linkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.3)	ifIndex ifAdminStatus ifOperStatus ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、以下の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
4	linkUp	sysUpTime の値	linkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.4)	ifIndex ifAdminStatus ifOperStatus ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、以下の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType
5	authentication Failure	sysUpTime の値	authentication Failure のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.5)	なし
6	bgpEstablished 【OP-BGP】	sysUpTime の値	bgpEstablished のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.15.7.1)	bgpPeerLastError, bgpPeerState
7	bgpBackwardTransition 【OP-BGP】	sysUpTime の値	bgpBackwardTransition のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.15.7.2)	bgpPeerLastError, bgpPeerState
8	risingAlarm	sysUpTime の値	risingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.1)	alarmIndex,alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmRisingThreshold
9	fallingAlarm	sysUpTime の値	fallingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.2)	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold
10	vrrpTrapNewMaster	sysUpTime の値	vrrpTrapNewMaster のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.1)	vrrpOperationsMasterIpAddr vrrpTrapNewMasterReason
11	vrrpTrapAuthFailure	sysUpTime の値	vrrpTrapAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.2)	vrrpTrapPacketSrc vrrpTrapAuthErrorType
12	vrrpTrapProtoError	sysUpTime の値	vrrpTrapProtoError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.3)	vrrpTrapProtoErrReason
13	ospfVirtIfStateChange	sysUpTime の値	ospfVirtIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.1)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfVirtIfState
14	ospfNbrStateChange	sysUpTime の値	ospfNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.2)	ospfRouterId, ospfNbrIpAddr, ospfNbrAddressLessIndex, ospfNbrRtrId, ospfNbrState
15	ospfVirtNbrStateChange	sysUpTime の値	ospfVirtNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.3)	ospfRouterId, ospfVirtNbrArea, ospfVirtNbrRtrId, ospfVirtNbrState

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
16	ospfIfConfigError	sysUpTime の値	ospfIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.4)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
17	ospfVirtIfConfigError	sysUpTime の値	ospfVirtIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.5)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
18	ospfIfAuthFailure	sysUpTime の値	ospfIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.6)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
19	ospfVirtIfAuthFailure	sysUpTime の値	ospfVirtIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.7)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
20	ospfIfStateChange	sysUpTime の値	ospfIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.16)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfIfState
21	dot1agCfmFaultAlarm	sysUpTime の値	dot1agCfmFaultAlarm のオブジェクト ID (1.3.111.2.802.1.1.8.0.1)	dot1agCfmMdIndex dot1agCfmMaIndex dot1agCfmMepIdentifier
22	ax6600sSystemMsgTrap	sysUpTime の値	ax6600sSystemMsgTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.1)	ax6600sSystemMsgType ax6600sSystemMsgTimeStamp ax6600sSystemMsgLevel ax6600sSystemMsgEventPoint ax6600sSystemMsgEventInterfaceID ax6600sSystemMsgEventCode ax6600sSystemMsgAdditionalCode ax6600sSystemMsgText
23	ax6600sStandbySystemUpTrap	sysUpTime の値	ax6600sStandbySystemUpTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.2)	ax6600sChassisIndex ax6600sCsuBoardIndex
24	ax6600sStandbySystemDownTrap	sysUpTime の値	ax6600sStandbySystemDownTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.3)	ax6600sChassisIndex ax6600sCsuBoardIndex
25	ax6600sTemperatureTrap	sysUpTime の値	ax6600sTemperatureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.4)	ax6600sChassisIndex ax6600sCsuBoardIndex ax6600sTemperatureStatusIndex ax6600sTemperatureStatusDescr ax6600sTemperatureStatusValue ax6600sTemperatureState
26	ax6600sAxrpStateTransitionTrap	sysUpTime の値	ax6600sAxrpStateTransitionTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.36)	axsAxrpGroupRingId axsAxrpGroupMode axsAxrpGroupRingAttribute axsAxrpGroupMonitoringState

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
27	ax6600sGsrpStateTransitionTrap	sysUpTime の値	ax6600sGsrpStateTransitionTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.6)	axsGsrpGroupId axsGsrpVlanGroupId axsGsrpState
28	ax6600sL2ldLinkDown	sysUpTime の値	ax6600sL2ldLinkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.51)	axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSourcePortIfindex axsL2ldPortDestinationPortIfindex axsL2ldPortSourceVlan
29	ax6600sL2ldLinkUp	sysUpTime の値	ax6600sL2ldLinkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.52)	axsL2ldPortIfIndex
30	ax6600sL2ldLoopDetection	sysUpTime の値	ax6600sL2ldLoopDetection のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.53)	axsL2ldPortIndex axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSourcePortIfindex axsL2ldPortSourceVlan
31	axsOspfVirtIfStateChange	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.1)	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfVirtIfState
32	axsOspfNbrStateChange	sysUpTime の値	axsOspfNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.2)	axsOspfNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfNbrIpAddress, axsOspfNbrAddressLessIndex, axsOspfNbrRtrId, axsOspfNbrState
33	axsOspfVirtNbrStateChange	sysUpTime の値	axsOspfVirtNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.3)	axsOspfVirtNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtNbrArea, axsOspfVirtNbrRtrId, axsOspfVirtNbrState
34	axsOspfIfConfigError	sysUpTime の値	axsOspfIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.4)	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
35	axsOspfVirtIfConfigError	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.5)	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
36	axsOspfIfAuthFailure	sysUpTime の値	axsOspfIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.6)	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
37	axsOspfVirtIfAuthFailure	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.7)	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
38	axsOspfIfStateChange	sysUpTime の値	axsOspfIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.16)	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfIfState
39	axsStaticGatewayStateChange	sysUpTime の値	axsStaticGatewayStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.2.0.1)	axsStaticGatewayAddr axsStaticGatewayState
40	axsStaticIpv6GatewayStateChange	sysUpTime の値	axsStaticIpv6GatewayStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.2.0.2)	axsStaticIpv6Ifindex axsStaticIpv6GatewayAddr axsStaticIpv6GatewayState
41	axsPolicyBaseRoutingRouteChange	sysUpTime の値	axsPolicyBaseRoutingRouteChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.1.0.1)	axsPolicyBaseRoutingChangeListNumber axsPolicyBaseRoutingChangeSequenceNumber
42	axsPolicyBaseSwitchingRouteChange	sysUpTime の値	axsPolicyBaseSwitchingRouteChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.2.0.1)	axsPolicyBaseSwitchingChangeListNumber axsPolicyBaseSwitchingChangeSequenceNumber
43	axsTrackObjectStateUp	sysUpTime の値	axsTrackObjectStateUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.2.0.1)	axsTrackObjectId axsTrackObjectState axsTrackObjectOperation axsTrackObjectType axsTrackObjectNetIndex
44	axsTrackObjectStateDown	sysUpTime の値	axsTrackObjectStateDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.2.0.2)	axsTrackObjectId axsTrackObjectState axsTrackObjectOperation axsTrackObjectType axsTrackObjectNetIndex
45	ax6600sAirFanStopTrap	sysUpTime の値	ax6600sAirFanStopTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.8)	なし
46	ax6600sPowerSupplyFailureTrap	sysUpTime の値	ax6600sPowerSupplyFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.9)	なし
47	ax6600sLoginSuccessTrap	sysUpTime の値	ax6600sLoginSuccessTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.10)	axsLoginName, axsLoginTime, axsLoginLocation, axsLoginLine

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
48	ax6600sLoginFailureTrap	sysUpTime の値	ax6600sLoginFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.11)	axsLoginName, axsLoginFailureTime, axsLoginLocation, axsLoginLine
49	ax6600sLogoutTrap	sysUpTime の値	ax6600sLogoutTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.12)	axsLoginName, axsLoginTime, axsLogoutTime, axsLoginLocation, axsLoginLine, axsLogoutStatus
50	ax6600sMemoryUsageTrap	sysUpTime の値	ax6600sMemoryUsageTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.13)	なし
51	axsOadpNeighborCacheLastChangeTrap	sysUpTime の値	axsOadpNeighborCacheLastChangeTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.2.0.1)	axsOadpNeighborCacheLastChange
52	ax6600sFrameErrorReceiveTrap	sysUpTime の値	ax6600sFrameErrorReceiveTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.18)	ifIndex
53	ax6600sFrameErrorSendTrap	sysUpTime の値	ax6600sFrameErrorSendTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.19)	ifIndex
54	ax6600sEfmoamUlldPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax6600sEfmoamUlldPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.29)	ifIndex
55	ax6600sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax6600sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.30)	ifIndex
56	ax6600sStormDetectTrap	sysUpTime の値	ax6600sStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.31)	ifIndex
57	ax6600sStormPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax6600sStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.32)	ifIndex
58	ax6600sStormRecoverTrap	sysUpTime の値	ax6600sStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.33)	ifIndex

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
59	ax6600sPowerControlModeChangeStartTrap	sysUpTime の値	ax6600sPowerControlModeChangeStartTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.85)	ax6600sChassisIndex
60	ax6600sPowerControlModeChangeCompleteTrap	sysUpTime の値	ax6600sPowerControlModeChangeCompleteTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.86)	ax6600sChassisIndex
61	ax6600sStandbyNifUpTrap	sysUpTime の値	ax6600sStandbyNifUpTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.90)	ax6600sChassisIndex ax6600sNifBoardSlotIndex
62	ax6600sStandbyNifDownTrap	sysUpTime の値	ax6600sStandbyNifDownTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.12.0.91)	ax6600sChassisIndex ax6600sNifBoardSlotIndex

4.4 サポートトラップおよびインフォーム-PDU 内パラメータ【AX6300S】

Trap-PDU , InformRequest-PDU (SNMPv2C/SNMPv3) 内パラメータについて , SNMPv1 の場合を「表 4-6 Trap-PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv1 の場合)」に , SNMPv2C/SNMPv3 の場合を「表 4-7 Trap-PDU , InformRequest-PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv2C/SNMPv3 の場合)」に示します。

表 4-6 Trap-PDU 内パラメーター一覧 (SNMPv1 の場合)

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
1	coldStart	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	0	0	sysUpTime の値	なし
2	warmStart	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	1	0	sysUpTime の値	なし
3	linkDown	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	2	0	sysUpTime の値	ifIndex ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、以下の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType
4	linkUp	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	3	0	sysUpTime の値	ifIndex ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、以下の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType
5	authentication Failure	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	4	0	sysUpTime の値	なし
6	bgpEstablished 【OP-BGP】	bgpTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.5.7	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	bgpPeerLastError, bgpPeerState

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
7	bgpBackwardTransition 【OP-BGP】	bgpTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.5.7	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	bgpPeerLastError, bgpPeerState
8	risingAlarm	rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.6	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmRisingThreshold
9	fallingAlarm	rmon のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.6	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold
10	vrrpTrapNewMaster	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6.8	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	vrrpOperationsMasterIpAddress, vrrpTrapNewMasterReason
11	vrrpTrapAuthFailure	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6.8	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	vrrpTrapPacketSrc, vrrpTrapAuthErrorType
12	vrrpTrapProtoError	vrrpMIB のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.6.8	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	vrrpTrapProtoErrorReason
13	ospfVirtIfStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfVirtIfState
14	ospfNbrStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfNbrIpAddress, ospfNbrAddressLessIndex, ospfNbrRtrId, ospfNbrState
15	ospfVirtNbrStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtNbrArea, ospfVirtNbrRtrId, ospfVirtNbrState

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
16	ospfIfConfigError	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス	6	4	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType , ospfPacketType
17	ospfVirtIfConfigError	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス	6	5	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType , ospfPacketType
18	ospfIfAuthFailure	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス	6	6	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType , ospfPacketType
19	ospfVirtIfAuthFailure	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス	6	7	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType , ospfPacketType
20	ospfIfStateChange	ospfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.2.1.1 4.16.2	特定の IP アドレス	6	16	sysUpTime の値	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfIfState
21	dot1agCfmFaultAlarm	ieee8021CfmMib のオブジェクト ID 1.3.111.2.80 2.1.1.8	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	dot1agCfmMdIndex dot1agCfmMaIndex dot1agCfmMepIdentifier
22	ax6300sSystemMsgTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	ax6300sSystemMsgType ax6300sSystemMsgTimeStamp ax6300sSystemMsgLevel ax6300sSystemMsgEventPoint ax6300sSystemMsgEventInterfaceID ax6300sSystemMsgEventCode ax6300sSystemMsgAdditionalCode ax6300sSystemMsgText
23	ax6300sStandbySystemUpTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2 1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	ax6300sChassisIndex ax6300sMsbBoardIndex

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
24	ax6300sStandbySystemDownTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	ax6300sChassisIndex ax6300sMsuBoardIndex
25	ax6300sTemperatureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	4	sysUpTime の値	ax6300sChassisIndex ax6300sMsuBoardIndex ax6300sTemperatureStatusIndex ax6300sTemperatureStatusDescr ax6300sTemperatureStatusValue ax6300sTemperatureState
26	ax6300sAxrpsStateTransitionTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	36	sysUpTime の値	axsAxrpsGroupRingId axsAxrpsGroupMode axsAxrpsGroupRingAttribute axsAxrpsGroupMonitoringState
27	ax6300sGsrpsStateTransitionTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	6	sysUpTime の値	axsGsrpsGroupId axsGsrpsVlanGroupId axsGsrpsState
28	ax6300sL2ldLinkDown	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	51	sysUpTime の値	axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSourcePortIfIndex axsL2ldPortDestinationPortIfIndex axsL2ldPortSourceVlan
29	ax6300sL2ldLinkUp	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	52	sysUpTime の値	axsL2ldPortIfIndex
30	ax6300sL2ldLoopDetection	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	53	sysUpTime の値	axsL2ldPortIndex axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSourcePortIfIndex axsL2ldPortSourceVlan
31	axsOspfVirtIfStateChange	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfVirtIfState

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
32	axsOspfNbrStateChange	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	axsOspfNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfNbrIpAddress, axsOspfNbrAddressLessIndex, axsOspfNbrRtrId, axsOspfNbrState
33	axsOspfVirtNbrStateChange	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	3	sysUpTime の値	axsOspfVirtNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtNbrArea', axsOspfVirtNbrRtrId, axsOspfVirtNbrState
34	axsOspfIfConfigError	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	4	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
35	axsOspfVirtIfConfigError	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	5	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId', axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
36	axsOspfIfAuthFailure	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	6	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
37	axsOspfVirtIfAuthFailure	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	7	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId', axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
38	axsOspfIfStateChange	axsOspfTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.1.4.16.2	特定の IP アドレス	6	16	sysUpTime の値	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfIfState
39	axsStaticGatewayStateChange	axsStaticTrap のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.3.8.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsStaticGatewayAddr axsStaticGatewayState
40	axsStaticIpv6GatewayStateChange	axsStaticTrap のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.3.8.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	axsStaticIpv6Ifindex axsStaticIpv6GatewayAddr axsStaticIpv6GatewayState
41	axsPolicyBaseRoutingRouteChange	axsPolicyBaseRouting のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.4.5.1	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsPolicyBaseRoutingChangeListNumber axsPolicyBaseRoutingChangeSequenceNumber
42	axsPolicyBaseSwitchingRouteChange	axsPolicyBaseSwitching のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.4.5.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsPolicyBaseSwitchingChangeListNumber axsPolicyBaseSwitchingChangeSequenceNumber
43	axsTrackObjectStateUp	axsTrackObjectTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.4.1.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsTrackObjectId axsTrackObjectState axsTrackObjectOperation axsTrackObjectType axsTrackObjectNetIndex
44	axsTrackObjectStateDown	axsTrackObjectTraps のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.4.1.2	特定の IP アドレス	6	2	sysUpTime の値	axsTrackObjectId axsTrackObjectState axsTrackObjectOperation axsTrackObjectType axsTrackObjectNetIndex
45	ax6300sAirFanStopTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	8	sysUpTime の値	なし
46	ax6300sPowerSupplyFailureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	9	sysUpTime の値	なし

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU データ値					
		enterprise	agentaddr	generic-trap	specific-trap	time-stamp	variable-bindings
47	ax6300sLoginSuccessTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	10	sysUpTime の値	axsLoginName, axsLoginTime, axsLoginLocation, axsLoginLine
48	ax6300sLoginFailureTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	11	sysUpTime の値	axsLoginName, axsLoginFailureTime, axsLoginLocation, axsLoginLine
49	ax6300sLogoutTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	12	sysUpTime の値	axsLoginName, axsLoginTime, axsLogoutTime, axsLoginLocation, axsLoginLine, axsLogoutStatus
50	ax6300sMemoryUsageTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	13	sysUpTime の値	なし
51	axsOadpNeighborCacheLastChangeTrap	axsOadpMIBNotifications のオブジェクト ID 1.3.6.1.4.1.2.1839.2.2.1.7.2	特定の IP アドレス	6	1	sysUpTime の値	axsOadpNeighborCacheLastChange
52	ax6300sFrameErrorReceiveTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	18	sysUpTime の値	ifIndex
53	ax6300sFrameErrorSendTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	19	sysUpTime の値	ifIndex
54	ax6300sEfmoamUldPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	29	sysUpTime の値	ifIndex
55	ax6300sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	30	sysUpTime の値	ifIndex
56	ax6300sStormDetectTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	31	sysUpTime の値	ifIndex
57	ax6300sStormPortInactivateTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	32	sysUpTime の値	ifIndex
58	ax6300sStormRecoverTrap	本装置の sysObjectID 1.3.6.1.4.1.2.1839.1.2.8	特定の IP アドレス	6	33	sysUpTime の値	ifIndex

注 次に示す優先順位で agent-addr が設定されます。

1. コンフィグレーションコマンド snmp-server traps agent-address で設定された IPv4 アドレス。
2. ループバックインタフェースに設定された IPv4 アドレス。
3. IPv4 アドレスが設定されているインタフェースで、最若番の ifIndex 番号を持つインタフェースの IPv4 アドレス。ただし、対象となるインタフェースはマネージメントポートおよび VLAN です。
4. 1 ~ 3 のどれも設定されていない場合、「0.0.0.0」が設定されます。

表 4-7 Trap-PDU , InformRequest-PDU 内パラメータ一覧 (SNMPv2C/SNMPv3 の場合)

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
1	coldStart	sysUpTime の値	coldStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.1)	なし
2	warmStart	sysUpTime の値	warmStart のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.2)	なし
3	linkDown	sysUpTime の値	linkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.3)	ifIndex ifAdminStatus ifOperStatus ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、以下の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType
4	linkUp	sysUpTime の値	linkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.4)	ifIndex ifAdminStatus ifOperStatus ただし、コンフィグレーションコマンドの snmp-server traps で link_trap_bind_info のパラメータに private を設定した場合は、以下の MIB になります。 ifIndex, ifDescr, ifType
5	authentication Failure	sysUpTime の値	authentication Failure のオブジェクト ID (1.3.6.1.6.3.1.1.5.5)	なし
6	bgpEstablished 【OP-BGP】	sysUpTime の値	bgpEstablished のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.15.7.1)	bgpPeerLastError, bgpPeerState
7	bgpBackwardTransition 【OP-BGP】	sysUpTime の値	bgpBackwardTransition のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.15.7.2)	bgpPeerLastError, bgpPeerState
8	risingAlarm	sysUpTime の値	risingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.1)	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmRisingThreshold

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
9	fallingAlarm	sysUpTime の値	fallingAlarm のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.16.0.2)	alarmIndex, alarmVariable, alarmSampleType, alarmValue, alarmFallingThreshold
10	vrrpTrapNewMaster	sysUpTime の値	vrrpTrapNewMaster のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.1)	vrrpOperationsMasterIpAddress vrrpTrapNewMasterReason
11	vrrpTrapAuthFailure	sysUpTime の値	vrrpTrapAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.2)	vrrpTrapPacketSrc vrrpTrapAuthErrorType
12	vrrpTrapProtoError	sysUpTime の値	vrrpTrapProtoError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.68.0.3)	vrrpTrapProtoErrReason
13	ospfVirtIfStateChange	sysUpTime の値	ospfVirtIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.1)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfVirtIfState
14	ospfNbrStateChange	sysUpTime の値	ospfNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.2)	ospfRouterId, ospfNbrIpAddress, ospfNbrAddressLessIndex, ospfNbrRtrId, ospfNbrState
15	ospfVirtNbrStateChange	sysUpTime の値	ospfVirtNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.3)	ospfRouterId, ospfVirtNbrArea, ospfVirtNbrRtrId, ospfVirtNbrState
16	ospfIfConfigError	sysUpTime の値	ospfIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.4)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
17	ospfVirtIfConfigError	sysUpTime の値	ospfVirtIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.5)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
18	ospfIfAuthFailure	sysUpTime の値	ospfIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.6)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfPacketSrc, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
19	ospfVirtIfAuthFailure	sysUpTime の値	ospfVirtIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.7)	ospfRouterId, ospfVirtIfAreaId, ospfVirtIfNeighbor, ospfConfigErrorType, ospfPacketType
20	ospfIfStateChange	sysUpTime の値	ospfIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.2.1.14.16.2.16)	ospfRouterId, ospfIfIpAddress, ospfAddressLessIf, ospfIfState

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
21	dot1agCfmFaultAlarm	sysUpTime の値	dot1agCfmFaultAlarm のオブジェクト ID (1.3.111.2.802.1.1.8.0.1)	dot1agCfmMdIndex dot1agCfmMaIndex dot1agCfmMepIdentifier
22	ax6300sSystemMsgTrap	sysUpTime の値	ax6300sSystemMsgTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.1)	ax6300sSystemMsgType ax6300sSystemMsgTimeStamp ax6300sSystemMsgLevel ax6300sSystemMsgEventPoint ax6300sSystemMsgEventInterfaceID ax6300sSystemMsgEventCode ax6300sSystemMsgAdditionalCode ax6300sSystemMsgText
23	ax6300sStandbySystemUpTrap	sysUpTime の値	ax6300sStandbySystemUpTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.2)	ax6300sChassisIndex ax6300sMsuBoardIndex
24	ax6300sStandbySystemDownTrap	sysUpTime の値	ax6300sStandbySystemDownTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.3)	ax6300sChassisIndex ax6300sMsuBoardIndex
25	ax6300sTemperatureTrap	sysUpTime の値	ax6300sTemperatureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.4)	ax6300sChassisIndex ax6300sMsuBoardIndex ax6300sTemperatureStatusIndex ax6300sTemperatureStatusDescr ax6300sTemperatureStatusValue ax6300sTemperatureState
26	ax6300sAxpStateTransitionTrap	sysUpTime の値	ax6300sAxpStateTransitionTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.36)	axsAxpGroupRingId axsAxpGroupMode axsAxpGroupRingAttribute axsAxpGroupMonitoringState
27	ax6300sGsrpStateTransitionTrap	sysUpTime の値	ax6300sGsrpStateTransitionTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.6)	axsGsrpGroupId axsGsrpVlanGroupId axsGsrpState
28	ax6300sL2ldLinkDown	sysUpTime の値	ax6300sL2ldLinkDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.51)	axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSourcePortIfindex axsL2ldPortDestinationPortIfindex axsL2ldPortSourceVlan
29	ax6300sL2ldLinkUp	sysUpTime の値	ax6300sL2ldLinkUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.52)	axsL2ldPortIfIndex
30	ax6300sL2ldLoopDetection	sysUpTime の値	ax6300sL2ldLoopDetection のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.53)	axsL2ldPortIndex axsL2ldPortIfIndex axsL2ldPortSourcePortIfindex axsL2ldPortSourceVlan
31	axsOspfVirtIfStateChange	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.1)	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfVirtIfState

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
32	axsOspfNbrStateChange	sysUpTime の値	axsOspfNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.2)	axsOspfNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfNbrIpAddress, axsOspfNbrAddressLessIndex, axsOspfNbrRtrId, axsOspfNbrState
33	axsOspfVirtNbrStateChange	sysUpTime の値	axsOspfVirtNbrStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.3)	axsOspfVirtNbrDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtNbrArea, axsOspfVirtNbrRtrId, axsOspfVirtNbrState
34	axsOspfIfConfigError	sysUpTime の値	axsOspfIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.4)	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
35	axsOspfVirtIfConfigError	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfConfigError のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.5)	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
36	axsOspfIfAuthFailure	sysUpTime の値	axsOspfIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.6)	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfPacketSrc, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
37	axsOspfVirtIfAuthFailure	sysUpTime の値	axsOspfVirtIfAuthFailure のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.7)	axsOspfVirtIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfVirtIfAreaId, axsOspfVirtIfNeighbor, axsOspfConfigErrorType, axsOspfPacketType
38	axsOspfIfStateChange	sysUpTime の値	axsOspfIfStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2.0.16)	axsOspfIfDomainNumber, axsOspfRouterId, axsOspfIfIpAddress, axsOspfAddressLessIf, axsOspfIfState
39	axsStaticGatewayStateChange	sysUpTime の値	axsStaticGatewayStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.2.0.1)	axsStaticGatewayAddr axsStaticGatewayState
40	axsStaticIpv6GatewayStateChange	sysUpTime の値	axsStaticIpv6GatewayStateChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.2.0.2)	axsStaticIpv6Ifindex axsStaticIpv6GatewayAddr axsStaticIpv6GatewayState

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
41	axsPolicyBaseRoutingRouteChange	sysUpTime の値	axsPolicyBaseRoutingRouteChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.1.0.1)	axsPolicyBaseRoutingChangeListNumber axsPolicyBaseRoutingChangeSequenceNumber
42	axsPolicyBaseSwitchingRouteChange	sysUpTime の値	axsPolicyBaseSwitchingRouteChange のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.2.0.1)	axsPolicyBaseSwitchingChangeListNumber axsPolicyBaseSwitchingChangeSequenceNumber
43	axsTrackObjectStateUp	sysUpTime の値	axsTrackObjectStateUp のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.2.0.1)	axsTrackObjectId axsTrackObjectState axsTrackObjectOperation axsTrackObjectType axsTrackObjectNetIndex
44	axsTrackObjectStateDown	sysUpTime の値	axsTrackObjectStateDown のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.2.0.2)	axsTrackObjectId axsTrackObjectState axsTrackObjectOperation axsTrackObjectType axsTrackObjectNetIndex
45	ax6300sAirFanStopTrap	sysUpTime の値	ax6300sAirFanStopTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.8)	なし
46	ax6300sPowerSupplyFailureTrap	sysUpTime の値	ax6300sPowerSupplyFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.9)	なし
47	ax6300sLoginSuccessTrap	sysUpTime の値	ax6300sLoginSuccessTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.10)	axsLoginName, axsLoginTime, axsLoginLocation, axsLoginLine
48	ax6300sLoginFailureTrap	sysUpTime の値	ax6300sLoginFailureTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.11)	axsLoginName, axsLoginFailureTime, axsLoginLocation, axsLoginLine
49	ax6300sLogoutTrap	sysUpTime の値	ax6300sLogoutTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.12)	axsLoginName, axsLoginTime, axsLogoutTime, axsLoginLocation, axsLoginLine, axsLogoutStatus
50	ax6300sMemoryUsageTrap	sysUpTime の値	ax6300sMemoryUsageTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.13)	なし
51	axsOadpNeighborCachelastChangeTrap	sysUpTime の値	axsOadpNeighborCachelastChangeTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.2.0.1)	axsOadpNeighborCacheLastChange

4. サポート MIB トラップ

項番	種類	Trap-PDU , InformRequest-PDU データ値		
		Variable-Binding [1](SysUpTime.0)	Variable-Binding [2](SnmpTrapOID.0)	Variable-Binding [3 ~]
52	ax6300sFrameErrorReceiveTrap	sysUpTime の値	ax6300sFrameErrorReceiveTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.18)	ifIndex
53	ax6300sFrameErrorSendTrap	sysUpTime の値	ax6300sFrameErrorSendTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.19)	ifIndex
54	ax6300sEfmoamUlldPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax6300sEfmoamUlldPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.29)	ifIndex
55	ax6300sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax6300sEfmoamLoopDetectPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.30)	ifIndex
56	ax6300sStormDetectTrap	sysUpTime の値	ax6300sStormDetectTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.31)	ifIndex
57	ax6300sStormPortInactivateTrap	sysUpTime の値	ax6300sStormPortInactivateTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.32)	ifIndex
58	ax6300sStormRecoverTrap	sysUpTime の値	ax6300sStormRecoverTrap のオブジェクト ID (1.3.6.1.4.1.21839.1.2.8.0.33)	ifIndex

付録

付録A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値

付録 A プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値

本装置で使用するプライベート MIB, HP プライベート MIB および InMon プライベート MIB について, MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

付録 A.1 プライベート MIB

プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

(1) axsStats グループ

axsStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-1 axsStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1
axsIfStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4
axsIfStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1
axsIfStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1
axsIfStatsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.1
axsIfStatsName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.2
axsIfStatsInMegaOctets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.3
axsIfStatsInUcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.4
axsIfStatsInMulticastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.5
axsIfStatsInBroadcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.6
axsIfStatsOutMegaOctets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.7
axsIfStatsOutUcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.8
axsIfStatsOutMulticastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.9
axsIfStatsOutBroadcastMegaPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.10
axsIfStatsHighSpeed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.4.1.1.11
axsQoS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6
axsEtherTxQoS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1
axsEtherTxQoSStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1
axsEtherTxQoSStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1
axsEtherTxQoSStatsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.1
axsEtherTxQoSStatsMaxQnum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.2
axsEtherTxQoSStatsLimitQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.3
axsEtherTxQoSStatsTotalOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.4
axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesHigh	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.5
axsEtherTxQoSStatsTotalOutBytesLow	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.6
axsEtherTxQoSStatsTotalDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.1.1.7
axsEtherTxQoSStatsQueueTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2
axsEtherTxQoSStatsQueueEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axsEtherTxQoSStatsQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.1
axsEtherTxQoSStatsQueueQueueIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.2
axsEtherTxQoSStatsQueueQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.3
axsEtherTxQoSStatsQueueMaxQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.4
axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass1	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.5
axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.6
axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass3	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.7
axsEtherTxQoSStatsQueueDiscardFramesClass4	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.1.2.1.8
axsShaperUser	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6
axsShaperPortBufTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.1
axsShaperPortBufEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.1.1
axsShaperPortNifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.1.1.1
axsShaperPortLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.1.1.2
axsShaperPortQosIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.1.1.3
axsShaperPortBuffer	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.1.1.4
axsShaperPortPeakBuffer	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.1.1.5
axsShaperPortLimitBuffer	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.1.1.6
axsShaperUserTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.3
axsShaperUserEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.3.1
axsShaperUserNifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.3.1.1
axsShaperUserLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.3.1.2
axsShaperUserGroupId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.3.1.3
axsShaperUserId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.3.1.4
axsShaperUserStatsTotalOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.3.1.5
axsShaperUserStatsTotalOutBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.3.1.6
axsShaperUserStatsTotalDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.3.1.7
axsShaperUserStatsTotalDiscardBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.3.1.8
axsShaperUserStatsQueueTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.4
axsShaperUserStatsQueueEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.4.1
axsShaperUserStatsQueueNifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.4.1.1
axsShaperUserStatsQueueLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.4.1.2
axsShaperUserStatsQueueGroupId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.4.1.3
axsShaperUserStatsQueueUserId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.4.1.4
axsShaperUserStatsQueueNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.4.1.5
axsShaperUserStatsQueueOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.4.1.6
axsShaperUserStatsQueueOutBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.4.1.7
axsShaperUserStatsQueueDiscardFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.4.1.8
axsShaperUserStatsQueueDiscardBytes	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.4.1.9
axsShaperUserStatsQueueQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.4.1.10
axsShaperUserStatsQueuePeakQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.4.1.11

MIB 名称	オブジェクト ID
axsShaperUserStatsQueueLimitQlen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.6.6.4.1.12
axsDHCP	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.10
axsDHCPAddrValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.10.1
axsDHCPFreeAddrValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.10.2
axsUrpf	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.13
axsUrpfIpv4DiscPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.13.1
axsUrpfIpv6DiscPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.13.2
axsUrpfIfStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.13.3
axsUrpfIfStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.13.5.1
axsUrpfIfStatsIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.13.5.1.1
axsUrpfIfStatsIpv4DiscPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.13.5.1.2
axsUrpfIfStatsIpv6DiscPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.1.13.5.1.3

(2) axsGsrpMIB グループ

axsGsrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-2 axsGsrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsGsrp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4
axsGsrpGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1
axsGsrpGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1
axsGsrpGroupId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.1
axsGsrpGroupRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.2
axsGsrpMacAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.3
axsGsrpAdvertiseHoldTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.4
axsGsrpAdvertiseInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.5
axsGsrpSelectionPattern	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.6
axsGsrpLayer3Redundancy	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.1.1.7
axsGsrpVlanGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2
axsGsrpVlanGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1
axsGsrpVlanGroupId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.1
axsGsrpVlanGroupRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.2
axsGsrpState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.3
axsGsrpPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.4
axsGsrpActivePorts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.5
axsGsrpTransitionToMasterCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.6
axsGsrpTransitionFromMasterCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.7
axsGsrpLastTransitionTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.8
axsGsrpVirtualMacAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.2.1.9
axsGsrpNeighborGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3

MIB 名称	オブジェクト ID
axsGsrpNeighborGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1
axsGsrpNeighborGroupId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1.1
axsGsrpNeighborMacAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1.2
axsGsrpNeighborAdvertiseHoldTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1.3
axsGsrpNeighborAdvertiseInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1.4
axsGsrpNeighborSelectionPattern	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.3.1.5
axsGsrpNeighborVlanGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4
axsGsrpNeighborVlanGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4.1
axsGsrpNeighborVlanGroupId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4.1.1
axsGsrpNeighborState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4.1.2
axsGsrpNeighborPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4.1.3
axsGsrpNeighborActivePorts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.4.4.1.4

(3) axsFdb グループ

axsFdb グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-3 axsFdb グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsFdb	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5
axsFdbCounterTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1
axsFdbCounterEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1
axsFdbCounterNifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.1
axsFdbCounterLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.2
axsFdbCounterCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.3
axsFdbCounterType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.4
axsFdbCounterLimits	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.5.1.1.5

(4) axsVlan グループ

axsVlan グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-4 axsVlan グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVlan	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6
axsVlanBridge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1
axsVlanBridgeBase	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1
axsVBBaseTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1
axsVBBaseEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1
axsVBBaseIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.1
axsVBBaseBridgeAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.2
axsVBBaseNumPorts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVBBaseType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.4
axsVBBaseVlanIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.5
axsVBBaseVlanType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.6
axsVBBaseVlanID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.7
axsVBBaseAssociatedPrimaryVlan	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.8
axsVBBaseIfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.9
axsVBBaseLastChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.10
axsVBBasePrivateVlanType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.1.1.11
axsVBBasePortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2
axsVBBasePortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1
axsVBBasePortIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.1
axsVBBasePort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.2
axsVBBasePortIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.3
axsVBBasePortCircuit	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.4
axsVBBasePortDelayExceededDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.5
axsVBBasePortMtuExceededDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.6
axsVBBasePortState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.7
axsVBBasePortTaggedState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.8
axsVBBasePortTranslatedTagID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.1.2.1.9
axsVlanBridgeStp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2
axsVBStpTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1
axsVBStpEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1
axsVBStpIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.1
axsVBStpProtocolSpecification	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.2
axsVBStpPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.3
axsVBStpTimeSinceTopologyChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.4
axsVBStpTopChanges	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.5
axsVBStpDesignatedRoot	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.6
axsVBStpRootCost	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.7
axsVBStpRootPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.8
axsVBStpMaxAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.9
axsVBStpHelloTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.10
axsVBStpHoldTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.11
axsVBStpForwardDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.12
axsVBStpBridgeMaxAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.13
axsVBStpBridgeHelloTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.14
axsVBStpBridgeForwardDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.1.1.15
axsVBStpPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2
axsVBStpPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1
axsVBStpPortIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVBStpPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.2
axsVBStpPortPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.3
axsVBStpPortState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.4
axsVBStpPortEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.5
axsVBStpPortPathCost	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.6
axsVBStpPortDesignatedRoot	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.7
axsVBStpPortDesignatedCost	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.8
axsVBStpPortDesignatedBridge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.9
axsVBStpPortDesignatedPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.10
axsVBStpPortForwardTransitions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.2.2.1.11
axsVlanBridgeTp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4
axsVBTPTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1
axsVBTPEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1
axsVBTPIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1.1
axsVBTPLearnedEntryDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1.2
axsVBTPAgingTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.1.1.3
axsVBTPFdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2
axsVBTPFdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1
axsVBTPFdbIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.1
axsVBTPFdbAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.2
axsVBTPFdbPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.3
axsVBTPFdbStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.2.1.4
axsVBTPPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3
axsVBTPPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1
axsVBTPPortIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.1
axsVBTPPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.2
axsVBTPPortMaxInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.3
axsVBTPPortInFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.4
axsVBTPPortOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.5
axsVBTPPortInDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.4.3.1.6
axsVlanBridgeStatic	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5
axsVBStaticTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1
axsVBStaticEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1
axsVBStaticIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.1
axsVBStaticAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.2
axsVBStaticReceivePort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.3
axsVBStaticAllowedToGoTo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.4
axsVBStaticStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.5.1.1.5
axsVlanBridgeMaxVlans	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.101
axsVlanBridgeMaxSpans	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.1.102

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVlanTagTranslation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10
axsVlanTagTranslationTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1
axsVlanTagTranslationEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1.1
axsVlanTagTranslationVlanId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1.1.1
axsVlanTagTranslationTranslatedId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1.1.2
axsVlanTagTranslationPorts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.6.10.1.1.3

(5) axsOadp グループ

axsOadp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-5 axsOadp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOadp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7
axsOadpMIBObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1
axsOadpGlobalInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1
axsOadpGlobalActive	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.1
axsOadpGlobalCdpActive	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.2
axsOadpGlobalMessageInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.3
axsOadpGlobalHoldTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.4
axsOadpGlobalCacheLastChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.5
axsOadpGlobalName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.6
axsOadpGlobalNameType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.1.7
axsOadpPortInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2
axsOadpPortConfigTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2.1
axsOadpPortConfigEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2.1.1
axsOadpPortConfigIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2.1.1.1
axsOadpPortConfigActive	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.2.1.1.2
axsOadpNeighborInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3
axsOadpNeighborTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1
axsOadpNeighborEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1
axsOadpIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.1
axsOadpTagID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.2
axsOadpNeighborIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.3
axsOadpNeighborTagID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.4
axsOadpNeighborVendorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.5
axsOadpNeighborSNMPAgentAddressType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.6
axsOadpNeighborSNMPAgentAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.7
axsOadpNeighborDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.8
axsOadpNeighborDeviceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.9
axsOadpNeighborSlotPort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.10

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOadpNeighborIffIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.11
axsOadpNeighborIffSpeed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.12
axsOadpNeighborDeviceType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.13
axsOadpNeighborService	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.14
axsOadpNeighborVTPMgmtDomain	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.15
axsOadpNeighborNativeVLAN	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.16
axsOadpNeighborDuplex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.17
axsOadpNeighborApplianceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.18
axsOadpNeighborVlanID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.19
axsOadpNeighborPowerConsumption	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.20
axsOadpNeighborMTU	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.21
axsOadpNeighborSysName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.22
axsOadpNeighborSysObjectID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.23
axsOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddressType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.24
axsOadpNeighborSecondarySNMPAgentAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.25
axsOadpNeighborPhysLocation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.26
axsOadpNeighborCacheLastChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.27
axsOadpNeighborIffHighSpeed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.1.3.1.1.28
axsOadpMIBNotification	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.7.2

(6) axsFlow グループ

axsFlow グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-6 axsFlow グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsAccessFilterStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9
axsAccessFilterStatsL2InTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.3
axsAccessFilterStatsL2InEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.3.1
axsAccessFilterStatsL2InifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.3.1.1
axsAccessFilterStatsL2InifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.3.1.2
axsAccessFilterStatsL2InListIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.3.1.3
axsAccessFilterStatsL2InSequenceNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.3.1.4
axsAccessFilterStatsL2InListName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.3.1.5
axsAccessFilterStatsL2InMatchedPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.3.1.6
axsAccessFilterStatsL2OutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.4
axsAccessFilterStatsL2OutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.4.1
axsAccessFilterStatsL2OutifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.4.1.1
axsAccessFilterStatsL2OutifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.4.1.2
axsAccessFilterStatsL2OutListIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.4.1.3
axsAccessFilterStatsL2OutSequenceNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.4.1.4

MIB 名称	オブジェクト ID
axsAccessFilterStatsL2OutListName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.4.1.5
axsAccessFilterStatsL2OutMatchedPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.4.1.6
axsAccessFilterStatsL3InTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.5
axsAccessFilterStatsL3InEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.5.1
axsAccessFilterStatsL3InifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.5.1.1
axsAccessFilterStatsL3InifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.5.1.2
axsAccessFilterStatsL3InListIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.5.1.3
axsAccessFilterStatsL3InSequenceNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.5.1.4
axsAccessFilterStatsL3InListName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.5.1.5
axsAccessFilterStatsL3InMatchedPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.5.1.6
axsAccessFilterStatsL3OutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.6
axsAccessFilterStatsL3OutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.6.1
axsAccessFilterStatsL3OutifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.6.1.1
axsAccessFilterStatsL3OutifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.6.1.2
axsAccessFilterStatsL3OutListIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.6.1.3
axsAccessFilterStatsL3OutSequenceNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.6.1.4
axsAccessFilterStatsL3OutListName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.6.1.5
axsAccessFilterStatsL3OutMatchedPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.6.1.6
axsAccessFilterStatsL2L3InTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.7
axsAccessFilterStatsL2L3InEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.7.1
axsAccessFilterStatsL2L3InifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.7.1.1
axsAccessFilterStatsL2L3InifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.7.1.2
axsAccessFilterStatsL2L3InListIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.7.1.3
axsAccessFilterStatsL2L3InSequenceNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.7.1.4
axsAccessFilterStatsL2L3InListName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.7.1.5
axsAccessFilterStatsL2L3InMatchedPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.7.1.6
axsAccessFilterStatsL2L3OutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.8
axsAccessFilterStatsL2L3OutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.8.1
axsAccessFilterStatsL2L3OutifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.8.1.1
axsAccessFilterStatsL2L3OutifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.8.1.2
axsAccessFilterStatsL2L3OutListIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.8.1.3
axsAccessFilterStatsL2L3OutSequenceNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.8.1.4
axsAccessFilterStatsL2L3OutListName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.8.1.5
axsAccessFilterStatsL2L3OutMatchedPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.9.8.1.6
axsQosFlowStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11
axsQosFlowStatsL2InTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.3
axsQosFlowStatsL2InEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.3.1
axsQosFlowStatsL2InifIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.3.1.1
axsQosFlowStatsL2InifIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.3.1.2
axsQosFlowStatsL2InListIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.3.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
axsQosFlowStatsL2InSequenceNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.3.1.4
axsQosFlowStatsL2InListName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.3.1.5
axsQosFlowStatsL2InMatchedPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.3.1.6
axsQosFlowStatsL2InMatchedPacketsMinUnder	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.3.1.7
axsQosFlowStatsL2InMatchedPacketsMinOver	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.3.1.8
axsQosFlowStatsL2InMatchedPacketsMaxUnder	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.3.1.9
axsQosFlowStatsL2InMatchedPacketsMaxOver	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.3.1.10
axsQosFlowStatsL2OutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.4
axsQosFlowStatsL2OutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.4.1
axsQosFlowStatsL2OutIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.4.1.1
axsQosFlowStatsL2OutIfIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.4.1.2
axsQosFlowStatsL2OutListIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.4.1.3
axsQosFlowStatsL2OutSequenceNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.4.1.4
axsQosFlowStatsL2OutListName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.4.1.5
axsQosFlowStatsL2OutMatchedPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.4.1.6
axsQosFlowStatsL2OutMatchedPacketsMinUnder	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.4.1.7
axsQosFlowStatsL2OutMatchedPacketsMinOver	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.4.1.8
axsQosFlowStatsL2OutMatchedPacketsMaxUnder	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.4.1.9
axsQosFlowStatsL2OutMatchedPacketsMaxOver	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.4.1.10
axsQosFlowStatsL3InTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.5
axsQosFlowStatsL3InEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.5.1
axsQosFlowStatsL3InIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.5.1.1
axsQosFlowStatsL3InIfIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.5.1.2
axsQosFlowStatsL3InListIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.5.1.3
axsQosFlowStatsL3InSequenceNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.5.1.4
axsQosFlowStatsL3InListName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.5.1.5
axsQosFlowStatsL3InMatchedPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.5.1.6
axsQosFlowStatsL3InMatchedPacketsMinUnder	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.5.1.7
axsQosFlowStatsL3InMatchedPacketsMinOver	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.5.1.8
axsQosFlowStatsL3InMatchedPacketsMaxUnder	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.5.1.9
axsQosFlowStatsL3InMatchedPacketsMaxOver	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.5.1.10
axsQosFlowStatsL3OutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.6
axsQosFlowStatsL3OutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.6.1
axsQosFlowStatsL3OutIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.6.1.1
axsQosFlowStatsL3OutIfIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.6.1.2
axsQosFlowStatsL3OutListIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.6.1.3
axsQosFlowStatsL3OutSequenceNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.6.1.4
axsQosFlowStatsL3OutListName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.6.1.5
axsQosFlowStatsL3OutMatchedPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.6.1.6
axsQosFlowStatsL3OutMatchedPacketsMinUnder	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.6.1.7

MIB 名称	オブジェクト ID
axsQosFlowStatsL3OutMatchedPacketsMinOver	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.6.1.8
axsQosFlowStatsL3OutMatchedPacketsMaxUnder	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.6.1.9
axsQosFlowStatsL3OutMatchedPacketsMaxOver	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.6.1.10
axsQosFlowStatsL2L3InTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.7
axsQosFlowStatsL2L3InEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.7.1
axsQosFlowStatsL2L3InIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.7.1.1
axsQosFlowStatsL2L3InIfIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.7.1.2
axsQosFlowStatsL2L3InListIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.7.1.3
axsQosFlowStatsL2L3InSequenceNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.7.1.4
axsQosFlowStatsL2L3InListName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.7.1.5
axsQosFlowStatsL2L3InMatchedPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.7.1.6
axsQosFlowStatsL2L3InMatchedPacketsMinUnder	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.7.1.7
axsQosFlowStatsL2L3InMatchedPacketsMinOver	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.7.1.8
axsQosFlowStatsL2L3InMatchedPacketsMaxUnder	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.7.1.9
axsQosFlowStatsL2L3InMatchedPacketsMaxOver	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.7.1.10
axsQosFlowStatsL2L3OutTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.8
axsQosFlowStatsL2L3OutEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.8.1
axsQosFlowStatsL2L3OutIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.8.1.1
axsQosFlowStatsL2L3OutIfIndexType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.8.1.2
axsQosFlowStatsL2L3OutListIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.8.1.3
axsQosFlowStatsL2L3OutSequenceNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.8.1.4
axsQosFlowStatsL2L3OutListName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.8.1.5
axsQosFlowStatsL2L3OutMatchedPackets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.8.1.6
axsQosFlowStatsL2L3OutMatchedPacketsMinUnder	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.8.1.7
axsQosFlowStatsL2L3OutMatchedPacketsMinOver	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.8.1.8
axsQosFlowStatsL2L3OutMatchedPacketsMaxUnder	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.8.1.9
axsQosFlowStatsL2L3OutMatchedPacketsMaxOver	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.8.11.8.1.10

(7) axsL2ld グループ

axsL2ld グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-7 axsL2ld グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsL2ld	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10
axsL2ldGlobalInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1
axsL2ldVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.1
axsL2ldLoopDetectionId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.2
axsL2ldIntervalTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.3
axsL2ldOutputRate	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.4
axsL2ldThreshold	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.5

MIB 名称	オブジェクト ID
axsL2ldHoldTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.6
axsL2ldAutoRestoreTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.7
axsL2ldConfigurationVlanPortCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.8
axsL2ldCapacityVlanPortCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.1.9
axsL2ldPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2
axsL2ldPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1
axsL2ldPortIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.1
axsL2ldPortIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.2
axsL2ldPortStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.3
axsL2ldPortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.4
axsL2ldPortDetectCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.5
axsL2ldPortAutoRestoringTimer	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.6
axsL2ldPortSourcePortIfindex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.7
axsL2ldPortDestinationPortIfindex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.8
axsL2ldPortSourceVlan	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.9
axsL2ldPortHCInFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.10
axsL2ldPortHCOutFrames	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.11
axsL2ldPortHCInDiscards	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.12
axsL2ldPortInactiveCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.13
axsL2ldPortLastInactiveTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.14
axsL2ldPortLastInFramesTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.10.2.1.15

(8) axsVrf グループ【OP-NPAR】

axsVrf グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-8 axsVrf グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVrf	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11
axsVrfIp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1
axsVrfIpAddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1.1
axsVrfIpAddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1.1.1
axsVrfIpAddrVrfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1.1.1.1
axsVrfIpAdEntAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1.1.1.2
axsVrfIpAdEntIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1.1.1.3
axsVrfIpAdEntNetMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1.1.1.4
axsVrfIpAdEntBcastAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1.1.1.5
axsVrfIpAdEntReasmMaxSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1.1.1.6
axsVrfIpAdEntDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1.1.1.7
axsVrfIpNetToMediaTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1.2
axsVrfIpNetToMediaEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1.2.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVrfIpNetMediaVrfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1.2.1.1
axsVrfIpNetToMediaIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1.2.1.2
axsVrfIpNetToMediaPhysAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1.2.1.3
axsVrfIpNetToMediaNetAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1.2.1.4
axsVrfIpNetToMediaType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1.2.1.5
axsVrfIpNetToMediaDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.1.2.1.6
axsVrfIpForward	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2
axsVrfIpFwNoTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.1
axsVrfIpFwNoEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.1.1
axsVrfIpFwNoVRFIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.1.1.1
axsVrfIpFwNo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.1.1.2
axsVrfIpFwNoDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.1.1.3
axsVrfIpFwTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2
axsVrfIpFwEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1
axsVrfIpFwVRFIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1.1
axsVrfIpFwDest	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1.2
axsVrfIpFwMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1.3
axsVrfIpFwPolicy	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1.4
axsVrfIpFwNextHop	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1.5
axsVrfIpFwIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1.6
axsVrfIpFwType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1.7
axsVrfIpFwProto	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1.8
axsVrfIpFwAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1.9
axsVrfIpFwInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1.10
axsVrfIpFwNextHopAS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1.11
axsVrfIpFwMetric1	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1.12
axsVrfIpFwMetric2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1.13
axsVrfIpFwMetric3	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1.14
axsVrfIpFwMetric4	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1.15
axsVrfIpFwMetric5	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1.16
axsVrfIpFwDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.2.2.1.17
axsVrfIpv6	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3
axsVrfIpv6AddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.1
axsVrfIpv6AddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.1.1
axsVrfIpv6AddrVrfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.1.1.1
axsVrfIpv6AddrIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.1.1.2
axsVrfIpv6AddrAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.1.1.3
axsVrfIpv6AddrPfxLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.1.1.4
axsVrfIpv6AddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.1.1.5
axsVrfIpv6AddrAnycastFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.1.1.6

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVrfIpv6AddrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.1.1.7
axsVrfIpv6AddrDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.1.1.8
axsVrfIpv6AddrPrefixTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.2
axsVrfIpv6AddrPrefixEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.2.1
axsVrfIpv6AddrPrefixVrfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.2.1.1
axsVrfIpv6AddrPrefixIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.2.1.2
axsVrfIpv6AddrPrefix	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.2.1.3
axsVrfIpv6AddrPrefixLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.2.1.4
axsVrfIpv6AddrPrefixOnLinkFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.2.1.5
axsVrfIpv6AddrPrefixAutonomousFlag	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.2.1.6
axsVrfIpv6AddrPrefixAdvPreferredLifetime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.2.1.7
axsVrfIpv6AddrPrefixAdvValidLifetime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.2.1.8
axsVrfIpv6NetToMediaTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.3
axsVrfIpv6NetToMediaEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.3.1
axsVrfIpv6NetToMediaVrfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.3.1.1
axsVrfIpv6NetToMediaIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.3.1.2
axsVrfIpv6NetToMediaNetAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.3.1.3
axsVrfIpv6NetToMediaPhysAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.3.1.4
axsVrfIpv6NetToMediaType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.3.1.5
axsVrfIpv6IfNetToMediaState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.3.1.6
axsVrfIpv6IfNetToMediaLastUpdated	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.3.1.7
axsVrfIpv6NetToMediaValid	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.3.1.8
axsVrfIpv6NetToMediaDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.3.3.1.9
axsVrfIpv6Forward	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4
axsVrfIpv6FwNoTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.1
axsVrfIpv6FwNoEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.1.1
axsVrfIpv6FwNoVRFIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.1.1.1
axsVrfIpv6FwNo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.1.1.2
axsVrfIpv6FwNoDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.1.1.3
axsVrfIpv6FwTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2
axsVrfIpv6FwEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1
axsVrfIpv6FwVrfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1.1
axsVrfIpv6FwDest	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1.2
axsVrfIpv6FwPfxLength	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1.3
axsVrfIpv6FwPolicy	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1.4
axsVrfIpv6FwNextHop	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1.5
axsVrfIpv6FwIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1.6
axsVrfIpv6FwType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1.7
axsVrfIpv6FwProto	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1.8
axsVrfIpv6FwAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1.9

MIB 名称	オブジェクト ID
axsVrfIpv6FwInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1.10
axsVrfIpv6FwNextHopAS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1.11
axsVrfIpv6FwMetric1	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1.12
axsVrfIpv6FwMetric2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1.13
axsVrfIpv6FwMetric3	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1.14
axsVrfIpv6FwMetric4	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1.15
axsVrfIpv6FwMetric5	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1.16
axsVrfIpv6FwDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.11.4.2.1.17

(9) axsOspf グループ

axsOspf グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-9 axsOspf グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspf	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14
axsOspfGeneralTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1
axsOspfGeneralEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1
axsOspfGeneralDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.1
axsOspfRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.2
axsOspfAdminStat	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.3
axsOspfVersionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.4
axsOspfAreaBdrRtrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.5
axsOspfASBdrRtrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.6
axsOspfExternLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.7
axsOspfExternLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.8
axsOspfTOSSupport	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.9
axsOspfOriginateNewLsas	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.10
axsOspfRxNewLsas	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.11
axsOspfExtLsdbLimit	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.12
axsOspfMulticastExtensions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.1.1.13
axsOspfAreaTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2
axsOspfAreaEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1
axsOspfAreaDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.1
axsOspfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.2
axsOspfAuthType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.3
axsOspfImportAsExtern	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.4
axsOspfSpfRuns	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.5
axsOspfAreaBdrRtrCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.6
axsOspfAsBdrRtrCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.7
axsOspfAreaLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.8

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfAreaLsaChecksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.9
axsOspfAreaSummary	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.10
axsOspfAreaStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.2.1.11
axsOspfStubAreaTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3
axsOspfStubAreaEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1
axsOspfStubDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.1
axsOspfStubAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.2
axsOspfStubTOS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.3
axsOspfStubMetric	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.4
axsOspfStubStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.5
axsOspfStubMetricType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.3.1.6
axsOspfLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4
axsOspfLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1
axsOspfLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.1
axsOspfLsdbAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.2
axsOspfLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.3
axsOspfLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.4
axsOspfLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.5
axsOspfLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.6
axsOspfLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.7
axsOspfLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.8
axsOspfLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.4.1.9
axsOspfAreaRangeTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5
axsOspfAreaRangeEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1
axsOspfAreaRangeDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.1
axsOspfAreaRangeAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.2
axsOspfAreaRangeNet	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.3
axsOspfAreaRangeMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.4
axsOspfAreaRangeStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.5
axsOspfAreaRangeEffect	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.5.1.6
axsOspfIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7
axsOspfIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1
axsOspfIfDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.1
axsOspfIfIpAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.2
axsOspfAddressLessIf	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.3
axsOspfIfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.4
axsOspfIfType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.5
axsOspfIfAdminStat	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.6
axsOspfIfRtrPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.7
axsOspfIfTransitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.8

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfIfRetransInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.9
axsOspfIfHelloInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.10
axsOspfIfRtrDeadInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.11
axsOspfIfPollInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.12
axsOspfIfState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.13
axsOspfIfDesignatedRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.14
axsOspfIfBackupDesignatedRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.15
axsOspfIfEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.16
axsOspfIfAuthKey	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.17
axsOspfIfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.18
axsOspfIfMulticastForwarding	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.7.1.19
axsOspfIfMetricTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8
axsOspfIfMetricEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1
axsOspfIfMetricDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.1
axsOspfIfMetricIpAddress	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.2
axsOspfIfMetricAddressLessIf	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.3
axsOspfIfMetricTOS	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.4
axsOspfIfMetricValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.5
axsOspfIfMetricStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.8.1.6
axsOspfVirtIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9
axsOspfVirtIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1
axsOspfVirtIfDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.1
axsOspfVirtIfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.2
axsOspfVirtIfNeighbor	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.3
axsOspfVirtIfTransitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.4
axsOspfVirtIfRetransInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.5
axsOspfVirtIfHelloInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.6
axsOspfVirtIfRtrDeadInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.7
axsOspfVirtIfState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.8
axsOspfVirtIfEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.9
axsOspfVirtIfAuthKey	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.10
axsOspfVirtIfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.9.1.11
axsOspfNbrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10
axsOspfNbrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1
axsOspfNbrDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.1
axsOspfNbrIpAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.2
axsOspfNbrAddressLessIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.3
axsOspfNbrRtrId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.4
axsOspfNbrOptions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.5
axsOspfNbrPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.6

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfNbrState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.7
axsOspfNbrEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.8
axsOspfNbrLsRetransQLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.9
axsOspfNbmaNbrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.10
axsOspfNbmaNbrPermanence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.10.1.11
axsOspfVirtNbrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11
axsOspfVirtNbrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1
axsOspfVirtNbrDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.1
axsOspfVirtNbrArea	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.2
axsOspfVirtNbrRtrId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.3
axsOspfVirtNbrIpAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.4
axsOspfVirtNbrOptions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.5
axsOspfVirtNbrState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.6
axsOspfVirtNbrEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.7
axsOspfVirtNbrLsRetransQLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.11.1.8
axsOspfExtLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12
axsOspfExtLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1
axsOspfExtLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.1
axsOspfExtLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.2
axsOspfExtLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.3
axsOspfExtLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.4
axsOspfExtLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.5
axsOspfExtLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.6
axsOspfExtLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.7
axsOspfExtLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.12.1.8
axsOspfAreaAggregateTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14
axsOspfAreaAggregateEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1
axsOspfAreaAggregateDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.1
axsOspfAreaAggregateAreaID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.2
axsOspfAreaAggregateLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.3
axsOspfAreaAggregateNet	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.4
axsOspfAreaAggregateMask	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.5
axsOspfAreaAggregateStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.6
axsOspfAreaAggregateEffect	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.14.1.7
axsOspfTrap	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16
axsOspfTrapControlTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1
axsOspfTrapControlEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1
axsOspfTrapDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1.1
axsOspfSetTrap	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1.2
axsOspfConfigErrorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfPacketType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1.4
axsOspfPacketSrc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.1.1.5
axsOspfTraps	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.14.16.2

(10) axsOspf3MIB グループ

axsOspf3MIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-10 axsOspf3MIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspf3	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15
axsOspf3GeneralTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1
axsOspf3GeneralEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1
axsOspf3GeneralDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.1
axsOspf3RouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.2
axsOspf3AdminStat	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.3
axsOspf3VersionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.4
axsOspf3AreaBdrRtrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.5
axsOspf3ASBdrRtrStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.6
axsOspf3AsScopeLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.7
axsOspf3AsScopeLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.8
axsOspf3OriginateNewLsas	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.9
axsOspf3RxNewLsas	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.10
axsOspf3ExtAreaLsdbLimit	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.11
axsOspf3MulticastExtensions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.12
axsOspf3DemandExtensions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.14
axsOspf3TrafficEngineeringSupport	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.1.1.15
axsOspf3AreaTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2
axsOspf3AreaEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1
axsOspf3AreaDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.1
axsOspf3AreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.2
axsOspf3ImportAsExtern	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.3
axsOspf3SpfRuns	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.4
axsOspf3AreaBdrRtrCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.5
axsOspf3AsBdrRtrCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.6
axsOspf3AreaScopeLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.7
axsOspf3AreaScopeLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.8
axsOspf3AreaSummary	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.9
axsOspf3AreaStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.10
axsOspf3StubMetric	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.2.1.11
axsOspf3AsLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfV3AsLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1
axsOspfV3AsLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.1
axsOspfV3AsLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.2
axsOspfV3AsLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.3
axsOspfV3AsLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.4
axsOspfV3AsLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.5
axsOspfV3AsLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.6
axsOspfV3AsLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.7
axsOspfV3AsLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.3.1.8
axsOspfV3AreaLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4
axsOspfV3AreaLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1
axsOspfV3AreaLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.1
axsOspfV3AreaLsdbAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.2
axsOspfV3AreaLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.3
axsOspfV3AreaLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.4
axsOspfV3AreaLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.5
axsOspfV3AreaLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.6
axsOspfV3AreaLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.7
axsOspfV3AreaLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.8
axsOspfV3AreaLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.4.1.9
axsOspfV3LinkLsdbTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5
axsOspfV3LinkLsdbEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1
axsOspfV3LinkLsdbDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.1
axsOspfV3LinkLsdbIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.2
axsOspfV3LinkLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.3
axsOspfV3LinkLsdbRouterId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.4
axsOspfV3LinkLsdbLsid	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.5
axsOspfV3LinkLsdbSequence	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.6
axsOspfV3LinkLsdbAge	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.7
axsOspfV3LinkLsdbChecksum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.8
axsOspfV3LinkLsdbAdvertisement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.5.1.9
axsOspfV3IfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7
axsOspfV3IfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1
axsOspfV3IfDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.1
axsOspfV3IfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.2
axsOspfV3IfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.3
axsOspfV3IfType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.4
axsOspfV3IfAdminStat	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.5
axsOspfV3IfRtrPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.6
axsOspfV3IfTransitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.7

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfV3IfRetransInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.8
axsOspfV3IfHelloInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.9
axsOspfV3IfRtrDeadInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.10
axsOspfV3IfPollInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.11
axsOspfV3IfState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.12
axsOspfV3IfDesignatedRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.13
axsOspfV3IfBackupDesignatedRouter	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.15
axsOspfV3IfEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.16
axsOspfV3IfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.18
axsOspfV3IfMulticastForwarding	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.19
axsOspfV3IfDemand	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.20
axsOspfV3IfMetricValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.21
axsOspfV3IfLinkScopeLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.22
axsOspfV3IfLinkLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.23
axsOspfV3IfInstId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.7.1.24
axsOspfV3VirtIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8
axsOspfV3VirtIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1
axsOspfV3VirtIfDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.1
axsOspfV3VirtIfAreaId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.2
axsOspfV3VirtIfNeighbor	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.3
axsOspfV3VirtIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.4
axsOspfV3VirtIfTransitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.5
axsOspfV3VirtIfRetransInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.6
axsOspfV3VirtIfHelloInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.7
axsOspfV3VirtIfRtrDeadInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.8
axsOspfV3VirtIfState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.9
axsOspfV3VirtIfEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.10
axsOspfV3VirtIfStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.11
axsOspfV3VirtIfLinkScopeLsaCount	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.12
axsOspfV3VirtIfLinkLsaCksumSum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.8.1.13
axsOspfV3NbrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9
axsOspfV3NbrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1
axsOspfV3NbrDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.1
axsOspfV3NbrIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.2
axsOspfV3NbrIpv6Addr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.3
axsOspfV3NbrRtrId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.4
axsOspfV3NbrOptions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.5
axsOspfV3NbrPriority	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.6
axsOspfV3NbrState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.7
axsOspfV3NbrEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.8

MIB 名称	オブジェクト ID
axsOspfV3NbrLsRetransQLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.9
axsOspfV3NbrHelloSuppressed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.12
axsOspfV3NbrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.9.1.13
axsOspfV3VirtNbrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10
axsOspfV3VirtNbrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1
axsOspfV3VirtNbrDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.1
axsOspfV3VirtNbrArea	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.2
axsOspfV3VirtNbrRtrId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.3
axsOspfV3VirtNbrIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.4
axsOspfV3VirtNbrIpv6Addr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.5
axsOspfV3VirtNbrOptions	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.6
axsOspfV3VirtNbrState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.7
axsOspfV3VirtNbrEvents	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.8
axsOspfV3VirtNbrLsRetransQLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.9
axsOspfV3VirtNbrHelloSuppressed	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.10
axsOspfV3VirtNbrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.10.1.11
axsOspfV3AreaAggregateTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11
axsOspfV3AreaAggregateEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1
axsOspfV3AreaAggregateDomainNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.1
axsOspfV3AreaAggregateAreaID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.2
axsOspfV3AreaAggregateAreaLsdbType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.3
axsOspfV3AreaAggregateIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.4
axsOspfV3AreaAggregatePrefix	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.5
axsOspfV3AreaAggregatePrefixLen	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.6
axsOspfV3AreaAggregateStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.7
axsOspfV3AreaAggregateEffect	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.15.11.1.8

(11) axsStatic グループ

axsStatic グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-11 axsStatic グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsStatic	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38
axsStaticTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.1
axsStaticGatewayEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.1.1
axsStaticGatewayAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.1.1.1
axsStaticGatewayState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.1.1.2
axsStaticIpv6Table	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3
axsStaticIpv6GatewayEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3.1
axsStaticIpv6Ifindex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axsStaticIpv6GatewayAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3.1.2
axsStaticIpv6GatewayState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.3.1.3
axsStaticTrap	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.38.2

(12) axsTrackObjectMIB グループ

axsTrackObjectMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-12 axsTrackObjectMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsTrackObject	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41
axsTrackObjectGeneralGroup	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.1
axsTrackObjectGeneralLastChange	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.1.1
axsTrackObjectTraps	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.2
axsTrackObjectTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.3
axsTrackObjectEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.3.1
axsTrackObjectId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.3.1.1
axsTrackObjectState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.3.1.2
axsTrackObjectOperation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.3.1.3
axsTrackObjectType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.3.1.4
axsTrackObjectNetIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.41.3.1.5

(13) axsPolicyBase グループ

axsPolicyBase グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-13 axsPolicyBase グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsPolicyBase	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45
axsPolicyBaseRouting	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.1
axsPolicyBaseRoutingChangeListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.1.1
axsPolicyBaseRoutingChangeSequenceNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.1.2
axsPolicyBaseSwitching	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.2
axsPolicyBaseSwitchingChangeListNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.2.1
axsPolicyBaseSwitchingChangeSequenceNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.45.2.2

(14) axsBootManagement グループ

axsBootManagement グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-14 axsBootManagement グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsBootManagement	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.51

MIB 名称	オブジェクト ID
axsBootReason	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.51.1

(15) axsLogin グループ

axsLogin グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-15 axsLogin グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsLogin	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52
axsLoginName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.1
axsLoginTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.2
axsLogoutTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.3
axsLoginFailureTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.4
axsLoginLocation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.5
axsLoginLine	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.6
axsLogoutStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.52.7

(16) axslldp グループ

axslldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-16 axslldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axslldp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100
axslldpConfiguration	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1
axslldpMessageTxInterval	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.1
axslldpMessageTxHoldMultiplier	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.2
axslldpReinitDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.3
axslldpTxDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.4
axslldpPortConfigTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6
axslldpPortConfigEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1
axslldpPortConfigPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.2
axslldpPortConfigAdminStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.3
axslldpPortConfigTLVsTxEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.4
axslldpPortConfigRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.6.1.5
axslldpConfigManAddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.7
axslldpConfigManAddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.7.1
axslldpConfigManAddrPortsTxEnable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.1.7.1.1
axslldpStats	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2
axslldpStatsTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1
axslldpStatsEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1
axslldpStatsPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.2

MIB 名称	オブジェクト ID
axslldpStatsOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.3
axslldpStatsFramesInErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.4
axslldpStatsFramesInTotal	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.5
axslldpStatsFramesOutTotal	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.6
axslldpStatsTLVsInErrors	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.7
axslldpStatsTLVsDiscardedTotal	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.8
axslldpStatsCounterDiscontinuityTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.2.1.1.9
axslldpLocalSystemData	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3
axslldpLocChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.1
axslldpLocChassisId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.2
axslldpLocSysName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.3
axslldpLocSysDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.4
axslldpLocSysCapSupported	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.5
axslldpLocSysCapEnabled	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.6
axslldpLocPortTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7
axslldpLocPortEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1
axslldpLocPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.1
axslldpLocPortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.2
axslldpLocPortId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.3
axslldpLocPortDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.7.1.4
axslldpLocManAddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8
axslldpLocManAddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1
axslldpLocManAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.1
axslldpLocManAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.2
axslldpLocManAddrIfSubtype	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.3
axslldpLocManAddrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.4
axslldpLocManAddrOID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.3.8.1.5
axslldpRemoteSystemData	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4
axslldpRemTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1
axslldpRemEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1
axslldpRemTimeMark	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.1
axslldpRemLocalPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.2
axslldpRemIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.3
axslldpRemRemoteChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.4
axslldpRemRemoteChassis	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.5
axslldpRemRemotePortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.6
axslldpRemRemotePort	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.7
axslldpRemPortDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.8
axslldpRemSysName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.9
axslldpRemSysDesc	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.10

MIB 名称	オブジェクト ID
axslldpRemSysCapSupported	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.11
axslldpRemSysCapEnabled	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.1.1.12
axslldpRemManAddrTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2
axslldpRemManAddrEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1
axslldpRemManAddrType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.1
axslldpRemManAddr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.2
axslldpRemManAddrIfSubtype	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.3
axslldpRemManAddrIfId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.4
axslldpRemManAddrOID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.2.1.5
axslldpRemOrgDefInfoTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3
axslldpRemOrgDefInfoEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1
axslldpRemOrgDefInfoOUI	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.1
axslldpRemOrgDefInfoSubtype	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.2
axslldpRemOrgDefInfoIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.3
axslldpRemOrgDefInfo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.4.3.1.4
axslldpRemoteOriginInfoData	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20
axslldpRemOriginInfoTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1
axslldpRemOriginInfoEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1
axslldpRemOriginInfoPortNum	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.1
axslldpRemOriginInfoIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.2
axslldpRemOriginInfoLowerVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.3
axslldpRemOriginInfoHigherVlanList	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.4
axslldpRemOriginInfoIPv4Address	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.5
axslldpRemOriginInfoIPv4PortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.6
axslldpRemOriginInfoIPv4VlanId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.7
axslldpRemOriginInfoIPv6Address	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.8
axslldpRemOriginInfoIPv6PortType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.9
axslldpRemOriginInfoIPv6VlanId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.100.20.1.1.10

(17) axsAxpMIB グループ

axsAxpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-17 axsAxpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsAxp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200
axsAxpGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1
axsAxpGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1
axsAxpGroupRingId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.1
axsAxpGroupRowStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.2
axsAxpGroupMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
axsAxpGroupRingAttribute	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.4
axsAxpGroupMonitoringState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.5
axsAxpGroupRingport1	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.6
axsAxpGroupRingport1Shared	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.7
axsAxpGroupRingport2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.8
axsAxpGroupRingport2Shared	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.9
axsAxpGroupTransitionToFaultCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.10
axsAxpGroupTransitionToNormalCounts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.11
axsAxpGroupLastTransitionTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.1.1.12
axsAxpVlanGroupTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2
axsAxpVlanGroupEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1
axsAxpVlanGroupRingId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.1
axsAxpVlanGroupId	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.2
axsAxpVlanGroupRingport1	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.3
axsAxpVlanGroupRingport1Role	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.4
axsAxpVlanGroupRingport1OperState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.5
axsAxpVlanGroupRingport2	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.6
axsAxpVlanGroupRingport2Role	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.7
axsAxpVlanGroupRingport2OperState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.200.2.1.8

(18) axsPconMIB グループ

axsPconMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-18 axsPconMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
axsPconMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300
axsPconObjects	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1
axsPconModuleData	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1
axsPconModuleTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1.1
axsPconModuleEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1.1.1
axsPconModuleIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1.1.1.1
axsPconModuleType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1.1.1.2
axsPconModuleSlotNo	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1.1.1.3
axsPconModuleDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1.1.1.4
axsPconModuleStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1.1.1.5
axsPconModuleMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.1.1.1.6
axsPconPowerCon	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.2
axsPconPowerConTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.2.1
axsPconPowerConEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.2.1.1
axsPconPowerConMaxPower	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.2.1.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
axsPconPowerConPowerConsumption	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.2.1.1.2
axsPconPowerConPowerMeter	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.2.1.1.3
axsPconTraffic	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3
axsPconTrafficTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3.1
axsPconTrafficEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3.1.1
axsPconTrafficMaxTransferCapacity	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3.1.1.1
axsPconTrafficTotalTransferCapacity	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3.1.1.2
axsPconTrafficInOctets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3.1.1.3
axsPconTrafficOutOctets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3.1.1.4
axsPconTrafficInPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3.1.1.5
axsPconTrafficOutPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3.1.1.6
axsPconTrafficCapacityOctets	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3.1.1.7
axsPconTrafficInPeakOctetsRate	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3.1.1.8
axsPconTrafficPeakTransferCapacity	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3.1.1.9
axsPconTrafficInDiscPkts	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.1.300.1.3.1.1.10

(19) ax6700sSwitch グループ

ax6700sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-19 ax6700sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6700sSwitch	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1
ax6700sModelType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.1
ax6700sSoftware	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.2
ax6700sSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.2.1
ax6700sSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.2.2
ax6700sSoftwareVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.2.3
ax6700sSystemMsg	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.3
ax6700sSystemMsgText	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.3.1
ax6700sSystemMsgType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.3.2
ax6700sSystemMsgTimeStamp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.3.3
ax6700sSystemMsgLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.3.4
ax6700sSystemMsgEventPoint	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.3.5
ax6700sSystemMsgEventInterfaceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.3.6
ax6700sSystemMsgEventCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.3.7
ax6700sSystemMsgAdditionalCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.3.8
ax6700sSnmpAgent	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.4
ax6700sSnmpSendReceiveSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.4.1
ax6700sSnmpReceiveDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.4.2
ax6700sSnmpContinuousSend	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.4.3

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6700sSnmpObjectMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.4.4
ax6700sLicense	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.6
ax6700sLicenseNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.6.1
ax6700sLicenseTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.6.2
ax6700sLicenseEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.6.2.1
ax6700sLicenseIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.6.2.1.1
ax6700sLicenseSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.6.2.1.2
ax6700sLicenseOptionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.6.2.1.3
ax6700sLicenseOptionTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.6.3
ax6700sLicenseOptionEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.6.3.1
ax6700sLicenseOptionIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.6.3.1.1
ax6700sLicenseOptionNumberIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.6.3.1.2
ax6700sLicenseOptionSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.6.3.1.3
ax6700sLicenseOptionSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.1.6.3.1.4

(20) ax6700sDevice グループ

ax6700sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-20 ax6700sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6700sDevice	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2
ax6700sChassis	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1
ax6700sChassisMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.1
ax6700sChassisTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.2
ax6700sChassisEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.2.1
ax6700sChassisIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.2.1.1
ax6700sChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.2.1.2
ax6700sChassisStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.2.1.3
ax6700sPowerUnitNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.2.1.21
ax6700sFanNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.2.1.23
ax6700sBcuBoardDuplexMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.2.1.26
ax6700sBcuBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.2.1.27
ax6700sNifBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.2.1.28
ax6700sPowerControl	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.2.1.29
ax6700sBsuBoardDuplexActiveMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.2.1.30
ax6700sBsuBoardDuplexStandbyMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.2.1.31
ax6700sBsuBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.2.1.32
ax6700sPowerUnitTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.3
ax6700sPowerUnitEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.3.1
ax6700sPowerUnitIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.3.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6700sPowerConnectStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.3.1.2
ax6700sPowerSupplyStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.3.1.3
ax6700sFanTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.4
ax6700sFanEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.4.1
ax6700sFanIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.4.1.1
ax6700sFanStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.1.4.1.2
ax6700sBcuBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2
ax6700sBcuBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1
ax6700sBcuBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1
ax6700sBcuBoardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.1
ax6700sBcuOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.2
ax6700sBcuOperModeStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.3
ax6700sBcuActiveLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.4
ax6700sBcuSystem1LedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.5
ax6700sBcuSystem2LedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.6
ax6700sBcuMgmtPortStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.7
ax6700sBcuBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.8
ax6700sBcuBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.9
ax6700sBcuCpuName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.10
ax6700sBcuCpuClock	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.11
ax6700sBcuMemoryTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.12
ax6700sBcuMemoryUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.13
ax6700sBcuMemoryFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.14
ax6700sBcuRomVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.15
ax6700sBcuCpuLoad1m	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.16
ax6700sBcuFlashTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.17
ax6700sBcuFlashUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.18
ax6700sBcuFlashFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.19
ax6700sBcuTemperatureStatusNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.20
ax6700sBcuSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.21
ax6700sBcuTotalAccumRunTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.22
ax6700sBcuCriticalAccumRunTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.1.1.23
ax6700sTemperatureStatusTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.2
ax6700sTemperatureStatusEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.2.1
ax6700sTemperatureStatusIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.2.1.1
ax6700sTemperatureStatusDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.2.1.2
ax6700sTemperatureStatusValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.2.1.3
ax6700sTemperatureThreshold	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.2.1.4
ax6700sTemperatureState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.2.1.5
ax6700sSdCardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.3

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6700sSdCardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.3.1
ax6700sSdCardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.3.1.1
ax6700sSdCardConnection	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.3.1.2
ax6700sSdCardTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.3.1.3
ax6700sSdCardUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.3.1.4
ax6700sSdCardFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.3.1.5
ax6700sSopTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.4
ax6700sSopEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.4.1
ax6700sSopAlarmLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.4.1.1
ax6700sSopAlarmEventPoint	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.4.1.2
ax6700sSopAlarmEventCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.4.1.3
ax6700sSopAlarmEventInterfaceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.4.1.4
ax6700sSopAlarmMsgText	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.2.4.1.5
ax6700sBsuBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.3
ax6700sBsuBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.3.1
ax6700sBsuBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.3.1.1
ax6700sBsuBoardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.3.1.1.1
ax6700sBsuBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.3.1.1.2
ax6700sBsuOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.3.1.1.3
ax6700sBsuOperModeStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.3.1.1.4
ax6700sBsuBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.3.1.1.5
ax6700sBsuBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.3.1.1.6
ax6700sBsuSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.3.1.1.7
ax6700sNifBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.4
ax6700sNifBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.4.1
ax6700sNifBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.4.1.1
ax6700sNifBoardSlotIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.4.1.1.1
ax6700sNifBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.4.1.1.2
ax6700sNifBoardOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.4.1.1.3
ax6700sNifBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.4.1.1.4
ax6700sNifBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.4.1.1.5
ax6700sNifPhysLineNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.4.1.1.7
ax6700sNifSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.4.1.1.8
ax6700sNifBoardOperModeStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.4.1.1.9
ax6700sPhysLine	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.5
ax6700sPhysLineTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.5.1
ax6700sPhysLineEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.5.1.1
ax6700sPhysLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.5.1.1.1
ax6700sPhysLineConnectorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.5.1.1.2
ax6700sPhysLineOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.5.1.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6700sPhysLineIfIndexNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.5.1.1.4
ax6700sPhysLineTransceiverStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.5.1.1.5
ax6700sInterface	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.6
ax6700sLineIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.6.1
ax6700sLineIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.6.1.1
ax6700sLineIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.6.1.1.1
ax6700sIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.2.6.1.1.2

(21) ax6700sManagementMIB グループ

ax6700sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-21 ax6700sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6700sManagementMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.3
ax6700sOperationCommand	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.3.1
ax6700sFdbClearMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.3.1.1
ax6700sFdbClearSet	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.3.1.1.1
ax6700sFdbClearReqTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.3.1.1.2
ax6700sFdbClearSuccessTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.9.3.1.1.3

(22) ax6600sSwitch グループ

ax6600sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-22 ax6600sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6600sSwitch	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1
ax6600sModelType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.1
ax6600sSoftware	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.2
ax6600sSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.2.1
ax6600sSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.2.2
ax6600sSoftwareVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.2.3
ax6600sSystemMsg	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.3
ax6600sSystemMsgText	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.3.1
ax6600sSystemMsgType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.3.2
ax6600sSystemMsgTimeStamp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.3.3
ax6600sSystemMsgLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.3.4
ax6600sSystemMsgEventPoint	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.3.5
ax6600sSystemMsgEventInterfaceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.3.6
ax6600sSystemMsgEventCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.3.7
ax6600sSystemMsgAdditionalCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.3.8

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6600sSnmpAgent	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.4
ax6600sSnmpSendReceiveSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.4.1
ax6600sSnmpReceiveDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.4.2
ax6600sSnmpContinuousSend	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.4.3
ax6600sSnmpObjectMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.4.4
ax6600sLicense	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.6
ax6600sLicenseNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.6.1
ax6600sLicenseTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.6.2
ax6600sLicenseEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.6.2.1
ax6600sLicenseIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.6.2.1.1
ax6600sLicenseSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.6.2.1.2
ax6600sLicenseOptionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.6.2.1.3
ax6600sLicenseOptionTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.6.3
ax6600sLicenseOptionEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.6.3.1
ax6600sLicenseOptionIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.6.3.1.1
ax6600sLicenseOptionNumberIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.6.3.1.2
ax6600sLicenseOptionSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.6.3.1.3
ax6600sLicenseOptionSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.1.6.3.1.4

(23) ax6600sDevice グループ

ax6600sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-23 ax6600sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6600sDevice	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2
ax6600sChassis	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1
ax6600sChassisMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.1
ax6600sChassisTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.2
ax6600sChassisEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.2.1
ax6600sChassisIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.2.1.1
ax6600sChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.2.1.2
ax6600sChassisStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.2.1.3
ax6600sPowerUnitNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.2.1.21
ax6600sFanNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.2.1.23
ax6600sCsuBoardDuplexMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.2.1.26
ax6600sCsuBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.2.1.27
ax6600sNifBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.2.1.28
ax6600sPowerControl	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.2.1.29
ax6600sPspDuplexActiveMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.2.1.30
ax6600sPspDuplexStandbyMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.2.1.31

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6600sPowerUnitTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.3
ax6600sPowerUnitEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.3.1
ax6600sPowerUnitIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.3.1.1
ax6600sPowerConnectStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.3.1.2
ax6600sPowerSupplyStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.3.1.3
ax6600sFanTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.4
ax6600sFanEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.4.1
ax6600sFanIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.4.1.1
ax6600sFanStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.1.4.1.2
ax6600sCsuBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2
ax6600sCsuBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1
ax6600sCsuBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1
ax6600sCsuBoardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.1
ax6600sCsuOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.2
ax6600sCsuOperModeStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.3
ax6600sCsuActiveLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.4
ax6600sCsuSystem1LedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.5
ax6600sCsuSystem2LedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.6
ax6600sCsuMgmtPortStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.7
ax6600sCsuBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.8
ax6600sCsuBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.9
ax6600sCsuCpuName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.10
ax6600sCsuCpuClock	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.11
ax6600sCsuMemoryTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.12
ax6600sCsuMemoryUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.13
ax6600sCsuMemoryFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.14
ax6600sCsuRomVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.15
ax6600sCsuCpuLoad1m	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.16
ax6600sCsuFlashTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.17
ax6600sCsuFlashUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.18
ax6600sCsuFlashFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.19
ax6600sCsuTemperatureStatusNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.20
ax6600sCsuSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.21
ax6600sCsuTotalAccumRunTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.22
ax6600sCsuCriticalAccumRunTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.23
ax6600sPspOperModeStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.1.24
ax6600sTemperatureStatusTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.2
ax6600sTemperatureStatusEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.2.1
ax6600sTemperatureStatusIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.2.1.1
ax6600sTemperatureStatusDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.2.1.2

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6600sTemperatureStatusValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.3
ax6600sTemperatureThreshold	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.4
ax6600sTemperatureState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.1.5
ax6600sSdCardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.3
ax6600sSdCardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.3.1
ax6600sSdCardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.3.1.1
ax6600sSdCardConnection	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.3.1.2
ax6600sSdCardTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.3.1.3
ax6600sSdCardUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.3.1.4
ax6600sSdCardFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.3.1.5
ax6600sSopTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.4
ax6600sSopEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.4.1
ax6600sSopAlarmLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.4.1.1
ax6600sSopAlarmEventPoint	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.4.1.2
ax6600sSopAlarmEventCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.4.1.3
ax6600sSopAlarmEventInterfaceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.4.1.4
ax6600sSopAlarmMsgText	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.2.4.1.5
ax6600sNifBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.4
ax6600sNifBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.4.1
ax6600sNifBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.4.1.1
ax6600sNifBoardSlotIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.4.1.1.1
ax6600sNifBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.4.1.1.2
ax6600sNifBoardOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.4.1.1.3
ax6600sNifBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.4.1.1.4
ax6600sNifBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.4.1.1.5
ax6600sNifPhysLineNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.4.1.1.7
ax6600sNifSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.4.1.1.8
ax6600sNifBoardOperModeStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.4.1.1.9
ax6600sPhysLine	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.5
ax6600sPhysLineTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.5.1
ax6600sPhysLineEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.5.1.1
ax6600sPhysLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.5.1.1.1
ax6600sPhysLineConnectorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.5.1.1.2
ax6600sPhysLineOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.5.1.1.3
ax6600sPhysLineIfIndexNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.5.1.1.4
ax6600sPhysLineTransceiverStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.5.1.1.5
ax6600sInterface	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.6
ax6600sLineIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.6.1
ax6600sLineIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.6.1.1
ax6600sLineIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.6.1.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6600sIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.2.6.1.1.2

(24) ax6600sManagementMIB グループ

ax6600sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-24 ax6600sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6600sManagementMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.3
ax6600sOperationCommand	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.3.1
ax6600sFdbClearMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.3.1.1
ax6600sFdbClearSet	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.3.1.1.1
ax6600sFdbClearReqTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.3.1.1.2
ax6600sFdbClearSuccessTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.12.3.1.1.3

(25) ax6300sSwitch グループ

ax6300sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-25 ax6300sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6300sSwitch	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1
ax6300sModelType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.1
ax6300sSoftware	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.2
ax6300sSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.2.1
ax6300sSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.2.2
ax6300sSoftwareVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.2.3
ax6300sSystemMsg	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.3
ax6300sSystemMsgText	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.3.1
ax6300sSystemMsgType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.3.2
ax6300sSystemMsgTimeStamp	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.3.3
ax6300sSystemMsgLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.3.4
ax6300sSystemMsgEventPoint	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.3.5
ax6300sSystemMsgEventInterfaceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.3.6
ax6300sSystemMsgEventCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.3.7
ax6300sSystemMsgAdditionalCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.3.8
ax6300sSnmpAgent	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.4
ax6300sSnmpSendReceiveSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.4.1
ax6300sSnmpReceiveDelay	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.4.2
ax6300sSnmpContinuousSend	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.4.3
ax6300sSnmpObjectMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.4.4
ax6300sLicense	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.6

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6300sLicenseNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.6.1
ax6300sLicenseTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.6.2
ax6300sLicenseEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.6.2.1
ax6300sLicenseIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.6.2.1.1
ax6300sLicenseSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.6.2.1.2
ax6300sLicenseOptionNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.6.2.1.3
ax6300sLicenseOptionTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.6.3
ax6300sLicenseOptionEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.6.3.1
ax6300sLicenseOptionIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.6.3.1.1
ax6300sLicenseOptionNumberIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.6.3.1.2
ax6300sLicenseOptionSoftwareName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.6.3.1.3
ax6300sLicenseOptionSoftwareAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.1.6.3.1.4

(26) ax6300sDevice グループ

ax6300sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-26 ax6300sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6300sDevice	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2
ax6300sChassis	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1
ax6300sChassisMaxNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.1
ax6300sChassisTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.2
ax6300sChassisEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.2.1
ax6300sChassisIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.2.1.1
ax6300sChassisType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.2.1.2
ax6300sChassisStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.2.1.3
ax6300sPowerUnitNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.2.1.21
ax6300sFanNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.2.1.23
ax6300sMsuBoardDuplexMode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.2.1.26
ax6300sMsuBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.2.1.27
ax6300sNifBoardNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.2.1.28
ax6300sPowerControl	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.2.1.29
ax6300sPowerUnitTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.3
ax6300sPowerUnitEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.3.1
ax6300sPowerUnitIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.3.1.1
ax6300sPowerConnectStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.3.1.2
ax6300sPowerSupplyStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.3.1.3
ax6300sFanTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.4
ax6300sFanEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.4.1
ax6300sFanIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.4.1.1

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6300sFanStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.1.4.1.2
ax6300sMsuBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2
ax6300sMsuBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1
ax6300sMsuBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1
ax6300sMsuBoardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.1
ax6300sMsuOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.2
ax6300sMsuOperModeStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.3
ax6300sMsuActiveLedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.4
ax6300sMsuSystem1LedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.5
ax6300sMsuSystem2LedStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.6
ax6300sMsuMgmtPortStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.7
ax6300sMsuBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.8
ax6300sMsuBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.9
ax6300sMsuCpuName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.10
ax6300sMsuCpuClock	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.11
ax6300sMsuMemoryTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.12
ax6300sMsuMemoryUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.13
ax6300sMsuMemoryFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.14
ax6300sMsuRomVersion	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.15
ax6300sMsuCpuLoad1m	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.16
ax6300sMsuFlashTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.17
ax6300sMsuFlashUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.18
ax6300sMsuFlashFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.19
ax6300sMsuTemperatureStatusNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.20
ax6300sMsuSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.21
ax6300sMsuTotalAccumRunTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.22
ax6300sMsuCriticalAccumRunTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.23
ax6300sPspOperModeStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.1.1.24
ax6300sTemperatureStatusTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.2
ax6300sTemperatureStatusEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.2.1
ax6300sTemperatureStatusIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.2.1.1
ax6300sTemperatureStatusDescr	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.2.1.2
ax6300sTemperatureStatusValue	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.2.1.3
ax6300sTemperatureThreshold	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.2.1.4
ax6300sTemperatureState	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.2.1.5
ax6300sSdCardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.3
ax6300sSdCardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.3.1
ax6300sSdCardIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.3.1.1
ax6300sSdCardConnection	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.3.1.2
ax6300sSdCardTotalSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.3.1.3

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6300sSdCardUsedSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.3.1.4
ax6300sSdCardFreeSize	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.3.1.5
ax6300sSopTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.4
ax6300sSopEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.4.1
ax6300sSopAlarmLevel	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.4.1.1
ax6300sSopAlarmEventPoint	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.4.1.2
ax6300sSopAlarmEventCode	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.4.1.3
ax6300sSopAlarmEventInterfaceID	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.4.1.4
ax6300sSopAlarmMsgText	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.2.4.1.5
ax6300sNifBoard	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.4
ax6300sNifBoardTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.4.1
ax6300sNifBoardEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.4.1.1
ax6300sNifBoardSlotIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.4.1.1.1
ax6300sNifBoardType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.4.1.1.2
ax6300sNifBoardOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.4.1.1.3
ax6300sNifBoardName	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.4.1.1.4
ax6300sNifBoardAbbreviation	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.4.1.1.5
ax6300sNifPhysLineNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.4.1.1.7
ax6300sNifSerialNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.4.1.1.8
ax6300sPhysLine	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.5
ax6300sPhysLineTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.5.1
ax6300sPhysLineEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.5.1.1
ax6300sPhysLineIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.5.1.1.1
ax6300sPhysLineConnectorType	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.5.1.1.2
ax6300sPhysLineOperStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.5.1.1.3
ax6300sPhysLineIfIndexNumber	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.5.1.1.4
ax6300sPhysLineTransceiverStatus	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.5.1.1.5
ax6300sInterface	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.6
ax6300sLineIfTable	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.6.1
ax6300sLineIfEntry	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.6.1.1
ax6300sLineIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.6.1.1.1
ax6300sIfIndex	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.2.6.1.1.2

(27) ax6300sManagementMIB グループ

ax6300sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を示します。

表 A-27 ax6300sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6300sManagementMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.3
ax6300sOperationCommand	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.3.1

MIB 名称	オブジェクト ID
ax6300sFdbClearMIB	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.3.1.1
ax6300sFdbClearSet	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.3.1.1.1
ax6300sFdbClearReqTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.3.1.1.2
ax6300sFdbClearSuccessTime	1.3.6.1.4.1.21839.2.2.8.3.1.1.3

付録 A.2 HP プライベート MIB

HP プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を次の表に示します。

表 A-28 HP プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
icmp	1.3.6.1.4.1.11.2.7
icmpEchoReq	1.3.6.1.4.1.11.2.7.1

付録 A.3 InMon プライベート MIB

InMon プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応を次の表に示します。

表 A-29 InMon プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応

MIB 名称	オブジェクト ID
sFlowMIB	1.3.6.1.4.1.4300.1
sFlowAgent	1.3.6.1.4.1.4300.1.1
sFlowVersion	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.1
sFlowAgentAddressType	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.2
sFlowAgentAddress	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.3
sFlowTable	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4
sFlowEntry	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1
sFlowDataSource	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.1
sFlowOwner	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.2
sFlowTimeout	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.3
sFlowPacketSamplingRate	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.4
sFlowCounterSamplingInterval	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.5
sFlowMaximumHeaderSize	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.6
sFlowMaximumDatagramSize	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.7
sFlowCollectorAddressType	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.8
sFlowCollectorAddress	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.9
sFlowCollectorPort	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.10
sFlowDatagramVersion	1.3.6.1.4.1.4300.1.1.4.1.11

索引

A

- Alarm グループ 71
- at グループ (MIB-II) 28
- ax6300sChassis グループの実装仕様 (筐体情報) 318
- ax6300sChassis グループの実装仕様 (電源機構情報) 319
- ax6300sChassis グループの実装仕様 (ファン情報) 319
- ax6300sDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB) 318
- ax6300sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 422
- ax6300sFdbClearMIB グループ (MAC アドレステーブル Clear 用 MIB) 329
- ax6300sInterface グループの実装仕様 (インタフェースインデックス情報) 328
- ax6300sManagementMIB グループ (装置の状態 / 情報の変更を行う) 329
- ax6300sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 424
- ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (MC 情報) 323
- ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (MSU 情報) 320
- ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報) 324
- ax6300sMsuBoard グループの実装仕様 (温度情報) 322
- ax6300sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報) 325
- ax6300sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報) 326
- ax6300sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB) 315
- ax6300sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 421
- ax6600sChassis グループの実装仕様 (筐体情報) 302
- ax6600sChassis グループの実装仕様 (電源機構情報) 303
- ax6600sChassis グループの実装仕様 (ファン情報) 303
- ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (CSU 情報) 304
- ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (MC 情報) 308
- ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報) 308
- ax6600sCsuBoard グループの実装仕様 (温度情報) 307
- ax6600sDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB) 302
- ax6600sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 418
- ax6600sFdbClearMIB グループ (MAC アドレステーブル Clear 用 MIB) 314
- ax6600sInterface グループの実装仕様 (インタフェースインデックス情報) 312
- ax6600sManagementMIB グループ (装置の状態 / 情報の変更を行う) 314
- ax6600sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 421
- ax6600sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報) 309
- ax6600sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報) 311
- ax6600sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB) 299
- ax6600sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 417
- ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (BCU 情報) 287
- ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (MC 情報) 291
- ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (SOP 情報) 291
- ax6700sBcuBoard グループの実装仕様 (温度情報) 290
- ax6700sBsuBoard グループの実装仕様 (BSU 情報) 292
- ax6700sChassis グループの実装仕様 (筐体情報) 285
- ax6700sChassis グループの実装仕様 (電源機構情報) 286
- ax6700sChassis グループの実装仕様 (ファン情報) 287
- ax6700sDevice グループ (システム装置の筐体情報 MIB) 285
- ax6700sDevice グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 414

- ax6700sFdbClearMIB グループ (MAC アドレステーブル Clear 用 MIB) 298
- ax6700sInterface グループの実装仕様 (インタフェースインデックス情報) 296
- ax6700sManagementMIB グループ (装置の状態 / 情報の変更を行う) 298
- ax6700sManagementMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 417
- ax6700sNifBoard グループの実装仕様 (NIF 情報) 293
- ax6700sPhysLine グループの実装仕様 (インタフェース情報) 295
- ax6700sSwitch グループ (システム装置のモデル情報 MIB) 282
- ax6700sSwitch グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 413
- axsAccessFilterStats グループ 206
- axsAxpGroupTable グループ 274
- axsAxpMIB グループ (Ring Protocol 情報) 274
- axsAxpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 411
- axsAxpVlanGroupTable グループ 275
- axsBootManagement グループ (システム起動情報 MIB) 259
- axsBootManagement グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 408
- axsDHCP グループ 183
- axsEtherTxQoS グループ 178
- axsFdb グループ (MAC アドレステーブルグループ MIB) 189
- axsFdb グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 389
- axsFlow グループ (FLOW 情報 MIB) 206
- axsFlow グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 393
- axsGsrpGroupTable グループ 185
- axsGsrpMIB グループ (GSRP グループ情報) 185
- axsGsrpMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 388
- axsGsrpNeighborGroupTable グループ 186
- axsGsrpNeighborVlanGroupTable グループ 187
- axsGsrpVlanGroupTable グループ 185
- axsIfStats グループ 177
- axsL2ldGlobalInfo グループ 218
- axsL2ldMIB グループ (L2 ループ検知情報 MIB) 218
- axsL2ldPortTable グループ 218
- axsL2ld グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 396
- axslldpConfiguration グループ 263
- axslldpLocalSystemData グループ 265
- axslldpRemoteOriginInfoData グループ 271
- axslldpRemoteSystemData グループ 268
- axslldpStats グループ 264
- axslldp グループ (LLDP 情報 MIB) 263
- axslldp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 409
- axsLogin グループ (ログイン情報 MIB) 260
- axsLogin グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 409
- axsOadpGlobalInfo グループ 201
- axsOadpNeighborInfo グループ 202
- axsOadpPortInfo グループ 202
- axsOadp グループ (OADP 情報 MIB) 201
- axsOadp グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 392
- axsOspfAreaAggregateTable 239
- axsOspfAreaRangeTable 232
- axsOspfAreaTable 229
- axsOspfExtLsdbTable 238
- axsOspfGeneralTable 228
- axsOspfIfMetricTable 234
- axsOspfIfTable 232
- axsOspfLsdbTable 231
- axsOspfMIB グループ (マルチバックボーン OSPF 情報 MIB) 228
- axsOspfNbrTable 236
- axsOspfStubAreaTable 230
- axsOspfTrap 240
- axsOspfv3AreaAggregateTable 252
- axsOspfv3AreaLsdbTable 245
- axsOspfv3AreaTable 243
- axsOspfv3AsLsdbTable 244
- axsOspfv3GeneralTable 242
- axsOspfv3IfTable 247
- axsOspfv3LinkLsdbTable 246
- axsOspfv3MIB グループ (マルチバックボーン OSPFv3 情報 MIB) 242
- axsOspfv3MIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 404
- axsOspfv3NbrTable 250
- axsOspfv3VirtIfTable 249
- axsOspfv3VirtNbrTable 251
- axsOspfVirtIfTable 235
- axsOspfVirtNbrTable 237
- axsOspf グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 400
- axsPconMIB グループ (消費電力情報 MIB) 277
- axsPconMIB グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の対応 412

axsPconModuleData グループ 277
 axsPconPowerCon グループ 278
 axsPconTraffic グループ 279
 axsPolicyBaseRouting グループ 258
 axsPolicyBaseSwitching グループ 258
 axsPolicyBase グループ (ポリシーベース情報 MIB)
 258
 axsPolicyBase グループの MIB 名称とオブジェクト
 ID 値の対応 408
 axsQosFlowStats グループ 210
 axsQoS グループ 178
 axsShaperUser グループ 180
 axsStaticIpv6Table グループ 254
 axsStaticTable グループ 254
 axsStatic グループ (スタティック経路情報 MIB)
 254
 axsStatic グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値
 の対応 407
 axsStats グループ (統計情報 MIB) 177
 axsStats グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値
 の対応 386
 axsTrackObjectGeneralGroup 256
 axsTrackObjectMIB グループ (トラック情報 MIB)
 256
 axsTrackObjectMIB グループの MIB 名称とオブジェ
 クト ID 値の対応 408
 axsTrackObjectTable 256
 axsUrfp グループ 184
 axsVBBasePortTable グループ 191
 axsVBBaseTable グループ 190
 axsVBStaticTable グループ 198
 axsVBStpPortTable グループ 194
 axsVBStpTable グループ 193
 axsVBTpFdbTable グループ 196
 axsVBTpPortTable グループ 197
 axsVBTpTable グループ 195
 axsVlanBridge (その他) グループ 199
 axsVlanBridge グループ (dot1dBase 情報) 190
 axsVlanTagTranslation グループ (Tag 変換情報
 MIB) 199
 axsVlan グループ (VLAN 情報 MIB) 190
 axsVlan グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値
 の対応 389
 axsVrfIpForward グループ 221
 axsVrfIpv6Forward グループ 225
 axsVrfIpv6 グループ 223
 axsVrfIp グループ 220
 axsVrfMIB グループ (VRF 情報 MIB) 220
 axsVrf グループの MIB 名称とオブジェクト ID 値の
 対応 397

B

bgp 62
 bgp4PathAttrTable 64
 bgpPeerTable 62
 bgp グループ (BGP4 MIB) 62

D

dot1agCfmConfigErrorListTable 161
 dot1agCfmDefaultMd 159
 dot1agCfmLtrTable 170
 dot1agCfmMaCompTable 164
 dot1agCfmMaMepListTable 165
 dot1agCfmMaNetTable 163
 dot1agCfmMd 162
 dot1agCfmMepDbTable 172
 dot1agCfmMepTable 166
 dot1agCfmStackTable 158
 dot1agCfmVlanTable 160
 dot1dBase グループ 75
 dot1dBridge グループ 75
 dot1dStp グループ 76
 dot1dTp グループ 78
 dot3adAggPort グループ 129
 dot3adAgg グループ 128
 dot3adTablesLastChanged グループ 133
 dot3 グループ (Ethernet Like MIB) 43

E

Ethernet History グループ 69
 Ethernet Statistics グループ 66
 Event グループ 73

H

History Control グループ 68
 HP プライベート MIB 425
 HP プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値の対
 応 425

I

icmp グループ (HP プライベート MIB) 330
 icmp グループ (MIB-II) 36
 IEEE802.1X MIB グループ 134
 ieee8021CfmMib グループ 158
 IEEE8023-LAG-MIB グループ 128
 ifMIB (イーサネットの場合) 89
 ifMIB グループ (Interfaces Group MIB) 89
 InMon プライベート MIB 425

InMon プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値
の対応 425

interfaces グループ (MIB-II) 20

interfaces グループ (イーサネットの場合) 20

interfaces グループ (その他の場合) 24

ip 29

ipAddrTable 30

ipForward 33

ipNetToMediaTable 33

ipRouteTable 31

ipv6AddrPrefixTable 96

ipv6AddrTable 97

ipv6IcmpMIB グループ (ICMPv6 MIB) 102

ipv6IfStatsTable 94

ipv6IfTable 93

ipv6MIB 93

ipv6MIB グループ (IPv6 MIB) 93

ipv6NetToMediaTable 100

ipv6RouteTable 98

ipv6TcpConnTable 39

ipv6UdpTable 41

ip グループ (MIB-II および IP Forward Table MIB)
29

M

MIB 一覧 4

MIB 体系図 2

MIB の記述形式 13

O

ospfAreaAggregateTable 59

ospfAreaRangeTable 51

ospfAreaTable 48

ospfExtLsdbTable 58

ospfGeneralGroup 47

ospfHostTable 52

ospfIfMetricTable 54

ospfIfTable 52

ospfLsdbTable 50

ospfNbrTable 56

ospfStubAreaTable 49

ospfTrap 60

ospfv3AreaAggregateTable 126

ospfv3AreaLsdbTable 118

ospfv3AreaTable 116

ospfv3AsLsdbTable 117

ospfv3GeneralGroup 115

ospfv3IfTable 120

ospfv3LinkLsdbTable 119

ospfv3MIB グループ (OSPFv3 MIB) 115

ospfv3NbrTable 123

ospfv3VirtIfTable 122

ospfv3VirtNbrTable 125

ospfVirtIfTable 55

ospfVirtNbrTable 57

ospf グループ (OSPFv2 MIB) 47

P

pBridgeMIB グループ 79

pimInterfaceTable 112

pimJoinPruneInterval 112

pimMIB グループ (IPv4 PIM MIB) 112

pimNeighborTable 113

Q

qBridgeMIB グループ 81

R

rmon グループ (Remote Network Monitoring MIB)
66

S

sFlow グループ (InMon プライベート MIB) 331

snmpModules グループ 143

snmp グループ (MIB-II) 45

SYNTAX 13

system グループ (MIB-II) 19

T

tcp 38

tcp グループ (MIB-II および TCP MIB for IPv6) 38

U

udp 41

udp グループ (MIB-II および UDP MIB for IPv6) 41

V

vrrpMIB グループ 105

vrrpOperations グループ 105

vrrpStatistics グループ 109

あ

アクセス 14

お

オブジェクト識別子 13

さ

サポート MIB トラップ 333

サポート MIB の概要 1

サポートトラップおよびインフォーム -PDU 内パラ
メータ〔AX6300S〕 372

サポートトラップおよびインフォーム -PDU 内パラ
メータ〔AX6600S〕 358

サポートトラップおよびインフォーム -PDU 内パラ
メータ〔AX6700S〕 344

サポートトラップおよびインフォームの種類と発行契
機 334

し

識別子 13

実装有無 15

実装仕様 13, 15

ひ

標準 MIB(RFC 準拠および IETF ドラフト MIB) 17

ふ

プライベート MIB 175, 386

プライベート MIB 定義ファイルの入手方法 12

プライベート MIB 名称とオブジェクト ID 値 386